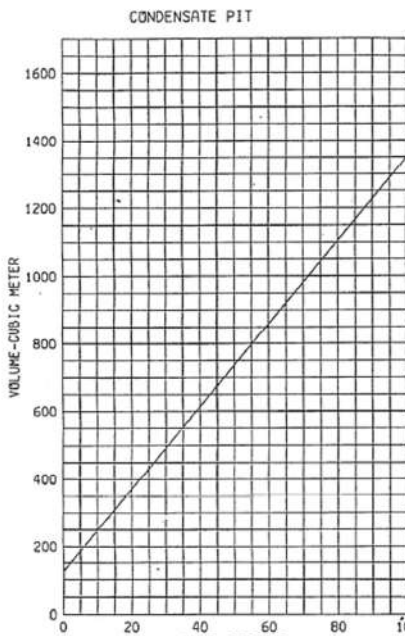
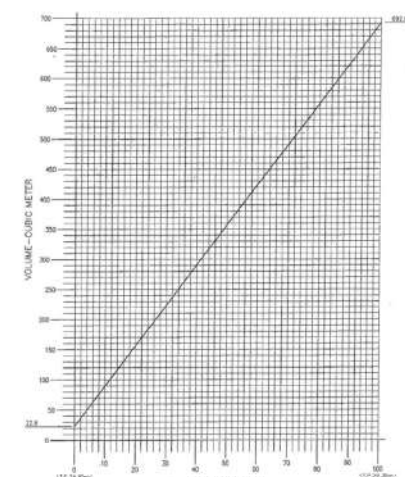


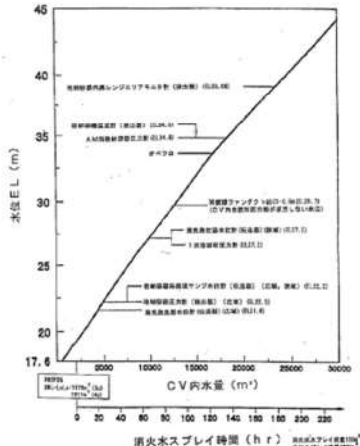
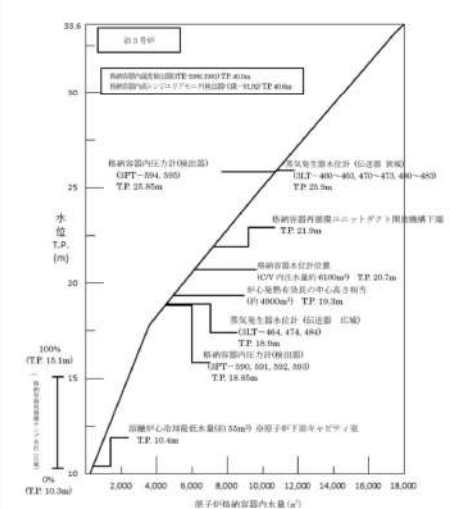
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>②復水ピット水位</p> <p>復水ピットの水位容量曲線を用いて、水位の変化量から注水した水量を推定する。</p> 	<p>①復水貯蔵タンク水位</p> <p>復水貯蔵タンク水位による推定方法は、復水貯蔵タンクを水源として使用し、かつ、復水貯蔵タンクを水源とした他の系統への使用量が把握できる場合に適用できる。          本推定方法は、水源の水位変化から求めるものであり、プラント状態に影響を受けるものではないため、プラント状態に依存することなく適用できる。</p> <p>①②原子伊格納容器下部水位、ドライウェル水位</p> <p>原子伊格納容器下部へ注水した場合は、計測範囲内において適用可能である。なお、原子伊格納容器下部への注水の目的は、原子伊格納容器下部に落下した溶融炉心の冷却であり、原子伊格納容器下部水位及びドライウェル水位より、初期水張り時及び原子伊格納容器破損後における原子伊格納容器下部への注水状況を把握できる。</p> <p>また、原子伊格納容器代替スプレー冷却系によるスプレー実施時には、原子伊格納容器下部水位及びドライウェル水位によるスプレー水の蓄水状況により原子伊格納容器代替スプレー系による注水状況を把握できる。</p> <p>②③ドライウェル温度、ドライウェル圧力、圧力抑制室圧力</p> <p>原子伊格納容器代替スプレー冷却系としての系統構成が確立された状態で、復水移送ポンプ又は大容量送水ポンプ(タイプI)が動作している場合、若しくは代替循環冷却系による原子伊格納容器への注水時にはドライウェル温度、ドライウェル圧力及び圧力抑制室圧力が低下傾向であることを確認することで、原子伊格納容器への注水機能が確保されていると判断できるため、原子伊格納容器への注水の確保を把握する上で適用できる。</p> <p>[誤差による影響について]</p> <p>原子伊格納容器への注水量を監視する目的は、注水設備による原子伊格納容器へ注水されていることの傾向を把握することであり、代替パラメータ(復水貯蔵タンク水位)による推定は、水源の水位変化量から注水量の傾向が把握でき、計器誤差を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。(復水貯蔵タンク水位の誤差：±21a)</p> <p>代替パラメータ(原子伊格納容器下部水位、ドライウェル水位)による推定では、注水先の水位から注水量の傾向が把握でき、計器誤差(原子伊格納容器下部水位の誤差：±5~±10mm、ドライウェル水位の誤差：±1~±10mm)を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>代替パラメータ(ドライウェル温度、ドライウェル圧力、圧力抑制室圧力)による推定は、流量の確保の把握のみであり、計器誤差(ドライウェル温度の誤差：±2.7℃、ドライウェル圧力の誤差の誤差：±0.000MPa、圧力抑制室圧力の誤差：±0.000MPa)を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>以上より、これらの代替パラメータによる推定で、炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p>	<p>・補助給水ピット水位</p> <p>第13図を用いて、補助給水ピット水位から注水量を算出する。補助給水ピットに淡水や海水を補給している場合は、補給に使用したポンプの性能並びに運転時間により算出した注水量を考慮する。</p> <p>推定可能範囲：各注水流量の計測範囲</p>  <p>第13図 補助給水ピットの水位と水量の相関図</p> <p>①B-格納容器スプレー冷却器出口積算流量 (AM用)</p> <p>原子伊格納容器内に注水を行っている期間の積算流量より、注水量を推定する。</p> <p>① [格納容器スプレー流量]</p> <p>原子伊格納容器内に注水を行っている期間の格納容器スプレー流量 (自主対策設備) の指示値を時間積分することにより、注水量を推定する。</p>	

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

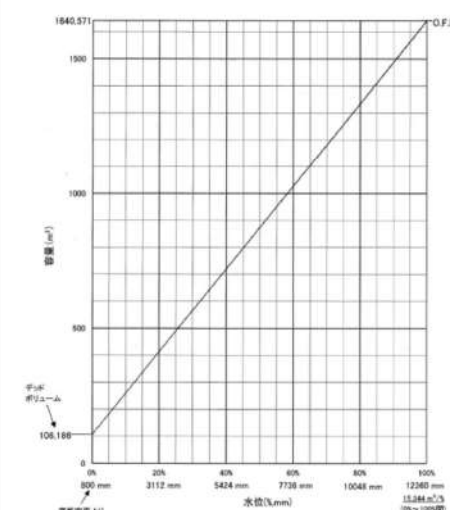
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
<p>③格納容器再循環サンプ水位 (広域)</p> <p>原子炉格納容器内への注水量と原子炉格納容器内の水位の関係をj用いて、水位の変化量から注水した水量を推定する。</p>  <p>消火水スプレイ時間 (hr) 0 20 40 60 80 100 120 140 160 180 200 220</p>		<p>④格納容器再循環サンプ水位 (広域)</p> <p>第 14 図を用いて、格納容器再循環サンプ水位 (広域) から注水量を算出する。</p> <p>推定可能範囲：各注水流量の計測範囲</p> <p>推定方法</p>  <p>第 14 図 格納容器再循環サンプ水位 (広域) の水位と原子炉格納容器内水量の相関図</p>	



灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

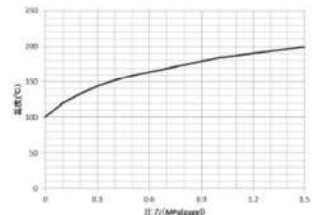
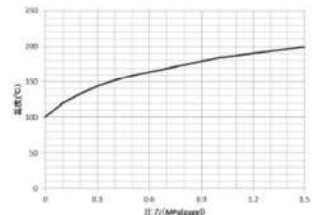
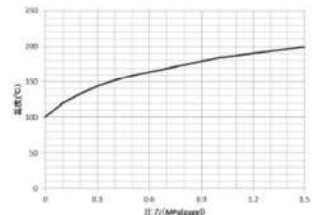
大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">推定の評価</p> <p>①燃料取扱用水ピット水位                  燃料取扱用水ピット水位による推定方法は、燃料取扱用水ピットを水源として使用し、かつ、燃料取扱用水ピットを水源とし原子炉格納容器以外へ注水するポンプが作動していない、又はその注水量が把握できる場合に適用できる。                  本推定方法は、水源の水位変化から求めるものであり、これはプラント状態に影響を受けるものではないため、プラント状態に依存することなく適用できるものである。</p> <p>②復水ピット水位                  復水ピット水位による推定方法は、①における適用条件のうち、水源を復水ピットとして使用している場合に限り適用可能である。                  本推定方法は、水源を燃料取扱用水ピットから復水ピットとした場合に適用可能である。                  本推定方法は、水源の水位変化から求めるものであり、これはプラント状態に影響を受けるものではないため、プラント状態に依存することなく適用できるものである。</p> <p>③格納容器再循環サンプ水位 (広域)                  格納容器再循環サンプ水位 (広域) による推定方法は、格納容器再循環サンプ水位の計測範囲内において適用可能である。                  条件が限定されるものの、①及び②による推定方法が優先されるため、事故収束に向けた対応を行う上で問題とはならない。</p> <p>以上より、本推定方法を原子炉格納容器への注水量を推定する手段として用いることは可能であり、格納容器スプレイポンプ等の注水設備が正常に機能していることを確認する上で妥当なものである。                  これらの代替パラメータによる推定で、炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等を成功させるための必要な状態を把握できる。</p>		<p style="text-align: center;">推定方法</p> <p>② (ろ過水タンク水位)                  第 15 図を用いて、ろ過水タンク水位 (自主対策設備) から注水量を算出する。</p>  <p style="text-align: center;">第 15 図 ろ過水タンクの水位と水量の相関図</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容  
 赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>①燃料取替用水ビット水位及び補助給水ビット水位</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>燃料取替用水ビット水位 燃料取替用水ビット水位による推定方法は、燃料取替用水ビットを水源として使用し、かつ、燃料取替用水ビットを水源とした他の系統への使用量が把握できる場合に適用できる。 本推定方法は、水源の水位変化から求めるものであり、プラント状態に影響を受けるものではないため、プラント状態に依存することなく適用できる。</li> <li>補助給水ビット水位 補助給水ビット水位による推定方法は、原子格納容器への注水の水源を燃料取替用水ビットから補助給水ビットに切り替えた場合に適用できる。 本推定方法は、水源の水位変化から求めるものであり、プラント状態に影響を受けるものではないため、プラント状態に依存することなく適用できる。</li> </ul> <p>①B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM 用) 及び [格納容器スプレイ流量] B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM 用) 及び格納容器スプレイ流量 (自主対策設備) による推定方法は、プラント状態に依存することなく適用可能である。また、B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM 用) 及び格納容器スプレイ流量 (自主対策設備) による推定方法は、当該流量計を使用するポンプにより注水している場合に適用可能である。</p> <p>②格納容器再循環サンプ水位 (広域) 格納容器再循環サンプ水位 (広域) による推定方法は、格納容器再循環サンプ水位 (広域) の許容範囲内において適用できる。 なお、本推定方法の適用条件は、格納容器バイパスが発生していない場合に限定されるもの、①による推定方法が優先されるため、事故収束に向けた対応を行う上で問題とはならない。</p> <p>③ろ過水タンク水位 ろ過水タンク水位 (自主対策設備) による推定方法は、ろ過水タンク水位 (自主対策設備) を水源として使用し、かつ、ろ過水タンク水位 (自主対策設備) を水源とした他の系統への使用量が把握できる場合に適用できる。 本推定方法は、水源の水位変化から求めるものであり、プラント状態に影響を受けるものではないため、プラント状態に依存することなく適用できる。</p> <p>[誤差による影響について] 原子格納容器への注水量を監視する目的は、注水設備により原子格納容器へ注水されていることの傾向を把握することであり、代替パラメータ (燃料取替用水ビット水位、補助給水ビット水位及びろ過水タンク水位 (自主対策設備)) による推定は、水源の水位変化量から注水量の傾向が把握でき、計器誤差 (燃料取替用水ビット水位の誤差：±1.0%、補助給水ビット水位の誤差：±1.0%) を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>代替パラメータ (B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM 用)、格納容器スプレイ流量 (自主対策設備)) による推定は、注水設備による原子格納容器への注水量が把握でき、計器誤差 (B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM 用) の誤差：±11.3%/h) を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>代替パラメータ (格納容器再循環サンプ水位 (広域)) による推定は、注水先の水位から注水量の傾向が把握でき、計器誤差 (格納容器再循環サンプ水位 (広域) の誤差：±2.0%) を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>以上より、これらの代替パラメータによる推定で、炉心損傷防止対策及び原子格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p>	

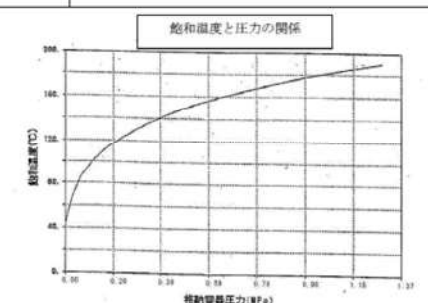
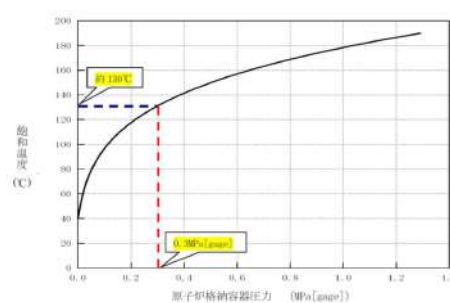
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																										
(f) 主要パラメータの代替パラメータによる推定方法について	(f) 主要パラメータの代替パラメータ (他チャンネルを除く) による推定方法について (原子炉格納容器内の温度)	(f) 主要パラメータの代替パラメータ (他チャンネル及び他ループを除く) による推定方法について (原子炉格納容器内の温度)																																																																																											
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4">原子炉格納容器内の温度</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要パラメータ</td> <td>格納容器内温度</td> <td>0~220℃</td> <td>最大値:約132℃</td> </tr> <tr> <td>代替パラメータ</td> <td colspan="3">① 格納容器圧力 (広域) ② AM用格納容器圧力</td> </tr> <tr> <td>計測目的</td> <td colspan="3">                     重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の温度を監視する目的は、原子炉格納容器内の除熱操作の判断、格納容器健全性の確認をすることである。                      特に重大事故において、原子炉格納容器へ流出した高温の原子炉冷却材及び貯蔵炉心の崩壊熱等の熱によって発生した水蒸気、金属-水反応等によって発生した非凝縮性ガスの蓄積により、線と措置が取られない場合には、原子炉格納容器内の温度が緩慢に上昇し、原子炉格納容器の破損に至る。                      線と措置の実施の判断及び格納容器健全性の確認のため、主要パラメータにて原子炉格納容器内の温度を監視することが重要である。                 </td> </tr> <tr> <td>推定方法</td> <td colspan="3">                     原子炉格納容器内の温度の主要パラメータである格納容器内温度の計測が困難になった場合、代替パラメータの①格納容器圧力 (広域) 又は②AM用格納容器圧力により原子炉格納容器内の温度を推定する。                      格納容器圧力 (広域) 又はAM用格納容器圧力による推定の方法では、原子炉格納容器内が飽和状態である範囲で適用する。                      原子炉格納容器内の事故前初期条件 (温度、圧力、相対湿度) を仮定することで、格納容器内飽和温度と圧力の関係が得られている。                      したがって、現在の格納容器内の状態が以下のような条件により飽和と判断される場合は、格納容器圧力より概略の温度を推定する。                      ・これまでに損傷炉心を冷却するための水が1次系又は格納容器内に注入されていること。                      ・過去の温度、圧力履歴を飽和温度と圧力の関係から判断して飽和状態で推移していると判断されること。                 </td> </tr> </tbody> </table>	原子炉格納容器内の温度				項目	監視パラメータ	計測範囲	設計基準	主要パラメータ	格納容器内温度	0~220℃	最大値:約132℃	代替パラメータ	① 格納容器圧力 (広域) ② AM用格納容器圧力			計測目的	重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の温度を監視する目的は、原子炉格納容器内の除熱操作の判断、格納容器健全性の確認をすることである。 特に重大事故において、原子炉格納容器へ流出した高温の原子炉冷却材及び貯蔵炉心の崩壊熱等の熱によって発生した水蒸気、金属-水反応等によって発生した非凝縮性ガスの蓄積により、線と措置が取られない場合には、原子炉格納容器内の温度が緩慢に上昇し、原子炉格納容器の破損に至る。 線と措置の実施の判断及び格納容器健全性の確認のため、主要パラメータにて原子炉格納容器内の温度を監視することが重要である。			推定方法	原子炉格納容器内の温度の主要パラメータである格納容器内温度の計測が困難になった場合、代替パラメータの①格納容器圧力 (広域) 又は②AM用格納容器圧力により原子炉格納容器内の温度を推定する。 格納容器圧力 (広域) 又はAM用格納容器圧力による推定の方法では、原子炉格納容器内が飽和状態である範囲で適用する。 原子炉格納容器内の事故前初期条件 (温度、圧力、相対湿度) を仮定することで、格納容器内飽和温度と圧力の関係が得られている。 したがって、現在の格納容器内の状態が以下のような条件により飽和と判断される場合は、格納容器圧力より概略の温度を推定する。 ・これまでに損傷炉心を冷却するための水が1次系又は格納容器内に注入されていること。 ・過去の温度、圧力履歴を飽和温度と圧力の関係から判断して飽和状態で推移していると判断されること。			<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4">原子炉格納容器内の温度</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">主要パラメータ</td> <td>ドライウエル温度</td> <td>0~300℃</td> <td>140℃以下</td> </tr> <tr> <td>圧力抑制室内空気温度</td> <td>0~300℃</td> <td>97℃以下</td> </tr> <tr> <td>サブプレッションプール水温度</td> <td>0~200℃</td> <td>97℃以下</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器下部温度</td> <td>0~700℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">代替パラメータ</td> <td>①ドライウエル圧力 (ドライウエル温度の代替)</td> <td>0~1MPa[abs]</td> <td>330kPa[gage]以下</td> </tr> <tr> <td>①サブプレッションプール水温度 (圧力抑制室内空気温度の代替)</td> <td>0~200℃</td> <td>97℃以下</td> </tr> <tr> <td>①圧力抑制室内空気温度 (サブプレッションプール水温度の代替)</td> <td>0~300℃</td> <td>97℃以下</td> </tr> <tr> <td>②圧力抑制室圧力 (ドライウエル温度、圧力抑制室内空気温度の代替)</td> <td>0~1MPa[abs]</td> <td>210kPa[gage]以下</td> </tr> <tr> <td>計測目的</td> <td colspan="3">                     重大事故等時において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の温度を監視する目的は、原子炉格納容器の過温破損防止を把握することである。                      原子炉格納容器内の温度の主要パラメータであるドライウエル温度、圧力抑制室内空気温度、サブプレッションプール水温度の計測が困難になった場合、代替パラメータのドライウエル圧力、サブプレッションプール水温度、圧力抑制室内空気温度及び圧力抑制室圧力により原子炉格納容器内の温度を推定することができる。                      推定方法は、以下のとおりである。                      ①ドライウエル圧力                      ドライウエル圧力が過去の温度、圧力履歴から飽和状態にあると判断されれば、飽和温度/圧力の関係を利用して図58-8-9よりドライウエル温度の推定を行う。                      推定可能範囲：100℃~185℃                 </td> </tr> <tr> <td>推定方法</td> <td colspan="3">  <p style="text-align: center;">図 58-8-9 飽和温度/圧力の関係を利用した温度の推定</p>                     ①圧力抑制室内空気温度、サブプレッションプール水温度                      圧力抑制室内空気温度、サブプレッションプール水温度の監視が不可能となった場合には、以下のとおり代替パラメータにより推定する。                      ・圧力抑制室内空気温度の監視が不可能となった場合には、サブプレッションチャンネル内の空気温度と水蒸気が平衡状態であると仮定し、サブプレッションプール水温度により推定する。                 </td> </tr> </tbody> </table>	原子炉格納容器内の温度				項目	監視パラメータ	計測範囲	設計基準	主要パラメータ	ドライウエル温度	0~300℃	140℃以下	圧力抑制室内空気温度	0~300℃	97℃以下	サブプレッションプール水温度	0~200℃	97℃以下	原子炉格納容器下部温度	0~700℃	—	代替パラメータ	①ドライウエル圧力 (ドライウエル温度の代替)	0~1MPa[abs]	330kPa[gage]以下	①サブプレッションプール水温度 (圧力抑制室内空気温度の代替)	0~200℃	97℃以下	①圧力抑制室内空気温度 (サブプレッションプール水温度の代替)	0~300℃	97℃以下	②圧力抑制室圧力 (ドライウエル温度、圧力抑制室内空気温度の代替)	0~1MPa[abs]	210kPa[gage]以下	計測目的	重大事故等時において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の温度を監視する目的は、原子炉格納容器の過温破損防止を把握することである。 原子炉格納容器内の温度の主要パラメータであるドライウエル温度、圧力抑制室内空気温度、サブプレッションプール水温度の計測が困難になった場合、代替パラメータのドライウエル圧力、サブプレッションプール水温度、圧力抑制室内空気温度及び圧力抑制室圧力により原子炉格納容器内の温度を推定することができる。 推定方法は、以下のとおりである。 ①ドライウエル圧力 ドライウエル圧力が過去の温度、圧力履歴から飽和状態にあると判断されれば、飽和温度/圧力の関係を利用して図58-8-9よりドライウエル温度の推定を行う。 推定可能範囲：100℃~185℃			推定方法	 <p style="text-align: center;">図 58-8-9 飽和温度/圧力の関係を利用した温度の推定</p> ①圧力抑制室内空気温度、サブプレッションプール水温度 圧力抑制室内空気温度、サブプレッションプール水温度の監視が不可能となった場合には、以下のとおり代替パラメータにより推定する。 ・圧力抑制室内空気温度の監視が不可能となった場合には、サブプレッションチャンネル内の空気温度と水蒸気が平衡状態であると仮定し、サブプレッションプール水温度により推定する。			<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4">原子炉格納容器内の温度</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要パラメータ</td> <td>格納容器内温度</td> <td>0~220℃</td> <td>最大値:約124℃</td> </tr> <tr> <td>代替パラメータ</td> <td colspan="3">①原子炉格納容器圧力 ②格納容器圧力 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>計測目的</td> <td colspan="3">                     重大事故等時において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の温度を監視する目的は、原子炉格納容器内の除熱操作の判断、原子炉格納容器の過温破損防止を把握することである。                      原子炉格納容器内の温度の主要パラメータである格納容器内温度の計測が不可能となった場合、代替パラメータの原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (AM用) により原子炉格納容器内の温度を推定することができる。                      推定方法は、以下のとおりである。                      ①②原子炉格納容器圧力及び格納容器圧力 (AM用)                      原子炉格納容器内の事故前初期条件 (温度、圧力、相対湿度) を仮定することで、格納容器内飽和温度と圧力の関係が得られている。                      したがって、現在の原子炉格納容器内が以下のような条件により飽和状態と判断される場合は、飽和温度/圧力の関係を利用して第16図より原子炉格納容器内温度を推定する。                      ・これまでに損傷炉心を冷却するための水が1次冷却系又は原子炉格納容器内に注入されていること。                      ・過去の温度、圧力履歴を飽和温度と圧力の関係から判断して飽和状態で推移していると判断されること。                      原子炉格納容器内の飽和状態判断は、下記のパラメータの傾向を総合的に判断して推定する。                      圧力パラメータ ①原子炉格納容器圧力                      ②格納容器圧力 (AM用)                      温度パラメータ ①格納容器内温度                      注入量パラメータ ①B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)                      ②高压注入流量                      ③低圧注入流量                      ④代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量                      推定可能範囲：100℃~180℃                 </td> </tr> <tr> <td>推定方法</td> <td colspan="3">                     原子炉格納容器内の飽和状態判断は、下記のパラメータの傾向を総合的に判断して推定する。                      圧力パラメータ ①原子炉格納容器圧力                      ②格納容器圧力 (AM用)                      温度パラメータ ①格納容器内温度                      注入量パラメータ ①B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)                      ②高压注入流量                      ③低圧注入流量                      ④代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量                      推定可能範囲：100℃~180℃                 </td> </tr> </tbody> </table>	原子炉格納容器内の温度				項目	監視パラメータ	計測範囲	設計基準	主要パラメータ	格納容器内温度	0~220℃	最大値:約124℃	代替パラメータ	①原子炉格納容器圧力 ②格納容器圧力 (AM用)			計測目的	重大事故等時において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の温度を監視する目的は、原子炉格納容器内の除熱操作の判断、原子炉格納容器の過温破損防止を把握することである。 原子炉格納容器内の温度の主要パラメータである格納容器内温度の計測が不可能となった場合、代替パラメータの原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (AM用) により原子炉格納容器内の温度を推定することができる。 推定方法は、以下のとおりである。 ①②原子炉格納容器圧力及び格納容器圧力 (AM用) 原子炉格納容器内の事故前初期条件 (温度、圧力、相対湿度) を仮定することで、格納容器内飽和温度と圧力の関係が得られている。 したがって、現在の原子炉格納容器内が以下のような条件により飽和状態と判断される場合は、飽和温度/圧力の関係を利用して第16図より原子炉格納容器内温度を推定する。 ・これまでに損傷炉心を冷却するための水が1次冷却系又は原子炉格納容器内に注入されていること。 ・過去の温度、圧力履歴を飽和温度と圧力の関係から判断して飽和状態で推移していると判断されること。 原子炉格納容器内の飽和状態判断は、下記のパラメータの傾向を総合的に判断して推定する。 圧力パラメータ ①原子炉格納容器圧力 ②格納容器圧力 (AM用) 温度パラメータ ①格納容器内温度 注入量パラメータ ①B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) ②高压注入流量 ③低圧注入流量 ④代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 推定可能範囲：100℃~180℃			推定方法	原子炉格納容器内の飽和状態判断は、下記のパラメータの傾向を総合的に判断して推定する。 圧力パラメータ ①原子炉格納容器圧力 ②格納容器圧力 (AM用) 温度パラメータ ①格納容器内温度 注入量パラメータ ①B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) ②高压注入流量 ③低圧注入流量 ④代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 推定可能範囲：100℃~180℃			
原子炉格納容器内の温度																																																																																													
項目	監視パラメータ	計測範囲	設計基準																																																																																										
主要パラメータ	格納容器内温度	0~220℃	最大値:約132℃																																																																																										
代替パラメータ	① 格納容器圧力 (広域) ② AM用格納容器圧力																																																																																												
計測目的	重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の温度を監視する目的は、原子炉格納容器内の除熱操作の判断、格納容器健全性の確認をすることである。 特に重大事故において、原子炉格納容器へ流出した高温の原子炉冷却材及び貯蔵炉心の崩壊熱等の熱によって発生した水蒸気、金属-水反応等によって発生した非凝縮性ガスの蓄積により、線と措置が取られない場合には、原子炉格納容器内の温度が緩慢に上昇し、原子炉格納容器の破損に至る。 線と措置の実施の判断及び格納容器健全性の確認のため、主要パラメータにて原子炉格納容器内の温度を監視することが重要である。																																																																																												
推定方法	原子炉格納容器内の温度の主要パラメータである格納容器内温度の計測が困難になった場合、代替パラメータの①格納容器圧力 (広域) 又は②AM用格納容器圧力により原子炉格納容器内の温度を推定する。 格納容器圧力 (広域) 又はAM用格納容器圧力による推定の方法では、原子炉格納容器内が飽和状態である範囲で適用する。 原子炉格納容器内の事故前初期条件 (温度、圧力、相対湿度) を仮定することで、格納容器内飽和温度と圧力の関係が得られている。 したがって、現在の格納容器内の状態が以下のような条件により飽和と判断される場合は、格納容器圧力より概略の温度を推定する。 ・これまでに損傷炉心を冷却するための水が1次系又は格納容器内に注入されていること。 ・過去の温度、圧力履歴を飽和温度と圧力の関係から判断して飽和状態で推移していると判断されること。																																																																																												
原子炉格納容器内の温度																																																																																													
項目	監視パラメータ	計測範囲	設計基準																																																																																										
主要パラメータ	ドライウエル温度	0~300℃	140℃以下																																																																																										
	圧力抑制室内空気温度	0~300℃	97℃以下																																																																																										
	サブプレッションプール水温度	0~200℃	97℃以下																																																																																										
	原子炉格納容器下部温度	0~700℃	—																																																																																										
代替パラメータ	①ドライウエル圧力 (ドライウエル温度の代替)	0~1MPa[abs]	330kPa[gage]以下																																																																																										
	①サブプレッションプール水温度 (圧力抑制室内空気温度の代替)	0~200℃	97℃以下																																																																																										
	①圧力抑制室内空気温度 (サブプレッションプール水温度の代替)	0~300℃	97℃以下																																																																																										
	②圧力抑制室圧力 (ドライウエル温度、圧力抑制室内空気温度の代替)	0~1MPa[abs]	210kPa[gage]以下																																																																																										
計測目的	重大事故等時において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の温度を監視する目的は、原子炉格納容器の過温破損防止を把握することである。 原子炉格納容器内の温度の主要パラメータであるドライウエル温度、圧力抑制室内空気温度、サブプレッションプール水温度の計測が困難になった場合、代替パラメータのドライウエル圧力、サブプレッションプール水温度、圧力抑制室内空気温度及び圧力抑制室圧力により原子炉格納容器内の温度を推定することができる。 推定方法は、以下のとおりである。 ①ドライウエル圧力 ドライウエル圧力が過去の温度、圧力履歴から飽和状態にあると判断されれば、飽和温度/圧力の関係を利用して図58-8-9よりドライウエル温度の推定を行う。 推定可能範囲：100℃~185℃																																																																																												
推定方法	 <p style="text-align: center;">図 58-8-9 飽和温度/圧力の関係を利用した温度の推定</p> ①圧力抑制室内空気温度、サブプレッションプール水温度 圧力抑制室内空気温度、サブプレッションプール水温度の監視が不可能となった場合には、以下のとおり代替パラメータにより推定する。 ・圧力抑制室内空気温度の監視が不可能となった場合には、サブプレッションチャンネル内の空気温度と水蒸気が平衡状態であると仮定し、サブプレッションプール水温度により推定する。																																																																																												
原子炉格納容器内の温度																																																																																													
項目	監視パラメータ	計測範囲	設計基準																																																																																										
主要パラメータ	格納容器内温度	0~220℃	最大値:約124℃																																																																																										
代替パラメータ	①原子炉格納容器圧力 ②格納容器圧力 (AM用)																																																																																												
計測目的	重大事故等時において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の温度を監視する目的は、原子炉格納容器内の除熱操作の判断、原子炉格納容器の過温破損防止を把握することである。 原子炉格納容器内の温度の主要パラメータである格納容器内温度の計測が不可能となった場合、代替パラメータの原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (AM用) により原子炉格納容器内の温度を推定することができる。 推定方法は、以下のとおりである。 ①②原子炉格納容器圧力及び格納容器圧力 (AM用) 原子炉格納容器内の事故前初期条件 (温度、圧力、相対湿度) を仮定することで、格納容器内飽和温度と圧力の関係が得られている。 したがって、現在の原子炉格納容器内が以下のような条件により飽和状態と判断される場合は、飽和温度/圧力の関係を利用して第16図より原子炉格納容器内温度を推定する。 ・これまでに損傷炉心を冷却するための水が1次冷却系又は原子炉格納容器内に注入されていること。 ・過去の温度、圧力履歴を飽和温度と圧力の関係から判断して飽和状態で推移していると判断されること。 原子炉格納容器内の飽和状態判断は、下記のパラメータの傾向を総合的に判断して推定する。 圧力パラメータ ①原子炉格納容器圧力 ②格納容器圧力 (AM用) 温度パラメータ ①格納容器内温度 注入量パラメータ ①B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) ②高压注入流量 ③低圧注入流量 ④代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 推定可能範囲：100℃~180℃																																																																																												
推定方法	原子炉格納容器内の飽和状態判断は、下記のパラメータの傾向を総合的に判断して推定する。 圧力パラメータ ①原子炉格納容器圧力 ②格納容器圧力 (AM用) 温度パラメータ ①格納容器内温度 注入量パラメータ ①B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) ②高压注入流量 ③低圧注入流量 ④代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 推定可能範囲：100℃~180℃																																																																																												

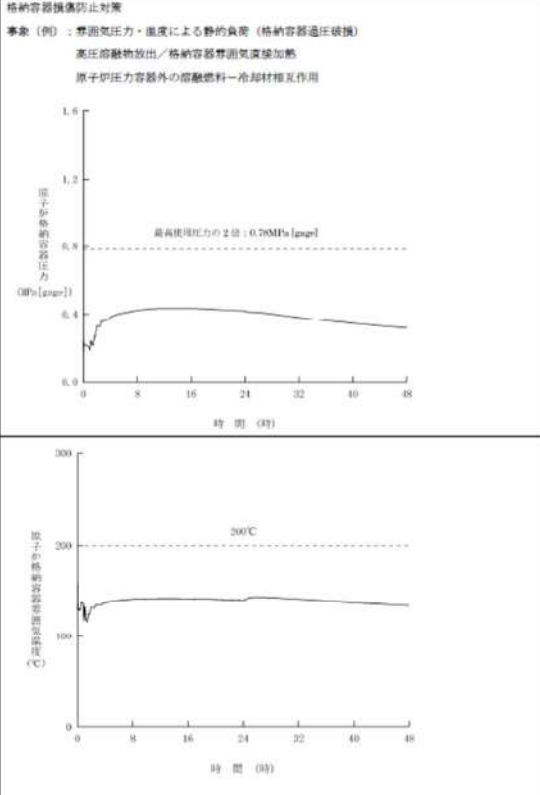
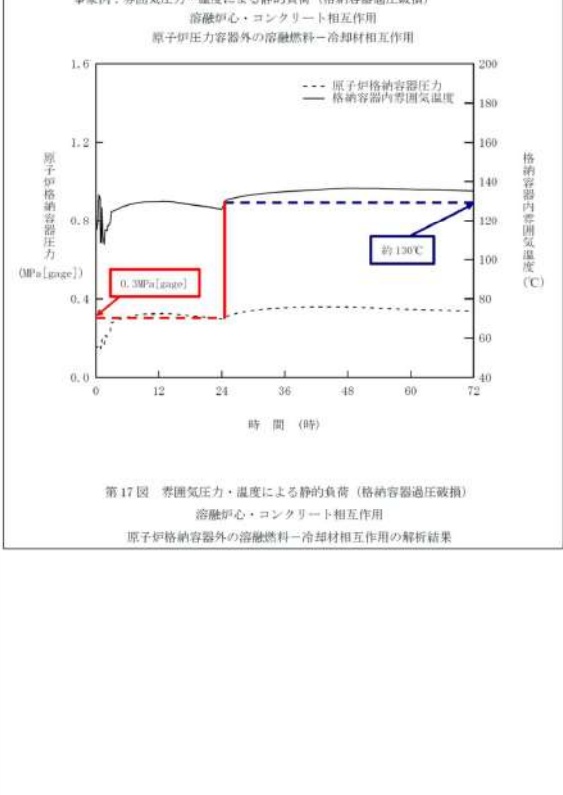
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>原子炉格納容器内の飽和状態判断は、下記のパラメータの傾向を総合的に判断して推定する。</p> <p>圧力パラメータ ①格納容器圧力 (広域)                  ②AM用格納容器圧力</p> <p>温度パラメータ ①格納容器内温度</p> <p>注流量パラメータ ①格納容器スプレイ積算流量                  ②高圧注流量                  ③余熱除去流量                  ④低放代替低圧注水積算流量</p> <p>原子炉格納容器の健全性の確認で原子炉格納容器内の温度の監視が重要となる格納容器破損防止対策の有効性評価の解析結果を例に挙げ、推定の適用性について確認した結果、蒸気圧力・濃度による静的負荷 (格納容器過圧破損) 等の場合、事象初期において一時的に原子炉格納容器内が過熱状態に至るものの、その後ほとんどの期間で原子炉格納容器内は飽和状態に維持される。</p> <p>また、過熱状態において本推定方法は適用できないが、その期間は一時的なものであり、事故収束に向けた対応を行う上で問題とはならない。</p> <p>よって、本推定方法を原子炉格納容器内の温度を推定する手段として用いることは可能であり、原子炉格納容器内の温度推移の把握、除熱操作判断において妥当である。</p> <p>以上より、これらの代替パラメータによる推定で、炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p> 	<p>サプレッションプール水温度の監視が不可能となった場合には、サプレッションプール内の空気温度と水温が平衡状態であると仮定し、圧力抑制室内空気温度により推定する。</p> <p>②圧力抑制室圧力                  ①ドライウェル圧力による推定方法と同様。</p> <p>①ドライウェル圧力                  ドライウェル圧力による推定手順は、原子炉格納容器内が飽和状態のみに限定される。ただし、重大事故等時の有効性評価 (蒸気圧力・濃度による静的負荷 (格納容器過圧・過熱破損)) において、原子炉格納容器内は積和飽和に近い状態に維持されることから、原子炉格納容器の過熱破損防止対策に必要な情報を得ることができる。</p> <p>①圧力抑制室内空気温度、サプレッションプール水温度                  原子炉格納容器内の各部の温度を同等の仕様の温度計で計測することにより、原子炉格納容器の過熱破損防止対策に必要な情報を得ることができる。</p> <p>②圧力抑制室圧力                  ①ドライウェル圧力と同様。</p> <p>なお、原子炉格納容器内は蒸気などの非凝縮性ガスが存在することから、原子炉格納容器内は完全には飽和状態にはならず、非凝縮性ガスの分圧分だけ原子炉格納容器内の圧力が高くなるため、本推定手段を用いると推定値より実際の原子炉格納容器内の温度は低くると推測される。</p> <p>[蒸気による影響について]                  原子炉格納容器内の温度を監視する目的は、原子炉格納容器の過熱破損防止を把握することであり、代替パラメータ (ドライウェル圧力及び圧力抑制室圧力) による推定は、圧力を温度に換算して原子炉格納容器内の温度の傾向が把握でき、計器誤差を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。(例えば、ドライウェル圧力：約0.427MPa[gage] (飽和温度：約154℃) に対して、ドライウェル圧力の誤差：±0.000MPa[gage] から温度に換算した場合は154±1℃程度。)</p> <p>代替パラメータ (圧力抑制室内空気温度、サプレッションプール水温度) による推定は、同一物理量からの推定であり、計器誤差 (圧力抑制室内空気温度の誤差：±1.1℃、サプレッションプール水温度の誤差：±1.2℃) を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>本推定方法は、この様な差が生じることを把握しながら推定することで原子炉格納容器内の温度を推定する手段として用いることは可能であり、原子炉格納容器内の温度推移の把握、除熱操作判断をする上で適用できる。</p> <p>以上より、これらの代替パラメータによる推定で、炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p>	<p>①②原子炉格納容器圧力及び格納容器圧力 (AM用)                  原子炉格納容器の健全性の確認で原子炉格納容器内の温度の監視が重要となる原子炉格納容器破損防止対策の有効性評価の解析結果を例に挙げ、推定の適用性について確認した結果、蒸気圧力・濃度による静的負荷 (格納容器過圧破損) 等の場合、事象初期において一時的に原子炉格納容器内が過熱状態に至るものの、その後ほとんどの期間で原子炉格納容器内は飽和状態に維持される。</p> <p>また、過熱状態において本推定方法は適用できないが、その期間は一時的なものであり、事故収束に向けた対応を行う上で問題とはならない。</p> <p>よって、本推定方法を原子炉格納容器内の温度を推定する手段として用いることは可能であり、原子炉格納容器内の温度推移の把握、除熱操作判断において妥当である。</p> <p>なお、原子炉格納容器内は蒸気などの非凝縮性ガスが存在することから、原子炉格納容器内は完全には飽和状態にはならず、非凝縮性ガスの分圧分だけ原子炉格納容器内の圧力が高くなるため、本推定手段を用いると推定値より実際の原子炉格納容器内の温度は低くると推測される。</p> <p>[蒸気による影響について]                  原子炉格納容器内の温度を監視する目的は、原子炉格納容器内の除熱操作の判断、原子炉格納容器の過熱破損防止を把握することであり、代替パラメータ (原子炉格納容器圧力及び格納容器圧力 (AM用)) による推定は、圧力を温度に換算して原子炉格納容器内の温度の傾向が把握でき、計器誤差 (原子炉格納容器圧力の誤差：±0.004MPa、格納容器圧力 (AM用) の誤差：±0.015MPa) を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>本推定方法は、このような差が生じることを把握しながら推定することで原子炉格納容器内の温度を推定する手段として用いることは可能であり、原子炉格納容器内の温度推移の把握、除熱操作判断をする上で適用できる。</p> <p>以上より、これらの代替パラメータによる推定で、炉心損傷防止対策及び原子炉格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p> 	<p>相違理由</p>



灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容  
 赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
<p>格納容器過圧防止対策</p> <p>事象 (例) : 雰囲気圧力・温度による静的負荷 (格納容器過圧破損)                  高压溶融物放出 / 格納容器雰囲気温度加熱                  原子炉圧力容器外の溶融燃料 - 冷却材相互作用</p> 		<p>事象例：雰囲気圧力・温度による静的負荷 (格納容器過圧破損)                  溶融炉心・コンクリート相互作用                  原子炉圧力容器外の溶融燃料 - 冷却材相互作用</p>  <p>第 17 図 雰囲気圧力・温度による静的負荷 (格納容器過圧破損)                  溶融炉心・コンクリート相互作用                  原子炉格納容器外の溶融燃料 - 冷却材相互作用の解析結果</p>	

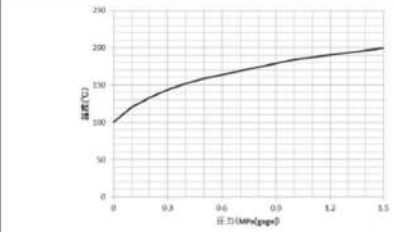
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																								
<p>(g) 主要パラメータの代替パラメータによる推定方法について</p>	<p>(g) 主要パラメータの代替パラメータ (他チャンネルを除く) による推定方法について (原子炉格納容器内の圧力)</p>	<p>(g) 主要パラメータの代替パラメータ (他チャンネル及び他ループを除く) による推定方法について (原子炉格納容器内の圧力)</p>																																																																									
<table border="1" data-bbox="85 231 636 1053"> <thead> <tr> <th colspan="4">原子炉格納容器内の圧力</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要パラメータ</td> <td>格納容器圧力 (広域) (AM用格納容器圧力)</td> <td>-50~450kPa (0~1.5MPa)</td> <td>最大値：約300kPa (最大値：約300kPa)</td> </tr> <tr> <td>代替パラメータ</td> <td colspan="3">①AM用格納容器圧力 (①格納容器圧力 (広域)) ②格納容器内温度 (②格納容器内温度)</td> </tr> <tr> <td>計測目的</td> <td colspan="3">重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の圧力を監視する目的は、原子炉格納容器内の除熱操作の判断、格納容器健全性の確認である。特に重大事故において、原子炉格納容器へ流出した高温の原子炉冷却材及び溶融炉心の融解熱等の熱によって発生した水蒸気、金属-水反応等によって発生した非凝縮性ガスの蓄積により、緩和措置が取れない場合には、原子炉格納容器圧力が緩慢に上昇し、原子炉格納容器の破損に至る。緩和措置の実施の判断及び格納容器健全性の確認のため、主要パラメータにて原子炉格納容器内の圧力を監視することが重要である。</td> </tr> <tr> <td>推定方法</td> <td colspan="3">原子炉格納容器内の圧力の主要パラメータである格納容器圧力 (広域) の計測が困難になった場合、代替パラメータのAM用格納容器圧力又は格納容器内温度により原子炉格納容器内の圧力を推定する。 なお、代替パラメータのうち、直接的に原子炉格納容器内の圧力を計測できるAM用格納容器圧力が優先する。 AM用格納容器圧力による推定の方法では、格納容器圧力 (広域) と同じ圧力を計測することにより原子炉格納容器内の圧力を計測ことができ、プラント状態に依存することなく適用可能である。 格納容器内温度による推定の方法では、原子炉格納容器内の事故前初期条件 (温度、圧力、相対湿度) を仮定することで得られる格納容器内飽和温度と圧力の関係から原子炉格納容器内の圧力を推定する。 本推定方法は原子炉格納容器が飽和状態である範囲で適用でき、現在の原子炉格納容器内の状態が以下のような条件により飽和と判断される場合は、格納容器内温度より観測の原子炉格納容器内の圧力を推定する。 ・これまでに換熱炉心を冷却するための水が1次系又は格納容器内に注入されていること。 ・過去の温度、圧力履歴を飽和温度と圧力の関係から判断して飽和状態と推移していること。</td> </tr> </tbody> </table>	原子炉格納容器内の圧力				項目	監視パラメータ	計測範囲	設計基準	主要パラメータ	格納容器圧力 (広域) (AM用格納容器圧力)	-50~450kPa (0~1.5MPa)	最大値：約300kPa (最大値：約300kPa)	代替パラメータ	①AM用格納容器圧力 (①格納容器圧力 (広域)) ②格納容器内温度 (②格納容器内温度)			計測目的	重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の圧力を監視する目的は、原子炉格納容器内の除熱操作の判断、格納容器健全性の確認である。特に重大事故において、原子炉格納容器へ流出した高温の原子炉冷却材及び溶融炉心の融解熱等の熱によって発生した水蒸気、金属-水反応等によって発生した非凝縮性ガスの蓄積により、緩和措置が取れない場合には、原子炉格納容器圧力が緩慢に上昇し、原子炉格納容器の破損に至る。緩和措置の実施の判断及び格納容器健全性の確認のため、主要パラメータにて原子炉格納容器内の圧力を監視することが重要である。			推定方法	原子炉格納容器内の圧力の主要パラメータである格納容器圧力 (広域) の計測が困難になった場合、代替パラメータのAM用格納容器圧力又は格納容器内温度により原子炉格納容器内の圧力を推定する。 なお、代替パラメータのうち、直接的に原子炉格納容器内の圧力を計測できるAM用格納容器圧力が優先する。 AM用格納容器圧力による推定の方法では、格納容器圧力 (広域) と同じ圧力を計測することにより原子炉格納容器内の圧力を計測ことができ、プラント状態に依存することなく適用可能である。 格納容器内温度による推定の方法では、原子炉格納容器内の事故前初期条件 (温度、圧力、相対湿度) を仮定することで得られる格納容器内飽和温度と圧力の関係から原子炉格納容器内の圧力を推定する。 本推定方法は原子炉格納容器が飽和状態である範囲で適用でき、現在の原子炉格納容器内の状態が以下のような条件により飽和と判断される場合は、格納容器内温度より観測の原子炉格納容器内の圧力を推定する。 ・これまでに換熱炉心を冷却するための水が1次系又は格納容器内に注入されていること。 ・過去の温度、圧力履歴を飽和温度と圧力の関係から判断して飽和状態と推移していること。			<table border="1" data-bbox="674 231 1225 1053"> <thead> <tr> <th colspan="4">※：重要監視パラメータの常用計器</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要パラメータ</td> <td>ドライウエル圧力 圧力抑制室圧力</td> <td>0~1MPa[abs] 0~1MPa[abs]</td> <td>330kPa[gage] 以下 210kPa[gage] 以下</td> </tr> <tr> <td>代替パラメータ</td> <td colspan="3">①圧力抑制室圧力 (ドライウエル圧力の代替) ①ドライウエル圧力 (圧力抑制室圧力の代替) ②ドライウエル温度 (ドライウエル圧力の代替) ②圧力抑制室内空気温度 (圧力抑制室圧力の代替) ③〔ドライウエル圧力〕* (ドライウエル圧力の代替) ③〔圧力抑制室圧力〕* (圧力抑制室圧力の代替)</td> </tr> <tr> <td>計測目的</td> <td colspan="3">重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の圧力を監視する目的は、原子炉格納容器の過圧破損防止を把握することである。</td> </tr> <tr> <td>推定方法</td> <td colspan="3">原子炉格納容器内の圧力の主要パラメータであるドライウエル圧力、圧力抑制室圧力の計測が困難になった場合、代替パラメータの圧力抑制室圧力、ドライウエル圧力、ドライウエル温度、圧力抑制室内空気温度により原子炉格納容器内の圧力を推定することができる。 推定方法は、以下のとおりである。 ①ドライウエル圧力及び圧力抑制室圧力 圧力抑制室水位が真空破損位置以下においては、ドライウエルとサブプレッションチャンセルはベント管内の水位に応じた水頭分の圧力差を維持して、同様の圧力挙動を示す。従って、ドライウエル圧力の計測が困難になった場合、圧力抑制室圧力により推定する。(圧力抑制室圧力を推定する場合はドライウエル圧力により推定。) ②ドライウエル温度、圧力抑制室内空気温度 原子炉格納容器内過去の温度、圧力履歴から飽和状態にあると判断されれば、飽和温度/圧力の関係を利用して図 58-8-10 よりドライウエル圧力、圧力抑制室圧力の推定を行う。 推定可能範囲：0~1.0MPa[abs] ③〔ドライウエル圧力〕及び〔圧力抑制室圧力〕 常用計器で原子炉格納容器内の圧力を計測することにより推定する。</td> </tr> </tbody> </table>	※：重要監視パラメータの常用計器				項目	監視パラメータ	計測範囲	設計基準	主要パラメータ	ドライウエル圧力 圧力抑制室圧力	0~1MPa[abs] 0~1MPa[abs]	330kPa[gage] 以下 210kPa[gage] 以下	代替パラメータ	①圧力抑制室圧力 (ドライウエル圧力の代替) ①ドライウエル圧力 (圧力抑制室圧力の代替) ②ドライウエル温度 (ドライウエル圧力の代替) ②圧力抑制室内空気温度 (圧力抑制室圧力の代替) ③〔ドライウエル圧力〕* (ドライウエル圧力の代替) ③〔圧力抑制室圧力〕* (圧力抑制室圧力の代替)			計測目的	重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の圧力を監視する目的は、原子炉格納容器の過圧破損防止を把握することである。			推定方法	原子炉格納容器内の圧力の主要パラメータであるドライウエル圧力、圧力抑制室圧力の計測が困難になった場合、代替パラメータの圧力抑制室圧力、ドライウエル圧力、ドライウエル温度、圧力抑制室内空気温度により原子炉格納容器内の圧力を推定することができる。 推定方法は、以下のとおりである。 ①ドライウエル圧力及び圧力抑制室圧力 圧力抑制室水位が真空破損位置以下においては、ドライウエルとサブプレッションチャンセルはベント管内の水位に応じた水頭分の圧力差を維持して、同様の圧力挙動を示す。従って、ドライウエル圧力の計測が困難になった場合、圧力抑制室圧力により推定する。(圧力抑制室圧力を推定する場合はドライウエル圧力により推定。) ②ドライウエル温度、圧力抑制室内空気温度 原子炉格納容器内過去の温度、圧力履歴から飽和状態にあると判断されれば、飽和温度/圧力の関係を利用して図 58-8-10 よりドライウエル圧力、圧力抑制室圧力の推定を行う。 推定可能範囲：0~1.0MPa[abs] ③〔ドライウエル圧力〕及び〔圧力抑制室圧力〕 常用計器で原子炉格納容器内の圧力を計測することにより推定する。			<table border="1" data-bbox="1263 231 1814 1053"> <thead> <tr> <th colspan="4">原子炉格納容器内の圧力</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要パラメータ</td> <td>原子炉格納容器圧力 格納容器圧力 (AM用)</td> <td>0~0.35MPa[gage] 0~1.0MPa[gage]</td> <td>最大値： 約0.241MPa[gage] —</td> </tr> <tr> <td>代替パラメータ</td> <td colspan="3">①格納容器圧力 (AM用) (原子炉格納容器圧力の代替) ①〔格納容器圧力 (狭域)] (原子炉格納容器圧力及び格納容器圧力 (AM用) の代替) ①原子炉格納容器圧力 (格納容器圧力 (AM用) の代替) ②格納容器内温度 (原子炉格納容器圧力及び格納容器圧力 (AM用) の代替)</td> </tr> <tr> <td>計測目的</td> <td colspan="3">重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の圧力を監視する目的は、原子炉格納容器内の除熱操作の判断、原子炉格納容器の過圧破損防止を把握することである。</td> </tr> <tr> <td>推定方法</td> <td colspan="3">原子炉格納容器内の圧力の主要パラメータである原子炉格納容器圧力、格納容器圧力 (AM用) の計測が不可能となった場合、代替パラメータの格納容器圧力 (AM用)、格納容器圧力 (狭域) (自主対策設備)、原子炉格納容器圧力又は格納容器内温度により原子炉格納容器内の圧力を推定する。 推定方法は、以下のとおりである。 ①格納容器圧力 (AM用)、〔格納容器圧力 (狭域)] 及び原子炉格納容器圧力 格納容器圧力 (AM用)、格納容器圧力 (狭域) (自主対策設備) 及び原子炉格納容器圧力により、原子炉格納容器内の圧力を直接測定する。 ②格納容器内温度 格納容器内温度による推定の方法では、原子炉格納容器内の事故前初期条件 (温度、圧力、相対湿度) を仮定することで得られる格納容器内飽和温度と圧力の関係から原子炉格納容器内の圧力を推定する。</td> </tr> </tbody> </table>	原子炉格納容器内の圧力				項目	監視パラメータ	計測範囲	設計基準	主要パラメータ	原子炉格納容器圧力 格納容器圧力 (AM用)	0~0.35MPa[gage] 0~1.0MPa[gage]	最大値： 約0.241MPa[gage] —	代替パラメータ	①格納容器圧力 (AM用) (原子炉格納容器圧力の代替) ①〔格納容器圧力 (狭域)] (原子炉格納容器圧力及び格納容器圧力 (AM用) の代替) ①原子炉格納容器圧力 (格納容器圧力 (AM用) の代替) ②格納容器内温度 (原子炉格納容器圧力及び格納容器圧力 (AM用) の代替)			計測目的	重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の圧力を監視する目的は、原子炉格納容器内の除熱操作の判断、原子炉格納容器の過圧破損防止を把握することである。			推定方法	原子炉格納容器内の圧力の主要パラメータである原子炉格納容器圧力、格納容器圧力 (AM用) の計測が不可能となった場合、代替パラメータの格納容器圧力 (AM用)、格納容器圧力 (狭域) (自主対策設備)、原子炉格納容器圧力又は格納容器内温度により原子炉格納容器内の圧力を推定する。 推定方法は、以下のとおりである。 ①格納容器圧力 (AM用)、〔格納容器圧力 (狭域)] 及び原子炉格納容器圧力 格納容器圧力 (AM用)、格納容器圧力 (狭域) (自主対策設備) 及び原子炉格納容器圧力により、原子炉格納容器内の圧力を直接測定する。 ②格納容器内温度 格納容器内温度による推定の方法では、原子炉格納容器内の事故前初期条件 (温度、圧力、相対湿度) を仮定することで得られる格納容器内飽和温度と圧力の関係から原子炉格納容器内の圧力を推定する。			
原子炉格納容器内の圧力																																																																											
項目	監視パラメータ	計測範囲	設計基準																																																																								
主要パラメータ	格納容器圧力 (広域) (AM用格納容器圧力)	-50~450kPa (0~1.5MPa)	最大値：約300kPa (最大値：約300kPa)																																																																								
代替パラメータ	①AM用格納容器圧力 (①格納容器圧力 (広域)) ②格納容器内温度 (②格納容器内温度)																																																																										
計測目的	重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の圧力を監視する目的は、原子炉格納容器内の除熱操作の判断、格納容器健全性の確認である。特に重大事故において、原子炉格納容器へ流出した高温の原子炉冷却材及び溶融炉心の融解熱等の熱によって発生した水蒸気、金属-水反応等によって発生した非凝縮性ガスの蓄積により、緩和措置が取れない場合には、原子炉格納容器圧力が緩慢に上昇し、原子炉格納容器の破損に至る。緩和措置の実施の判断及び格納容器健全性の確認のため、主要パラメータにて原子炉格納容器内の圧力を監視することが重要である。																																																																										
推定方法	原子炉格納容器内の圧力の主要パラメータである格納容器圧力 (広域) の計測が困難になった場合、代替パラメータのAM用格納容器圧力又は格納容器内温度により原子炉格納容器内の圧力を推定する。 なお、代替パラメータのうち、直接的に原子炉格納容器内の圧力を計測できるAM用格納容器圧力が優先する。 AM用格納容器圧力による推定の方法では、格納容器圧力 (広域) と同じ圧力を計測することにより原子炉格納容器内の圧力を計測ことができ、プラント状態に依存することなく適用可能である。 格納容器内温度による推定の方法では、原子炉格納容器内の事故前初期条件 (温度、圧力、相対湿度) を仮定することで得られる格納容器内飽和温度と圧力の関係から原子炉格納容器内の圧力を推定する。 本推定方法は原子炉格納容器が飽和状態である範囲で適用でき、現在の原子炉格納容器内の状態が以下のような条件により飽和と判断される場合は、格納容器内温度より観測の原子炉格納容器内の圧力を推定する。 ・これまでに換熱炉心を冷却するための水が1次系又は格納容器内に注入されていること。 ・過去の温度、圧力履歴を飽和温度と圧力の関係から判断して飽和状態と推移していること。																																																																										
※：重要監視パラメータの常用計器																																																																											
項目	監視パラメータ	計測範囲	設計基準																																																																								
主要パラメータ	ドライウエル圧力 圧力抑制室圧力	0~1MPa[abs] 0~1MPa[abs]	330kPa[gage] 以下 210kPa[gage] 以下																																																																								
代替パラメータ	①圧力抑制室圧力 (ドライウエル圧力の代替) ①ドライウエル圧力 (圧力抑制室圧力の代替) ②ドライウエル温度 (ドライウエル圧力の代替) ②圧力抑制室内空気温度 (圧力抑制室圧力の代替) ③〔ドライウエル圧力〕* (ドライウエル圧力の代替) ③〔圧力抑制室圧力〕* (圧力抑制室圧力の代替)																																																																										
計測目的	重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の圧力を監視する目的は、原子炉格納容器の過圧破損防止を把握することである。																																																																										
推定方法	原子炉格納容器内の圧力の主要パラメータであるドライウエル圧力、圧力抑制室圧力の計測が困難になった場合、代替パラメータの圧力抑制室圧力、ドライウエル圧力、ドライウエル温度、圧力抑制室内空気温度により原子炉格納容器内の圧力を推定することができる。 推定方法は、以下のとおりである。 ①ドライウエル圧力及び圧力抑制室圧力 圧力抑制室水位が真空破損位置以下においては、ドライウエルとサブプレッションチャンセルはベント管内の水位に応じた水頭分の圧力差を維持して、同様の圧力挙動を示す。従って、ドライウエル圧力の計測が困難になった場合、圧力抑制室圧力により推定する。(圧力抑制室圧力を推定する場合はドライウエル圧力により推定。) ②ドライウエル温度、圧力抑制室内空気温度 原子炉格納容器内過去の温度、圧力履歴から飽和状態にあると判断されれば、飽和温度/圧力の関係を利用して図 58-8-10 よりドライウエル圧力、圧力抑制室圧力の推定を行う。 推定可能範囲：0~1.0MPa[abs] ③〔ドライウエル圧力〕及び〔圧力抑制室圧力〕 常用計器で原子炉格納容器内の圧力を計測することにより推定する。																																																																										
原子炉格納容器内の圧力																																																																											
項目	監視パラメータ	計測範囲	設計基準																																																																								
主要パラメータ	原子炉格納容器圧力 格納容器圧力 (AM用)	0~0.35MPa[gage] 0~1.0MPa[gage]	最大値： 約0.241MPa[gage] —																																																																								
代替パラメータ	①格納容器圧力 (AM用) (原子炉格納容器圧力の代替) ①〔格納容器圧力 (狭域)] (原子炉格納容器圧力及び格納容器圧力 (AM用) の代替) ①原子炉格納容器圧力 (格納容器圧力 (AM用) の代替) ②格納容器内温度 (原子炉格納容器圧力及び格納容器圧力 (AM用) の代替)																																																																										
計測目的	重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の圧力を監視する目的は、原子炉格納容器内の除熱操作の判断、原子炉格納容器の過圧破損防止を把握することである。																																																																										
推定方法	原子炉格納容器内の圧力の主要パラメータである原子炉格納容器圧力、格納容器圧力 (AM用) の計測が不可能となった場合、代替パラメータの格納容器圧力 (AM用)、格納容器圧力 (狭域) (自主対策設備)、原子炉格納容器圧力又は格納容器内温度により原子炉格納容器内の圧力を推定する。 推定方法は、以下のとおりである。 ①格納容器圧力 (AM用)、〔格納容器圧力 (狭域)] 及び原子炉格納容器圧力 格納容器圧力 (AM用)、格納容器圧力 (狭域) (自主対策設備) 及び原子炉格納容器圧力により、原子炉格納容器内の圧力を直接測定する。 ②格納容器内温度 格納容器内温度による推定の方法では、原子炉格納容器内の事故前初期条件 (温度、圧力、相対湿度) を仮定することで得られる格納容器内飽和温度と圧力の関係から原子炉格納容器内の圧力を推定する。																																																																										

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>原子炉格納容器内の飽和状態判断は、下記のパラメータの傾向を総合的に判断して推定する。</p> <p>圧力パラメータ ①格納容器圧力 (広域)                  ②AM用格納容器圧力</p> <p>温度パラメータ ①格納容器内温度</p> <p>注入量パラメータ ①格納容器スプレイ積算流量                  ②高圧注入流量                  ③余熱除去流量                  ④復元代替低圧注水積算流量</p> <p>①AM用格納容器圧力 (①格納容器圧力 (広域))</p> <p>AM用格納容器圧力 (格納容器圧力 (広域)) による推定は直接的に原子炉格納容器内の圧力を計測するものであり、かつ、プラント状態に依存することなく適用可能であるため、推定方法として妥当である。</p> <p>②格納容器内温度 (②格納容器内温度)</p> <p>原子炉格納容器の健全性の観点で原子炉格納容器内の圧力の監視が重要となる格納容器破損防止対策の有効性評価の解析結果を例に挙げ、推定の妥当性及び適用性について確認する。</p> <p>有効性評価のうち、曹温気圧力・温度による静的負荷 (格納容器過圧破損) 等の場合、事故初期において一時的に原子炉格納容器内が過熱状態に至るものの、その後はほとんどの期間で原子炉格納容器内は飽和状態に維持される。</p> <p>また、過熱状態において本推定方法は適用できないが、その期間は一時的なものであり、事故収束に向けた対応を行う上で問題とはならない。</p> <p>以上より、本推定方法を原子炉格納容器内の圧力を推定する手段として用いることは可能であり、原子炉格納容器内の圧力推移の把握、除熱操作判断において妥当である。</p> <p>これらの代替パラメータによる推定で、格納容器破損防止対策を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p>	<p>推定方法</p>  <p>図 58-8-10 飽和温度/圧力の関係を利用した温度の推定</p> <p>①ドライウエル圧力、圧力抑制室圧力</p> <p>原子炉格納容器内のドライウエル側又はサブプレッションチェンバ側の圧力を同じ仕様の圧力計で計測することにより、原子炉格納容器の過圧破損防止対策に必要な情報を得ることができる。</p> <p>なお、ドライウエルスプレイ時は、圧力抑制室圧力&lt;ドライウエル圧力の関係になるため、真空破壊装置により差圧 6.9kPa 以内で推移する。(代替循環冷却運転時や原子炉格納容器ベント前まではほぼ同じ挙動)</p> <p>また、サブプレッションチェンバ側の除熱 (原子炉格納容器ベントやサブプレッションプール水冷却モード等) を実施する時は、圧力抑制室圧力&lt;ドライウエル圧力の関係になるため、ドライウエル側からベント管を通してサブプレッションチェンバ側へ圧力があがるため、ドライウエル圧力からサブプレッションチェンバ内の水頭圧分 (水面からタンク下部までの高さ) を引いた値が圧力抑制室圧力と同じ挙動を示す。(例えば、NRI レベル：床面から約 3.5m の時、水頭圧は約 12.5kPa であり、ドライウエル圧力=圧力抑制室圧力+12.5kPa の関係) (例えば、外部水源注水量限界 (真空破壊装置下層-0.4m)：床面から約 5.5m の時、水頭圧は約 31.4kPa であり、ドライウエル圧力=圧力抑制室圧力+31.4kPa の関係)</p> <p>②ドライウエル温度、圧力抑制室内空気温度</p> <p>ドライウエル温度、圧力抑制室内空気温度による推定手順は、原子炉格納容器内が飽和状態にあることが限定される。ただし、重大事故等時の有効性評価 (曹温気圧力・温度による静的負荷 (格納容器過圧・過熱破損) において、原子炉格納容器内は概ね飽和に近い状態に維持されることから、原子炉格納容器の過圧破損防止対策に必要な情報を得ることができる。</p> <p>③ [ドライウエル圧力] 及び [圧力抑制室圧力]</p> <p>監視可能であれば、常用計器で原子炉格納容器内の圧力を計測することにより、原子炉格納容器の過圧破損防止対策に必要な情報を得ることができる。</p> <p>[誤差による影響について]</p> <p>原子炉格納容器内の圧力を監視する目的は、原子炉格納容器の過圧破損防止を把握することであり、代替パラメータ (ドライウエル圧力及び圧力抑制室圧力) による推定は、同一物理量からの推定であり、真空破壊装置、ベント管を介してそれぞれ均圧されることから、原子炉格納容器内の圧力の傾向が把握でき、計器誤差 (ドライウエル圧力の誤差：±0.000MPa、圧力抑制室圧力の誤差：±0.000MPa) を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p>	<p>推定方法</p> <p>本推定方法は原子炉格納容器内が飽和状態である範囲で適用でき、現在の原子炉格納容器内の状態が以下のような条件により飽和と判断される場合は、格納容器内温度より概略の原子炉格納容器内の圧力を推定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これまでに損傷の中心を冷却するための水が1次冷却系又は原子炉格納容器内に入力されていること。</li> <li>過去の温度、圧力履歴を飽和温度と圧力の関係から判断して飽和状態で推移していること。</li> </ul> <p>原子炉格納容器内の飽和状態判断は、下記のパラメータの傾向を総合的に判断して推定する。</p> <p>圧力パラメータ ①原子炉格納容器圧力                  ②格納容器圧力 (AM用)</p> <p>温度パラメータ ①格納容器内温度</p> <p>注入量パラメータ ①B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)                  ②高圧注入流量                  ③低圧注入流量                  ④代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</p> <p>推定可能範囲：0～1.0MPa [gauge]</p> <p>①格納容器圧力 (AM用)、[格納容器圧力 (狭域)] 及び原子炉格納容器圧力</p> <p>格納容器圧力 (AM用) による推定は直接的に原子炉格納容器内の圧力を計測するものであり、かつ、プラント状態に依存することなく適用可能であるため、推定方法として妥当である。</p> <p>・ [格納容器圧力 (狭域)]</p> <p>格納容器圧力 (狭域) (自主対策設備) による推定は直接的に原子炉格納容器内の圧力を計測するものであり、かつ、プラント状態に依存することなく適用可能であるため、推定方法として妥当である。</p> <p>・ 原子炉格納容器圧力</p> <p>原子炉格納容器圧力による推定は直接的に原子炉格納容器内の圧力を計測するものであり、かつ、プラント状態に依存することなく適用可能であるため、推定方法として妥当である。</p>	

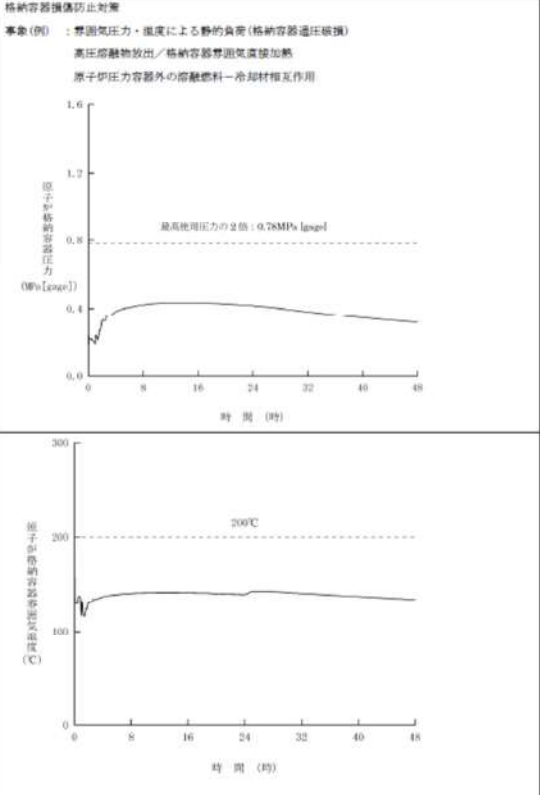
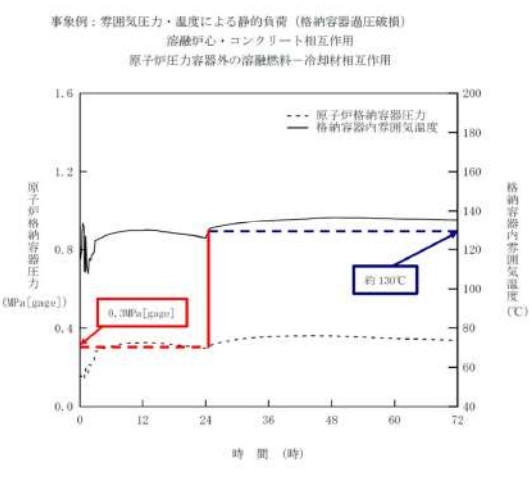
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="91 161 636 580" data-label="Figure"> </div>	<div data-bbox="674 145 1218 416" data-label="Text"> <p>推定の評価</p> <p>代替パラメータ (ドライウエル温度、圧力抑制室内空気温度) による推定は、圧力に換算して原子炉格納容器内の圧力の傾向が把握でき、計器誤差を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。(例えば、ドライウエル圧力: 約0.427MPa[gage] (飽和温度: 約154°C) に対してドライウエル温度の誤差: 約±2.7°Cから圧力に換算した場合は、0.427±0.04MPa[gage]程度)。</p> <p>なお、原子炉格納容器内は、窒素などの非凝縮性ガスが存在することから、原子炉格納容器内は完全には飽和状態にならない。非凝縮性ガスの分圧だけ原子炉格納容器内の圧力が高くなるため、本推定手段を用いると推定値より実際の圧力は高くなると推定される。</p> <p>本推定方法は、このような差が生じることを把握しながら推定することで原子炉格納容器内の圧力を推定する手段として用いることは可能であり、原子炉格納容器内の圧力推移の把握、除熱操作判断をする上で適用できる。</p> <p>以上より、これらの代替パラメータによる推定で、炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p> </div>	<div data-bbox="1258 145 1814 815" data-label="Text"> <p>推定の評価</p> <p>②格納容器内温度</p> <p>原子炉格納容器の健全性の観点で原子炉格納容器内の圧力の監視が重要となる原子炉格納容器破損防止対策の有効性評価の解析結果を例に挙げ、推定の妥当性及び適用性について確認する。</p> <p>有効性評価のうち、零調整圧力・温度による静的負荷 (格納容器過圧破損) 等の場合、事象初期において一時的に原子炉格納容器内が過熱状態に至るものの、その後ほとんどの期間で原子炉格納容器内は飽和状態に維持される。</p> <p>また、過熱状態において本推定方法は適用できないが、その期間は一時的なものであり、事故収束に向けた対応を行う上で問題とはならない。</p> <p>[誤差による影響について]</p> <p>原子炉格納容器内の圧力を監視する目的は、原子炉格納容器内の除熱操作の判断、原子炉格納容器の過圧破損防止を把握することであり、代替パラメータ (格納容器圧力 (AM 用)、格納容器圧力 (狭域) (自主対策設備)、原子炉格納容器圧力) による推定は、同一物理量からの推定であり、計器誤差 (格納容器圧力 (AM 用) の誤差: ±0.015MPa、原子炉格納容器圧力の誤差: ±0.004MPa) を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>代替パラメータ (格納容器内温度) による推定は、圧力に換算して原子炉格納容器内の圧力の傾向が把握でき、計器誤差 (格納容器内温度の誤差: ±4.4°C) を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>なお、原子炉格納容器内は窒素等の非凝縮性ガスが存在することから、原子炉格納容器内は完全には飽和状態にならない。非凝縮性ガスの分圧だけ原子炉格納容器内の圧力が高くなるため、本推定手段を用いると推定値より実際の圧力は高くなると推定される。</p> <p>本推定方法は、このような差が生じることを把握しながら推定することで原子炉格納容器内の圧力を推定する手段として用いることは可能であり、原子炉格納容器内の圧力推移の把握、除熱操作判断をする上で適用できる。</p> <p>以上より、これらの代替パラメータによる推定で、炉心損傷防止対策及び原子炉格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p> </div> <div data-bbox="1258 842 1814 1235" data-label="Figure"> </div>	



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容  
 赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>格納容器損傷防止対策</p> <p>事象(例)：雰囲気圧力・温度による静的負荷 (格納容器過圧破損)                  高温溶融物放出 / 格納容器雰囲気加熱                  原子炉圧力容器外の溶融燃料-冷却材相互作用</p>  <p>原子炉格納容器圧力 (MPa [gauge])</p> <p>時間 (時)</p> <p>最高使用圧力の2倍: 0.78MPa [gauge]</p> <p>200°C</p> <p>原子炉格納容器内雰囲気温度 (°C)</p> <p>時間 (時)</p>		<p>事象例：雰囲気圧力・温度による静的負荷 (格納容器過圧破損)                  溶融炉心・コンクリート相互作用                  原子炉圧力容器外の溶融燃料-冷却材相互作用</p>  <p>原子炉格納容器圧力 (MPa [gauge])</p> <p>時間 (時)</p> <p>0.3MPa [gauge]</p> <p>約130°C</p> <p>格納容器内雰囲気温度 (°C)</p> <p>第19図 雰囲気圧力・温度による静的負荷 (格納容器過圧破損)                  溶融炉心・コンクリート相互作用                  原子炉格納容器外の溶融燃料-冷却材相互作用の解析結果</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

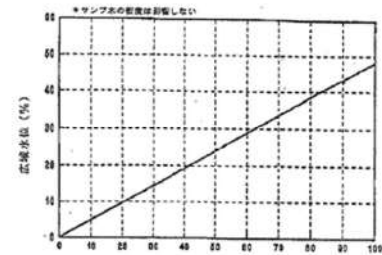
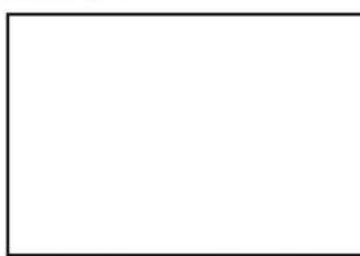
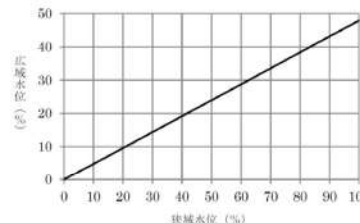
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備（補足説明資料）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																										
(h) 主要パラメータの代替パラメータによる推定方法について	(h) 主要パラメータの代替パラメータ（他チャンネルを除く）による推定方法について（原子炉格納容器内の水位）	(h) 主要パラメータの代替パラメータ（他チャンネル及び他ループを除く）による推定方法について（原子炉格納容器内の水位（1））																																																																																																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">原子炉格納容器内の水位（1）</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要パラメータ</td> <td>格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> <td>0～100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>代替パラメータ</td> <td colspan="3">①格納容器再循環サンプ水位（狭域） ②原子炉下部キャビティ水位 ③原子炉格納容器水位</td> </tr> <tr> <td>計画目的</td> <td colspan="3">重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の水位（1）を監視する目的は、溶融炉心・コンクリート相互作用を防止するための原子炉格納容器への注水量の確認である。 特に重大事故において、原子炉圧力容器破損に伴い原子炉格納容器内に放出された溶融炉心の冷却のため、原子炉圧力容器破損前に原子炉格納容器に水張りをする必要があり、事故時の対応手段を判断する上で主要パラメータにて原子炉格納容器の水張りの状態を確認できることが重要である。</td> </tr> <tr> <td>推定方法</td> <td colspan="3">原子炉格納容器内の水位の主要パラメータである格納容器再循環サンプ水位（広域）の計測が困難になった場合、代替パラメータの格納容器再循環サンプ水位（狭域）、原子炉下部キャビティ水位又は原子炉格納容器水位により原子炉格納容器内の水位を推定する。 推定方法は、以下のとおりである。</td> </tr> </tbody> </table>	原子炉格納容器内の水位（1）				項目	監視パラメータ	計測範囲	設計基準	主要パラメータ	格納容器再循環サンプ水位（広域）	0～100%	100%	代替パラメータ	①格納容器再循環サンプ水位（狭域） ②原子炉下部キャビティ水位 ③原子炉格納容器水位			計画目的	重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の水位（1）を監視する目的は、溶融炉心・コンクリート相互作用を防止するための原子炉格納容器への注水量の確認である。 特に重大事故において、原子炉圧力容器破損に伴い原子炉格納容器内に放出された溶融炉心の冷却のため、原子炉圧力容器破損前に原子炉格納容器に水張りをする必要があり、事故時の対応手段を判断する上で主要パラメータにて原子炉格納容器の水張りの状態を確認できることが重要である。			推定方法	原子炉格納容器内の水位の主要パラメータである格納容器再循環サンプ水位（広域）の計測が困難になった場合、代替パラメータの格納容器再循環サンプ水位（狭域）、原子炉下部キャビティ水位又は原子炉格納容器水位により原子炉格納容器内の水位を推定する。 推定方法は、以下のとおりである。			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">原子炉格納容器内の水位</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">主要パラメータ</td> <td>圧力抑制室水位</td> <td>0～5α (0.P. -3900mm～1100mm)</td> <td>0.05α (0.P. -3850mm)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器下部水位</td> <td>0.5α, 1.0α, 1.5α, 2.0α, 2.5α, 2.8α (0.P. -2000mm, -1500mm, -1000mm, -500mm, 0mm, 200mm)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ドライウェル水位</td> <td>0.02α, 0.25α, 0.34α (0.P. 1170mm, 1380mm, 1490mm)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">代替パラメータ</td> <td>①減圧代替注水ポンプ出口流量（圧力抑制室水位の代替）</td> <td>0～120m<sup>3</sup>/h</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>①残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量）（圧力抑制室水位、原子炉格納容器下部水位、ドライウェル水位の代替）</td> <td>0～220m<sup>3</sup>/h</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>①残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量）（圧力抑制室水位、原子炉格納容器下部水位、ドライウェル水位の代替）</td> <td>0～220m<sup>3</sup>/h</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>①減圧代替注水ポンプ出口流量（圧力抑制室水位の代替）</td> <td>0～100m<sup>3</sup>/h</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>①原子炉降熱時冷却ポンプ出口流量（圧力抑制室水位の代替）</td> <td>0～150m<sup>3</sup>/h</td> <td>0～90.8m<sup>3</sup>/h</td> </tr> <tr> <td>①溶融炉心スプレイポンプ出口流量（圧力抑制室水位の代替）</td> <td>0～1,500m<sup>3</sup>/h</td> <td>(高圧側) 0～218m<sup>3</sup>/h (低圧側) 0～1,650m<sup>3</sup>/h</td> </tr> <tr> <td>①原子炉格納容器代替スプレイ流量（圧力抑制室水位の代替）</td> <td>0～100m<sup>3</sup>/h</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>①原子炉格納容器下部注水流量（圧力抑制室水位の代替）</td> <td>0～110m<sup>3</sup>/h</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>①原子炉格納容器代替スプレイ流量（原子炉格納容器下部水位、ドライウェル水位の代替）</td> <td>0～100m<sup>3</sup>/h</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>①代替循環冷却ポンプ出口流量（原子炉格納容器下部水位、ドライウェル水位の代替）</td> <td>0～200m<sup>3</sup>/h</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">計画目的</td> <td colspan="3">重大事故等時において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の水位を監視する目的は、サブプレッションチャンバからのベントを実施する際の圧力抑制室水位の確認及び溶融炉心・コンクリート相互作用を防止するための原子炉格納容器下部（圧力容器ベグスタル部及びドライウェル下部）への注水量の確認である。</td> </tr> </tbody> </table>	原子炉格納容器内の水位				項目	監視パラメータ	計測範囲	設計基準	主要パラメータ	圧力抑制室水位	0～5α (0.P. -3900mm～1100mm)	0.05α (0.P. -3850mm)	原子炉格納容器下部水位	0.5α, 1.0α, 1.5α, 2.0α, 2.5α, 2.8α (0.P. -2000mm, -1500mm, -1000mm, -500mm, 0mm, 200mm)	—		ドライウェル水位	0.02α, 0.25α, 0.34α (0.P. 1170mm, 1380mm, 1490mm)	—	代替パラメータ	①減圧代替注水ポンプ出口流量（圧力抑制室水位の代替）	0～120m <sup>3</sup> /h	—	①残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量）（圧力抑制室水位、原子炉格納容器下部水位、ドライウェル水位の代替）	0～220m <sup>3</sup> /h	—	①残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量）（圧力抑制室水位、原子炉格納容器下部水位、ドライウェル水位の代替）	0～220m <sup>3</sup> /h	—	①減圧代替注水ポンプ出口流量（圧力抑制室水位の代替）	0～100m <sup>3</sup> /h	—	①原子炉降熱時冷却ポンプ出口流量（圧力抑制室水位の代替）	0～150m <sup>3</sup> /h	0～90.8m <sup>3</sup> /h	①溶融炉心スプレイポンプ出口流量（圧力抑制室水位の代替）	0～1,500m <sup>3</sup> /h	(高圧側) 0～218m <sup>3</sup> /h (低圧側) 0～1,650m <sup>3</sup> /h	①原子炉格納容器代替スプレイ流量（圧力抑制室水位の代替）	0～100m <sup>3</sup> /h	—	①原子炉格納容器下部注水流量（圧力抑制室水位の代替）	0～110m <sup>3</sup> /h	—	①原子炉格納容器代替スプレイ流量（原子炉格納容器下部水位、ドライウェル水位の代替）	0～100m <sup>3</sup> /h	—	①代替循環冷却ポンプ出口流量（原子炉格納容器下部水位、ドライウェル水位の代替）	0～200m <sup>3</sup> /h	—	計画目的	重大事故等時において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の水位を監視する目的は、サブプレッションチャンバからのベントを実施する際の圧力抑制室水位の確認及び溶融炉心・コンクリート相互作用を防止するための原子炉格納容器下部（圧力容器ベグスタル部及びドライウェル下部）への注水量の確認である。			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">原子炉格納容器内の水位（1）</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">主要パラメータ</td> <td>格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> <td>0～100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環サンプ水位（狭域）</td> <td>0～100%</td> <td>100%以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">代替パラメータ</td> <td>①格納容器再循環サンプ水位（狭域）（格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替）</td> <td>0～100%</td> <td>100%以上</td> </tr> <tr> <td>①格納容器再循環サンプ水位（広域）（格納容器再循環サンプ水位（狭域）の代替）</td> <td>0～100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>②原子炉下部キャビティ水位（格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替）</td> <td>ON-OFF</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>②格納容器水位（格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替）</td> <td>ON-OFF</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>③燃料取替用水ビット水位（格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替）</td> <td>0～100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>③補助給水ビット水位（格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替）</td> <td>0～100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>③B系格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）（格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替）</td> <td>0～1,300m<sup>3</sup>/h (0～10,000m<sup>3</sup>)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>③代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量（格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替）</td> <td>0～200m<sup>3</sup>/h (0～10,000m<sup>3</sup>)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>計画目的</td> <td colspan="3">重大事故等時において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の水位（1）を監視する目的は、溶融炉心・コンクリート相互作用を防止するための原子炉格納容器への注水量の確認である。</td> </tr> </tbody> </table>	原子炉格納容器内の水位（1）				項目	監視パラメータ	計測範囲	設計基準	主要パラメータ	格納容器再循環サンプ水位（広域）	0～100%	100%	格納容器再循環サンプ水位（狭域）	0～100%	100%以上	代替パラメータ	①格納容器再循環サンプ水位（狭域）（格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替）	0～100%	100%以上	①格納容器再循環サンプ水位（広域）（格納容器再循環サンプ水位（狭域）の代替）	0～100%	100%	②原子炉下部キャビティ水位（格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替）	ON-OFF	—	②格納容器水位（格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替）	ON-OFF	—	③燃料取替用水ビット水位（格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替）	0～100%	100%	③補助給水ビット水位（格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替）	0～100%	100%	③B系格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）（格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替）	0～1,300m <sup>3</sup> /h (0～10,000m <sup>3</sup> )	—	③代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量（格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替）	0～200m <sup>3</sup> /h (0～10,000m <sup>3</sup> )	—	計画目的	重大事故等時において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の水位（1）を監視する目的は、溶融炉心・コンクリート相互作用を防止するための原子炉格納容器への注水量の確認である。			
原子炉格納容器内の水位（1）																																																																																																																													
項目	監視パラメータ	計測範囲	設計基準																																																																																																																										
主要パラメータ	格納容器再循環サンプ水位（広域）	0～100%	100%																																																																																																																										
代替パラメータ	①格納容器再循環サンプ水位（狭域） ②原子炉下部キャビティ水位 ③原子炉格納容器水位																																																																																																																												
計画目的	重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の水位（1）を監視する目的は、溶融炉心・コンクリート相互作用を防止するための原子炉格納容器への注水量の確認である。 特に重大事故において、原子炉圧力容器破損に伴い原子炉格納容器内に放出された溶融炉心の冷却のため、原子炉圧力容器破損前に原子炉格納容器に水張りをする必要があり、事故時の対応手段を判断する上で主要パラメータにて原子炉格納容器の水張りの状態を確認できることが重要である。																																																																																																																												
推定方法	原子炉格納容器内の水位の主要パラメータである格納容器再循環サンプ水位（広域）の計測が困難になった場合、代替パラメータの格納容器再循環サンプ水位（狭域）、原子炉下部キャビティ水位又は原子炉格納容器水位により原子炉格納容器内の水位を推定する。 推定方法は、以下のとおりである。																																																																																																																												
原子炉格納容器内の水位																																																																																																																													
項目	監視パラメータ	計測範囲	設計基準																																																																																																																										
主要パラメータ	圧力抑制室水位	0～5α (0.P. -3900mm～1100mm)	0.05α (0.P. -3850mm)																																																																																																																										
	原子炉格納容器下部水位	0.5α, 1.0α, 1.5α, 2.0α, 2.5α, 2.8α (0.P. -2000mm, -1500mm, -1000mm, -500mm, 0mm, 200mm)	—																																																																																																																										
	ドライウェル水位	0.02α, 0.25α, 0.34α (0.P. 1170mm, 1380mm, 1490mm)	—																																																																																																																										
代替パラメータ	①減圧代替注水ポンプ出口流量（圧力抑制室水位の代替）	0～120m <sup>3</sup> /h	—																																																																																																																										
	①残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量）（圧力抑制室水位、原子炉格納容器下部水位、ドライウェル水位の代替）	0～220m <sup>3</sup> /h	—																																																																																																																										
	①残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量）（圧力抑制室水位、原子炉格納容器下部水位、ドライウェル水位の代替）	0～220m <sup>3</sup> /h	—																																																																																																																										
	①減圧代替注水ポンプ出口流量（圧力抑制室水位の代替）	0～100m <sup>3</sup> /h	—																																																																																																																										
	①原子炉降熱時冷却ポンプ出口流量（圧力抑制室水位の代替）	0～150m <sup>3</sup> /h	0～90.8m <sup>3</sup> /h																																																																																																																										
	①溶融炉心スプレイポンプ出口流量（圧力抑制室水位の代替）	0～1,500m <sup>3</sup> /h	(高圧側) 0～218m <sup>3</sup> /h (低圧側) 0～1,650m <sup>3</sup> /h																																																																																																																										
	①原子炉格納容器代替スプレイ流量（圧力抑制室水位の代替）	0～100m <sup>3</sup> /h	—																																																																																																																										
	①原子炉格納容器下部注水流量（圧力抑制室水位の代替）	0～110m <sup>3</sup> /h	—																																																																																																																										
	①原子炉格納容器代替スプレイ流量（原子炉格納容器下部水位、ドライウェル水位の代替）	0～100m <sup>3</sup> /h	—																																																																																																																										
	①代替循環冷却ポンプ出口流量（原子炉格納容器下部水位、ドライウェル水位の代替）	0～200m <sup>3</sup> /h	—																																																																																																																										
計画目的	重大事故等時において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の水位を監視する目的は、サブプレッションチャンバからのベントを実施する際の圧力抑制室水位の確認及び溶融炉心・コンクリート相互作用を防止するための原子炉格納容器下部（圧力容器ベグスタル部及びドライウェル下部）への注水量の確認である。																																																																																																																												
	原子炉格納容器内の水位（1）																																																																																																																												
項目	監視パラメータ	計測範囲	設計基準																																																																																																																										
主要パラメータ	格納容器再循環サンプ水位（広域）	0～100%	100%																																																																																																																										
	格納容器再循環サンプ水位（狭域）	0～100%	100%以上																																																																																																																										
代替パラメータ	①格納容器再循環サンプ水位（狭域）（格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替）	0～100%	100%以上																																																																																																																										
	①格納容器再循環サンプ水位（広域）（格納容器再循環サンプ水位（狭域）の代替）	0～100%	100%																																																																																																																										
	②原子炉下部キャビティ水位（格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替）	ON-OFF	—																																																																																																																										
	②格納容器水位（格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替）	ON-OFF	—																																																																																																																										
	③燃料取替用水ビット水位（格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替）	0～100%	100%																																																																																																																										
	③補助給水ビット水位（格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替）	0～100%	100%																																																																																																																										
	③B系格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）（格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替）	0～1,300m <sup>3</sup> /h (0～10,000m <sup>3</sup> )	—																																																																																																																										
	③代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量（格納容器再循環サンプ水位（広域）の代替）	0～200m <sup>3</sup> /h (0～10,000m <sup>3</sup> )	—																																																																																																																										
計画目的	重大事故等時において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の水位（1）を監視する目的は、溶融炉心・コンクリート相互作用を防止するための原子炉格納容器への注水量の確認である。																																																																																																																												

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

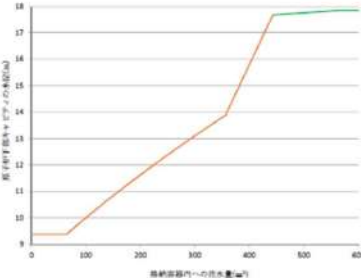

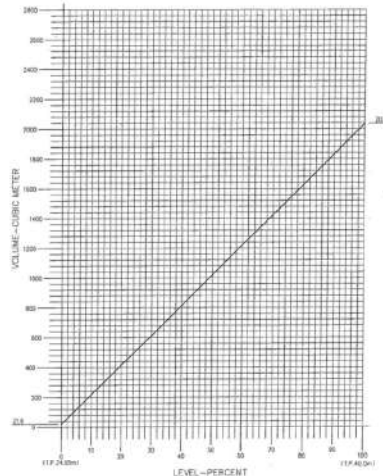
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>①格納容器再循環サンプ水位 (狭域)</p> <p>格納容器再循環サンプの狭域水位と広域水位の相関図を用いて、その対応から水位を推定する。</p>  <p>C/V再循環サンプ狭域水位と広域水位の相関図</p>	<p>原子炉格納容器内の水位の主要パラメータである圧力抑制室水位、原子炉格納容器下部水位、ドライウェル水位の計測が困難になった場合、代替パラメータにより原子炉格納容器内の水位を推定することができる。</p> <p>推定方法は、以下のとおりである。</p> <p>①外部水漏れによる注水流量 (高圧代替注水系ポンプ出口流量、残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量)、残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量)、直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量、原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量、高圧炉心スプレイスポンプ出口流量、原子炉格納容器代替スプレイス流量、原子炉格納容器下部注水流量)</p> <p>圧力抑制室水位の監視が不可能となった場合には、図58-8-11を用いて直前まで判明していた圧力抑制室水位に相当するプール水体積に外部水漏れを用いた注水量 (高圧代替注水系ポンプ出口流量、残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量)、残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量)、直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量、原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量、高圧炉心スプレイスポンプ出口流量、原子炉格納容器代替スプレイス流量、原子炉格納容器下部注水流量)を加算し圧力抑制室水位を推定する。</p> <p>推定可能範囲の目安：通常水位<math>\sim</math>5m</p>  <p>図58-8-11 圧力抑制室水位とプール水の体積の関係</p> <p>②残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量)、残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量)、原子炉格納容器代替スプレイス流量、代替循環冷却ポンプ出口流量、原子炉格納容器下部注水流量、原子炉格納容器下部水位及びドライウェル水位の監視が不可能となった場合には、残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量)、残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量)、原子炉格納容器代替スプレイス流量、代替循環冷却ポンプ出口流量及び原子炉格納容器下部注水流量から注水量を算出し、図58-8-12を用いて水位を推定する。</p> <p>推定可能範囲：0m<math>\sim</math>約4.1m</p> <p>推定方法</p>	<p>原子炉格納容器内の水位 (1) の主要パラメータである格納容器再循環サンプ水位 (広域) の計測が不可能となった場合、測定範囲内であれば、格納容器再循環サンプ水位 (狭域) 又は原子炉下部キャビティ水位及び格納容器水位並びに注水源である燃料取扱用水ピット水位、補助給水ピット水位、B系格納容器スプレイス冷却器出口積算流量 (AM用) 及び代替格納容器スプレイスポンプ出口積算流量により、原子炉格納容器内の水位を推定する。この推定方法では、計測範囲内であれば、相関関係があり連続的な監視のできる格納容器再循環サンプ水位 (狭域) を優先して使用し推定する。なお、溶融炉心の冷却に必要な水位を確認する場合は、格納容器水位及び原子炉下部キャビティ水位により確認する。また、注水量による原子炉格納容器内水位の推定は、炉心注水及び格納容器スプレイスでの注水量の合計値と水位の相関関係により推定する。</p> <p>原子炉格納容器内の水位 (1) の主要パラメータである格納容器再循環サンプ水位 (狭域) の計測が不可能となった場合、代替パラメータである格納容器再循環サンプ水位 (広域) により、広域水位と狭域水位の相関図を用いて推定する。</p> <p>推定方法は、以下のとおりである。</p> <p>①格納容器再循環サンプ水位 (狭域) 及び格納容器再循環サンプ水位 (広域) 格納容器再循環サンプ水位 (狭域) と格納容器再循環サンプ水位 (広域) の相関図を用いて、その対応から水位を推定する。</p>  <p>第20図 格納容器再循環サンプ水位狭域水位と広域水位の相関図</p> <p>②原子炉下部キャビティ水位及び格納容器水位</p> <p>原子炉下部キャビティ水位が液面を感知する水位、格納容器水位が液面を感知する水位と格納容器再循環サンプ水位 (広域) の相関を用いて、その対応から水位を推定する。</p>	<p>相違理由</p>

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>②原子炉下部キャビティ水位                      原子炉格納容器内への注水量と原子炉格納容器内の水位の関係を用いて、水位を推定する。</p>  <p>③原子炉格納容器水位                      原子炉格納容器内への注水量と原子炉格納容器内の水位の関係を用いて、水位を推定する。(②と同様)</p>	<p>推定方法</p>  <p>図58-8-12 原子炉格納容器水位と注水量の関係</p> <p>②復水貯蔵タンク水位                      復水貯蔵タンクを水源としている場合は、復水貯蔵タンク水位の変化量から圧力制御室水位を推定する。復水貯蔵タンクに淡水や海水を補給している場合は、補給に使用したポンプの性能並びに運転時間により算出した注水量を考慮する。なお、原子炉格納容器への注水状況を原子炉格納容器内の圧力及び温度にて併せて確認する。</p> <p>③外部水源による注水量 (高圧代替注水系ポンプ出口流量、残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量)、残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量)、復水貯蔵タンク注水系ポンプ出口流量、原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量、高圧中心スプレイレイン系ポンプ出口流量、原子炉格納容器代替スプレイレイン流量、原子炉格納容器下部注水流量)                      外部水源による注水量を用いた推定方法は、注水量による推定であり、プラント状態に影響を受けるものではないため、プラント状態に依存することなく適用可能である。</p> <p>④残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量)、残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量)、原子炉格納容器代替スプレイレイン流量、代替循環冷却ポンプ出口流量、原子炉格納容器下部注水流量、残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量)、残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量)、原子炉格納容器代替スプレイレイン流量、代替循環冷却ポンプ出口流量及び原子炉格納容器下部注水流量による推定方法は、注水量による推定であり、プラント状態に影響を受けるものではないため、プラント状態に依存することなく適用可能である。</p> <p>⑤復水貯蔵タンク水位                      復水貯蔵タンク水位による推定方法は、復水貯蔵タンクを水源として使用し、かつ、復水貯蔵タンクを水源とした他の水源への使用量が把握できる場合に適用できる。                      上記の推定方法は、注水流量及び水源の水位変化から算出した水量がすべてサブプレッションチャンセルへ移行する事を想定しており、圧力制御室水位の計測目的であるサブプレッションチャンセルからのベント操作を判断 (通常運転水位+約2mを把握すること) から考えると保守的な評価となることから問題ない。</p> <p>[断熱による影響について]                      原子炉格納容器内の水位を監視する目的は、サブプレッションチャンセルからのベントを実施する際の圧力制御室水位の確認及び崩壊炉心・コンクリート相互作用を防止するための原子炉格納容器下部への注水量を把握することであり、代替パラメータ (外部水源による注水流量) による推定は、注水設備による原子炉格納容器への注水量から注水水位の傾向が把握</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p>	<p>推定方法</p> <p>③燃料取替用水ビット水位、補助給水ビット水位、B-格納容器スプレイレイン冷却器出口積算流量 (AM用) 及び代替格納容器スプレイレイン出口積算流量                      ・燃料取替用水ビット水位                      燃料取替用水ビットの水位容量曲線を用いて、水位の変化量から注水した水量を算出し、それを基に、原子炉格納容器内への注水量と原子炉格納容器内の水位の関係を用いて、水位を推定する。</p> <p>推定可能範囲：各注水流量の計測範囲</p>  <p>第21図 燃料取替用水ビットの水位と水量の相関図</p>	



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>①格納容器再循環サンプ水位 (狭域)                      格納容器再循環サンプ水位 (狭域) による推定方法は、格納容器再循環サンプ水位 (広域) と針測範囲が重複している範囲内において同等の針測が可能であり、プラント状態に依存することなく適用可能である。                      なお、格納容器再循環サンプ水位 (広域) と比して針測範囲が限定されるものの、格納容器再循環サンプ水位 (狭域) を監視することで原子炉格納容器への注水操作の成否を判断でき、推定することができる。</p> <p>②原子炉下部キャビティ水位                      原子炉下部キャビティ水位による推定方法は、プラント状態に依存することなく適用可能である。原子炉下部キャビティ水位が液面を感知するまで水位が上昇しているかどうかにより、原子炉格納容器への注水操作の成否を判断でき、推定することができる。</p> <p>③原子炉格納容器水位                      原子炉格納容器水位による推定方法は、プラント状態に依存することなく適用可能である。原子炉格納容器水位が液面を感知するまで水位が上昇しているかどうかにより、原子炉格納容器への注水操作の成否を判断でき、推定することができる。</p> <p>以上より、本推定方法を原子炉格納容器内の水位を推定する手段として用いることは可能であり、原子炉格納容器の水溜りの状態の確認において妥当なものである。                      これらの代替パラメータによる推定で、格納容器破損防止対策を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p>	<p>図で、計器誤差 (高圧代替注水系ポンプ出口流量の誤差: <math>\pm 1.9\text{m}^3/\text{h}</math>、残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量) の誤差: <math>\pm 3.6\text{m}^3/\text{h}</math>、残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量) の誤差: <math>\pm 3.6\text{m}^3/\text{h}</math>、直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量の誤差: <math>\pm 1.6\text{m}^3/\text{h}</math>、原子炉隔離時冷却ポンプ出口流量の誤差: <math>\pm 2.4\text{m}^3/\text{h}</math>、高圧炉心スプレイレイン系ポンプ出口流量の誤差: <math>\pm 2.4\text{m}^3/\text{h}</math>、原子炉格納容器代替スプレイレイン流量の誤差: <math>\pm 1.6\text{m}^3/\text{h}</math>、原子炉格納容器下部注水流量の誤差: <math>\pm 1.8\text{m}^3/\text{h}</math>) を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。                      (サプレッションチェンジャー底部から3.5m (通常水位) において、外部水溜りによる注水流量の誤差から、1時間運転時の圧力抑制室水位に換算した場合の誤差は約<math>\pm 0.04\text{m}</math>である。)</p> <p>代替パラメータ (残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量)、残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量)、原子炉格納容器下部注水流量、原子炉格納容器代替スプレイレイン流量、代替循環冷却ポンプ出口流量) による推定は、注水設備による原子炉格納容器への注水量から注水先の水位の傾向が把握でき、計器誤差 (残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量) の誤差: <math>\pm 3.6\text{m}^3/\text{h}</math>、残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量) の誤差: <math>\pm 3.6\text{m}^3/\text{h}</math>、原子炉格納容器下部注水流量の誤差: <math>\pm 1.8\text{m}^3/\text{h}</math>、原子炉格納容器代替スプレイレイン流量の誤差: <math>\pm 1.6\text{m}^3/\text{h}</math>、代替循環冷却ポンプ出口流量の誤差: <math>\pm 3.2\text{m}^3/\text{h}</math>) を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。                      (原子炉格納容器代替スプレイレイン流量の誤差: 約<math>1.6\text{m}^3/\text{h}</math>から、原子炉格納容器下部水位に換算した場合の誤差は約<math>6.7\text{cm}/\text{h}</math>であり、有効性評価における<math>88\text{m}^3/\text{h}</math>、1時間で水溜りを想定すると誤差: 約<math>\pm 0.07\text{m}</math>、また、ドライウェル水位に換算した場合の誤差は約<math>0.4\text{cm}/\text{h}</math>であり、有効性評価における<math>88\text{m}^3/\text{h}</math>、0.9時間で水溜りを想定すると誤差: 約<math>\pm 0.00\text{m}</math>)                      代替パラメータ (復水貯蔵タンク水位) による推定は、水源の水位変化量から、注水先の水位の傾向が把握でき、計器誤差を考慮した上で対応することにより、重大事故等時の対策を実施することが可能である。(復水貯蔵タンク水位の誤差: <math>\pm 21\text{m}^3</math>)                      以上より、これらの代替パラメータによる推定で、炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p>	<p>・補助給水ビット水位                      補助給水ビットの水位容量曲線を用いて、水位の変化量から注水した水量を算出し、それに基づき、原子炉格納容器内への注水量と原子炉格納容器内の水位の関係を用いて、水位を推定する。</p> <p>推定可能範囲：各注水流量の計測範囲</p> <p>第22図 補助給水ビットの水位と水量の相関図</p> <p>・B系格納容器スプレイレイン冷却器出口積算流量 (AM用)、代替格納容器スプレイレインポンプ出口積算流量                      流量積算量に基づき、原子炉格納容器内への注水量と原子炉格納容器内の水位の関係を用いて、水位を推定する。</p> <p>推定可能範囲：各注水流量の計測範囲</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>推定方法</p> <p>第23図 原子炉格納容器の水位と水量の相関図</p>	<p>相違理由</p>
		<p>推定の評価</p> <p>①格納容器再循環サンプ水位 (狭域) 及び格納容器再循環サンプ水位 (広域)              ・格納容器再循環サンプ水位 (狭域)              格納容器再循環サンプ水位 (狭域) による推定方法は、格納容器再循環サンプ水位 (広域) と計測範囲が重複している範囲内において同等の計測が可能であり、プラント状態に依存することなく適用可能である。              なお、格納容器再循環サンプ水位 (広域) と比較して計測範囲が限定されるものの、格納容器再循環サンプ水位 (狭域) を監視することで原子炉格納容器への注水操作の成否を判断でき、推定することができる。</p> <p>・格納容器再循環サンプ水位 (広域)              格納容器再循環サンプ水位 (広域) による推定方法は、格納容器再循環サンプ水位 (狭域) と計測範囲が重複している範囲内において同等の計測が可能であり、プラント状態に依存することなく適用可能である。これにより、原子炉格納容器への注水操作の成否を判断でき、推定することができる。</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容  
 赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>②原子炉下部キャビティ水位及び格納容器水位                      原子炉下部キャビティ水位による推定方法は、プラント状態に依存することなく適用可能である。原子炉下部キャビティ水位が液面を感知するまで水位が上昇しているかどうかにより、原子炉格納容器への注水操作の成否を判断でき、推定することができる。                      格納容器水位による推定方法は、プラント状態に依存することなく適用可能である。格納容器水位が液面を感知するまで水位が上昇しているかどうかにより、原子炉格納容器への注水操作の成否を判断でき、推定することができる。</p> <p>③燃料取替用水ビット水位、補助給水ビット水位、B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）及び代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量                      水源の水位変化及び流量積算による推定方法は、プラント状態に依存することなく適用可能である。また、積算流量による推定方法は、当該流量計を使用するポンプにより注水している場合に適用可能である。</p> <p>〔誤差による影響について〕                      原子炉格納容器内の水位（1）を監視する目的は、溶融炉心・コンクリート相互作用を防止するための原子炉格納容器への注水量の確認であり、代替パラメータ（格納容器再循環サンプ水位（狭域）、格納容器再循環サンプ水位（広域）、原子炉下部キャビティ水位、格納容器水位）による推定は、同一物理量からの推定であり、計器誤差（格納容器再循環サンプ水位（狭域）の誤差：±1.5%、格納容器再循環サンプ水位（広域）の誤差：±2.0%、原子炉下部キャビティ水位の誤差：-0mm/+60mm、格納容器水位の誤差：-60mm/+0mm）を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>代替パラメータ（燃料取替用水ビット水位、補助給水ビット水位）による推定は、水源の水位変化量から、注水先の水位の傾向が把握でき、計器誤差（燃料取替用水ビット水位の誤差：±1.0%、補助給水ビット水位の誤差：±1.0%）を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>代替パラメータ（B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）、代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量）による推定は、注水設備による原子炉格納容器への注水量から注水先の水位の傾向が把握でき、計器誤差（B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）の誤差：±11.3m<sup>3</sup>/h、代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の誤差：±1.7m<sup>3</sup>/h）を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>以上より、これらの代替パラメータによる推定で、炉心損傷防止対策及び原子炉格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

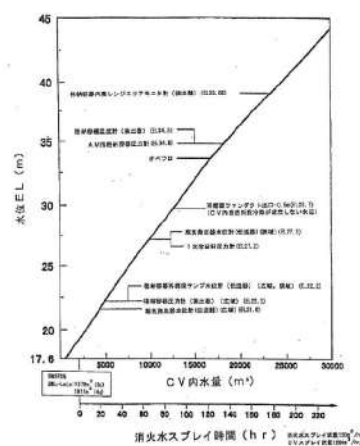
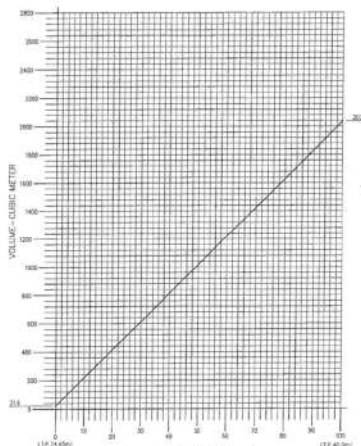
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																											
<p>(i) 主要パラメータの代替パラメータによる推定方法について</p> <table border="1" data-bbox="85 240 640 874"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">原子炉格納容器内の水位 (2)</th> </tr> <tr> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要パラメータ</td> <td>原子炉格納容器水位</td> <td>ON-OFF</td> <td>重大事故等時に使用する設備のため、設計基準事故時は値なし。</td> </tr> <tr> <td>代替パラメータ</td> <td colspan="3">①格納容器スプレイ積算流量 ②償却代替低圧注水積算流量</td> </tr> <tr> <td>計測目的</td> <td colspan="3">                     重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の水位 (2) を監視する目的は、原子炉格納容器内の重要機器及び計器の水没有無の確認である。                      特に重大事故において、原子炉格納容器へ流出した高圧の原子炉冷却材及び溶融炉心の崩壊熱等の熱によって発生した水蒸気、金属-水反応等によって発生した非凝縮性ガスの蓄積により、緩和措置が取られない場合には、原子炉格納容器圧力が緩慢に上昇し、原子炉格納容器の破損に至る。                      ここで緩和措置として実施する代替格納容器スプレイ等の注水量が増大すれば、計器等が水没する可能性があるため、主要パラメータにて原子炉格納容器内の水位を監視することが重要である。                 </td> </tr> <tr> <td>推定方法</td> <td colspan="3">                     原子炉格納容器内の水位の主要パラメータである原子炉格納容器水位の計測が困難になった場合、代替パラメータの格納容器スプレイ積算流量、償却代替低圧注水積算流量及び低圧スプレイ積算流量と格納容器内水量と格納容器水位との関係から原子炉格納容器内の水位を推定する。                 </td> </tr> </tbody> </table>	項目	原子炉格納容器内の水位 (2)			監視パラメータ	計測範囲	設計基準	主要パラメータ	原子炉格納容器水位	ON-OFF	重大事故等時に使用する設備のため、設計基準事故時は値なし。	代替パラメータ	①格納容器スプレイ積算流量 ②償却代替低圧注水積算流量			計測目的	重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の水位 (2) を監視する目的は、原子炉格納容器内の重要機器及び計器の水没有無の確認である。 特に重大事故において、原子炉格納容器へ流出した高圧の原子炉冷却材及び溶融炉心の崩壊熱等の熱によって発生した水蒸気、金属-水反応等によって発生した非凝縮性ガスの蓄積により、緩和措置が取られない場合には、原子炉格納容器圧力が緩慢に上昇し、原子炉格納容器の破損に至る。 ここで緩和措置として実施する代替格納容器スプレイ等の注水量が増大すれば、計器等が水没する可能性があるため、主要パラメータにて原子炉格納容器内の水位を監視することが重要である。			推定方法	原子炉格納容器内の水位の主要パラメータである原子炉格納容器水位の計測が困難になった場合、代替パラメータの格納容器スプレイ積算流量、償却代替低圧注水積算流量及び低圧スプレイ積算流量と格納容器内水量と格納容器水位との関係から原子炉格納容器内の水位を推定する。				<p>(i) 主要パラメータの代替パラメータ (他チャンネル及び他ループを除く) による推定方法について (原子炉格納容器内の水位 (2))</p> <table border="1" data-bbox="1258 240 1814 1050"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">原子炉格納容器内の水位 (2)</th> </tr> <tr> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要パラメータ</td> <td>格納容器水位 原子炉下部キャビティ水位</td> <td>ON-OFF</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">代替パラメータ</td> <td>①格納容器再循環サンプ水位 (広域) (原子炉下部キャビティ水位の代替)</td> <td>0~100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>①燃料取替用水ビット水位 (格納容器水位及び原子炉下部キャビティ水位の代替)</td> <td>0~100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>①補助給水ビット水位 (格納容器水位及び原子炉下部キャビティ水位の代替)</td> <td>0~100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>①B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) (格納容器水位及び原子炉下部キャビティ水位の代替)</td> <td>0~1,300m<sup>3</sup>/h (0~10,000m<sup>3</sup>)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>①代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 (格納容器水位及び原子炉下部キャビティ水位の代替)</td> <td>0~200m<sup>3</sup>/h (0~10,000m<sup>3</sup>)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>計測目的</td> <td colspan="3">                     重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の水位 (2) を監視する目的は、原子炉格納容器内の重要機器及び計器の水没有無の確認である。また、原子炉下部キャビティ水位を監視する目的は、原子炉下部キャビティへ溶融炉心冷却に必要な水量の有無の確認である。                 </td> </tr> <tr> <td>推定方法</td> <td colspan="3">                     原子炉格納容器内の水位 (2) の主要パラメータである格納容器水位の計測が不可能となった場合、代替パラメータの燃料取替用水ビット水位、補助給水ビット水位、B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) 及び代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により、原子炉格納容器内の水位を推定する。また、注水量による原子炉格納容器内水位の推定は、炉心注水及び格納容器スプレイでの注水量の合計値と水位の相関関係により推定する。                      原子炉格納容器内の水位 (2) の主要パラメータである原子炉下部キャビティ水位の計測が不可能となった場合、測定範囲内であれば、格納容器再循環サンプ水位 (広域) 又は注水源である燃料取替用水ビット水位、補助給水ビット水位、B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) 及び代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により、原子炉格納容器内の水位を推定する。この推定方法では、計測範囲内であれば、連続的な水位監視ができる格納容器再循                 </td> </tr> </tbody> </table>	項目	原子炉格納容器内の水位 (2)			監視パラメータ	計測範囲	設計基準	主要パラメータ	格納容器水位 原子炉下部キャビティ水位	ON-OFF	—	代替パラメータ	①格納容器再循環サンプ水位 (広域) (原子炉下部キャビティ水位の代替)	0~100%	100%	①燃料取替用水ビット水位 (格納容器水位及び原子炉下部キャビティ水位の代替)	0~100%	100%	①補助給水ビット水位 (格納容器水位及び原子炉下部キャビティ水位の代替)	0~100%	100%	①B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) (格納容器水位及び原子炉下部キャビティ水位の代替)	0~1,300m <sup>3</sup> /h (0~10,000m <sup>3</sup> )	—		①代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 (格納容器水位及び原子炉下部キャビティ水位の代替)	0~200m <sup>3</sup> /h (0~10,000m <sup>3</sup> )	—	計測目的	重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の水位 (2) を監視する目的は、原子炉格納容器内の重要機器及び計器の水没有無の確認である。また、原子炉下部キャビティ水位を監視する目的は、原子炉下部キャビティへ溶融炉心冷却に必要な水量の有無の確認である。			推定方法	原子炉格納容器内の水位 (2) の主要パラメータである格納容器水位の計測が不可能となった場合、代替パラメータの燃料取替用水ビット水位、補助給水ビット水位、B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) 及び代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により、原子炉格納容器内の水位を推定する。また、注水量による原子炉格納容器内水位の推定は、炉心注水及び格納容器スプレイでの注水量の合計値と水位の相関関係により推定する。 原子炉格納容器内の水位 (2) の主要パラメータである原子炉下部キャビティ水位の計測が不可能となった場合、測定範囲内であれば、格納容器再循環サンプ水位 (広域) 又は注水源である燃料取替用水ビット水位、補助給水ビット水位、B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) 及び代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により、原子炉格納容器内の水位を推定する。この推定方法では、計測範囲内であれば、連続的な水位監視ができる格納容器再循			
項目		原子炉格納容器内の水位 (2)																																																												
	監視パラメータ	計測範囲	設計基準																																																											
主要パラメータ	原子炉格納容器水位	ON-OFF	重大事故等時に使用する設備のため、設計基準事故時は値なし。																																																											
代替パラメータ	①格納容器スプレイ積算流量 ②償却代替低圧注水積算流量																																																													
計測目的	重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の水位 (2) を監視する目的は、原子炉格納容器内の重要機器及び計器の水没有無の確認である。 特に重大事故において、原子炉格納容器へ流出した高圧の原子炉冷却材及び溶融炉心の崩壊熱等の熱によって発生した水蒸気、金属-水反応等によって発生した非凝縮性ガスの蓄積により、緩和措置が取られない場合には、原子炉格納容器圧力が緩慢に上昇し、原子炉格納容器の破損に至る。 ここで緩和措置として実施する代替格納容器スプレイ等の注水量が増大すれば、計器等が水没する可能性があるため、主要パラメータにて原子炉格納容器内の水位を監視することが重要である。																																																													
推定方法	原子炉格納容器内の水位の主要パラメータである原子炉格納容器水位の計測が困難になった場合、代替パラメータの格納容器スプレイ積算流量、償却代替低圧注水積算流量及び低圧スプレイ積算流量と格納容器内水量と格納容器水位との関係から原子炉格納容器内の水位を推定する。																																																													
項目	原子炉格納容器内の水位 (2)																																																													
	監視パラメータ	計測範囲	設計基準																																																											
主要パラメータ	格納容器水位 原子炉下部キャビティ水位	ON-OFF	—																																																											
代替パラメータ	①格納容器再循環サンプ水位 (広域) (原子炉下部キャビティ水位の代替)	0~100%	100%																																																											
	①燃料取替用水ビット水位 (格納容器水位及び原子炉下部キャビティ水位の代替)	0~100%	100%																																																											
	①補助給水ビット水位 (格納容器水位及び原子炉下部キャビティ水位の代替)	0~100%	100%																																																											
	①B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) (格納容器水位及び原子炉下部キャビティ水位の代替)	0~1,300m <sup>3</sup> /h (0~10,000m <sup>3</sup> )	—																																																											
	①代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 (格納容器水位及び原子炉下部キャビティ水位の代替)	0~200m <sup>3</sup> /h (0~10,000m <sup>3</sup> )	—																																																											
計測目的	重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の水位 (2) を監視する目的は、原子炉格納容器内の重要機器及び計器の水没有無の確認である。また、原子炉下部キャビティ水位を監視する目的は、原子炉下部キャビティへ溶融炉心冷却に必要な水量の有無の確認である。																																																													
推定方法	原子炉格納容器内の水位 (2) の主要パラメータである格納容器水位の計測が不可能となった場合、代替パラメータの燃料取替用水ビット水位、補助給水ビット水位、B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) 及び代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により、原子炉格納容器内の水位を推定する。また、注水量による原子炉格納容器内水位の推定は、炉心注水及び格納容器スプレイでの注水量の合計値と水位の相関関係により推定する。 原子炉格納容器内の水位 (2) の主要パラメータである原子炉下部キャビティ水位の計測が不可能となった場合、測定範囲内であれば、格納容器再循環サンプ水位 (広域) 又は注水源である燃料取替用水ビット水位、補助給水ビット水位、B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) 及び代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により、原子炉格納容器内の水位を推定する。この推定方法では、計測範囲内であれば、連続的な水位監視ができる格納容器再循																																																													



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>① 格納容器スプレイ積算流量                      原子炉格納容器内への注水量と原子炉格納容器内の水位の関係を用いて、水位を推定する。</p> <p style="text-align: center;">C V内注水量、水位、計器位置の関係</p>  <p>② 恒設代替貯留注水積算流量                      原子炉格納容器内への注水量と原子炉格納容器内の水位の関係を用いて、水位を推定する。(①と同様)</p>		<p>環サンプ水位 (広域) を優先して使用し推定する。また、注水量による原子炉格納容器内水位の推定は、炉心注水及び格納容器スプレイでの注水量の合計値と水位の相関関係により推定する。</p> <p>推定方法は、以下のとおりである。</p> <p>①格納容器再循環サンプ水位 (広域)                      原子炉格納容器内への注水量と原子炉格納容器内の水位の関係を用いて、水位を推定する。</p> <p>②燃料取替用水ビット水位、補助給水ビット水位、B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) 及び代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量・燃料取替用水ビット水位                      燃料取替用水ビットの水位容量曲線を用いて、水位の変化量から注水した水量を算出し、それを基に、原子炉格納容器内への注水量と原子炉格納容器内の水位の関係を用いて、水位を推定する。</p> <p>推定可能範囲：各注水流量の計測範囲</p>  <p>第24図 燃料取替用水ビットの水位と水量の相関図</p>	

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
<p>推定の詳細</p> <p>①格納容器スプレイ積算流量                  格納容器スプレイ積算流量による推定方法は、原子炉格納容器内への注水手段として A 格納容器スプレイポンプを使用している場合に適用可能である。本推定方法は、プラント状態に依存することなく適用できる。</p> <p>②低設代替低圧注水積算流量                  低設代替低圧注水積算流量及び格納容器スプレイ積算流量による推定方法は、原子炉格納容器内への注水手段として低設代替低圧注水ポンプを使用している場合に適用可能である。本推定方法は、プラント状態に依存することなく適用できる。</p> <p>以上より、本推定方法を原子炉圧力容器内の水位を推定する手段として用いることは可能であり、原子炉格納容器内の重要機器及び計器の水位有無の確認をする上で妥当である。                  これらの代替パラメータによる推定で、格納容器破損防止対策を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p>		<p>推定方法</p> <p>・補助給水ピット水位                  補助給水ピットの水位容量曲線を用いて、水位の変化量から注水した水量を算出し、それを基に、原子炉格納容器内への注水量と原子炉格納容器内の水位の関係を用いて、水位を推定する。</p> <p>推定可能範囲：各注水流量の計測範囲</p> <p>第 25 図 補助給水ピットの水位と水量の相関図</p>	

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
		<p>・ B - 格納容器スプレィ冷却器出口積算流量 (AM 用)、代替格納容器スプレィポンプ出口積算流量                  流量積算量を基に、原子格納容器内への注水量と原子格納容器内の水位の関係を用いて、水位を推定する。</p> <p>推定可能範囲：各注水流量の計測範囲</p> <p>第 26 図 原子格納容器の水位と水量の相関図</p>	

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
		<p>①格納容器再循環サンブ水位 (広域)                      格納容器再循環サンブ水位 (広域) による推定方法は、プラント状態に依存することなく適用可能である。                      格納容器再循環サンブ水位 (広域) の上昇傾向を監視することで原子炉格納容器への注水操作の成否を判断でき、推定することができる。</p> <p>②燃料取替用水ビット水位、補助給水ビット水位、B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM 用) 及び代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量                      水源の水位変化及び流量積算量による推定方法は、プラント状態に依存することなく適用可能である。また、積算流量による推定方法は、当該流量計を使用するポンプにより注水している場合に適用可能である。</p> <p>[誤差による影響について]                      原子炉格納容器内の水位 (2) を監視する目的は、原子炉格納容器内の重要機器及び計器の水没有無の確認、原子炉下部キャビティの溶融炉心冷却に必要な水量の有無の確認であり、代替パラメータ (格納容器再循環サンブ水位 (広域)) による推定は、同一物理量からの推定であり、計器誤差 (格納容器再循環サンブ水位 (広域) の誤差: ±2.0%) を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。                      代替パラメータ (燃料取替用水ビット水位、補助給水ビット水位) による推定は、水源の水位変化量から、注水先の水位の傾向が把握でき、計器誤差 (燃料取替用水ビット水位の誤差: ±1.0%、補助給水ビット水位の誤差: ±1.0%) を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。                      代替パラメータ (B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM 用)、代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量) による推定は、注水設備による原子炉格納容器への注水量から注水先の水位の傾向が把握でき、計器誤差 (B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM 用) の誤差: ±11.2m<sup>3</sup>/h、代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の誤差: ±1.7m<sup>3</sup>/h) を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>以上より、これらの代替パラメータによる推定で、炉心損傷防止対策及び原子炉格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p>	



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																									
(j) 主要パラメータの代替パラメータによる推定方法について	(i) 主要パラメータの代替パラメータ (他チャンネルを除く) による推定方法について (原子炉格納容器内の水素濃度)	(j) 主要パラメータの代替パラメータ (他チャンネル及び他グループを除く) による推定方法について (原子炉格納容器内の水素濃度)																																																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">原子炉格納容器内の水素濃度</th> </tr> <tr> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要パラメータ</td> <td>可搬型格納容器 水素ガス濃度</td> <td>0~20vol%</td> <td>重大事故等時に使用する設備のため、設計基準事故時は値なし。</td> </tr> <tr> <td>代替パラメータ</td> <td colspan="3">静的触媒式水素再結合装置温度監視装置 原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置</td> </tr> <tr> <td>計測目的</td> <td colspan="3">重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の水素濃度を監視する目的は、格納容器水素濃度が大規模な燃焼が生じる可能性が高い濃度にあるかどうかの確認である。 特に重大事故において、ジルコニウム-水反応等によって発生した水素が燃焼し燃焼した場合には、原子炉格納容器の破損に至る可能性がある。 ここで、原子炉格納容器の除熱が確立された場合にも、水素気が凝縮されることにより相対的な水素濃度が上昇することで水素が燃焼する可能性がある。 このため、事故時の対応手段を判断する上で格納容器内の水素濃度を監視することが重要である。</td> </tr> <tr> <td>推定方法</td> <td colspan="3">原子炉格納容器内の水素濃度の主要パラメータである可搬型格納容器内水素濃度計測装置の計測が困難になった場合、代替パラメータの静的触媒式水素再結合装置温度監視装置又は原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置により、原子炉格納容器内の水素濃度を推定する。  静的触媒式水素再結合装置温度監視装置及び原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置 原子炉格納容器内の水素濃度と静的触媒式水素再結合装置温度監視装置及び原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置の作動特性 (水素処理特性) の関係から、静的触媒式水素再結合装置温度監視装置及び原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置の作動状況を確認することにより、原子炉格納容器内の水素濃度が大規模な水素燃焼が生じない領域であるかを推定する。</td> </tr> </tbody> </table>	項目	原子炉格納容器内の水素濃度			監視パラメータ	計測範囲	設計基準	主要パラメータ	可搬型格納容器 水素ガス濃度	0~20vol%	重大事故等時に使用する設備のため、設計基準事故時は値なし。	代替パラメータ	静的触媒式水素再結合装置温度監視装置 原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置			計測目的	重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の水素濃度を監視する目的は、格納容器水素濃度が大規模な燃焼が生じる可能性が高い濃度にあるかどうかの確認である。 特に重大事故において、ジルコニウム-水反応等によって発生した水素が燃焼し燃焼した場合には、原子炉格納容器の破損に至る可能性がある。 ここで、原子炉格納容器の除熱が確立された場合にも、水素気が凝縮されることにより相対的な水素濃度が上昇することで水素が燃焼する可能性がある。 このため、事故時の対応手段を判断する上で格納容器内の水素濃度を監視することが重要である。			推定方法	原子炉格納容器内の水素濃度の主要パラメータである可搬型格納容器内水素濃度計測装置の計測が困難になった場合、代替パラメータの静的触媒式水素再結合装置温度監視装置又は原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置により、原子炉格納容器内の水素濃度を推定する。  静的触媒式水素再結合装置温度監視装置及び原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置 原子炉格納容器内の水素濃度と静的触媒式水素再結合装置温度監視装置及び原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置の作動特性 (水素処理特性) の関係から、静的触媒式水素再結合装置温度監視装置及び原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置の作動状況を確認することにより、原子炉格納容器内の水素濃度が大規模な水素燃焼が生じない領域であるかを推定する。			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">原子炉格納容器内の水素濃度</th> </tr> <tr> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要パラメータ</td> <td>格納容器内水素濃度 (D/W) 格納容器内水素濃度 (S/C) 格納容器内雰囲気水素濃度</td> <td>0~100vol% 0~100vol% 0~100vol%</td> <td>0~1.9vol% 0~1.0vol% 0~1.9vol%</td> </tr> <tr> <td>代替パラメータ</td> <td colspan="3">①格納容器内雰囲気水素濃度 (格納容器内水素濃度 (D/W)、格納容器内水素濃度 (S/C) の代替) ②格納容器内水素濃度 (S/C) (格納容器内雰囲気水素濃度の代替) ③格納容器内水素濃度 (D/W) (格納容器内雰囲気水素濃度の代替)</td> </tr> <tr> <td>計測目的</td> <td colspan="3">重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の水素濃度を監視する目的は、原子炉格納容器内の水素濃度が燃焼を生じる可能性の高い濃度にあるかどうかの確認である。 原子炉格納容器内の水素濃度の主要パラメータである格納容器内水素濃度 (D/W) の計測が困難になった場合、格納容器内雰囲気水素濃度により推定する。 原子炉格納容器内の水素濃度の主要パラメータである格納容器内水素濃度 (S/C) の計測が困難になった場合、格納容器内雰囲気水素濃度により推定する。 原子炉格納容器内の水素濃度の主要パラメータである格納容器内雰囲気水素濃度の計測が困難になった場合、格納容器内水素濃度 (D/W) 又は格納容器内水素濃度 (S/C) により推定する。</td> </tr> <tr> <td>推定方法</td> <td colspan="3">推定方法は、以下のとおりである。 ①格納容器内水素濃度 格納容器内水素濃度 (D/W) の計測が困難になった場合、代替パラメータの格納容器内雰囲気水素濃度により推定する。 格納容器内水素濃度 (S/C) の計測が困難になった場合、代替パラメータの格納容器内雰囲気水素濃度により推定する。 格納容器内雰囲気水素濃度の計測が困難になった場合、代替パラメータの格納容器内水素濃度 (D/W) 又は格納容器内水素濃度 (S/C) により推定する。</td> </tr> <tr> <td>推定の評価</td> <td colspan="3">①格納容器内水素濃度 (D/W)、格納容器内水素濃度 (S/C) 及び格納容器内雰囲気水素濃度 (格納容器内水素濃度 (D/W)、格納容器内水素濃度 (S/C) 又は格納容器内雰囲気水素濃度) による推定は、原則的に原子炉格納容器内の水素濃度を計測するものであり、それぞれ異なる計測原理で計測することから、推定方法として妥当である。  [鋼蓋による影響について] 原子炉格納容器内の水素濃度を監視する目的は、原子炉格納容器内の水素濃度が燃焼を生じる可能性の高い濃度にあるかどうかを把握することであり、代替パラメータ (格納容器内水素濃度 (D/W)、格納容器内水素濃度 (S/C)、格納容器内雰囲気水素濃度) による推定は、同一物理量からの推定であり、原子炉格納容器内の水素濃度の傾向が把握でき、計器誤差 (格納容器内水素濃度 (D/W) の誤差: ±2.0vol%、格納容器内水素濃度 (S/C) の誤差: ±2.0vol%、格納容器内雰囲気水素濃度の誤差: ±0.6vol% (0~30vol%)、±2.0vol% (0~100vol%)) を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。  以上より、これらの代替パラメータによる推定で、格納容器破損防止対策を成功させるために必要な状態を推定することができる。</td> </tr> </tbody> </table>	項目	原子炉格納容器内の水素濃度			監視パラメータ	計測範囲	設計基準	主要パラメータ	格納容器内水素濃度 (D/W) 格納容器内水素濃度 (S/C) 格納容器内雰囲気水素濃度	0~100vol% 0~100vol% 0~100vol%	0~1.9vol% 0~1.0vol% 0~1.9vol%	代替パラメータ	①格納容器内雰囲気水素濃度 (格納容器内水素濃度 (D/W)、格納容器内水素濃度 (S/C) の代替) ②格納容器内水素濃度 (S/C) (格納容器内雰囲気水素濃度の代替) ③格納容器内水素濃度 (D/W) (格納容器内雰囲気水素濃度の代替)			計測目的	重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の水素濃度を監視する目的は、原子炉格納容器内の水素濃度が燃焼を生じる可能性の高い濃度にあるかどうかの確認である。 原子炉格納容器内の水素濃度の主要パラメータである格納容器内水素濃度 (D/W) の計測が困難になった場合、格納容器内雰囲気水素濃度により推定する。 原子炉格納容器内の水素濃度の主要パラメータである格納容器内水素濃度 (S/C) の計測が困難になった場合、格納容器内雰囲気水素濃度により推定する。 原子炉格納容器内の水素濃度の主要パラメータである格納容器内雰囲気水素濃度の計測が困難になった場合、格納容器内水素濃度 (D/W) 又は格納容器内水素濃度 (S/C) により推定する。			推定方法	推定方法は、以下のとおりである。 ①格納容器内水素濃度 格納容器内水素濃度 (D/W) の計測が困難になった場合、代替パラメータの格納容器内雰囲気水素濃度により推定する。 格納容器内水素濃度 (S/C) の計測が困難になった場合、代替パラメータの格納容器内雰囲気水素濃度により推定する。 格納容器内雰囲気水素濃度の計測が困難になった場合、代替パラメータの格納容器内水素濃度 (D/W) 又は格納容器内水素濃度 (S/C) により推定する。			推定の評価	①格納容器内水素濃度 (D/W)、格納容器内水素濃度 (S/C) 及び格納容器内雰囲気水素濃度 (格納容器内水素濃度 (D/W)、格納容器内水素濃度 (S/C) 又は格納容器内雰囲気水素濃度) による推定は、原則的に原子炉格納容器内の水素濃度を計測するものであり、それぞれ異なる計測原理で計測することから、推定方法として妥当である。  [鋼蓋による影響について] 原子炉格納容器内の水素濃度を監視する目的は、原子炉格納容器内の水素濃度が燃焼を生じる可能性の高い濃度にあるかどうかを把握することであり、代替パラメータ (格納容器内水素濃度 (D/W)、格納容器内水素濃度 (S/C)、格納容器内雰囲気水素濃度) による推定は、同一物理量からの推定であり、原子炉格納容器内の水素濃度の傾向が把握でき、計器誤差 (格納容器内水素濃度 (D/W) の誤差: ±2.0vol%、格納容器内水素濃度 (S/C) の誤差: ±2.0vol%、格納容器内雰囲気水素濃度の誤差: ±0.6vol% (0~30vol%)、±2.0vol% (0~100vol%)) を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。  以上より、これらの代替パラメータによる推定で、格納容器破損防止対策を成功させるために必要な状態を推定することができる。			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">原子炉格納容器内の水素濃度</th> </tr> <tr> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要パラメータ</td> <td>格納容器内水素濃度</td> <td>0 ~ 20vol%</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>代替パラメータ</td> <td colspan="3">①原子炉格納容器内水素処理装置温度 ②格納容器水素イグナイタ温度 ③ [ガス分析計による水素濃度]</td> </tr> <tr> <td>計測目的</td> <td colspan="3">重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の水素濃度を監視する目的は、原子炉格納容器内の水素濃度が大規模な燃焼が生じる可能性の高い濃度にあるかどうかの確認である。</td> </tr> <tr> <td>推定方法</td> <td colspan="3">原子炉格納容器内の水素濃度の主要パラメータである格納容器内水素濃度の計測が不可能となった場合、代替パラメータの原子炉格納容器内水素処理装置温度、格納容器水素イグナイタ温度又はガス分析計による水素濃度 (自主対策設備) により原子炉格納容器内の水素濃度を推定する。  推定方法は、以下のとおりである。 ①原子炉格納容器内水素処理装置温度及び格納容器水素イグナイタ温度 原子炉格納容器内水素処理装置及び格納容器水素イグナイタの動作時の温度特性から、原子炉格納容器内水素処理装置及び格納容器水素イグナイタの作動状況を確認することにより、原子炉格納容器内の水素濃度が大規模な水素燃焼が生じない領域であるかを推定する。 ② [ガス分析計による水素濃度] 自主対策設備であるガス分析器が使用可能であれば、本分析器は水分を除いた各ガス組成について計測可能であり、直接ドライ水素濃度が確認できるため、ガス分析計による水素濃度 (自主対策設備) の結果に基づき水素濃度を監視する。</td> </tr> </tbody> </table>	項目	原子炉格納容器内の水素濃度			監視パラメータ	計測範囲	設計基準	主要パラメータ	格納容器内水素濃度	0 ~ 20vol%	—	代替パラメータ	①原子炉格納容器内水素処理装置温度 ②格納容器水素イグナイタ温度 ③ [ガス分析計による水素濃度]			計測目的	重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の水素濃度を監視する目的は、原子炉格納容器内の水素濃度が大規模な燃焼が生じる可能性の高い濃度にあるかどうかの確認である。			推定方法	原子炉格納容器内の水素濃度の主要パラメータである格納容器内水素濃度の計測が不可能となった場合、代替パラメータの原子炉格納容器内水素処理装置温度、格納容器水素イグナイタ温度又はガス分析計による水素濃度 (自主対策設備) により原子炉格納容器内の水素濃度を推定する。  推定方法は、以下のとおりである。 ①原子炉格納容器内水素処理装置温度及び格納容器水素イグナイタ温度 原子炉格納容器内水素処理装置及び格納容器水素イグナイタの動作時の温度特性から、原子炉格納容器内水素処理装置及び格納容器水素イグナイタの作動状況を確認することにより、原子炉格納容器内の水素濃度が大規模な水素燃焼が生じない領域であるかを推定する。 ② [ガス分析計による水素濃度] 自主対策設備であるガス分析器が使用可能であれば、本分析器は水分を除いた各ガス組成について計測可能であり、直接ドライ水素濃度が確認できるため、ガス分析計による水素濃度 (自主対策設備) の結果に基づき水素濃度を監視する。			
項目		原子炉格納容器内の水素濃度																																																																										
	監視パラメータ	計測範囲	設計基準																																																																									
主要パラメータ	可搬型格納容器 水素ガス濃度	0~20vol%	重大事故等時に使用する設備のため、設計基準事故時は値なし。																																																																									
代替パラメータ	静的触媒式水素再結合装置温度監視装置 原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置																																																																											
計測目的	重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の水素濃度を監視する目的は、格納容器水素濃度が大規模な燃焼が生じる可能性が高い濃度にあるかどうかの確認である。 特に重大事故において、ジルコニウム-水反応等によって発生した水素が燃焼し燃焼した場合には、原子炉格納容器の破損に至る可能性がある。 ここで、原子炉格納容器の除熱が確立された場合にも、水素気が凝縮されることにより相対的な水素濃度が上昇することで水素が燃焼する可能性がある。 このため、事故時の対応手段を判断する上で格納容器内の水素濃度を監視することが重要である。																																																																											
推定方法	原子炉格納容器内の水素濃度の主要パラメータである可搬型格納容器内水素濃度計測装置の計測が困難になった場合、代替パラメータの静的触媒式水素再結合装置温度監視装置又は原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置により、原子炉格納容器内の水素濃度を推定する。  静的触媒式水素再結合装置温度監視装置及び原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置 原子炉格納容器内の水素濃度と静的触媒式水素再結合装置温度監視装置及び原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置の作動特性 (水素処理特性) の関係から、静的触媒式水素再結合装置温度監視装置及び原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置の作動状況を確認することにより、原子炉格納容器内の水素濃度が大規模な水素燃焼が生じない領域であるかを推定する。																																																																											
項目	原子炉格納容器内の水素濃度																																																																											
	監視パラメータ	計測範囲	設計基準																																																																									
主要パラメータ	格納容器内水素濃度 (D/W) 格納容器内水素濃度 (S/C) 格納容器内雰囲気水素濃度	0~100vol% 0~100vol% 0~100vol%	0~1.9vol% 0~1.0vol% 0~1.9vol%																																																																									
代替パラメータ	①格納容器内雰囲気水素濃度 (格納容器内水素濃度 (D/W)、格納容器内水素濃度 (S/C) の代替) ②格納容器内水素濃度 (S/C) (格納容器内雰囲気水素濃度の代替) ③格納容器内水素濃度 (D/W) (格納容器内雰囲気水素濃度の代替)																																																																											
計測目的	重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の水素濃度を監視する目的は、原子炉格納容器内の水素濃度が燃焼を生じる可能性の高い濃度にあるかどうかの確認である。 原子炉格納容器内の水素濃度の主要パラメータである格納容器内水素濃度 (D/W) の計測が困難になった場合、格納容器内雰囲気水素濃度により推定する。 原子炉格納容器内の水素濃度の主要パラメータである格納容器内水素濃度 (S/C) の計測が困難になった場合、格納容器内雰囲気水素濃度により推定する。 原子炉格納容器内の水素濃度の主要パラメータである格納容器内雰囲気水素濃度の計測が困難になった場合、格納容器内水素濃度 (D/W) 又は格納容器内水素濃度 (S/C) により推定する。																																																																											
推定方法	推定方法は、以下のとおりである。 ①格納容器内水素濃度 格納容器内水素濃度 (D/W) の計測が困難になった場合、代替パラメータの格納容器内雰囲気水素濃度により推定する。 格納容器内水素濃度 (S/C) の計測が困難になった場合、代替パラメータの格納容器内雰囲気水素濃度により推定する。 格納容器内雰囲気水素濃度の計測が困難になった場合、代替パラメータの格納容器内水素濃度 (D/W) 又は格納容器内水素濃度 (S/C) により推定する。																																																																											
推定の評価	①格納容器内水素濃度 (D/W)、格納容器内水素濃度 (S/C) 及び格納容器内雰囲気水素濃度 (格納容器内水素濃度 (D/W)、格納容器内水素濃度 (S/C) 又は格納容器内雰囲気水素濃度) による推定は、原則的に原子炉格納容器内の水素濃度を計測するものであり、それぞれ異なる計測原理で計測することから、推定方法として妥当である。  [鋼蓋による影響について] 原子炉格納容器内の水素濃度を監視する目的は、原子炉格納容器内の水素濃度が燃焼を生じる可能性の高い濃度にあるかどうかを把握することであり、代替パラメータ (格納容器内水素濃度 (D/W)、格納容器内水素濃度 (S/C)、格納容器内雰囲気水素濃度) による推定は、同一物理量からの推定であり、原子炉格納容器内の水素濃度の傾向が把握でき、計器誤差 (格納容器内水素濃度 (D/W) の誤差: ±2.0vol%、格納容器内水素濃度 (S/C) の誤差: ±2.0vol%、格納容器内雰囲気水素濃度の誤差: ±0.6vol% (0~30vol%)、±2.0vol% (0~100vol%)) を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。  以上より、これらの代替パラメータによる推定で、格納容器破損防止対策を成功させるために必要な状態を推定することができる。																																																																											
項目	原子炉格納容器内の水素濃度																																																																											
	監視パラメータ	計測範囲	設計基準																																																																									
主要パラメータ	格納容器内水素濃度	0 ~ 20vol%	—																																																																									
代替パラメータ	①原子炉格納容器内水素処理装置温度 ②格納容器水素イグナイタ温度 ③ [ガス分析計による水素濃度]																																																																											
計測目的	重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の水素濃度を監視する目的は、原子炉格納容器内の水素濃度が大規模な燃焼が生じる可能性の高い濃度にあるかどうかの確認である。																																																																											
推定方法	原子炉格納容器内の水素濃度の主要パラメータである格納容器内水素濃度の計測が不可能となった場合、代替パラメータの原子炉格納容器内水素処理装置温度、格納容器水素イグナイタ温度又はガス分析計による水素濃度 (自主対策設備) により原子炉格納容器内の水素濃度を推定する。  推定方法は、以下のとおりである。 ①原子炉格納容器内水素処理装置温度及び格納容器水素イグナイタ温度 原子炉格納容器内水素処理装置及び格納容器水素イグナイタの動作時の温度特性から、原子炉格納容器内水素処理装置及び格納容器水素イグナイタの作動状況を確認することにより、原子炉格納容器内の水素濃度が大規模な水素燃焼が生じない領域であるかを推定する。 ② [ガス分析計による水素濃度] 自主対策設備であるガス分析器が使用可能であれば、本分析器は水分を除いた各ガス組成について計測可能であり、直接ドライ水素濃度が確認できるため、ガス分析計による水素濃度 (自主対策設備) の結果に基づき水素濃度を監視する。																																																																											
<table border="1"> <tbody> <tr> <td>推定の評価</td> <td>静的触媒式水素再結合装置温度監視装置及び原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置 静的触媒式水素再結合装置温度監視装置及び原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置の作動状況を確認することにより、原子炉格納容器内の水素濃度が大規模な水素燃焼が生じない領域であるかを推定できる。原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置は水素濃度を0% (wet) 以下に抑える機能があり、事象進展に伴い原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置の作動が収束した状態では、原子炉格納容器内の水素発生が低減しており、以降は静的触媒式水素再結合装置温度監視装置により水素濃度低減が可能であるため、大規模な水素燃焼が生じない領域であると判断できる。  以上より、水素燃焼を防止する観点において、本推定方法は原子炉格納容器内の水素濃度を推定する手段として用いることは可能であり、原子炉格納容器内の水素濃度が大規模な燃焼が生じる可能性が高い濃度にあるかどうかを確認する上で妥当である。 本代替パラメータによる推定で、格納容器破損防止対策を成功させるために必要な状態を推定することができる。</td> </tr> </tbody> </table>	推定の評価	静的触媒式水素再結合装置温度監視装置及び原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置 静的触媒式水素再結合装置温度監視装置及び原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置の作動状況を確認することにより、原子炉格納容器内の水素濃度が大規模な水素燃焼が生じない領域であるかを推定できる。原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置は水素濃度を0% (wet) 以下に抑える機能があり、事象進展に伴い原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置の作動が収束した状態では、原子炉格納容器内の水素発生が低減しており、以降は静的触媒式水素再結合装置温度監視装置により水素濃度低減が可能であるため、大規模な水素燃焼が生じない領域であると判断できる。  以上より、水素燃焼を防止する観点において、本推定方法は原子炉格納容器内の水素濃度を推定する手段として用いることは可能であり、原子炉格納容器内の水素濃度が大規模な燃焼が生じる可能性が高い濃度にあるかどうかを確認する上で妥当である。 本代替パラメータによる推定で、格納容器破損防止対策を成功させるために必要な状態を推定することができる。																																																																										
推定の評価	静的触媒式水素再結合装置温度監視装置及び原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置 静的触媒式水素再結合装置温度監視装置及び原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置の作動状況を確認することにより、原子炉格納容器内の水素濃度が大規模な水素燃焼が生じない領域であるかを推定できる。原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置は水素濃度を0% (wet) 以下に抑える機能があり、事象進展に伴い原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置の作動が収束した状態では、原子炉格納容器内の水素発生が低減しており、以降は静的触媒式水素再結合装置温度監視装置により水素濃度低減が可能であるため、大規模な水素燃焼が生じない領域であると判断できる。  以上より、水素燃焼を防止する観点において、本推定方法は原子炉格納容器内の水素濃度を推定する手段として用いることは可能であり、原子炉格納容器内の水素濃度が大規模な燃焼が生じる可能性が高い濃度にあるかどうかを確認する上で妥当である。 本代替パラメータによる推定で、格納容器破損防止対策を成功させるために必要な状態を推定することができる。																																																																											

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容  
 赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
		<p>①原子炉格納容器内水素処理装置温度及び格納容器水素イグナイタ温度                      原子炉格納容器内水素処理装置及び格納容器水素イグナイタの作動状況を確認することにより、原子炉格納容器内の水素濃度が大規模な水素燃焼が生じない領域であるか否かを確認できる。格納容器水素イグナイタは水素濃度を 8 vol% (wet) 以下に抑える機能があり、事象進展に伴い格納容器水素イグナイタの作動が収束した状態では、原子炉格納容器内の水素発生が低減しており、以降は原子炉格納容器内水素処理装置により水素濃度低減が可能であるため、大規模な水素燃焼が生じない領域であると判断できる。</p> <p>②〔ガス分析計による水素濃度〕                      ガス分析計による水素濃度 (自主対策設備) の推定は、直接的に原子炉格納容器内の水素濃度を計測するものであり、推定方法として妥当である。</p> <p>〔誤差による影響について〕                      原子炉格納容器内の水素濃度を監視する目的は、原子炉格納容器内の水素濃度が大規模な燃焼を生じる可能性の高い濃度にあるかどうかを把握することであり、代替パラメータ (原子炉格納容器内水素処理装置温度、格納容器水素イグナイタ温度) による推定は、装置の作動状況により水素濃度の傾向が把握でき、計器誤差 (原子炉格納容器内水素処理装置温度の誤差: ±12.3℃、格納容器水素イグナイタ温度の誤差: ±12.3℃) を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>代替パラメータ (ガス分析計による水素濃度 (自主対策設備)) による推定は、同一物理量からの推定であり、原子炉格納容器内の水素濃度の傾向が把握でき、計器誤差を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>以上より、これらの代替パラメータによる推定で、原子炉格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p>	




灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																						
		<p>(k) 主要パラメータの代替パラメータ (他チャンネル及び他ループを除く) による推定方法について (アンユラス部の水素濃度)</p> <table border="1" data-bbox="1256 233 1812 421"> <thead> <tr> <th colspan="4">アンユラス部の水素濃度</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">主要パラメータ</td> <td>アンユラス水素濃度 (可搬型)</td> <td>0 ~ 20vol%</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>[アンユラス水素濃度]</td> <td>0 ~ 20vol%</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">代替パラメータ</td> <td>① [アンユラス水素濃度] (アンユラス水素濃度 (可搬型) の代替)</td> <td>0 ~ 20vol%</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>② アンユラス水素濃度 (可搬型) ([アンユラス水素濃度] の代替)</td> <td>0 ~ 20vol%</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>計測目的                      重大事故等時において、主要パラメータにてアンユラス部の水素濃度を監視する目的は、原子炉格納容器からの水素漏えいがあるかどうかの確認である。</p> <p>推定方法                      アンユラス部の水素濃度の主要パラメータであるアンユラス水素濃度 (可搬型) の監視が不可能となった場合、監視可能であれば、アンユラス水素濃度 (自主対策設備) により推定する。                      アンユラス部の水素濃度の主要パラメータであるアンユラス水素濃度 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合、アンユラス水素濃度 (可搬型) により推定する。                      推定方法は、以下のとおりである。                      ① [アンユラス水素濃度]                      自主対策設備であるアンユラス水素濃度が使用可能であれば、アンユラス水素濃度 (自主対策設備) により推定する。アンユラス部の温度や放射線等の環境条件により指示値に影響があるため、参考値として扱う。                      ② アンユラス水素濃度 (可搬型)                      アンユラス水素濃度 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合には、アンユラス水素濃度 (可搬型) により推定する。</p> <p>推定の評価                      ① [アンユラス水素濃度]                      アンユラス水素濃度 (自主対策設備) による推定は、直接的にアンユラス部の水素濃度を計測するものであり、推定方法として妥当である。                      ② アンユラス水素濃度 (可搬型)                      アンユラス水素濃度 (可搬型) による推定は、直接的にアンユラス部の水素濃度を計測するものであり、推定方法として妥当である。</p> <p>推定の評価                      [誤差による影響について]                      アンユラス部の水素濃度を監視する目的は、原子炉格納容器からの水素漏えいを把握することであり、代替パラメータ (アンユラス水素濃度 (自主対策設備))、アンユラス水素濃度 (可搬型) による推定は、同一物理量からの推定であり、アンユラス部の水素濃度の傾向を把握でき、計器誤差 (アンユラス水素濃度 (可搬型) の誤差: ±1.15vol%) を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。                      以上より、これらの代替パラメータによる推定で、炉心損傷防止対策及び原子炉格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p>	アンユラス部の水素濃度				項目	監視パラメータ	計測範囲	設計基準	主要パラメータ	アンユラス水素濃度 (可搬型)	0 ~ 20vol%	—	[アンユラス水素濃度]	0 ~ 20vol%	—	代替パラメータ	① [アンユラス水素濃度] (アンユラス水素濃度 (可搬型) の代替)	0 ~ 20vol%	—	② アンユラス水素濃度 (可搬型) ([アンユラス水素濃度] の代替)	0 ~ 20vol%	—	
アンユラス部の水素濃度																									
項目	監視パラメータ	計測範囲	設計基準																						
主要パラメータ	アンユラス水素濃度 (可搬型)	0 ~ 20vol%	—																						
	[アンユラス水素濃度]	0 ~ 20vol%	—																						
代替パラメータ	① [アンユラス水素濃度] (アンユラス水素濃度 (可搬型) の代替)	0 ~ 20vol%	—																						
	② アンユラス水素濃度 (可搬型) ([アンユラス水素濃度] の代替)	0 ~ 20vol%	—																						

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

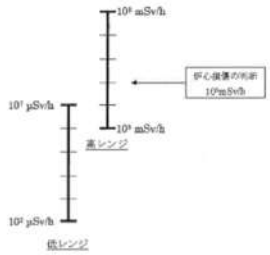

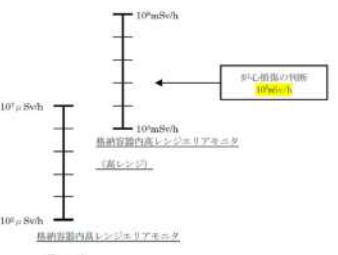
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																					
(k) - 1 主要パラメータの代替パラメータによる推定方法について	(j) 主要パラメータの代替パラメータ (他チャンネルを除く) による推定方法について (原子炉格納容器内の放射線量率)	(1) 主要パラメータの代替パラメータ (他チャンネル及び他グループを除く) による推定方法について (原子炉格納容器内の放射線量率 (1))																																																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">原子炉格納容器内の放射線量率</th> </tr> <tr> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要パラメータ</td> <td>格納容器内高レンジ エリアモニタ (高レンジ)</td> <td>10<sup>2</sup>~10<sup>4</sup> μSv/h</td> <td>10<sup>2</sup>μSv/h 以下 炉心損傷判断の値は 10<sup>2</sup>μSv/h 以下であり、設計基準では炉心損傷しないことからこの値を下回る。</td> </tr> <tr> <td>代替パラメータ</td> <td colspan="3">格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)</td> </tr> <tr> <td>計測目的</td> <td colspan="3">重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の放射線量率を監視する目的は、炉心損傷の判断である。 特に重大事故において、安全注入に期待できない場合、1次系保有水が蒸発することにより1次系保有水量が減少し、炉心が露出すれば1次冷却材は過熱状態となり、格納が選れると炉心損傷に至る。 このような場合、炉心の冷却状態を把握し、事故時の対応手段を判断する上で主要パラメータにて原子炉格納容器内の放射線量率を監視することが重要である。</td> </tr> <tr> <td>推定方法</td> <td colspan="3">原子炉格納容器内の放射線量率の主要パラメータである格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ) の計測が困難になった場合、代替パラメータの格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) により原子炉格納容器内の放射線量率を推定する。 計測範囲の関係は、以下のとおりである。</td> </tr> </tbody> </table>	項目	原子炉格納容器内の放射線量率			監視パラメータ	計測範囲	設計基準	主要パラメータ	格納容器内高レンジ エリアモニタ (高レンジ)	10 <sup>2</sup> ~10 <sup>4</sup> μSv/h	10 <sup>2</sup> μSv/h 以下 炉心損傷判断の値は 10 <sup>2</sup> μSv/h 以下であり、設計基準では炉心損傷しないことからこの値を下回る。	代替パラメータ	格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)			計測目的	重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の放射線量率を監視する目的は、炉心損傷の判断である。 特に重大事故において、安全注入に期待できない場合、1次系保有水が蒸発することにより1次系保有水量が減少し、炉心が露出すれば1次冷却材は過熱状態となり、格納が選れると炉心損傷に至る。 このような場合、炉心の冷却状態を把握し、事故時の対応手段を判断する上で主要パラメータにて原子炉格納容器内の放射線量率を監視することが重要である。			推定方法	原子炉格納容器内の放射線量率の主要パラメータである格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ) の計測が困難になった場合、代替パラメータの格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) により原子炉格納容器内の放射線量率を推定する。 計測範囲の関係は、以下のとおりである。			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">原子炉格納容器内の放射線量率</th> </tr> <tr> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要パラメータ</td> <td>格納容器内空気放射線モニタ (A/C)</td> <td>10<sup>2</sup>Sv/h~10<sup>5</sup>Sv/h</td> <td>10<sup>5</sup>Sv/h未満</td> </tr> <tr> <td>代替パラメータ</td> <td>① [エア放射線モニタ]</td> <td>10<sup>2</sup>Sv/h~10<sup>5</sup>Sv/h</td> <td>10<sup>5</sup>Sv/h未満</td> </tr> <tr> <td>計測目的</td> <td colspan="3">① [エア放射線モニタ] 重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の放射線量率を監視する目的は、燃料損傷を推定することである。 原子炉格納容器内の放射線量率の主要パラメータである格納容器内空気放射線モニタ (A/C) 及び格納容器内空気放射線モニタ (S/C) の計測が困難になった場合、エア放射線モニタの指示値を用いて、原子炉格納容器内の放射線量率を推定できる。 推定方法は、以下のとおりである。 ① [エア放射線モニタ] 原子炉格納容器内の線量が上昇した場合には、エア放射線モニタの指示値が上昇すると推定されることから、その算分より原子炉格納容器内の放射線量率を推定する。 燃料破損等により燃料内の放射性物質が原子炉圧力容器外に放出された場合、放射性物質 (主に希ガス) が原子炉格納容器内空間に充満することになる。このとき、原子炉格納容器貫通部の配管内にも放射性物質が充満するものと考えられる。この配管内の放射性物質を線源として、配管近傍は放射線量率が上昇することが予想される。 [評価条件] ・原子炉格納容器内への希ガス放出量は燃料内希ガスの100%、50%、2%とし、線源は希ガスのみを考慮する。 ・燃料から放出された希ガスが原子炉格納容器内に均一に充満すると仮定し、原子炉格納容器貫通部の配管内にも原子炉格納容器内と同濃度で充満するものと仮定し、この配管内希ガスを線源とする。 ・原子炉格納容器内希ガスは原子炉格納容器空間容積の等価体積半球内に希ガスが充満するとして評価する。 図 38-8-13 及び図 38-8-14 は、エア放射線モニタ位置におけるガンマ線放射線量率を示す。これらのガンマ線量率における原子炉格納容器内の放射線量率を図 38-8-15 に示す。</td> </tr> <tr> <td>推定方法</td> <td colspan="3">  <p>図 38-8-13 エア放射線モニタ (A/RM) の位置と放射線量率計測点</p> </td> </tr> </tbody> </table>	項目	原子炉格納容器内の放射線量率			監視パラメータ	計測範囲	設計基準	主要パラメータ	格納容器内空気放射線モニタ (A/C)	10 <sup>2</sup> Sv/h~10 <sup>5</sup> Sv/h	10 <sup>5</sup> Sv/h未満	代替パラメータ	① [エア放射線モニタ]	10 <sup>2</sup> Sv/h~10 <sup>5</sup> Sv/h	10 <sup>5</sup> Sv/h未満	計測目的	① [エア放射線モニタ] 重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の放射線量率を監視する目的は、燃料損傷を推定することである。 原子炉格納容器内の放射線量率の主要パラメータである格納容器内空気放射線モニタ (A/C) 及び格納容器内空気放射線モニタ (S/C) の計測が困難になった場合、エア放射線モニタの指示値を用いて、原子炉格納容器内の放射線量率を推定できる。 推定方法は、以下のとおりである。 ① [エア放射線モニタ] 原子炉格納容器内の線量が上昇した場合には、エア放射線モニタの指示値が上昇すると推定されることから、その算分より原子炉格納容器内の放射線量率を推定する。 燃料破損等により燃料内の放射性物質が原子炉圧力容器外に放出された場合、放射性物質 (主に希ガス) が原子炉格納容器内空間に充満することになる。このとき、原子炉格納容器貫通部の配管内にも放射性物質が充満するものと考えられる。この配管内の放射性物質を線源として、配管近傍は放射線量率が上昇することが予想される。 [評価条件] ・原子炉格納容器内への希ガス放出量は燃料内希ガスの100%、50%、2%とし、線源は希ガスのみを考慮する。 ・燃料から放出された希ガスが原子炉格納容器内に均一に充満すると仮定し、原子炉格納容器貫通部の配管内にも原子炉格納容器内と同濃度で充満するものと仮定し、この配管内希ガスを線源とする。 ・原子炉格納容器内希ガスは原子炉格納容器空間容積の等価体積半球内に希ガスが充満するとして評価する。 図 38-8-13 及び図 38-8-14 は、エア放射線モニタ位置におけるガンマ線放射線量率を示す。これらのガンマ線量率における原子炉格納容器内の放射線量率を図 38-8-15 に示す。			推定方法	 <p>図 38-8-13 エア放射線モニタ (A/RM) の位置と放射線量率計測点</p>			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">原子炉格納容器内の放射線量率 (1)</th> </tr> <tr> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要パラメータ</td> <td>格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)</td> <td>10<sup>2</sup>~10<sup>4</sup>μSv/h</td> <td>10<sup>2</sup>μSv/h 以下 炉心損傷判断の値は 10<sup>2</sup>μSv/h であり、設計基準では炉心損傷しないことからこの値を下回る。</td> </tr> <tr> <td>代替パラメータ</td> <td>① 格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) ② [モニタリングポスト及びモニタリングステーション]</td> <td>10<sup>2</sup>~10<sup>4</sup>μSv/h 低レンジ: 8.7×10<sup>-3</sup>~1.0×10<sup>4</sup>μSv/h 高レンジ: 1.0×10<sup>2</sup>~1.0×10<sup>4</sup>μSv/h</td> <td>同上 同上</td> </tr> <tr> <td>計測目的</td> <td colspan="3">重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の放射線量率 (1) を監視する目的は、炉心損傷の判断である。</td> </tr> <tr> <td>推定方法</td> <td colspan="3">推定方法は、以下のとおりである。 ① 格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)、モニタリングポスト及びモニタリングステーション 格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) 並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーション (自主対策設備) により原子炉格納容器内の放射線量率 (1) を推定する。 格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ) と格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) の計測範囲の関係は、以下のとおりである。</td> </tr> </tbody> </table>	項目	原子炉格納容器内の放射線量率 (1)			監視パラメータ	計測範囲	設計基準	主要パラメータ	格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)	10 <sup>2</sup> ~10 <sup>4</sup> μSv/h	10 <sup>2</sup> μSv/h 以下 炉心損傷判断の値は 10 <sup>2</sup> μSv/h であり、設計基準では炉心損傷しないことからこの値を下回る。	代替パラメータ	① 格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) ② [モニタリングポスト及びモニタリングステーション]	10 <sup>2</sup> ~10 <sup>4</sup> μSv/h 低レンジ: 8.7×10 <sup>-3</sup> ~1.0×10 <sup>4</sup> μSv/h 高レンジ: 1.0×10 <sup>2</sup> ~1.0×10 <sup>4</sup> μSv/h	同上 同上	計測目的	重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の放射線量率 (1) を監視する目的は、炉心損傷の判断である。			推定方法	推定方法は、以下のとおりである。 ① 格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)、モニタリングポスト及びモニタリングステーション 格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) 並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーション (自主対策設備) により原子炉格納容器内の放射線量率 (1) を推定する。 格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ) と格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) の計測範囲の関係は、以下のとおりである。			
項目		原子炉格納容器内の放射線量率																																																																						
	監視パラメータ	計測範囲	設計基準																																																																					
主要パラメータ	格納容器内高レンジ エリアモニタ (高レンジ)	10 <sup>2</sup> ~10 <sup>4</sup> μSv/h	10 <sup>2</sup> μSv/h 以下 炉心損傷判断の値は 10 <sup>2</sup> μSv/h 以下であり、設計基準では炉心損傷しないことからこの値を下回る。																																																																					
代替パラメータ	格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)																																																																							
計測目的	重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の放射線量率を監視する目的は、炉心損傷の判断である。 特に重大事故において、安全注入に期待できない場合、1次系保有水が蒸発することにより1次系保有水量が減少し、炉心が露出すれば1次冷却材は過熱状態となり、格納が選れると炉心損傷に至る。 このような場合、炉心の冷却状態を把握し、事故時の対応手段を判断する上で主要パラメータにて原子炉格納容器内の放射線量率を監視することが重要である。																																																																							
推定方法	原子炉格納容器内の放射線量率の主要パラメータである格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ) の計測が困難になった場合、代替パラメータの格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) により原子炉格納容器内の放射線量率を推定する。 計測範囲の関係は、以下のとおりである。																																																																							
項目	原子炉格納容器内の放射線量率																																																																							
	監視パラメータ	計測範囲	設計基準																																																																					
主要パラメータ	格納容器内空気放射線モニタ (A/C)	10 <sup>2</sup> Sv/h~10 <sup>5</sup> Sv/h	10 <sup>5</sup> Sv/h未満																																																																					
代替パラメータ	① [エア放射線モニタ]	10 <sup>2</sup> Sv/h~10 <sup>5</sup> Sv/h	10 <sup>5</sup> Sv/h未満																																																																					
計測目的	① [エア放射線モニタ] 重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の放射線量率を監視する目的は、燃料損傷を推定することである。 原子炉格納容器内の放射線量率の主要パラメータである格納容器内空気放射線モニタ (A/C) 及び格納容器内空気放射線モニタ (S/C) の計測が困難になった場合、エア放射線モニタの指示値を用いて、原子炉格納容器内の放射線量率を推定できる。 推定方法は、以下のとおりである。 ① [エア放射線モニタ] 原子炉格納容器内の線量が上昇した場合には、エア放射線モニタの指示値が上昇すると推定されることから、その算分より原子炉格納容器内の放射線量率を推定する。 燃料破損等により燃料内の放射性物質が原子炉圧力容器外に放出された場合、放射性物質 (主に希ガス) が原子炉格納容器内空間に充満することになる。このとき、原子炉格納容器貫通部の配管内にも放射性物質が充満するものと考えられる。この配管内の放射性物質を線源として、配管近傍は放射線量率が上昇することが予想される。 [評価条件] ・原子炉格納容器内への希ガス放出量は燃料内希ガスの100%、50%、2%とし、線源は希ガスのみを考慮する。 ・燃料から放出された希ガスが原子炉格納容器内に均一に充満すると仮定し、原子炉格納容器貫通部の配管内にも原子炉格納容器内と同濃度で充満するものと仮定し、この配管内希ガスを線源とする。 ・原子炉格納容器内希ガスは原子炉格納容器空間容積の等価体積半球内に希ガスが充満するとして評価する。 図 38-8-13 及び図 38-8-14 は、エア放射線モニタ位置におけるガンマ線放射線量率を示す。これらのガンマ線量率における原子炉格納容器内の放射線量率を図 38-8-15 に示す。																																																																							
推定方法	 <p>図 38-8-13 エア放射線モニタ (A/RM) の位置と放射線量率計測点</p>																																																																							
項目	原子炉格納容器内の放射線量率 (1)																																																																							
	監視パラメータ	計測範囲	設計基準																																																																					
主要パラメータ	格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)	10 <sup>2</sup> ~10 <sup>4</sup> μSv/h	10 <sup>2</sup> μSv/h 以下 炉心損傷判断の値は 10 <sup>2</sup> μSv/h であり、設計基準では炉心損傷しないことからこの値を下回る。																																																																					
代替パラメータ	① 格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) ② [モニタリングポスト及びモニタリングステーション]	10 <sup>2</sup> ~10 <sup>4</sup> μSv/h 低レンジ: 8.7×10 <sup>-3</sup> ~1.0×10 <sup>4</sup> μSv/h 高レンジ: 1.0×10 <sup>2</sup> ~1.0×10 <sup>4</sup> μSv/h	同上 同上																																																																					
計測目的	重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の放射線量率 (1) を監視する目的は、炉心損傷の判断である。																																																																							
推定方法	推定方法は、以下のとおりである。 ① 格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)、モニタリングポスト及びモニタリングステーション 格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) 並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーション (自主対策設備) により原子炉格納容器内の放射線量率 (1) を推定する。 格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ) と格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) の計測範囲の関係は、以下のとおりである。																																																																							
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。																																																																								



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			
<p>格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) による推定方法は、プラント状態に依存することなく適用可能である。</p> <p>炉心損傷の判断基準のひとつである <math>10^2 \text{mSv/h}</math> は格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) の上限 <math>10^1 \text{pSv/h}</math> を上回るため、当該パラメータで直接的に把握することは困難である。</p> <p>しかしながら、炉心損傷のおそれが生じている場合は、原子炉格納容器内の放射線量率は <math>10^2 \text{mSv/h}</math> に向けて急激に上昇すると考えられるため、格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) の指示値が急激な上昇を示し、かつ、計測範囲の上限に到達することを確認することで炉心損傷のおそれが生じていることの有無を判断することができる。</p> <p>以上より、本推定方法を原子炉格納容器内の放射線量率を推定する手段として用いることは目的に照らし合わせて可能であり、炉心損傷の判断に使用することは妥当である。</p> <p>これらの代替パラメータによる推定で、炉心損傷防止対策を成功させるために必要な状態を把握できる。</p>	<p>推定方法</p> <p>図58-8-15 原子炉格納容器内 (D) 放射線量率推定値</p> <p>推定の評価</p> <p>以上より、これらの代替パラメータによる推定で、炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p>	<p>推定方法</p> <p>推定可能範囲：<math>10^1 \sim 10^2 \mu \text{Sv/h}</math></p> <p>格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) 並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーション (自主対策設備) による推定方法は、プラント状態に依存することなく適用可能である。</p> <p>炉心損傷の判断基準のひとつである <math>10^2 \text{mSv/h}</math> は格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) の上限 <math>10^1 \mu \text{Sv/h}</math> を上回るため、当該パラメータで直接的に把握することは困難である。</p> <p>しかしながら、炉心損傷のおそれが生じている場合は、原子炉格納容器内の放射線量率は <math>10^2 \text{mSv/h}</math> に向けて急激に上昇すると考えられるため、格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) 並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーション (自主対策設備) の指示値が急激な上昇を示し、かつ、計測範囲の上限に到達することを確認することで炉心損傷のおそれが生じていることの有無を判断することができる。</p> <p>〔誤差による影響について〕</p> <p>原子炉格納容器内の放射線量率を監視する目的は、炉心損傷の判断であり、代替パラメータ (格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)、モニタリングポスト及びモニタリングステーション (自主対策設備)) による推定は、同一物理量からの推定であり、計器誤差 (格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) の誤差：<math>4.7 \times 10^{-1} \sim 1.8 \times 10^1 \mu \text{Sv/h}</math>) を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>以上より、これらの代替パラメータによる推定で、炉心損傷防止対策及び原子炉格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p>	
	<p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p>	<p>(m) 主要パラメータの代替パラメータ (他チャンネル及び他ル</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																												
<p>(k) - 2 主要パラメータの代替パラメータによる推定方法について</p> <table border="1" data-bbox="85 209 631 751"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">原子炉格納容器内の放射線量率</th> </tr> <tr> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要パラメータ</td> <td>格納容器内高レンジ エアロモニタ (低レンジ)</td> <td><math>10^2 \sim 10^7</math> <math>\mu\text{Sv/h}</math></td> <td><math>10^0 \text{mSv/h}</math> 以下 炉心損傷判断の値は <math>10^0 \text{mSv/h}</math> 以下であり、設計基準では炉心損傷しないことからこの値を下回る。</td> </tr> <tr> <td>代替パラメータ</td> <td colspan="3">格納容器内高レンジエアロモニタ (高レンジ)</td> </tr> <tr> <td>計測目的</td> <td colspan="3">重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の放射線量率を監視する目的は、炉心損傷に至っていないことの判断である。 特に重大事故において、安全注入に期待できない場合、1次系保有水が流出することにより1次系保有水量が減少し、炉心が露出すれば1次冷却材は過熱状態となり、格納が遅れると炉心損傷に至る。このような場合、炉心の冷却状態を把握し、事故時の対応手段を判断する上で原子炉格納容器内の放射線量率を監視することが重要である。</td> </tr> <tr> <td>推定方法</td> <td colspan="3">原子炉格納容器内の放射線量率の主要パラメータである格納容器内高レンジエアロモニタ (低レンジ) の計測が困難になった場合、代替パラメータの格納容器内高レンジエアロモニタ (高レンジ) にて推定する。 計測範囲の関係は、以下のとおりである。</td> </tr> </tbody> </table>	項目	原子炉格納容器内の放射線量率			監視パラメータ	計測範囲	設計基準	主要パラメータ	格納容器内高レンジ エアロモニタ (低レンジ)	$10^2 \sim 10^7$ $\mu\text{Sv/h}$	$10^0 \text{mSv/h}$ 以下 炉心損傷判断の値は $10^0 \text{mSv/h}$ 以下であり、設計基準では炉心損傷しないことからこの値を下回る。	代替パラメータ	格納容器内高レンジエアロモニタ (高レンジ)			計測目的	重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の放射線量率を監視する目的は、炉心損傷に至っていないことの判断である。 特に重大事故において、安全注入に期待できない場合、1次系保有水が流出することにより1次系保有水量が減少し、炉心が露出すれば1次冷却材は過熱状態となり、格納が遅れると炉心損傷に至る。このような場合、炉心の冷却状態を把握し、事故時の対応手段を判断する上で原子炉格納容器内の放射線量率を監視することが重要である。			推定方法	原子炉格納容器内の放射線量率の主要パラメータである格納容器内高レンジエアロモニタ (低レンジ) の計測が困難になった場合、代替パラメータの格納容器内高レンジエアロモニタ (高レンジ) にて推定する。 計測範囲の関係は、以下のとおりである。				<p>ープを除く)による推定方法について (原子炉格納容器内の放射線量率 (2))</p> <table border="1" data-bbox="1258 209 1809 995"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">原子炉格納容器内の放射線量率 (2)</th> </tr> <tr> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">主要パラメータ</td> <td>格納容器内高レンジエアロモニタ (低レンジ)</td> <td><math>10^2 \sim 10^7 \mu\text{Sv/h}</math></td> <td><math>10^0 \text{mSv/h}</math> 以下 炉心損傷判断の値は <math>10^0 \text{mSv/h}</math> であり、設計基準では炉心損傷しないことからこの値を下回る。</td> </tr> <tr> <td>[格納容器じんあいモニタ]</td> <td><math>10 \sim 10^2 \text{cpm}</math></td> <td>バックグラウンドレベルを超える</td> </tr> <tr> <td>[格納容器ガスモニタ]</td> <td><math>10 \sim 10^2 \text{cpm}</math></td> <td>バックグラウンドレベルを超える</td> </tr> <tr> <td>[エアロックエアロモニタ]</td> <td><math>1 \sim 10^3 \mu\text{Sv/h}</math></td> <td><math>10^0 \text{mSv/h}</math> 以下 炉心損傷判断の値は <math>10^0 \text{mSv/h}</math> であり、設計基準では炉心損傷しないことからこの値を下回る。</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">代替パラメータ</td> <td>[炉内核計装区域エアロモニタ]</td> <td><math>1 \sim 10^3 \mu\text{Sv/h}</math></td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>①格納容器内高レンジエアロモニタ (高レンジ) (格納容器内高レンジエアロモニタ (低レンジ) の代替)</td> <td><math>10^2 \sim 10^8 \text{mSv/h}</math></td> <td><math>10^0 \text{mSv/h}</math> 以下 炉心損傷判断の値は <math>10^0 \text{mSv/h}</math> であり、設計基準では炉心損傷しないことからこの値を下回る。</td> </tr> <tr> <td>② [エアロックエアロモニタ] (格納容器内高レンジエアロモニタ (低レンジ) の代替)</td> <td><math>1 \sim 10^3 \mu\text{Sv/h}</math></td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>③ [炉内核計装区域エアロモニタ] (格納容器内高レンジエアロモニタ (低レンジ) の代替)</td> <td><math>1 \sim 10^3 \mu\text{Sv/h}</math></td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>④格納容器内高レンジエアロモニタ (低レンジ) ( [格納容器じんあいモニタ]、[格納容器ガスモニタ]、[エアロックエアロモニタ] 及び [炉内核計装区域エアロモニタ] の代替)</td> <td><math>10^2 \sim 10^7 \mu\text{Sv/h}</math></td> <td>同上</td> </tr> </tbody> </table>	項目	原子炉格納容器内の放射線量率 (2)			監視パラメータ	計測範囲	設計基準	主要パラメータ	格納容器内高レンジエアロモニタ (低レンジ)	$10^2 \sim 10^7 \mu\text{Sv/h}$	$10^0 \text{mSv/h}$ 以下 炉心損傷判断の値は $10^0 \text{mSv/h}$ であり、設計基準では炉心損傷しないことからこの値を下回る。	[格納容器じんあいモニタ]	$10 \sim 10^2 \text{cpm}$	バックグラウンドレベルを超える	[格納容器ガスモニタ]	$10 \sim 10^2 \text{cpm}$	バックグラウンドレベルを超える	[エアロックエアロモニタ]	$1 \sim 10^3 \mu\text{Sv/h}$	$10^0 \text{mSv/h}$ 以下 炉心損傷判断の値は $10^0 \text{mSv/h}$ であり、設計基準では炉心損傷しないことからこの値を下回る。	代替パラメータ	[炉内核計装区域エアロモニタ]	$1 \sim 10^3 \mu\text{Sv/h}$	同上	①格納容器内高レンジエアロモニタ (高レンジ) (格納容器内高レンジエアロモニタ (低レンジ) の代替)	$10^2 \sim 10^8 \text{mSv/h}$	$10^0 \text{mSv/h}$ 以下 炉心損傷判断の値は $10^0 \text{mSv/h}$ であり、設計基準では炉心損傷しないことからこの値を下回る。	② [エアロックエアロモニタ] (格納容器内高レンジエアロモニタ (低レンジ) の代替)	$1 \sim 10^3 \mu\text{Sv/h}$	同上	③ [炉内核計装区域エアロモニタ] (格納容器内高レンジエアロモニタ (低レンジ) の代替)	$1 \sim 10^3 \mu\text{Sv/h}$	同上		④格納容器内高レンジエアロモニタ (低レンジ) ( [格納容器じんあいモニタ]、[格納容器ガスモニタ]、[エアロックエアロモニタ] 及び [炉内核計装区域エアロモニタ] の代替)	$10^2 \sim 10^7 \mu\text{Sv/h}$	同上	
項目		原子炉格納容器内の放射線量率																																																													
	監視パラメータ	計測範囲	設計基準																																																												
主要パラメータ	格納容器内高レンジ エアロモニタ (低レンジ)	$10^2 \sim 10^7$ $\mu\text{Sv/h}$	$10^0 \text{mSv/h}$ 以下 炉心損傷判断の値は $10^0 \text{mSv/h}$ 以下であり、設計基準では炉心損傷しないことからこの値を下回る。																																																												
代替パラメータ	格納容器内高レンジエアロモニタ (高レンジ)																																																														
計測目的	重大事故等において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の放射線量率を監視する目的は、炉心損傷に至っていないことの判断である。 特に重大事故において、安全注入に期待できない場合、1次系保有水が流出することにより1次系保有水量が減少し、炉心が露出すれば1次冷却材は過熱状態となり、格納が遅れると炉心損傷に至る。このような場合、炉心の冷却状態を把握し、事故時の対応手段を判断する上で原子炉格納容器内の放射線量率を監視することが重要である。																																																														
推定方法	原子炉格納容器内の放射線量率の主要パラメータである格納容器内高レンジエアロモニタ (低レンジ) の計測が困難になった場合、代替パラメータの格納容器内高レンジエアロモニタ (高レンジ) にて推定する。 計測範囲の関係は、以下のとおりである。																																																														
項目	原子炉格納容器内の放射線量率 (2)																																																														
	監視パラメータ	計測範囲	設計基準																																																												
主要パラメータ	格納容器内高レンジエアロモニタ (低レンジ)	$10^2 \sim 10^7 \mu\text{Sv/h}$	$10^0 \text{mSv/h}$ 以下 炉心損傷判断の値は $10^0 \text{mSv/h}$ であり、設計基準では炉心損傷しないことからこの値を下回る。																																																												
	[格納容器じんあいモニタ]	$10 \sim 10^2 \text{cpm}$	バックグラウンドレベルを超える																																																												
	[格納容器ガスモニタ]	$10 \sim 10^2 \text{cpm}$	バックグラウンドレベルを超える																																																												
	[エアロックエアロモニタ]	$1 \sim 10^3 \mu\text{Sv/h}$	$10^0 \text{mSv/h}$ 以下 炉心損傷判断の値は $10^0 \text{mSv/h}$ であり、設計基準では炉心損傷しないことからこの値を下回る。																																																												
代替パラメータ	[炉内核計装区域エアロモニタ]	$1 \sim 10^3 \mu\text{Sv/h}$	同上																																																												
	①格納容器内高レンジエアロモニタ (高レンジ) (格納容器内高レンジエアロモニタ (低レンジ) の代替)	$10^2 \sim 10^8 \text{mSv/h}$	$10^0 \text{mSv/h}$ 以下 炉心損傷判断の値は $10^0 \text{mSv/h}$ であり、設計基準では炉心損傷しないことからこの値を下回る。																																																												
	② [エアロックエアロモニタ] (格納容器内高レンジエアロモニタ (低レンジ) の代替)	$1 \sim 10^3 \mu\text{Sv/h}$	同上																																																												
	③ [炉内核計装区域エアロモニタ] (格納容器内高レンジエアロモニタ (低レンジ) の代替)	$1 \sim 10^3 \mu\text{Sv/h}$	同上																																																												
	④格納容器内高レンジエアロモニタ (低レンジ) ( [格納容器じんあいモニタ]、[格納容器ガスモニタ]、[エアロックエアロモニタ] 及び [炉内核計装区域エアロモニタ] の代替)	$10^2 \sim 10^7 \mu\text{Sv/h}$	同上																																																												

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容  
 赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="286 213 539 464" data-label="Figure"> </div> <div data-bbox="114 520 629 810" data-label="Text"> <p>格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）による推定方法は、プラント状態に依存することなく適用可能である。</p> <p>格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）の計測範囲のうち、炉心損傷の判断の値となる <math>10^3 \text{mSv/h}</math> 未満に指針値がある場合は、炉心損傷の判断基準のひとつを満足していないことを確認でき、炉心損傷に至っていないことを判断できる。</p> <p>以上より、本推定方法を原子炉格納容器内の放射線量を推定する手段として用いることは目的に照らし合わせて可能であり、炉心損傷に至っていないことの判断に使用することは妥当である。</p> <p>これらの代替パラメータによる推定で、炉心損傷防止対策を成功させるために必要な状態を把握できる。</p> </div>		<div data-bbox="1256 161 1809 316" data-label="Text"> <p>計測目的</p> <p>重大事故等時において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の放射線量率（2）を監視する目的は、炉心損傷に至っていないことの判断である。</p> <p>特に重大事故等時において、安全注入に期待できない場合、1次冷却系保有水が流出することにより1次冷却系保有水量が減少し、炉心が露出すれば1次冷却材は過熱状態となり、処置が遅れると炉心損傷に至る。</p> <p>このような場合、炉心の冷却状態を把握し、事故時の対応手段を判断する上で原子炉格納容器内の放射線量率を監視することが重要である。</p> </div> <div data-bbox="1256 320 1809 783" data-label="Text"> <p>推定方法</p> <p>推定方法は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）</li> <li>② [エアロックエリアモニタ]</li> <li>③ [炉内核計装区域エリアモニタ]</li> <li>④格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）</li> </ul> <p>原子炉格納容器内の放射線量率（2）の主要パラメータである格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）の計測が不可能となった場合、代替パラメータの格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）により原子炉格納容器内の放射線量率を推定する（自主対策設備である格納容器じんあいモニタ、格納容器ガスモニタ、エアロックエリアモニタ及び炉内核計装区域エリアモニタの計測が不可能となった場合、主要パラメータの格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）を代替パラメータとして用いて原子炉格納容器内の放射線量率を計測する）。</p> <p>また、エアロックエリアモニタ（自主対策設備）及び炉内核計装区域エリアモニタ（自主対策設備）の指示の上昇傾向を監視し、炉心損傷のおそれが生じていない放射線量率であることを推定する。なお、格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）の測定範囲より低く、エアロックエリアモニタ及び炉内核計装区域エリアモニタの測定範囲より高い場合は、その間の放射線量率と推定する。</p> <p>格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）、格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）、エアロックエリアモニタ及び炉内核計装区域エリアモニタの計測範囲の関係は、以下のとおりである。</p> </div>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<div data-bbox="1256 145 1809 363"> </div> <div data-bbox="1256 363 1809 587"> <p>推定方法</p> <p>推定可能範囲：                  格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ) : <math>10^2 \sim 10^3</math> Sv/h                  格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) : <math>10^1 \sim 10^2</math> Sv/h                  [エアロックエリアモニタ] 及び                  [炉内核計装区域エリアモニタ] : <math>1 \sim 10^1</math> Sv/h</p> </div> <div data-bbox="1256 587 1809 1002"> <p>推定の評価</p> <p>格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ) による推定方法は、プラント状態に依存することなく適用可能である。                  格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ) の計測範囲のうち、炉心損傷の判断の値となる <math>10^3</math> Sv/h 未満に指示値がある場合は、炉心損傷の判断基準のひとつを満足していないことを確認でき、炉心損傷に至っていないことを判断できる。                  また、エアロックエリアモニタ (自主対策設備) 及び炉内核計装区域エリアモニタ (自主対策設備) の計測範囲のうち、炉心損傷の判断の値となる <math>10^3</math> Sv/h 未満に指示値がある場合は、炉心損傷の判断基準のひとつを満足していないことを確認でき、炉心損傷に至っていないことを判断できる。なお、格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ) の測定範囲より低く、エアロックエリアモニタ (自主対策設備) 及び炉内核計装区域エリアモニタ (自主対策設備) の測定範囲より高い場合は、その間の放射線量率と推定する。</p> <p>[誤差による影響について]                  原子炉格納容器内の放射線量率を監視する目的は、炉心損傷に至っていないことの判断であり、代替パラメータ (格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)、格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)、エアロックエリアモニタ (自主対策設備)、炉内核計装区域エリアモニタ (自主対策設備)) による推定は、同一物理量からの推定であり、計器誤差 (格納容器内高レンジエ</p> </div> <div data-bbox="1256 1002 1809 1177"> <p>推定の評価</p> <p>モニタ (高レンジ) の誤差: <math>4.7 \times 10^2 \sim 1.8 \times 10^3</math> Sv/h、格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) の誤差: <math>4.7 \times 10^1 \sim 1.8 \times 10^2</math> Sv/h) を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>以上より、これらの代替パラメータによる推定で、炉心損傷防止対策及び原子炉格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p> </div>	



灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																
	<p>(k) 主要パラメータの代替パラメータ (他チャンネルを除く) による推定方法について (未臨界の維持又は監視)</p> <table border="1" data-bbox="672 231 1220 1029"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: right;">*有効監視パラメータ</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>監視パラメータ</th> <th>未臨界の維持又は監視</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">主要パラメータ</td> <td>起動領域モニタ</td> <td>計測範囲 中性子源領域 <math>10^3 \text{ cps} \sim 10^4 \text{ cps}</math> <math>(1 \times 10^3 \text{ cm}^{-2} \cdot \text{s}^{-1}) \sim (1 \times 10^4 \text{ cm}^{-2} \cdot \text{s}^{-1})</math> 中間領域 0~40%, 又は 0~125% <math>(1 \times 10^3 \text{ cm}^{-2} \cdot \text{s}^{-1}) \sim (2 \times 10^3 \text{ cm}^{-2} \cdot \text{s}^{-1})</math></td> <td>定格出力の約8倍</td> </tr> <tr> <td>平均出力領域モニタ [制御棒位置指示系]*</td> <td>0~125% <math>(1.2 \times 10^3 \text{ cm}^{-2} \cdot \text{s}^{-1}) \sim (2.5 \times 10^3 \text{ cm}^{-2} \cdot \text{s}^{-1})</math></td> <td>定格出力の約6倍</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">代替パラメータ</td> <td>① 平均出力領域モニタ (起動領域モニタ、[制御棒位置指示系]*の代替)</td> <td>0~125% <math>(1.2 \times 10^3 \text{ cm}^{-2} \cdot \text{s}^{-1}) \sim (2.5 \times 10^3 \text{ cm}^{-2} \cdot \text{s}^{-1})</math></td> <td>定格出力の約8倍</td> </tr> <tr> <td>② [制御棒位置指示系]* (起動領域モニタ、平均出力領域モニタの代替)</td> <td>全挿入~全引抜</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>計測目的</td> <td colspan="3">                     重大事故等時において、主要パラメータにて未臨界を監視する目的は、制御棒又はほう酸水により原子炉が停止していることを確認するためである。                      未臨界を監視する主要パラメータである起動領域モニタの計測が困難になった場合、代替パラメータの平均出力領域モニタ (平均出力領域モニタを推定する場合は起動領域モニタにて推定) により推定する。                      [制御棒位置指示系]による制御棒の位置指示により、未臨界を推定できる。                 </td> </tr> <tr> <td>推定方法</td> <td colspan="3">                     推定方法は、以下のとおりである。                      ① 起動領域モニタ、平均出力領域モニタ                      起動領域モニタの計測が困難になった場合、代替パラメータの平均出力領域モニタにより推定する。                      平均出力領域モニタの計測が困難になった場合、代替パラメータの起動領域モニタにより推定する。                      ② [制御棒位置指示系]                      全挿入棒が全挿入位置であれば原子炉は停止状態にあるため、制御棒の位置指示により、未臨界を推定できる。                 </td> </tr> <tr> <td>推定の評価</td> <td colspan="3">                     ① 起動領域モニタ、平均出力領域モニタ                      起動領域モニタ又は平均出力領域モニタによる推定は直接的に原子炉出力を計測するものであり、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。                      ② [制御棒位置指示系]                      制御棒は、原子炉が低圧状態において臨界未満に維持できる設備であるため、その機能が満足していることを全挿入棒が全挿入位置にあることで確認することができる。これにより、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。                 </td> </tr> </tbody> </table>	*有効監視パラメータ				項目	監視パラメータ	未臨界の維持又は監視	設計基準	主要パラメータ	起動領域モニタ	計測範囲 中性子源領域 $10^3 \text{ cps} \sim 10^4 \text{ cps}$ $(1 \times 10^3 \text{ cm}^{-2} \cdot \text{s}^{-1}) \sim (1 \times 10^4 \text{ cm}^{-2} \cdot \text{s}^{-1})$ 中間領域 0~40%, 又は 0~125% $(1 \times 10^3 \text{ cm}^{-2} \cdot \text{s}^{-1}) \sim (2 \times 10^3 \text{ cm}^{-2} \cdot \text{s}^{-1})$	定格出力の約8倍	平均出力領域モニタ [制御棒位置指示系]*	0~125% $(1.2 \times 10^3 \text{ cm}^{-2} \cdot \text{s}^{-1}) \sim (2.5 \times 10^3 \text{ cm}^{-2} \cdot \text{s}^{-1})$	定格出力の約6倍	代替パラメータ	① 平均出力領域モニタ (起動領域モニタ、[制御棒位置指示系]*の代替)	0~125% $(1.2 \times 10^3 \text{ cm}^{-2} \cdot \text{s}^{-1}) \sim (2.5 \times 10^3 \text{ cm}^{-2} \cdot \text{s}^{-1})$	定格出力の約8倍	② [制御棒位置指示系]* (起動領域モニタ、平均出力領域モニタの代替)	全挿入~全引抜	—	計測目的	重大事故等時において、主要パラメータにて未臨界を監視する目的は、制御棒又はほう酸水により原子炉が停止していることを確認するためである。 未臨界を監視する主要パラメータである起動領域モニタの計測が困難になった場合、代替パラメータの平均出力領域モニタ (平均出力領域モニタを推定する場合は起動領域モニタにて推定) により推定する。 [制御棒位置指示系]による制御棒の位置指示により、未臨界を推定できる。			推定方法	推定方法は、以下のとおりである。 ① 起動領域モニタ、平均出力領域モニタ 起動領域モニタの計測が困難になった場合、代替パラメータの平均出力領域モニタにより推定する。 平均出力領域モニタの計測が困難になった場合、代替パラメータの起動領域モニタにより推定する。 ② [制御棒位置指示系] 全挿入棒が全挿入位置であれば原子炉は停止状態にあるため、制御棒の位置指示により、未臨界を推定できる。			推定の評価	① 起動領域モニタ、平均出力領域モニタ 起動領域モニタ又は平均出力領域モニタによる推定は直接的に原子炉出力を計測するものであり、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。 ② [制御棒位置指示系] 制御棒は、原子炉が低圧状態において臨界未満に維持できる設備であるため、その機能が満足していることを全挿入棒が全挿入位置にあることで確認することができる。これにより、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。			<p>(n) 主要パラメータの代替パラメータ (他チャンネル及び他ループを除く) による推定方法について (未臨界の維持又は監視)</p> <table border="1" data-bbox="1254 231 1814 1053"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: right;">未臨界の維持又は監視</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">主要パラメータ</td> <td>出力領域中性子束</td> <td>0~120% <math>(3.3 \times 10^6 \sim 1.2 \times 10^6 \text{ cm}^{-2} \cdot \text{s}^{-1})</math></td> <td>最大値: 定格出力の約194倍 (制御棒飛び出し)</td> </tr> <tr> <td>中間領域中性子束</td> <td><math>10^{11} \sim 5 \times 10^{10} \text{ A}</math> <math>(1.3 \times 10^2 \sim 6.6 \times 10^0 \text{ cm}^{-2} \cdot \text{s}^{-1})</math></td> <td>最大値: 定格出力の約194倍 (制御棒飛び出し)</td> </tr> <tr> <td>中性子源領域中性子束</td> <td><math>1 \sim 10^3 \text{ cps}</math> <math>(10^1 \sim 10^3 \text{ cm}^{-2} \cdot \text{s}^{-1})</math></td> <td>最大値: 定格出力の約194倍 (制御棒飛び出し)</td> </tr> <tr> <td>[中間領域起動率] [中性子源領域起動率]</td> <td>-0.5~5.00PM -0.5~5.00PM</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">代替パラメータ</td> <td>① 出力領域中性子束 (中間領域中性子束の代替)</td> <td>0~120% <math>(3.3 \times 10^6 \sim 1.2 \times 10^6 \text{ cm}^{-2} \cdot \text{s}^{-1})</math></td> <td>最大値: 定格出力の約194倍 (制御棒飛び出し)</td> </tr> <tr> <td>① 中間領域中性子束 (出力領域中性子束、中性子源領域中性子束、[中間領域起動率]及び[中性子源領域起動率]の代替)</td> <td><math>10^{11} \sim 5 \times 10^{10} \text{ A}</math> <math>(1.3 \times 10^2 \sim 6.6 \times 10^0 \text{ cm}^{-2} \cdot \text{s}^{-1})</math></td> <td>最大値: 定格出力の約194倍 (制御棒飛び出し)</td> </tr> <tr> <td>① 中性子源領域中性子束 (中間領域中性子束、[中間領域起動率]及び[中性子源領域起動率]の代替)</td> <td><math>1 \sim 10^3 \text{ cps}</math> <math>(10^1 \sim 10^3 \text{ cm}^{-2} \cdot \text{s}^{-1})</math></td> <td>最大値: 定格出力の約194倍 (制御棒飛び出し)</td> </tr> <tr> <td>② 1次冷却材温度 (広域一高温側) (出力領域中性子束の代替)</td> <td>0~400℃</td> <td>最大値: 約340℃</td> </tr> <tr> <td>② 1次冷却材温度 (広域一低温側) (出力領域中性子束の代替)</td> <td>0~400℃</td> <td>最大値: 約339℃</td> </tr> <tr> <td>② ほう酸タンク水位 (出力領域中性子束、中間領域中性子束及び中性子源領域中性子束の代替)</td> <td>0~100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>② [中性子源領域起動率] ([中間領域起動率]の代替)</td> <td>-0.5~5.00PM</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>② [中間領域起動率] ([中性子源領域起動率]の代替)</td> <td>-0.5~5.00PM</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	未臨界の維持又は監視				項目	監視パラメータ	計測範囲	設計基準	主要パラメータ	出力領域中性子束	0~120% $(3.3 \times 10^6 \sim 1.2 \times 10^6 \text{ cm}^{-2} \cdot \text{s}^{-1})$	最大値: 定格出力の約194倍 (制御棒飛び出し)	中間領域中性子束	$10^{11} \sim 5 \times 10^{10} \text{ A}$ $(1.3 \times 10^2 \sim 6.6 \times 10^0 \text{ cm}^{-2} \cdot \text{s}^{-1})$	最大値: 定格出力の約194倍 (制御棒飛び出し)	中性子源領域中性子束	$1 \sim 10^3 \text{ cps}$ $(10^1 \sim 10^3 \text{ cm}^{-2} \cdot \text{s}^{-1})$	最大値: 定格出力の約194倍 (制御棒飛び出し)	[中間領域起動率] [中性子源領域起動率]	-0.5~5.00PM -0.5~5.00PM	—	代替パラメータ	① 出力領域中性子束 (中間領域中性子束の代替)	0~120% $(3.3 \times 10^6 \sim 1.2 \times 10^6 \text{ cm}^{-2} \cdot \text{s}^{-1})$	最大値: 定格出力の約194倍 (制御棒飛び出し)	① 中間領域中性子束 (出力領域中性子束、中性子源領域中性子束、[中間領域起動率]及び[中性子源領域起動率]の代替)	$10^{11} \sim 5 \times 10^{10} \text{ A}$ $(1.3 \times 10^2 \sim 6.6 \times 10^0 \text{ cm}^{-2} \cdot \text{s}^{-1})$	最大値: 定格出力の約194倍 (制御棒飛び出し)	① 中性子源領域中性子束 (中間領域中性子束、[中間領域起動率]及び[中性子源領域起動率]の代替)	$1 \sim 10^3 \text{ cps}$ $(10^1 \sim 10^3 \text{ cm}^{-2} \cdot \text{s}^{-1})$	最大値: 定格出力の約194倍 (制御棒飛び出し)	② 1次冷却材温度 (広域一高温側) (出力領域中性子束の代替)	0~400℃	最大値: 約340℃	② 1次冷却材温度 (広域一低温側) (出力領域中性子束の代替)	0~400℃	最大値: 約339℃	② ほう酸タンク水位 (出力領域中性子束、中間領域中性子束及び中性子源領域中性子束の代替)	0~100%	100%	② [中性子源領域起動率] ([中間領域起動率]の代替)	-0.5~5.00PM	—	② [中間領域起動率] ([中性子源領域起動率]の代替)	-0.5~5.00PM	—	
*有効監視パラメータ																																																																																			
項目	監視パラメータ	未臨界の維持又は監視	設計基準																																																																																
主要パラメータ	起動領域モニタ	計測範囲 中性子源領域 $10^3 \text{ cps} \sim 10^4 \text{ cps}$ $(1 \times 10^3 \text{ cm}^{-2} \cdot \text{s}^{-1}) \sim (1 \times 10^4 \text{ cm}^{-2} \cdot \text{s}^{-1})$ 中間領域 0~40%, 又は 0~125% $(1 \times 10^3 \text{ cm}^{-2} \cdot \text{s}^{-1}) \sim (2 \times 10^3 \text{ cm}^{-2} \cdot \text{s}^{-1})$	定格出力の約8倍																																																																																
	平均出力領域モニタ [制御棒位置指示系]*	0~125% $(1.2 \times 10^3 \text{ cm}^{-2} \cdot \text{s}^{-1}) \sim (2.5 \times 10^3 \text{ cm}^{-2} \cdot \text{s}^{-1})$	定格出力の約6倍																																																																																
代替パラメータ	① 平均出力領域モニタ (起動領域モニタ、[制御棒位置指示系]*の代替)	0~125% $(1.2 \times 10^3 \text{ cm}^{-2} \cdot \text{s}^{-1}) \sim (2.5 \times 10^3 \text{ cm}^{-2} \cdot \text{s}^{-1})$	定格出力の約8倍																																																																																
	② [制御棒位置指示系]* (起動領域モニタ、平均出力領域モニタの代替)	全挿入~全引抜	—																																																																																
計測目的	重大事故等時において、主要パラメータにて未臨界を監視する目的は、制御棒又はほう酸水により原子炉が停止していることを確認するためである。 未臨界を監視する主要パラメータである起動領域モニタの計測が困難になった場合、代替パラメータの平均出力領域モニタ (平均出力領域モニタを推定する場合は起動領域モニタにて推定) により推定する。 [制御棒位置指示系]による制御棒の位置指示により、未臨界を推定できる。																																																																																		
推定方法	推定方法は、以下のとおりである。 ① 起動領域モニタ、平均出力領域モニタ 起動領域モニタの計測が困難になった場合、代替パラメータの平均出力領域モニタにより推定する。 平均出力領域モニタの計測が困難になった場合、代替パラメータの起動領域モニタにより推定する。 ② [制御棒位置指示系] 全挿入棒が全挿入位置であれば原子炉は停止状態にあるため、制御棒の位置指示により、未臨界を推定できる。																																																																																		
推定の評価	① 起動領域モニタ、平均出力領域モニタ 起動領域モニタ又は平均出力領域モニタによる推定は直接的に原子炉出力を計測するものであり、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。 ② [制御棒位置指示系] 制御棒は、原子炉が低圧状態において臨界未満に維持できる設備であるため、その機能が満足していることを全挿入棒が全挿入位置にあることで確認することができる。これにより、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。																																																																																		
未臨界の維持又は監視																																																																																			
項目	監視パラメータ	計測範囲	設計基準																																																																																
主要パラメータ	出力領域中性子束	0~120% $(3.3 \times 10^6 \sim 1.2 \times 10^6 \text{ cm}^{-2} \cdot \text{s}^{-1})$	最大値: 定格出力の約194倍 (制御棒飛び出し)																																																																																
	中間領域中性子束	$10^{11} \sim 5 \times 10^{10} \text{ A}$ $(1.3 \times 10^2 \sim 6.6 \times 10^0 \text{ cm}^{-2} \cdot \text{s}^{-1})$	最大値: 定格出力の約194倍 (制御棒飛び出し)																																																																																
	中性子源領域中性子束	$1 \sim 10^3 \text{ cps}$ $(10^1 \sim 10^3 \text{ cm}^{-2} \cdot \text{s}^{-1})$	最大値: 定格出力の約194倍 (制御棒飛び出し)																																																																																
	[中間領域起動率] [中性子源領域起動率]	-0.5~5.00PM -0.5~5.00PM	—																																																																																
代替パラメータ	① 出力領域中性子束 (中間領域中性子束の代替)	0~120% $(3.3 \times 10^6 \sim 1.2 \times 10^6 \text{ cm}^{-2} \cdot \text{s}^{-1})$	最大値: 定格出力の約194倍 (制御棒飛び出し)																																																																																
	① 中間領域中性子束 (出力領域中性子束、中性子源領域中性子束、[中間領域起動率]及び[中性子源領域起動率]の代替)	$10^{11} \sim 5 \times 10^{10} \text{ A}$ $(1.3 \times 10^2 \sim 6.6 \times 10^0 \text{ cm}^{-2} \cdot \text{s}^{-1})$	最大値: 定格出力の約194倍 (制御棒飛び出し)																																																																																
	① 中性子源領域中性子束 (中間領域中性子束、[中間領域起動率]及び[中性子源領域起動率]の代替)	$1 \sim 10^3 \text{ cps}$ $(10^1 \sim 10^3 \text{ cm}^{-2} \cdot \text{s}^{-1})$	最大値: 定格出力の約194倍 (制御棒飛び出し)																																																																																
	② 1次冷却材温度 (広域一高温側) (出力領域中性子束の代替)	0~400℃	最大値: 約340℃																																																																																
	② 1次冷却材温度 (広域一低温側) (出力領域中性子束の代替)	0~400℃	最大値: 約339℃																																																																																
	② ほう酸タンク水位 (出力領域中性子束、中間領域中性子束及び中性子源領域中性子束の代替)	0~100%	100%																																																																																
② [中性子源領域起動率] ([中間領域起動率]の代替)	-0.5~5.00PM	—																																																																																	
② [中間領域起動率] ([中性子源領域起動率]の代替)	-0.5~5.00PM	—																																																																																	

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容  
 赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由				
	<p>【顕微による影響について】</p> <p>未臨界を監視する目的は、制御棒又はほう酸水により原子炉が停止していることを把握することであり、代替パラメータ (起動領域モニタ、平均出力領域モニタ) による推定は、同一物理量からの推定であり、原子炉が停止していることを把握でき、計測誤差 (起動領域モニタの誤差：中性子源領域±0.14 デカード (7.25×10<sup>-3</sup>~1.38×10<sup>0</sup>cps)、中間領域±1.4% (奇数レンジ)±4.4% (偶数レンジ)、平均出力領域モニタの誤差：±2.0%) を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>代替パラメータ (制御棒位置指示系) による推定は、制御棒の位置からの推定であり、原子炉が停止していることを把握でき、重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>以上より、これらの代替パラメータによる推定で、炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1256 161 1339 256">計測目的</td> <td data-bbox="1339 161 1809 256"> <p>重大事故等時において、主要パラメータにて未臨界を監視する目的は、制御棒又はほう酸水により原子炉が停止していることを確認するためである。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1256 256 1339 1018">推定方法</td> <td data-bbox="1339 256 1809 1018"> <p>(1) 出力領域中性子束</p> <p>未臨界を監視する主要パラメータである出力領域中性子束の計測が不可能となった場合、代替パラメータの中間領域中性子束、1 次冷却材温度 (広域—高温側) 及び 1 次冷却材温度 (広域—低温側) 又はほう酸タンク水位により推定する。</p> <p>推定方法は以下のとおりである。</p> <p>① 中間領域中性子束</p> <p>出力領域中性子束の計測が不可能となった場合、代替パラメータの中間領域中性子束により推定する。</p> <p>② 1 次冷却材温度 (広域—高温側)、1 次冷却材温度 (広域—低温側)</p> <p>出力領域中性子束の計測が不可能となった場合、1 次冷却材温度 (広域—高温側) と 1 次冷却材温度 (広域—低温側) の差により推定する。推定は出力領域中性子束の計測範囲を包絡する中間領域中性子束を優先する。また、1 次冷却材ポンプが運転中である場合、出力領域中性子束の計測範囲であれば、原子炉出力及び 1 次冷却材温度 (広域—高温側) と 1 次冷却材温度 (広域—低温側) の温度差の相関関係から推定する。</p> <p>③ ほう酸タンク水位</p> <p>出力領域中性子束の計測が不可能となった場合、ほう酸タンク水位により原子炉の未臨界状態に必要なほう酸水量を炉心へ注入することで未臨界状態の維持を推定する。</p> <p>(2) 中間領域中性子束</p> <p>未臨界を監視する主要パラメータである中間領域中性子束の計測が不可能となった場合、代替パラメータの出力領域中性子束若しくは中性子源領域中性子束又はほう酸タンク水位により推定する。</p> <p>推定方法は以下のとおりである。</p> <p>① 出力領域中性子束、中性子源領域中性子束</p> <p>中間領域中性子束の計測が不可能となった場合、代替パラメータの出力領域中性子束の測定範囲であれば、出力領域中性子束による推定を行い、代替パラメータの中性子源領域中性子束の測定範囲であれば、中性子源領域中性子束により推定する。</p> </td> </tr> </table>	計測目的	<p>重大事故等時において、主要パラメータにて未臨界を監視する目的は、制御棒又はほう酸水により原子炉が停止していることを確認するためである。</p>	推定方法	<p>(1) 出力領域中性子束</p> <p>未臨界を監視する主要パラメータである出力領域中性子束の計測が不可能となった場合、代替パラメータの中間領域中性子束、1 次冷却材温度 (広域—高温側) 及び 1 次冷却材温度 (広域—低温側) 又はほう酸タンク水位により推定する。</p> <p>推定方法は以下のとおりである。</p> <p>① 中間領域中性子束</p> <p>出力領域中性子束の計測が不可能となった場合、代替パラメータの中間領域中性子束により推定する。</p> <p>② 1 次冷却材温度 (広域—高温側)、1 次冷却材温度 (広域—低温側)</p> <p>出力領域中性子束の計測が不可能となった場合、1 次冷却材温度 (広域—高温側) と 1 次冷却材温度 (広域—低温側) の差により推定する。推定は出力領域中性子束の計測範囲を包絡する中間領域中性子束を優先する。また、1 次冷却材ポンプが運転中である場合、出力領域中性子束の計測範囲であれば、原子炉出力及び 1 次冷却材温度 (広域—高温側) と 1 次冷却材温度 (広域—低温側) の温度差の相関関係から推定する。</p> <p>③ ほう酸タンク水位</p> <p>出力領域中性子束の計測が不可能となった場合、ほう酸タンク水位により原子炉の未臨界状態に必要なほう酸水量を炉心へ注入することで未臨界状態の維持を推定する。</p> <p>(2) 中間領域中性子束</p> <p>未臨界を監視する主要パラメータである中間領域中性子束の計測が不可能となった場合、代替パラメータの出力領域中性子束若しくは中性子源領域中性子束又はほう酸タンク水位により推定する。</p> <p>推定方法は以下のとおりである。</p> <p>① 出力領域中性子束、中性子源領域中性子束</p> <p>中間領域中性子束の計測が不可能となった場合、代替パラメータの出力領域中性子束の測定範囲であれば、出力領域中性子束による推定を行い、代替パラメータの中性子源領域中性子束の測定範囲であれば、中性子源領域中性子束により推定する。</p>	
計測目的	<p>重大事故等時において、主要パラメータにて未臨界を監視する目的は、制御棒又はほう酸水により原子炉が停止していることを確認するためである。</p>						
推定方法	<p>(1) 出力領域中性子束</p> <p>未臨界を監視する主要パラメータである出力領域中性子束の計測が不可能となった場合、代替パラメータの中間領域中性子束、1 次冷却材温度 (広域—高温側) 及び 1 次冷却材温度 (広域—低温側) 又はほう酸タンク水位により推定する。</p> <p>推定方法は以下のとおりである。</p> <p>① 中間領域中性子束</p> <p>出力領域中性子束の計測が不可能となった場合、代替パラメータの中間領域中性子束により推定する。</p> <p>② 1 次冷却材温度 (広域—高温側)、1 次冷却材温度 (広域—低温側)</p> <p>出力領域中性子束の計測が不可能となった場合、1 次冷却材温度 (広域—高温側) と 1 次冷却材温度 (広域—低温側) の差により推定する。推定は出力領域中性子束の計測範囲を包絡する中間領域中性子束を優先する。また、1 次冷却材ポンプが運転中である場合、出力領域中性子束の計測範囲であれば、原子炉出力及び 1 次冷却材温度 (広域—高温側) と 1 次冷却材温度 (広域—低温側) の温度差の相関関係から推定する。</p> <p>③ ほう酸タンク水位</p> <p>出力領域中性子束の計測が不可能となった場合、ほう酸タンク水位により原子炉の未臨界状態に必要なほう酸水量を炉心へ注入することで未臨界状態の維持を推定する。</p> <p>(2) 中間領域中性子束</p> <p>未臨界を監視する主要パラメータである中間領域中性子束の計測が不可能となった場合、代替パラメータの出力領域中性子束若しくは中性子源領域中性子束又はほう酸タンク水位により推定する。</p> <p>推定方法は以下のとおりである。</p> <p>① 出力領域中性子束、中性子源領域中性子束</p> <p>中間領域中性子束の計測が不可能となった場合、代替パラメータの出力領域中性子束の測定範囲であれば、出力領域中性子束による推定を行い、代替パラメータの中性子源領域中性子束の測定範囲であれば、中性子源領域中性子束により推定する。</p>						

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
		<p>②ほう酸タンク水位                      中間領域中性子束の計測が不可能となった場合、ほう酸タンク水位により原子炉の未臨界状態に必要なほう酸水量を炉心へ注入することで未臨界状態の維持を推定する。</p> <p>(3) 中性子源領域中性子束                      未臨界を監視する主要パラメータである中性子源領域中性子束の計測が不可能となった場合、代替パラメータの中間領域中性子束又はほう酸タンク水位により推定する。</p> <p>推定方法は以下のとおりである。</p> <p>①中間領域中性子束                      中性子源領域中性子束の計測が不可能となった場合、代替パラメータの中間領域中性子束の測定範囲であれば、中間領域中性子束による推定を行う。なお、中間領域中性子束の測定範囲下限以下の場合は、測定範囲下限より低い範囲であると推定する。</p> <p>③ほう酸タンク水位                      中性子源領域中性子束の計測が不可能となった場合、代替パラメータのほう酸タンク水位により原子炉の未臨界状態に必要なほう酸水量を炉心へ注入することで未臨界状態の維持を推定する。</p> <p>(4) [中間領域起動率]                      未臨界を監視する主要パラメータである中間領域起動率 (自主対策設備) の計測が不可能となった場合、代替パラメータの中間領域中性子束、中性子源領域中性子束又は中性子源領域起動率 (自主対策設備) により推定する。</p> <p>推定方法は以下のとおりである。</p> <p>①中間領域中性子束                      中間領域起動率 (自主対策設備) の計測が不可能となった場合、代替パラメータの中間領域中性子束により推定する。</p> <p>①中性子源領域中性子束、② [中性子源領域起動率]                      中性子源領域中性子束の測定範囲の場合、代替パラメータの中性子源領域中性子束及び中性子源領域起動率 (自主対策設備) により推定する。</p> <p>(5) [中性子源領域起動率]                      未臨界を監視する主要パラメータである中性子源領域起動率 (自主対策設備) の計測が不可能となった場合、代替パラメータの中性子源領域中性子束、中間領域中性子束又は中間領域起動率 (自主対策設備) により推定する。</p>	

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容  
 赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由				
		<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1256 161 1339 376">推定方法</td> <td data-bbox="1339 161 1814 376">                     推定方法は以下のとおりである。                      ①中性子源領域中性子束                      中性子源領域起動率 (自主対策設備) の計測が不可能となった場合、代替パラメータの中性子源領域中性子束により推定する。                      ②中間領域中性子束、③ [中間領域起動率]                      中間領域中性子束の測定範囲の場合、代替パラメータの中間領域中性子束及び中間領域起動率 (自主対策設備) により推定する。                 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1256 376 1339 1018">推定の評価</td> <td data-bbox="1339 376 1814 1018">                     (1) 出力領域中性子束                      ① 中間領域中性子束                      中間領域中性子束による推定は直接的に原子炉出力を計測するものであり、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。                      ② 1 次冷却材温度 (広域-高温側)、1 次冷却材温度 (広域-低温側)                      1 次冷却材温度 (広域-高温側) と 1 次冷却材温度 (広域-低温側) の差による推定は、原子炉出力及び 1 次冷却材温度 (広域-高温側) と 1 次冷却材温度 (広域-低温側) の温度差の相関関係から原子炉出力を推定するものであり、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。                      ③ ほう酸タンク水位                      ほう酸タンクは、原子炉が低温状態において臨界未満に維持できる設備であるため、その機能が満足していることを、ほう酸タンク水位の低下量に基づき原子炉の未臨界状態に必要なほう酸水量が炉心に注入されたことから確認することができる。これにより、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。                      (2) 中間領域中性子束                      ① 出力領域中性子束、中性子源領域中性子束                      出力領域中性子束又は中性子源領域中性子束による推定は、直接的に原子炉出力を計測するものであり、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。                      ③ ほう酸タンク水位                      ほう酸タンクは、原子炉が低温状態において臨界未満に維持できる設備であるため、その機能が満足していることを、ほう酸タンク水位の低下量に基づき原子炉の未臨界状態に必要なほう酸水量が炉心に注入されたことから確認することができる。これにより、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。                 </td> </tr> </table>	推定方法	推定方法は以下のとおりである。 ①中性子源領域中性子束 中性子源領域起動率 (自主対策設備) の計測が不可能となった場合、代替パラメータの中性子源領域中性子束により推定する。 ②中間領域中性子束、③ [中間領域起動率] 中間領域中性子束の測定範囲の場合、代替パラメータの中間領域中性子束及び中間領域起動率 (自主対策設備) により推定する。	推定の評価	(1) 出力領域中性子束 ① 中間領域中性子束 中間領域中性子束による推定は直接的に原子炉出力を計測するものであり、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。 ② 1 次冷却材温度 (広域-高温側)、1 次冷却材温度 (広域-低温側) 1 次冷却材温度 (広域-高温側) と 1 次冷却材温度 (広域-低温側) の差による推定は、原子炉出力及び 1 次冷却材温度 (広域-高温側) と 1 次冷却材温度 (広域-低温側) の温度差の相関関係から原子炉出力を推定するものであり、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。 ③ ほう酸タンク水位 ほう酸タンクは、原子炉が低温状態において臨界未満に維持できる設備であるため、その機能が満足していることを、ほう酸タンク水位の低下量に基づき原子炉の未臨界状態に必要なほう酸水量が炉心に注入されたことから確認することができる。これにより、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。 (2) 中間領域中性子束 ① 出力領域中性子束、中性子源領域中性子束 出力領域中性子束又は中性子源領域中性子束による推定は、直接的に原子炉出力を計測するものであり、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。 ③ ほう酸タンク水位 ほう酸タンクは、原子炉が低温状態において臨界未満に維持できる設備であるため、その機能が満足していることを、ほう酸タンク水位の低下量に基づき原子炉の未臨界状態に必要なほう酸水量が炉心に注入されたことから確認することができる。これにより、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。	
推定方法	推定方法は以下のとおりである。 ①中性子源領域中性子束 中性子源領域起動率 (自主対策設備) の計測が不可能となった場合、代替パラメータの中性子源領域中性子束により推定する。 ②中間領域中性子束、③ [中間領域起動率] 中間領域中性子束の測定範囲の場合、代替パラメータの中間領域中性子束及び中間領域起動率 (自主対策設備) により推定する。						
推定の評価	(1) 出力領域中性子束 ① 中間領域中性子束 中間領域中性子束による推定は直接的に原子炉出力を計測するものであり、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。 ② 1 次冷却材温度 (広域-高温側)、1 次冷却材温度 (広域-低温側) 1 次冷却材温度 (広域-高温側) と 1 次冷却材温度 (広域-低温側) の差による推定は、原子炉出力及び 1 次冷却材温度 (広域-高温側) と 1 次冷却材温度 (広域-低温側) の温度差の相関関係から原子炉出力を推定するものであり、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。 ③ ほう酸タンク水位 ほう酸タンクは、原子炉が低温状態において臨界未満に維持できる設備であるため、その機能が満足していることを、ほう酸タンク水位の低下量に基づき原子炉の未臨界状態に必要なほう酸水量が炉心に注入されたことから確認することができる。これにより、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。 (2) 中間領域中性子束 ① 出力領域中性子束、中性子源領域中性子束 出力領域中性子束又は中性子源領域中性子束による推定は、直接的に原子炉出力を計測するものであり、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。 ③ ほう酸タンク水位 ほう酸タンクは、原子炉が低温状態において臨界未満に維持できる設備であるため、その機能が満足していることを、ほう酸タンク水位の低下量に基づき原子炉の未臨界状態に必要なほう酸水量が炉心に注入されたことから確認することができる。これにより、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。						



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>(3) 中性子源領域中性子束                      ① 中間領域中性子束                      中間領域中性子束による推定は、直接的に原子炉出力を計測するものであり、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。</p> <p>② ほう酸タンク水位                      ほう酸タンクは、原子炉が低温状態において臨界未満に維持できる設備であるため、その機能が満足していることを、ほう酸タンク水位の低下量に基づき原子炉の未臨界状態に必要なほう酸水量が炉心に注入されたことから確認することができる。これにより、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。</p> <p>(4) [中間領域起動率]                      ① 中間領域中性子束                      中間領域中性子束による推定は、直接的に原子炉出力を計測するものであり、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。</p> <p>① 中性子源領域中性子束、② [中性子源領域起動率]                      中性子源領域中性子束による推定は、直接的に原子炉出力を計測するものであり、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。また、中性子源領域起動率 (自主対策設備) による推定は、直接的に計測した原子炉出力から原子炉出力の変化率を計測するものであり、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。</p> <p>(5) [中性子源領域起動率]                      ① 中性子源領域中性子束                      中性子源領域中性子束による推定は、直接的に原子炉出力を計測するものであり、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。</p> <p>① 中間領域中性子束、② [中間領域起動率]                      中間領域中性子束による推定は、直接的に原子炉出力を計測するものであり、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。また、中間領域起動率 (自主対策設備) による推定は、直接的に計測した原子炉出力から原子炉出力の変化率を計測するものであり、原子炉の未臨界を推定する方法として妥当である。</p> <p>[過差による影響について]                      未臨界を監視する目的は、制御棒又はほう酸水により原子炉が停止していることを把握することであり、代替パラメータ (出力領域中性子束、中間領域中性子束、中性子源領域中性子束、中間領域起動率 (自主対策設備)、中性子源領域起動率 (自主対策設備)) による推定は、同一物量からの推定であり、原子炉が停止していることを把握でき、計器過差 (出力領域中性子束の過差: ±1.0%、中間領域中性子束の過差: <math>5.4 \times 10^{-12} \sim 1.9 \times 10^{-9}</math>、中性子源領域中</p>	
		<p>推定の評価</p> <p>性子束の過差: <math>6.6 \times 10^{-1} \sim 1.6 \times 10^6</math>(cps) を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。                      代替パラメータ (1次冷却材温度 (広域-高温側)、1次冷却材温度 (広域-低温側)) による推定は、1次冷却材温度 (広域-高温側) と1次冷却材温度 (広域-低温側) の温度差と原子炉出力の相関関係から原子炉が停止していることを把握でき、計器過差 (1次冷却材温度 (広域-高温側) の過差: ±4.4℃、1次冷却材温度 (広域-低温側) の過差: ±4.4℃) を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。                      代替パラメータ (ほう酸タンク水位) による推定は、原子炉へのほう酸水注入量により未臨界状態であるか否かを把握でき、計器過差 (ほう酸タンク水位の過差: ±1.0%) を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>以上より、これらの代替パラメータによる推定で、炉心損傷防止対策及び原子炉格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																						
	<p>(1) 主要パラメータの代替パラメータ (他チャンネルを除く) による推定方法について (最終ヒートシンクの確保)</p> <table border="1" data-bbox="672 223 1227 1053"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">最終ヒートシンクの確保</th> </tr> <tr> <th></th> <th>監視パラメータ</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align:center">代替蒸発冷却系</td> </tr> <tr> <td>サブプレッションプール水温</td> <td>0~260℃</td> <td>97℃以下</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器入口温度</td> <td>0~300℃</td> <td>最大値：186℃</td> </tr> <tr> <td>代替蒸発冷却ポンプ出口流量</td> <td>0~280m<sup>3</sup>/h</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align:center">原子炉格納容器フィルタベント系</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置水位 (広帯域)</td> <td>0~3, 650mm</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置入口圧力 (広帯域)</td> <td>-0.1MPa~-10%[gauge]</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置出口圧力 (広帯域)</td> <td>-0.1MPa~-10%[gauge]</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置温度</td> <td>0~260℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置出口放射線モニタ</td> <td>10<sup>-6</sup>sv/h~10<sup>-7</sup>sv/h</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置出口水素濃度</td> <td>0~30vol%</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0~100vol%</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align:center">酸化還元ベント系</td> </tr> <tr> <td>酸化還元ベント系放射線モニタ</td> <td>10<sup>-6</sup>sv/h~10<sup>-7</sup>sv/h</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align:center">残留熱除去系</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器入口温度</td> <td>0~300℃</td> <td>最大値：186℃</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器出口温度</td> <td>0~300℃</td> <td>最大値：186℃</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量</td> <td>0~1, 500m<sup>3</sup>/h</td> <td>0~1, 120m<sup>3</sup>/h</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align:center">代替蒸発冷却系</td> </tr> <tr> <td>①主圧力制御室内空気温度 (サブプレッションプール水温の代替)</td> <td>0~360℃</td> <td>97℃以下</td> </tr> <tr> <td>②サブプレッションプール水温 (残留熱除去系熱交換器入口温度の代替)</td> <td>0~260℃</td> <td>97℃以下</td> </tr> <tr> <td>③主圧力制御室水位 (代替蒸発冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉圧力容器への注水)</td> <td>0~5m (0, P, -3900mm~1100mm)</td> <td>0, 0.5m (0, P, -3450mm)</td> </tr> <tr> <td>④原子炉水位 (広帯域) (代替蒸発冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉圧力容器への注水)</td> <td>-3, 800mm~-1, 500mm<sup>①</sup></td> <td>有燃料棒底部程度~レベル8 (-7, 832mm~-1, 470mm) <sup>②</sup></td> </tr> <tr> <td>⑤原子炉水位 (燃料域) (代替蒸発冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉圧力容器への注水)</td> <td>-3, 800mm~-1, 300mm<sup>①</sup></td> <td>有燃料棒底部程度~レベル8 (-3, 702mm~-5, 400mm) <sup>③</sup></td> </tr> <tr> <td>⑥原子炉水位 (SA広帯域) (代替蒸発冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉圧力容器への注水)</td> <td>-3, 800mm~-1, 500mm<sup>①</sup></td> <td>有燃料棒底部程度~レベル8 (-7, 832mm~-1, 470mm) <sup>④</sup></td> </tr> <tr> <td>⑦原子炉水位 (SA燃料域) (代替蒸発冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉圧力容器への注水)</td> <td>-3, 800mm~-1, 300mm<sup>①</sup></td> <td>有燃料棒底部程度~レベル8 (-3, 702mm~-5, 400mm) <sup>⑤</sup></td> </tr> <tr> <td>⑧原子炉格納容器下部水位 (代替蒸発冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉格納容器への注水)</td> <td>0, 5m, 1, 0m, 1, 5m, 2, 0m, 2, 5m, 2, 9m (0, P, -2000mm, -1500mm, -1000mm, -500mm, 0mm, 300mm)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>⑨ドライウェル水位 (代替蒸発冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉格納容器への注水)</td> <td>0, 02m, 0, 25m, 0, 34m (0, P, 1170mm, 1380mm, 1450mm)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>⑩ドライウェル温度 (代替蒸発冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉格納容器への注水)</td> <td>0~360℃</td> <td>146℃以下</td> </tr> <tr> <td>⑪ドライウェル圧力 (代替蒸発冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉格納容器への注水)</td> <td>0~1MPa[abs]</td> <td>330kPa[gauge] 以下</td> </tr> </tbody> </table>	項目	最終ヒートシンクの確保			監視パラメータ	設計基準	代替蒸発冷却系			サブプレッションプール水温	0~260℃	97℃以下	残留熱除去系熱交換器入口温度	0~300℃	最大値：186℃	代替蒸発冷却ポンプ出口流量	0~280m <sup>3</sup> /h	—	原子炉格納容器フィルタベント系			フィルタ装置水位 (広帯域)	0~3, 650mm	—	フィルタ装置入口圧力 (広帯域)	-0.1MPa~-10%[gauge]	—	フィルタ装置出口圧力 (広帯域)	-0.1MPa~-10%[gauge]	—	フィルタ装置温度	0~260℃	—	フィルタ装置出口放射線モニタ	10 <sup>-6</sup> sv/h~10 <sup>-7</sup> sv/h	—	フィルタ装置出口水素濃度	0~30vol%	—		0~100vol%	—	酸化還元ベント系			酸化還元ベント系放射線モニタ	10 <sup>-6</sup> sv/h~10 <sup>-7</sup> sv/h	—	残留熱除去系			残留熱除去系熱交換器入口温度	0~300℃	最大値：186℃	残留熱除去系熱交換器出口温度	0~300℃	最大値：186℃	残留熱除去系ポンプ出口流量	0~1, 500m <sup>3</sup> /h	0~1, 120m <sup>3</sup> /h	代替蒸発冷却系			①主圧力制御室内空気温度 (サブプレッションプール水温の代替)	0~360℃	97℃以下	②サブプレッションプール水温 (残留熱除去系熱交換器入口温度の代替)	0~260℃	97℃以下	③主圧力制御室水位 (代替蒸発冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉圧力容器への注水)	0~5m (0, P, -3900mm~1100mm)	0, 0.5m (0, P, -3450mm)	④原子炉水位 (広帯域) (代替蒸発冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉圧力容器への注水)	-3, 800mm~-1, 500mm <sup>①</sup>	有燃料棒底部程度~レベル8 (-7, 832mm~-1, 470mm) <sup>②</sup>	⑤原子炉水位 (燃料域) (代替蒸発冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉圧力容器への注水)	-3, 800mm~-1, 300mm <sup>①</sup>	有燃料棒底部程度~レベル8 (-3, 702mm~-5, 400mm) <sup>③</sup>	⑥原子炉水位 (SA広帯域) (代替蒸発冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉圧力容器への注水)	-3, 800mm~-1, 500mm <sup>①</sup>	有燃料棒底部程度~レベル8 (-7, 832mm~-1, 470mm) <sup>④</sup>	⑦原子炉水位 (SA燃料域) (代替蒸発冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉圧力容器への注水)	-3, 800mm~-1, 300mm <sup>①</sup>	有燃料棒底部程度~レベル8 (-3, 702mm~-5, 400mm) <sup>⑤</sup>	⑧原子炉格納容器下部水位 (代替蒸発冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉格納容器への注水)	0, 5m, 1, 0m, 1, 5m, 2, 0m, 2, 5m, 2, 9m (0, P, -2000mm, -1500mm, -1000mm, -500mm, 0mm, 300mm)	—	⑨ドライウェル水位 (代替蒸発冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉格納容器への注水)	0, 02m, 0, 25m, 0, 34m (0, P, 1170mm, 1380mm, 1450mm)	—	⑩ドライウェル温度 (代替蒸発冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉格納容器への注水)	0~360℃	146℃以下	⑪ドライウェル圧力 (代替蒸発冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉格納容器への注水)	0~1MPa[abs]	330kPa[gauge] 以下	<p>(o) 主要パラメータの代替パラメータ (他チャンネル及び他ループを除く) による推定方法について (最終ヒートシンクの確保)</p> <table border="1" data-bbox="1254 223 1814 1053"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">最終ヒートシンクの確保</th> </tr> <tr> <th></th> <th>監視パラメータ</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align:center">格納容器内自然対流冷却系</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器圧力</td> <td>0~0, 35MPa[gauge]</td> <td>最大値： 約0, 241MPa[gauge]</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水サージタンク水位</td> <td>0~100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>[原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (AM用)]</td> <td>0~1, 0MPa[gauge]</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>[C, D-格納容器再蒸発ユニット補機冷却水流量]</td> <td>0~120m<sup>3</sup>/h</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>格納容器再蒸発ユニット入口温度/出口温度</td> <td>0~200℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>[C, D-原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水温度]</td> <td>0~100℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>[B-原子炉補機冷却水戻り母管温度]</td> <td>0~100℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align:center">蒸気発生器2次側冷却系</td> </tr> <tr> <td>主蒸気ライン圧力</td> <td>0~8, 5MPa[gauge]</td> <td>最大値： 約7, 8MPa[gauge]</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位 (狭域)</td> <td>0~100%</td> <td>最大値：100%以上 最小値：0%以下</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位 (広域)</td> <td>0~100%</td> <td>最大値：100%以上 最小値：0%以下</td> </tr> <tr> <td>補助給水流量</td> <td>0~130m<sup>3</sup>/h</td> <td>50m<sup>3</sup>/h</td> </tr> <tr> <td>[主蒸気流量]</td> <td>0~2, 000t/h</td> <td>最大値：約4, 836t/h</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align:center">格納容器内自然対流冷却系</td> </tr> <tr> <td>①格納容器圧力 (AM用) (原子炉格納容器圧力の代替)</td> <td>0~1, 0MPa[gauge]</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	項目	最終ヒートシンクの確保			監視パラメータ	設計基準	格納容器内自然対流冷却系			原子炉格納容器圧力	0~0, 35MPa[gauge]	最大値： 約0, 241MPa[gauge]	原子炉補機冷却水サージタンク水位	0~100%	100%	[原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (AM用)]	0~1, 0MPa[gauge]	—	[C, D-格納容器再蒸発ユニット補機冷却水流量]	0~120m <sup>3</sup> /h	—	格納容器再蒸発ユニット入口温度/出口温度	0~200℃	—	[C, D-原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水温度]	0~100℃	—	[B-原子炉補機冷却水戻り母管温度]	0~100℃	—	蒸気発生器2次側冷却系			主蒸気ライン圧力	0~8, 5MPa[gauge]	最大値： 約7, 8MPa[gauge]	蒸気発生器水位 (狭域)	0~100%	最大値：100%以上 最小値：0%以下	蒸気発生器水位 (広域)	0~100%	最大値：100%以上 最小値：0%以下	補助給水流量	0~130m <sup>3</sup> /h	50m <sup>3</sup> /h	[主蒸気流量]	0~2, 000t/h	最大値：約4, 836t/h	格納容器内自然対流冷却系			①格納容器圧力 (AM用) (原子炉格納容器圧力の代替)	0~1, 0MPa[gauge]	—	
項目	最終ヒートシンクの確保																																																																																																																																																								
	監視パラメータ	設計基準																																																																																																																																																							
代替蒸発冷却系																																																																																																																																																									
サブプレッションプール水温	0~260℃	97℃以下																																																																																																																																																							
残留熱除去系熱交換器入口温度	0~300℃	最大値：186℃																																																																																																																																																							
代替蒸発冷却ポンプ出口流量	0~280m <sup>3</sup> /h	—																																																																																																																																																							
原子炉格納容器フィルタベント系																																																																																																																																																									
フィルタ装置水位 (広帯域)	0~3, 650mm	—																																																																																																																																																							
フィルタ装置入口圧力 (広帯域)	-0.1MPa~-10%[gauge]	—																																																																																																																																																							
フィルタ装置出口圧力 (広帯域)	-0.1MPa~-10%[gauge]	—																																																																																																																																																							
フィルタ装置温度	0~260℃	—																																																																																																																																																							
フィルタ装置出口放射線モニタ	10 <sup>-6</sup> sv/h~10 <sup>-7</sup> sv/h	—																																																																																																																																																							
フィルタ装置出口水素濃度	0~30vol%	—																																																																																																																																																							
	0~100vol%	—																																																																																																																																																							
酸化還元ベント系																																																																																																																																																									
酸化還元ベント系放射線モニタ	10 <sup>-6</sup> sv/h~10 <sup>-7</sup> sv/h	—																																																																																																																																																							
残留熱除去系																																																																																																																																																									
残留熱除去系熱交換器入口温度	0~300℃	最大値：186℃																																																																																																																																																							
残留熱除去系熱交換器出口温度	0~300℃	最大値：186℃																																																																																																																																																							
残留熱除去系ポンプ出口流量	0~1, 500m <sup>3</sup> /h	0~1, 120m <sup>3</sup> /h																																																																																																																																																							
代替蒸発冷却系																																																																																																																																																									
①主圧力制御室内空気温度 (サブプレッションプール水温の代替)	0~360℃	97℃以下																																																																																																																																																							
②サブプレッションプール水温 (残留熱除去系熱交換器入口温度の代替)	0~260℃	97℃以下																																																																																																																																																							
③主圧力制御室水位 (代替蒸発冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉圧力容器への注水)	0~5m (0, P, -3900mm~1100mm)	0, 0.5m (0, P, -3450mm)																																																																																																																																																							
④原子炉水位 (広帯域) (代替蒸発冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉圧力容器への注水)	-3, 800mm~-1, 500mm <sup>①</sup>	有燃料棒底部程度~レベル8 (-7, 832mm~-1, 470mm) <sup>②</sup>																																																																																																																																																							
⑤原子炉水位 (燃料域) (代替蒸発冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉圧力容器への注水)	-3, 800mm~-1, 300mm <sup>①</sup>	有燃料棒底部程度~レベル8 (-3, 702mm~-5, 400mm) <sup>③</sup>																																																																																																																																																							
⑥原子炉水位 (SA広帯域) (代替蒸発冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉圧力容器への注水)	-3, 800mm~-1, 500mm <sup>①</sup>	有燃料棒底部程度~レベル8 (-7, 832mm~-1, 470mm) <sup>④</sup>																																																																																																																																																							
⑦原子炉水位 (SA燃料域) (代替蒸発冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉圧力容器への注水)	-3, 800mm~-1, 300mm <sup>①</sup>	有燃料棒底部程度~レベル8 (-3, 702mm~-5, 400mm) <sup>⑤</sup>																																																																																																																																																							
⑧原子炉格納容器下部水位 (代替蒸発冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉格納容器への注水)	0, 5m, 1, 0m, 1, 5m, 2, 0m, 2, 5m, 2, 9m (0, P, -2000mm, -1500mm, -1000mm, -500mm, 0mm, 300mm)	—																																																																																																																																																							
⑨ドライウェル水位 (代替蒸発冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉格納容器への注水)	0, 02m, 0, 25m, 0, 34m (0, P, 1170mm, 1380mm, 1450mm)	—																																																																																																																																																							
⑩ドライウェル温度 (代替蒸発冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉格納容器への注水)	0~360℃	146℃以下																																																																																																																																																							
⑪ドライウェル圧力 (代替蒸発冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉格納容器への注水)	0~1MPa[abs]	330kPa[gauge] 以下																																																																																																																																																							
項目	最終ヒートシンクの確保																																																																																																																																																								
	監視パラメータ	設計基準																																																																																																																																																							
格納容器内自然対流冷却系																																																																																																																																																									
原子炉格納容器圧力	0~0, 35MPa[gauge]	最大値： 約0, 241MPa[gauge]																																																																																																																																																							
原子炉補機冷却水サージタンク水位	0~100%	100%																																																																																																																																																							
[原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (AM用)]	0~1, 0MPa[gauge]	—																																																																																																																																																							
[C, D-格納容器再蒸発ユニット補機冷却水流量]	0~120m <sup>3</sup> /h	—																																																																																																																																																							
格納容器再蒸発ユニット入口温度/出口温度	0~200℃	—																																																																																																																																																							
[C, D-原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水温度]	0~100℃	—																																																																																																																																																							
[B-原子炉補機冷却水戻り母管温度]	0~100℃	—																																																																																																																																																							
蒸気発生器2次側冷却系																																																																																																																																																									
主蒸気ライン圧力	0~8, 5MPa[gauge]	最大値： 約7, 8MPa[gauge]																																																																																																																																																							
蒸気発生器水位 (狭域)	0~100%	最大値：100%以上 最小値：0%以下																																																																																																																																																							
蒸気発生器水位 (広域)	0~100%	最大値：100%以上 最小値：0%以下																																																																																																																																																							
補助給水流量	0~130m <sup>3</sup> /h	50m <sup>3</sup> /h																																																																																																																																																							
[主蒸気流量]	0~2, 000t/h	最大値：約4, 836t/h																																																																																																																																																							
格納容器内自然対流冷却系																																																																																																																																																									
①格納容器圧力 (AM用) (原子炉格納容器圧力の代替)	0~1, 0MPa[gauge]	—																																																																																																																																																							

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由																																																																											
	<table border="1"> <tr> <td>②圧力抑制室圧力 (代替循環冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉格納容器への注水)</td> <td>0~1MPa[abs]</td> <td>210kPa[gage] 以下</td> </tr> <tr> <td>③原子炉圧力容器温度 (代替循環冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉圧力容器への注水)</td> <td>0~500℃</td> <td>最大値：297℃</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align:center">原子炉格納容器フィルタベント系</td> </tr> <tr> <td>①ドライウェル圧力 (フィルタ装置入口圧力 (広帯域)、フィルタ装置出口圧力 (広帯域) の代替)</td> <td>0~1MPa[abs]</td> <td>330kPa[gage] 以下</td> </tr> <tr> <td>①圧力抑制室圧力 (フィルタ装置入口圧力 (広帯域)、フィルタ装置出口圧力 (広帯域) の代替)</td> <td>0~1MPa[abs]</td> <td>210kPa[gage] 以下</td> </tr> <tr> <td>①格納容器内水素濃度 (D/W) (フィルタ装置出口水素濃度の代替)</td> <td>0~100%vol</td> <td>0~1.9%vol</td> </tr> <tr> <td>①格納容器内水素濃度 (S/O) (フィルタ装置出口水素濃度の代替)</td> <td>0~100%vol</td> <td>0~1.9%vol</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align:center">残留熱除去系</td> </tr> <tr> <td>①原子炉圧力容器温度 (残留熱除去系熱交換器入口温度の代替)</td> <td>0~500℃</td> <td>最大値：297℃</td> </tr> <tr> <td>①サブプレッションプール水温度 (残留熱除去系熱交換器入口温度の代替)</td> <td>0~200℃</td> <td>97℃以下</td> </tr> <tr> <td>①残留熱除去系熱交換器入口温度 (残留熱除去系熱交換器出口温度の代替)</td> <td>0~300℃</td> <td>最大値：180℃</td> </tr> <tr> <td>①圧力抑制室水位 (残留熱除去系ポンプ出口流量の代替)</td> <td>0~5m (0.P.-3900mm~1100mm)</td> <td>0.05m (0.P.-3850mm)</td> </tr> <tr> <td>②原子炉補機冷却水系統流量 (残留熱除去系熱交換器出口温度の代替)</td> <td>0~4,000m<sup>3</sup>/h</td> <td>0~2,800m<sup>3</sup>/h</td> </tr> <tr> <td>②残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量 (残留熱除去系熱交換器出口流量の代替)</td> <td>0~1,500m<sup>3</sup>/h</td> <td>0~950m<sup>3</sup>/h</td> </tr> <tr> <td>②残留熱除去系ポンプ出口圧力 (残留熱除去系ポンプ出口流量の代替)</td> <td>0~4MPa[gage]</td> <td>最大値：3.73MPa[gage]</td> </tr> <tr> <td colspan="3">                     * 1: 計測範囲の帯は、原子炉圧力容器等レベルより 1.313m 上のところとする (ドライヤスカート底部付近)。                      * 2: 計測範囲の帯は、原子炉圧力容器等レベルより 900cm 上のところとする (有燃燃料棒底部付近)。                 </td> </tr> <tr> <td>計測目的</td> <td colspan="2">重大事故等において、主要パラメータにて最終ヒートシンクの確保を監視する目的は、原子炉圧力容器及び原子炉格納容器の除熱が適切に行われているかどうかの確認である。なお、最終ヒートシンクの確保はプラント状態を監視するため、単一パラメータで確認することは困難であり、複数のパラメータを組み合わせるにより監視が可能である。</td> </tr> <tr> <td>検定方法</td> <td colspan="2">                     1. 代替循環冷却系                      (1) サブプレッションプール水温度                      ①圧力抑制室内空気温度                      サブプレッションプール水温度の監視が不可能となった場合には、サブプレッションチェンバ内の空気温度と水蒸気が平衡状態であると仮定し、圧力抑制室内空気温度により推定する。                      (2) 残留熱除去系熱交換器入口温度                      ①サブプレッションプール水温度                      残留熱除去系熱交換器入口温度の監視が不可能となった場合は、サブプレッションプール水温度により残留熱除去系熱交換器入口温度を推定する。                      (3) 代替循環冷却ポンプ出口流量 (原子炉圧力容器への注水)                      ①圧力抑制室水位                      原子炉圧力容器への注水時に、代替循環冷却ポンプ出口流量の監視が不可能となった場合は、水銀である圧力抑制室水位の変化により注水量を推定する。                 </td> </tr> </table>	②圧力抑制室圧力 (代替循環冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉格納容器への注水)	0~1MPa[abs]	210kPa[gage] 以下	③原子炉圧力容器温度 (代替循環冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉圧力容器への注水)	0~500℃	最大値：297℃	原子炉格納容器フィルタベント系			①ドライウェル圧力 (フィルタ装置入口圧力 (広帯域)、フィルタ装置出口圧力 (広帯域) の代替)	0~1MPa[abs]	330kPa[gage] 以下	①圧力抑制室圧力 (フィルタ装置入口圧力 (広帯域)、フィルタ装置出口圧力 (広帯域) の代替)	0~1MPa[abs]	210kPa[gage] 以下	①格納容器内水素濃度 (D/W) (フィルタ装置出口水素濃度の代替)	0~100%vol	0~1.9%vol	①格納容器内水素濃度 (S/O) (フィルタ装置出口水素濃度の代替)	0~100%vol	0~1.9%vol	残留熱除去系			①原子炉圧力容器温度 (残留熱除去系熱交換器入口温度の代替)	0~500℃	最大値：297℃	①サブプレッションプール水温度 (残留熱除去系熱交換器入口温度の代替)	0~200℃	97℃以下	①残留熱除去系熱交換器入口温度 (残留熱除去系熱交換器出口温度の代替)	0~300℃	最大値：180℃	①圧力抑制室水位 (残留熱除去系ポンプ出口流量の代替)	0~5m (0.P.-3900mm~1100mm)	0.05m (0.P.-3850mm)	②原子炉補機冷却水系統流量 (残留熱除去系熱交換器出口温度の代替)	0~4,000m <sup>3</sup> /h	0~2,800m <sup>3</sup> /h	②残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量 (残留熱除去系熱交換器出口流量の代替)	0~1,500m <sup>3</sup> /h	0~950m <sup>3</sup> /h	②残留熱除去系ポンプ出口圧力 (残留熱除去系ポンプ出口流量の代替)	0~4MPa[gage]	最大値：3.73MPa[gage]	* 1: 計測範囲の帯は、原子炉圧力容器等レベルより 1.313m 上のところとする (ドライヤスカート底部付近)。 * 2: 計測範囲の帯は、原子炉圧力容器等レベルより 900cm 上のところとする (有燃燃料棒底部付近)。			計測目的	重大事故等において、主要パラメータにて最終ヒートシンクの確保を監視する目的は、原子炉圧力容器及び原子炉格納容器の除熱が適切に行われているかどうかの確認である。なお、最終ヒートシンクの確保はプラント状態を監視するため、単一パラメータで確認することは困難であり、複数のパラメータを組み合わせるにより監視が可能である。		検定方法	1. 代替循環冷却系 (1) サブプレッションプール水温度 ①圧力抑制室内空気温度 サブプレッションプール水温度の監視が不可能となった場合には、サブプレッションチェンバ内の空気温度と水蒸気が平衡状態であると仮定し、圧力抑制室内空気温度により推定する。 (2) 残留熱除去系熱交換器入口温度 ①サブプレッションプール水温度 残留熱除去系熱交換器入口温度の監視が不可能となった場合は、サブプレッションプール水温度により残留熱除去系熱交換器入口温度を推定する。 (3) 代替循環冷却ポンプ出口流量 (原子炉圧力容器への注水) ①圧力抑制室水位 原子炉圧力容器への注水時に、代替循環冷却ポンプ出口流量の監視が不可能となった場合は、水銀である圧力抑制室水位の変化により注水量を推定する。		<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">代替 パラメータ</td> <td>①格納容器内温度 (原子炉格納容器圧力、〔C、D〕格納容器再循環ユニット補機冷却水流量) 及び格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度の代替)</td> <td>0~220℃</td> <td>最大値：約 124℃</td> </tr> <tr> <td>①格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度 (原子炉補機冷却水サージタンク水位、〔C、D〕原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水温度) 及び〔B〕原子炉補機冷却水戻り母管温度) の代替)</td> <td>0~200℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>①原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型) (〔原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (AM 用)〕の代替)</td> <td>0~1.0MPa[gage]</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>①原子炉格納容器圧力 (〔C、D〕格納容器再循環ユニット補機冷却水流量) 及び格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度の代替)</td> <td>0~0.35MPa[gage]</td> <td>最大値：約 0.24MPa[gage]</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align:center">蒸気発生器 2 次側冷却系</td> </tr> <tr> <td></td> <td>① 1 次冷却材温度 (広域一低温度) (主蒸気ライン圧力、蒸気発生器水位 (狭域) 及び蒸気発生器水位 (広域) の代替)</td> <td>0~400℃</td> <td>最大値：約 339℃</td> </tr> </table>	代替 パラメータ	①格納容器内温度 (原子炉格納容器圧力、〔C、D〕格納容器再循環ユニット補機冷却水流量) 及び格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度の代替)	0~220℃	最大値：約 124℃	①格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度 (原子炉補機冷却水サージタンク水位、〔C、D〕原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水温度) 及び〔B〕原子炉補機冷却水戻り母管温度) の代替)	0~200℃	—	①原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型) (〔原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (AM 用)〕の代替)	0~1.0MPa[gage]	—	①原子炉格納容器圧力 (〔C、D〕格納容器再循環ユニット補機冷却水流量) 及び格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度の代替)	0~0.35MPa[gage]	最大値：約 0.24MPa[gage]	蒸気発生器 2 次側冷却系					① 1 次冷却材温度 (広域一低温度) (主蒸気ライン圧力、蒸気発生器水位 (狭域) 及び蒸気発生器水位 (広域) の代替)	0~400℃	最大値：約 339℃	
②圧力抑制室圧力 (代替循環冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉格納容器への注水)	0~1MPa[abs]	210kPa[gage] 以下																																																																												
③原子炉圧力容器温度 (代替循環冷却ポンプ出口流量の代替) (原子炉圧力容器への注水)	0~500℃	最大値：297℃																																																																												
原子炉格納容器フィルタベント系																																																																														
①ドライウェル圧力 (フィルタ装置入口圧力 (広帯域)、フィルタ装置出口圧力 (広帯域) の代替)	0~1MPa[abs]	330kPa[gage] 以下																																																																												
①圧力抑制室圧力 (フィルタ装置入口圧力 (広帯域)、フィルタ装置出口圧力 (広帯域) の代替)	0~1MPa[abs]	210kPa[gage] 以下																																																																												
①格納容器内水素濃度 (D/W) (フィルタ装置出口水素濃度の代替)	0~100%vol	0~1.9%vol																																																																												
①格納容器内水素濃度 (S/O) (フィルタ装置出口水素濃度の代替)	0~100%vol	0~1.9%vol																																																																												
残留熱除去系																																																																														
①原子炉圧力容器温度 (残留熱除去系熱交換器入口温度の代替)	0~500℃	最大値：297℃																																																																												
①サブプレッションプール水温度 (残留熱除去系熱交換器入口温度の代替)	0~200℃	97℃以下																																																																												
①残留熱除去系熱交換器入口温度 (残留熱除去系熱交換器出口温度の代替)	0~300℃	最大値：180℃																																																																												
①圧力抑制室水位 (残留熱除去系ポンプ出口流量の代替)	0~5m (0.P.-3900mm~1100mm)	0.05m (0.P.-3850mm)																																																																												
②原子炉補機冷却水系統流量 (残留熱除去系熱交換器出口温度の代替)	0~4,000m <sup>3</sup> /h	0~2,800m <sup>3</sup> /h																																																																												
②残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量 (残留熱除去系熱交換器出口流量の代替)	0~1,500m <sup>3</sup> /h	0~950m <sup>3</sup> /h																																																																												
②残留熱除去系ポンプ出口圧力 (残留熱除去系ポンプ出口流量の代替)	0~4MPa[gage]	最大値：3.73MPa[gage]																																																																												
* 1: 計測範囲の帯は、原子炉圧力容器等レベルより 1.313m 上のところとする (ドライヤスカート底部付近)。 * 2: 計測範囲の帯は、原子炉圧力容器等レベルより 900cm 上のところとする (有燃燃料棒底部付近)。																																																																														
計測目的	重大事故等において、主要パラメータにて最終ヒートシンクの確保を監視する目的は、原子炉圧力容器及び原子炉格納容器の除熱が適切に行われているかどうかの確認である。なお、最終ヒートシンクの確保はプラント状態を監視するため、単一パラメータで確認することは困難であり、複数のパラメータを組み合わせるにより監視が可能である。																																																																													
検定方法	1. 代替循環冷却系 (1) サブプレッションプール水温度 ①圧力抑制室内空気温度 サブプレッションプール水温度の監視が不可能となった場合には、サブプレッションチェンバ内の空気温度と水蒸気が平衡状態であると仮定し、圧力抑制室内空気温度により推定する。 (2) 残留熱除去系熱交換器入口温度 ①サブプレッションプール水温度 残留熱除去系熱交換器入口温度の監視が不可能となった場合は、サブプレッションプール水温度により残留熱除去系熱交換器入口温度を推定する。 (3) 代替循環冷却ポンプ出口流量 (原子炉圧力容器への注水) ①圧力抑制室水位 原子炉圧力容器への注水時に、代替循環冷却ポンプ出口流量の監視が不可能となった場合は、水銀である圧力抑制室水位の変化により注水量を推定する。																																																																													
代替 パラメータ	①格納容器内温度 (原子炉格納容器圧力、〔C、D〕格納容器再循環ユニット補機冷却水流量) 及び格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度の代替)	0~220℃	最大値：約 124℃																																																																											
	①格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度 (原子炉補機冷却水サージタンク水位、〔C、D〕原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水温度) 及び〔B〕原子炉補機冷却水戻り母管温度) の代替)	0~200℃	—																																																																											
	①原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型) (〔原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (AM 用)〕の代替)	0~1.0MPa[gage]	—																																																																											
	①原子炉格納容器圧力 (〔C、D〕格納容器再循環ユニット補機冷却水流量) 及び格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度の代替)	0~0.35MPa[gage]	最大値：約 0.24MPa[gage]																																																																											
蒸気発生器 2 次側冷却系																																																																														
	① 1 次冷却材温度 (広域一低温度) (主蒸気ライン圧力、蒸気発生器水位 (狭域) 及び蒸気発生器水位 (広域) の代替)	0~400℃	最大値：約 339℃																																																																											


灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																					
	<p>②原子炉水位 (広帯域)、原子炉水位 (燃料域)、原子炉水位 (SA広帯域)、原子炉水位 (SA燃料域)                      原子炉圧力容器への注水時において代替循環冷却ポンプ出口流量の監視が不可能となった場合は、注水先の原子炉水位の水位変化により代替循環冷却ポンプ出口流量を推定する。(詳細は、(d) 主要パラメータの代替パラメータ (他チャンネルを除く) による推定方法について (原子炉圧力容器への注水量) 参照)</p> <p>③原子炉圧力容器温度                      原子炉圧力容器への注水時において代替循環冷却ポンプ出口流量の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力容器温度により最終ヒートシンクが確保されていることを確認する。</p> <p>(3) 代替循環冷却ポンプ出口流量 (原子炉格納容器への注水)                      原子炉格納容器への注水時において代替循環冷却ポンプ出口流量の監視が不可能となった場合は、原子炉格納容器下部水位、ドライウエル水位の水位変化により代替循環冷却ポンプ出口流量を推定する。(詳細は、(a) 主要パラメータの代替パラメータ (他チャンネルを除く) による推定方法について (原子炉格納容器への注水量) 参照)</p> <p>②ドライウエル温度、ドライウエル圧力、圧力抑制室圧力                      原子炉格納容器への注水時において代替循環冷却ポンプ出口流量の監視が不可能となった場合は、ドライウエル温度、ドライウエル圧力、圧力抑制室圧力により最終ヒートシンクが確保されていることを確認する。</p> <p>2. 原子炉格納容器フィルタベント系                      (1) フィルタ装置入口圧力 (広帯域)                      ①ドライウエル圧力、圧力抑制室圧力                      フィルタ装置入口圧力 (広帯域) の監視が不可能となった場合は、ドライウエル圧力又は圧力抑制室圧力の傾向監視により原子炉格納容器フィルタベント系の健全性を推定する。</p> <p>(2) フィルタ装置出口圧力 (広帯域)                      ①ドライウエル圧力、圧力抑制室圧力                      フィルタ装置出口圧力 (広帯域) の監視が不可能となった場合は、ドライウエル圧力又は圧力抑制室圧力の傾向監視により原子炉格納容器フィルタベント系の健全性を推定する。</p> <p>(3) フィルタ装置出口水素濃度                      ①格納容器内水素濃度 (D/N)、格納容器内水素濃度 (S/C)                      フィルタ装置出口水素濃度の監視が不可能となった場合は、原子炉格納容器内の水素が原子炉格納容器フィルタベント系の配管内を通過することから、格納容器内水素濃度 (D/N)、格納容器内水素濃度 (S/C) により推定する。</p> <p>3. 残留熱除去系                      (1) 残留熱除去系熱交換器入口温度                      ①原子炉圧力容器温度、サブプレッションプール水温度                      残留熱除去系熱交換器入口温度の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力容器温度、サブプレッションプール水温度により最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。</p> <p>(2) 残留熱除去系熱交換器出口温度                      ①残留熱除去系熱交換器入口温度                      残留熱除去系熱交換器出口温度の監視が不可能となった場合は、残留熱除去系熱交換器の熱交換量評価から残留熱除去系熱交換器入口温度により推定する。</p> <p>②原子炉補機冷却水系系統流量、残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量                      原子炉補機冷却水系の流量が確保されていることで残留熱除去系熱交換器出口側が冷却されるため、これを利用して最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">泊発電所3号炉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1256 148 1480 268">②1次冷却材温度 (広域-高温側) (主蒸気ライン圧力、蒸気発生器水位 (狭域) 及び蒸気発生器水位 (広域) の代替)</td> <td data-bbox="1480 148 1659 268">0~400℃</td> <td data-bbox="1659 148 1814 268">最大値: 約340℃</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1256 268 1480 387">①蒸気発生器水位 (広域) (蒸気発生器水位 (狭域)、補助給水流量及び主蒸気流量) の代替</td> <td data-bbox="1480 268 1659 387">0~100%</td> <td data-bbox="1659 268 1814 387">最大値: 100%以上 最小値: 0%以下</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1256 387 1480 507">①蒸気発生器水位 (狭域) (蒸気発生器水位 (広域)、補助給水流量及び主蒸気流量) の代替</td> <td data-bbox="1480 387 1659 507">0~100%</td> <td data-bbox="1659 387 1814 507">最大値: 100%以上 最小値: 0%以下</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1256 507 1480 563">①補助給水ヒット水位 (補助給水流量の代替)</td> <td data-bbox="1480 507 1659 563">0~100%</td> <td data-bbox="1659 507 1814 563">100%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1256 563 1480 619">①主蒸気ライン圧力 (主蒸気流量) の代替</td> <td data-bbox="1480 563 1659 619">0~8.5MPa [gauge]</td> <td data-bbox="1659 563 1814 619">最大値: 約7.8MPa [gauge]</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1256 619 1480 675">②補助給水流量 (主蒸気流量) の代替</td> <td data-bbox="1480 619 1659 675">0~130m<sup>3</sup>/h</td> <td data-bbox="1659 619 1814 675">50m<sup>3</sup>/h</td> </tr> </tbody> </table> <p>計測目的                      重大事故等時において、主要パラメータにて最終ヒートシンクの確保を監視する目的は、原子炉圧力容器及び原子炉格納容器の除熱が適切に行われているかどうかの確認である。                      なお、最終ヒートシンクの確保はプラント状態を監視するため、単一パラメータで確認することは困難であり、複数のパラメータを組み合わせることでより監視が可能である。</p> <p>推定方法                      1. 格納容器内自然対流冷却系                      (1) 原子炉格納容器圧力                      ①格納容器圧力 (AM用)                      原子炉格納容器圧力の監視が不可能となった場合には、格納容器圧力 (AM用) により推定する。</p>	泊発電所3号炉			②1次冷却材温度 (広域-高温側) (主蒸気ライン圧力、蒸気発生器水位 (狭域) 及び蒸気発生器水位 (広域) の代替)	0~400℃	最大値: 約340℃	①蒸気発生器水位 (広域) (蒸気発生器水位 (狭域)、補助給水流量及び主蒸気流量) の代替	0~100%	最大値: 100%以上 最小値: 0%以下	①蒸気発生器水位 (狭域) (蒸気発生器水位 (広域)、補助給水流量及び主蒸気流量) の代替	0~100%	最大値: 100%以上 最小値: 0%以下	①補助給水ヒット水位 (補助給水流量の代替)	0~100%	100%	①主蒸気ライン圧力 (主蒸気流量) の代替	0~8.5MPa [gauge]	最大値: 約7.8MPa [gauge]	②補助給水流量 (主蒸気流量) の代替	0~130m <sup>3</sup> /h	50m <sup>3</sup> /h	
泊発電所3号炉																								
②1次冷却材温度 (広域-高温側) (主蒸気ライン圧力、蒸気発生器水位 (狭域) 及び蒸気発生器水位 (広域) の代替)	0~400℃	最大値: 約340℃																						
①蒸気発生器水位 (広域) (蒸気発生器水位 (狭域)、補助給水流量及び主蒸気流量) の代替	0~100%	最大値: 100%以上 最小値: 0%以下																						
①蒸気発生器水位 (狭域) (蒸気発生器水位 (広域)、補助給水流量及び主蒸気流量) の代替	0~100%	最大値: 100%以上 最小値: 0%以下																						
①補助給水ヒット水位 (補助給水流量の代替)	0~100%	100%																						
①主蒸気ライン圧力 (主蒸気流量) の代替	0~8.5MPa [gauge]	最大値: 約7.8MPa [gauge]																						
②補助給水流量 (主蒸気流量) の代替	0~130m <sup>3</sup> /h	50m <sup>3</sup> /h																						

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
	<p>③ 残留熱除去系ポンプ出口流量                  ① 圧力抑制室水位                  残留熱除去系ポンプ出口流量の監視が不可能となった場合は、水源である圧力抑制室水位の変化量により注水量を推定する。</p> <p>② 残留熱除去系ポンプ出口圧力                  残留熱除去系ポンプ出口流量の監視が不可能となった場合は、残留熱除去系ポンプ出口圧力から残留熱除去系ポンプの注水特性 (図 58-8-16) を用いて、残留熱除去系ポンプ出口流量が確保されていることを推定する。</p>  <p>図 58-8-16 残留熱除去系ポンプによる注水特性</p> <p>1. 代替循環冷却系                  (1) サプレッションプール水温度                  ① 圧力抑制室内空気温度                  サプレッションチャンセル内の温度を同等の仕様の温度計で計測することにより、サプレッションプール水温度を推定することができ、最終ヒートシンクが確保されていることを把握する上で適切である。(圧力抑制室内空気温度の誤差：±0.1℃)</p> <p>(2) 残留熱除去系熱交換器入口温度                  ① サプレッションプール水温度                  代替循環冷却ポンプはサプレッションプール側を吸い込み口としていることから、サプレッションプール水温度により残留熱除去系熱交換器入口温度を推定することができる。</p> <p>(3) 代替循環冷却ポンプ出口流量 (原子炉压力容器への注水)                  ① 圧力抑制室水位                  圧力抑制室水位による推定方法は、水位の変化量から原子炉へ注水された量を推定するが、原子炉压力容器からサプレッション・チャンセルへ原子炉冷却材が流入するため、炉心冷却状態を併せて確認することで適用できる。(圧力抑制室水位の誤差：±0.03m)</p> <p>② 原子炉水位 (広帯域)、原子炉水位 (燃料域)、原子炉水位 (SA 広帯域)、原子炉水位 (SA 燃料域)                  原子炉水位による推定方法は、最終熱除去に必要な注水量と原子炉水位変化量に相当する水量の和を利用し炉心冷却状態を把握する上で適用でき、最終ヒートシンクが確保されていることを把握する上で適切である。(原子炉水位 (広帯域) の誤差：±40mm、原子炉水位 (燃料域) の誤差：±4mm、原子炉水位 (SA 広帯域) の誤差：±45mm、原子炉水位 (SA 燃料域) の誤差：±43mm)</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">特記の内容は商業機密の観点から公開できません。</p>	<p>① 格納容器内温度                  原子炉格納容器圧力の監視が不可能となった場合には、原子炉格納容器内の雰囲気温度と水温が平衡状態にあると仮定し、格納容器内温度により推定する。</p> <p>[補足]                  本推定方法は原子炉格納容器内が飽和状態である範囲で適用でき、現在の原子炉格納容器内の状態が以下のような条件により飽和と判断される場合は、格納容器内温度より概略の原子炉格納容器内の圧力を推定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでに損傷炉心を冷却するための水が 1 次冷却系又は原子炉格納容器内に注入されていること。</li> <li>・過去の温度、圧力履歴を飽和温度と圧力の関係から判断して飽和状態で推移していること。</li> </ul> <p>原子炉格納容器内の飽和状態判断は、下記のパラメータの傾向を総合的に判断して推定する。</p> <p>圧力パラメータ ① 原子炉格納容器圧力                  ② 格納容器圧力 (AM 用)</p> <p>温度パラメータ ① 格納容器内温度</p> <p>注入量パラメータ ① B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM 用)                  ② 高圧注入流量                  ③ 低圧注入流量                  ④ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</p> <p>推定可能範囲：0 ~ 1.0MPa [gauge]</p> <p>(2) 原子炉補機冷却水サージタンク水位                  ① 格納容器再循環ユニット入口温度 / 出口温度                  原子炉補機冷却水サージタンク水位の監視が不可能となった場合には、可搬型温度計設置 (格納容器再循環ユニット入口温度 / 出口温度) の傾向監視により原子炉格納容器内の除熱のための原子炉補機冷却水系が健全かつ最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。</p> <p>(3) [原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (AM 用)]                  ① 原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型)                  原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (AM 用) (自主対策設備) の監視が不可能となった場合には、原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型) により原子炉格納容器内の除熱のための原子炉補機冷却水系が健全かつ最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。</p>	



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容  
 赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>③原子炉圧力容器温度                      除熱対象である原子炉圧力容器温度の低下傾向を確認することができれば、除熱が適切に行われていることを確認することができ、最終ヒートシンクが確保されていることを把握する上で適切である。(原子炉圧力容器温度の誤差：±5.3℃)</p> <p>(3) 代替循環冷却ポンプ出口流量 (原子炉格納容器への注水)                      ①原子炉格納容器下部水位、ドライウエル水位                      原子炉格納容器下部水位、ドライウエル水位による原子炉格納容器下部への注水状況を把握することにより、代替循環冷却系による原子炉格納容器へ注水されていることの傾向を把握することが可能である。(原子炉格納容器下部水位の誤差：-5～+10mm、ドライウエル水位の誤差：-5～+10mm)</p> <p>②ドライウエル温度、ドライウエル圧力、圧力抑制室圧力                      ドライウエル温度、ドライウエル圧力、圧力抑制室圧力の低下傾向を確認することで、除熱が適切に行われていることを確認することができ、最終ヒートシンクが確保されていることを把握する上で適切である。(ドライウエル温度の誤差：±2.7℃、ドライウエル圧力の誤差：±0.000MPa、圧力抑制室圧力の誤差：±0.000MPa)</p> <p>2. 原子炉格納容器フィルタベント系                      (1) フィルタ装置入口圧力 (広域域)                      ①ドライウエル圧力、圧力抑制室圧力                      ドライウエル圧力、圧力抑制室圧力の低下傾向から原子炉格納容器ベントの実施を確認することができ、最終ヒートシンクが確保されていることを把握する上で適切である。(ドライウエル圧力の誤差：±0.000MPa、圧力抑制室圧力の誤差：±0.000MPa)</p> <p>(2) フィルタ装置出口圧力 (広域域)                      ①ドライウエル圧力、圧力抑制室圧力                      ドライウエル圧力、圧力抑制室圧力の低下傾向から原子炉格納容器ベントの実施を確認することができ、最終ヒートシンクが確保されていることを把握する上で適切である。(ドライウエル圧力の誤差：±0.000MPa、圧力抑制室圧力の誤差：±0.000MPa)</p> <p>(3) フィルタ装置出口水素濃度                      ①格納容器内水素濃度 (B)①、格納容器内水素濃度 (S)①                      格納容器内水素濃度 (B)①、格納容器内水素濃度 (S)①による推定は、それぞれ異なる計測原理で計測することから推定方法として妥当である。(格納容器内水素濃度 (B)①の誤差：±2.0vol%、格納容器内水素濃度 (S)①の誤差：±2.0vol%)</p> <p>3. 残留熱除去系による冷却                      (1) 残留熱除去系熱交換器入口温度                      ①原子炉圧力容器温度、サブプレッションプール水温度                      除熱対象である原子炉圧力容器温度、サブプレッションプール水温度の低下傾向を確認することができれば、除熱が適切に行われていることを確認することができ、最終ヒートシンクが確保されていることを把握する上で適切である。(原子炉圧力容器温度の誤差：±5.3℃、サブプレッションプール水温度の誤差：±1.2℃)</p> <p>(2) 残留熱除去系熱交換器出口温度                      ①残留熱除去系熱交換器入口温度                      残留熱除去系熱交換器の熱交換評価から、残留熱除去系熱交換器入口温度により残留熱除去系熱交換器出口温度を推定することができる。(残留熱除去系熱交換器入口温度の誤差：±3.1℃)</p> <p>②原子炉補機冷却水系統流量、残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量                      原子炉補機冷却水系統の流量が確保されていることで残留熱除去系熱交換器出口側が冷却されるため、最終ヒートシンクが確保されていることを把握する上で適切である。(原子炉補機冷却水系統流量の誤差：±66m<sup>3</sup>/h、残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量の誤差：±242/h)</p>	<p>(4) [C、D-格納容器再循環ユニット補機冷却水流量]                      ①格納容器内温度、原子炉格納容器圧力                      C、D-格納容器再循環ユニット補機冷却水流量 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合には、格納容器内温度及び原子炉格納容器圧力の低下により、最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。</p> <p>(5) 格納容器再循環ユニット入口温度 / 出口温度                      ①格納容器内温度、原子炉格納容器圧力                      可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度 / 出口温度) の監視が不可能となった場合には、格納容器内温度及び原子炉格納容器圧力の低下により、最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。</p> <p>(6) [C、D-原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水温度]                      ①格納容器再循環ユニット入口温度 / 出口温度                      C、D-原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水温度 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合には、可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度 / 出口温度) により最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。</p> <p>(7) [B-原子炉補機冷却水戻り母管温度]                      ①格納容器再循環ユニット入口温度 / 出口温度                      B-原子炉補機冷却水戻り母管温度 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合には、可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度 / 出口温度) により最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。</p> <p>2. 蒸気発生器2次側冷却系                      (1) 主蒸気ライン圧力                      ①1次冷却材温度 (広域-低温側)                      主蒸気ライン圧力の監視が不可能となった場合には、1次冷却系が満水状態で蒸気発生器2次側が飽和状態であれば、飽和温度 / 圧力の関係を利用して1次冷却材温度 (広域-低温側) により主蒸気ライン圧力を推定し、最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。なお、蒸気発生器2次側が飽和状態になすまで (未飽和状態) は不確かさが生じることを考慮する。</p> <p>②1次冷却材温度 (広域-高温側)                      主蒸気ライン圧力の監視が不可能となった場合には、1次冷却系が満水状態で蒸気発生器2次側が飽和状態であれば、飽和温度 / 圧力の関係を利用して1次冷却材温度 (広域-高温側) により主蒸気ライン圧力を推定し、最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。なお、蒸気発生器2次側が飽和状態になるまで (未飽和状態) は不確かさが生じることを考慮する。</p> <p>(2) 蒸気発生器水位 (狭域)                      ①蒸気発生器水位 (広域)</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容  
 赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(3) 残留熱除去系ポンプ出口流量</p> <p>①圧力制御室水位                  圧力制御室水位による推定方法は、水位の変化量から原子炉へ注水された量を推定するが、原子炉圧力容器からサブプレッション・チャンセルへ原子炉冷却材が流入するため、炉心冷却状態を併せて確認することで適用できる。(圧力制御室水位の誤差：±0.03m)</p> <p>②残留熱除去系ポンプ出口圧力                  残留熱除去系ポンプ出口圧力による推定方法は、残留熱除去系ポンプの注水特性から残留熱除去系ポンプ出口流量を推定し、原子炉圧力容器温度、サブプレッションプール水温度の低下傾向を併せて確認することで除熱が適切に行われていることを確認することができ、最終ヒートシンクが確保されていることを把握する上で適切である。(図 58-8-16「残留熱除去系ポンプによる注水特性」より、例えば、流量1,100m<sup>3</sup>/hに対して、残留熱除去系ポンプ出口圧力の誤差：±0.03MPaから流量に換算した場合は1,100±30m<sup>3</sup>/h程度である。)</p> <p>最終ヒートシンクの確保を監視する目的は、原子炉圧力容器及び原子炉格納容器の除熱が適切に行われているかどうかを把握することであり、代替パラメータによる推定は、除熱が適切に行われていることの傾向が把握でき、計器誤差を考慮した上で対応することにより、重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>以上より、これらの代替パラメータによる推定で、炉心保護防止対策及び格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p>	<p>蒸気発生器水位 (狭域) の監視が不可能となった場合には、相関係のある蒸気発生器水位 (広域) の傾向監視により、蒸気発生器水位 (狭域) を推定し、最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。</p> <p>①1次冷却材温度 (広域-低温側) , ②1次冷却材温度 (広域-高温側)                  蒸気発生器水位 (狭域) の監視が不可能となった場合には、1次冷却材温度 (広域-低温側) , 1次冷却材温度 (広域-高温側) の傾向監視により、蒸気発生器水位 (狭域) を推定し、最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。</p> <p>(3)蒸気発生器水位 (広域)                  ①蒸気発生器水位 (狭域)                  蒸気発生器水位 (広域) の監視が不可能となった場合には、測定範囲内であれば蒸気発生器水位 (狭域) にて推定する。</p> <p>①1次冷却材温度 (広域-低温側) , ②1次冷却材温度 (広域-高温側)                  蒸気発生器水位 (広域) の監視が不可能となった場合には、1次冷却材温度 (広域-低温側) , 1次冷却材温度 (広域-高温側) の傾向監視により、蒸気発生器水位 (狭域) を推定し、最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。                  なお、蒸気発生器がドライアウトした場合、1次冷却材温度 (広域-低温側) 及び1次冷却材温度 (広域-高温側) が上昇傾向となることで推定することができる。</p> <p>(4)補助給水流量                  ①補助給水ビット水位                  蒸気発生器への注水時において補助給水流量の監視が不可能となった場合には、水源である補助給水ビット水位の傾向監視により最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。</p> <p>①蒸気発生器水位 (広域)                  蒸気発生器への注水時において補助給水流量の監視が不可能となった場合には、注入先の蒸気発生器水位 (広域) の傾向監視により最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。</p> <p>①蒸気発生器水位 (狭域)                  蒸気発生器への注水時において補助給水流量の監視が不可能となった場合には、注入先の蒸気発生器水位 (狭域) の傾向監視により最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。</p> <p>(5)〔主蒸気流量〕                  ①主蒸気ライン圧力                  主蒸気流量 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合には、主蒸気ラ</p>	

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容  
 赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
		<p>イン圧力の傾向監視により、蒸気発生器 2 次側による除熱状態を監視し、最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。</p> <p>推定方法                      ①蒸気発生器水位 (狭域)、蒸気発生器水位 (広域)、②補助給水流量                      主蒸気流量 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合には、蒸気発生器水位 (狭域) 及び蒸気発生器水位 (広域) 並びに補助給水流量の傾向監視により、主蒸気流量 (自主対策設備) を推定する。</p> <p>推定の評価                      1. 格納容器内自然対流冷却系                      (1) 原子炉格納容器圧力                      ①格納容器圧力 (AM 用)                      格納容器圧力 (AM 用) の低下傾向を確認することで、除熱が適切に行われていることを確認することができ、最終ヒートシンクが確保されていることを把握する上で適切である。本推定方法は、原子炉格納容器圧力の計測範囲において同等の計測が可能であり、プラント状態に依存することなく適用可能である。(格納容器圧力 (AM 用) の誤差: ±0.015MPa)                      ②格納容器内温度                      格納容器内温度の低下傾向を確認することで、除熱が適切に行われていることを確認することができ、最終ヒートシンクが確保されていることを把握する上で適切である。本推定方法は、原子炉格納容器内が飽和状態である場合にその飽和圧力の推定が可能であるため、原子炉格納容器圧力の推定に有効である。(格納容器内温度の誤差: ±4.4℃)                      (2) 原子炉補機冷却水サージタンク水位                      ①格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度                      除熱対象である原子炉格納容器内の温度を示す可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度) の低下傾向を確認することができれば、除熱が適切に行われていることを確認することができ、最終ヒートシンクが確保されていることを把握する上で適切である。(可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度) の誤差: ± (0.45℃+読み値の 0.5%) )                      (3) [原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (AM 用)]                      ①原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型)                      原子炉補機冷却水サージタンク内の圧力を同等の仕様の圧力計で計測することにより、原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (AM 用) (自主対策設備) を推定することができ、最終ヒートシンクが確保されていることを把握する上で適切である。本推定方法は、原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (AM 用) (自主対策設備) の計測範囲において同等の計測が可能であり、プラント状態に依存することなく適用可能である。(原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型) の誤差: ±0.016MPa)</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容  
 赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>(4) [C、D-格納容器再循環ユニット補機冷却水流量]                      ①格納容器内温度、原子炉格納容器圧力                      除熱対象である格納容器内温度及び原子炉格納容器圧力の低下傾向を確認することができれば、除熱が適切に行われていることを確認することができ、最終ヒートシンクが確保されていることを把握する上で適切である。(格納容器内温度の誤差：±4.4℃、原子炉格納容器圧力の誤差：±0.004MPa)</p> <p>(5) 格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度                      ①格納容器内温度、原子炉格納容器圧力                      除熱対象である格納容器内温度及び原子炉格納容器圧力の低下傾向を確認することができれば、除熱が適切に行われていることを確認することができ、最終ヒートシンクが確保されていることを把握する上で適切である。(格納容器内温度の誤差：±4.4℃、原子炉格納容器圧力の誤差：±0.004MPa)</p> <p>(6) [C、D-原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水温度]                      ①格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度                      可搬型温度計測装置(格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度)による推定は、格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度の温度差の減少傾向を確認することができれば、除熱が適切に行われていることを確認することができ、最終ヒートシンクが確保されていることを把握する上で適切である。(可搬型温度計測装置(格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度)の誤差：±(0.45℃+読み値の0.5%) )</p> <p>(7) [B-原子炉補機冷却水戻り母管温度]                      ①格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度                      可搬型温度計測装置(格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度)による推定は、格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度の温度差の減少傾向を確認することができれば、除熱が適切に行われていることを確認することができ、最終ヒートシンクが確保されていることを把握する上で適切である。(可搬型温度計測装置(格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度)の誤差：±(0.45℃+読み値の0.5%) )</p> <p>2. 蒸気発生器2次側冷却系                      (1) 主蒸気ライン圧力                      ① 1次冷却材温度(広域-低温側)                      1次冷却材温度(広域-低温側)による推定方法は、1次冷却系が満水状態で蒸気発生器2次側が飽和状態の場合、飽和温度/圧力の関係を利用して1次冷却材温度から主蒸気ライン圧力を推定し、蒸気発生器2次側圧力の低下傾向を確認することで除熱が適切に行われていることを確認することができ、最終ヒートシンクが確保されていることを把握する上で適切である。(1次冷却材温度(広域-低温側)：±4.4℃)</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>②1次冷却材温度 (広域-高温側)                      1次冷却材温度 (広域-高温側) による推定方法は、1次冷却系が沸水状態で蒸気発生器2次側が飽和状態の場合、飽和温度/圧力の関係を利用して1次冷却材温度から主蒸気ライン圧力を推定し、蒸気発生器2次側圧力の低下傾向を確認することで除熱が適切に行われていることを確認することができ、最終ヒートシンクが確保されていることを把握する上で適切である。(1次冷却材温度 (広域-高温側) : ±4.4℃)</p> <p>(2)蒸気発生器水位 (狭域)                      ①蒸気発生器水位 (広域)                      蒸気発生器水位 (広域) の傾向監視により、除熱が適切に行われていることを確認することができ、最終ヒートシンクが確保されていることを把握する上で適切である。本推定方法は、蒸気発生器水位 (狭域) の計測範囲において同等の計測が可能であり、プラント状態に依存することなく適用可能である。(蒸気発生器水位 (広域) の誤差: ±1.25%)</p> <p>①1次冷却材温度 (広域-低温側) , ②1次冷却材温度 (広域-高温側)                      1次冷却材温度 (広域-低温側) 及び1次冷却材温度 (広域-高温側) の傾向監視による蒸気発生器水位 (狭域) の推定方法は、1次冷却材温度が低下又は安定していることを確認することができれば、1次冷却系を除熱するのに十分な蒸気発生器2次側保有水量が確保されていることを推定することができ、最終ヒートシンクが確保されていることを把握する上で適切である。なお、1次冷却材温度が上昇している場合は、1次冷却系を除熱することが可能なだけの蒸気発生器の保有水量が残存していない、若しくは蒸気発生器がドライアウトしていることが推定できる。(1次冷却材温度 (広域-低温側) : ±4.4℃, 1次冷却材温度 (広域-高温側) : ±4.4℃)</p> <p>(3)蒸気発生器水位 (広域)                      ①蒸気発生器水位 (狭域)                      蒸気発生器水位 (狭域) の傾向監視により、除熱が適切に行われていることを確認することができ、最終ヒートシンクが確保されていることを把握する上で適切である。本推定方法は、蒸気発生器水位 (広域) と計測範囲が重複している範囲において同等の計測が可能であり、プラント状態に依存することなく適用可能である。(蒸気発生器水位 (狭域) の誤差: ±1.0%)</p> <p>②1次冷却材温度 (広域-低温側) , ②1次冷却材温度 (広域-高温側)                      1次冷却材温度 (広域-低温側) 及び1次冷却材温度 (広域-高温側) の傾向監視による蒸気発生器水位 (広域) の推定方法は、1次冷却材温度が低下又は安定していることを確認することができれば、1次冷却系を除熱するのに十分な蒸気発生器2次側保有水量が確保されていることを推定することができ、最終ヒートシンクが確保されていることを把握する上で適切である。なお、1次冷却材温度が上昇している場合は、1次冷却系を除熱することが可能なだけの蒸気発生器の保有水量が残存していない、若しくは蒸気発生器がドライアウト</p>	



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容  
 赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>トしていることが推定できる。(1次冷却材温度(広域-低温側)：±4.4℃、1次冷却材温度(広域-高温側)：±4.4℃)</p> <p>(4) 補助給水流量                  ①補助給水ビット水位                  補助給水ビット水位の傾向監視により蒸気発生器への給水状況を確認することで、蒸気発生器における除熱が適切に行われていることを確認することができ、最終ヒートシンクが確保されていることを把握する上で適切である。本推定方法は、水源の水位変化から求めるものであり、プラント状態に影響を受けるものではないため、プラント状態に依存することなく適用可能である。(補助給水ビット水位の誤差：±1.0%)</p> <p>②蒸気発生器水位(広域)                  蒸気発生器水位(広域)の傾向監視による補助給水流量の推定方法は、蒸気発生器水位(広域)が上昇または安定していることを確認することができれば、1次冷却系を除熱するのに十分な補助給水流量が確保されていることを推定することができ、最終ヒートシンクが確保されていることを把握する上で適切である。なお、蒸気発生器水位(広域)が低下若しくは水位下層を示している場合は、1次冷却系を除熱することが可能なだけの補助給水流量が確保されていない、若しくは補助給水に失敗していることが推定できる。(蒸気発生器水位(広域)の誤差：±1.25%)</p> <p>③蒸気発生器水位(狭域)                  蒸気発生器水位(狭域)の傾向監視による補助給水流量の推定方法は、蒸気発生器水位(狭域)が上昇または安定していることを確認することができれば、1次冷却系を除熱するのに十分な補助給水流量が確保されていることを推定することができ、最終ヒートシンクが確保されていることを把握する上で適切である。なお、蒸気発生器水位(狭域)が低下している場合は、1次冷却系を除熱することが可能なだけの補助給水流量が確保されていない、若しくは補助給水に失敗していることが推定できる。(蒸気発生器水位(狭域)の誤差：±1.0%)</p> <p>(5) [主蒸気流量]                  ①主蒸気ライン圧力                  主蒸気ライン圧力の傾向監視による主蒸気流量(自主対策設備)の推定方法は、主蒸気ライン圧力が低下又は主蒸気速がし弁/主蒸気安全弁設定圧近傍で安定していることを確認することができれば、1次冷却系を除熱することが可能なだけの主蒸気流量(自主対策設備)が確保されていることを推定することができ、最終ヒートシンクが確保されていることを把握する上で適切である。なお、主蒸気ライン圧力が上昇している場合、1次冷却系を除熱することが可能なだけの主蒸気流量(自主対策設備)が確保されていないことが推定できる。(主蒸気ライン圧力の誤差：±0.085MPa)</p>	<p>相違理由</p>
		<p>①蒸気発生器水位(狭域)、②蒸気発生器水位(広域)、③補助給水流量                  蒸気発生器水位(狭域)及び蒸気発生器水位(広域)並びに補助給水流量による主蒸気流量(自主対策設備)の推定方法は、補助給水流量から、蒸気発生器の水位変化から求められる蒸気発生器2次側保有水量の増加量(微分値)を差し引くことにより、主蒸気流量(自主対策設備)を推定することができ、最終ヒートシンクが確保されていることを把握する上で適切である。(蒸気発生器水位(狭域)の誤差：±1.0%、蒸気発生器水位(広域)の誤差：±1.25%、補助給水流量の誤差：±2.6m<sup>3</sup>/h)</p> <p>最終ヒートシンクの確保を監視する目的は、原子炉圧力容器及び原子炉格納容器の除熱が適切に行われているかどうかを把握することであり、代替パラメータによる推定は、除熱が適切に行われていることの傾向が把握でき、計器誤差を考慮した上で対応することにより、重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>以上より、これらの代替パラメータによる推定で、炉心損傷防止対策及び原子炉格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p>	<p>相違理由</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																	
	<p>(m) 主要パラメータの代替パラメータ (他チャンネルを除く) による推定方法について (格納容器バイパスの監視)</p> <table border="1" data-bbox="667 236 1220 1045"> <thead> <tr> <th colspan="3">*有効監視パラメータ又は重要監視パラメータの常用料器</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">格納容器バイパスの監視</th> </tr> <tr> <th>監視パラメータ</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">原子炉圧力容器内の状態</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (広帯域)</td> <td>-3,800mm~1,500mm<sup>①</sup></td> <td>有効燃料棒底部程度~レベル8 (-7,832mm~1,470mm)<sup>②</sup></td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> <td>-3,800mm~1,300mm<sup>③</sup></td> <td>有効燃料棒底部程度~レベル8 (-3,702mm~5,600mm)<sup>④</sup></td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA広帯域)</td> <td>-3,800mm~1,500mm<sup>①</sup></td> <td>有効燃料棒底部程度~レベル8 (-7,832mm~1,470mm)<sup>②</sup></td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA燃料域)</td> <td>-3,800mm~1,300mm<sup>③</sup></td> <td>有効燃料棒底部程度~レベル8 (-3,702mm~5,600mm)<sup>④</sup></td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力</td> <td>0~10MPa [gage]</td> <td>最大値：約8.1MPa [gage]</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力 (SA)</td> <td>0~11MPa [gage]</td> <td>最大値：約8.1MPa [gage]</td> </tr> <tr> <td colspan="3">原子炉格納容器内の状態</td> </tr> <tr> <td>ドライウエル温度</td> <td>0~300℃</td> <td>146℃以下</td> </tr> <tr> <td>ドライウエル圧力</td> <td>0~1MPa [abs]</td> <td>330kPa [gage] 以下</td> </tr> <tr> <td colspan="3">原子炉建屋内の状態</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器冷却ポンプ出口圧力</td> <td>0~12MPa [gage]</td> <td>最大値：10.0MPa [gage]</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去ポンプ出口圧力</td> <td>0~8MPa [gage]</td> <td>最大値：3.7MPa [gage]</td> </tr> <tr> <td>低圧炉心スプレーポンプ出口圧力</td> <td>0~2MPa [gage]</td> <td>最大値：4.4MPa [gage]</td> </tr> <tr> <td colspan="3">原子炉圧力容器内の状態</td> </tr> <tr> <td>①原子炉水位 (SA広帯域) (原子炉水位 (広帯域)、原子炉圧力、原子炉圧力 (SA) の代替)</td> <td>-3,800mm~1,500mm<sup>①</sup></td> <td>有効燃料棒底部程度~レベル8 (-7,832mm~1,470mm)<sup>②</sup></td> </tr> <tr> <td>①原子炉水位 (SA燃料域) (原子炉水位 (燃料域)、原子炉圧力、原子炉圧力 (SA) の代替)</td> <td>-3,800mm~1,300mm<sup>③</sup></td> <td>有効燃料棒底部程度~レベル8 (-3,702mm~5,600mm)<sup>④</sup></td> </tr> <tr> <td>①原子炉水位 (SA広帯域) (原子炉水位 (SA広帯域)、原子炉圧力、原子炉圧力 (SA) の代替)</td> <td>-3,800mm~1,500mm<sup>①</sup></td> <td>有効燃料棒底部程度~レベル8 (-7,832mm~1,470mm)<sup>②</sup></td> </tr> <tr> <td>①原子炉水位 (燃料域) (原子炉水位 (SA燃料域)、原子炉圧力、原子炉圧力 (SA) の代替)</td> <td>-3,800mm~1,300mm<sup>③</sup></td> <td>有効燃料棒底部程度~レベル8 (-3,702mm~5,600mm)<sup>④</sup></td> </tr> <tr> <td>①原子炉圧力 (SA) (原子炉圧力 (SA) の代替)</td> <td>0~11MPa [gage]</td> <td>最大値：約8.1MPa [gage]</td> </tr> <tr> <td>①原子炉圧力 (原子炉圧力 (SA) の代替)</td> <td>0~10MPa [gage]</td> <td>最大値：約8.1MPa [gage]</td> </tr> <tr> <td>②原子炉圧力容器温度 (原子炉圧力、原子炉圧力 (SA) の代替)</td> <td>0~500℃</td> <td>最大値：297℃</td> </tr> <tr> <td colspan="3">原子炉格納容器内の状態</td> </tr> <tr> <td>①ドライウエル圧力 (ドライウエル温度の代替)</td> <td>0~1MPa [abs]</td> <td>330kPa [gage] 以下</td> </tr> <tr> <td>①圧力抑制弁圧力 (ドライウエル圧力の代替)</td> <td>0~1MPa [abs]</td> <td>210kPa [gage] 以下</td> </tr> <tr> <td>②ドライウエル温度 (ドライウエル圧力の代替)</td> <td>0~300℃</td> <td>146℃以下</td> </tr> <tr> <td>③ [ドライウエル圧力] (ドライウエル圧力の代替)</td> <td>0~600kPa [gage]</td> <td>330kPa [gage] 以下</td> </tr> </tbody> </table>	*有効監視パラメータ又は重要監視パラメータの常用料器			項目	格納容器バイパスの監視		監視パラメータ	設計基準	原子炉圧力容器内の状態			原子炉水位 (広帯域)	-3,800mm~1,500mm <sup>①</sup>	有効燃料棒底部程度~レベル8 (-7,832mm~1,470mm) <sup>②</sup>	原子炉水位 (燃料域)	-3,800mm~1,300mm <sup>③</sup>	有効燃料棒底部程度~レベル8 (-3,702mm~5,600mm) <sup>④</sup>	原子炉水位 (SA広帯域)	-3,800mm~1,500mm <sup>①</sup>	有効燃料棒底部程度~レベル8 (-7,832mm~1,470mm) <sup>②</sup>	原子炉水位 (SA燃料域)	-3,800mm~1,300mm <sup>③</sup>	有効燃料棒底部程度~レベル8 (-3,702mm~5,600mm) <sup>④</sup>	原子炉圧力	0~10MPa [gage]	最大値：約8.1MPa [gage]	原子炉圧力 (SA)	0~11MPa [gage]	最大値：約8.1MPa [gage]	原子炉格納容器内の状態			ドライウエル温度	0~300℃	146℃以下	ドライウエル圧力	0~1MPa [abs]	330kPa [gage] 以下	原子炉建屋内の状態			蒸気発生器冷却ポンプ出口圧力	0~12MPa [gage]	最大値：10.0MPa [gage]	残留熱除去ポンプ出口圧力	0~8MPa [gage]	最大値：3.7MPa [gage]	低圧炉心スプレーポンプ出口圧力	0~2MPa [gage]	最大値：4.4MPa [gage]	原子炉圧力容器内の状態			①原子炉水位 (SA広帯域) (原子炉水位 (広帯域)、原子炉圧力、原子炉圧力 (SA) の代替)	-3,800mm~1,500mm <sup>①</sup>	有効燃料棒底部程度~レベル8 (-7,832mm~1,470mm) <sup>②</sup>	①原子炉水位 (SA燃料域) (原子炉水位 (燃料域)、原子炉圧力、原子炉圧力 (SA) の代替)	-3,800mm~1,300mm <sup>③</sup>	有効燃料棒底部程度~レベル8 (-3,702mm~5,600mm) <sup>④</sup>	①原子炉水位 (SA広帯域) (原子炉水位 (SA広帯域)、原子炉圧力、原子炉圧力 (SA) の代替)	-3,800mm~1,500mm <sup>①</sup>	有効燃料棒底部程度~レベル8 (-7,832mm~1,470mm) <sup>②</sup>	①原子炉水位 (燃料域) (原子炉水位 (SA燃料域)、原子炉圧力、原子炉圧力 (SA) の代替)	-3,800mm~1,300mm <sup>③</sup>	有効燃料棒底部程度~レベル8 (-3,702mm~5,600mm) <sup>④</sup>	①原子炉圧力 (SA) (原子炉圧力 (SA) の代替)	0~11MPa [gage]	最大値：約8.1MPa [gage]	①原子炉圧力 (原子炉圧力 (SA) の代替)	0~10MPa [gage]	最大値：約8.1MPa [gage]	②原子炉圧力容器温度 (原子炉圧力、原子炉圧力 (SA) の代替)	0~500℃	最大値：297℃	原子炉格納容器内の状態			①ドライウエル圧力 (ドライウエル温度の代替)	0~1MPa [abs]	330kPa [gage] 以下	①圧力抑制弁圧力 (ドライウエル圧力の代替)	0~1MPa [abs]	210kPa [gage] 以下	②ドライウエル温度 (ドライウエル圧力の代替)	0~300℃	146℃以下	③ [ドライウエル圧力] (ドライウエル圧力の代替)	0~600kPa [gage]	330kPa [gage] 以下	<p>(p) 主要パラメータの代替パラメータ (他チャンネル及び他ループを除く) による推定方法について (格納容器バイパスの監視)</p> <table border="1" data-bbox="1252 236 1818 1045"> <thead> <tr> <th colspan="3">格納容器バイパスの監視</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">格納容器バイパスの監視</th> </tr> <tr> <th>監視パラメータ</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>蒸気発生器水位 (狭域)</td> <td>0~100%</td> <td>最大値：100%以上 最小値：0%以下</td> </tr> <tr> <td>主蒸気ライン圧力</td> <td>0~8.0MPa [gage]</td> <td>最大値： 約7.8MPa [gage]</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材圧力 (広域)</td> <td>0~21.0MPa [gage]</td> <td>最大値： 約17.8MPa [gage]</td> </tr> <tr> <td>[復水器排気ガスモニタ]</td> <td>10~10<sup>5</sup>cpm</td> <td>バックグラウンドレベルを超える</td> </tr> <tr> <td>[蒸気発生器ブローダウン水モニタ]</td> <td>10~10<sup>5</sup>cpm</td> <td>バックグラウンドレベルを超える</td> </tr> <tr> <td>[高感度型主蒸気管モニタ]</td> <td>1~10<sup>6</sup>cpm</td> <td>バックグラウンドレベルを超える</td> </tr> <tr> <td>[排気筒ガスモニタ]</td> <td>10~10<sup>5</sup>cpm</td> <td>バックグラウンドレベルを超える</td> </tr> <tr> <td>[排気筒高レンジガスモニタ (低レンジ)]</td> <td>10~10<sup>5</sup>cpm</td> <td>バックグラウンドレベルを超える</td> </tr> <tr> <td>[排気筒高レンジガスモニタ (高レンジ)]</td> <td>10~10<sup>5</sup>cpm</td> <td>バックグラウンドレベルを超える</td> </tr> <tr> <td>[補助建屋サンプタンク水位]</td> <td>0~100%</td> <td>0~100%</td> </tr> <tr> <td>[余熱除去ポンプ出口圧力]</td> <td>0~5.0MPa [gage]</td> <td>0.89~4.2MPa [gage]</td> </tr> <tr> <td>[加圧器速がシタンク圧力]</td> <td>0~1.0MPa [gage]</td> <td>0.021MPa [gage]</td> </tr> <tr> <td>[加圧器速がシタンク水位]</td> <td>0~100%</td> <td>55~75%</td> </tr> <tr> <td>[加圧器速がシタンク温度]</td> <td>0~150℃</td> <td>49℃以下</td> </tr> <tr> <td>[余熱除去冷却器入口温度]</td> <td>0~200℃</td> <td>10~177℃</td> </tr> <tr> <td>[余熱除去冷却器出口温度]</td> <td>0~200℃</td> <td>10~177℃</td> </tr> </tbody> </table>	格納容器バイパスの監視			項目	格納容器バイパスの監視		監視パラメータ	設計基準	蒸気発生器水位 (狭域)	0~100%	最大値：100%以上 最小値：0%以下	主蒸気ライン圧力	0~8.0MPa [gage]	最大値： 約7.8MPa [gage]	1次冷却材圧力 (広域)	0~21.0MPa [gage]	最大値： 約17.8MPa [gage]	[復水器排気ガスモニタ]	10~10 <sup>5</sup> cpm	バックグラウンドレベルを超える	[蒸気発生器ブローダウン水モニタ]	10~10 <sup>5</sup> cpm	バックグラウンドレベルを超える	[高感度型主蒸気管モニタ]	1~10 <sup>6</sup> cpm	バックグラウンドレベルを超える	[排気筒ガスモニタ]	10~10 <sup>5</sup> cpm	バックグラウンドレベルを超える	[排気筒高レンジガスモニタ (低レンジ)]	10~10 <sup>5</sup> cpm	バックグラウンドレベルを超える	[排気筒高レンジガスモニタ (高レンジ)]	10~10 <sup>5</sup> cpm	バックグラウンドレベルを超える	[補助建屋サンプタンク水位]	0~100%	0~100%	[余熱除去ポンプ出口圧力]	0~5.0MPa [gage]	0.89~4.2MPa [gage]	[加圧器速がシタンク圧力]	0~1.0MPa [gage]	0.021MPa [gage]	[加圧器速がシタンク水位]	0~100%	55~75%	[加圧器速がシタンク温度]	0~150℃	49℃以下	[余熱除去冷却器入口温度]	0~200℃	10~177℃	[余熱除去冷却器出口温度]	0~200℃	10~177℃	
*有効監視パラメータ又は重要監視パラメータの常用料器																																																																																																																																																				
項目	格納容器バイパスの監視																																																																																																																																																			
	監視パラメータ	設計基準																																																																																																																																																		
原子炉圧力容器内の状態																																																																																																																																																				
原子炉水位 (広帯域)	-3,800mm~1,500mm <sup>①</sup>	有効燃料棒底部程度~レベル8 (-7,832mm~1,470mm) <sup>②</sup>																																																																																																																																																		
原子炉水位 (燃料域)	-3,800mm~1,300mm <sup>③</sup>	有効燃料棒底部程度~レベル8 (-3,702mm~5,600mm) <sup>④</sup>																																																																																																																																																		
原子炉水位 (SA広帯域)	-3,800mm~1,500mm <sup>①</sup>	有効燃料棒底部程度~レベル8 (-7,832mm~1,470mm) <sup>②</sup>																																																																																																																																																		
原子炉水位 (SA燃料域)	-3,800mm~1,300mm <sup>③</sup>	有効燃料棒底部程度~レベル8 (-3,702mm~5,600mm) <sup>④</sup>																																																																																																																																																		
原子炉圧力	0~10MPa [gage]	最大値：約8.1MPa [gage]																																																																																																																																																		
原子炉圧力 (SA)	0~11MPa [gage]	最大値：約8.1MPa [gage]																																																																																																																																																		
原子炉格納容器内の状態																																																																																																																																																				
ドライウエル温度	0~300℃	146℃以下																																																																																																																																																		
ドライウエル圧力	0~1MPa [abs]	330kPa [gage] 以下																																																																																																																																																		
原子炉建屋内の状態																																																																																																																																																				
蒸気発生器冷却ポンプ出口圧力	0~12MPa [gage]	最大値：10.0MPa [gage]																																																																																																																																																		
残留熱除去ポンプ出口圧力	0~8MPa [gage]	最大値：3.7MPa [gage]																																																																																																																																																		
低圧炉心スプレーポンプ出口圧力	0~2MPa [gage]	最大値：4.4MPa [gage]																																																																																																																																																		
原子炉圧力容器内の状態																																																																																																																																																				
①原子炉水位 (SA広帯域) (原子炉水位 (広帯域)、原子炉圧力、原子炉圧力 (SA) の代替)	-3,800mm~1,500mm <sup>①</sup>	有効燃料棒底部程度~レベル8 (-7,832mm~1,470mm) <sup>②</sup>																																																																																																																																																		
①原子炉水位 (SA燃料域) (原子炉水位 (燃料域)、原子炉圧力、原子炉圧力 (SA) の代替)	-3,800mm~1,300mm <sup>③</sup>	有効燃料棒底部程度~レベル8 (-3,702mm~5,600mm) <sup>④</sup>																																																																																																																																																		
①原子炉水位 (SA広帯域) (原子炉水位 (SA広帯域)、原子炉圧力、原子炉圧力 (SA) の代替)	-3,800mm~1,500mm <sup>①</sup>	有効燃料棒底部程度~レベル8 (-7,832mm~1,470mm) <sup>②</sup>																																																																																																																																																		
①原子炉水位 (燃料域) (原子炉水位 (SA燃料域)、原子炉圧力、原子炉圧力 (SA) の代替)	-3,800mm~1,300mm <sup>③</sup>	有効燃料棒底部程度~レベル8 (-3,702mm~5,600mm) <sup>④</sup>																																																																																																																																																		
①原子炉圧力 (SA) (原子炉圧力 (SA) の代替)	0~11MPa [gage]	最大値：約8.1MPa [gage]																																																																																																																																																		
①原子炉圧力 (原子炉圧力 (SA) の代替)	0~10MPa [gage]	最大値：約8.1MPa [gage]																																																																																																																																																		
②原子炉圧力容器温度 (原子炉圧力、原子炉圧力 (SA) の代替)	0~500℃	最大値：297℃																																																																																																																																																		
原子炉格納容器内の状態																																																																																																																																																				
①ドライウエル圧力 (ドライウエル温度の代替)	0~1MPa [abs]	330kPa [gage] 以下																																																																																																																																																		
①圧力抑制弁圧力 (ドライウエル圧力の代替)	0~1MPa [abs]	210kPa [gage] 以下																																																																																																																																																		
②ドライウエル温度 (ドライウエル圧力の代替)	0~300℃	146℃以下																																																																																																																																																		
③ [ドライウエル圧力] (ドライウエル圧力の代替)	0~600kPa [gage]	330kPa [gage] 以下																																																																																																																																																		
格納容器バイパスの監視																																																																																																																																																				
項目	格納容器バイパスの監視																																																																																																																																																			
	監視パラメータ	設計基準																																																																																																																																																		
蒸気発生器水位 (狭域)	0~100%	最大値：100%以上 最小値：0%以下																																																																																																																																																		
主蒸気ライン圧力	0~8.0MPa [gage]	最大値： 約7.8MPa [gage]																																																																																																																																																		
1次冷却材圧力 (広域)	0~21.0MPa [gage]	最大値： 約17.8MPa [gage]																																																																																																																																																		
[復水器排気ガスモニタ]	10~10 <sup>5</sup> cpm	バックグラウンドレベルを超える																																																																																																																																																		
[蒸気発生器ブローダウン水モニタ]	10~10 <sup>5</sup> cpm	バックグラウンドレベルを超える																																																																																																																																																		
[高感度型主蒸気管モニタ]	1~10 <sup>6</sup> cpm	バックグラウンドレベルを超える																																																																																																																																																		
[排気筒ガスモニタ]	10~10 <sup>5</sup> cpm	バックグラウンドレベルを超える																																																																																																																																																		
[排気筒高レンジガスモニタ (低レンジ)]	10~10 <sup>5</sup> cpm	バックグラウンドレベルを超える																																																																																																																																																		
[排気筒高レンジガスモニタ (高レンジ)]	10~10 <sup>5</sup> cpm	バックグラウンドレベルを超える																																																																																																																																																		
[補助建屋サンプタンク水位]	0~100%	0~100%																																																																																																																																																		
[余熱除去ポンプ出口圧力]	0~5.0MPa [gage]	0.89~4.2MPa [gage]																																																																																																																																																		
[加圧器速がシタンク圧力]	0~1.0MPa [gage]	0.021MPa [gage]																																																																																																																																																		
[加圧器速がシタンク水位]	0~100%	55~75%																																																																																																																																																		
[加圧器速がシタンク温度]	0~150℃	49℃以下																																																																																																																																																		
[余熱除去冷却器入口温度]	0~200℃	10~177℃																																																																																																																																																		
[余熱除去冷却器出口温度]	0~200℃	10~177℃																																																																																																																																																		

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																								
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center;">原子炉建屋内の状態</th> </tr> <tr> <td style="width: 10%;">①原子炉圧力</td> <td style="width: 30%;">0~10MPa[gauge]</td> <td style="width: 10%;">最大値：約8.11MPa[gauge]</td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td>①原子炉圧力 (SA)</td> <td>0~11MPa[gauge]</td> <td>最大値：約8.11MPa[gauge]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>② [エア放熱線モニタ] *</td> <td>10 %Sv/h~16Sv/h</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </table> <p>* 1：計装範囲の事は、原子炉圧力容器管レベルより1.313cm上のところとする (ドライヤースカート底部付近)。          * 2：計装範囲の事は、原子炉圧力容器管レベルより900cm上のところとする (有効燃料棒燃焼付近)。</p> <p>重大事故等時において、主要パラメータにて格納容器バイパスの監視をする目的は、原子炉格納容器外にて冷却材漏えい事象が発生しているかどうかの確認である。なお、格納容器バイパス発生監視はプラント状態を監視するため、単一パラメータで確認することは困難であり、複数のパラメータを組み合わせることでより監視が可能である。</p> <p>1. 原子炉圧力容器内の状態          ①原子炉水位 (SA 広帯域)、原子炉水位 (SA 燃料域)、原子炉水位 (広帯域)、原子炉水位 (燃料域)          同じ仕様のもので原子炉圧力容器内の水位を計測することにより推定する。          ②原子炉圧力、原子炉圧力 (SA)          同じ仕様のもので原子炉圧力容器内の圧力を計測することにより推定する。          ③原子炉圧力容器温度、原子炉水位 (広帯域)、原子炉水位 (燃料域)、原子炉水位 (SA 広帯域)、原子炉水位 (SA 燃料域)          飽和温度/圧力の関係を利用し、図 58-8-3 を用いて原子炉圧力容器温度より原子炉圧力を推定する。原子炉圧力容器内が飽和状態でない場合は、不確かさが生じることを考慮する。          推定可能範囲：全範囲</p> <p>2. 原子炉格納容器内の状態          ①ドライウェル圧力          ドライウェル圧力が過去の温度、圧力履歴から飽和状態にあると判断されれば、飽和温度/圧力の関係を利用して図 58-8-9 よりドライウェル温度の推定を行う。          推定可能範囲：100℃~185℃</p> <p>②ドライウェル温度          原子炉格納容器が過去の温度、圧力履歴から飽和状態にあると判断されれば、飽和温度/圧力の関係を利用して図 58-8-10 よりドライウェル圧力の推定を行う。          推定可能範囲：0~1.0MPa[abs]</p> <p>③ [ドライウェル圧力]          常用計器でドライウェル圧力を計測することにより推定する。</p> <p>3. 原子炉建屋内の状態          ①原子炉圧力、原子炉圧力 (SA)          格納容器バイパスが発生した場合は、原子炉冷却材圧力バウンダリと接続された系統で、高圧設計部分と低圧設計部分のインターフェイスとなる配管のうち、隔離弁の漏洩失敗等により低圧設計部分が原子炉圧力により過圧され破裂することを想定していることから、原子炉圧力、原子炉圧力 (SA) により推定する。          ② [エア放熱線モニタ]          エリア放熱線モニタ (有効監視パラメータ) により格納容器バイパスの発生を推定する。</p>	原子炉建屋内の状態				①原子炉圧力	0~10MPa[gauge]	最大値：約8.11MPa[gauge]		①原子炉圧力 (SA)	0~11MPa[gauge]	最大値：約8.11MPa[gauge]		② [エア放熱線モニタ] *	10 %Sv/h~16Sv/h	—		<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center;">代替パラメータ</th> </tr> <tr> <td style="width: 10%;">①蒸気発生器水位 (広域) (蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力の代替)</td> <td style="width: 30%;">0~100%</td> <td style="width: 10%;">最大値：100%以上 最小値：0%以下</td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td>①蒸気発生器水位 (狭域) (1次冷却材圧力 (広域)、[復水器排気ガスモニタ]、[蒸気発生器ブローダウン水モニタ]、[高感度型主蒸気管モニタ]、[排気筒高ガスモニタ]、[排気筒高レンジガスモニタ (低レンジ)]、[排気筒高レンジガスモニタ (高レンジ)]、[補助建屋サンパタンク水位] 及び [余熱除去ポンプ出口圧力] の代替)</td> <td>0~100%</td> <td>最大値：100%以上 最小値：0%以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>①主蒸気ライン圧力 (蒸気発生器水位 (狭域)、1次冷却材圧力 (広域)、[復水器排気ガスモニタ]、[蒸気発生器ブローダウン水モニタ]、[高感度型主蒸気管モニタ]、[排気筒高ガスモニタ]、[排気筒高レンジガスモニタ (低レンジ)]、[排気筒高レンジガスモニタ (高レンジ)]、[補助建屋サンパタンク水位] 及び [余熱除去ポンプ出口圧力] の代替)</td> <td>0~8.5MPa[gauge]</td> <td>最大値：約7.8MPa[gauge]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>①補助給水流量 (蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力の代替)</td> <td>0~130m<sup>3</sup>/h</td> <td>50m<sup>3</sup>/h</td> <td></td> </tr> <tr> <td>① [加圧器圧力] (1次冷却材圧力 (広域) の代替)</td> <td>11.0~17.5MPa[gauge]</td> <td>最大値：約17.5MPa[gauge]</td> <td></td> </tr> </table>	代替パラメータ				①蒸気発生器水位 (広域) (蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力の代替)	0~100%	最大値：100%以上 最小値：0%以下		①蒸気発生器水位 (狭域) (1次冷却材圧力 (広域)、[復水器排気ガスモニタ]、[蒸気発生器ブローダウン水モニタ]、[高感度型主蒸気管モニタ]、[排気筒高ガスモニタ]、[排気筒高レンジガスモニタ (低レンジ)]、[排気筒高レンジガスモニタ (高レンジ)]、[補助建屋サンパタンク水位] 及び [余熱除去ポンプ出口圧力] の代替)	0~100%	最大値：100%以上 最小値：0%以下		①主蒸気ライン圧力 (蒸気発生器水位 (狭域)、1次冷却材圧力 (広域)、[復水器排気ガスモニタ]、[蒸気発生器ブローダウン水モニタ]、[高感度型主蒸気管モニタ]、[排気筒高ガスモニタ]、[排気筒高レンジガスモニタ (低レンジ)]、[排気筒高レンジガスモニタ (高レンジ)]、[補助建屋サンパタンク水位] 及び [余熱除去ポンプ出口圧力] の代替)	0~8.5MPa[gauge]	最大値：約7.8MPa[gauge]		①補助給水流量 (蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力の代替)	0~130m <sup>3</sup> /h	50m <sup>3</sup> /h		① [加圧器圧力] (1次冷却材圧力 (広域) の代替)	11.0~17.5MPa[gauge]	最大値：約17.5MPa[gauge]		
原子炉建屋内の状態																																											
①原子炉圧力	0~10MPa[gauge]	最大値：約8.11MPa[gauge]																																									
①原子炉圧力 (SA)	0~11MPa[gauge]	最大値：約8.11MPa[gauge]																																									
② [エア放熱線モニタ] *	10 %Sv/h~16Sv/h	—																																									
代替パラメータ																																											
①蒸気発生器水位 (広域) (蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力の代替)	0~100%	最大値：100%以上 最小値：0%以下																																									
①蒸気発生器水位 (狭域) (1次冷却材圧力 (広域)、[復水器排気ガスモニタ]、[蒸気発生器ブローダウン水モニタ]、[高感度型主蒸気管モニタ]、[排気筒高ガスモニタ]、[排気筒高レンジガスモニタ (低レンジ)]、[排気筒高レンジガスモニタ (高レンジ)]、[補助建屋サンパタンク水位] 及び [余熱除去ポンプ出口圧力] の代替)	0~100%	最大値：100%以上 最小値：0%以下																																									
①主蒸気ライン圧力 (蒸気発生器水位 (狭域)、1次冷却材圧力 (広域)、[復水器排気ガスモニタ]、[蒸気発生器ブローダウン水モニタ]、[高感度型主蒸気管モニタ]、[排気筒高ガスモニタ]、[排気筒高レンジガスモニタ (低レンジ)]、[排気筒高レンジガスモニタ (高レンジ)]、[補助建屋サンパタンク水位] 及び [余熱除去ポンプ出口圧力] の代替)	0~8.5MPa[gauge]	最大値：約7.8MPa[gauge]																																									
①補助給水流量 (蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力の代替)	0~130m <sup>3</sup> /h	50m <sup>3</sup> /h																																									
① [加圧器圧力] (1次冷却材圧力 (広域) の代替)	11.0~17.5MPa[gauge]	最大値：約17.5MPa[gauge]																																									

灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>1. 原子炉圧力容器内の状態</p> <p>①原子炉水位 (SA広帯域)、原子炉水位 (SA燃料域)、原子炉水位 (広帯域)、原子炉水位 (燃料域)                      同じ仕様のもので原子炉圧力容器内の水位を計測することができ、適用可能である。(原子炉水位 (SA広帯域) の誤差: ±45mm、原子炉水位 (SA燃料域) の誤差: ±43mm、原子炉水位 (広帯域) の誤差: ±46mm、原子炉水位 (燃料域) の誤差: ±44mm)</p> <p>②原子炉圧力、原子炉圧力 (SA)                      同じ仕様のもので原子炉圧力容器内の圧力を計測することができ、適用可能である。(原子炉圧力の誤差: ±0.07MPa、原子炉圧力 (SA) の誤差: ±0.09MPa)</p> <p>③原子炉圧力容器温度、原子炉水位 (広帯域)、原子炉水位 (燃料域)、原子炉水位 (SA広帯域)、原子炉水位 (SA燃料域)                      原子炉圧力容器温度より飽和温度/圧力の関係を利用して推定することで原子炉圧力の傾向を把握でき、計器誤差 (原子炉圧力容器温度の誤差: ±0.5℃) を考慮した上で対応することにより重大事故等の対策を実施することが可能である。</p> <p>2. 原子炉格納容器内の状態</p> <p>①ドライウェル圧力                      ドライウェル圧力による推定手帳は、原子炉格納容器内が飽和状態にあることが限定される。ただし、重大事故等時の有効性評価 (雰囲気圧力・温度による静的負荷 (格納容器過圧・過温破壊) において、原子炉格納容器は概ね飽和に近い状態で維持されることから、適用可能である。(ドライウェル圧力の誤差: ±0.006MPa))</p> <p>②圧力抑制室圧力                      原子炉格納容器内の圧力抑制室の圧力を同じ仕様の圧力計で計測することができ、適用可能である。(圧力抑制室圧力の誤差: ±0.006MPa)</p> <p>③ドライウェル温度                      ドライウェル温度による推定手帳は、原子炉格納容器内が飽和状態にあることが限定される。ただし、重大事故等時の有効性評価 (雰囲気圧力・温度による静的負荷 (格納容器過圧・過温破壊) において、原子炉格納容器は概ね飽和に近い状態で維持されることから、適用可能である。(例えば、ドライウェル圧力: 約0.427MPa[gage] (飽和温度: 約154℃) に対してドライウェル温度の誤差: 約±0.7℃から圧力に換算した場合は、0.427±0.040MPa[gage]程度)。</p> <p>④ [ドライウェル圧力]                      監視可能であれば常用計器でドライウェル圧力を計測することができる。</p> <p>3. 原子炉建屋内の状態</p> <p>①原子炉圧力、原子炉圧力 (SA)                      格納容器バイパスが発生した場合 (発生場所の隔離まで) は、原子炉圧力と破断箇所が同様の傾向を示すことから、破断検知をする上で適用可能である。(原子炉圧力の誤差: ±0.07MPa、原子炉圧力 (SA) の誤差: ±0.09MPa)</p> <p>② [エアラ放射線モニタ]                      エアラ放射線モニタ (有効監視パラメータ) の指示上昇傾向を把握することにより、格納容器バイパスが発生したことを推定することができ、適用可能である。</p> <p>以上より、これらの代替パラメータによる推定で、炉心保護防止対策及び格納容器破断防止対策等を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p>	<p>①加圧器水位                      ([排気筒ガスモニタ]、[排気筒高レンジガスモニタ (低レンジ)]、[排気筒高レンジガスモニタ (高レンジ)]、[補助建屋サンブタンク水位]、[余熱除去ポンプ出口圧力]、[加圧器逃がしタンク圧力]、[加圧器逃がしタンク水位]、[加圧器逃がしタンク温度]、[余熱除去冷却器入口温度]及び[余熱除去冷却器出口温度]の代替)</p> <p>①格納容器再循環サンブタンク水位 (広域)                      ([1次冷却材圧力 (広域)、[排気筒ガスモニタ]、[排気筒高レンジガスモニタ (低レンジ)]、[排気筒高レンジガスモニタ (高レンジ)]、[補助建屋サンブタンク水位]及び[余熱除去ポンプ出口圧力]の代替)</p> <p>③1次冷却材温度 (広域-高温側)                      ([1次冷却材圧力 (広域) の代替)</p> <p>③1次冷却材温度 (広域-低温側)                      ([1次冷却材圧力 (広域) の代替)</p> <p>①1次冷却材圧力 (広域)                      ([排気筒ガスモニタ]、[排気筒高レンジガスモニタ (低レンジ)]、[排気筒高レンジガスモニタ (高レンジ)]、[補助建屋サンブタンク水位]、[余熱除去ポンプ出口圧力]、[加圧器逃がしタンク圧力]、[加圧器逃がしタンク水位]、[加圧器逃がしタンク温度]、[余熱除去冷却器入口温度]及び[余熱除去冷却器出口温度]の代替)</p>	<p>0 ~ 100%                      最大値: 約 99%                      最小値: 0%以下</p> <p>0 ~ 100%                      100%</p> <p>0 ~ 400℃                      最大値: 約 340℃</p> <p>0 ~ 400℃                      最大値: 約 339℃</p> <p>0 ~ 21.0MPa[gage]                      最大値:                      約 17.8MPa[gage]</p>

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容  
 赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由																
		<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1256 148 1339 360">                     代替 パラメータ                 </td> <td data-bbox="1339 148 1518 360">                     ② [格納容器サブ水位]                      ([加圧器速がシタンク圧力]、[加圧器速がシタンク水位] 及び [加圧器速がシタンク温度] の代替)                 </td> <td data-bbox="1518 148 1648 360">                     0 ~ 100%                 </td> <td data-bbox="1648 148 1809 360">                     —                 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1256 360 1339 520"></td> <td data-bbox="1339 360 1518 520">                     ② [余熱除去ポンプ出口圧力]                      ([余熱除去冷却器入口温度] 及び [余熱除去冷却器出口温度] の代替)                 </td> <td data-bbox="1518 360 1648 520">                     0 ~ 5.0MPa [gauge]                 </td> <td data-bbox="1648 360 1809 520">                     0.89 ~ 4.2MPa [gauge]                 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1256 520 1339 970">                     計測目的                 </td> <td colspan="3" data-bbox="1339 520 1809 970">                     重大事故等時において、主要パラメータにて格納容器バイパスの監視をする目的は、原子炉格納容器外にて冷却材漏えい事象が発生しているかどうかの確認である。                      なお、格納容器バイパス発生監視はプラント状態を監視するため、単一パラメータで確認することは困難であり、複数のパラメータを組み合わせることでより監視が可能である。                 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1256 970 1339 1473">                     推定方法                 </td> <td colspan="3" data-bbox="1339 970 1809 1473">                     格納容器バイパスの監視の主要パラメータである蒸気発生器水位 (狭域)、主蒸気ライン圧力等の監視が不可能になった場合には、1 次冷却系及び 2 次冷却系並びに原子炉格納容器内外における状態変化により格納容器バイパスの発生状況を推定する。                      推定方法は、以下のとおりである。                      (1) 蒸気発生器水位 (狭域)                      ① 蒸気発生器水位 (広域)                      蒸気発生器水位 (狭域) の計測が不可能となった場合には、蒸気発生器水位 (広域) の上昇を傾向監視することにより蒸気発生器伝熱管破損を推定する。                      ② 主蒸気ライン圧力、② 補助給水流量                      蒸気発生器水位 (広域) の計測が不可能となった場合には、主蒸気ライン圧力の上昇及び補助給水流量の減少を傾向監視することにより蒸気発生器伝熱管破損を推定する。                      (2) 主蒸気ライン圧力                      ① 蒸気発生器水位 (広域)、補助給水流量                      主蒸気ライン圧力の計測が不可能となった場合には、蒸気発生器水位 (広域) の上昇及び補助給水流量の減少を傾向監視することにより蒸気発生器伝熱管破損を推定する。                 </td> </tr> </table>	代替 パラメータ	② [格納容器サブ水位] ([加圧器速がシタンク圧力]、[加圧器速がシタンク水位] 及び [加圧器速がシタンク温度] の代替)	0 ~ 100%	—		② [余熱除去ポンプ出口圧力] ([余熱除去冷却器入口温度] 及び [余熱除去冷却器出口温度] の代替)	0 ~ 5.0MPa [gauge]	0.89 ~ 4.2MPa [gauge]	計測目的	重大事故等時において、主要パラメータにて格納容器バイパスの監視をする目的は、原子炉格納容器外にて冷却材漏えい事象が発生しているかどうかの確認である。 なお、格納容器バイパス発生監視はプラント状態を監視するため、単一パラメータで確認することは困難であり、複数のパラメータを組み合わせることでより監視が可能である。			推定方法	格納容器バイパスの監視の主要パラメータである蒸気発生器水位 (狭域)、主蒸気ライン圧力等の監視が不可能になった場合には、1 次冷却系及び 2 次冷却系並びに原子炉格納容器内外における状態変化により格納容器バイパスの発生状況を推定する。 推定方法は、以下のとおりである。 (1) 蒸気発生器水位 (狭域) ① 蒸気発生器水位 (広域) 蒸気発生器水位 (狭域) の計測が不可能となった場合には、蒸気発生器水位 (広域) の上昇を傾向監視することにより蒸気発生器伝熱管破損を推定する。 ② 主蒸気ライン圧力、② 補助給水流量 蒸気発生器水位 (広域) の計測が不可能となった場合には、主蒸気ライン圧力の上昇及び補助給水流量の減少を傾向監視することにより蒸気発生器伝熱管破損を推定する。 (2) 主蒸気ライン圧力 ① 蒸気発生器水位 (広域)、補助給水流量 主蒸気ライン圧力の計測が不可能となった場合には、蒸気発生器水位 (広域) の上昇及び補助給水流量の減少を傾向監視することにより蒸気発生器伝熱管破損を推定する。			
代替 パラメータ	② [格納容器サブ水位] ([加圧器速がシタンク圧力]、[加圧器速がシタンク水位] 及び [加圧器速がシタンク温度] の代替)	0 ~ 100%	—																
	② [余熱除去ポンプ出口圧力] ([余熱除去冷却器入口温度] 及び [余熱除去冷却器出口温度] の代替)	0 ~ 5.0MPa [gauge]	0.89 ~ 4.2MPa [gauge]																
計測目的	重大事故等時において、主要パラメータにて格納容器バイパスの監視をする目的は、原子炉格納容器外にて冷却材漏えい事象が発生しているかどうかの確認である。 なお、格納容器バイパス発生監視はプラント状態を監視するため、単一パラメータで確認することは困難であり、複数のパラメータを組み合わせることでより監視が可能である。																		
推定方法	格納容器バイパスの監視の主要パラメータである蒸気発生器水位 (狭域)、主蒸気ライン圧力等の監視が不可能になった場合には、1 次冷却系及び 2 次冷却系並びに原子炉格納容器内外における状態変化により格納容器バイパスの発生状況を推定する。 推定方法は、以下のとおりである。 (1) 蒸気発生器水位 (狭域) ① 蒸気発生器水位 (広域) 蒸気発生器水位 (狭域) の計測が不可能となった場合には、蒸気発生器水位 (広域) の上昇を傾向監視することにより蒸気発生器伝熱管破損を推定する。 ② 主蒸気ライン圧力、② 補助給水流量 蒸気発生器水位 (広域) の計測が不可能となった場合には、主蒸気ライン圧力の上昇及び補助給水流量の減少を傾向監視することにより蒸気発生器伝熱管破損を推定する。 (2) 主蒸気ライン圧力 ① 蒸気発生器水位 (広域)、補助給水流量 主蒸気ライン圧力の計測が不可能となった場合には、蒸気発生器水位 (広域) の上昇及び補助給水流量の減少を傾向監視することにより蒸気発生器伝熱管破損を推定する。																		



灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容  
 赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
		<p>(3) 1 次冷却材圧力 (広域)                  ① [加圧器圧力]                  1 次冷却材圧力 (広域) の計測が不可能となった場合には、測定範囲内であれば、加圧器圧力 (自主対策設備) により推定する。</p> <p>② 蒸気発生器水位 (狭域)、主蒸気ライン圧力、格納容器再循環サンプ水位 (広域)                  1 次冷却材圧力 (広域) の計測が不可能となった場合には、蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力の上昇により蒸気発生器伝熱管破損を推定し、蒸気発生器伝熱管破損がないこと及び格納容器再循環サンプ水位 (広域) の上昇がないことでインターフェイスシステム LOCA を推定する。</p> <p>③ 1 次冷却材温度 (広域-高温側)、1 次冷却材温度 (広域-低温側)                  1 次冷却材圧力 (広域) の計測が不可能となった場合には、飽和温度/圧力の関係を利用し、第 2 図を用いて 1 次冷却材温度 (広域-高温側) 又は 1 次冷却材温度 (広域-低温側) より原子炉圧力容器内の圧力を推定する。この推定方法では、原子炉圧力容器内が飽和状態にない場合は、不確かさが生じることを考慮する。</p> <p>(4) [復水器排気ガスモニタ]                  ① 蒸気発生器水位 (狭域)、主蒸気ライン圧力                  復水器排気ガスモニタ (自主対策設備) の計測が不可能となった場合には、蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力の変化により蒸気発生器伝熱管破損の傾向監視を行う。</p> <p>(5) [蒸気発生器ブローダウン水モニタ]                  ① 蒸気発生器水位 (狭域)、主蒸気ライン圧力                  蒸気発生器ブローダウン水モニタ (自主対策設備) の計測が不可能となった場合には、蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力の変化により蒸気発生器伝熱管破損の傾向監視を行う。</p> <p>(6) [高感度型主蒸気管モニタ]                  ① 蒸気発生器水位 (狭域)、主蒸気ライン圧力                  高感度型主蒸気管モニタ (自主対策設備) の計測が不可能となった場合には、蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力の変化により蒸気発生器伝熱管破損の傾向監視を行う。</p> <p>(7) [排気筒ガスモニタ]                  ① 1 次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位、格納容器再循環サンプ水位 (広域)、蒸気発生器水位 (狭域)、主蒸気ライン圧力                  排気筒ガスモニタ (自主対策設備) の計測が不可能となった場合には、1 次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位、格納容器再循環サンプ水位 (広域)、蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力により、インターフェイスシステム</p>	

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容  
 赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
		<p>LOCA の傾向監視を行う。</p> <p>(8) [排気筒高レンジガスモニタ (低レンジ)]                  ① 1 次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位、格納容器再循環サンプ水位 (広域)、蒸気発生器水位 (狭域)、主蒸気ライン圧力                  排気筒高レンジガスモニタ (低レンジ) (自主対策設備) の計測が不可能となった場合には、1 次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位、格納容器再循環サンプ水位 (広域)、蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力により、インターフェイスシステム LOCA の傾向監視を行う。</p> <p>(9) [排気筒高レンジガスモニタ (高レンジ)]                  ① 1 次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位、格納容器再循環サンプ水位 (広域)、蒸気発生器水位 (狭域)、主蒸気ライン圧力                  排気筒高レンジガスモニタ (高レンジ) (自主対策設備) の計測が不可能となった場合には、1 次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位、格納容器再循環サンプ水位 (広域)、蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力により、インターフェイスシステム LOCA の傾向監視を行う。</p> <p>(10) [補助建屋サンプタンク水位]                  ① 1 次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位、格納容器再循環サンプ水位 (広域)、蒸気発生器水位 (狭域)、主蒸気ライン圧力                  補助建屋サンプタンク水位 (自主対策設備) の計測が不可能となった場合には、1 次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位、格納容器再循環サンプ水位 (広域)、蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力により、インターフェイスシステム LOCA の傾向監視を行う。</p> <p>(11) [余熱除去ポンプ出口圧力]                  ① 1 次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位、格納容器再循環サンプ水位 (広域)、蒸気発生器水位 (狭域)、主蒸気ライン圧力                  余熱除去ポンプ出口圧力 (自主対策設備) の計測が不可能となった場合には、1 次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位、格納容器再循環サンプ水位 (広域)、蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力により、インターフェイスシステム LOCA の傾向監視を行う。</p> <p>(12) [加圧器逃がしタンク圧力]                  ① 1 次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位、[格納容器サンプ水位]                  加圧器逃がしタンク圧力 (自主対策設備) の計測が不可能となった場合には、1 次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位の低下の確認により、インターフェイスシステム LOCA の傾向監視を行う。                  格納容器サンプ水位 (自主対策設備) が使用可能であれば、1 次冷却材圧力 (広域) の低下及び格納容器サンプ水位 (自主対策設備) の上昇がないことの確認により、インターフェイスシステム LOCA の傾向監視を行う。</p>	

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容  
 赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
		<p>(13) 【加圧器逃がしタンク水位】                  ① 1 次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位、[格納容器サンブ水位]                  加圧器逃がしタンク水位 (自主対策設備) の計測が不可能となった場合には、1 次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位の低下の確認により、インターフェイスシステム LOCA の傾向監視を行う。                  格納容器サンブ水位 (自主対策設備) が使用可能であれば、1 次冷却材圧力 (広域) の低下及び格納容器サンブ水位 (自主対策設備) の上昇がないことの確認により、インターフェイスシステム LOCA の傾向監視を行う。</p> <p>(14) 【加圧器逃がしタンク温度】                  ① 1 次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位、[格納容器サンブ水位]                  加圧器逃がしタンク温度 (自主対策設備) の計測が不可能となった場合には、1 次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位の低下の確認により、インターフェイスシステム LOCA の傾向監視を行う。                  格納容器サンブ水位 (自主対策設備) が使用可能であれば、1 次冷却材圧力 (広域) の低下及び格納容器サンブ水位 (自主対策設備) の上昇がないことの確認により、インターフェイスシステム LOCA の傾向監視を行う。</p> <p>(15) 【余熱除去冷却器入口温度】                  ① 1 次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位、[余熱除去ポンプ出口圧力]                  余熱除去冷却器入口温度 (自主対策設備) の計測が不可能となった場合には、1 次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位の低下の確認により、インターフェイスシステム LOCA の傾向監視を行う。                  余熱除去ポンプ出口圧力 (自主対策設備) が使用可能であれば、1 次冷却材圧力 (広域) の低下及び余熱除去ポンプ出口圧力 (自主対策設備) の上昇により、インターフェイスシステム LOCA の傾向監視を行う。</p> <p>(16) 【余熱除去冷却器出口温度】                  ① 1 次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位、[余熱除去ポンプ出口圧力]                  余熱除去冷却器出口温度 (自主対策設備) の計測が不可能となった場合には、1 次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位の低下の確認により、インターフェイスシステム LOCA の傾向監視を行う。                  余熱除去ポンプ出口圧力 (自主対策設備) が使用可能であれば、1 次冷却材圧力 (広域) の低下及び余熱除去ポンプ出口圧力 (自主対策設備) の上昇により、インターフェイスシステム LOCA の傾向監視を行う。</p>	

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
		<p>(1) 蒸気発生器水位 (狭域)                      ① 蒸気発生器水位 (広域)                      蒸気発生器水位 (広域) で蒸気発生器内の水位を計測することができ、プラント状態に依存することなく適用可能である。(蒸気発生器水位 (広域) の誤差: <math>\pm 1.25\%</math>)</p> <p>② 主蒸気ライン圧力、補助給水流量                      蒸気発生器伝熱管破損が発生した場合、1 次冷却材が蒸気発生器伝熱管破損部から 2 次側に漏えいすることで蒸気発生器 2 次側の圧力が上昇傾向となるとともに補助給水流量が減少傾向となることを利用して推定することで蒸気発生器内の水位の傾向を把握でき、計測誤差 (主蒸気ライン圧力の誤差: <math>\pm 0.08\text{MPa}</math>、補助給水流量の誤差: <math>\pm 2.6\text{m}^3/\text{h}</math>) を考慮して対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>(2) 主蒸気ライン圧力                      ① 蒸気発生器水位 (広域)、補助給水流量                      蒸気発生器伝熱管破損が発生した場合、1 次冷却材が蒸気発生器伝熱管破損部から 2 次側に漏えいすることで蒸気発生器 2 次側の水位が上昇傾向となるとともに補助給水流量が減少傾向となることを利用して、蒸気発生器水位 (広域) 及び補助給水流量により推定することで、主蒸気ライン圧力の傾向を把握でき、計測誤差 (蒸気発生器水位 (広域) の誤差: <math>\pm 1.25\%</math>、補助給水流量の誤差: <math>\pm 2.6\text{m}^3/\text{h}</math>) を考慮して対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>(3) 1 次冷却材圧力 (広域)                      ① [加圧器圧力]                      同じ仕様のもので加圧器内の圧力を計測することにより推定する。</p> <p>② 蒸気発生器水位 (狭域)、主蒸気ライン圧力、格納容器再循環サンプ水位 (広域)                      蒸気発生器伝熱管破損が発生した場合、蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力が変化することを利用して、蒸気発生器伝熱管破損に伴う蒸気発生器 2 次側の状態を把握でき、計測誤差 (蒸気発生器水位 (狭域) の誤差: <math>\pm 1.0\%</math>、主蒸気ライン圧力の誤差: <math>\pm 0.08\text{MPa}</math>) を考慮して対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>インターフェイシステム LOCA が発生した場合、格納容器再循環サンプ水位 (広域) が変化しないことを利用して、原子炉格納容器外へ漏えいが生じていることを推定することで原子炉格納容器内外の状態を把握でき、計測誤差 (格納容器再循環サンプ水位 (広域) の誤差: <math>\pm 2.0\%</math>) を考慮して対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容  
 赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>② 1次冷却材温度（広域-高温側）、1次冷却材温度（広域-低温側）                      1次冷却材温度（広域-高温側）と1次冷却材温度（広域-低温側）の差により、原子炉出力/1次冷却材温度（広域-高温側）と1次冷却材温度（広域-低温側）の温度差の関係を利用して推定することで原子炉出力を把握でき、計測誤差（1次冷却材温度（広域-高温側）：±4.4℃、1次冷却材温度（広域-低温側）：±4.4℃）を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>なお、本推定手順は原子炉圧力容器内が飽和状態にあることが限定されるものの、原子炉圧力容器内の圧力は上記①で推定ができるため、事故収束を行う上で問題とならない。</p> <p>(4) [復水器排気ガスモニタ]                      ① 蒸気発生器水位（狭域）、主蒸気ライン圧力                      蒸気発生器伝熱管破損が発生した場合、蒸気発生器水位（狭域）及び主蒸気ライン圧力が変化することを利用して、蒸気発生器伝熱管破損に伴う蒸気発生器2次側の状態を把握でき、計測誤差(蒸気発生器水位(狭域)の誤差:±1.0%、主蒸気ライン圧力の誤差:±0.085MPa)を考慮して対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>(5) [蒸気発生器ブローダウン水モニタ]                      ① 蒸気発生器水位（狭域）、主蒸気ライン圧力                      蒸気発生器伝熱管破損が発生した場合、蒸気発生器水位（狭域）及び主蒸気ライン圧力が変化することを利用して、蒸気発生器伝熱管破損に伴う蒸気発生器2次側の状態を把握でき、計測誤差(蒸気発生器水位(狭域)の誤差:±1.0%、主蒸気ライン圧力の誤差:±0.085MPa)を考慮して対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>(6) [高感度型主蒸気管モニタ]                      ① 蒸気発生器水位（狭域）、主蒸気ライン圧力                      蒸気発生器伝熱管破損が発生した場合、蒸気発生器水位（狭域）及び主蒸気ライン圧力が変化することを利用して、蒸気発生器伝熱管破損に伴う蒸気発生器2次側の状態を把握でき、計測誤差(蒸気発生器水位(狭域)の誤差:±1.0%、主蒸気ライン圧力の誤差:±0.085MPa)を考慮して対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>(7) [排気筒ガスモニタ]                      ① 1次冷却材圧力（広域）、加圧器水位、格納容器再循環サンプ水位（広域）、蒸気発生器水位（狭域）、主蒸気ライン圧力                      インターフェイスシステムLOCAが発生した場合、1次冷却材圧力（広域）、加圧器水位、蒸気発生器水位（狭域）及び主蒸気ライン圧力が変化する一方、格納容器再循環サンプ水位（広域）には基本的に蓄水が生じないことを利用して、インターフェイスシステムLOCAに伴う1次冷却系及び2次冷却系並びに原子炉格納容器内外の状態を把握でき、計測誤差（1次冷却材圧力（広域）の</p>	



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>誤差：±0.25MPa、加圧器水位の誤差：±1.0%、蒸気発生器水位 (狭域) の誤差：±1.0%、主蒸気ライン圧力の誤差：±0.085MPa、格納容器再循環サンプ水位 (広域) の誤差：±2.0% を考慮して対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>(8) [排気筒高レンジガスモニタ (低レンジ)]                  ① 1次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位、格納容器再循環サンプ水位 (広域)、蒸気発生器水位 (狭域)、主蒸気ライン圧力                  インターフェイスシステム LOCA が発生した場合、1次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位、蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力が変化する一方、格納容器再循環サンプ水位 (広域) には基本的に蓄水が生じないことを利用して、インターフェイスシステム LOCA に伴う1次冷却系及び2次冷却系並びに原子炉格納容器内外の状態を把握でき、計測誤差 (1次冷却材圧力 (広域) の誤差：±0.25MPa、加圧器水位の誤差：±1.0%、蒸気発生器水位 (狭域) の誤差：±1.0%、主蒸気ライン圧力の誤差：±0.085MPa、格納容器再循環サンプ水位 (広域) の誤差：±2.0%) を考慮して対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>(9) [排気筒高レンジガスモニタ (高レンジ)]                  ① 1次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位、格納容器再循環サンプ水位 (広域)、蒸気発生器水位 (狭域)、主蒸気ライン圧力                  インターフェイスシステム LOCA が発生した場合、1次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位、蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力が変化する一方、格納容器再循環サンプ水位 (広域) には基本的に蓄水が生じないことを利用して、インターフェイスシステム LOCA に伴う1次冷却系及び2次冷却系並びに原子炉格納容器内外の状態を把握でき、計測誤差 (1次冷却材圧力 (広域) の誤差：±0.25MPa、加圧器水位の誤差：±1.0%、蒸気発生器水位 (狭域) の誤差：±1.0%、主蒸気ライン圧力の誤差：±0.085MPa、格納容器再循環サンプ水位 (広域) の誤差：±2.0%) を考慮して対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>(10) [補助建屋サンプタンク水位]                  ① 1次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位、格納容器再循環サンプ水位 (広域)、蒸気発生器水位 (狭域)、主蒸気ライン圧力                  インターフェイスシステム LOCA が発生した場合、1次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位、蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力が変化する一方、格納容器再循環サンプ水位 (広域) には基本的に蓄水が生じないことを利用して、インターフェイスシステム LOCA に伴う1次冷却系及び2次冷却系並びに原子炉格納容器内外の状態を把握でき、計測誤差 (1次冷却材圧力 (広域) の誤差：±0.25MPa、加圧器水位の誤差：±1.0%、蒸気発生器水位 (狭域) の誤差：±1.0%、主蒸気ライン圧力の誤差：±0.085MPa、格納容器再循環サンプ水位 (広域) の誤差：±2.0%) を考慮して対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容  
 赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>(11) [余熱除去ポンプ出口圧力]                      ① 1次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位、格納容器再循環サンプ水位 (広域)、蒸気発生器水位 (狭域)、主蒸気ライン圧力                      インターフェイスシステムLOCAが発生した場合、1次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位、蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力が変化する一方、格納容器再循環サンプ水位 (広域) には基本的に蓄水が生じないことを利用して、インターフェイスシステムLOCAに伴う1次冷却系及び2次冷却系並びに原子炉格納容器内外の状態を把握でき、計測誤差 (1次冷却材圧力 (広域) の誤差: ±0.25MPa、加圧器水位の誤差: ±1.0%、蒸気発生器水位 (狭域) の誤差: ±1.0%、主蒸気ライン圧力の誤差: ±0.085MPa、格納容器再循環サンプ水位 (広域) の誤差: ±2.0%) を考慮して対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>(12) [加圧器逃がしタンク圧力]                      ① 1次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位、[格納容器サンプ水位]                      インターフェイスシステムLOCAが発生した場合、1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位が変化する一方、格納容器サンプ水位 (自主対策設備) には基本的に蓄水が生じないことを利用して、インターフェイスシステムLOCAに伴う1次冷却系及び原子炉格納容器内外の状態を把握でき、計測誤差 (1次冷却材圧力 (広域) の誤差: ±0.25MPa、加圧器水位の誤差: ±1.0%) を考慮して対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>(13) [加圧器逃がしタンク水位]                      ① 1次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位、[格納容器サンプ水位]                      インターフェイスシステムLOCAが発生した場合、1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位が変化する一方、格納容器サンプ水位 (自主対策設備) には基本的に蓄水が生じないことを利用して、インターフェイスシステムLOCAに伴う1次冷却系及び原子炉格納容器内外の状態を把握でき、計測誤差 (1次冷却材圧力 (広域) の誤差: ±0.25MPa、加圧器水位の誤差: ±1.0%) を考慮して対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>(14) [加圧器逃がしタンク温度]                      ① 1次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位、[格納容器サンプ水位]                      インターフェイスシステムLOCAが発生した場合、1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位が変化する一方、格納容器サンプ水位 (自主対策設備) には基本的に蓄水が生じないことを利用して、インターフェイスシステムLOCAに伴う1次冷却系及び原子炉格納容器内外の状態を把握でき、計測誤差 (1次冷却材圧力 (広域) の誤差: ±0.25MPa、加圧器水位の誤差: ±1.0%) を考慮して対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p>	
		<p>(15) [余熱除去冷却器入口温度]                      ① 1次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位、[余熱除去ポンプ出口圧力]                      インターフェイスシステムLOCAが発生した場合、1次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位及び余熱除去ポンプ出口圧力 (自主対策設備) が変化することを利用して、インターフェイスシステムLOCAに伴う1次冷却系及び原子炉格納容器内の状態を把握でき、計測誤差 (1次冷却材圧力 (広域) の誤差: ±0.25MPa、加圧器水位の誤差: ±1.0%) を考慮して対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>(16) [余熱除去冷却器出口温度]                      ① 1次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位、[余熱除去ポンプ出口圧力]                      インターフェイスシステムLOCAが発生した場合、1次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位及び余熱除去ポンプ出口圧力 (自主対策設備) が変化することを利用して、インターフェイスシステムLOCAに伴う1次冷却系及び格納容器内の状態を把握でき、計測誤差 (1次冷却材圧力 (広域) の誤差: ±0.25MPa、加圧器水位の誤差: ±1.0%) を考慮して対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>以上より、これらの代替パラメータによる推定で、炉心損傷防止対策及び原子炉格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																	
	<p>(n) 主要パラメータの代替パラメータ (他チャンネルを除く) による推定方法について (水源の確保)</p> <table border="1" data-bbox="672 236 1220 997"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">水源の確保</th> </tr> <tr> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">主要パラメータ</td> <td>① 濃水貯蔵タンク水位</td> <td>0~3,200m<sup>3</sup></td> <td>0~3,173m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>② 圧力抑制室水位</td> <td>0~5m (0. P. -2900mm~1100mm)</td> <td>0.05m (0. P. -2850mm)</td> </tr> <tr> <td rowspan="28">代替パラメータ</td> <td>① 高圧代替注水ポンプ出口流量 (濃水貯蔵タンク水位の代替)</td> <td>0~120m<sup>3</sup>/h</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>① 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量) (濃水貯蔵タンク水位の代替)</td> <td>0~220m<sup>3</sup>/h</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>① 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系系格納容器冷却ライン洗浄流量) (濃水貯蔵タンク水位の代替)</td> <td>0~220m<sup>3</sup>/h</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>① 濃水貯蔵タンク水位の代替</td> <td>0~100m<sup>3</sup>/h</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>① 濃水貯蔵タンク水位の代替</td> <td>0~100m<sup>3</sup>/h</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>① 原子炉隔離時冷却ポンプ出口流量 (濃水貯蔵タンク水位の代替)</td> <td>0~150m<sup>3</sup>/h</td> <td>0~90. 8m<sup>3</sup>/h</td> </tr> <tr> <td>① 高圧伊心スプレイ系ポンプ出口流量 (濃水貯蔵タンク水位の代替)</td> <td>0~1,500m<sup>3</sup>/h</td> <td>(高圧側) 0~218m<sup>3</sup>/h (低圧側) 0~1,050m<sup>3</sup>/h</td> </tr> <tr> <td>① 原子炉格納容器下部注水流量 (濃水貯蔵タンク水位の代替)</td> <td>0~110m<sup>3</sup>/h</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>① 代替循環冷却ポンプ出口流量 (圧力抑制室水位の代替)</td> <td>0~200m<sup>3</sup>/h</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>① 残留熱除去系ポンプ出口流量 (圧力抑制室水位の代替)</td> <td>0~1,500m<sup>3</sup>/h</td> <td>0~1,136m<sup>3</sup>/h</td> </tr> <tr> <td>① 低圧伊心スプレイ系ポンプ出口流量 (圧力抑制室水位の代替)</td> <td>0~1,500m<sup>3</sup>/h</td> <td>0~1,050m<sup>3</sup>/h</td> </tr> <tr> <td>② 高圧代替注水ポンプ出口圧力 (濃水貯蔵タンク水位の代替)</td> <td>0~13MPa [gauge]</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>② 濃水貯蔵タンク水位の代替</td> <td>0~2MPa [gauge]</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>② 代替循環冷却ポンプ出口圧力 (圧力抑制室水位の代替)</td> <td>0~4MPa [gauge]</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>② 原子炉隔離時冷却系ポンプ出口圧力 (濃水貯蔵タンク水位の代替)</td> <td>0~13MPa [gauge]</td> <td>最大値：11. 98MPa [gauge]</td> </tr> <tr> <td>② 高圧伊心スプレイ系ポンプ出口圧力 (濃水貯蔵タンク水位の代替)</td> <td>0~12MPa [gauge]</td> <td>最大値：10. 98MPa [gauge]</td> </tr> <tr> <td>② 残留熱除去系ポンプ出口圧力 (圧力抑制室水位の代替)</td> <td>0~4MPa [gauge]</td> <td>最大値：3. 73MPa [gauge]</td> </tr> <tr> <td>② 低圧伊心スプレイ系ポンプ出口圧力 (圧力抑制室水位の代替)</td> <td>0~6MPa [gauge]</td> <td>最大値：4. 41MPa [gauge]</td> </tr> <tr> <td>② 濃水貯蔵タンク水位の代替</td> <td>0~1. 5MPa [gauge]</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>③ 原子炉水位 (広帯域) (濃水貯蔵タンク水位の代替)</td> <td>-3, 800mm~1, 500mm<sup>2</sup></td> <td>有効燃料棒底部程度~レベル9 (-7, 832mm~1, 470mm) <sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>③ 原子炉水位 (燃料域) (濃水貯蔵タンク水位の代替)</td> <td>-3, 800mm~1, 300mm<sup>2</sup></td> <td>有効燃料棒底部程度~レベル8 (-3, 702mm~5, 600mm) <sup>2</sup></td> </tr> </tbody> </table>	項目	水源の確保			監視パラメータ	計測範囲	設計基準	主要パラメータ	① 濃水貯蔵タンク水位	0~3,200m <sup>3</sup>	0~3,173m <sup>3</sup>	② 圧力抑制室水位	0~5m (0. P. -2900mm~1100mm)	0.05m (0. P. -2850mm)	代替パラメータ	① 高圧代替注水ポンプ出口流量 (濃水貯蔵タンク水位の代替)	0~120m <sup>3</sup> /h	—	① 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量) (濃水貯蔵タンク水位の代替)	0~220m <sup>3</sup> /h	—	① 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系系格納容器冷却ライン洗浄流量) (濃水貯蔵タンク水位の代替)	0~220m <sup>3</sup> /h	—	① 濃水貯蔵タンク水位の代替	0~100m <sup>3</sup> /h	—	① 濃水貯蔵タンク水位の代替	0~100m <sup>3</sup> /h	—	① 原子炉隔離時冷却ポンプ出口流量 (濃水貯蔵タンク水位の代替)	0~150m <sup>3</sup> /h	0~90. 8m <sup>3</sup> /h	① 高圧伊心スプレイ系ポンプ出口流量 (濃水貯蔵タンク水位の代替)	0~1,500m <sup>3</sup> /h	(高圧側) 0~218m <sup>3</sup> /h (低圧側) 0~1,050m <sup>3</sup> /h	① 原子炉格納容器下部注水流量 (濃水貯蔵タンク水位の代替)	0~110m <sup>3</sup> /h	—	① 代替循環冷却ポンプ出口流量 (圧力抑制室水位の代替)	0~200m <sup>3</sup> /h	—	① 残留熱除去系ポンプ出口流量 (圧力抑制室水位の代替)	0~1,500m <sup>3</sup> /h	0~1,136m <sup>3</sup> /h	① 低圧伊心スプレイ系ポンプ出口流量 (圧力抑制室水位の代替)	0~1,500m <sup>3</sup> /h	0~1,050m <sup>3</sup> /h	② 高圧代替注水ポンプ出口圧力 (濃水貯蔵タンク水位の代替)	0~13MPa [gauge]	—	② 濃水貯蔵タンク水位の代替	0~2MPa [gauge]	—	② 代替循環冷却ポンプ出口圧力 (圧力抑制室水位の代替)	0~4MPa [gauge]	—	② 原子炉隔離時冷却系ポンプ出口圧力 (濃水貯蔵タンク水位の代替)	0~13MPa [gauge]	最大値：11. 98MPa [gauge]	② 高圧伊心スプレイ系ポンプ出口圧力 (濃水貯蔵タンク水位の代替)	0~12MPa [gauge]	最大値：10. 98MPa [gauge]	② 残留熱除去系ポンプ出口圧力 (圧力抑制室水位の代替)	0~4MPa [gauge]	最大値：3. 73MPa [gauge]	② 低圧伊心スプレイ系ポンプ出口圧力 (圧力抑制室水位の代替)	0~6MPa [gauge]	最大値：4. 41MPa [gauge]	② 濃水貯蔵タンク水位の代替	0~1. 5MPa [gauge]	—	③ 原子炉水位 (広帯域) (濃水貯蔵タンク水位の代替)	-3, 800mm~1, 500mm <sup>2</sup>	有効燃料棒底部程度~レベル9 (-7, 832mm~1, 470mm) <sup>2</sup>	③ 原子炉水位 (燃料域) (濃水貯蔵タンク水位の代替)	-3, 800mm~1, 300mm <sup>2</sup>	有効燃料棒底部程度~レベル8 (-3, 702mm~5, 600mm) <sup>2</sup>	<p>(q) 主要パラメータの代替パラメータ (他チャンネル及び他グループを除く) による推定方法について (水源の確保)</p> <table border="1" data-bbox="1254 236 1803 1037"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">水源の確保</th> </tr> <tr> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">主要パラメータ</td> <td>燃料取替用水ビット水位</td> <td>0~100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>補助給水ビット水位</td> <td>0~100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>ほう酸タンク水位</td> <td>0~100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td rowspan="12">代替パラメータ</td> <td>① 格納容器再循環サンプ水位 (広域) (燃料取替用水ビット水位の代替)</td> <td>0~100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>② B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) (燃料取替用水ビット水位の代替)</td> <td>0~1, 300m<sup>3</sup>/h (0~10, 000m<sup>3</sup>)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>② [格納容器スプレイ流量] (燃料取替用水ビット水位の代替)</td> <td>0~1, 300m<sup>3</sup>/h</td> <td>□ h/台</td> </tr> <tr> <td>② 高圧注入流量 (燃料取替用水ビット水位の代替)</td> <td>0~350m<sup>3</sup>/h</td> <td>280m<sup>3</sup>/h</td> </tr> <tr> <td>② 低圧注入流量 (燃料取替用水ビット水位の代替)</td> <td>0~1, 100m<sup>3</sup>/h</td> <td>1, 090m<sup>3</sup>/h</td> </tr> <tr> <td>② [充てん流量] (燃料取替用水ビット水位の代替)</td> <td>0~70m<sup>3</sup>/h</td> <td>56. 8m<sup>3</sup>/h</td> </tr> <tr> <td>② 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 (燃料取替用水ビット水位及び補助給水ビット水位の代替)</td> <td>0~200m<sup>3</sup>/h (0~10, 000m<sup>3</sup>)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>① 補助給水流量 (補助給水ビット水位の代替)</td> <td>0~130m<sup>3</sup>/h</td> <td>50m<sup>3</sup>/h</td> </tr> <tr> <td>① [緊急ほう酸注入ライン流量] (ほう酸タンク水位の代替)</td> <td>0~35m<sup>3</sup>/h</td> <td>13. 6m<sup>3</sup>/h</td> </tr> <tr> <td>② 出力領域中性子束 (ほう酸タンク水位の代替)</td> <td>0~120% (3. 3×10<sup>6</sup>~1. 2×10<sup>10</sup>cm<sup>-2</sup>・s<sup>-1</sup>)</td> <td>最大値： 定格出力の約194倍 (制御棒飛び出し)</td> </tr> <tr> <td>② 中間領域中性子束 (ほう酸タンク水位の代替)</td> <td>10<sup>-11</sup>~5×10<sup>-9</sup>A (1. 3×10<sup>7</sup>~6. 6×10<sup>10</sup>cm<sup>-2</sup>・s<sup>-1</sup>)</td> <td>最大値： 定格出力の約194倍 (制御棒飛び出し)</td> </tr> </tbody> </table> <p>□ 挿入の内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	項目	水源の確保			監視パラメータ	計測範囲	設計基準	主要パラメータ	燃料取替用水ビット水位	0~100%	100%	補助給水ビット水位	0~100%	100%	ほう酸タンク水位	0~100%	100%	代替パラメータ	① 格納容器再循環サンプ水位 (広域) (燃料取替用水ビット水位の代替)	0~100%	100%	② B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) (燃料取替用水ビット水位の代替)	0~1, 300m <sup>3</sup> /h (0~10, 000m <sup>3</sup> )	—	② [格納容器スプレイ流量] (燃料取替用水ビット水位の代替)	0~1, 300m <sup>3</sup> /h	□ h/台	② 高圧注入流量 (燃料取替用水ビット水位の代替)	0~350m <sup>3</sup> /h	280m <sup>3</sup> /h	② 低圧注入流量 (燃料取替用水ビット水位の代替)	0~1, 100m <sup>3</sup> /h	1, 090m <sup>3</sup> /h	② [充てん流量] (燃料取替用水ビット水位の代替)	0~70m <sup>3</sup> /h	56. 8m <sup>3</sup> /h	② 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 (燃料取替用水ビット水位及び補助給水ビット水位の代替)	0~200m <sup>3</sup> /h (0~10, 000m <sup>3</sup> )	—	① 補助給水流量 (補助給水ビット水位の代替)	0~130m <sup>3</sup> /h	50m <sup>3</sup> /h	① [緊急ほう酸注入ライン流量] (ほう酸タンク水位の代替)	0~35m <sup>3</sup> /h	13. 6m <sup>3</sup> /h	② 出力領域中性子束 (ほう酸タンク水位の代替)	0~120% (3. 3×10 <sup>6</sup> ~1. 2×10 <sup>10</sup> cm <sup>-2</sup> ・s <sup>-1</sup> )	最大値： 定格出力の約194倍 (制御棒飛び出し)	② 中間領域中性子束 (ほう酸タンク水位の代替)	10 <sup>-11</sup> ~5×10 <sup>-9</sup> A (1. 3×10 <sup>7</sup> ~6. 6×10 <sup>10</sup> cm <sup>-2</sup> ・s <sup>-1</sup> )	最大値： 定格出力の約194倍 (制御棒飛び出し)	
項目	水源の確保																																																																																																																																			
	監視パラメータ	計測範囲	設計基準																																																																																																																																	
主要パラメータ	① 濃水貯蔵タンク水位	0~3,200m <sup>3</sup>	0~3,173m <sup>3</sup>																																																																																																																																	
	② 圧力抑制室水位	0~5m (0. P. -2900mm~1100mm)	0.05m (0. P. -2850mm)																																																																																																																																	
代替パラメータ	① 高圧代替注水ポンプ出口流量 (濃水貯蔵タンク水位の代替)	0~120m <sup>3</sup> /h	—																																																																																																																																	
	① 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量) (濃水貯蔵タンク水位の代替)	0~220m <sup>3</sup> /h	—																																																																																																																																	
	① 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系系格納容器冷却ライン洗浄流量) (濃水貯蔵タンク水位の代替)	0~220m <sup>3</sup> /h	—																																																																																																																																	
	① 濃水貯蔵タンク水位の代替	0~100m <sup>3</sup> /h	—																																																																																																																																	
	① 濃水貯蔵タンク水位の代替	0~100m <sup>3</sup> /h	—																																																																																																																																	
	① 原子炉隔離時冷却ポンプ出口流量 (濃水貯蔵タンク水位の代替)	0~150m <sup>3</sup> /h	0~90. 8m <sup>3</sup> /h																																																																																																																																	
	① 高圧伊心スプレイ系ポンプ出口流量 (濃水貯蔵タンク水位の代替)	0~1,500m <sup>3</sup> /h	(高圧側) 0~218m <sup>3</sup> /h (低圧側) 0~1,050m <sup>3</sup> /h																																																																																																																																	
	① 原子炉格納容器下部注水流量 (濃水貯蔵タンク水位の代替)	0~110m <sup>3</sup> /h	—																																																																																																																																	
	① 代替循環冷却ポンプ出口流量 (圧力抑制室水位の代替)	0~200m <sup>3</sup> /h	—																																																																																																																																	
	① 残留熱除去系ポンプ出口流量 (圧力抑制室水位の代替)	0~1,500m <sup>3</sup> /h	0~1,136m <sup>3</sup> /h																																																																																																																																	
	① 低圧伊心スプレイ系ポンプ出口流量 (圧力抑制室水位の代替)	0~1,500m <sup>3</sup> /h	0~1,050m <sup>3</sup> /h																																																																																																																																	
	② 高圧代替注水ポンプ出口圧力 (濃水貯蔵タンク水位の代替)	0~13MPa [gauge]	—																																																																																																																																	
	② 濃水貯蔵タンク水位の代替	0~2MPa [gauge]	—																																																																																																																																	
	② 代替循環冷却ポンプ出口圧力 (圧力抑制室水位の代替)	0~4MPa [gauge]	—																																																																																																																																	
	② 原子炉隔離時冷却系ポンプ出口圧力 (濃水貯蔵タンク水位の代替)	0~13MPa [gauge]	最大値：11. 98MPa [gauge]																																																																																																																																	
	② 高圧伊心スプレイ系ポンプ出口圧力 (濃水貯蔵タンク水位の代替)	0~12MPa [gauge]	最大値：10. 98MPa [gauge]																																																																																																																																	
	② 残留熱除去系ポンプ出口圧力 (圧力抑制室水位の代替)	0~4MPa [gauge]	最大値：3. 73MPa [gauge]																																																																																																																																	
	② 低圧伊心スプレイ系ポンプ出口圧力 (圧力抑制室水位の代替)	0~6MPa [gauge]	最大値：4. 41MPa [gauge]																																																																																																																																	
	② 濃水貯蔵タンク水位の代替	0~1. 5MPa [gauge]	—																																																																																																																																	
	③ 原子炉水位 (広帯域) (濃水貯蔵タンク水位の代替)	-3, 800mm~1, 500mm <sup>2</sup>	有効燃料棒底部程度~レベル9 (-7, 832mm~1, 470mm) <sup>2</sup>																																																																																																																																	
	③ 原子炉水位 (燃料域) (濃水貯蔵タンク水位の代替)	-3, 800mm~1, 300mm <sup>2</sup>	有効燃料棒底部程度~レベル8 (-3, 702mm~5, 600mm) <sup>2</sup>																																																																																																																																	
	項目	水源の確保																																																																																																																																		
		監視パラメータ	計測範囲	設計基準																																																																																																																																
	主要パラメータ	燃料取替用水ビット水位	0~100%	100%																																																																																																																																
		補助給水ビット水位	0~100%	100%																																																																																																																																
		ほう酸タンク水位	0~100%	100%																																																																																																																																
	代替パラメータ	① 格納容器再循環サンプ水位 (広域) (燃料取替用水ビット水位の代替)	0~100%	100%																																																																																																																																
		② B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) (燃料取替用水ビット水位の代替)	0~1, 300m <sup>3</sup> /h (0~10, 000m <sup>3</sup> )	—																																																																																																																																
② [格納容器スプレイ流量] (燃料取替用水ビット水位の代替)		0~1, 300m <sup>3</sup> /h	□ h/台																																																																																																																																	
② 高圧注入流量 (燃料取替用水ビット水位の代替)		0~350m <sup>3</sup> /h	280m <sup>3</sup> /h																																																																																																																																	
② 低圧注入流量 (燃料取替用水ビット水位の代替)		0~1, 100m <sup>3</sup> /h	1, 090m <sup>3</sup> /h																																																																																																																																	
② [充てん流量] (燃料取替用水ビット水位の代替)		0~70m <sup>3</sup> /h	56. 8m <sup>3</sup> /h																																																																																																																																	
② 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 (燃料取替用水ビット水位及び補助給水ビット水位の代替)		0~200m <sup>3</sup> /h (0~10, 000m <sup>3</sup> )	—																																																																																																																																	
① 補助給水流量 (補助給水ビット水位の代替)		0~130m <sup>3</sup> /h	50m <sup>3</sup> /h																																																																																																																																	
① [緊急ほう酸注入ライン流量] (ほう酸タンク水位の代替)		0~35m <sup>3</sup> /h	13. 6m <sup>3</sup> /h																																																																																																																																	
② 出力領域中性子束 (ほう酸タンク水位の代替)		0~120% (3. 3×10 <sup>6</sup> ~1. 2×10 <sup>10</sup> cm <sup>-2</sup> ・s <sup>-1</sup> )	最大値： 定格出力の約194倍 (制御棒飛び出し)																																																																																																																																	
② 中間領域中性子束 (ほう酸タンク水位の代替)		10 <sup>-11</sup> ~5×10 <sup>-9</sup> A (1. 3×10 <sup>7</sup> ~6. 6×10 <sup>10</sup> cm <sup>-2</sup> ・s <sup>-1</sup> )	最大値： 定格出力の約194倍 (制御棒飛び出し)																																																																																																																																	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容  
 赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																											
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="672 156 761 247">代替 パラメータ</td> <td data-bbox="761 156 952 247">①原子炉水位 (SA広帯域) (復水貯蔵タンク水位の代替) -3,800mm~1,500mm<sup>2</sup></td> <td data-bbox="952 156 1220 247">有効燃料棒底部程度~ レベル4-8 (-7,832mm~1,470mm) <sup>※</sup> 有効燃料棒底部程度~ レベル9 (-3,702mm~5,600mm) <sup>※</sup></td> </tr> <tr> <td data-bbox="672 247 761 338">代替 パラメータ</td> <td data-bbox="761 247 952 338">②原子炉水位 (SA燃料域) (復水貯蔵タンク水位の代替) -3,800mm~1,300mm<sup>2</sup></td> <td data-bbox="952 247 1220 338">有効燃料棒底部程度~ レベル9 (-3,702mm~5,600mm) <sup>※</sup></td> </tr> <tr> <td data-bbox="672 338 761 391">計測目的</td> <td colspan="2" data-bbox="761 338 1220 391">*1: 計測範囲の帯は、原子炉圧力容器管レベルより1,313cm上のところとする (ドライヤースカート底部付近)。 *2: 計測範囲の帯は、原子炉圧力容器管レベルより900cm上のところとする (有効燃料棒底部付近)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="672 391 761 869">推定方法</td> <td colspan="2" data-bbox="761 391 1220 869"> <p>計測目的</p> <p>重大事故等時において、主要パラメータにて水源の確保を監視する目的は、原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水が継続可能かどうかの確認である。</p> <p>復水貯蔵タンク又はサブプレッションチェンバのプール水を水源とするポンプの注水量、出口圧力あるいは注水先の原子炉水位から、復水貯蔵タンク水位又は圧力抑制室水位を推定する。 推定方法は、以下のとおりである。</p> <p>①復水貯蔵タンクを水源とするポンプ注水量 復水貯蔵タンクを水源とするポンプの流量と経過時間より算出した注水量から推定する。復水貯蔵タンクに淡水や海水を補給している場合は、補給に使用したポンプの性能並びに運転時間により算出した注水量を考慮する。 推定可能範囲: 0~3,200m<sup>3</sup></p> <p>②サブプレッションチェンバを水源とするポンプ注水量 サブプレッションチェンバを水源とする代替循環冷却ポンプ出口流量、残留熱除去系ポンプ出口流量及び低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量から代替循環冷却ポンプ、残留熱除去系ポンプ及び低圧炉心スプレイ系ポンプが正常に動作していることを把握することにより、水源であるサブプレッションチェンバのプール水が確保されていることを推定する。</p> <p>③復水貯蔵タンクを水源とするポンプ出口圧力 復水貯蔵タンクを水源とする高圧代替注水系ポンプ出口圧力、直流駆動低圧注水系ポンプ出口圧力、原子炉隔離時冷却系ポンプ出口圧力、高圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力及び復水移送ポンプ出口圧力から高圧代替注水系ポンプ、直流駆動低圧注水系ポンプ、原子炉隔離時冷却系ポンプ、高圧炉心スプレイ系ポンプ及び復水移送ポンプが正常に動作していることを把握することにより、水源である復水貯蔵タンク水位が確保されていることを推定する。</p> <p>④サブプレッションチェンバを水源とするポンプ出口圧力 サブプレッションチェンバを水源とする代替循環冷却ポンプ出口圧力、残留熱除去系ポンプ出口圧力及び低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力から代替循環冷却ポンプ、残留熱除去系ポンプ及び低圧炉心スプレイ系ポンプが正常に動作していることを把握することにより、水源であるサブプレッションチェンバのプール水が確保されていることを推定する。</p> <p>⑤原子炉水位 (広帯域)、原子炉水位 (燃料域)、原子炉水位 (SA広帯域)、原子炉水位 (SA燃料域) 注水先である原子炉水位を計測することにより、水源である復水貯蔵タンク水位が確保されていることを推定する。復水貯蔵タンクに淡水や海水を補給している場合は、補給に使用したポンプの性能並びに運転時間により算出した注水量を考慮する。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="672 869 761 997">推定の評価</td> <td colspan="2" data-bbox="761 869 1220 997"> <p>①復水貯蔵タンクを水源とするポンプ注水量 復水貯蔵タンクを水源とするポンプの注水量による推定方法は、直前まで判明していた復水貯蔵タンクの水位を用いて推定するため、プラントの状態に依存することなく適用可能である。</p> <p>②サブプレッションチェンバを水源とするポンプ注水量 本推定方法の目的は、代替循環冷却ポンプ、残留熱除去系ポンプ及び低圧炉心スプレイ系ポンプ運転時における水源である圧力抑制室水位の確保を確認することであり、これらのポンプが正常に動作していることをポンプ注水量で確認することで、必要な水源である</p> </td> </tr> </table>	代替 パラメータ	①原子炉水位 (SA広帯域) (復水貯蔵タンク水位の代替) -3,800mm~1,500mm <sup>2</sup>	有効燃料棒底部程度~ レベル4-8 (-7,832mm~1,470mm) <sup>※</sup> 有効燃料棒底部程度~ レベル9 (-3,702mm~5,600mm) <sup>※</sup>	代替 パラメータ	②原子炉水位 (SA燃料域) (復水貯蔵タンク水位の代替) -3,800mm~1,300mm <sup>2</sup>	有効燃料棒底部程度~ レベル9 (-3,702mm~5,600mm) <sup>※</sup>	計測目的	*1: 計測範囲の帯は、原子炉圧力容器管レベルより1,313cm上のところとする (ドライヤースカート底部付近)。 *2: 計測範囲の帯は、原子炉圧力容器管レベルより900cm上のところとする (有効燃料棒底部付近)		推定方法	<p>計測目的</p> <p>重大事故等時において、主要パラメータにて水源の確保を監視する目的は、原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水が継続可能かどうかの確認である。</p> <p>復水貯蔵タンク又はサブプレッションチェンバのプール水を水源とするポンプの注水量、出口圧力あるいは注水先の原子炉水位から、復水貯蔵タンク水位又は圧力抑制室水位を推定する。 推定方法は、以下のとおりである。</p> <p>①復水貯蔵タンクを水源とするポンプ注水量 復水貯蔵タンクを水源とするポンプの流量と経過時間より算出した注水量から推定する。復水貯蔵タンクに淡水や海水を補給している場合は、補給に使用したポンプの性能並びに運転時間により算出した注水量を考慮する。 推定可能範囲: 0~3,200m<sup>3</sup></p> <p>②サブプレッションチェンバを水源とするポンプ注水量 サブプレッションチェンバを水源とする代替循環冷却ポンプ出口流量、残留熱除去系ポンプ出口流量及び低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量から代替循環冷却ポンプ、残留熱除去系ポンプ及び低圧炉心スプレイ系ポンプが正常に動作していることを把握することにより、水源であるサブプレッションチェンバのプール水が確保されていることを推定する。</p> <p>③復水貯蔵タンクを水源とするポンプ出口圧力 復水貯蔵タンクを水源とする高圧代替注水系ポンプ出口圧力、直流駆動低圧注水系ポンプ出口圧力、原子炉隔離時冷却系ポンプ出口圧力、高圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力及び復水移送ポンプ出口圧力から高圧代替注水系ポンプ、直流駆動低圧注水系ポンプ、原子炉隔離時冷却系ポンプ、高圧炉心スプレイ系ポンプ及び復水移送ポンプが正常に動作していることを把握することにより、水源である復水貯蔵タンク水位が確保されていることを推定する。</p> <p>④サブプレッションチェンバを水源とするポンプ出口圧力 サブプレッションチェンバを水源とする代替循環冷却ポンプ出口圧力、残留熱除去系ポンプ出口圧力及び低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力から代替循環冷却ポンプ、残留熱除去系ポンプ及び低圧炉心スプレイ系ポンプが正常に動作していることを把握することにより、水源であるサブプレッションチェンバのプール水が確保されていることを推定する。</p> <p>⑤原子炉水位 (広帯域)、原子炉水位 (燃料域)、原子炉水位 (SA広帯域)、原子炉水位 (SA燃料域) 注水先である原子炉水位を計測することにより、水源である復水貯蔵タンク水位が確保されていることを推定する。復水貯蔵タンクに淡水や海水を補給している場合は、補給に使用したポンプの性能並びに運転時間により算出した注水量を考慮する。</p>		推定の評価	<p>①復水貯蔵タンクを水源とするポンプ注水量 復水貯蔵タンクを水源とするポンプの注水量による推定方法は、直前まで判明していた復水貯蔵タンクの水位を用いて推定するため、プラントの状態に依存することなく適用可能である。</p> <p>②サブプレッションチェンバを水源とするポンプ注水量 本推定方法の目的は、代替循環冷却ポンプ、残留熱除去系ポンプ及び低圧炉心スプレイ系ポンプ運転時における水源である圧力抑制室水位の確保を確認することであり、これらのポンプが正常に動作していることをポンプ注水量で確認することで、必要な水源である</p>		<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1254 156 1332 215">代替 パラメータ</td> <td data-bbox="1332 156 1534 215">②中性子源領域中性子束 (ほう酸タンク水位の代替)</td> <td data-bbox="1534 156 1803 215">1~10<sup>6</sup>cps (10<sup>4</sup>~10<sup>8</sup>cm<sup>-2</sup>・ s<sup>-1</sup>)</td> <td data-bbox="1803 156 1814 215">最大値: 定格出力の約194倍 (別群機飛び出し)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1254 215 1332 295">計測目的</td> <td colspan="3" data-bbox="1332 215 1814 295">重大事故等時において、主要パラメータにて水源の確保を監視する目的は、原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水が継続可能かどうかの確認である。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1254 295 1332 997">推定方法</td> <td colspan="3" data-bbox="1332 295 1814 997"> <p>燃料取扱用水ビット、補助給水ビット又はほう酸タンクを水源とするポンプの注水量、注水先のサンプル水位あるいは、炉心へのほう酸水注入に伴う負の反応度添加の状況から、燃料取扱用水ビット水位、補助給水ビット水位又はほう酸タンク水位を推定する。</p> <p>推定方法は、以下のとおりである。</p> <p>①格納容器再循環サンプル水位 (広域) を計測することにより、水源である燃料取扱用水ビット水位が確保されていることを推定する。燃料取扱用水ビットに淡水や海水を補給している場合は、補給に使用したポンプの性能並びに運転時間により算出した注水量を考慮する。</p> <p>②燃料取扱用水ビットを水源とするポンプ注水量 燃料取扱用水ビットを水源とするB-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)、格納容器スプレイ流量 (自主対策設備)、高圧注入流量、低圧注入流量、充てん流量 (自主対策設備) 及び代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量から格納容器スプレイポンプ、高圧注入ポンプ、余熱除去ポンプ、充てんポンプ及び代替格納容器スプレイポンプが正常に動作していることを把握することにより、水源である燃料取扱用水ビット水位が確保されていることを推定する。燃料取扱用水ビットに淡水や海水を補給している場合は、補給に使用したポンプの性能並びに運転時間により算出した注水量を考慮する。</p> <p>③補助給水ビットを水源とするポンプ注水量 補助給水ビットを水源とする補助給水流量及び代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量から補助給水ポンプ及び代替格納容器スプレイポンプが正常に動作していることを把握することにより、水源である補助給水ビット水位が確保されていることを推定する。補助給水ビットに淡水や海水を補給している場合は、補給に使用したポンプの性能並びに運転時間により算出した注水量を考慮する。</p> <p>④ほう酸タンクを水源とするポンプ注水量 ほう酸タンクを水源とする緊急ほう酸注入ライン流量 (自主対策設備) からほう酸ポンプが正常に動作していることを把握することにより、水源であるほう酸タンク水位が確保されていることを推定する。</p> </td> </tr> </table>	代替 パラメータ	②中性子源領域中性子束 (ほう酸タンク水位の代替)	1~10 <sup>6</sup> cps (10 <sup>4</sup> ~10 <sup>8</sup> cm <sup>-2</sup> ・ s <sup>-1</sup> )	最大値: 定格出力の約194倍 (別群機飛び出し)	計測目的	重大事故等時において、主要パラメータにて水源の確保を監視する目的は、原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水が継続可能かどうかの確認である。			推定方法	<p>燃料取扱用水ビット、補助給水ビット又はほう酸タンクを水源とするポンプの注水量、注水先のサンプル水位あるいは、炉心へのほう酸水注入に伴う負の反応度添加の状況から、燃料取扱用水ビット水位、補助給水ビット水位又はほう酸タンク水位を推定する。</p> <p>推定方法は、以下のとおりである。</p> <p>①格納容器再循環サンプル水位 (広域) を計測することにより、水源である燃料取扱用水ビット水位が確保されていることを推定する。燃料取扱用水ビットに淡水や海水を補給している場合は、補給に使用したポンプの性能並びに運転時間により算出した注水量を考慮する。</p> <p>②燃料取扱用水ビットを水源とするポンプ注水量 燃料取扱用水ビットを水源とするB-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)、格納容器スプレイ流量 (自主対策設備)、高圧注入流量、低圧注入流量、充てん流量 (自主対策設備) 及び代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量から格納容器スプレイポンプ、高圧注入ポンプ、余熱除去ポンプ、充てんポンプ及び代替格納容器スプレイポンプが正常に動作していることを把握することにより、水源である燃料取扱用水ビット水位が確保されていることを推定する。燃料取扱用水ビットに淡水や海水を補給している場合は、補給に使用したポンプの性能並びに運転時間により算出した注水量を考慮する。</p> <p>③補助給水ビットを水源とするポンプ注水量 補助給水ビットを水源とする補助給水流量及び代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量から補助給水ポンプ及び代替格納容器スプレイポンプが正常に動作していることを把握することにより、水源である補助給水ビット水位が確保されていることを推定する。補助給水ビットに淡水や海水を補給している場合は、補給に使用したポンプの性能並びに運転時間により算出した注水量を考慮する。</p> <p>④ほう酸タンクを水源とするポンプ注水量 ほう酸タンクを水源とする緊急ほう酸注入ライン流量 (自主対策設備) からほう酸ポンプが正常に動作していることを把握することにより、水源であるほう酸タンク水位が確保されていることを推定する。</p>			
代替 パラメータ	①原子炉水位 (SA広帯域) (復水貯蔵タンク水位の代替) -3,800mm~1,500mm <sup>2</sup>	有効燃料棒底部程度~ レベル4-8 (-7,832mm~1,470mm) <sup>※</sup> 有効燃料棒底部程度~ レベル9 (-3,702mm~5,600mm) <sup>※</sup>																												
代替 パラメータ	②原子炉水位 (SA燃料域) (復水貯蔵タンク水位の代替) -3,800mm~1,300mm <sup>2</sup>	有効燃料棒底部程度~ レベル9 (-3,702mm~5,600mm) <sup>※</sup>																												
計測目的	*1: 計測範囲の帯は、原子炉圧力容器管レベルより1,313cm上のところとする (ドライヤースカート底部付近)。 *2: 計測範囲の帯は、原子炉圧力容器管レベルより900cm上のところとする (有効燃料棒底部付近)																													
推定方法	<p>計測目的</p> <p>重大事故等時において、主要パラメータにて水源の確保を監視する目的は、原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水が継続可能かどうかの確認である。</p> <p>復水貯蔵タンク又はサブプレッションチェンバのプール水を水源とするポンプの注水量、出口圧力あるいは注水先の原子炉水位から、復水貯蔵タンク水位又は圧力抑制室水位を推定する。 推定方法は、以下のとおりである。</p> <p>①復水貯蔵タンクを水源とするポンプ注水量 復水貯蔵タンクを水源とするポンプの流量と経過時間より算出した注水量から推定する。復水貯蔵タンクに淡水や海水を補給している場合は、補給に使用したポンプの性能並びに運転時間により算出した注水量を考慮する。 推定可能範囲: 0~3,200m<sup>3</sup></p> <p>②サブプレッションチェンバを水源とするポンプ注水量 サブプレッションチェンバを水源とする代替循環冷却ポンプ出口流量、残留熱除去系ポンプ出口流量及び低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量から代替循環冷却ポンプ、残留熱除去系ポンプ及び低圧炉心スプレイ系ポンプが正常に動作していることを把握することにより、水源であるサブプレッションチェンバのプール水が確保されていることを推定する。</p> <p>③復水貯蔵タンクを水源とするポンプ出口圧力 復水貯蔵タンクを水源とする高圧代替注水系ポンプ出口圧力、直流駆動低圧注水系ポンプ出口圧力、原子炉隔離時冷却系ポンプ出口圧力、高圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力及び復水移送ポンプ出口圧力から高圧代替注水系ポンプ、直流駆動低圧注水系ポンプ、原子炉隔離時冷却系ポンプ、高圧炉心スプレイ系ポンプ及び復水移送ポンプが正常に動作していることを把握することにより、水源である復水貯蔵タンク水位が確保されていることを推定する。</p> <p>④サブプレッションチェンバを水源とするポンプ出口圧力 サブプレッションチェンバを水源とする代替循環冷却ポンプ出口圧力、残留熱除去系ポンプ出口圧力及び低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力から代替循環冷却ポンプ、残留熱除去系ポンプ及び低圧炉心スプレイ系ポンプが正常に動作していることを把握することにより、水源であるサブプレッションチェンバのプール水が確保されていることを推定する。</p> <p>⑤原子炉水位 (広帯域)、原子炉水位 (燃料域)、原子炉水位 (SA広帯域)、原子炉水位 (SA燃料域) 注水先である原子炉水位を計測することにより、水源である復水貯蔵タンク水位が確保されていることを推定する。復水貯蔵タンクに淡水や海水を補給している場合は、補給に使用したポンプの性能並びに運転時間により算出した注水量を考慮する。</p>																													
推定の評価	<p>①復水貯蔵タンクを水源とするポンプ注水量 復水貯蔵タンクを水源とするポンプの注水量による推定方法は、直前まで判明していた復水貯蔵タンクの水位を用いて推定するため、プラントの状態に依存することなく適用可能である。</p> <p>②サブプレッションチェンバを水源とするポンプ注水量 本推定方法の目的は、代替循環冷却ポンプ、残留熱除去系ポンプ及び低圧炉心スプレイ系ポンプ運転時における水源である圧力抑制室水位の確保を確認することであり、これらのポンプが正常に動作していることをポンプ注水量で確認することで、必要な水源である</p>																													
代替 パラメータ	②中性子源領域中性子束 (ほう酸タンク水位の代替)	1~10 <sup>6</sup> cps (10 <sup>4</sup> ~10 <sup>8</sup> cm <sup>-2</sup> ・ s <sup>-1</sup> )	最大値: 定格出力の約194倍 (別群機飛び出し)																											
計測目的	重大事故等時において、主要パラメータにて水源の確保を監視する目的は、原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水が継続可能かどうかの確認である。																													
推定方法	<p>燃料取扱用水ビット、補助給水ビット又はほう酸タンクを水源とするポンプの注水量、注水先のサンプル水位あるいは、炉心へのほう酸水注入に伴う負の反応度添加の状況から、燃料取扱用水ビット水位、補助給水ビット水位又はほう酸タンク水位を推定する。</p> <p>推定方法は、以下のとおりである。</p> <p>①格納容器再循環サンプル水位 (広域) を計測することにより、水源である燃料取扱用水ビット水位が確保されていることを推定する。燃料取扱用水ビットに淡水や海水を補給している場合は、補給に使用したポンプの性能並びに運転時間により算出した注水量を考慮する。</p> <p>②燃料取扱用水ビットを水源とするポンプ注水量 燃料取扱用水ビットを水源とするB-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)、格納容器スプレイ流量 (自主対策設備)、高圧注入流量、低圧注入流量、充てん流量 (自主対策設備) 及び代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量から格納容器スプレイポンプ、高圧注入ポンプ、余熱除去ポンプ、充てんポンプ及び代替格納容器スプレイポンプが正常に動作していることを把握することにより、水源である燃料取扱用水ビット水位が確保されていることを推定する。燃料取扱用水ビットに淡水や海水を補給している場合は、補給に使用したポンプの性能並びに運転時間により算出した注水量を考慮する。</p> <p>③補助給水ビットを水源とするポンプ注水量 補助給水ビットを水源とする補助給水流量及び代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量から補助給水ポンプ及び代替格納容器スプレイポンプが正常に動作していることを把握することにより、水源である補助給水ビット水位が確保されていることを推定する。補助給水ビットに淡水や海水を補給している場合は、補給に使用したポンプの性能並びに運転時間により算出した注水量を考慮する。</p> <p>④ほう酸タンクを水源とするポンプ注水量 ほう酸タンクを水源とする緊急ほう酸注入ライン流量 (自主対策設備) からほう酸ポンプが正常に動作していることを把握することにより、水源であるほう酸タンク水位が確保されていることを推定する。</p>																													



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

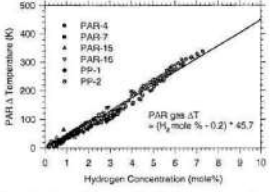
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>圧力制御室水位が確保されていることが推定できることから、適用可能である。</p> <p>②復水貯蔵タンクを水源とするポンプ出口圧力                      本推定方法の目的は、原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水における水源である復水貯蔵タンク水位の確保を確認することであり、高圧代替注水系ポンプ、直流駆動低圧注水系ポンプ、原子炉隔離時冷却系ポンプ、高圧炉心スプレイ系ポンプ及び復水移送ポンプが正常に動作していることをポンプ出口圧力で確認することで、必要な水源である復水貯蔵タンク水位が確保されていることが推定できることから、適用可能である。</p> <p>③サブプレッションチャンバを水源とするポンプ出口圧力                      本推定方法の目的は、代替循環冷却ポンプ、残留熱除去系ポンプ及び低圧炉心スプレイ系ポンプ運転時における水源であるサブプレッションチャンバのブル水位の確保を確認することであり、代替循環冷却ポンプ、残留熱除去系ポンプ及び低圧炉心スプレイ系ポンプが正常に動作していることをポンプ出口圧力で確認することで、必要な水源であるサブプレッションチャンバのブル水位が確保されていることが推定できることから、適用可能である。</p> <p>④原子炉水位 (広帯域)、原子炉水位 (燃料域)、原子炉水位 (SA広帯域)、原子炉水位 (SA燃料域)                      本推定方法の目的は、原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水における水源である復水貯蔵タンクの水位の確保を確認することであり、注水先の原子炉水位の水位変化を確認することで、必要な水源である復水貯蔵タンク水位が確保されていることが推定できることから、適用可能である。</p> <p>[調査による影響について]                      水源の確保を監視する目的は、原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水が継続可能であるかどうかを把握することであり、代替パラメータ (復水貯蔵タンクを水源とするポンプ注水量及び出口圧力、サブプレッションチャンバを水源とするポンプ注水量及び出口圧力) による推定は、注水設備によるパラメータから必要な水源が確保されていることの傾向を把握でき、計器誤差を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。(高圧代替注水系ポンプ出口流量の誤差: ±1.9m<sup>3</sup>/h、残留熱除去系高圧ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) の誤差: ±3.6m<sup>3</sup>/h、残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系格納容器冷却ライン流量) の誤差: ±3.6m<sup>3</sup>/h、直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量の誤差: ±1.6m<sup>3</sup>/h、代替循環冷却ポンプ出口流量の誤差: ±3.3m<sup>3</sup>/h、原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量の誤差: ±2.4m<sup>3</sup>/h、高圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量の誤差: ±3.4m<sup>3</sup>/h、残留熱除去系ポンプ出口流量の誤差: ±2.6m<sup>3</sup>/h、低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量の誤差: ±2.4m<sup>3</sup>/h、原子炉格納容器下部注水流量の誤差: ±1.8m<sup>3</sup>/h、高圧代替注水系ポンプ出口圧力の誤差: ±0.1MPa、直流駆動低圧注水系ポンプ出口圧力の誤差: ±0.01MPa、代替循環冷却ポンプ出口圧力の誤差: ±0.02MPa、原子炉隔離時冷却系ポンプ出口圧力の誤差: ±0.1MPa、高圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力の誤差: ±0.08MPa、残留熱除去系ポンプ出口圧力の誤差: ±0.02MPa、低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力の誤差: ±0.03MPa、復水移送ポンプ出口圧力の誤差: ±0.01MPa、原子炉水位 (広帯域) の誤差: ±46mm、原子炉水位 (燃料域) の誤差: ±44mm、原子炉水位 (SA広帯域) の誤差: ±45mm、原子炉水位 (SA燃料域) の誤差: ±43mm)</p> <p>以上より、これらの代替パラメータによる推定で、炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p>	<p>②ほう酸タンクを水源とする炉心への負の反応度添加                      ほう酸タンクを水源とする炉心への負の反応度添加から出力領域中性子束、中間領域中性子束及び中性子源領域中性子束の指示が低下していることを把握することにより、水源であるほう酸タンク水位が確保されていることを推定する。</p> <p>①格納容器再循環サンプ水位 (広域)                      本推定方法の目的は、原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水における水源である燃料取替用水ビットの水位の確保を確認することであり、格納容器再循環サンプ水位 (広域) の水位変化を確認することで、必要な水源である燃料取替用水ビット水位が確保されていることを推定できることから、適用可能である。なお、燃料取替用水ビット以外からの注水がないことを前提とする。</p> <p>②燃料取替用水ビットを水源とするポンプ注水量                      本推定方法の目的は、格納容器スプレイポンプ、高圧注入ポンプ、余熱除去ポンプ、充てんポンプ及び代替格納容器スプレイポンプ運転時における水源である燃料取替用水ビット水位の確保を確認することであり、これらのポンプが正常に動作していることをポンプ注水量で確認することで、必要な水源である燃料取替用水ビット水位が確保されていることが推定できることから、適用可能である。なお、燃料取替用水ビット以外からの注水がないことを前提とする。</p> <p>①補助給水ビットを水源とするポンプ注水量                      本推定方法の目的は、補助給水ポンプ及び代替格納容器スプレイポンプ運転時における水源である補助給水ビット水位の確保を確認することであり、これらのポンプが正常に動作していることをポンプ注水量で確認することで、必要な水源である補助給水ビット水位が確保されていることが推定できることから、適用可能である。なお、補助給水ビット以外からの注水がないことを前提とする。</p> <p>①ほう酸タンクを水源とするポンプ注水量                      本推定方法の目的は、ほう酸タンク運転時における水源であるほう酸タンク水位の確保を確認することであり、このポンプが正常に動作していることをポンプ注水量で確認することで、必要な水源であるほう酸タンク水位が確保されていることが推定できることから、適用可能である。</p> <p>②ほう酸タンクを水源とする炉心への負の反応度添加                      本推定方法の目的は、炉心への負の反応度添加時における水源であるほう酸タンク水位の確保を確認することであり、出力領域中性子束、中間領域中性子束及び中性子源領域中性子束の指示が低下していることを確認することで、必要な水源であるほう酸タンク水位が確保されていることが推定できることから、適用可能である。</p> <p>[調査による影響について]                      水源の確保を監視する目的は、原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水が継続可能であるかどうかを把握することであり、代替パラメータ (格納容器再循環サンプ水位 (広域)、燃料取替用水ビットを水源とするポンプ注水量、補助給水ビットを水源とするポンプ注水量、ほう酸タンクを水源とするポンプ注水量) による推定は、注水設備によるパラメータから必要な水源が確保されていることの傾向を把握でき、計器誤差を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。(格納容器再循環サンプ水位 (広域) の誤差: ±2.0%、B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) の誤差: ±11.3m<sup>3</sup>/h、高圧注入流量の誤差: ±2.7m<sup>3</sup>/h、低圧注入流量の誤差: ±8.9m<sup>3</sup>/h、代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の誤差: ±1.7m<sup>3</sup>/h、補助給水流量の誤差: ±2.6m<sup>3</sup>/h)                      代替パラメータ (ほう酸タンクを水源とする炉心への負の反応度添加) による推定は、炉心へのほう酸水注入に伴う負の反応度が追加されていることを出力領域中性子束、中間領域中性子束及び中性子源領域中性子束を傾向監視することにより水源の有無を把握でき、計器誤差を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。(出力領域中性子束の誤差: ±1.0%、中間領域中性子束の誤差: 5.4×10<sup>-10</sup>~1.9×10<sup>-9</sup>、中性子源領域中性子束の誤差: 6.6×10<sup>-10</sup>~1.6×10<sup>-9</sup>cps)</p> <p>以上より、これらの代替パラメータによる推定で、炉心損傷防止対策及び原子炉格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p>	



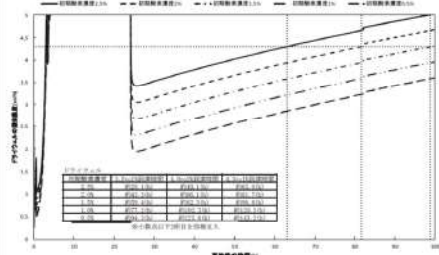
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由												
	<p>(a) 主要パラメータの代替パラメータ (他チャンネルを除く) による推定方法について (原子炉建屋内の水素濃度)</p> <table border="1" data-bbox="667 231 1229 327"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">原子炉建屋内水素濃度</th> </tr> <tr> <th></th> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要パラメータ</td> <td>原子炉建屋内水素濃度</td> <td>0~10vol%</td> </tr> <tr> <td>代替パラメータ</td> <td>①静的触媒式水素再結合装置動作監視装置</td> <td>0~500℃</td> </tr> </tbody> </table> <p>計測目的                      重大事故等時において、主要パラメータにて原子炉建屋内の水素濃度を監視する目的は、原子炉格納容器からの水素漏えいがあるかどうかの検定である。</p> <p>推定方法                      原子炉建屋内の水素濃度の主要パラメータである原子炉建屋内水素濃度の計測が困難になった場合、代替パラメータの静的触媒式水素再結合装置動作監視装置により推定する。推定方法は、以下のとおりである。</p> <p>①静的触媒式水素再結合装置動作監視装置                      原子炉建屋内水素濃度の計測が困難になった場合、代替パラメータの静的触媒式水素再結合装置動作監視装置 (静的触媒式水素再結合装置入口/出口の差温度から水素濃度を推定) により推定する。</p> <p>推定可能範囲：0~約4vol%</p>  <p>Fig. 13. PAR gas ΔT as a function of hydrogen concentration.</p> <p>図 58-8-17 静的触媒式水素再結合装置の入口/出口の差温度と水素濃度の関係</p> <p>【出典】                      Nuclear Technology Vol. 129 Mar. 2000                      TESTING A PASSIVE AUTOCATALYTIC RECOMBINER IN THE SIRTSEY FACILITY                      THOMAS K. BLANCHAT Sandia National Laboratories</p> <p>推定の評価                      ①静的触媒式水素再結合装置動作監視装置                      原子炉建屋内の水素が静的触媒式水素再結合装置で処理された場合、発熱反応が生じ、装置の入口と出口温度に差が生じる。これを計測することにより静的触媒式水素再結合装置に入る水素濃度が推定することができることから、原子炉建屋水素濃度の推定方法として妥当である。</p> <p>【誤差による影響について】                      原子炉建屋内の水素濃度を監視する目的は、原子炉格納容器からの水素漏えいを把握することであり、代替パラメータ (静的触媒式水素再結合装置動作監視装置) による静的触媒式水素再結合装置の動作有無並びに入口及び出口の差温度の状況から水素漏えいの傾向を把握でき、計測誤差を考慮した上で対応することにより重大事故等時の負荷を軽減することが可能である。(静的触媒式水素再結合装置動作監視装置の温度計の誤差：約±5.0℃から差温度として最大11.0℃程度の誤差)</p> <p>以上より、これらの代替パラメータによる推定で、格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p>	項目	原子炉建屋内水素濃度			監視パラメータ	計測範囲	主要パラメータ	原子炉建屋内水素濃度	0~10vol%	代替パラメータ	①静的触媒式水素再結合装置動作監視装置	0~500℃		
項目	原子炉建屋内水素濃度														
	監視パラメータ	計測範囲													
主要パラメータ	原子炉建屋内水素濃度	0~10vol%													
代替パラメータ	①静的触媒式水素再結合装置動作監視装置	0~500℃													

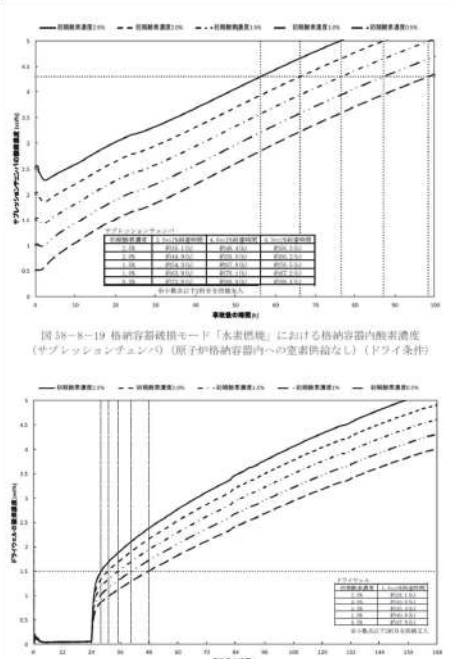
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																								
	<p>(p) 主要パラメータの代替パラメータ (他チャンネルを除く) による推定方法について (原子炉格納容器内の酸素濃度)</p> <table border="1" data-bbox="674 240 1227 368"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">原子炉格納容器内の酸素濃度</th> </tr> <tr> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要パラメータ</td> <td>格納容器内空気酸素濃度</td> <td>0~30vol%</td> <td>約4.3vol%</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">代替パラメータ</td> <td>①格納容器内空気放射線モニタ(D/R)</td> <td>10<sup>-5</sup>Sv/h~10<sup>5</sup>Sv/h</td> <td>10Sv/h未満</td> </tr> <tr> <td>①格納容器内空気放射線モニタ(S/C)</td> <td>10<sup>-5</sup>Sv/h~10<sup>5</sup>Sv/h</td> <td>10Sv/h未満</td> </tr> <tr> <td>①ドライウェル圧力</td> <td>0~1MPa(abs)</td> <td>330kPa(gage)以下</td> </tr> <tr> <td>①圧力抑制室圧力</td> <td>0~1MPa(abs)</td> <td>210kPa(gage)以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>計測目的                      重大事故等時において、主要パラメータにて原子炉格納容器内の酸素濃度を監視する目的は、原子炉格納容器内の水素が燃焼を生じる可能性の低い濃度にあるかどうかの確認である。</p> <p>原子炉格納容器内の酸素濃度の主要パラメータである格納容器内空気酸素濃度の計測が困難になった場合、代替パラメータの格納容器内空気放射線モニタ(D/R)及び格納容器内空気放射線モニタ(S/C)にて中心損傷を判断した後、評価結果(解析結果)により格納容器内空気酸素濃度を推定する。                      また、事故後の原子炉格納容器内の圧力を監視することで、原子炉格納容器内への空気流入有無を把握し、水素が燃焼を生じる可能性を推定する。                      推定方法は、以下のとおりである。</p> <p>①格納容器内空気放射線モニタ(D/R)、格納容器内空気放射線モニタ(S/C)                      格納容器内空気酸素濃度の計測が困難になった場合、代替パラメータの格納容器内空気放射線モニタ(D/R)及び格納容器内空気放射線モニタ(S/C)にて中心損傷を判断した後、初期酸素濃度と可燃性ガス濃度制御系の性能評価に用いている保守的なG値(沸騰状態の場合G(02)=0.4、G(02)=0.2、非沸騰状態の場合G(02)=0.25、G(02)=0.125)を入力とした評価結果(解析結果)により推定する。</p> <p>推定可能範囲：0~約5vol%</p>  <p>図 58-8-18 格納容器破損モード「水素燃焼」における格納容器内酸素濃度 (ドライウェル) (原子炉格納容器内への空気流入なし) (ドライ条件)</p>	項目	原子炉格納容器内の酸素濃度			監視パラメータ	計測範囲	設計基準	主要パラメータ	格納容器内空気酸素濃度	0~30vol%	約4.3vol%	代替パラメータ	①格納容器内空気放射線モニタ(D/R)	10 <sup>-5</sup> Sv/h~10 <sup>5</sup> Sv/h	10Sv/h未満	①格納容器内空気放射線モニタ(S/C)	10 <sup>-5</sup> Sv/h~10 <sup>5</sup> Sv/h	10Sv/h未満	①ドライウェル圧力	0~1MPa(abs)	330kPa(gage)以下	①圧力抑制室圧力	0~1MPa(abs)	210kPa(gage)以下		
項目	原子炉格納容器内の酸素濃度																										
	監視パラメータ	計測範囲	設計基準																								
主要パラメータ	格納容器内空気酸素濃度	0~30vol%	約4.3vol%																								
代替パラメータ	①格納容器内空気放射線モニタ(D/R)	10 <sup>-5</sup> Sv/h~10 <sup>5</sup> Sv/h	10Sv/h未満																								
	①格納容器内空気放射線モニタ(S/C)	10 <sup>-5</sup> Sv/h~10 <sup>5</sup> Sv/h	10Sv/h未満																								
	①ドライウェル圧力	0~1MPa(abs)	330kPa(gage)以下																								
	①圧力抑制室圧力	0~1MPa(abs)	210kPa(gage)以下																								

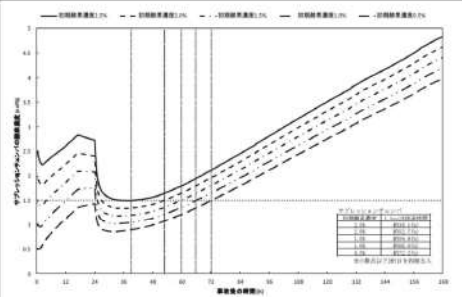
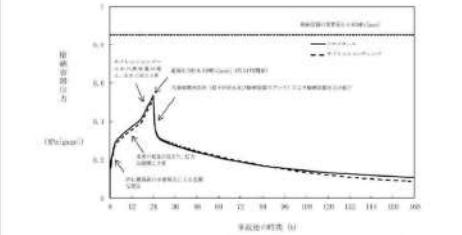
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p data-bbox="840 108 1064 135">女川原子力発電所2号炉</p>  <p data-bbox="795 550 862 566">標準方法</p> <p data-bbox="795 486 1220 518">図 58-8-19 格納容器破損モード「水素燃焼」における格納容器内酸素濃度 (サブプレッションフェーズ) (原子炉格納容器内への窒素供給なし) (ドライ条件)</p> <p data-bbox="795 837 1220 869">図 58-8-20 格納容器破損モード「水素燃焼」における格納容器内酸素濃度 (ドライフェーズ) (原子炉格納容器内への窒素供給なし) (ウェット条件)</p>		

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
	 <p>図 58-8-21 格納容器破損モード「水素燃焼」における格納容器内酸素濃度 (サブプレッションフェーズ) (原子炉格納容器内への蒸気供給なし) (ウェット条件)</p> <p>①ドライウェル圧力、圧力抑圧室圧力          原子炉格納容器内の酸素を把握する目的としては、事故後の原子炉格納容器内の水素が燃焼を生じる可能性の把握である。          ドライウェル圧力又は圧力抑圧室圧力により、原子炉格納容器内の圧力が正圧であることを確認することで、事故後の原子炉格納容器内への空気 (酸素) の流入有無を把握し、水素燃焼の可能性を推定する。          なお、非常時操作手順において、原子炉格納容器内の圧力を変化させる原子炉格納容器スプレイ実施時には、原子炉格納容器内への空気 (酸素) の流入防止を目的として、ドライウェル圧力又は圧力抑圧室圧力が 13.7kPa [gauge] 以上であることを確認してスプレイ操作を判断することとしている。          格納容器破損モード「水素燃焼」における格納容器圧力の変化を図 58-8-22 に示す。有効性評価の結果では、格納容器圧力が正圧に保たれる結果となっており、原子炉格納容器への空気流入の可能性がないことを確認している。</p>  <p>図 58-8-22 格納容器破損モード「水素燃焼」における格納容器圧力の推移</p>		

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容




赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>①格納容器内蒸気放射線モニタ(D/Q)、格納容器内蒸気放射線モニタ(S/C)                  炉心損傷直後の初期熱源濃度と保守的な値を入力とした評価結果(解析結果)では、実際の原子炉格納容器内の熱源濃度よりも高く評価されることになるが、原子炉格納容器内の水素燃焼を防止する目的のためには、妥当な推定手段である。</p> <p>②ドライウェル圧力、圧力抑制室圧力                  格納容器内圧力を確認し、事故後の原子炉格納容器内への空気(酸素)の流入有無を把握することは、炉心損傷直後の初期熱源濃度と可燃性ガス濃度制御系の性能評価に用いている保守的な値を入力とした評価結果(解析結果)の信頼性を上げることとなることから、原子炉格納容器内での水素燃焼の可能性を把握する目的のためには、妥当な推定手段である。</p> <p>推定の評価                  【酸素による影響について】                  原子炉格納容器内の熱源濃度を監視する目的は、原子炉格納容器内の水素が燃焼を生じる可能性の高い濃度にあるかどうかを把握することであり、代替パラメータ(格納容器内蒸気放射線モニタ(D/Q)、格納容器内蒸気放射線モニタ(S/C)、ドライウェル圧力、圧力抑制室圧力)による原子炉格納容器内の熱源濃度の傾向及び原子炉格納容器への空気流入の有無の傾向を把握でき、計器誤差(格納容器内蒸気放射線モニタ(D/Q)の誤差:±0.29デカード(B.2×10<sup>-5</sup>Sv/h~1.9×10<sup>-5</sup>Sv/h)、格納容器内蒸気放射線モニタ(S/C)の誤差:±0.29デカード(B.2×10<sup>-5</sup>Sv/h~1.9×10<sup>-5</sup>Sv/h)、ドライウェル圧力の誤差:±0.000MPa、圧力抑制室圧力の誤差:±0.000MPa)を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>以上より、これらの代替パラメータによる推定で、格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p>		



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																														
	<p>(q) 主要パラメータの代替パラメータ (他チャンネルを除く) による推定方法について (使用済燃料プールの監視)</p> <table border="1" data-bbox="672 236 1227 1045"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">使用済燃料プールの監視</th> </tr> <tr> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">主要パラメータ</td> <td>使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)</td> <td>0~7.010mm<sup>g</sup> 0~150°C</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式)</td> <td>-4.300mm~7.300mm<sup>g</sup> 0~120°C</td> <td>0.P.32895mm 最大値: 65°C</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量)</td> <td>10<sup>4</sup>nSv/h~10<sup>6</sup>nSv/h 10<sup>4</sup>nSv/h~10<sup>6</sup>nSv/h</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール監視カメラ</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">代替パラメータ</td> <td>①使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式) ②使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)、 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、 低線量)、使用済燃料プール監視カメラの代替)</td> <td>-4.300mm~7.300mm<sup>g</sup> 0~120°C</td> <td>0.P.32895mm 最大値: 65°C</td> </tr> <tr> <td>①使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式) ②使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式)、 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、 低線量)、使用済燃料プール監視カメラの代替)</td> <td>0~7.010mm<sup>g</sup> 0~150°C</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>①使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、 低線量) ②使用済燃料プール監視カメラの代替)</td> <td>10<sup>4</sup>nSv/h~10<sup>6</sup>nSv/h 10<sup>4</sup>nSv/h~10<sup>6</sup>nSv/h</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>①使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)、 使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式) の 代替)</td> <td>10<sup>4</sup>nSv/h~10<sup>6</sup>nSv/h 10<sup>4</sup>nSv/h~10<sup>6</sup>nSv/h</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>②使用済燃料プール監視カメラ ③使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)、 使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式)、 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、 低線量) の代替)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="3">*1: 計測範囲の空白は、使用済燃料貯蔵ラック上層 (0.P.23920mm) のところとする。</td> </tr> <tr> <td>計測目的</td> <td colspan="3">重大事故等において、主要パラメータにて使用済燃料プールを監視する目的は、使用済燃料プール内の燃料体等の冷却状況、放射線の遮蔽状況及び臨界の防止状況を把握することである。</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">推定方法</td> <td colspan="3">使用済燃料プール監視の主要パラメータである使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)、使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式)、使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量) 及び使用済燃料プール監視カメラについて、P.22の通り推定する。</td> </tr> <tr> <td colspan="3">使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式) の計測が困難になった場合、代替パラメータの使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)、使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量)、使用済燃料プール監視カメラにより推定する。</td> </tr> <tr> <td colspan="3">使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量) の計測が困難になった場合、代替パラメータの使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)、使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式)、使用済燃料プール監視カメラにより推定する。</td> </tr> </tbody> </table>	項目	使用済燃料プールの監視			監視パラメータ	計測範囲	設計基準	主要パラメータ	使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)	0~7.010mm <sup>g</sup> 0~150°C	—	使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式)	-4.300mm~7.300mm <sup>g</sup> 0~120°C	0.P.32895mm 最大値: 65°C	使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量)	10 <sup>4</sup> nSv/h~10 <sup>6</sup> nSv/h 10 <sup>4</sup> nSv/h~10 <sup>6</sup> nSv/h	—	使用済燃料プール監視カメラ	—	—	代替パラメータ	①使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式) ②使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)、 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、 低線量)、使用済燃料プール監視カメラの代替)	-4.300mm~7.300mm <sup>g</sup> 0~120°C	0.P.32895mm 最大値: 65°C	①使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式) ②使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式)、 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、 低線量)、使用済燃料プール監視カメラの代替)	0~7.010mm <sup>g</sup> 0~150°C	—	①使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、 低線量) ②使用済燃料プール監視カメラの代替)	10 <sup>4</sup> nSv/h~10 <sup>6</sup> nSv/h 10 <sup>4</sup> nSv/h~10 <sup>6</sup> nSv/h	—	①使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)、 使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式) の 代替)	10 <sup>4</sup> nSv/h~10 <sup>6</sup> nSv/h 10 <sup>4</sup> nSv/h~10 <sup>6</sup> nSv/h	—	②使用済燃料プール監視カメラ ③使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)、 使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式)、 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、 低線量) の代替)	—	—	*1: 計測範囲の空白は、使用済燃料貯蔵ラック上層 (0.P.23920mm) のところとする。			計測目的	重大事故等において、主要パラメータにて使用済燃料プールを監視する目的は、使用済燃料プール内の燃料体等の冷却状況、放射線の遮蔽状況及び臨界の防止状況を把握することである。			推定方法	使用済燃料プール監視の主要パラメータである使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)、使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式)、使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量) 及び使用済燃料プール監視カメラについて、P.22の通り推定する。			使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式) の計測が困難になった場合、代替パラメータの使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)、使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量)、使用済燃料プール監視カメラにより推定する。			使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量) の計測が困難になった場合、代替パラメータの使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)、使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式)、使用済燃料プール監視カメラにより推定する。			<p>(r) 主要パラメータの代替パラメータ (他チャンネル及び他レベルを除く) による推定方法について (使用済燃料ピットの監視)</p> <table border="1" data-bbox="1254 228 1809 1021"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">使用済燃料ピットの監視</th> </tr> <tr> <th>監視パラメータ</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">主要パラメータ</td> <td>使用済燃料ピット水位 (AM用)</td> <td>T.P.25.24~ T.P.32.76m</td> <td rowspan="10">—</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット水位 (可搬型)</td> <td>T.P.21.30~ T.P.32.76m</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット温度 (AM用)</td> <td>0~100°C</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ</td> <td>10mSv/h~ 1,000mSv/h</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット監視カメラ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>〔使用済燃料ピット水位〕</td> <td>T.P.32.26~ T.P.32.76m</td> <td>T.P.32.66m</td> </tr> <tr> <td>〔使用済燃料ピット温度〕</td> <td>0~100°C</td> <td>52°C以下</td> </tr> <tr> <td>〔使用済燃料ピットエリアモニタ〕</td> <td>1~10<sup>4</sup>µSv/h</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>〔携帯型水温計〕</td> <td>-40~510°C</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>〔携帯型水位計〕</td> <td>T.P.29.29~ T.P.33.10m</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">代替パラメータ</td> <td>①使用済燃料ピット水位 (可搬型) 〔使用済燃料ピット水位 (AM用)、使用済燃料ピット監視カメラ、〔使用済燃料ピット水位〕、〔携帯型水位計〕及び〔携帯型水位・水温計〕の代替)</td> <td>T.P.21.30~ T.P.32.76m</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>〔携帯型水位・水温計〕</td> <td>T.P.29.29~ T.P.33.10m</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	項目	使用済燃料ピットの監視			監視パラメータ	計測範囲	設計基準	主要パラメータ	使用済燃料ピット水位 (AM用)	T.P.25.24~ T.P.32.76m	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	T.P.21.30~ T.P.32.76m	使用済燃料ピット温度 (AM用)	0~100°C	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	10mSv/h~ 1,000mSv/h	使用済燃料ピット監視カメラ		〔使用済燃料ピット水位〕	T.P.32.26~ T.P.32.76m	T.P.32.66m	〔使用済燃料ピット温度〕	0~100°C	52°C以下	〔使用済燃料ピットエリアモニタ〕	1~10 <sup>4</sup> µSv/h	—	〔携帯型水温計〕	-40~510°C	—	〔携帯型水位計〕	T.P.29.29~ T.P.33.10m	—	代替パラメータ	①使用済燃料ピット水位 (可搬型) 〔使用済燃料ピット水位 (AM用)、使用済燃料ピット監視カメラ、〔使用済燃料ピット水位〕、〔携帯型水位計〕及び〔携帯型水位・水温計〕の代替)	T.P.21.30~ T.P.32.76m	—	〔携帯型水位・水温計〕	T.P.29.29~ T.P.33.10m	—	
項目	使用済燃料プールの監視																																																																																																
	監視パラメータ	計測範囲	設計基準																																																																																														
主要パラメータ	使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)	0~7.010mm <sup>g</sup> 0~150°C	—																																																																																														
	使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式)	-4.300mm~7.300mm <sup>g</sup> 0~120°C	0.P.32895mm 最大値: 65°C																																																																																														
	使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量)	10 <sup>4</sup> nSv/h~10 <sup>6</sup> nSv/h 10 <sup>4</sup> nSv/h~10 <sup>6</sup> nSv/h	—																																																																																														
	使用済燃料プール監視カメラ	—	—																																																																																														
代替パラメータ	①使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式) ②使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)、 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、 低線量)、使用済燃料プール監視カメラの代替)	-4.300mm~7.300mm <sup>g</sup> 0~120°C	0.P.32895mm 最大値: 65°C																																																																																														
	①使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式) ②使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式)、 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、 低線量)、使用済燃料プール監視カメラの代替)	0~7.010mm <sup>g</sup> 0~150°C	—																																																																																														
	①使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、 低線量) ②使用済燃料プール監視カメラの代替)	10 <sup>4</sup> nSv/h~10 <sup>6</sup> nSv/h 10 <sup>4</sup> nSv/h~10 <sup>6</sup> nSv/h	—																																																																																														
	①使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)、 使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式) の 代替)	10 <sup>4</sup> nSv/h~10 <sup>6</sup> nSv/h 10 <sup>4</sup> nSv/h~10 <sup>6</sup> nSv/h	—																																																																																														
	②使用済燃料プール監視カメラ ③使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)、 使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式)、 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、 低線量) の代替)	—	—																																																																																														
	*1: 計測範囲の空白は、使用済燃料貯蔵ラック上層 (0.P.23920mm) のところとする。																																																																																																
	計測目的	重大事故等において、主要パラメータにて使用済燃料プールを監視する目的は、使用済燃料プール内の燃料体等の冷却状況、放射線の遮蔽状況及び臨界の防止状況を把握することである。																																																																																															
	推定方法	使用済燃料プール監視の主要パラメータである使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)、使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式)、使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量) 及び使用済燃料プール監視カメラについて、P.22の通り推定する。																																																																																															
		使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式) の計測が困難になった場合、代替パラメータの使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)、使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量)、使用済燃料プール監視カメラにより推定する。																																																																																															
		使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量) の計測が困難になった場合、代替パラメータの使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)、使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式)、使用済燃料プール監視カメラにより推定する。																																																																																															
項目	使用済燃料ピットの監視																																																																																																
	監視パラメータ	計測範囲	設計基準																																																																																														
主要パラメータ	使用済燃料ピット水位 (AM用)	T.P.25.24~ T.P.32.76m	—																																																																																														
	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	T.P.21.30~ T.P.32.76m																																																																																															
	使用済燃料ピット温度 (AM用)	0~100°C																																																																																															
	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	10mSv/h~ 1,000mSv/h																																																																																															
	使用済燃料ピット監視カメラ																																																																																																
	〔使用済燃料ピット水位〕	T.P.32.26~ T.P.32.76m		T.P.32.66m																																																																																													
	〔使用済燃料ピット温度〕	0~100°C		52°C以下																																																																																													
	〔使用済燃料ピットエリアモニタ〕	1~10 <sup>4</sup> µSv/h		—																																																																																													
	〔携帯型水温計〕	-40~510°C		—																																																																																													
	〔携帯型水位計〕	T.P.29.29~ T.P.33.10m		—																																																																																													
代替パラメータ	①使用済燃料ピット水位 (可搬型) 〔使用済燃料ピット水位 (AM用)、使用済燃料ピット監視カメラ、〔使用済燃料ピット水位〕、〔携帯型水位計〕及び〔携帯型水位・水温計〕の代替)	T.P.21.30~ T.P.32.76m	—																																																																																														
	〔携帯型水位・水温計〕	T.P.29.29~ T.P.33.10m	—																																																																																														

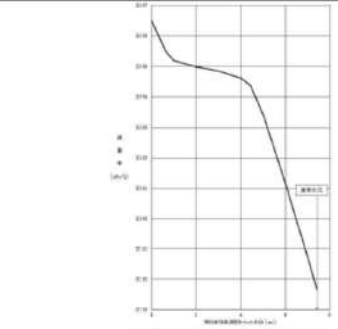

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由																								
	<p>推定方法は、以下のとおりである。</p> <p>使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)                  ①使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式) の計測が困難になった場合、代替パラメータの使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式) により使用済燃料プールの冷却状況を推定する。                  推定可能範囲：有効燃料棒下端近傍～有効燃料棒頂部+7.3m</p> <p>②代替パラメータの使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量) により水位/放射線量の関係を利用して図 58-8-23 より必要な水位が確保されていることを推定するとともに使用済燃料プール監視カメラにより、使用済燃料プールの状態を監視する。</p> <p>使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式)                  ①使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式) の計測が困難になった場合、代替パラメータの使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式) により使用済燃料プールの冷却状況を推定する。                  推定可能範囲：使用済燃料貯蔵ラック上端近傍～有効燃料棒頂部+約 7m</p> <p>②代替パラメータの使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量) により水位/放射線量の関係を利用して図 58-8-23 より必要な水位が確保されていることを推定するとともに使用済燃料プール監視カメラにより、使用済燃料プールの状態を監視する。</p> <p>使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量)                  ①使用済燃料プール放射線モニタ (高線量、低線量) の計測が困難になった場合、代替パラメータの使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式) 及び使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式) により水位/放射線量の関係を利用して図 58-8-23 より必要な水遮蔽が確保されていることを推定する。                  推定可能範囲：5.4×10<sup>-5</sup>mSv/h～10<sup>-4</sup>mSv/h</p> <p>②使用済燃料プール監視カメラにより、使用済燃料プールの状態を監視する。</p> <p>使用済燃料プール監視カメラ                  ①使用済燃料プール監視カメラによる監視が困難になった場合、代替パラメータの使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)、使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式) 及び使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量) により使用済燃料プールの状態を監視する。                  推定可能範囲：各計測設備の計測範囲</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1256 148 1335 997">代替パラメータ</th> <th data-bbox="1335 148 1529 997">①使用済燃料ピット水位 (AM 用) (使用済燃料ピット水位 (可搬型)、使用済燃料ピット温度 (AM 用)、使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ、使用済燃料ピット監視カメラ、[使用済燃料ピット水位]、[携帯型水位計] 及び [携帯型水位・水温計] の代替)</th> <th data-bbox="1529 148 1655 997">T.P. 25. 24～ T.P. 32. 76m</th> <th data-bbox="1655 148 1807 997">—</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1256 376 1335 464">① (使用済燃料ピット水位) (使用済燃料ピット水位 (AM 用)、使用済燃料ピット水位 (可搬型) の代替)</td> <td data-bbox="1335 376 1529 464"></td> <td data-bbox="1529 376 1655 464">T.P. 32. 26～ T.P. 32. 76m</td> <td data-bbox="1655 376 1807 464">—</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1256 464 1335 595">①使用済燃料ピット温度 (AM 用) (使用済燃料ピット監視カメラ、[使用済燃料ピット温度] 及び [携帯型水温計] の代替)</td> <td data-bbox="1335 464 1529 595"></td> <td data-bbox="1529 464 1655 595">0～100℃</td> <td data-bbox="1655 464 1807 595">—</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1256 595 1335 667">① (使用済燃料ピット温度) (使用済燃料ピット温度 (AM 用) の代替)</td> <td data-bbox="1335 595 1529 667"></td> <td data-bbox="1529 595 1655 667">0～100℃</td> <td data-bbox="1655 595 1807 667">—</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1256 667 1335 844">①使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ (使用済燃料ピット水位 (AM 用)、使用済燃料ピット水位 (可搬型)、使用済燃料ピット監視カメラ及び [使用済燃料ピットエリアモニタ] の代替)</td> <td data-bbox="1335 667 1529 844"></td> <td data-bbox="1529 667 1655 844">16mSv/h～ 1, 000mSv/h</td> <td data-bbox="1655 667 1807 844">—</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1256 844 1335 997">① (使用済燃料ピットエリアモニタ) (使用済燃料ピット水位 (AM 用)、使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び使用済燃料ピット可搬型エリアモニタの代替)</td> <td data-bbox="1335 844 1529 997"></td> <td data-bbox="1529 844 1655 997">1～10<sup>4</sup>µ Sv/h</td> <td data-bbox="1655 844 1807 997">—</td> </tr> </tbody> </table>	代替パラメータ	①使用済燃料ピット水位 (AM 用) (使用済燃料ピット水位 (可搬型)、使用済燃料ピット温度 (AM 用)、使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ、使用済燃料ピット監視カメラ、[使用済燃料ピット水位]、[携帯型水位計] 及び [携帯型水位・水温計] の代替)	T.P. 25. 24～ T.P. 32. 76m	—	① (使用済燃料ピット水位) (使用済燃料ピット水位 (AM 用)、使用済燃料ピット水位 (可搬型) の代替)		T.P. 32. 26～ T.P. 32. 76m	—	①使用済燃料ピット温度 (AM 用) (使用済燃料ピット監視カメラ、[使用済燃料ピット温度] 及び [携帯型水温計] の代替)		0～100℃	—	① (使用済燃料ピット温度) (使用済燃料ピット温度 (AM 用) の代替)		0～100℃	—	①使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ (使用済燃料ピット水位 (AM 用)、使用済燃料ピット水位 (可搬型)、使用済燃料ピット監視カメラ及び [使用済燃料ピットエリアモニタ] の代替)		16mSv/h～ 1, 000mSv/h	—	① (使用済燃料ピットエリアモニタ) (使用済燃料ピット水位 (AM 用)、使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び使用済燃料ピット可搬型エリアモニタの代替)		1～10 <sup>4</sup> µ Sv/h	—	
代替パラメータ	①使用済燃料ピット水位 (AM 用) (使用済燃料ピット水位 (可搬型)、使用済燃料ピット温度 (AM 用)、使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ、使用済燃料ピット監視カメラ、[使用済燃料ピット水位]、[携帯型水位計] 及び [携帯型水位・水温計] の代替)	T.P. 25. 24～ T.P. 32. 76m	—																								
① (使用済燃料ピット水位) (使用済燃料ピット水位 (AM 用)、使用済燃料ピット水位 (可搬型) の代替)		T.P. 32. 26～ T.P. 32. 76m	—																								
①使用済燃料ピット温度 (AM 用) (使用済燃料ピット監視カメラ、[使用済燃料ピット温度] 及び [携帯型水温計] の代替)		0～100℃	—																								
① (使用済燃料ピット温度) (使用済燃料ピット温度 (AM 用) の代替)		0～100℃	—																								
①使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ (使用済燃料ピット水位 (AM 用)、使用済燃料ピット水位 (可搬型)、使用済燃料ピット監視カメラ及び [使用済燃料ピットエリアモニタ] の代替)		16mSv/h～ 1, 000mSv/h	—																								
① (使用済燃料ピットエリアモニタ) (使用済燃料ピット水位 (AM 用)、使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び使用済燃料ピット可搬型エリアモニタの代替)		1～10 <sup>4</sup> µ Sv/h	—																								

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>推定方法</p>  <p>図 58-8-23 水位と放射線量率の関係</p> <p>使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)                  ①使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式)                  使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式) による推定方法は、使用済燃料プール水位及び温度を計測することができ、使用済燃料プールの監視を行う上で適切である。                  ②使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量)、使用済燃料プール監視カメラ                  使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量) 及び使用済燃料プール監視カメラによる推定方法は、水位/放射線量率の関係を利用して必要な水位が確保されていることを推定できるとともに、使用済燃料プールの状態を監視できることから、使用済燃料プールの監視を行う上で適切である。</p> <p>使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式)                  ①使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)                  使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式) による推定方法は、使用済燃料プール水位及び温度を計測することができ、使用済燃料プールの監視を行う上で適切である。                  ②使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量)、使用済燃料プール監視カメラ                  使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量) 及び使用済燃料プール監視カメラによる推定方法は、水位/放射線量率の関係を利用して必要な水位が確保されていることを推定できるとともに、使用済燃料プールの監視ができることから、使用済燃料プールの状態の監視を行う上で適切である。</p> <p>使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量)                  ①使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)、使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式)                  使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)、使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式) による推定方法は、水位/放射線量率の関係を利用して、必要な水位が確保されていることを推定でき、使用済燃料プールの監視を行う上で適切である。                  ②使用済燃料プール監視カメラ                  使用済燃料プール監視カメラによる推定方法は、使用済燃料プールの状態の監視を行う上で適切である。</p>	<p>代替パラメータ</p>  <p>計測目的</p> <p>重大事故等時において、主要パラメータにて使用済燃料ピットを監視する目的は、使用済燃料ピット内の燃料体等の冷却状況、放射線の遮蔽状況及び臨界の防止状況を把握することである。</p> <p>推定方法</p> <p>使用済燃料ピット監視の主要パラメータである使用済燃料ピット水位 (AM用)、使用済燃料ピット水位 (可搬型)、使用済燃料ピット温度 (AM用)、使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピット監視カメラについて、下記のとおり推定する。</p> <p>使用済燃料ピット水位 (AM用) による計測が不可能となった場合、代替パラメータの使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピットの水位を推定する。また、使用済燃料ピット可搬型エリアモニタによる放射線量率と水位の関係を利用して相関図より必要な水位が確保されていることを推定するとともに、使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピットの状態を監視する。</p> <p>使用済燃料ピット水位 (可搬型) による計測が不可能となった場合、代替パラメータの使用済燃料ピット水位 (AM用) により使用済燃料ピットの冷却状況を推定する。また、使用済燃料ピット可搬型エリアモニタによる放射線量率と水位の関係を利用して相関図より必要な水位が確保されていることを推定するとともに、使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピットの状態を監視する。</p> <p>使用済燃料ピット温度 (AM用) による計測が不可能となった場合、代替パラメータの使用済燃料ピット水位 (AM用) の傾向監視により使用済燃料ピットの冷却状況を推定するとともに、使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピットの状態を監視する。</p> <p>使用済燃料ピット可搬型エリアモニタによる計測が不可能となった場合、代替パラメータの使用済燃料ピット水位 (AM用) により水位を計測した後、水位と放射線量率の関係を利用して相関図より必要な水遮蔽が確保されていることを推定するとともに、使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピットの状態を監視する。</p> <p>使用済燃料ピット監視カメラによる監視が不可能となった場合、代替パラメータの使用済燃料ピット水位 (AM用)、使用済燃料ピット水位 (可搬型)、使</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容  
 赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>使用済燃料プール監視カメラ                      ①使用済燃料プール水位/温度（ヒートサーモ式）、使用済燃料プール水位/温度（ガイドバルス式）、使用済燃料プール上部空間放射線モニタ（高線量、低線量）                      上記パラメータによる推定方法は、使用済燃料プールの状態の監視を行う上で適切である。</p> <p>〔誤差による影響について〕                      使用済燃料プールを監視する目的は、使用済燃料プール内の燃料体等の冷却状況、放射線の遮蔽状況及び臨界の防止状況を把握することであり、代替パラメータ（使用済燃料プール水位/温度（ヒートサーモ式）、使用済燃料プール水位/温度（ガイドバルス式）、使用済燃料プール上部空間放射線モニタ（高線量、低線量））による使用済燃料プール内の燃料体等の冷却状況、放射線の遮蔽状況及び臨界の防止状況を把握でき、計測誤差（使用済燃料プール水位/温度（ヒートサーモ式）の誤差：±1.5℃、使用済燃料プール水位/温度（ガイドバルス式）の誤差：±245mm（水位） ±3.4℃（温度）、使用済燃料プール上部空間放射線モニタ（高線量）の誤差：±0.29 デカード（<math>15.2\mu\text{Sv/h} \sim 1.9 \times 10^4 \mu\text{Sv/h}</math>）、使用済燃料プール上部空間放射線モニタ（低線量）の誤差：±0.29 デカード（<math>15.2 \times 10^{-4} \mu\text{Sv/h} \sim 1.9 \times 10^4 \mu\text{Sv/h}</math>））を考慮した上で対応することにより重大事故等時の対策を実施することが可能である。</p> <p>以上より、これらの代替パラメータによる推定で、使用済燃料プールにおける燃料損傷防止対策を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p>	<p>使用済燃料ビット温度（AM用）及び使用済燃料ビット可搬型エアモニタにより使用済燃料ビットの状態を監視する。</p> <p>推定方法は、以下のとおりである。</p> <p>(1)使用済燃料ビット水位（AM用）                      ①使用済燃料ビット水位（可搬型）                      使用済燃料ビット水位（AM用）による計測が不可能となった場合、代替パラメータの使用済燃料ビット水位（可搬型）により使用済燃料ビットの水位を推定する。</p> <p>①〔使用済燃料ビット水位〕                      同じ仕様のもので使用済燃料ビット水位（自主対策設備）を計測することにより推定する。</p> <p>②使用済燃料ビット可搬型エアモニタ、使用済燃料ビット監視カメラ                      使用済燃料ビット可搬型エアモニタによる放射線量率と水位の関係を利用して相関図より必要な水位が確保されていることを推定するとともに、使用済燃料ビット監視カメラにより使用済燃料ビットの状態を監視する。</p> <p>②〔使用済燃料ビットエアモニタ〕                      使用済燃料ビットエアモニタ（自主対策設備）による放射線量率と水位の関係を利用して相関図より必要な水位が確保されていることを推定する。</p> <p>(2)使用済燃料ビット水位（可搬型）                      ①使用済燃料ビット水位（AM用）                      使用済燃料ビット水位（可搬型）による計測が不可能となった場合、代替パラメータの使用済燃料ビット水位（AM用）により使用済燃料ビットの冷却状況を推定する。</p> <p>①〔使用済燃料ビット水位〕                      同じ仕様のもので使用済燃料ビット水位（自主対策設備）を計測することにより推定する。</p> <p>②使用済燃料ビット可搬型エアモニタ、使用済燃料ビット監視カメラ                      使用済燃料ビット可搬型エアモニタによる放射線量率と水位の関係を利用して相関図より必要な水位が確保されていることを推定するとともに、使用済燃料ビット監視カメラにより使用済燃料ビットの状態を監視する。</p> <p>②〔使用済燃料ビットエアモニタ〕                      使用済燃料ビットエアモニタ（自主対策設備）による放射線量率と水位の関係を利用して相関図より必要な水位が確保されていることを推定する。</p>	

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
		<p>(3) 使用済燃料ピット温度 (AM 用)                      ① [使用済燃料ピット温度]                      同じ仕様のもので使用済燃料ピット温度 (自主対策設備) を計測することにより推定する。</p> <p>② 使用済燃料ピット水位 (AM 用)、使用済燃料ピット監視カメラ                      使用済燃料ピット温度 (AM 用) による計測が不可能となった場合、代替パラメータの使用済燃料ピット水位 (AM 用) の傾向監視により使用済燃料ピットの冷却状況を推定するとともに、使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピットの状態を監視する。</p> <p>(4) 使用済燃料ピット可搬型エアモニタ                      ① [使用済燃料ピットエアモニタ]                      同じ仕様のもので使用済燃料ピットエアモニタ (自主対策設備) を計測することにより推定する。</p> <p>② 使用済燃料ピット水位 (AM 用)、使用済燃料ピット監視カメラ                      使用済燃料ピット可搬型エアモニタによる計測が不可能となった場合、代替パラメータの使用済燃料ピット水位 (AM 用) により水位を計測した後、水位と放射線量率の関係を利用して相関図より必要な水遮蔽が確保されていることを推定するとともに、使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピットの状態を監視する。</p> <p>(5) 使用済燃料ピット監視カメラ                      使用済燃料ピット監視カメラによる監視が不可能となった場合、代替パラメータの使用済燃料ピット水位 (AM 用)、使用済燃料ピット水位 (可搬型)、使用済燃料ピット温度 (AM 用) 及び使用済燃料ピット可搬型エアモニタにより使用済燃料ピットの状態を監視する。</p> <p>推定方法</p> <p>第 27 図 使用済燃料ピットの水遮蔽厚と放射線量率の相関図</p>	



灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容  
 赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
		<p>(1) 使用済燃料ピット水位 (AM 用)                      ① 使用済燃料ピット水位 (可搬型)                      使用済燃料ピット水位 (可搬型) による推定方法は、使用済燃料ピット水位を計測することができ、使用済燃料ピットの監視を行う上で適切である。</p> <p>① [使用済燃料ピット水位]                      使用済燃料ピット水位 (自主対策設備) による推定方法は、使用済燃料ピット水位を計測することができ、使用済燃料ピットの監視を行う上で適切である。</p> <p>② 使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ、使用済燃料ピット監視カメラ                      使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピット監視カメラによる推定方法は、放射線量率と水位の関係を利用し必要な水位が確保されていることを推定できるとともに、使用済燃料ピットの状態を監視できることから、使用済燃料ピットの監視を行う上で適切である。</p> <p>② [使用済燃料ピットエリアモニタ]                      使用済燃料ピットエリアモニタ (自主対策設備) による推定方法は、放射線量率と水位の関係を利用し必要な水位が確保されていることから、使用済燃料ピットの監視を行う上で適切である。</p> <p>(2) 使用済燃料ピット水位 (可搬型)                      ① 使用済燃料ピット水位 (AM 用)                      使用済燃料ピット水位 (AM 用) による推定方法は、使用済燃料ピット水位を計測することができ、使用済燃料ピットの監視を行う上で適切である。</p> <p>① [使用済燃料ピット水位]                      使用済燃料ピット水位 (自主対策設備) による推定方法は、使用済燃料ピット水位を計測することができ、使用済燃料ピットの監視を行う上で適切である。</p> <p>② 使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ、使用済燃料ピット監視カメラ                      使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピット監視カメラによる推定方法は、放射線量率と水位の関係を利用し必要な水位が確保されていることを推定できるとともに、使用済燃料ピットの状態を監視できることから、使用済燃料ピットの監視を行う上で適切である。</p> <p>② [使用済燃料ピットエリアモニタ]                      使用済燃料ピットエリアモニタ (自主対策設備) による推定方法は、放射線量率と水位の関係を利用し必要な水位が確保されていることを推定できることから、使用済燃料ピットの監視を行う上で適切である。</p>	

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
		<p>(3) 使用済燃料ピット温度 (AM 用)                      ① [使用済燃料ピット温度]                      使用済燃料ピット温度 (自主対策設備) による推定方法は、使用済燃料ピット温度を計測することができ、使用済燃料ピットの監視を行う上で適切である。</p> <p>② 使用済燃料ピット水位 (AM 用)                      使用済燃料ピット水位 (AM 用) による推定方法は、放射線量率と水位の関係を利用し必要な水位が確保されていることを推定できることから、使用済燃料ピットの監視を行う上で適切である。</p> <p>③ 使用済燃料ピット監視カメラ                      使用済燃料ピット監視カメラによる推定方法は、使用済燃料ピットの状態を監視できることから、使用済燃料ピットの監視を行う上で適切である。</p> <p>(4) 使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ                      ① [使用済燃料ピットエリアモニタ]                      使用済燃料ピットエリアモニタ (自主対策設備) による推定方法は、放射線量率と水位の関係を利用し必要な水位が確保されていることを推定できることから、使用済燃料ピットの監視を行う上で適切である。</p> <p>② 使用済燃料ピット水位 (AM 用)                      使用済燃料ピット水位 (AM 用) による推定方法は、放射線量率と水位の関係を利用し必要な水位が確保されていることを推定できることから、使用済燃料ピットの監視を行う上で適切である。</p> <p>③ 使用済燃料ピット監視カメラ                      使用済燃料ピット監視カメラによる推定方法は、使用済燃料ピットの状態を監視できることから、使用済燃料ピットの監視を行う上で適切である。</p> <p>(5) 使用済燃料ピット監視カメラ                      ① 使用済燃料ピット水位 (AM 用)、使用済燃料ピット水位 (可搬型)、使用済燃料ピット温度 (AM 用)、使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ                      上記パラメータによる推定方法は、使用済燃料ピットの状態の監視を行う上で適切である。</p>	
		<p>[誤差による影響について]                      使用済燃料ピットを監視する目的は、使用済燃料ピット内の燃料体等の冷却状況、放射線の遮蔽状況及び臨界の防止状況を把握することであり、代替パラメータ (使用済燃料ピット水位 (AM 用)、使用済燃料ピット水位 (可搬型)、使用済燃料ピット水位 (自主対策設備)、使用済燃料ピット温度 (AM 用)、使用済燃料ピット温度 (自主対策設備)、使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ、使用済燃料ピットエリアモニタ (自主対策設備)、使用済燃料ピット監視カメラ) による使用済燃料ピット内の燃料体等の冷却状況、放射線の遮蔽状況及び臨界の防止状況を把握でき、計器誤差 (使用済燃料ピット水位 (AM 用) の誤差: <math>\pm 0.17m</math>、使用済燃料ピット水位 (可搬型) の誤差: <math>\pm 0.89m</math>、使用済燃料ピット温度 (AM 用) の誤差: <math>\pm 2.3C</math>、使用済燃料ピット可搬型エリアモニタの誤差: <math>6.4nSv/h \sim 1.5 \times 10^6 nSv/h</math>) を考慮した上で対応することにより重大事故等の対策を実施することが可能である。</p> <p>以上より、これらの代替パラメータによる推定で、使用済燃料ピットにおける燃料損傷防止対策を成功させるために必要な状態を推定することができる。</p>	



灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																												
	(参考) 表 58-8-1 計装設備の計器誤差について (2/3)	(参考) 第1表 計装設備の計器誤差について (2/2)																																																																																																																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>検出器の種類</th> <th>計測範囲</th> <th>誤差</th> <th>取付箇所</th> <th>誤差*</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉補給冷却水サージタンク水位</td> <td>差圧式水位検出器</td> <td>0~100%</td> <td>2</td> <td>周辺補給棟 T.P. 43.6a</td> <td>±1.0%</td> </tr> <tr> <td>燃料取扱用海水ピット水位</td> <td>差圧式水位検出器</td> <td>0~100%</td> <td>2</td> <td>周辺補給棟 T.P. 24.9a</td> <td>±1.0%</td> </tr> <tr> <td>ほう酸タンク水位</td> <td>差圧式水位検出器</td> <td>0~100%</td> <td>2</td> <td>原子炉補助建屋 T.P. 17.6a</td> <td>±1.0%</td> </tr> <tr> <td>補助給水ピット水位</td> <td>差圧式水位検出器</td> <td>0~100%</td> <td>2</td> <td>周辺補給棟 T.P. 24.9a</td> <td>±1.0%</td> </tr> <tr> <td>可搬型燃料貯蔵容器濃度計測ユニット</td> <td>熱伝導式検出器</td> <td>0~20vol%</td> <td>1</td> <td>周辺補給棟 T.P. 24.9a (周辺補給棟 T.P. 24.9a に保管)</td> <td>±1.15vol%</td> </tr> <tr> <td>可搬型プールの濃度計測ユニット</td> <td>熱伝導式検出器</td> <td>0~20vol%</td> <td>1</td> <td>周辺補給棟 T.P. 24.9a (周辺補給棟 T.P. 24.9a に保管)</td> <td>±1.15vol%</td> </tr> <tr> <td>原子炉補給冷却水サージタンク圧力 (可搬型)</td> <td>ブルドン管型 (液性変形)</td> <td>0~1.00MPa</td> <td>1</td> <td>周辺補給棟 T.P. 43.6a (周辺補給棟 T.P. 43.6a 及び緊急時対応用機械室内に保管)</td> <td>±0.010MPa</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">可搬型温度計測装置 (格納容器内)</td> <td>測温抵抗体</td> <td>0~200℃</td> <td>1</td> <td>周辺補給棟 T.P. 17.6a</td> <td rowspan="2">±0.43℃ + 読み取り 0.5%</td> </tr> <tr> <td>測温抵抗体</td> <td>0~200℃</td> <td>2</td> <td>周辺補給棟 T.P. 10.3a (中間)</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット水位 (専用)</td> <td>電流式水位検出器</td> <td>T.P. 25.24~32.76a</td> <td>2</td> <td>燃料取扱棟</td> <td>±0.17a</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット水位 (可搬型)</td> <td>フロート式水位検出器</td> <td>T.P. 21.30~32.76a</td> <td>2</td> <td>燃料取扱棟 (燃料取扱棟及び周辺補給棟 T.P. 33.1a に保管)</td> <td>±0.30a</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット温度 (専用)</td> <td>測温抵抗体</td> <td>0~100℃</td> <td>2</td> <td>燃料取扱棟</td> <td>±2.3℃</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット可搬型リアモニタ</td> <td>半導体検出器、NaI (TI) シンチレーション検出器</td> <td>10dsv/h~1,000dsv/h</td> <td>1</td> <td>周辺補給棟 T.P. 33.1a、原子炉補助建屋 T.P. 33.1a 又は最外 (周辺補給棟 T.P. 33.1a に保管)</td> <td>4×10<sup>-4</sup>~1.5×10<sup>-3</sup>dsv/h</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット監視カメラ</td> <td>赤外線カメラ</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>燃料取扱棟</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット監視カメラ監視装置</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内表面温度計測温度監視装置</td> <td>熱電対</td> <td>0~800℃</td> <td>5</td> <td>原子炉格納容器内</td> <td>±12.3℃</td> </tr> <tr> <td>格納容器内表面温度監視装置</td> <td>熱電対</td> <td>0~800℃</td> <td>15</td> <td>原子炉格納容器内</td> <td>±12.3℃</td> </tr> </tbody> </table>	名称	検出器の種類	計測範囲	誤差	取付箇所	誤差*	原子炉補給冷却水サージタンク水位	差圧式水位検出器	0~100%	2	周辺補給棟 T.P. 43.6a	±1.0%	燃料取扱用海水ピット水位	差圧式水位検出器	0~100%	2	周辺補給棟 T.P. 24.9a	±1.0%	ほう酸タンク水位	差圧式水位検出器	0~100%	2	原子炉補助建屋 T.P. 17.6a	±1.0%	補助給水ピット水位	差圧式水位検出器	0~100%	2	周辺補給棟 T.P. 24.9a	±1.0%	可搬型燃料貯蔵容器濃度計測ユニット	熱伝導式検出器	0~20vol%	1	周辺補給棟 T.P. 24.9a (周辺補給棟 T.P. 24.9a に保管)	±1.15vol%	可搬型プールの濃度計測ユニット	熱伝導式検出器	0~20vol%	1	周辺補給棟 T.P. 24.9a (周辺補給棟 T.P. 24.9a に保管)	±1.15vol%	原子炉補給冷却水サージタンク圧力 (可搬型)	ブルドン管型 (液性変形)	0~1.00MPa	1	周辺補給棟 T.P. 43.6a (周辺補給棟 T.P. 43.6a 及び緊急時対応用機械室内に保管)	±0.010MPa	可搬型温度計測装置 (格納容器内)	測温抵抗体	0~200℃	1	周辺補給棟 T.P. 17.6a	±0.43℃ + 読み取り 0.5%	測温抵抗体	0~200℃	2	周辺補給棟 T.P. 10.3a (中間)	使用済燃料ピット水位 (専用)	電流式水位検出器	T.P. 25.24~32.76a	2	燃料取扱棟	±0.17a	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	フロート式水位検出器	T.P. 21.30~32.76a	2	燃料取扱棟 (燃料取扱棟及び周辺補給棟 T.P. 33.1a に保管)	±0.30a	使用済燃料ピット温度 (専用)	測温抵抗体	0~100℃	2	燃料取扱棟	±2.3℃	使用済燃料ピット可搬型リアモニタ	半導体検出器、NaI (TI) シンチレーション検出器	10dsv/h~1,000dsv/h	1	周辺補給棟 T.P. 33.1a、原子炉補助建屋 T.P. 33.1a 又は最外 (周辺補給棟 T.P. 33.1a に保管)	4×10 <sup>-4</sup> ~1.5×10 <sup>-3</sup> dsv/h	使用済燃料ピット監視カメラ	赤外線カメラ	—	1	燃料取扱棟	—	使用済燃料ピット監視カメラ監視装置	—	—	1	—	—	原子炉格納容器内表面温度計測温度監視装置	熱電対	0~800℃	5	原子炉格納容器内	±12.3℃	格納容器内表面温度監視装置	熱電対	0~800℃	15	原子炉格納容器内	±12.3℃	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>検出器の種類</th> <th>計測範囲</th> <th>誤差</th> <th>取付箇所</th> <th>誤差*</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉格納容器内表面温度計測温度監視装置</td> <td>熱電対</td> <td>0~800℃</td> <td>5</td> <td>原子炉格納容器内</td> <td>±12.3℃</td> </tr> <tr> <td>格納容器内表面温度監視装置</td> <td>熱電対</td> <td>0~800℃</td> <td>15</td> <td>原子炉格納容器内</td> <td>±12.3℃</td> </tr> </tbody> </table>	名称	検出器の種類	計測範囲	誤差	取付箇所	誤差*	原子炉格納容器内表面温度計測温度監視装置	熱電対	0~800℃	5	原子炉格納容器内	±12.3℃	格納容器内表面温度監視装置	熱電対	0~800℃	15	原子炉格納容器内	±12.3℃	
名称	検出器の種類	計測範囲	誤差	取付箇所	誤差*																																																																																																																										
原子炉補給冷却水サージタンク水位	差圧式水位検出器	0~100%	2	周辺補給棟 T.P. 43.6a	±1.0%																																																																																																																										
燃料取扱用海水ピット水位	差圧式水位検出器	0~100%	2	周辺補給棟 T.P. 24.9a	±1.0%																																																																																																																										
ほう酸タンク水位	差圧式水位検出器	0~100%	2	原子炉補助建屋 T.P. 17.6a	±1.0%																																																																																																																										
補助給水ピット水位	差圧式水位検出器	0~100%	2	周辺補給棟 T.P. 24.9a	±1.0%																																																																																																																										
可搬型燃料貯蔵容器濃度計測ユニット	熱伝導式検出器	0~20vol%	1	周辺補給棟 T.P. 24.9a (周辺補給棟 T.P. 24.9a に保管)	±1.15vol%																																																																																																																										
可搬型プールの濃度計測ユニット	熱伝導式検出器	0~20vol%	1	周辺補給棟 T.P. 24.9a (周辺補給棟 T.P. 24.9a に保管)	±1.15vol%																																																																																																																										
原子炉補給冷却水サージタンク圧力 (可搬型)	ブルドン管型 (液性変形)	0~1.00MPa	1	周辺補給棟 T.P. 43.6a (周辺補給棟 T.P. 43.6a 及び緊急時対応用機械室内に保管)	±0.010MPa																																																																																																																										
可搬型温度計測装置 (格納容器内)	測温抵抗体	0~200℃	1	周辺補給棟 T.P. 17.6a	±0.43℃ + 読み取り 0.5%																																																																																																																										
	測温抵抗体	0~200℃	2	周辺補給棟 T.P. 10.3a (中間)																																																																																																																											
使用済燃料ピット水位 (専用)	電流式水位検出器	T.P. 25.24~32.76a	2	燃料取扱棟	±0.17a																																																																																																																										
使用済燃料ピット水位 (可搬型)	フロート式水位検出器	T.P. 21.30~32.76a	2	燃料取扱棟 (燃料取扱棟及び周辺補給棟 T.P. 33.1a に保管)	±0.30a																																																																																																																										
使用済燃料ピット温度 (専用)	測温抵抗体	0~100℃	2	燃料取扱棟	±2.3℃																																																																																																																										
使用済燃料ピット可搬型リアモニタ	半導体検出器、NaI (TI) シンチレーション検出器	10dsv/h~1,000dsv/h	1	周辺補給棟 T.P. 33.1a、原子炉補助建屋 T.P. 33.1a 又は最外 (周辺補給棟 T.P. 33.1a に保管)	4×10 <sup>-4</sup> ~1.5×10 <sup>-3</sup> dsv/h																																																																																																																										
使用済燃料ピット監視カメラ	赤外線カメラ	—	1	燃料取扱棟	—																																																																																																																										
使用済燃料ピット監視カメラ監視装置	—	—	1	—	—																																																																																																																										
原子炉格納容器内表面温度計測温度監視装置	熱電対	0~800℃	5	原子炉格納容器内	±12.3℃																																																																																																																										
格納容器内表面温度監視装置	熱電対	0~800℃	15	原子炉格納容器内	±12.3℃																																																																																																																										
名称	検出器の種類	計測範囲	誤差	取付箇所	誤差*																																																																																																																										
原子炉格納容器内表面温度計測温度監視装置	熱電対	0~800℃	5	原子炉格納容器内	±12.3℃																																																																																																																										
格納容器内表面温度監視装置	熱電対	0~800℃	15	原子炉格納容器内	±12.3℃																																																																																																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>検出器の種類</th> <th>計測範囲</th> <th>誤差</th> <th>取付箇所</th> <th>誤差*</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉格納容器内表面温度計測温度監視装置</td> <td>熱電対</td> <td>0~800℃</td> <td>5</td> <td>原子炉格納容器内</td> <td>±12.3℃</td> </tr> <tr> <td>格納容器内表面温度監視装置</td> <td>熱電対</td> <td>0~800℃</td> <td>15</td> <td>原子炉格納容器内</td> <td>±12.3℃</td> </tr> </tbody> </table>	名称	検出器の種類	計測範囲	誤差	取付箇所	誤差*	原子炉格納容器内表面温度計測温度監視装置	熱電対	0~800℃	5	原子炉格納容器内	±12.3℃	格納容器内表面温度監視装置	熱電対	0~800℃	15	原子炉格納容器内	±12.3℃																																																																																																												
名称	検出器の種類	計測範囲	誤差	取付箇所	誤差*																																																																																																																										
原子炉格納容器内表面温度計測温度監視装置	熱電対	0~800℃	5	原子炉格納容器内	±12.3℃																																																																																																																										
格納容器内表面温度監視装置	熱電対	0~800℃	15	原子炉格納容器内	±12.3℃																																																																																																																										

\*1: 検出器へデータ表示の精度を示す。ただし、「原子炉補給冷却水サージタンク圧力 (可搬型)」は計器単体の精度。「可搬型温度計測装置 (格納容器内) 測温抵抗体 (ユニット入口温度/出口温度)」は検出器へ可搬型温度計測装置の精度を示す。(詳細設計により、今後変更となる可能性がある。)

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																						
	<p>(参考) 表58-8-1 計装設備の計器誤差について(3 / 3)</p> <table border="1" data-bbox="667 209 1227 308"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>検出器の種類</th> <th>計器範囲</th> <th>精度</th> <th>実行装置</th> <th>公差*</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">使用済燃料プールの液面監視装置 （高線量、低線量）</td> <td rowspan="2">電導計</td> <td>10<sup>3</sup>μS/cm～10<sup>6</sup>μS/cm</td> <td>1</td> <td>原子炉電導計1300 （原子炉建屋原子炉棟内）</td> <td>±0.20%以下 （±0.20%以下）</td> </tr> <tr> <td>10<sup>3</sup>μS/cm～10<sup>6</sup>μS/cm</td> <td>1</td> <td>原子炉電導計1300 （原子炉建屋原子炉棟内）</td> <td>±0.20%以下 （±0.20%以下）</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール監視カメラ</td> <td>可視カメラ</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>原子炉電導計1300 （原子炉建屋原子炉棟内）</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 計器範囲の単位は、原子炉出力監視等レベルより1330kWh/m<sup>2</sup>とすると、10<sup>3</sup>μS/cm～10<sup>6</sup>μS/cmと表示する。          ※2 計器範囲の単位は、原子炉出力監視等レベルより990kWh/m<sup>2</sup>とすると、10<sup>3</sup>μS/cm～10<sup>6</sup>μS/cmと表示する。          ※3 計器範囲の単位は、原子炉出力監視等レベルより990kWh/m<sup>2</sup>とすると、10<sup>3</sup>μS/cm～10<sup>6</sup>μS/cmと表示する。          ※4 計器範囲の単位は、10<sup>3</sup>μS/cm～10<sup>6</sup>μS/cmとすると、10<sup>3</sup>μS/cm～10<sup>6</sup>μS/cmと表示する。          ※5 計器範囲の単位は、10<sup>3</sup>μS/cm～10<sup>6</sup>μS/cmとすると、10<sup>3</sup>μS/cm～10<sup>6</sup>μS/cmと表示する。          ※6 計器範囲の単位は、10<sup>3</sup>μS/cm～10<sup>6</sup>μS/cmとすると、10<sup>3</sup>μS/cm～10<sup>6</sup>μS/cmと表示する。          ※7 検出器の種類は、原子炉出力監視等レベルより1330kWh/m<sup>2</sup>とすると、10<sup>3</sup>μS/cm～10<sup>6</sup>μS/cmと表示する。          ※8 検出器の種類は、原子炉出力監視等レベルより990kWh/m<sup>2</sup>とすると、10<sup>3</sup>μS/cm～10<sup>6</sup>μS/cmと表示する。          ※9 検出器の種類は、原子炉出力監視等レベルより990kWh/m<sup>2</sup>とすると、10<sup>3</sup>μS/cm～10<sup>6</sup>μS/cmと表示する。          ※10 検出器の種類は、原子炉出力監視等レベルより990kWh/m<sup>2</sup>とすると、10<sup>3</sup>μS/cm～10<sup>6</sup>μS/cmと表示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px; text-align: center;"> <p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p> </div>	名称	検出器の種類	計器範囲	精度	実行装置	公差*	使用済燃料プールの液面監視装置 （高線量、低線量）	電導計	10 <sup>3</sup> μS/cm～10 <sup>6</sup> μS/cm	1	原子炉電導計1300 （原子炉建屋原子炉棟内）	±0.20%以下 （±0.20%以下）	10 <sup>3</sup> μS/cm～10 <sup>6</sup> μS/cm	1	原子炉電導計1300 （原子炉建屋原子炉棟内）	±0.20%以下 （±0.20%以下）	使用済燃料プール監視カメラ	可視カメラ	—	1	原子炉電導計1300 （原子炉建屋原子炉棟内）	—		
名称	検出器の種類	計器範囲	精度	実行装置	公差*																				
使用済燃料プールの液面監視装置 （高線量、低線量）	電導計	10 <sup>3</sup> μS/cm～10 <sup>6</sup> μS/cm	1	原子炉電導計1300 （原子炉建屋原子炉棟内）	±0.20%以下 （±0.20%以下）																				
		10 <sup>3</sup> μS/cm～10 <sup>6</sup> μS/cm	1	原子炉電導計1300 （原子炉建屋原子炉棟内）	±0.20%以下 （±0.20%以下）																				
使用済燃料プール監視カメラ	可視カメラ	—	1	原子炉電導計1300 （原子炉建屋原子炉棟内）	—																				



灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉

58-10 可搬型計測器及び可搬型温度計測装置の必要台数整理について

分類	監視パラメータ	計測範囲	測定精度	電源	検出器の種類	可搬型計測器	測定装置	備考
原子炉圧力容器内の圧力	1次冷却回路温度 (圧力)	0~400°C	4	A	温度抵抗体	可	1次冷却回路温度	重大事故等における原子炉圧力容器内の状態を監視し、自然対流により、低い温度を示す1次冷却回路温度監視(圧力)を併用する。測定は各4ループの温度を行う。
	1次冷却回路温度 (圧力)	0~400°C	4	B	温度抵抗体	可	1次冷却回路温度	
原子炉圧力容器内の圧力	1次冷却回路圧力	0~20.0MPa	2	C,D	弾性圧力検出器	可	1次冷却回路温度	測定対象計装台数が複数存在するが、代表して1台を測定する。
	加圧器水位	0~100%	2	A,E	差圧式水位検出器	可	1次冷却回路温度	測定対象計装台数が複数存在するが、代表して1台を測定する。
原子炉圧力容器内の圧力	原子炉水位	0~100%	1	B	差圧式水位検出器	可	中央制御室	
		0~100%	3					
原子炉圧力容器内の圧力	高圧注入流量	0~400m³/h	2	A,E	差圧式流量検出器	可	1次冷却回路温度	測定対象計装台数が複数存在するが、代表して1台を測定する。
	冷却水流量	0~1,800m³/h	2	C,D	差圧式流量検出器	可	1次冷却回路温度	測定対象計装台数が複数存在するが、代表して1台を測定する。
原子炉圧力容器内の圧力	低設代位圧注水流量	0~100m³/h	1	B	差圧式流量検出器	可	中央制御室	
		0~10,000m³/h	1					

□: 温度・水位・流量・圧力計測用  
 □: 監視用

女川原子力発電所2号炉

58-9 可搬型計測器について

表 58-9-1 可搬型計測器の必要台数整理(1/3)

分類	監視パラメータ	計測範囲	測定精度	電源	検出器の種類	可搬型計測器	測定装置	備考
原子炉圧力容器内の圧力	1次冷却回路温度 (圧力)	0~400°C	4	A	温度抵抗体	可	1次冷却回路温度	重大事故等における原子炉圧力容器内の状態を監視し、自然対流により、低い温度を示す1次冷却回路温度監視(圧力)を併用する。測定は各4ループの温度を行う。
	1次冷却回路温度 (圧力)	0~400°C	4	B	温度抵抗体	可	1次冷却回路温度	
原子炉圧力容器内の圧力	1次冷却回路圧力	0~20.0MPa	2	C,D	弾性圧力検出器	可	1次冷却回路温度	測定対象計装台数が複数存在するが、代表して1台を測定する。
	加圧器水位	0~100%	2	A,E	差圧式水位検出器	可	1次冷却回路温度	測定対象計装台数が複数存在するが、代表して1台を測定する。
原子炉圧力容器内の圧力	原子炉水位	0~100%	1	B	差圧式水位検出器	可	中央制御室	
		0~100%	3					
原子炉圧力容器内の圧力	高圧注入流量	0~400m³/h	2	A,E	差圧式流量検出器	可	1次冷却回路温度	測定対象計装台数が複数存在するが、代表して1台を測定する。
	冷却水流量	0~1,800m³/h	2	C,D	差圧式流量検出器	可	1次冷却回路温度	測定対象計装台数が複数存在するが、代表して1台を測定する。
原子炉圧力容器内の圧力	低設代位圧注水流量	0~100m³/h	1	B	差圧式流量検出器	可	中央制御室	
		0~10,000m³/h	1					

58-9 可搬型計測器及び可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度) について

分類	監視パラメータ	計測範囲	測定精度	必要計測数	電源	検出器の種類	可搬型計測器	備考
原子炉圧力容器内の圧力	1次冷却回路温度 (圧力-高設代)	0~500°C	3	3	A 計測用電源	温度抵抗体	可	重大事故等における原子炉圧力容器内の状態を監視し、自然対流により、高い温度を示す1次冷却回路温度監視(圧力)を併用する。測定は各4ループの温度を行う。
	1次冷却回路温度 (圧力-低設代)	0~500°C	3		A 計測用電源	温度抵抗体	可	
原子炉圧力容器内の圧力	1次冷却回路圧力 (圧力)	0~21.0MPa	2	1	C, D 計測用電源	弾性圧力検出器	可	高設代と低設代が存在するが、代表して1チャンネルのみを測定する。
	加圧器水位	0~100%	2	1	A, B 計測用電源	差圧式水位検出器	可	高設代と低設代が存在するが、代表して1チャンネルのみを測定する。
原子炉圧力容器内の圧力	原子炉水位	0~100%	1	3	A 計測用電源	差圧式水位検出器	可	
		0~100%	2		A, B 計測用電源	差圧式流量検出器	可	
原子炉圧力容器内の圧力	高圧注入流量	0~350m³/h	2	2	C, D 計測用電源	差圧式流量検出器	可	
	低圧注入流量	0~1,100m³/h	2	2	C, D 計測用電源	差圧式流量検出器	可	
原子炉圧力容器内の圧力	1次冷却回路温度 (圧力)	0~1,800m³/h	1	1	A 計測用電源	差圧式流量検出器	可	
	冷却水流量	0~200m³/h	1	1	A 計測用電源	差圧式流量検出器	可	

□: 温度・水位・流量・圧力計測用 (可搬型計測器)  
 □: 監視用 (可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度))

相違理由

【大飯】設備名称の相違  
 【女川】設備構成の相違 (相違理由③)

【女川】炉型の相違  
 ・女川については、PWR と BWR で想定される重大事故等及び対処するための監視パラメータが異なるため、比較対象外としている。以降、同表において同じ。  
 【大飯】設備構成の相違  
 ・大飯は4ループ、泊は3ループプラントであることによる計器数の相違や計測範囲等の相違はあるが、可搬型計測器及び可搬型温度計測装置の必要台数の考え方は同様。以降、同表において同じ。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

可搬型計測器及び可搬型温度計測装置の必要台数整理(2/5)

分類	監視パラメータ	計測範囲	測定可能な範囲	種数	選定	電圧	検出部の種類	可搬型計測器	測定箇所	備考
原子炉格納容器内の注水量	格納容器スプレイ槽液流量	0~1,700m <sup>3</sup> /h (0~10,000m <sup>3</sup> )	-	1	1	B	型式式流量検出器	可	中央制御室	-
	循環代替管圧									
原子炉格納容器内の注水量	高圧注入流量									
	余熱除去流量									
	原子炉格納容器内の温度	0~220℃	-	2	1	A,B	熱電抵抗体	可	1次系配電盤室	測定対象計器が複数存在するが、代表して1台を測定する。
原子炉格納容器内の圧力	格納容器圧力 (広域)	-50~450kPa	-	2	1	C,D	弾性圧力検出器	可	1次系配電盤室	測定対象計器が複数存在するが、代表して1台を測定する。
	AMI用格納容器圧力	0~1.33MPa	-	1	1	B	弾性圧力検出器	可	中央制御室	-

原子炉圧力管への注水量を監視するパラメータと同じ

□ : 温度・水位・流量・圧力計測用  
 □ : 温度計測用

表 58-9-1 可搬型計測器の必要台数整理(2/3)

位置	監視パラメータ	測定可能な範囲	種数	選定	電圧	検出部の種類	可搬型計測器	測定箇所	備考
原子炉格納容器内の注水量	格納容器スプレイ槽液流量	0~1000m <sup>3</sup> /h	2	1	B	熱電抵抗体	可	中央制御室	可搬型計測器での測定対象あり。
	高圧注入流量	0~1000m <sup>3</sup> /h	2	1	B	熱電抵抗体	可	中央制御室	可搬型計測器での測定対象あり。
	循環代替管圧	0~200kPa	2	1	B	弾性圧力検出器	可	中央制御室	可搬型計測器での測定対象あり。
	余熱除去流量	0~200m <sup>3</sup> /h	2	1	B	熱電抵抗体	可	中央制御室	可搬型計測器での測定対象あり。
原子炉格納容器内の温度	原子炉格納容器内の温度	0~220℃	2	1	A,B	熱電抵抗体	可	中央制御室	可搬型計測器での測定対象あり。
	原子炉格納容器内の温度	0~220℃	2	1	A,B	熱電抵抗体	可	中央制御室	可搬型計測器での測定対象あり。
原子炉格納容器内の圧力	格納容器圧力 (広域)	-50~450kPa	2	1	C,D	弾性圧力検出器	可	中央制御室	可搬型計測器での測定対象あり。
	AMI用格納容器圧力	0~1.33MPa	1	1	B	弾性圧力検出器	可	中央制御室	可搬型計測器での測定対象あり。
	原子炉格納容器内の圧力	0~1.33MPa	2	1	B	弾性圧力検出器	可	中央制御室	可搬型計測器での測定対象あり。
	原子炉格納容器内の圧力	0~1.33MPa	2	1	B	弾性圧力検出器	可	中央制御室	可搬型計測器での測定対象あり。
	原子炉格納容器内の圧力	0~1.33MPa	2	1	B	弾性圧力検出器	可	中央制御室	可搬型計測器での測定対象あり。
	原子炉格納容器内の圧力	0~1.33MPa	2	1	B	弾性圧力検出器	可	中央制御室	可搬型計測器での測定対象あり。
	原子炉格納容器内の圧力	0~1.33MPa	2	1	B	弾性圧力検出器	可	中央制御室	可搬型計測器での測定対象あり。
	原子炉格納容器内の圧力	0~1.33MPa	2	1	B	弾性圧力検出器	可	中央制御室	可搬型計測器での測定対象あり。
	原子炉格納容器内の圧力	0~1.33MPa	2	1	B	弾性圧力検出器	可	中央制御室	可搬型計測器での測定対象あり。
	原子炉格納容器内の圧力	0~1.33MPa	2	1	B	弾性圧力検出器	可	中央制御室	可搬型計測器での測定対象あり。

可搬型計測器及び可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度) の必要台数整理 (2/5)

分類	監視パラメータ	計測範囲	測定可能な範囲	種数	選定	電圧	検出部の種類	可搬型計測器	測定箇所	備考
原子炉格納容器内の温度	格納容器入口温度	0~220℃	-	2	1	C, D 対応用電源	熱電抵抗体	可	完全設計図書	複数チャンネルが存在するが、代表して1チャンネルを測定する。
	格納容器出口温度	0~220℃	-	2	1	C, D 計測用電源	熱電抵抗体	可	完全設計図書	複数チャンネルが存在するが、代表して1チャンネルを測定する。
原子炉格納容器内の圧力	格納容器入口圧力	0~1.00MPa	-	2	1	A, 監視用電源	弾性圧力検出器	可	完全設計図書	複数チャンネルが存在するが、代表して1チャンネルを測定する。
	格納容器出口圧力	0~1.00MPa	-	2	1	A, 監視用電源	弾性圧力検出器	可	完全設計図書	複数チャンネルが存在するが、代表して1チャンネルを測定する。

□ : 温度・水位・流量・圧力計測用 (可搬型計測器)  
 □ : 温度計測用 (可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度))

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

分類	監視パラメータ	計測範囲	測定可能な範囲	精度	測定	電源	検出部の種類	可搬型計測器	測定箇所	備考
原子炉格納容器内の格納容器内サンプ水位 (圧縮)	格納容器再循環サンプ水位 (圧縮)	0~100%	-	2	C, D	C, D	差圧式水位検出器	可	1次系電圧器室	格納容器再循環サンプ水位 (圧縮) の計測範囲は、格納容器再循環サンプ水位 (圧縮) の計測範囲を包含しているため、格納容器再循環サンプ水位 (圧縮) を兼用して測定する。
	格納容器再循環サンプ水位 (圧縮)	0~100%	-	2	C, D	C, D	差圧式水位検出器	可	1次系電圧器室	測定対象再循環サンプ水位 (圧縮) を兼用して測定する。
原子炉格納容器内の水位	原子炉格納容器水位	ON-OFF	-	1	B	B	電極式水位検出器	可	中央制御室	一時的な動作状態の確認のため兼用して使用する。
	原子炉下部キャビティ水位	ON-OFF	-	1	B	B	電極式水位検出器	可	中央制御室	-
原子炉格納容器内の水位	可搬型格納容器水位	0~20%vol	-	1	B	B	熱伝導式	-	-	可搬型計測器での計測対象外。
	格納容器内高レベルアラーム (注1)	10 <sup>-6</sup> ~10 <sup>-4</sup> Sv/h	-	2	C, D	C, D	電線筒	注1	-	可搬型計測器での計測対象外。
原子炉格納容器内の放射線量	格納容器内高レベルアラーム (注1)	10 <sup>-6</sup> ~10 <sup>-4</sup> Sv/h	-	2	C, D	C, D	電線筒	注1	-	可搬型計測器での計測対象外。
	格納容器内高レベルアラーム (注1)	10 <sup>-6</sup> ~10 <sup>-4</sup> Sv/h	-	2	C, D	C, D	電線筒	注1	-	可搬型計測器での計測対象外。

□ : 温度・水位・流量・圧力計測用  
 □ : 温度計測用

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

表 58-9-1 可搬型計測器の必要台数整理 (3/3)

計測項目	計測範囲	必要台数	必要電源	必要検出部	必要電源	必要検出部	備考
格納容器再循環サンプ水位 (圧縮)	0~100%	2	C, D	差圧式水位検出器	C, D	差圧式水位検出器	格納容器再循環サンプ水位 (圧縮) の計測範囲は、格納容器再循環サンプ水位 (圧縮) の計測範囲を包含しているため、格納容器再循環サンプ水位 (圧縮) を兼用して測定する。
格納容器再循環サンプ水位 (圧縮)	0~100%	2	C, D	差圧式水位検出器	C, D	差圧式水位検出器	測定対象再循環サンプ水位 (圧縮) を兼用して測定する。
原子炉格納容器水位	ON-OFF	1	B	電極式水位検出器	B	電極式水位検出器	一時的な動作状態の確認のため兼用して使用する。
原子炉下部キャビティ水位	ON-OFF	1	B	電極式水位検出器	B	電極式水位検出器	-
可搬型格納容器水位	0~20%vol	-	-	-	-	-	可搬型計測器での計測対象外。
格納容器内高レベルアラーム (注1)	10 <sup>-6</sup> ~10 <sup>-4</sup> Sv/h	-	-	-	-	-	可搬型計測器での計測対象外。
格納容器内高レベルアラーム (注1)	10 <sup>-6</sup> ~10 <sup>-4</sup> Sv/h	-	-	-	-	-	可搬型計測器での計測対象外。

注1: 原子炉格納容器内高レベルアラーム (注1) の必要台数は、原子炉格納容器内高レベルアラーム (注1) の計測範囲を包含しているため、原子炉格納容器内高レベルアラーム (注1) を兼用して測定する。

可搬型計測器及び可搬型温度計測装置 (格納容器再循環サンプ水位/出入口温度/出口温度) の必要台数整理 (3/5)

分類	監視パラメータ	計測範囲	測定可能な範囲	必要台数	必要電源	必要検出部	必要電源	必要検出部	備考
原子炉格納容器内の格納容器内サンプ水位 (圧縮)	格納容器再循環サンプ水位 (圧縮)	0~100%	-	2	C, D	差圧式水位検出器	C, D	差圧式水位検出器	格納容器再循環サンプ水位 (圧縮) の計測範囲は、格納容器再循環サンプ水位 (圧縮) の計測範囲を包含しているため、格納容器再循環サンプ水位 (圧縮) を兼用して測定する。
	格納容器再循環サンプ水位 (圧縮)	0~100%	-	2	C, D	差圧式水位検出器	C, D	差圧式水位検出器	測定対象再循環サンプ水位 (圧縮) を兼用して測定する。
原子炉格納容器内の水位	原子炉格納容器水位	ON-OFF	-	1	B	電極式水位検出器	B	電極式水位検出器	一時的な動作状態の確認のため兼用して使用する。
	原子炉下部キャビティ水位	ON-OFF	-	1	B	電極式水位検出器	B	電極式水位検出器	-
原子炉格納容器内の水位	可搬型格納容器水位	0~20%vol	-	1	A	熱伝導式水位検出器	-	-	可搬型計測器での計測対象外。
	格納容器内高レベルアラーム (注1)	10 <sup>-6</sup> ~10 <sup>-4</sup> Sv/h	-	2	C, D	電線筒	C, D	電線筒	可搬型計測器での計測対象外。
原子炉格納容器内の放射線量	格納容器内高レベルアラーム (注1)	10 <sup>-6</sup> ~10 <sup>-4</sup> Sv/h	-	2	C, D	電線筒	C, D	電線筒	可搬型計測器での計測対象外。
	格納容器内高レベルアラーム (注1)	10 <sup>-6</sup> ~10 <sup>-4</sup> Sv/h	-	2	C, D	電線筒	C, D	電線筒	可搬型計測器での計測対象外。

□ : 温度・水位・流量・圧力計測用 (可搬型計測器)  
 □ : 温度計測用 (可搬型温度計測装置 (格納容器再循環サンプ水位/出入口温度/出口温度))



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

可搬型計測器及び可搬型温度計測装置の必要台数整理(4/5)									
分類	監視パラメータ	計測範囲	測定精度	電圧	出力の種別	可搬型計測器	測定箇所	備考	
発電機の出力値	出力側電圧中性線電圧 (10kV)	0~120%	4	注1	A,B, C,D	注1	可搬型計測器での計測対象外。		
	出力側電圧中性線電圧 (10kV)	0~120%	2	注2	A,B, C,D	注1			
発電機の出力値	中性線電圧 (10kV)	0~100%	2	注1	A,B, C,D	注1			
	中性線電圧 (10kV)	0~100%	2	注1	A,B, C,D	注1			
冷却水の流量	冷却水流量 (10kV)	0~100%	8	4	C,D	注1	1台を標準配置		
	冷却水流量 (10kV)	0~100%	4	4	A,B, C,D	注1	1台を標準配置		
冷却水の温度	冷却水温度 (10kV)	0~500 mPa	4	4	A,B, C,D	注1	1台を標準配置		
	冷却水温度 (10kV)	0~500 mPa	8	4	C,D	注1	1台を標準配置		
冷却水の圧力	冷却水圧力 (10kV)	0~100%	2	1	C,D	注1	1台を標準配置		
	冷却水圧力 (10kV)	0~100%	2	1	C,D	注1	1台を標準配置		
冷却水の流量	冷却水流量 (10kV)	0~100%	2	1	C,D	注1	1台を標準配置		
	冷却水流量 (10kV)	0~100%	2	1	C,D	注1	1台を標準配置		

可搬型計測器及び可搬型温度計測装置 (格納容器圧力係数ユニット) の必要台数整理 (4/5)									
分類	監視パラメータ	計測範囲	測定精度	電圧	出力の種別	可搬型計測器	測定箇所	備考	
格納容器の圧力	格納容器圧力 (10kV)	0~120%	4	注1	A,B, C,D	注1	可搬型計測器での計測対象外。		
	格納容器圧力 (10kV)	0~120%	2	注2	A,B, C,D	注1			
格納容器の温度	格納容器温度 (10kV)	0~100%	2	注1	A,B, C,D	注1			
	格納容器温度 (10kV)	0~100%	2	注1	A,B, C,D	注1			
格納容器の圧力	格納容器圧力 (10kV)	0~100%	2	注1	A,B, C,D	注1			
	格納容器圧力 (10kV)	0~100%	2	注1	A,B, C,D	注1			

可搬型計測器及び可搬型温度計測装置 (格納容器圧力係数ユニット) の必要台数整理 (4/5)									
分類	監視パラメータ	計測範囲	測定精度	電圧	出力の種別	可搬型計測器	測定箇所	備考	
格納容器の圧力	格納容器圧力 (10kV)	0~120%	4	注1	A,B, C,D	注1	可搬型計測器での計測対象外。		
	格納容器圧力 (10kV)	0~120%	2	注2	A,B, C,D	注1			
格納容器の温度	格納容器温度 (10kV)	0~100%	2	注1	A,B, C,D	注1			
	格納容器温度 (10kV)	0~100%	2	注1	A,B, C,D	注1			
格納容器の圧力	格納容器圧力 (10kV)	0~100%	2	注1	A,B, C,D	注1			
	格納容器圧力 (10kV)	0~100%	2	注1	A,B, C,D	注1			

相違理由									

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

可搬型計測器及び可搬型温度計測装置の必要台数整理(5/5)

分類	監視パラメータ	計測範囲	測定可能範囲	台数	単位	電球	検出器の種類	可搬型計測器	測定箇所	備考
水質	燃料取替用ホット水位	0~100%	-	2	1	C,D	差圧式水位検出器	可	1次蒸気発電器	測定対象箇所が複数存在するが、代表して1台を測定する。
	ほうろくタンク水位	0~100%	-	2	1	C,D	差圧式水位検出器	可	1次蒸気発電器	測定対象箇所が複数存在するが、代表して1台を測定する。
	汽水ドット水位	0~100%	-	2	1	C,D	差圧式水位検出器	可	1次蒸気発電器	測定対象箇所が複数存在するが、代表して1台を測定する。
可搬型温度計測器 (格納容器内温度/出口温度/炉心/炉心温度 (S.A. 内))						熱電対	-	-	炉心内筒の構造	-

：温度・水位・流量・圧力計測用  
：温度計測用

配置台数：可搬型計測器 (温度・水位・流量・圧力計測用) を3号及び4号炉それぞれ4号和それぞれ40個 (計測時故障を考慮したる割合含む)  
 ; 可搬型温度計測装置 (温度測定用) を3号及び4号炉それぞれ3個、故障時及び55%時の予備として1個保管する。

- (注1)：全交流動力電源喪失時は、炉外計装装置及び放射線監視装置に対して専用の可搬型バッテリーにより電源供給されるため、当該の現設監視計器は使用可能である。
- (注2)：上部と下部の中性子基準均値
- (注3)：輸送器取り付け部に基準配管に水を満たした構造体 (コンデンサポット) があり、蒸気発生器の急激な減圧やドライアウト時に、基準配管の水が蒸発し、嵩めて不確か水位を示す可能性がある。

可搬型計測器及び可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度) の必要台数整理 (5/5)

分類	監視パラメータ	計測範囲	測定可能範囲	重要停止台数	必要台数	電球	検出器の種類	可搬型計測器	測定箇所	備考
水質の温度	燃料取替用ホット水位	0~100%	-	2	1	A, B 計測用電球	差圧式水位検出器	可	安全系計測器	階数チャンネルが存在するが、代表して1チャンネルを測定する。
	ほうろくタンク水位	0~100%	-	2	1	A 計測用電球	差圧式水位検出器	可	安全系計測器	階数チャンネルが存在するが、代表して1チャンネルを測定する。
	燃料取水ドット水位	0~100%	-	2	1	A, B 計測用電球	差圧式水位検出器	可	安全系計測器	階数チャンネルが存在するが、代表して1チャンネルを測定する。
	使用済燃料ホット水位 (AMH)	T.P. 25.24 ~32.70m	-	2	1	A 計測用電球	差圧式水位検出器	可	常時計測器	階数チャンネルが存在するが、代表して1チャンネルを測定する。
使用済燃料ホット水位の電圧	使用済燃料ホット水位 (可搬型)	T.P. 21.30 ~32.70m	-	2	1	A 計測用電球	フロート式水位検出器	可	常時計測器	階数チャンネルが存在するが、代表して1チャンネルを測定する。
	使用済燃料ホット温度 (AMH)	0~100°C	-	2	1	A 計測用電球	熱電対	可	常時計測器	階数チャンネルが存在するが、代表して1チャンネルを測定する。
	使用済燃料ホット温度 (可搬型)	100%以下 1,000kPa以下	-	1	(注1)	A 計測用電球	交換シンチセンサー検出器	-	-	可搬型計測器での計測時除外
使用済燃料ホット温度 (AMH)	0~100°C	-	1	(注1)	A 計測用電球	熱電対	-	-	可搬型計測器での計測時除外	

配置台数：可搬型計測器 (温度・水位・流量・圧力計測用) を3号炉 (計測時故障を考慮したる割合含む) として1個保管する。  
 ; 可搬型温度計測装置 (温度計測用) を3号炉、故障時及び55%時の予備として1個保管する。

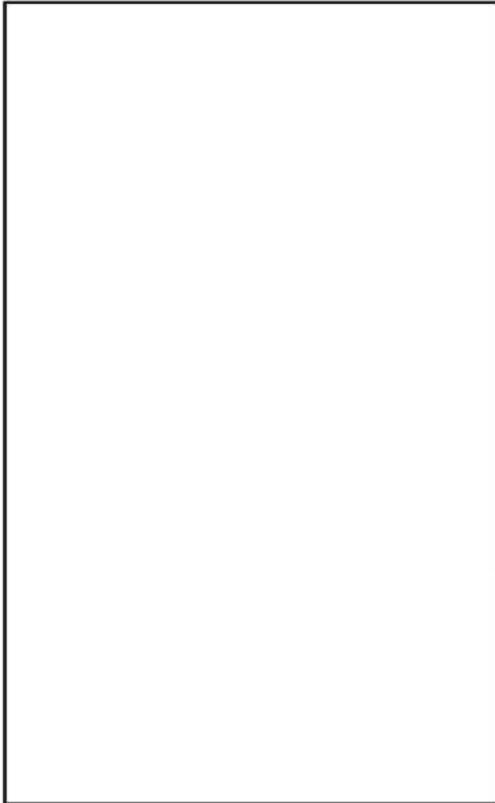
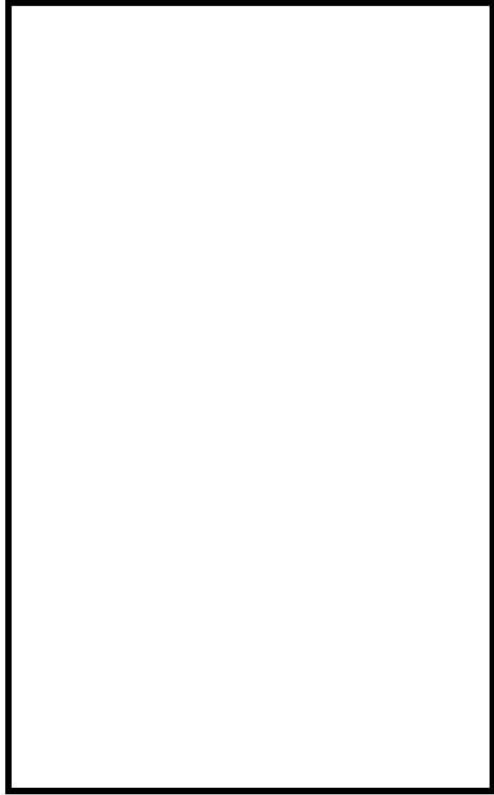
：温度・水位・流量・圧力計測用 (可搬型計測器)  
：温度計測用 (可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度))

- (注1)：全交流動力電源喪失時は、本所監視装置、格納容器再循環ユニット監視装置及び使用済燃料ホット水位監視装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度) により監視されるため監視可能である。
- (注2)：上部と下部の中性子基準均値
- (注3)：輸送器取り付け部に基準配管に水を満たした構造体 (コンデンサポット) があり、蒸気発生器の急激な減圧やドライアウト時に、基準配管の水が蒸発し、嵩めて不確か水位を示す可能性がある。



灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
<p>(以降、大飯該当資料なし)</p>	 <p style="writing-mode: vertical-rl; font-size: small;">図 58-9-1 可搬型計測器接続図面へのアクセスポート (制御室奥上 3 階)                  枠囲みの内容は防護上の観点から公開できません。</p>	 <p style="writing-mode: vertical-rl; font-size: small;">図 1 図 可搬型計測器接続図面へのアクセスポート                  枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違 (女川実績の反映)                  ・泊は女川実績を反映し、可搬型計測器及び可搬型温度計測装置へのアクセスルート図を記載している。</p>

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
		<div style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>	

第 2 図 可搬用温度計測装置 (格納容器内温度/出口温度) 接続箇所へのアクセスルート (1/3)  
 中継みの内容は撮影画像に属しません。

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
		<div style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>	

第 2 項 可搬型温度計測装置 (格納容器内温度) ネットワーク入口温度 / 出口温度 (注) 注記箇所へのアクセスルート (注 3)  
 利用時の内容は機密情報に属しますので公開できません。

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
		<div style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>	

第 2 図 可搬型固定計測装置(格納容器再循環)へのアクセスポート(3/3)  
 枠囲みの内容は機密情報に属します。ご了承ください。

灰色: 女川2号炉の記載のうち, BWR固有の設備や対応手段であり, 泊3号炉と比較対象とならない記載内容  
 赤字: 設備, 運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字: 記載表現, 設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																												
<p>58-8 審査会合会議資料</p> <p>重大事故等時における格納容器内計器の耐環境性について</p> <p>1. 重大事故等時における格納容器内の環境について                      重大事故等時の環境下で最も設置雰囲気環境が厳しくなるのは、格納容器内設置の計器であり、大飯3,4号機の重大事故シーケンスにおける格納容器内の圧力、温度、積算線量の最大値は表1のとおりである。</p> <table border="1" data-bbox="98 874 607 1091"> <caption>表1 重大事故シーケンスにおける格納容器内環境</caption> <thead> <tr> <th>パラメータ</th> <th>最大値</th> <th>最大値となるシナリオ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>圧力</td> <td>0.43MPa</td> <td>格納容器過温破損 格納容器雰囲気直接加熱</td> </tr> <tr> <td>温度</td> <td>144℃</td> <td>格納容器過圧破損 溶融炉心・コンクリート相互作用</td> </tr> <tr> <td>積算線量</td> <td></td> <td>格納容器過圧破損</td> </tr> </tbody> </table> <p>格納容器内に設置する計器について、表1の環境下における機能健全性を評価する。</p> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	パラメータ	最大値	最大値となるシナリオ	圧力	0.43MPa	格納容器過温破損 格納容器雰囲気直接加熱	温度	144℃	格納容器過圧破損 溶融炉心・コンクリート相互作用	積算線量		格納容器過圧破損	<p>58-10                      主要パラメータの耐環境性について</p> <p>計装設備の耐環境性について</p> <p>重大事故等対処設備である重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する計装設備について、耐環境性を整理した結果は以下のとおりである。</p> <p>1. 原子炉格納容器内                      原子炉格納容器内の重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する計装設備については、想定される原子炉格納容器内の温度、圧力及び放射線量に対して健全性を確認している。                      なお、中性子束計測装置については、重大事故等の発生初期の計測機能を求められるものであるため、設計基準対象施設としての設備仕様で要求機能を満足する。</p> <table border="1" data-bbox="680 874 1216 938"> <caption>表 58-10-1 重大事故等時における原子炉格納容器内の環境条件</caption> <thead> <tr> <th></th> <th>温度</th> <th>圧力</th> <th>放射線量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>環境条件</td> <td>200℃ (最大)</td> <td>0.85MPa[gage] (最大)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		温度	圧力	放射線量	環境条件	200℃ (最大)	0.85MPa[gage] (最大)		<p>58-10                      主要パラメータの耐環境性について</p> <p>計装設備の耐環境性について</p> <p>重大事故等対処設備である重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する計装設備について、耐環境性を整理した結果は以下のとおりである。</p> <p>1. 原子炉格納容器内                      原子炉格納容器内の重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する計装設備については、想定される原子炉格納容器内の温度、圧力及び放射線量に対して健全性を確認している。                      なお、中性子束計測装置については、重大事故等の発生初期の計測機能を求められるものであるため、設計基準対象施設としての設備仕様で要求機能を満足する。</p> <table border="1" data-bbox="1254 874 1812 967"> <caption>表 58-10-1 重大事故等時における原子炉格納容器内の環境条件</caption> <thead> <tr> <th></th> <th>温度</th> <th>圧力</th> <th>放射線量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>環境条件</td> <td>約141℃ (最大)</td> <td>約0.300MPa[gage] (最大)</td> <td>0.58Gy 以下</td> </tr> </tbody> </table>		温度	圧力	放射線量	環境条件	約141℃ (最大)	約0.300MPa[gage] (最大)	0.58Gy 以下	<p>【女川】炉型の相違                      ・PWRとBWRで想定される重大事故等及び対処するための設備が異なるため、環境条件については比較対象外とする。</p> <p>【大飯】資料番号の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【大飯】記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【大飯】記載表現の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【大飯】設備構成の相違                      ・大飯は4ループ、泊は3ループプラントであることによる設備構成の相違により、想定する環境条件が異なる。</p> <p>【大飯】記載方針の相違 (女川実績の反映)</p>
パラメータ	最大値	最大値となるシナリオ																													
圧力	0.43MPa	格納容器過温破損 格納容器雰囲気直接加熱																													
温度	144℃	格納容器過圧破損 溶融炉心・コンクリート相互作用																													
積算線量		格納容器過圧破損																													
	温度	圧力	放射線量																												
環境条件	200℃ (最大)	0.85MPa[gage] (最大)																													
	温度	圧力	放射線量																												
環境条件	約141℃ (最大)	約0.300MPa[gage] (最大)	0.58Gy 以下																												



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																								
	<p>表 58-10-2 耐環境試験の評価結果</p> <table border="1" data-bbox="672 191 1209 574"> <thead> <tr> <th>パラメータ名</th> <th>検出器の種類</th> <th>耐環境試験条件</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉圧力容器温度</td> <td>熱電対</td> <td rowspan="10"></td> <td>耐環境試験において、事故時雰囲気においても健全性が確保できることを確認している。</td> </tr> <tr> <td>ドライウェル温度</td> <td>熱電対</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>圧力抑制室内空気温度</td> <td>熱電対</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>サブプレッションプール水温度</td> <td>潤滑抵抗体</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器下部水位</td> <td>電極式水位検出器</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器下部温度</td> <td>熱電対</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>ドライウェル水位</td> <td>電極式水位検出器</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>格納容器内水素濃度 (D/W)</td> <td>水素吸蔵材料式水素検出器</td> <td>同上</td> </tr> </tbody> </table> <p>*1：センサは無機物で構成しており、耐放射線性を有している。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 10px auto;">枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</div> <p>2. 原子炉建屋原子炉棟内、原子炉建屋付属棟内、その他の建屋内及び屋外</p> <p>重大事故等時の原子炉建屋原子炉棟内、原子炉建屋付属棟内、その他建屋内及び屋外については、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する計装設備について、それぞれの設置場所における重大事故等時の環境条件に対する耐環境性を有する設計とする。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	パラメータ名	検出器の種類	耐環境試験条件	評価	原子炉圧力容器温度	熱電対		耐環境試験において、事故時雰囲気においても健全性が確保できることを確認している。	ドライウェル温度	熱電対	同上	圧力抑制室内空気温度	熱電対	同上	サブプレッションプール水温度	潤滑抵抗体	同上	原子炉格納容器下部水位	電極式水位検出器	同上	原子炉格納容器下部温度	熱電対	同上	ドライウェル水位	電極式水位検出器	同上	格納容器内水素濃度 (D/W)	水素吸蔵材料式水素検出器	同上	<p>表 58-10-2 耐環境試験の評価結果</p> <table border="1" data-bbox="1254 191 1814 861"> <thead> <tr> <th>パラメータ名</th> <th>検出器の種類</th> <th>耐環境試験条件</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1次冷却材圧力 (広域)</td> <td>弾性圧力検出器</td> <td rowspan="10" style="background-color: black;"></td> <td>耐環境試験において、事故時雰囲気においても健全性が確保できることを確認している。</td> </tr> <tr> <td>加圧器水位</td> <td rowspan="6">蒸圧式水位検出器</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器水位</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位 (狭域)</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位 (広域)</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環サンプ水位 (狭域)</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材温度 (広域-高温側)</td> <td rowspan="4">潤滑抵抗体</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>格納容器内温度</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内水素処理装置温度</td> <td rowspan="2">熱電対</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>格納容器水素イグナイタ温度</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>格納容器水位</td> <td rowspan="2">電極式水位検出器</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>原子炉下部キャビティ水位</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)</td> <td rowspan="2">電離箱</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)</td> <td>同上</td> </tr> </tbody> </table> <p>*1：センサは無機物で構成しており、耐放射線性を有している。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 10px auto;">枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</div> <p>2. 原子炉建屋内及び原子炉補助建屋内</p> <p>重大事故等時の原子炉建屋内及び原子炉補助建屋内については、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する計装設備について、それぞれの設置場所における重大事故等時の環境条件に対する耐環境性を有する設計とする。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	パラメータ名	検出器の種類	耐環境試験条件	評価	1次冷却材圧力 (広域)	弾性圧力検出器		耐環境試験において、事故時雰囲気においても健全性が確保できることを確認している。	加圧器水位	蒸圧式水位検出器	同上	原子炉容器水位	同上	蒸気発生器水位 (狭域)	同上	蒸気発生器水位 (広域)	同上	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	同上	格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	同上	1次冷却材温度 (広域-高温側)	潤滑抵抗体	同上	1次冷却材温度 (広域-低温側)	同上	格納容器内温度	同上	原子炉格納容器内水素処理装置温度	熱電対	同上	格納容器水素イグナイタ温度	同上	格納容器水位	電極式水位検出器	同上	原子炉下部キャビティ水位	同上	格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)	電離箱	同上	格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)	同上	<p>【女川】建屋名称の相違          【大飯】記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【女川】建屋名称の相違</p>
パラメータ名	検出器の種類	耐環境試験条件	評価																																																																								
原子炉圧力容器温度	熱電対		耐環境試験において、事故時雰囲気においても健全性が確保できることを確認している。																																																																								
ドライウェル温度	熱電対		同上																																																																								
圧力抑制室内空気温度	熱電対		同上																																																																								
サブプレッションプール水温度	潤滑抵抗体		同上																																																																								
原子炉格納容器下部水位	電極式水位検出器		同上																																																																								
原子炉格納容器下部温度	熱電対		同上																																																																								
ドライウェル水位	電極式水位検出器		同上																																																																								
格納容器内水素濃度 (D/W)	水素吸蔵材料式水素検出器		同上																																																																								
パラメータ名	検出器の種類		耐環境試験条件	評価																																																																							
1次冷却材圧力 (広域)	弾性圧力検出器			耐環境試験において、事故時雰囲気においても健全性が確保できることを確認している。																																																																							
加圧器水位	蒸圧式水位検出器	同上																																																																									
原子炉容器水位		同上																																																																									
蒸気発生器水位 (狭域)		同上																																																																									
蒸気発生器水位 (広域)		同上																																																																									
格納容器再循環サンプ水位 (広域)		同上																																																																									
格納容器再循環サンプ水位 (狭域)		同上																																																																									
1次冷却材温度 (広域-高温側)	潤滑抵抗体	同上																																																																									
1次冷却材温度 (広域-低温側)		同上																																																																									
格納容器内温度		同上																																																																									
原子炉格納容器内水素処理装置温度		熱電対	同上																																																																								
格納容器水素イグナイタ温度	同上																																																																										
格納容器水位	電極式水位検出器	同上																																																																									
原子炉下部キャビティ水位		同上																																																																									
格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)	電離箱	同上																																																																									
格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)		同上																																																																									

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>別紙-1</p> <p>2. 事故時模擬試験の方法</p> <p>格納容器内設置計器のうち重大事故等時に監視機能を期待される計器については、PWR電力共同研究等にてIEEE-323に準拠した耐環境試験として、事故時環境暴露試験および事故時放射線照射試験を実施する。</p> <p>○事故時環境暴露試験              試験装置の中に設置した計器に対して、事故時環境(温度、圧力、蒸気スプレイ)を印加し、監視機能を維持できることを確認する。</p> <p>○事故時放射線照射試験              試験装置の中に設置した計器に対して、事故時に想定される積算線量を印加し、監視機能を維持できることを確認する。</p> <div data-bbox="85 842 638 1125" style="border: 1px solid black; height: 177px; width: 247px;"></div> <p>図1 事故時模擬試験概要</p> <div data-bbox="141 1161 575 1185" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</div>	<p>別紙-1</p> <p>1. 原子炉格納容器内設置計器の事故時の環境について              重大事故等時の環境下で最も設置雰囲気環境が厳しくなるのは、原子炉格納容器内に設置している計器であり、想定される原子炉格納容器内の温度、圧力及び放射線量は、温度：200℃、圧力：0.854MPa[gage]及び放射線量：[ ]である。</p> <p>2. 試験方法              原子炉格納容器内設置計器のうち、重大事故等時に監視機能を期待される計器については、重大事故等時環境試験を実施している。</p> <div data-bbox="719 842 1133 1142" style="text-align: center;"> </div> <p>試験装置の中に設置した試験体に対して重大事故等時環境(温度、圧力、蒸気)を印加し、監視機能を維持できることを確認。</p> <p>図58-10-1 蒸気暴露試験装置イメージ図</p> <div data-bbox="741 1289 1153 1313" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</div>	<p>別紙-1</p> <p>1. 原子炉格納容器内設置計器の事故時の環境について              重大事故等時の環境下で最も設置雰囲気環境が厳しくなるのは、原子炉格納容器内に設置している計器であり、想定される原子炉格納容器内の温度、圧力及び放射線量は、温度：約141℃、圧力：0.360MPa[gage]及び放射線量：0.5MGy以下である。</p> <p>2. 試験方法              原子炉格納容器内設置計器のうち、重大事故等時に監視機能を期待される計器については、重大事故等時環境試験を実施している。</p> <div data-bbox="1249 834 1816 1126" style="border: 1px solid black; height: 183px; width: 253px;"></div> <p>図58-10-1 蒸気暴露試験装置イメージ図</p> <div data-bbox="1308 1169 1771 1193" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</div>	<p>【大飯】資料構成の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【大飯】記載表現の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【大飯】記載表現の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【大飯】記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【女川】記載表現の相違</p>

灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																	
<p>3. 試験結果</p> <p>事故時模擬試験において印加された事故時環境の実測値(表2)が重大事故シナリオの最大値を上回るとともに、事故時模擬試験後の性能試験にて各計器の健全性に問題ないことを確認した。</p> <p>表2 事故時模擬試験時の圧力、温度、積算線量の実測値</p> <table border="1" data-bbox="91 432 636 683"> <thead> <tr> <th rowspan="2">検出器種類</th> <th rowspan="2">監視計器</th> <th colspan="3">事故時模擬試験時の最大値</th> </tr> <tr> <th>圧力 [MPa (gauge)]</th> <th>温度 [℃]</th> <th>積算線量 [MGy]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">伝送器*</td> <td>1次冷却材圧力</td> <td rowspan="12">[Redacted]</td> <td rowspan="12">[Redacted]</td> <td rowspan="12">[Redacted]</td> </tr> <tr> <td>加圧器圧力</td> </tr> <tr> <td>加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位 (狭域)</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環ポンプ水位 (狭域)</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環ポンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">温度計** (RTD)</td> <td>1次冷却材高温側温度 (狭域)</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材低温側温度 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">エリアモニタ**</td> <td>格納容器内高レンジ (高レンジ)</td> </tr> <tr> <td>格納容器内高レンジ (低レンジ)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1: PFR 電力共同研究「新型耐環境性伝送器開発に関する研究」ほか          ※2: メーカー試験          ※3: PFR 電力共同研究「事故時(177Cs)の耐環境性評価研究」</p> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開できません。</p>	検出器種類	監視計器	事故時模擬試験時の最大値			圧力 [MPa (gauge)]	温度 [℃]	積算線量 [MGy]	伝送器*	1次冷却材圧力	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	加圧器圧力	加圧器水位	蒸気発生器水位 (狭域)	蒸気発生器水位 (広域)	格納容器再循環ポンプ水位 (狭域)	格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	温度計** (RTD)	1次冷却材高温側温度 (狭域)	1次冷却材低温側温度 (広域)	エリアモニタ**	格納容器内高レンジ (高レンジ)	格納容器内高レンジ (低レンジ)	<p>3. 原子炉格納容器内設置計器の事故時耐環境性試験結果</p> <p>重大事故等時環境試験の結果、温度200℃以上、圧力0.854MPa [gage]以上、積算線量 [Redacted] (無機物で構成している検出器は除く)の重大事故等時環境の印加に対し、試験中及び試験後の監視機能に問題がないことを確認しており、同試験条件が原子炉格納容器内の環境条件の最高値を満足することから、計器の健全性に問題はない。</p> <p>表 58-10-3 耐環境性試験の評価結果 (原子炉格納容器内設置計器)</p> <table border="1" data-bbox="685 432 1211 810"> <thead> <tr> <th>パラメータ名</th> <th>検出器の種類</th> <th>耐環境試験条件</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉圧力容器温度</td> <td>熱電対</td> <td rowspan="12">[Redacted]</td> <td>耐環境試験において、事故時雰囲気においても健全性が確保できることを確認している。</td> </tr> <tr> <td>ドライウェル温度</td> <td>熱電対</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>圧力制御室内空気温度</td> <td>熱電対</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>サブプレッションプール水温度</td> <td>測温抵抗体</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器下部水位</td> <td>電極式水位検出器</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器下部温度</td> <td>熱電対</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>ドライウェル水位</td> <td>電極式水位検出器</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>格納容器内水素濃度 (B/W) / 格納容器内水素濃度 (S/W)</td> <td>水素吸蔵材柱式水素検出器</td> <td>同上</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1: センサは無機物で構成しており、耐放射線性を有している。</p>	パラメータ名	検出器の種類	耐環境試験条件	評価	原子炉圧力容器温度	熱電対	[Redacted]	耐環境試験において、事故時雰囲気においても健全性が確保できることを確認している。	ドライウェル温度	熱電対	同上	圧力制御室内空気温度	熱電対	同上	サブプレッションプール水温度	測温抵抗体	同上	原子炉格納容器下部水位	電極式水位検出器	同上	原子炉格納容器下部温度	熱電対	同上	ドライウェル水位	電極式水位検出器	同上	格納容器内水素濃度 (B/W) / 格納容器内水素濃度 (S/W)	水素吸蔵材柱式水素検出器	同上	<p>3. 原子炉格納容器内設置計器の事故時耐環境性試験結果</p> <p>重大事故等時環境試験の結果、温度141℃以上、圧力0.360MPa [gage]以上、積算線量0.5MGy以上 (無機物で構成している検出器は除く)の重大事故等時環境の印加に対し、試験中及び試験後の監視機能に問題がないことを確認しており、同試験条件が原子炉格納容器内の環境条件の最高値を満足することから、計器の健全性に問題はない。</p> <p>表 58-10-3 耐環境性試験の評価結果 (原子炉格納容器内設置計器)</p> <table border="1" data-bbox="1256 432 1809 1098"> <thead> <tr> <th>パラメータ名</th> <th>検出器の種類</th> <th>耐環境試験条件</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1次冷却材圧力 (広域)</td> <td>弾性圧力検出器</td> <td rowspan="12">[Redacted]</td> <td>耐環境試験において、事故時雰囲気においても健全性が確保できることを確認している。</td> </tr> <tr> <td>加圧器水位</td> <td rowspan="12">差圧式水位検出器</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器水位</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位 (狭域)</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位 (広域)</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環サブ水位 (広域)</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環サブ水位 (狭域)</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材温度 (広域-高温側)</td> <td rowspan="2">測温抵抗体</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>格納容器内温度</td> <td rowspan="2">熱電対</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内水素処理装置温度</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>格納容器水素イグナイト温度</td> <td rowspan="2">電極式水位検出器</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>格納容器水位</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>原子炉下部キャビティ水位</td> <td rowspan="2">電離箱</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>格納容器内高レンジ エリアモニタ (高レンジ)</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>格納容器内高レンジ エリアモニタ (低レンジ)</td> <td>同上</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1: センサは無機物で構成しており、耐放射線性を有している。</p> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	パラメータ名	検出器の種類	耐環境試験条件	評価	1次冷却材圧力 (広域)	弾性圧力検出器	[Redacted]	耐環境試験において、事故時雰囲気においても健全性が確保できることを確認している。	加圧器水位	差圧式水位検出器	同上	原子炉容器水位	同上	蒸気発生器水位 (狭域)	同上	蒸気発生器水位 (広域)	同上	格納容器再循環サブ水位 (広域)	同上	格納容器再循環サブ水位 (狭域)	同上	1次冷却材温度 (広域-高温側)	測温抵抗体	同上	1次冷却材温度 (広域-低温側)	同上	格納容器内温度	熱電対	同上	原子炉格納容器内水素処理装置温度	同上	格納容器水素イグナイト温度	電極式水位検出器	同上	格納容器水位	同上	原子炉下部キャビティ水位	電離箱	同上	格納容器内高レンジ エリアモニタ (高レンジ)	同上	格納容器内高レンジ エリアモニタ (低レンジ)	同上	<p>【大飯】記載表現の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【大飯】記載表現の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【大飯】記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大飯では原子炉格納容器内の重要な監視パラメータのみ記載し、重要代替パラメータは記載していないが、泊では原子炉格納容器内の重要な監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを記載している。</li> </ul>
検出器種類			監視計器	事故時模擬試験時の最大値																																																																																																
	圧力 [MPa (gauge)]	温度 [℃]		積算線量 [MGy]																																																																																																
伝送器*	1次冷却材圧力	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]																																																																																																
	加圧器圧力																																																																																																			
	加圧器水位																																																																																																			
	蒸気発生器水位 (狭域)																																																																																																			
蒸気発生器水位 (広域)																																																																																																				
格納容器再循環ポンプ水位 (狭域)																																																																																																				
格納容器再循環ポンプ水位 (広域)																																																																																																				
温度計** (RTD)	1次冷却材高温側温度 (狭域)																																																																																																			
	1次冷却材低温側温度 (広域)																																																																																																			
エリアモニタ**	格納容器内高レンジ (高レンジ)																																																																																																			
	格納容器内高レンジ (低レンジ)																																																																																																			
パラメータ名	検出器の種類				耐環境試験条件	評価																																																																																														
原子炉圧力容器温度	熱電対	[Redacted]	耐環境試験において、事故時雰囲気においても健全性が確保できることを確認している。																																																																																																	
ドライウェル温度	熱電対		同上																																																																																																	
圧力制御室内空気温度	熱電対		同上																																																																																																	
サブプレッションプール水温度	測温抵抗体		同上																																																																																																	
原子炉格納容器下部水位	電極式水位検出器		同上																																																																																																	
原子炉格納容器下部温度	熱電対		同上																																																																																																	
ドライウェル水位	電極式水位検出器		同上																																																																																																	
格納容器内水素濃度 (B/W) / 格納容器内水素濃度 (S/W)	水素吸蔵材柱式水素検出器		同上																																																																																																	
パラメータ名	検出器の種類		耐環境試験条件	評価																																																																																																
1次冷却材圧力 (広域)	弾性圧力検出器		[Redacted]	耐環境試験において、事故時雰囲気においても健全性が確保できることを確認している。																																																																																																
加圧器水位	差圧式水位検出器			同上																																																																																																
原子炉容器水位				同上																																																																																																
蒸気発生器水位 (狭域)		同上																																																																																																		
蒸気発生器水位 (広域)		同上																																																																																																		
格納容器再循環サブ水位 (広域)		同上																																																																																																		
格納容器再循環サブ水位 (狭域)		同上																																																																																																		
1次冷却材温度 (広域-高温側)		測温抵抗体		同上																																																																																																
1次冷却材温度 (広域-低温側)				同上																																																																																																
格納容器内温度		熱電対		同上																																																																																																
原子炉格納容器内水素処理装置温度				同上																																																																																																
格納容器水素イグナイト温度		電極式水位検出器		同上																																																																																																
格納容器水位			同上																																																																																																	
原子炉下部キャビティ水位	電離箱	同上																																																																																																		
格納容器内高レンジ エリアモニタ (高レンジ)		同上																																																																																																		
格納容器内高レンジ エリアモニタ (低レンジ)	同上																																																																																																			

灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容  
 赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																												
	<p>表 58-10-4 重大事故等時における耐環境条件<sup>※1, 2, 3</sup></p> <table border="1" data-bbox="689 199 1211 491"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設置場所</th> <th rowspan="2">類型化区分</th> <th colspan="4">環境条件</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>温度</th> <th>圧力</th> <th>湿度</th> <th>放射線</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉格納容器内</td> <td>A</td> <td>200℃</td> <td>0.63MPa [gage]</td> <td>従来設計と同等 (100%)<sup>※9</sup>、又はそれ以下</td> <td>従来設計と同等 (100%)<sup>※9</sup>、又はそれ以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉補助格納容器内<sup>※4</sup></td> <td>B</td> <td>従来設計と同等 (100%)<sup>※9</sup>、又はそれ以下</td> <td>0.4MPa [gage]、又はそれ以下</td> <td>従来設計と同等 (100%)<sup>※9</sup>、又はそれ以下</td> <td>従来設計と同等 (100%)<sup>※9</sup>、又はそれ以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他の建屋内</td> <td>C</td> <td>通常状態における設計値と同等</td> <td>大気圧相当</td> <td>通常状態における設計値と同等</td> <td>設置場所及び原子炉補助格納容器の耐環境条件の範囲を可及的に拡大する</td> <td></td> </tr> <tr> <td>屋外</td> <td>B</td> <td>外気温 (最大約 37℃)</td> <td>大気圧</td> <td>通常状態における設計値と同等</td> <td>設置場所及び原子炉補助格納容器の耐環境条件の範囲を可及的に拡大する</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 表中は各環境条件項目の最大値を記載する。また、評価値は詳細評価により今後見直す可能性もある。          ※2 設備設置場所や設備の固有の条件 (付近に発熱源や線源があるもの) の影響を受けるものは個別に評価する。          ※3 中心相違の有無、原子炉格納容器内へたばき等の有無、設備の配置場所等により大きく異なるため、それらの影響が大きいものは個別に評価する。          ※4 建屋内の事故においては使用済燃料プール周囲の設計を考慮する。また、格納容器バイパス (インターフェイスシステムLOCA) 等の原子炉建屋原子炉格納容器内への影響が大きくなり、必要な設備が限定される事象については、個別に設定する。          ※5 従来設計値は非常状態における安全系機器の設計値の一例を示す。          ※6 原子炉格納容器内への設計値の一例を示す。</p> <div data-bbox="779 646 1126 671" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">             枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。         </div>	設置場所	類型化区分	環境条件				備考	温度	圧力	湿度	放射線	原子炉格納容器内	A	200℃	0.63MPa [gage]	従来設計と同等 (100%) <sup>※9</sup> 、又はそれ以下	従来設計と同等 (100%) <sup>※9</sup> 、又はそれ以下		原子炉補助格納容器内 <sup>※4</sup>	B	従来設計と同等 (100%) <sup>※9</sup> 、又はそれ以下	0.4MPa [gage]、又はそれ以下	従来設計と同等 (100%) <sup>※9</sup> 、又はそれ以下	従来設計と同等 (100%) <sup>※9</sup> 、又はそれ以下		その他の建屋内	C	通常状態における設計値と同等	大気圧相当	通常状態における設計値と同等	設置場所及び原子炉補助格納容器の耐環境条件の範囲を可及的に拡大する		屋外	B	外気温 (最大約 37℃)	大気圧	通常状態における設計値と同等	設置場所及び原子炉補助格納容器の耐環境条件の範囲を可及的に拡大する		<p>表 58-10-4 重大事故等時における耐環境条件<sup>※1, 2, 3</sup></p> <table border="1" data-bbox="1256 199 1809 624"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設置場所</th> <th rowspan="2">類型化区分</th> <th colspan="4">環境条件</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>温度</th> <th>圧力</th> <th>湿度</th> <th>放射線</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉格納容器内</td> <td>A</td> <td>141℃</td> <td>0.360MPa [gage]</td> <td>従来設計と同等 (100%)<sup>※9</sup>、又はそれ以下</td> <td>従来設計と同等 (100%)<sup>※9</sup>、又はそれ以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内<sup>※4</sup></td> <td>Ba</td> <td>112℃、又はそれ以下</td> <td>大気圧相当</td> <td>従来設計と同等 (100%)<sup>※9</sup>、又はそれ以下</td> <td>50mSv/h、又はそれ以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット事故時に影響を受ける箇所<sup>※5</sup></td> <td>Bb</td> <td>100℃</td> <td>大気圧相当</td> <td>100%</td> <td>0.15mSv/h、又はそれ以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器熱管破損時に破損側蒸気発生器の隔離に失敗する事故時に影響を受ける箇所<sup>※7</sup></td> <td>Bc</td> <td>50℃、又はそれ以下</td> <td>大気圧相当</td> <td>従来設計と同等 (100%)<sup>※9</sup>、又はそれ以下</td> <td>20mSv/h、又はそれ以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他耐震建屋内<sup>※6</sup></td> <td>Bd</td> <td>60℃、又はそれ以下</td> <td>大気圧相当</td> <td>従来設計と同等 (100%)<sup>※9</sup>、又はそれ以下</td> <td>100mSv/h、又はそれ以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>屋外</td> <td>C</td> <td>外気温 (35℃)</td> <td>大気圧</td> <td>通常状態における設計値と同等</td> <td>10mSv/h、又はそれ以下</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 表中は各環境条件の項目の最大値を記載する。また、評価値は詳細評価により今後見直す可能性もある。          ※2 設備設置場所や設備の固有の条件 (付近に発熱源や線源があるもの) の影響を受けるものは個別に評価する。          ※3 中心相違の有無、設備の配置場所等により大きく異なるため、それらの影響が大きいものは個別に評価する。          ※4 格納容器バイパス (インターフェイスシステム LOCA 及び蒸気発生器熱管破損時に破損側蒸気発生器の隔離に失敗する事故時) 及び使用済燃料ピット事故時の周辺補機棟、燃料取扱棟及び原子炉補助建屋等の環境への影響が大きくなり、必要な設備が限定される事象については、個別に設定する。          ※5 格納容器バイパス (インターフェイスシステム LOCA) 時に使用が期待される安全補機室及び周辺区画の設備の設置箇所。          ※6 使用済燃料ピットにおける重大事故に至るおそれがある事故時に使用が期待される使用済燃料ピット及び周辺区画に設置する設備の設置箇所。          ※7 格納容器バイパス (蒸気発生器熱管破損時に破損側蒸気発生器の隔離に失敗する事故) 時に使用が期待される主蒸気管及び周辺区画の設備の設置箇所。          ※8 インターフェイスシステム LOCA 時、使用済燃料ピットにおける重大事故に至るおそれがある事故時、蒸気発生器熱管破損時に破損側蒸気発生器の隔離に失敗する事故時に使用されるが、それらの事故の影響を受けない設備又はそれらの事故以外の事故時に使用が期待される設備の、周辺補機棟及び原子炉補助建屋等の設置箇所。          ※9 従来設計値は非常状態における安全系機器の設計値の一例を示す。</p>	設置場所	類型化区分	環境条件				備考	温度	圧力	湿度	放射線	原子炉格納容器内	A	141℃	0.360MPa [gage]	従来設計と同等 (100%) <sup>※9</sup> 、又はそれ以下	従来設計と同等 (100%) <sup>※9</sup> 、又はそれ以下		原子炉格納容器内 <sup>※4</sup>	Ba	112℃、又はそれ以下	大気圧相当	従来設計と同等 (100%) <sup>※9</sup> 、又はそれ以下	50mSv/h、又はそれ以下		使用済燃料ピット事故時に影響を受ける箇所 <sup>※5</sup>	Bb	100℃	大気圧相当	100%	0.15mSv/h、又はそれ以下		蒸気発生器熱管破損時に破損側蒸気発生器の隔離に失敗する事故時に影響を受ける箇所 <sup>※7</sup>	Bc	50℃、又はそれ以下	大気圧相当	従来設計と同等 (100%) <sup>※9</sup> 、又はそれ以下	20mSv/h、又はそれ以下		その他耐震建屋内 <sup>※6</sup>	Bd	60℃、又はそれ以下	大気圧相当	従来設計と同等 (100%) <sup>※9</sup> 、又はそれ以下	100mSv/h、又はそれ以下		屋外	C	外気温 (35℃)	大気圧	通常状態における設計値と同等	10mSv/h、又はそれ以下		<p>【大飯】記載方針の相違 (女川実績の反映)          【女川】記載方針の相違          ・女川では設置場所耐環境条件を分類しているが、泊では設置場所に加えインターフェイスシステムLOCAや使用済燃料ピット事故等の事故により影響を受ける場所も分類し、より詳細な分類としている。</p>
設置場所	類型化区分			環境条件					備考																																																																																						
		温度	圧力	湿度	放射線																																																																																										
原子炉格納容器内	A	200℃	0.63MPa [gage]	従来設計と同等 (100%) <sup>※9</sup> 、又はそれ以下	従来設計と同等 (100%) <sup>※9</sup> 、又はそれ以下																																																																																										
原子炉補助格納容器内 <sup>※4</sup>	B	従来設計と同等 (100%) <sup>※9</sup> 、又はそれ以下	0.4MPa [gage]、又はそれ以下	従来設計と同等 (100%) <sup>※9</sup> 、又はそれ以下	従来設計と同等 (100%) <sup>※9</sup> 、又はそれ以下																																																																																										
その他の建屋内	C	通常状態における設計値と同等	大気圧相当	通常状態における設計値と同等	設置場所及び原子炉補助格納容器の耐環境条件の範囲を可及的に拡大する																																																																																										
屋外	B	外気温 (最大約 37℃)	大気圧	通常状態における設計値と同等	設置場所及び原子炉補助格納容器の耐環境条件の範囲を可及的に拡大する																																																																																										
設置場所	類型化区分	環境条件				備考																																																																																									
		温度	圧力	湿度	放射線																																																																																										
原子炉格納容器内	A	141℃	0.360MPa [gage]	従来設計と同等 (100%) <sup>※9</sup> 、又はそれ以下	従来設計と同等 (100%) <sup>※9</sup> 、又はそれ以下																																																																																										
原子炉格納容器内 <sup>※4</sup>	Ba	112℃、又はそれ以下	大気圧相当	従来設計と同等 (100%) <sup>※9</sup> 、又はそれ以下	50mSv/h、又はそれ以下																																																																																										
使用済燃料ピット事故時に影響を受ける箇所 <sup>※5</sup>	Bb	100℃	大気圧相当	100%	0.15mSv/h、又はそれ以下																																																																																										
蒸気発生器熱管破損時に破損側蒸気発生器の隔離に失敗する事故時に影響を受ける箇所 <sup>※7</sup>	Bc	50℃、又はそれ以下	大気圧相当	従来設計と同等 (100%) <sup>※9</sup> 、又はそれ以下	20mSv/h、又はそれ以下																																																																																										
その他耐震建屋内 <sup>※6</sup>	Bd	60℃、又はそれ以下	大気圧相当	従来設計と同等 (100%) <sup>※9</sup> 、又はそれ以下	100mSv/h、又はそれ以下																																																																																										
屋外	C	外気温 (35℃)	大気圧	通常状態における設計値と同等	10mSv/h、又はそれ以下																																																																																										









灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

(参考)表 58-10-5 計装設備の耐環境性について (3/4) ※1

Table with columns for equipment name, location, and various performance metrics. Includes entries for '可動型制御室内水漏れ検出ユニット' and '可動型アナログ水漏れ検出ユニット'.

※1：表中の耐環境性の数値は基本設計段階の数値であり、詳細設計により見直し可能な数値もある。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(参考)表 58-10-5 計装設備の耐環境性について (3/4) ※1

Table with columns for equipment name, location, and various performance metrics. Includes entries for '可動型制御室内水漏れ検出ユニット' and '可動型アナログ水漏れ検出ユニット'.

※1：表中の耐環境性の数値は基本設計段階の数値であり、詳細設計により見直し可能な数値もある。

枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

(参考) 表 58-10-5 計装設備の耐環境性について (4/4) ※1

名称	検出部の種類	検出部位	耐環境性				備考
			温度	湿度	振動	衝撃	
原子炉監視用核分裂生成物濃度計	検出器（γ線計測）	圧入部	50℃	90%RH	100Hz	200G	耐環境性試験により確認済。原子炉建屋内（原子炉建屋）の環境下にて試験実施。試験結果は合格。
高純度モニタリング装置用検出器	検出器（γ線計測）	圧入部	50℃	90%RH	100Hz	200G	耐環境性試験により確認済。原子炉建屋内（原子炉建屋）の環境下にて試験実施。試験結果は合格。
放射線監視装置用検出器	検出器（γ線計測）	圧入部	50℃	90%RH	100Hz	200G	耐環境性試験により確認済。原子炉建屋内（原子炉建屋）の環境下にて試験実施。試験結果は合格。
放射線モニタリング装置用検出器	検出器（γ線計測）	圧入部	50℃	90%RH	100Hz	200G	耐環境性試験により確認済。原子炉建屋内（原子炉建屋）の環境下にて試験実施。試験結果は合格。
放射線モニタリング装置用検出器	検出器（γ線計測）	圧入部	50℃	90%RH	100Hz	200G	耐環境性試験により確認済。原子炉建屋内（原子炉建屋）の環境下にて試験実施。試験結果は合格。
原子炉監視用圧力センサー	検出器（圧力計測）	圧入部	50℃	90%RH	100Hz	200G	耐環境性試験により確認済。原子炉建屋内（原子炉建屋）の環境下にて試験実施。試験結果は合格。
放射線監視装置用検出器	検出器（γ線計測）	圧入部	50℃	90%RH	100Hz	200G	耐環境性試験により確認済。原子炉建屋内（原子炉建屋）の環境下にて試験実施。試験結果は合格。
放射線監視装置用検出器	検出器（γ線計測）	圧入部	50℃	90%RH	100Hz	200G	耐環境性試験により確認済。原子炉建屋内（原子炉建屋）の環境下にて試験実施。試験結果は合格。
放射線監視装置用検出器	検出器（γ線計測）	圧入部	50℃	90%RH	100Hz	200G	耐環境性試験により確認済。原子炉建屋内（原子炉建屋）の環境下にて試験実施。試験結果は合格。
放射線監視装置用検出器	検出器（γ線計測）	圧入部	50℃	90%RH	100Hz	200G	耐環境性試験により確認済。原子炉建屋内（原子炉建屋）の環境下にて試験実施。試験結果は合格。
放射線監視装置用検出器	検出器（γ線計測）	圧入部	50℃	90%RH	100Hz	200G	耐環境性試験により確認済。原子炉建屋内（原子炉建屋）の環境下にて試験実施。試験結果は合格。

※1：表中の各耐環境性の数値は基本設計段階の数値であり、詳細設計により今後見直し可能な数値もある。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

名称	検出部の種類	検出部位	耐環境性				備考
			温度	湿度	振動	衝撃	
放射線監視装置用検出器	検出器（γ線計測）	圧入部	50℃	90%RH	100Hz	200G	耐環境性試験により確認済。原子炉建屋内（原子炉建屋）の環境下にて試験実施。試験結果は合格。
放射線監視装置用検出器	検出器（γ線計測）	圧入部	50℃	90%RH	100Hz	200G	耐環境性試験により確認済。原子炉建屋内（原子炉建屋）の環境下にて試験実施。試験結果は合格。
放射線監視装置用検出器	検出器（γ線計測）	圧入部	50℃	90%RH	100Hz	200G	耐環境性試験により確認済。原子炉建屋内（原子炉建屋）の環境下にて試験実施。試験結果は合格。

※1：表中の各耐環境性の数値は基本設計段階の数値であり、詳細設計により今後見直し可能な数値もある。

枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備（補足説明資料）

大飯発電所3／4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由															
<p>(参考) 大飯3、4号炉 原子炉格納容器内の放射線環境について</p> <p>1. はじめに                      原子炉格納容器（C/V）内に設置されている計装設備の耐放射線に対する要求条件を確認するため、シビアアクシデント（SA）時のC/V内の放射線環境を評価した。</p> <p>2. 評価条件                      SA時にC/V内に放出された核分裂生成物（FP）がC/V空間に均一に分布するとし、第1表に示す条件に基づき、C/V内の放射線量を評価した。</p> <p style="text-align: center;">第1表 評価条件</p> <table border="1" data-bbox="91 582 633 879"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>条件</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>線源強度</td> <td>炉心 55GW ウラン炉心</td> <td></td> </tr> <tr> <td>線量評価モデル</td> <td>形状・評価点 C/V 自由体積を保存した半球モデル 評価点は、半球面の中心</td> <td>当該事象を模擬したC/V内へのFP量の時間変化を考慮</td> </tr> <tr> <td></td> <td>密度 C/V内に存在する水分を考慮し、C/V空間に均質化した嵩密度</td> <td>壁面設置の計器が180度方向から放射線照射を受けることを模擬</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>当該事象を模擬したC/V内の水分量の時間変化を考慮</td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 評価結果                      解析の結果、SA時に想定される放射線積算値は [ ] [ ] であることを確認した。</p> <p style="text-align: right;">以上</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	項目	条件	備考	線源強度	炉心 55GW ウラン炉心		線量評価モデル	形状・評価点 C/V 自由体積を保存した半球モデル 評価点は、半球面の中心	当該事象を模擬したC/V内へのFP量の時間変化を考慮		密度 C/V内に存在する水分を考慮し、C/V空間に均質化した嵩密度	壁面設置の計器が180度方向から放射線照射を受けることを模擬			当該事象を模擬したC/V内の水分量の時間変化を考慮			<p>【大飯】資料構成の相違（女川実績の反映）</p>
項目	条件	備考																
線源強度	炉心 55GW ウラン炉心																	
線量評価モデル	形状・評価点 C/V 自由体積を保存した半球モデル 評価点は、半球面の中心	当該事象を模擬したC/V内へのFP量の時間変化を考慮																
	密度 C/V内に存在する水分を考慮し、C/V空間に均質化した嵩密度	壁面設置の計器が180度方向から放射線照射を受けることを模擬																
		当該事象を模擬したC/V内の水分量の時間変化を考慮																

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容  
 赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(大飯該当資料なし。以降同様。)</p>	<p>58-11 パラメータの抽出について</p> <p>1. 設置許可基準規則の第58条における計装設備 設置許可基準規則第58条で抽出されたパラメータは、その他の条文にて主要設備を用いた炉心損傷防止及び格納容器破損防止対策等を成功させるために把握することが必要な発電用原子炉施設の状態として抽出された計装設備であり、各条文との関連性を明確にしたものを表58-11-1に示す。</p> <p>2. 重大事故等対策の有効性評価において期待する計装設備 重大事故等対策の有効性評価において必要なパラメータは、炉心損傷防止及び格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な判断及び監視に用いる計装設備であり、これらが本条文中で適切に抽出されていることを表58-11-2に示す。</p>	<p>58-11 パラメータの抽出について</p> <p>1. 設置許可基準規則の第58条における計装設備 設置許可基準規則第58条で抽出されたパラメータは、その他の条文にて主要設備を用いた炉心損傷防止及び格納容器破損防止対策等を成功させるために把握することが必要な発電用原子炉施設の状態として抽出された計装設備であり、各条文との関連性を明確にしたものを表58-11-1に示す。</p> <p>2. 重大事故等対策の有効性評価において期待する計装設備 重大事故等対策の有効性評価において必要なパラメータは、炉心損傷防止及び格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な判断及び監視に用いる計装設備であり、これらが本条文中で適切に抽出されていることを表58-11-2に示す。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違 (女川実績の反映)</p>



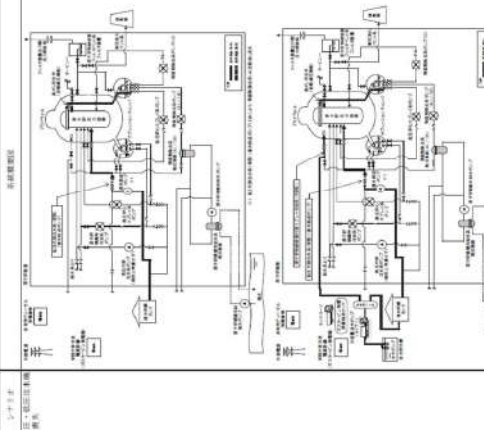
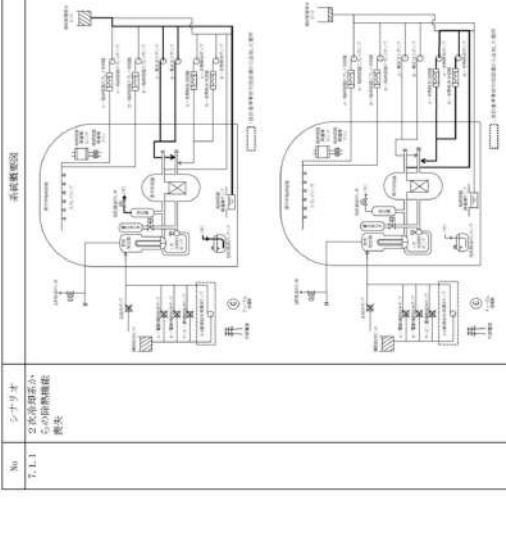
灰色: 女川 2 号炉の記載のうち, BWR 固有の設備や対応手段であり, 泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備, 運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
緑字: 記載表現, 設備名称の相違 (実質的な相違なし)

飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由																																																																																																																																																																						
	<p style="text-align: center;">表 58-11-1 設置許可基準規則の第 58 条における計装設備</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>計装設備</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td>31</td><td>32</td><td>33</td><td>34</td><td>35</td><td>36</td><td>37</td><td>38</td><td>39</td><td>40</td><td>41</td><td>42</td><td>43</td><td>44</td><td>45</td><td>46</td><td>47</td><td>48</td><td>49</td><td>50</td></tr> <tr><td>圧力監視装置</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <!-- Additional rows would follow similar pattern --> </table>	計装設備	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	圧力監視装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<p style="text-align: center;">表 58-11-1 設置許可基準規則の第 58 条における計装設備</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>計装設備</td><td>41</td><td>42</td><td>43</td><td>44</td><td>45</td><td>46</td><td>47</td><td>48</td><td>49</td><td>50</td><td>51</td><td>52</td><td>53</td><td>54</td><td>55</td><td>56</td><td>57</td><td>58</td><td>59</td><td>60</td><td>61</td><td>62</td><td>63</td><td>64</td><td>65</td><td>66</td><td>67</td><td>68</td><td>69</td><td>70</td><td>71</td><td>72</td><td>73</td><td>74</td><td>75</td><td>76</td><td>77</td><td>78</td><td>79</td><td>80</td></tr> <tr><td>圧力監視装置</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <!-- Additional rows would follow similar pattern --> </table>	計装設備	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	圧力監視装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<p>【女川】炉型の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PWRとBWRで想定される重大事故等及び対処するための監視パラメータが異なるため, 比較対象外としている。</li> </ul>
計装設備	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50																																																																																																																																	
圧力監視装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																
計装設備	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80																																																																																																																																	
圧力監視装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	<p>表58-11-2-37条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について(1/36)</p> 	<p>表58-11-2-37条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について(1/55)</p> 	<p>相違理由</p> <p>【女川】炉型の相違              ・PWRとBWRで想定される重大事故等及び対処するための監視パラメータが異なるため、比較対象外としている。以下、同表において同じ。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	<p>期待する設備</p> <table border="1" data-bbox="705 159 1220 558"> <tr><td>13条 (ポンプ)</td><td>循環ポンプ</td></tr> <tr><td>14条 (ポンプ)</td><td>14条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>15条 (ポンプ)</td><td>15条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>16条</td><td>16条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>17条</td><td>17条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>18条</td><td>18条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>19条</td><td>19条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>20条</td><td>20条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>21条</td><td>21条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>22条</td><td>22条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>23条</td><td>23条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>24条</td><td>24条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>25条</td><td>25条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>26条</td><td>26条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>27条</td><td>27条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>28条</td><td>28条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>29条</td><td>29条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>30条</td><td>30条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>31条</td><td>31条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>32条</td><td>32条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>33条</td><td>33条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>34条</td><td>34条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>35条</td><td>35条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>36条</td><td>36条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>37条</td><td>37条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>38条</td><td>38条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>39条</td><td>39条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>40条</td><td>40条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>41条</td><td>41条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>42条</td><td>42条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>43条</td><td>43条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>44条</td><td>44条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>45条</td><td>45条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>46条</td><td>46条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>47条</td><td>47条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>48条</td><td>48条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>49条</td><td>49条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>50条</td><td>50条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>51条</td><td>51条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>52条</td><td>52条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>53条</td><td>53条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>54条</td><td>54条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>55条</td><td>55条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>56条</td><td>56条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>57条</td><td>57条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>58条</td><td>58条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>59条</td><td>59条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>60条</td><td>60条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>61条</td><td>61条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>62条</td><td>62条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>63条</td><td>63条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>64条</td><td>64条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>65条</td><td>65条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>66条</td><td>66条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>67条</td><td>67条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>68条</td><td>68条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>69条</td><td>69条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>70条</td><td>70条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>71条</td><td>71条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>72条</td><td>72条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>73条</td><td>73条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>74条</td><td>74条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>75条</td><td>75条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>76条</td><td>76条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>77条</td><td>77条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>78条</td><td>78条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>79条</td><td>79条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>80条</td><td>80条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>81条</td><td>81条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>82条</td><td>82条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>83条</td><td>83条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>84条</td><td>84条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>85条</td><td>85条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>86条</td><td>86条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>87条</td><td>87条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>88条</td><td>88条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>89条</td><td>89条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>90条</td><td>90条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>91条</td><td>91条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>92条</td><td>92条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>93条</td><td>93条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>94条</td><td>94条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>95条</td><td>95条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>96条</td><td>96条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>97条</td><td>97条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>98条</td><td>98条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>99条</td><td>99条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>100条</td><td>100条 (ポンプ)</td></tr> </table>	13条 (ポンプ)	循環ポンプ	14条 (ポンプ)	14条 (ポンプ)	15条 (ポンプ)	15条 (ポンプ)	16条	16条 (ポンプ)	17条	17条 (ポンプ)	18条	18条 (ポンプ)	19条	19条 (ポンプ)	20条	20条 (ポンプ)	21条	21条 (ポンプ)	22条	22条 (ポンプ)	23条	23条 (ポンプ)	24条	24条 (ポンプ)	25条	25条 (ポンプ)	26条	26条 (ポンプ)	27条	27条 (ポンプ)	28条	28条 (ポンプ)	29条	29条 (ポンプ)	30条	30条 (ポンプ)	31条	31条 (ポンプ)	32条	32条 (ポンプ)	33条	33条 (ポンプ)	34条	34条 (ポンプ)	35条	35条 (ポンプ)	36条	36条 (ポンプ)	37条	37条 (ポンプ)	38条	38条 (ポンプ)	39条	39条 (ポンプ)	40条	40条 (ポンプ)	41条	41条 (ポンプ)	42条	42条 (ポンプ)	43条	43条 (ポンプ)	44条	44条 (ポンプ)	45条	45条 (ポンプ)	46条	46条 (ポンプ)	47条	47条 (ポンプ)	48条	48条 (ポンプ)	49条	49条 (ポンプ)	50条	50条 (ポンプ)	51条	51条 (ポンプ)	52条	52条 (ポンプ)	53条	53条 (ポンプ)	54条	54条 (ポンプ)	55条	55条 (ポンプ)	56条	56条 (ポンプ)	57条	57条 (ポンプ)	58条	58条 (ポンプ)	59条	59条 (ポンプ)	60条	60条 (ポンプ)	61条	61条 (ポンプ)	62条	62条 (ポンプ)	63条	63条 (ポンプ)	64条	64条 (ポンプ)	65条	65条 (ポンプ)	66条	66条 (ポンプ)	67条	67条 (ポンプ)	68条	68条 (ポンプ)	69条	69条 (ポンプ)	70条	70条 (ポンプ)	71条	71条 (ポンプ)	72条	72条 (ポンプ)	73条	73条 (ポンプ)	74条	74条 (ポンプ)	75条	75条 (ポンプ)	76条	76条 (ポンプ)	77条	77条 (ポンプ)	78条	78条 (ポンプ)	79条	79条 (ポンプ)	80条	80条 (ポンプ)	81条	81条 (ポンプ)	82条	82条 (ポンプ)	83条	83条 (ポンプ)	84条	84条 (ポンプ)	85条	85条 (ポンプ)	86条	86条 (ポンプ)	87条	87条 (ポンプ)	88条	88条 (ポンプ)	89条	89条 (ポンプ)	90条	90条 (ポンプ)	91条	91条 (ポンプ)	92条	92条 (ポンプ)	93条	93条 (ポンプ)	94条	94条 (ポンプ)	95条	95条 (ポンプ)	96条	96条 (ポンプ)	97条	97条 (ポンプ)	98条	98条 (ポンプ)	99条	99条 (ポンプ)	100条	100条 (ポンプ)	<p>期待する設備</p> <table border="1" data-bbox="1288 159 1792 558"> <tr><td>43条 (ポンプ)</td><td>43条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>44条 (ポンプ)</td><td>44条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>45条 (ポンプ)</td><td>45条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>46条 (ポンプ)</td><td>46条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>47条 (ポンプ)</td><td>47条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>48条 (ポンプ)</td><td>48条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>49条 (ポンプ)</td><td>49条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>50条 (ポンプ)</td><td>50条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>51条 (ポンプ)</td><td>51条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>52条 (ポンプ)</td><td>52条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>53条 (ポンプ)</td><td>53条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>54条 (ポンプ)</td><td>54条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>55条 (ポンプ)</td><td>55条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>56条 (ポンプ)</td><td>56条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>57条 (ポンプ)</td><td>57条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>58条 (ポンプ)</td><td>58条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>59条 (ポンプ)</td><td>59条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>60条 (ポンプ)</td><td>60条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>61条 (ポンプ)</td><td>61条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>62条 (ポンプ)</td><td>62条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>63条 (ポンプ)</td><td>63条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>64条 (ポンプ)</td><td>64条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>65条 (ポンプ)</td><td>65条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>66条 (ポンプ)</td><td>66条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>67条 (ポンプ)</td><td>67条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>68条 (ポンプ)</td><td>68条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>69条 (ポンプ)</td><td>69条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>70条 (ポンプ)</td><td>70条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>71条 (ポンプ)</td><td>71条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>72条 (ポンプ)</td><td>72条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>73条 (ポンプ)</td><td>73条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>74条 (ポンプ)</td><td>74条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>75条 (ポンプ)</td><td>75条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>76条 (ポンプ)</td><td>76条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>77条 (ポンプ)</td><td>77条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>78条 (ポンプ)</td><td>78条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>79条 (ポンプ)</td><td>79条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>80条 (ポンプ)</td><td>80条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>81条 (ポンプ)</td><td>81条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>82条 (ポンプ)</td><td>82条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>83条 (ポンプ)</td><td>83条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>84条 (ポンプ)</td><td>84条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>85条 (ポンプ)</td><td>85条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>86条 (ポンプ)</td><td>86条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>87条 (ポンプ)</td><td>87条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>88条 (ポンプ)</td><td>88条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>89条 (ポンプ)</td><td>89条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>90条 (ポンプ)</td><td>90条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>91条 (ポンプ)</td><td>91条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>92条 (ポンプ)</td><td>92条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>93条 (ポンプ)</td><td>93条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>94条 (ポンプ)</td><td>94条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>95条 (ポンプ)</td><td>95条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>96条 (ポンプ)</td><td>96条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>97条 (ポンプ)</td><td>97条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>98条 (ポンプ)</td><td>98条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>99条 (ポンプ)</td><td>99条 (ポンプ)</td></tr> <tr><td>100条 (ポンプ)</td><td>100条 (ポンプ)</td></tr> </table>	43条 (ポンプ)	43条 (ポンプ)	44条 (ポンプ)	44条 (ポンプ)	45条 (ポンプ)	45条 (ポンプ)	46条 (ポンプ)	46条 (ポンプ)	47条 (ポンプ)	47条 (ポンプ)	48条 (ポンプ)	48条 (ポンプ)	49条 (ポンプ)	49条 (ポンプ)	50条 (ポンプ)	50条 (ポンプ)	51条 (ポンプ)	51条 (ポンプ)	52条 (ポンプ)	52条 (ポンプ)	53条 (ポンプ)	53条 (ポンプ)	54条 (ポンプ)	54条 (ポンプ)	55条 (ポンプ)	55条 (ポンプ)	56条 (ポンプ)	56条 (ポンプ)	57条 (ポンプ)	57条 (ポンプ)	58条 (ポンプ)	58条 (ポンプ)	59条 (ポンプ)	59条 (ポンプ)	60条 (ポンプ)	60条 (ポンプ)	61条 (ポンプ)	61条 (ポンプ)	62条 (ポンプ)	62条 (ポンプ)	63条 (ポンプ)	63条 (ポンプ)	64条 (ポンプ)	64条 (ポンプ)	65条 (ポンプ)	65条 (ポンプ)	66条 (ポンプ)	66条 (ポンプ)	67条 (ポンプ)	67条 (ポンプ)	68条 (ポンプ)	68条 (ポンプ)	69条 (ポンプ)	69条 (ポンプ)	70条 (ポンプ)	70条 (ポンプ)	71条 (ポンプ)	71条 (ポンプ)	72条 (ポンプ)	72条 (ポンプ)	73条 (ポンプ)	73条 (ポンプ)	74条 (ポンプ)	74条 (ポンプ)	75条 (ポンプ)	75条 (ポンプ)	76条 (ポンプ)	76条 (ポンプ)	77条 (ポンプ)	77条 (ポンプ)	78条 (ポンプ)	78条 (ポンプ)	79条 (ポンプ)	79条 (ポンプ)	80条 (ポンプ)	80条 (ポンプ)	81条 (ポンプ)	81条 (ポンプ)	82条 (ポンプ)	82条 (ポンプ)	83条 (ポンプ)	83条 (ポンプ)	84条 (ポンプ)	84条 (ポンプ)	85条 (ポンプ)	85条 (ポンプ)	86条 (ポンプ)	86条 (ポンプ)	87条 (ポンプ)	87条 (ポンプ)	88条 (ポンプ)	88条 (ポンプ)	89条 (ポンプ)	89条 (ポンプ)	90条 (ポンプ)	90条 (ポンプ)	91条 (ポンプ)	91条 (ポンプ)	92条 (ポンプ)	92条 (ポンプ)	93条 (ポンプ)	93条 (ポンプ)	94条 (ポンプ)	94条 (ポンプ)	95条 (ポンプ)	95条 (ポンプ)	96条 (ポンプ)	96条 (ポンプ)	97条 (ポンプ)	97条 (ポンプ)	98条 (ポンプ)	98条 (ポンプ)	99条 (ポンプ)	99条 (ポンプ)	100条 (ポンプ)	100条 (ポンプ)	
13条 (ポンプ)	循環ポンプ																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
14条 (ポンプ)	14条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
15条 (ポンプ)	15条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
16条	16条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
17条	17条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
18条	18条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
19条	19条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
20条	20条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
21条	21条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
22条	22条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
23条	23条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
24条	24条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
25条	25条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
26条	26条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
27条	27条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
28条	28条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
29条	29条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
30条	30条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
31条	31条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
32条	32条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
33条	33条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
34条	34条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
35条	35条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
36条	36条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
37条	37条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
38条	38条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
39条	39条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
40条	40条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
41条	41条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
42条	42条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
43条	43条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
44条	44条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
45条	45条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
46条	46条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
47条	47条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
48条	48条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
49条	49条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
50条	50条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
51条	51条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
52条	52条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
53条	53条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
54条	54条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
55条	55条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
56条	56条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
57条	57条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
58条	58条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
59条	59条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
60条	60条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
61条	61条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
62条	62条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
63条	63条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
64条	64条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
65条	65条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
66条	66条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
67条	67条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
68条	68条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
69条	69条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
70条	70条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
71条	71条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
72条	72条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
73条	73条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
74条	74条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
75条	75条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
76条	76条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
77条	77条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
78条	78条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
79条	79条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
80条	80条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
81条	81条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
82条	82条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
83条	83条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
84条	84条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
85条	85条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
86条	86条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
87条	87条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
88条	88条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
89条	89条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
90条	90条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
91条	91条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
92条	92条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
93条	93条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
94条	94条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
95条	95条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
96条	96条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
97条	97条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
98条	98条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
99条	99条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
100条	100条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
43条 (ポンプ)	43条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
44条 (ポンプ)	44条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
45条 (ポンプ)	45条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
46条 (ポンプ)	46条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
47条 (ポンプ)	47条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
48条 (ポンプ)	48条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
49条 (ポンプ)	49条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
50条 (ポンプ)	50条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
51条 (ポンプ)	51条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
52条 (ポンプ)	52条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
53条 (ポンプ)	53条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
54条 (ポンプ)	54条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
55条 (ポンプ)	55条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
56条 (ポンプ)	56条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
57条 (ポンプ)	57条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
58条 (ポンプ)	58条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
59条 (ポンプ)	59条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
60条 (ポンプ)	60条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
61条 (ポンプ)	61条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
62条 (ポンプ)	62条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
63条 (ポンプ)	63条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
64条 (ポンプ)	64条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
65条 (ポンプ)	65条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
66条 (ポンプ)	66条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
67条 (ポンプ)	67条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
68条 (ポンプ)	68条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
69条 (ポンプ)	69条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
70条 (ポンプ)	70条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
71条 (ポンプ)	71条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
72条 (ポンプ)	72条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
73条 (ポンプ)	73条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
74条 (ポンプ)	74条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
75条 (ポンプ)	75条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
76条 (ポンプ)	76条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
77条 (ポンプ)	77条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
78条 (ポンプ)	78条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
79条 (ポンプ)	79条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
80条 (ポンプ)	80条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
81条 (ポンプ)	81条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
82条 (ポンプ)	82条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
83条 (ポンプ)	83条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
84条 (ポンプ)	84条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
85条 (ポンプ)	85条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
86条 (ポンプ)	86条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
87条 (ポンプ)	87条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
88条 (ポンプ)	88条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
89条 (ポンプ)	89条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
90条 (ポンプ)	90条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
91条 (ポンプ)	91条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
92条 (ポンプ)	92条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
93条 (ポンプ)	93条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
94条 (ポンプ)	94条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
95条 (ポンプ)	95条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
96条 (ポンプ)	96条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
97条 (ポンプ)	97条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
98条 (ポンプ)	98条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
99条 (ポンプ)	99条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
100条 (ポンプ)	100条 (ポンプ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						





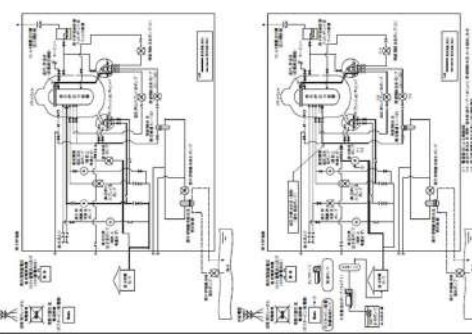
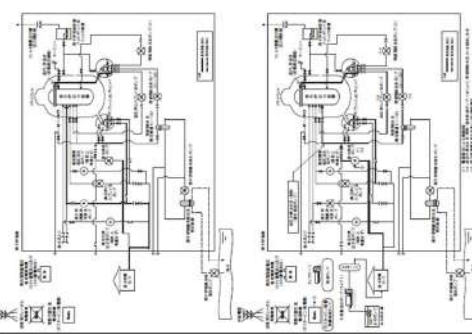
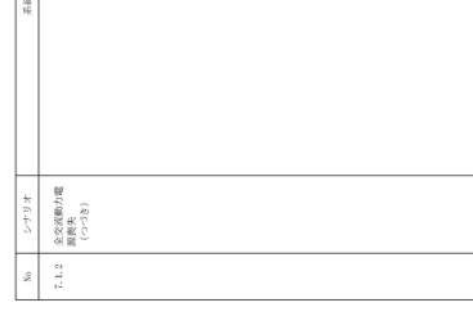






灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
<p>表 58-11-2-37 条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (5/36)</p>	<p>表 58-11-2-37 条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (5/36)</p>	<p>表 58-11-2-37 条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (5/36)</p>	
<p>図 58-11-2-37 条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (5/36)</p> 	<p>図 58-11-2-37 条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (5/36)</p> 	<p>図 58-11-2-37 条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (5/36)</p> 	<p>相違理由</p>



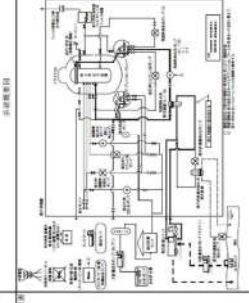
灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>表58-11-2-37条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (7/36)</p>	<p>表58-11-2-37条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (7/36)</p>	<p>表58-11-2-37条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (7/36)</p>	
<p>図1: 飯発電所3号炉の計装設備図 (炉内、炉外、制御室等)</p>	<p>図2: 女川原子力発電所2号炉の計装設備図 (炉内、炉外、制御室等)</p>	<p>図3: 泊発電所3号炉の計装設備図 (炉内、炉外、制御室等)</p>	
<p>表58-11-2-37条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (7/36)</p>	<p>表58-11-2-37条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (7/36)</p>	<p>表58-11-2-37条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (7/36)</p>	

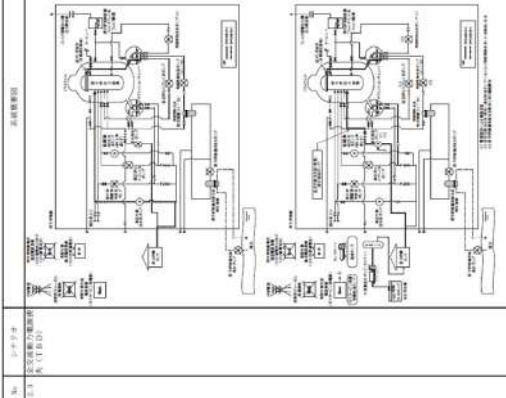
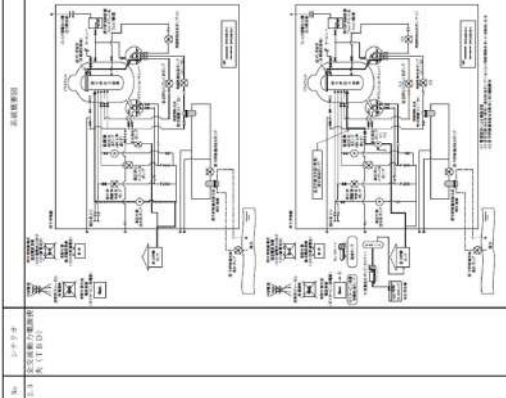
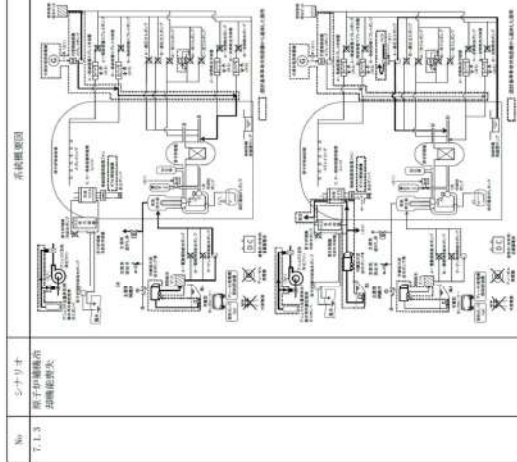
灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由										
	<p>表 58-11-2-37 条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (8/36)</p>  <p>期待する設備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置)</li> <li>② 炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置)</li> <li>③ 炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置)</li> <li>④ 炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置)</li> <li>⑤ 炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置)</li> <li>⑥ 炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置)</li> <li>⑦ 炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置)</li> <li>⑧ 炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置)</li> <li>⑨ 炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置)</li> <li>⑩ 炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置)</li> <li>⑪ 炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置)</li> <li>⑫ 炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置)</li> <li>⑬ 炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置)</li> <li>⑭ 炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置)</li> <li>⑮ 炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置)</li> <li>⑯ 炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置)</li> <li>⑰ 炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置)</li> <li>⑱ 炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置)</li> <li>⑲ 炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置)</li> <li>⑳ 炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置)</li> <li>㉑ 炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置)</li> <li>㉒ 炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置)</li> <li>㉓ 炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置)</li> <li>㉔ 炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置)</li> <li>㉕ 炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置)</li> <li>㉖ 炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置)</li> <li>㉗ 炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置)</li> <li>㉘ 炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置)</li> <li>㉙ 炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置)</li> <li>㉚ 炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置)</li> <li>㉛ 炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置)</li> <li>㉜ 炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置)</li> <li>㉝ 炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置)</li> <li>㉞ 炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置)</li> <li>㉟ 炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置)</li> <li>㊱ 炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置)</li> <li>㊲ 炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置)</li> <li>㊳ 炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置)</li> <li>㊴ 炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置)</li> <li>㊵ 炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置)</li> <li>㊶ 炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置)</li> <li>㊷ 炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置)</li> <li>㊸ 炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置)</li> <li>㊹ 炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置)</li> <li>㊺ 炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置)</li> <li>㊻ 炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置)</li> <li>㊼ 炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置)</li> <li>㊽ 炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置)</li> <li>㊾ 炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置)</li> <li>㊿ 炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置)</li> </ul>	<p>表 58-11-2-37 条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (8/55)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>シナリオ</th> <th>系統機器</th> <th>期待する設備</th> <th>分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7.1.2</td> <td>交流送電力電 源停止 (7.2.2)</td> <td></td> <td>期待する設備 電圧調整装置 (炉内圧力調整装置) 炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置)</td> <td>炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置) 炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置)</td> </tr> </tbody> </table>	No.	シナリオ	系統機器	期待する設備	分類	7.1.2	交流送電力電 源停止 (7.2.2)		期待する設備 電圧調整装置 (炉内圧力調整装置) 炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置)	炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置) 炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置)	
No.	シナリオ	系統機器	期待する設備	分類									
7.1.2	交流送電力電 源停止 (7.2.2)		期待する設備 電圧調整装置 (炉内圧力調整装置) 炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置)	炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置) 炉内圧力調整装置 (炉内圧力調整装置)									

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>表58-11-2-37条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (9/36)</p> 	<p>表58-11-2-37条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (9/36)</p> 	<p>表58-11-2-37条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (9/55)</p> 	<p>相違理由</p>

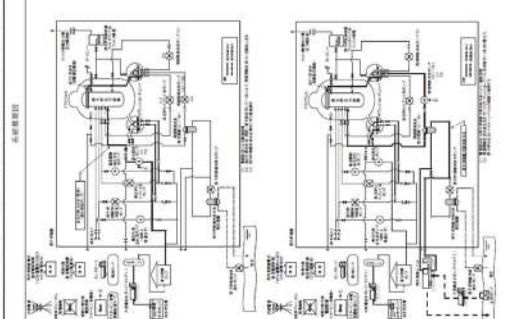






灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

飯発電所3 / 4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由
No 5.3 シナリオ 5.3.11 炉内炉外 (ツブキ)	<p>表58-11-2 37条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (12/36)</p> 	<p>期待する設備</p> <p>期待する設備</p>	<p>期待する設備</p> <p>期待する設備</p>	<p>期待する設備</p> <p>期待する設備</p>	<p>期待する設備</p> <p>期待する設備</p>	<p>相違理由</p>
No 7.1.3 シナリオ 炉内炉外 炉内炉外 (ツブキ)	<p>表58-11-2 37条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (12/56)</p>	<p>期待する設備</p> <p>期待する設備</p>	<p>期待する設備</p> <p>期待する設備</p>	<p>期待する設備</p> <p>期待する設備</p>	<p>期待する設備</p> <p>期待する設備</p>	<p>相違理由</p>
<p>期待する設備</p> <p>期待する設備</p>	<p>期待する設備</p> <p>期待する設備</p>	<p>期待する設備</p> <p>期待する設備</p>	<p>期待する設備</p> <p>期待する設備</p>	<p>期待する設備</p> <p>期待する設備</p>	<p>期待する設備</p> <p>期待する設備</p>	<p>相違理由</p>



















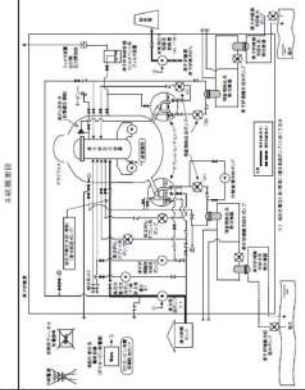
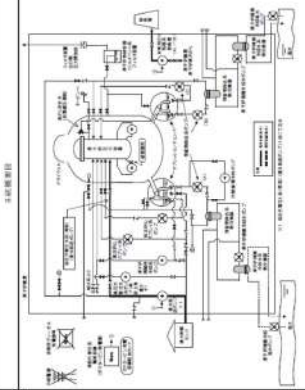
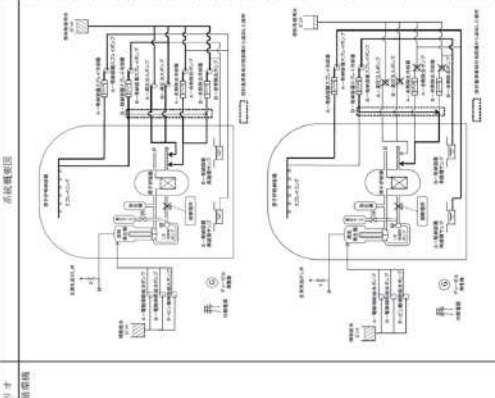






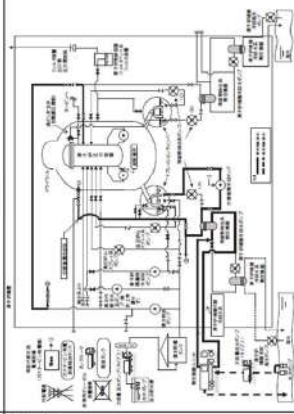
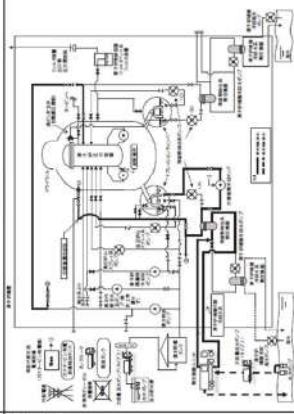
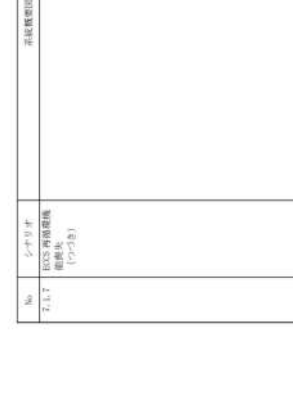
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>表 58-11-2-37 条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (23/36)</p> 	<p>表 58-11-2-37 条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (23/36)</p> 	<p>表 58-11-2-37 条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (23/36)</p> 	<p>相違理由</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

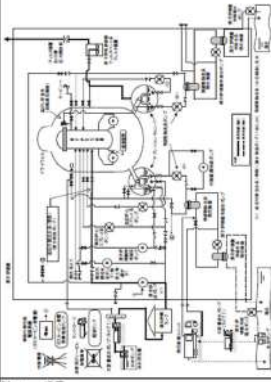
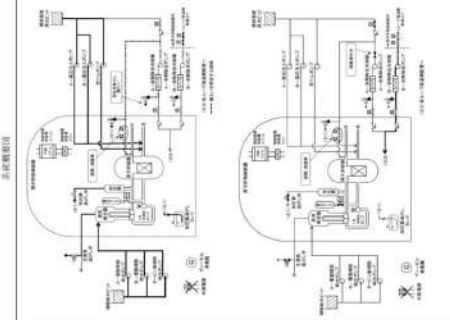
飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>表58-11-2-37条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (24/36)</p> 	<p>表58-11-2-37条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (24/36)</p> 	<p>表58-11-2-37条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (24/55)</p> 	<p>相違理由</p>





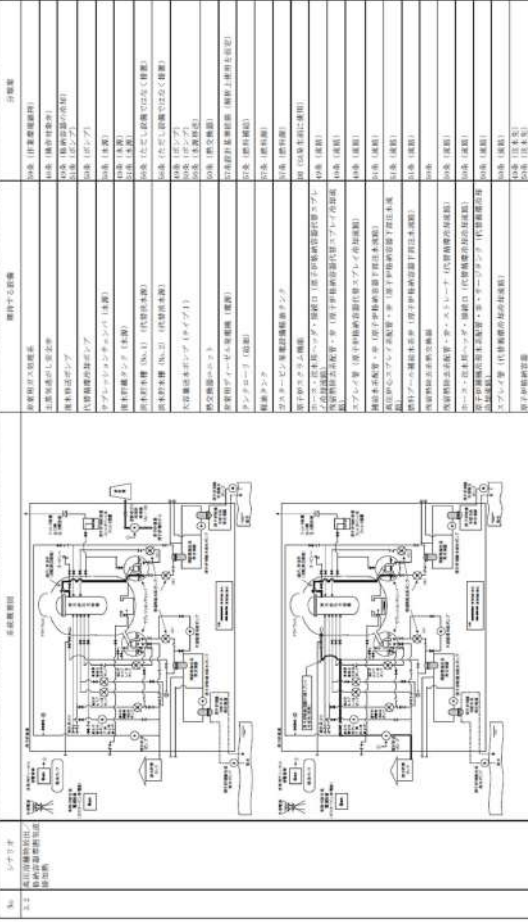
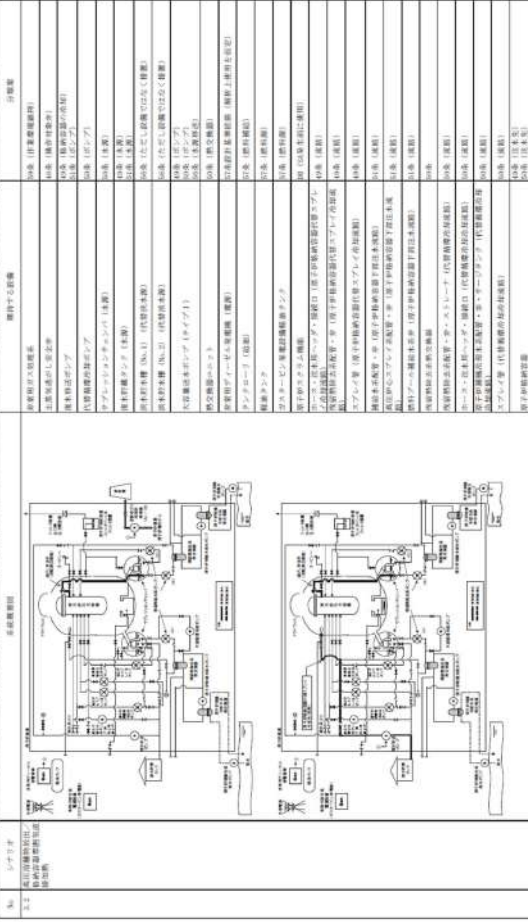
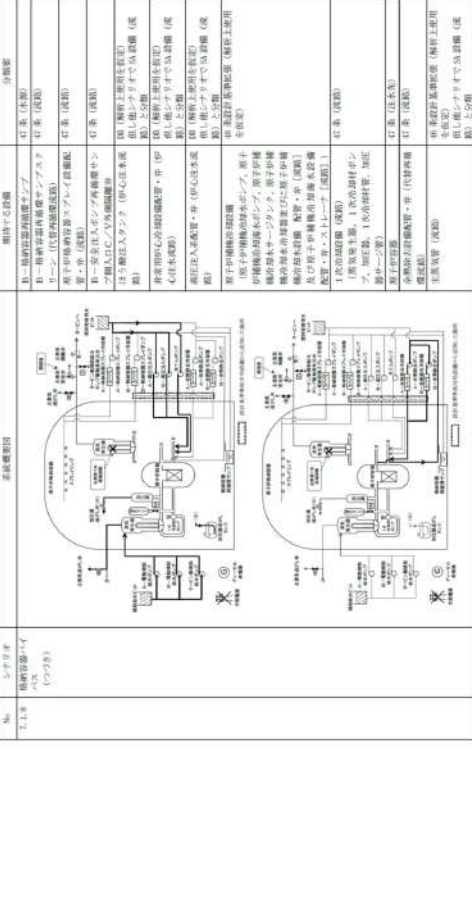
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																												
<p>表 58-11-2-37 条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (26/36)</p>	<p>期待する設備</p>  <p>分欄表</p> <table border="1"> <tr><td>50条 (炉心冷却系)</td><td>50条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>51条 (炉心冷却系)</td><td>51条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>52条 (炉心冷却系)</td><td>52条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>53条 (炉心冷却系)</td><td>53条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>54条 (炉心冷却系)</td><td>54条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>55条 (炉心冷却系)</td><td>55条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>56条 (炉心冷却系)</td><td>56条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>57条 (炉心冷却系)</td><td>57条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>58条 (炉心冷却系)</td><td>58条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>59条 (炉心冷却系)</td><td>59条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>60条 (炉心冷却系)</td><td>60条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>61条 (炉心冷却系)</td><td>61条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>62条 (炉心冷却系)</td><td>62条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>63条 (炉心冷却系)</td><td>63条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>64条 (炉心冷却系)</td><td>64条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>65条 (炉心冷却系)</td><td>65条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>66条 (炉心冷却系)</td><td>66条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>67条 (炉心冷却系)</td><td>67条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>68条 (炉心冷却系)</td><td>68条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>69条 (炉心冷却系)</td><td>69条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>70条 (炉心冷却系)</td><td>70条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>71条 (炉心冷却系)</td><td>71条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>72条 (炉心冷却系)</td><td>72条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>73条 (炉心冷却系)</td><td>73条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>74条 (炉心冷却系)</td><td>74条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>75条 (炉心冷却系)</td><td>75条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>76条 (炉心冷却系)</td><td>76条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>77条 (炉心冷却系)</td><td>77条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>78条 (炉心冷却系)</td><td>78条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>79条 (炉心冷却系)</td><td>79条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>80条 (炉心冷却系)</td><td>80条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>81条 (炉心冷却系)</td><td>81条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>82条 (炉心冷却系)</td><td>82条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>83条 (炉心冷却系)</td><td>83条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>84条 (炉心冷却系)</td><td>84条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>85条 (炉心冷却系)</td><td>85条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>86条 (炉心冷却系)</td><td>86条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>87条 (炉心冷却系)</td><td>87条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>88条 (炉心冷却系)</td><td>88条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>89条 (炉心冷却系)</td><td>89条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>90条 (炉心冷却系)</td><td>90条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>91条 (炉心冷却系)</td><td>91条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>92条 (炉心冷却系)</td><td>92条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>93条 (炉心冷却系)</td><td>93条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>94条 (炉心冷却系)</td><td>94条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>95条 (炉心冷却系)</td><td>95条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>96条 (炉心冷却系)</td><td>96条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>97条 (炉心冷却系)</td><td>97条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>98条 (炉心冷却系)</td><td>98条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>99条 (炉心冷却系)</td><td>99条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>100条 (炉心冷却系)</td><td>100条 (炉心冷却系)</td></tr> </table>	50条 (炉心冷却系)	50条 (炉心冷却系)	51条 (炉心冷却系)	51条 (炉心冷却系)	52条 (炉心冷却系)	52条 (炉心冷却系)	53条 (炉心冷却系)	53条 (炉心冷却系)	54条 (炉心冷却系)	54条 (炉心冷却系)	55条 (炉心冷却系)	55条 (炉心冷却系)	56条 (炉心冷却系)	56条 (炉心冷却系)	57条 (炉心冷却系)	57条 (炉心冷却系)	58条 (炉心冷却系)	58条 (炉心冷却系)	59条 (炉心冷却系)	59条 (炉心冷却系)	60条 (炉心冷却系)	60条 (炉心冷却系)	61条 (炉心冷却系)	61条 (炉心冷却系)	62条 (炉心冷却系)	62条 (炉心冷却系)	63条 (炉心冷却系)	63条 (炉心冷却系)	64条 (炉心冷却系)	64条 (炉心冷却系)	65条 (炉心冷却系)	65条 (炉心冷却系)	66条 (炉心冷却系)	66条 (炉心冷却系)	67条 (炉心冷却系)	67条 (炉心冷却系)	68条 (炉心冷却系)	68条 (炉心冷却系)	69条 (炉心冷却系)	69条 (炉心冷却系)	70条 (炉心冷却系)	70条 (炉心冷却系)	71条 (炉心冷却系)	71条 (炉心冷却系)	72条 (炉心冷却系)	72条 (炉心冷却系)	73条 (炉心冷却系)	73条 (炉心冷却系)	74条 (炉心冷却系)	74条 (炉心冷却系)	75条 (炉心冷却系)	75条 (炉心冷却系)	76条 (炉心冷却系)	76条 (炉心冷却系)	77条 (炉心冷却系)	77条 (炉心冷却系)	78条 (炉心冷却系)	78条 (炉心冷却系)	79条 (炉心冷却系)	79条 (炉心冷却系)	80条 (炉心冷却系)	80条 (炉心冷却系)	81条 (炉心冷却系)	81条 (炉心冷却系)	82条 (炉心冷却系)	82条 (炉心冷却系)	83条 (炉心冷却系)	83条 (炉心冷却系)	84条 (炉心冷却系)	84条 (炉心冷却系)	85条 (炉心冷却系)	85条 (炉心冷却系)	86条 (炉心冷却系)	86条 (炉心冷却系)	87条 (炉心冷却系)	87条 (炉心冷却系)	88条 (炉心冷却系)	88条 (炉心冷却系)	89条 (炉心冷却系)	89条 (炉心冷却系)	90条 (炉心冷却系)	90条 (炉心冷却系)	91条 (炉心冷却系)	91条 (炉心冷却系)	92条 (炉心冷却系)	92条 (炉心冷却系)	93条 (炉心冷却系)	93条 (炉心冷却系)	94条 (炉心冷却系)	94条 (炉心冷却系)	95条 (炉心冷却系)	95条 (炉心冷却系)	96条 (炉心冷却系)	96条 (炉心冷却系)	97条 (炉心冷却系)	97条 (炉心冷却系)	98条 (炉心冷却系)	98条 (炉心冷却系)	99条 (炉心冷却系)	99条 (炉心冷却系)	100条 (炉心冷却系)	100条 (炉心冷却系)	<p>期待する設備</p>  <p>分欄表</p> <table border="1"> <tr><td>50条 (炉心冷却系)</td><td>50条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>51条 (炉心冷却系)</td><td>51条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>52条 (炉心冷却系)</td><td>52条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>53条 (炉心冷却系)</td><td>53条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>54条 (炉心冷却系)</td><td>54条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>55条 (炉心冷却系)</td><td>55条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>56条 (炉心冷却系)</td><td>56条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>57条 (炉心冷却系)</td><td>57条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>58条 (炉心冷却系)</td><td>58条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>59条 (炉心冷却系)</td><td>59条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>60条 (炉心冷却系)</td><td>60条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>61条 (炉心冷却系)</td><td>61条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>62条 (炉心冷却系)</td><td>62条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>63条 (炉心冷却系)</td><td>63条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>64条 (炉心冷却系)</td><td>64条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>65条 (炉心冷却系)</td><td>65条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>66条 (炉心冷却系)</td><td>66条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>67条 (炉心冷却系)</td><td>67条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>68条 (炉心冷却系)</td><td>68条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>69条 (炉心冷却系)</td><td>69条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>70条 (炉心冷却系)</td><td>70条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>71条 (炉心冷却系)</td><td>71条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>72条 (炉心冷却系)</td><td>72条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>73条 (炉心冷却系)</td><td>73条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>74条 (炉心冷却系)</td><td>74条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>75条 (炉心冷却系)</td><td>75条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>76条 (炉心冷却系)</td><td>76条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>77条 (炉心冷却系)</td><td>77条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>78条 (炉心冷却系)</td><td>78条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>79条 (炉心冷却系)</td><td>79条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>80条 (炉心冷却系)</td><td>80条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>81条 (炉心冷却系)</td><td>81条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>82条 (炉心冷却系)</td><td>82条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>83条 (炉心冷却系)</td><td>83条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>84条 (炉心冷却系)</td><td>84条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>85条 (炉心冷却系)</td><td>85条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>86条 (炉心冷却系)</td><td>86条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>87条 (炉心冷却系)</td><td>87条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>88条 (炉心冷却系)</td><td>88条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>89条 (炉心冷却系)</td><td>89条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>90条 (炉心冷却系)</td><td>90条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>91条 (炉心冷却系)</td><td>91条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>92条 (炉心冷却系)</td><td>92条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>93条 (炉心冷却系)</td><td>93条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>94条 (炉心冷却系)</td><td>94条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>95条 (炉心冷却系)</td><td>95条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>96条 (炉心冷却系)</td><td>96条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>97条 (炉心冷却系)</td><td>97条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>98条 (炉心冷却系)</td><td>98条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>99条 (炉心冷却系)</td><td>99条 (炉心冷却系)</td></tr> <tr><td>100条 (炉心冷却系)</td><td>100条 (炉心冷却系)</td></tr> </table>	50条 (炉心冷却系)	50条 (炉心冷却系)	51条 (炉心冷却系)	51条 (炉心冷却系)	52条 (炉心冷却系)	52条 (炉心冷却系)	53条 (炉心冷却系)	53条 (炉心冷却系)	54条 (炉心冷却系)	54条 (炉心冷却系)	55条 (炉心冷却系)	55条 (炉心冷却系)	56条 (炉心冷却系)	56条 (炉心冷却系)	57条 (炉心冷却系)	57条 (炉心冷却系)	58条 (炉心冷却系)	58条 (炉心冷却系)	59条 (炉心冷却系)	59条 (炉心冷却系)	60条 (炉心冷却系)	60条 (炉心冷却系)	61条 (炉心冷却系)	61条 (炉心冷却系)	62条 (炉心冷却系)	62条 (炉心冷却系)	63条 (炉心冷却系)	63条 (炉心冷却系)	64条 (炉心冷却系)	64条 (炉心冷却系)	65条 (炉心冷却系)	65条 (炉心冷却系)	66条 (炉心冷却系)	66条 (炉心冷却系)	67条 (炉心冷却系)	67条 (炉心冷却系)	68条 (炉心冷却系)	68条 (炉心冷却系)	69条 (炉心冷却系)	69条 (炉心冷却系)	70条 (炉心冷却系)	70条 (炉心冷却系)	71条 (炉心冷却系)	71条 (炉心冷却系)	72条 (炉心冷却系)	72条 (炉心冷却系)	73条 (炉心冷却系)	73条 (炉心冷却系)	74条 (炉心冷却系)	74条 (炉心冷却系)	75条 (炉心冷却系)	75条 (炉心冷却系)	76条 (炉心冷却系)	76条 (炉心冷却系)	77条 (炉心冷却系)	77条 (炉心冷却系)	78条 (炉心冷却系)	78条 (炉心冷却系)	79条 (炉心冷却系)	79条 (炉心冷却系)	80条 (炉心冷却系)	80条 (炉心冷却系)	81条 (炉心冷却系)	81条 (炉心冷却系)	82条 (炉心冷却系)	82条 (炉心冷却系)	83条 (炉心冷却系)	83条 (炉心冷却系)	84条 (炉心冷却系)	84条 (炉心冷却系)	85条 (炉心冷却系)	85条 (炉心冷却系)	86条 (炉心冷却系)	86条 (炉心冷却系)	87条 (炉心冷却系)	87条 (炉心冷却系)	88条 (炉心冷却系)	88条 (炉心冷却系)	89条 (炉心冷却系)	89条 (炉心冷却系)	90条 (炉心冷却系)	90条 (炉心冷却系)	91条 (炉心冷却系)	91条 (炉心冷却系)	92条 (炉心冷却系)	92条 (炉心冷却系)	93条 (炉心冷却系)	93条 (炉心冷却系)	94条 (炉心冷却系)	94条 (炉心冷却系)	95条 (炉心冷却系)	95条 (炉心冷却系)	96条 (炉心冷却系)	96条 (炉心冷却系)	97条 (炉心冷却系)	97条 (炉心冷却系)	98条 (炉心冷却系)	98条 (炉心冷却系)	99条 (炉心冷却系)	99条 (炉心冷却系)	100条 (炉心冷却系)	100条 (炉心冷却系)	<p>相違理由</p>
50条 (炉心冷却系)	50条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
51条 (炉心冷却系)	51条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
52条 (炉心冷却系)	52条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
53条 (炉心冷却系)	53条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
54条 (炉心冷却系)	54条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
55条 (炉心冷却系)	55条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
56条 (炉心冷却系)	56条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
57条 (炉心冷却系)	57条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
58条 (炉心冷却系)	58条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
59条 (炉心冷却系)	59条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
60条 (炉心冷却系)	60条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
61条 (炉心冷却系)	61条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
62条 (炉心冷却系)	62条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
63条 (炉心冷却系)	63条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
64条 (炉心冷却系)	64条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
65条 (炉心冷却系)	65条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
66条 (炉心冷却系)	66条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
67条 (炉心冷却系)	67条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
68条 (炉心冷却系)	68条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
69条 (炉心冷却系)	69条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
70条 (炉心冷却系)	70条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
71条 (炉心冷却系)	71条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
72条 (炉心冷却系)	72条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
73条 (炉心冷却系)	73条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
74条 (炉心冷却系)	74条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
75条 (炉心冷却系)	75条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
76条 (炉心冷却系)	76条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
77条 (炉心冷却系)	77条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
78条 (炉心冷却系)	78条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
79条 (炉心冷却系)	79条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
80条 (炉心冷却系)	80条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
81条 (炉心冷却系)	81条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
82条 (炉心冷却系)	82条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
83条 (炉心冷却系)	83条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
84条 (炉心冷却系)	84条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
85条 (炉心冷却系)	85条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
86条 (炉心冷却系)	86条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
87条 (炉心冷却系)	87条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
88条 (炉心冷却系)	88条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
89条 (炉心冷却系)	89条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
90条 (炉心冷却系)	90条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
91条 (炉心冷却系)	91条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
92条 (炉心冷却系)	92条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
93条 (炉心冷却系)	93条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
94条 (炉心冷却系)	94条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
95条 (炉心冷却系)	95条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
96条 (炉心冷却系)	96条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
97条 (炉心冷却系)	97条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
98条 (炉心冷却系)	98条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
99条 (炉心冷却系)	99条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
100条 (炉心冷却系)	100条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
50条 (炉心冷却系)	50条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
51条 (炉心冷却系)	51条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
52条 (炉心冷却系)	52条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
53条 (炉心冷却系)	53条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
54条 (炉心冷却系)	54条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
55条 (炉心冷却系)	55条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
56条 (炉心冷却系)	56条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
57条 (炉心冷却系)	57条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
58条 (炉心冷却系)	58条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
59条 (炉心冷却系)	59条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
60条 (炉心冷却系)	60条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
61条 (炉心冷却系)	61条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
62条 (炉心冷却系)	62条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
63条 (炉心冷却系)	63条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
64条 (炉心冷却系)	64条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
65条 (炉心冷却系)	65条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
66条 (炉心冷却系)	66条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
67条 (炉心冷却系)	67条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
68条 (炉心冷却系)	68条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
69条 (炉心冷却系)	69条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
70条 (炉心冷却系)	70条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
71条 (炉心冷却系)	71条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
72条 (炉心冷却系)	72条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
73条 (炉心冷却系)	73条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
74条 (炉心冷却系)	74条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
75条 (炉心冷却系)	75条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
76条 (炉心冷却系)	76条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
77条 (炉心冷却系)	77条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
78条 (炉心冷却系)	78条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
79条 (炉心冷却系)	79条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
80条 (炉心冷却系)	80条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
81条 (炉心冷却系)	81条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
82条 (炉心冷却系)	82条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
83条 (炉心冷却系)	83条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
84条 (炉心冷却系)	84条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
85条 (炉心冷却系)	85条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
86条 (炉心冷却系)	86条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
87条 (炉心冷却系)	87条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
88条 (炉心冷却系)	88条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
89条 (炉心冷却系)	89条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
90条 (炉心冷却系)	90条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
91条 (炉心冷却系)	91条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
92条 (炉心冷却系)	92条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
93条 (炉心冷却系)	93条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
94条 (炉心冷却系)	94条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
95条 (炉心冷却系)	95条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
96条 (炉心冷却系)	96条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
97条 (炉心冷却系)	97条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
98条 (炉心冷却系)	98条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
99条 (炉心冷却系)	99条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														
100条 (炉心冷却系)	100条 (炉心冷却系)																																																																																																																																																																																																														

灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>表58-11-2 37条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (27/36)</p> 	<p>表58-11-2 37条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (27/36)</p> 	<p>表58-11-2 37条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (27/36)</p> 	<p>相違理由</p>





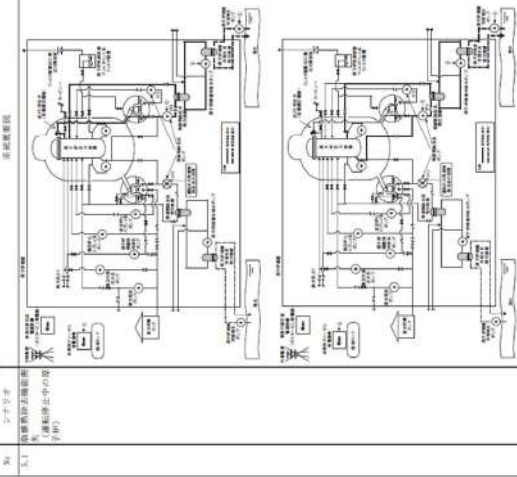






灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>表 58-11-2-37 条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (32/36)</p> <p>シナリオ                  5.1 炉内圧力上昇による炉内圧力制御装置の停止 (炉内圧力制御装置の停止)</p>	<p>系統図</p>  <p>期待する設備</p> <p>分り難</p> <p>41 炉内圧力制御装置 (補助圧力制御装置)                  42 炉内圧力制御装置 (補助圧力制御装置)                  43 炉内圧力制御装置 (補助圧力制御装置)                  44 炉内圧力制御装置 (補助圧力制御装置)                  45 炉内圧力制御装置 (補助圧力制御装置)                  46 炉内圧力制御装置 (補助圧力制御装置)                  47 炉内圧力制御装置 (補助圧力制御装置)                  48 炉内圧力制御装置 (補助圧力制御装置)                  49 炉内圧力制御装置 (補助圧力制御装置)                  50 炉内圧力制御装置 (補助圧力制御装置)                  51 炉内圧力制御装置 (補助圧力制御装置)                  52 炉内圧力制御装置 (補助圧力制御装置)                  53 炉内圧力制御装置 (補助圧力制御装置)                  54 炉内圧力制御装置 (補助圧力制御装置)                  55 炉内圧力制御装置 (補助圧力制御装置)                  56 炉内圧力制御装置 (補助圧力制御装置)                  57 炉内圧力制御装置 (補助圧力制御装置)                  58 炉内圧力制御装置 (補助圧力制御装置)                  59 炉内圧力制御装置 (補助圧力制御装置)                  60 炉内圧力制御装置 (補助圧力制御装置)</p>	<p>表 58-11-2-37 条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (32/55)</p> <p>シナリオ                  7.2.3.1.1 緊急減圧力・減速による静的負荷 (格納容器過圧) (フツキ)</p> <p>系統図</p> <p>期待する設備</p> <p>分り難</p> <p>55 本 (格納容器圧力制御装置)                  56 本 (格納容器圧力制御装置)                  57 本 (格納容器圧力制御装置)                  58 本 (格納容器圧力制御装置)                  59 本 (格納容器圧力制御装置)                  60 本 (格納容器圧力制御装置)                  61 本 (格納容器圧力制御装置)                  62 本 (格納容器圧力制御装置)                  63 本 (格納容器圧力制御装置)                  64 本 (格納容器圧力制御装置)                  65 本 (格納容器圧力制御装置)                  66 本 (格納容器圧力制御装置)                  67 本 (格納容器圧力制御装置)                  68 本 (格納容器圧力制御装置)                  69 本 (格納容器圧力制御装置)                  70 本 (格納容器圧力制御装置)                  71 本 (格納容器圧力制御装置)                  72 本 (格納容器圧力制御装置)                  73 本 (格納容器圧力制御装置)                  74 本 (格納容器圧力制御装置)                  75 本 (格納容器圧力制御装置)                  76 本 (格納容器圧力制御装置)                  77 本 (格納容器圧力制御装置)                  78 本 (格納容器圧力制御装置)                  79 本 (格納容器圧力制御装置)                  80 本 (格納容器圧力制御装置)                  81 本 (格納容器圧力制御装置)                  82 本 (格納容器圧力制御装置)                  83 本 (格納容器圧力制御装置)                  84 本 (格納容器圧力制御装置)                  85 本 (格納容器圧力制御装置)                  86 本 (格納容器圧力制御装置)                  87 本 (格納容器圧力制御装置)                  88 本 (格納容器圧力制御装置)                  89 本 (格納容器圧力制御装置)                  90 本 (格納容器圧力制御装置)                  91 本 (格納容器圧力制御装置)                  92 本 (格納容器圧力制御装置)                  93 本 (格納容器圧力制御装置)                  94 本 (格納容器圧力制御装置)                  95 本 (格納容器圧力制御装置)                  96 本 (格納容器圧力制御装置)                  97 本 (格納容器圧力制御装置)                  98 本 (格納容器圧力制御装置)                  99 本 (格納容器圧力制御装置)                  100 本 (格納容器圧力制御装置)</p>	<p>相違理由</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

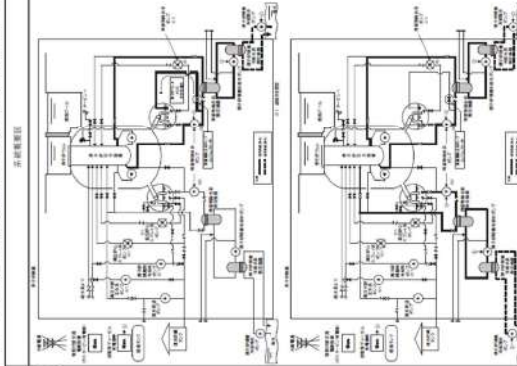
飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>表 58-11-2-37 条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (33/36)</p>	<p>表 58-11-2-37 条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (33/36)</p>	<p>表 58-11-2-37 条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (33/55)</p>	
<p>図 2 炉内圧力制御系 (炉内圧力制御系)</p>	<p>図 2 炉内圧力制御系 (炉内圧力制御系)</p>	<p>図 2 炉内圧力制御系 (炉内圧力制御系)</p>	
<p>図 3 炉内圧力制御系 (炉内圧力制御系)</p>	<p>図 3 炉内圧力制御系 (炉内圧力制御系)</p>	<p>図 3 炉内圧力制御系 (炉内圧力制御系)</p>	





灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																				
<p>表 58-11-2-37 条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (35/36)</p>		<p>表 58-11-2-37 条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (35/35)</p> <table border="1" data-bbox="1276 159 1792 1356"> <thead> <tr> <th>シナリオ</th> <th>期待する設備</th> <th>分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">1. 2. 1. 2</td> <td>加圧器及び冷却水供給管(管一付) (40条 (灰濁))</td> <td>100 ISA 発生時のトリップ機能 (機) と分断</td> </tr> <tr> <td>出力制限中性子束</td> <td>100 ISA 発生時のトリップ機能 (機) と分断</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2. 1. 2. 1. 2</td> <td>中間冷却中性子束</td> <td>100 ISA 発生時のトリップ機能 (機) と分断</td> </tr> <tr> <td>中性子制御用風中子束</td> <td>100 ISA 発生時のトリップ機能 (機) と分断</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">3. 1. 2. 1. 2</td> <td>加圧器水位</td> <td>100 ISA 発生時のトリップ機能 (機) と分断</td> </tr> <tr> <td>1. 2. 1. 2. 1. 2</td> <td>100 ISA 発生時のトリップ機能 (機) と分断</td> </tr> <tr> <td>1. 2. 1. 2. 1. 2</td> <td>100 ISA 発生時のトリップ機能 (機) と分断</td> </tr> <tr> <td>1. 2. 1. 2. 1. 2</td> <td>100 ISA 発生時のトリップ機能 (機) と分断</td> </tr> <tr> <td>1. 2. 1. 2. 1. 2</td> <td>100 ISA 発生時のトリップ機能 (機) と分断</td> </tr> <tr> <td>1. 2. 1. 2. 1. 2</td> <td>100 ISA 発生時のトリップ機能 (機) と分断</td> </tr> <tr> <td>1. 2. 1. 2. 1. 2</td> <td>100 ISA 発生時のトリップ機能 (機) と分断</td> </tr> <tr> <td>1. 2. 1. 2. 1. 2</td> <td>100 ISA 発生時のトリップ機能 (機) と分断</td> </tr> <tr> <td>1. 2. 1. 2. 1. 2</td> <td>100 ISA 発生時のトリップ機能 (機) と分断</td> </tr> <tr> <td>1. 2. 1. 2. 1. 2</td> <td>100 ISA 発生時のトリップ機能 (機) と分断</td> </tr> <tr> <td>1. 2. 1. 2. 1. 2</td> <td>100 ISA 発生時のトリップ機能 (機) と分断</td> </tr> </tbody> </table>	シナリオ	期待する設備	分類	1. 2. 1. 2	加圧器及び冷却水供給管(管一付) (40条 (灰濁))	100 ISA 発生時のトリップ機能 (機) と分断	出力制限中性子束	100 ISA 発生時のトリップ機能 (機) と分断	2. 1. 2. 1. 2	中間冷却中性子束	100 ISA 発生時のトリップ機能 (機) と分断	中性子制御用風中子束	100 ISA 発生時のトリップ機能 (機) と分断	3. 1. 2. 1. 2	加圧器水位	100 ISA 発生時のトリップ機能 (機) と分断	1. 2. 1. 2. 1. 2	100 ISA 発生時のトリップ機能 (機) と分断	1. 2. 1. 2. 1. 2	100 ISA 発生時のトリップ機能 (機) と分断	1. 2. 1. 2. 1. 2	100 ISA 発生時のトリップ機能 (機) と分断	1. 2. 1. 2. 1. 2	100 ISA 発生時のトリップ機能 (機) と分断	1. 2. 1. 2. 1. 2	100 ISA 発生時のトリップ機能 (機) と分断	1. 2. 1. 2. 1. 2	100 ISA 発生時のトリップ機能 (機) と分断	1. 2. 1. 2. 1. 2	100 ISA 発生時のトリップ機能 (機) と分断	1. 2. 1. 2. 1. 2	100 ISA 発生時のトリップ機能 (機) と分断	1. 2. 1. 2. 1. 2	100 ISA 発生時のトリップ機能 (機) と分断	1. 2. 1. 2. 1. 2	100 ISA 発生時のトリップ機能 (機) と分断	<p>相違理由</p>
シナリオ	期待する設備	分類																																					
1. 2. 1. 2	加圧器及び冷却水供給管(管一付) (40条 (灰濁))	100 ISA 発生時のトリップ機能 (機) と分断																																					
	出力制限中性子束	100 ISA 発生時のトリップ機能 (機) と分断																																					
2. 1. 2. 1. 2	中間冷却中性子束	100 ISA 発生時のトリップ機能 (機) と分断																																					
	中性子制御用風中子束	100 ISA 発生時のトリップ機能 (機) と分断																																					
3. 1. 2. 1. 2	加圧器水位	100 ISA 発生時のトリップ機能 (機) と分断																																					
	1. 2. 1. 2. 1. 2	100 ISA 発生時のトリップ機能 (機) と分断																																					
	1. 2. 1. 2. 1. 2	100 ISA 発生時のトリップ機能 (機) と分断																																					
	1. 2. 1. 2. 1. 2	100 ISA 発生時のトリップ機能 (機) と分断																																					
	1. 2. 1. 2. 1. 2	100 ISA 発生時のトリップ機能 (機) と分断																																					
	1. 2. 1. 2. 1. 2	100 ISA 発生時のトリップ機能 (機) と分断																																					
	1. 2. 1. 2. 1. 2	100 ISA 発生時のトリップ機能 (機) と分断																																					
	1. 2. 1. 2. 1. 2	100 ISA 発生時のトリップ機能 (機) と分断																																					
	1. 2. 1. 2. 1. 2	100 ISA 発生時のトリップ機能 (機) と分断																																					
	1. 2. 1. 2. 1. 2	100 ISA 発生時のトリップ機能 (機) と分断																																					
1. 2. 1. 2. 1. 2	100 ISA 発生時のトリップ機能 (機) と分断																																						







灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由										
		<p>表58-11-2 第5条 (重大事象等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて開閉する設備とその分類について (39/55)</p> <table border="1" data-bbox="1294 151 1794 944"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>シナリオ 体系構成 (サブ表)</th> <th>系統構成図</th> <th>開閉する設備</th> <th>分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7.2.4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No.	シナリオ 体系構成 (サブ表)	系統構成図	開閉する設備	分類	7.2.4					
No.	シナリオ 体系構成 (サブ表)	系統構成図	開閉する設備	分類									
7.2.4													



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由										
		<p>表 58-11-2-37 条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (40/55)</p> <table border="1" data-bbox="1308 153 1525 1197"> <thead> <tr> <th data-bbox="1308 1038 1346 1197">No</th> <th data-bbox="1350 1038 1451 1197">シナリオ 水蒸気発生 (つづき)</th> <th data-bbox="1308 762 1346 1035">系統要因</th> <th data-bbox="1308 360 1346 761">期待する設備</th> <th data-bbox="1308 153 1346 359">分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1350 1142 1368 1187">7.2.4</td> <td data-bbox="1373 1038 1451 1187"></td> <td data-bbox="1373 762 1451 1035"></td> <td data-bbox="1373 360 1451 761">可搬型アニュラス水素濃度計測ユニット 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 格納容器水位 原子炉下部キャビティ水位 可搬型圧力計測装置 (格納容器内感測ユニット) 入口流量 / 出口流量</td> <td data-bbox="1373 153 1451 359">53 条 (格納容器状態確認) 49 条 (代替格納容器スプレイ) 58 条 (注水確認) 49 条 (代替格納容器スプレイ) 58 条 (格納容器状態確認) 49 条 (代替格納容器スプレイ) 58 条 (格納容器状態確認) 49 条 (自然減圧制御) 58 条 (格納容器状態確認)</td> </tr> </tbody> </table>	No	シナリオ 水蒸気発生 (つづき)	系統要因	期待する設備	分類	7.2.4			可搬型アニュラス水素濃度計測ユニット 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 格納容器水位 原子炉下部キャビティ水位 可搬型圧力計測装置 (格納容器内感測ユニット) 入口流量 / 出口流量	53 条 (格納容器状態確認) 49 条 (代替格納容器スプレイ) 58 条 (注水確認) 49 条 (代替格納容器スプレイ) 58 条 (格納容器状態確認) 49 条 (代替格納容器スプレイ) 58 条 (格納容器状態確認) 49 条 (自然減圧制御) 58 条 (格納容器状態確認)	
No	シナリオ 水蒸気発生 (つづき)	系統要因	期待する設備	分類									
7.2.4			可搬型アニュラス水素濃度計測ユニット 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 格納容器水位 原子炉下部キャビティ水位 可搬型圧力計測装置 (格納容器内感測ユニット) 入口流量 / 出口流量	53 条 (格納容器状態確認) 49 条 (代替格納容器スプレイ) 58 条 (注水確認) 49 条 (代替格納容器スプレイ) 58 条 (格納容器状態確認) 49 条 (代替格納容器スプレイ) 58 条 (格納容器状態確認) 49 条 (自然減圧制御) 58 条 (格納容器状態確認)									

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由																				
		<p style="text-align: center;">表 58-11-2-37 系 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて閉鎖する設備とその分類について (41/65)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">No</th> <th style="width: 40%;">系統機器名</th> <th style="width: 30%;">維持する設備</th> <th style="width: 20%;">分類名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7.2.2</td> <td>シナリオ 高圧設備開放 山/地内停電 断電/断電復旧</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>7.2.3</td> <td>シナリオ 断水/断水復旧 断水/断水復旧</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>7.2.5</td> <td>シナリオ 断水/断水復旧 断水/断水復旧</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>7.3.1</td> <td>想定事故 1</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> </div>	No	系統機器名	維持する設備	分類名	7.2.2	シナリオ 高圧設備開放 山/地内停電 断電/断電復旧	-	-	7.2.3	シナリオ 断水/断水復旧 断水/断水復旧	-	-	7.2.5	シナリオ 断水/断水復旧 断水/断水復旧	-	-	7.3.1	想定事故 1	-	-	
No	系統機器名	維持する設備	分類名																				
7.2.2	シナリオ 高圧設備開放 山/地内停電 断電/断電復旧	-	-																				
7.2.3	シナリオ 断水/断水復旧 断水/断水復旧	-	-																				
7.2.5	シナリオ 断水/断水復旧 断水/断水復旧	-	-																				
7.3.1	想定事故 1	-	-																				

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由										
		<p>表 58-11-2: 37 条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (42/55)</p> <table border="1" data-bbox="1294 169 1435 1023"> <thead> <tr> <th data-bbox="1294 895 1435 975">No.</th> <th data-bbox="1294 671 1435 895">シナリオ</th> <th data-bbox="1294 512 1435 671">系統範囲</th> <th data-bbox="1294 336 1435 512">期待する設備</th> <th data-bbox="1294 169 1435 336">分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1294 975 1435 1023">7.3.1</td> <td data-bbox="1294 895 1435 975">想定事故 1 (ツブシ)</td> <td data-bbox="1294 671 1435 895"></td> <td data-bbox="1294 512 1435 671">                     使用済燃料ピット可搬型エリア                      モニタ                      使用済燃料ピット高圧 (自働型)                 </td> <td data-bbox="1294 169 1435 336">                     54 条 (使用済燃料ピット上設備)                      55 条 (使用済燃料ピット監視設備)                      54 条 (使用済燃料ピット監視設備)                      55 条 (使用済燃料ピット監視設備)                 </td> </tr> </tbody> </table>	No.	シナリオ	系統範囲	期待する設備	分類	7.3.1	想定事故 1 (ツブシ)		使用済燃料ピット可搬型エリア モニタ 使用済燃料ピット高圧 (自働型)	54 条 (使用済燃料ピット上設備) 55 条 (使用済燃料ピット監視設備) 54 条 (使用済燃料ピット監視設備) 55 条 (使用済燃料ピット監視設備)	
No.	シナリオ	系統範囲	期待する設備	分類									
7.3.1	想定事故 1 (ツブシ)		使用済燃料ピット可搬型エリア モニタ 使用済燃料ピット高圧 (自働型)	54 条 (使用済燃料ピット上設備) 55 条 (使用済燃料ピット監視設備) 54 条 (使用済燃料ピット監視設備) 55 条 (使用済燃料ピット監視設備)									











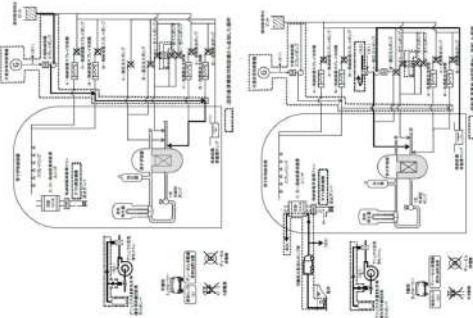
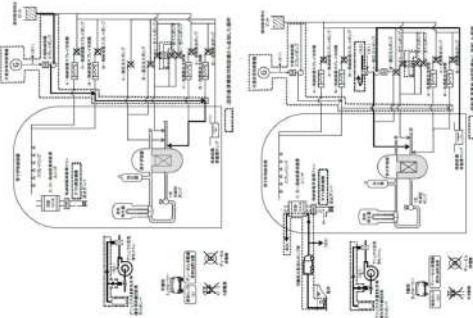
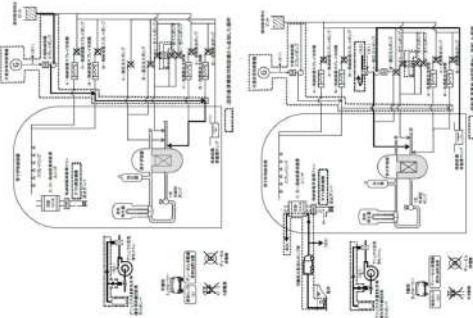
灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由										
		<p>表 58-11-2-37 条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (47/55)</p> <table border="1" data-bbox="1301 159 1624 1045"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>シナリオ</th> <th>系統概要図</th> <th>期待する設備</th> <th>分類表</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7.4.1</td> <td>機軸脱落故障 駆動失 (灰色) 機軸脱落による停止に伴う 機軸脱落 (運転停止中の 機軸脱落) (かつき)</td> <td></td> <td>                     1 次冷却回路 (D2A、低圧側)                      加圧器水位                      燃料棒制御用本機水位                      1 次冷却回路圧力 (圧縮機)                      1 次冷却回路スプレイングアウト構築設備                      原子炉格納容器圧力                      原子炉格納容器圧力                      格納容器内温度センサー (D2A)                      格納容器内温度センサー (D2A)                      格納容器内温度センサー (D2A)                      格納容器内温度センサー (D2A)                      格納容器内温度センサー (D2A)                      格納容器内温度センサー (D2A)                      格納容器内温度センサー (D2A)                 </td> <td>                     56 条 (原子炉格納容器)                      56 条 (原子炉格納容器)                      47 条 (水質)                      56 条 (水質)                      56 条 (原子炉格納容器)                      47 条 (圧縮機)                      47 条 (圧縮機)                      47 条 (圧縮機)                      56 条 (格納容器内温度)                      56 条 (格納容器内温度)                      56 条 (格納容器内温度)                      56 条 (格納容器内温度)                      56 条 (格納容器内温度)                      56 条 (格納容器内温度)                      56 条 (格納容器内温度)                 </td> </tr> </tbody> </table>	No.	シナリオ	系統概要図	期待する設備	分類表	7.4.1	機軸脱落故障 駆動失 (灰色) 機軸脱落による停止に伴う 機軸脱落 (運転停止中の 機軸脱落) (かつき)		1 次冷却回路 (D2A、低圧側) 加圧器水位 燃料棒制御用本機水位 1 次冷却回路圧力 (圧縮機) 1 次冷却回路スプレイングアウト構築設備 原子炉格納容器圧力 原子炉格納容器圧力 格納容器内温度センサー (D2A) 格納容器内温度センサー (D2A) 格納容器内温度センサー (D2A) 格納容器内温度センサー (D2A) 格納容器内温度センサー (D2A) 格納容器内温度センサー (D2A) 格納容器内温度センサー (D2A)	56 条 (原子炉格納容器) 56 条 (原子炉格納容器) 47 条 (水質) 56 条 (水質) 56 条 (原子炉格納容器) 47 条 (圧縮機) 47 条 (圧縮機) 47 条 (圧縮機) 56 条 (格納容器内温度) 56 条 (格納容器内温度) 56 条 (格納容器内温度) 56 条 (格納容器内温度) 56 条 (格納容器内温度) 56 条 (格納容器内温度) 56 条 (格納容器内温度)	
No.	シナリオ	系統概要図	期待する設備	分類表									
7.4.1	機軸脱落故障 駆動失 (灰色) 機軸脱落による停止に伴う 機軸脱落 (運転停止中の 機軸脱落) (かつき)		1 次冷却回路 (D2A、低圧側) 加圧器水位 燃料棒制御用本機水位 1 次冷却回路圧力 (圧縮機) 1 次冷却回路スプレイングアウト構築設備 原子炉格納容器圧力 原子炉格納容器圧力 格納容器内温度センサー (D2A) 格納容器内温度センサー (D2A) 格納容器内温度センサー (D2A) 格納容器内温度センサー (D2A) 格納容器内温度センサー (D2A) 格納容器内温度センサー (D2A) 格納容器内温度センサー (D2A)	56 条 (原子炉格納容器) 56 条 (原子炉格納容器) 47 条 (水質) 56 条 (水質) 56 条 (原子炉格納容器) 47 条 (圧縮機) 47 条 (圧縮機) 47 条 (圧縮機) 56 条 (格納容器内温度) 56 条 (格納容器内温度) 56 条 (格納容器内温度) 56 条 (格納容器内温度) 56 条 (格納容器内温度) 56 条 (格納容器内温度) 56 条 (格納容器内温度)									

灰色: 女川2号炉の記載のうち, BWR固有の設備や対応手段であり, 泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備, 運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字: 記載表現, 設備名称の相違 (実質的な相違なし)

飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由										
		<p>表58-11-2-37条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (48/55)</p> <table border="1" data-bbox="1288 151 1807 965"> <thead> <tr> <th data-bbox="1288 215 1310 311">No</th> <th data-bbox="1288 311 1310 375">シナリオ</th> <th data-bbox="1288 375 1310 486">系統範囲</th> <th data-bbox="1288 486 1310 550">期待する設備</th> <th data-bbox="1288 550 1310 646">分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1310 215 1332 311">1.4.2</td> <td data-bbox="1310 311 1355 375">空冷凝縮力電 源喪失 時停止中 の原子炉</td> <td data-bbox="1310 375 1355 486">系統範囲図</td> <td data-bbox="1310 486 1355 646">  </td> <td data-bbox="1310 646 1355 646">                     47 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ)                      48 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ)                      49 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ)                      50 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ)                      51 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ)                      52 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ)                      53 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ)                      54 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ)                      55 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ)                      56 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ)                      57 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ)                      58 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ)                      59 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ)                      60 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ)                      61 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ)                      62 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ)                      63 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ)                      64 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ)                      65 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ)                      66 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ)                      67 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ)                      68 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ)                      69 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ)                      70 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ)                      71 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ)                      72 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ)                      73 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ)                      74 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ)                      75 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ)                      76 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ)                      77 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ)                      78 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ)                      79 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ)                      80 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ)                      81 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ)                      82 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ)                      83 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ)                      84 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ)                      85 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ)                      86 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ)                      87 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ)                      88 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ)                      89 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ)                      90 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ)                      91 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ)                      92 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ)                      93 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ)                      94 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ)                      95 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ)                      96 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ)                      97 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ)                      98 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ)                      99 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ)                      100 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ)                 </td> </tr> </tbody> </table>	No	シナリオ	系統範囲	期待する設備	分類	1.4.2	空冷凝縮力電 源喪失 時停止中 の原子炉	系統範囲図		47 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 48 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 49 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 50 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 51 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 52 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 53 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 54 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 55 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 56 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 57 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 58 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 59 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 60 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 61 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 62 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 63 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 64 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 65 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 66 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 67 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 68 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 69 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 70 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 71 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 72 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 73 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 74 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 75 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 76 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 77 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 78 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 79 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 80 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 81 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 82 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 83 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 84 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 85 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 86 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 87 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 88 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 89 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 90 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 91 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 92 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 93 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 94 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 95 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 96 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 97 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 98 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 99 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 100 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ)	
No	シナリオ	系統範囲	期待する設備	分類									
1.4.2	空冷凝縮力電 源喪失 時停止中 の原子炉	系統範囲図		47 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 48 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 49 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 50 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 51 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 52 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 53 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 54 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 55 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 56 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 57 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 58 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 59 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 60 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 61 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 62 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 63 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 64 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 65 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 66 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 67 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 68 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 69 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 70 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 71 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 72 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 73 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 74 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 75 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 76 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 77 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 78 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 79 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 80 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 81 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 82 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 83 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 84 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 85 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 86 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 87 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 88 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 89 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 90 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 91 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 92 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 93 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 94 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 95 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 96 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 97 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 98 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 99 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ) 100 冷却水ポンプ (冷却水ポンプ)									

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由																																																							
		<p>表 58-11-2 37 条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて開閉する設備とその分類について (例/注)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1290 919 1308 959">No</th> <th data-bbox="1290 632 1308 919">シナリオ</th> <th data-bbox="1290 360 1308 632">系統機器名</th> <th data-bbox="1290 161 1308 360">開閉する設備</th> <th data-bbox="1290 108 1308 161">分類表</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1308 919 1326 959">1.4.2</td> <td data-bbox="1308 632 1375 959">全交流機発電機停止中の炉停止時 (1つ2巻)</td> <td data-bbox="1308 360 1375 632"></td> <td data-bbox="1308 161 1375 360">                     非常用中心冷却設備駆動機・弁 (代                      替)(注水)                      炉子冷却設備スプレイ設備配                      管・弁 (代替)(注水)                      冷却停止設備 配管・弁 (代替)                      の一部(注)                 </td> <td data-bbox="1308 108 1375 161">                     47 巻 (既設)                      47 巻 (既設)                      47 巻 (既設)                      47 巻 (既設)                 </td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td data-bbox="1375 161 1464 360">                     1 号炉冷却機 (既設)                      (既設) 緊急停止機、1 号炉冷却ポン                      プ、加圧機、1 号炉冷却管、加圧                      機子の弁等                      2 号炉冷却機                      3 号炉冷却機                      4 号炉冷却機 (注水機)                      5 号炉冷却機 (注水機)                 </td> <td data-bbox="1375 108 1464 161">                     47 巻 (注水機)                      47 巻 (注水機)                      47 巻 (注水機)                      47 巻 (注水機)                      47 巻 (注水機)                 </td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td data-bbox="1464 161 1554 360">                     1 号炉冷却機 (既設)                      (既設) 緊急停止機、1 号炉冷却ポン                      プ、加圧機、1 号炉冷却管、加圧                      機子の弁等                      2 号炉冷却機                      3 号炉冷却機                      4 号炉冷却機 (注水機)                      5 号炉冷却機 (注水機)                 </td> <td data-bbox="1464 108 1554 161">                     47 巻 (注水機)                      47 巻 (注水機)                      47 巻 (注水機)                      47 巻 (注水機)                      47 巻 (注水機)                 </td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td data-bbox="1554 161 1644 360">                     1 号炉冷却機 (既設)                      (既設) 緊急停止機、1 号炉冷却ポン                      プ、加圧機、1 号炉冷却管、加圧                      機子の弁等                      2 号炉冷却機                      3 号炉冷却機                      4 号炉冷却機 (注水機)                      5 号炉冷却機 (注水機)                 </td> <td data-bbox="1554 108 1644 161">                     47 巻 (注水機)                      47 巻 (注水機)                      47 巻 (注水機)                      47 巻 (注水機)                      47 巻 (注水機)                 </td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td data-bbox="1644 161 1733 360">                     1 号炉冷却機 (既設)                      (既設) 緊急停止機、1 号炉冷却ポン                      プ、加圧機、1 号炉冷却管、加圧                      機子の弁等                      2 号炉冷却機                      3 号炉冷却機                      4 号炉冷却機 (注水機)                      5 号炉冷却機 (注水機)                 </td> <td data-bbox="1644 108 1733 161">                     47 巻 (注水機)                      47 巻 (注水機)                      47 巻 (注水機)                      47 巻 (注水機)                      47 巻 (注水機)                 </td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td data-bbox="1733 161 1823 360">                     1 号炉冷却機 (既設)                      (既設) 緊急停止機、1 号炉冷却ポン                      プ、加圧機、1 号炉冷却管、加圧                      機子の弁等                      2 号炉冷却機                      3 号炉冷却機                      4 号炉冷却機 (注水機)                      5 号炉冷却機 (注水機)                 </td> <td data-bbox="1733 108 1823 161">                     47 巻 (注水機)                      47 巻 (注水機)                      47 巻 (注水機)                      47 巻 (注水機)                      47 巻 (注水機)                 </td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td data-bbox="1823 161 1912 360">                     1 号炉冷却機 (既設)                      (既設) 緊急停止機、1 号炉冷却ポン                      プ、加圧機、1 号炉冷却管、加圧                      機子の弁等                      2 号炉冷却機                      3 号炉冷却機                      4 号炉冷却機 (注水機)                      5 号炉冷却機 (注水機)                 </td> <td data-bbox="1823 108 1912 161">                     47 巻 (注水機)                      47 巻 (注水機)                      47 巻 (注水機)                      47 巻 (注水機)                      47 巻 (注水機)                 </td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td data-bbox="1912 161 2002 360">                     1 号炉冷却機 (既設)                      (既設) 緊急停止機、1 号炉冷却ポン                      プ、加圧機、1 号炉冷却管、加圧                      機子の弁等                      2 号炉冷却機                      3 号炉冷却機                      4 号炉冷却機 (注水機)                      5 号炉冷却機 (注水機)                 </td> <td data-bbox="1912 108 2002 161">                     47 巻 (注水機)                      47 巻 (注水機)                      47 巻 (注水機)                      47 巻 (注水機)                      47 巻 (注水機)                 </td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td data-bbox="2002 161 2092 360">                     1 号炉冷却機 (既設)                      (既設) 緊急停止機、1 号炉冷却ポン                      プ、加圧機、1 号炉冷却管、加圧                      機子の弁等                      2 号炉冷却機                      3 号炉冷却機                      4 号炉冷却機 (注水機)                      5 号炉冷却機 (注水機)                 </td> <td data-bbox="2002 108 2092 161">                     47 巻 (注水機)                      47 巻 (注水機)                      47 巻 (注水機)                      47 巻 (注水機)                      47 巻 (注水機)                 </td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td data-bbox="2092 161 2181 360">                     1 号炉冷却機 (既設)                      (既設) 緊急停止機、1 号炉冷却ポン                      プ、加圧機、1 号炉冷却管、加圧                      機子の弁等                      2 号炉冷却機                      3 号炉冷却機                      4 号炉冷却機 (注水機)                      5 号炉冷却機 (注水機)                 </td> <td data-bbox="2092 108 2181 161">                     47 巻 (注水機)                      47 巻 (注水機)                      47 巻 (注水機)                      47 巻 (注水機)                      47 巻 (注水機)                 </td> </tr> </tbody> </table>	No	シナリオ	系統機器名	開閉する設備	分類表	1.4.2	全交流機発電機停止中の炉停止時 (1つ2巻)		非常用中心冷却設備駆動機・弁 (代 替)(注水) 炉子冷却設備スプレイ設備配 管・弁 (代替)(注水) 冷却停止設備 配管・弁 (代替) の一部(注)	47 巻 (既設) 47 巻 (既設) 47 巻 (既設) 47 巻 (既設)				1 号炉冷却機 (既設) (既設) 緊急停止機、1 号炉冷却ポン プ、加圧機、1 号炉冷却管、加圧 機子の弁等 2 号炉冷却機 3 号炉冷却機 4 号炉冷却機 (注水機) 5 号炉冷却機 (注水機)	47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機)				1 号炉冷却機 (既設) (既設) 緊急停止機、1 号炉冷却ポン プ、加圧機、1 号炉冷却管、加圧 機子の弁等 2 号炉冷却機 3 号炉冷却機 4 号炉冷却機 (注水機) 5 号炉冷却機 (注水機)	47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機)				1 号炉冷却機 (既設) (既設) 緊急停止機、1 号炉冷却ポン プ、加圧機、1 号炉冷却管、加圧 機子の弁等 2 号炉冷却機 3 号炉冷却機 4 号炉冷却機 (注水機) 5 号炉冷却機 (注水機)	47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機)				1 号炉冷却機 (既設) (既設) 緊急停止機、1 号炉冷却ポン プ、加圧機、1 号炉冷却管、加圧 機子の弁等 2 号炉冷却機 3 号炉冷却機 4 号炉冷却機 (注水機) 5 号炉冷却機 (注水機)	47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機)				1 号炉冷却機 (既設) (既設) 緊急停止機、1 号炉冷却ポン プ、加圧機、1 号炉冷却管、加圧 機子の弁等 2 号炉冷却機 3 号炉冷却機 4 号炉冷却機 (注水機) 5 号炉冷却機 (注水機)	47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機)				1 号炉冷却機 (既設) (既設) 緊急停止機、1 号炉冷却ポン プ、加圧機、1 号炉冷却管、加圧 機子の弁等 2 号炉冷却機 3 号炉冷却機 4 号炉冷却機 (注水機) 5 号炉冷却機 (注水機)	47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機)				1 号炉冷却機 (既設) (既設) 緊急停止機、1 号炉冷却ポン プ、加圧機、1 号炉冷却管、加圧 機子の弁等 2 号炉冷却機 3 号炉冷却機 4 号炉冷却機 (注水機) 5 号炉冷却機 (注水機)	47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機)				1 号炉冷却機 (既設) (既設) 緊急停止機、1 号炉冷却ポン プ、加圧機、1 号炉冷却管、加圧 機子の弁等 2 号炉冷却機 3 号炉冷却機 4 号炉冷却機 (注水機) 5 号炉冷却機 (注水機)	47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機)				1 号炉冷却機 (既設) (既設) 緊急停止機、1 号炉冷却ポン プ、加圧機、1 号炉冷却管、加圧 機子の弁等 2 号炉冷却機 3 号炉冷却機 4 号炉冷却機 (注水機) 5 号炉冷却機 (注水機)	47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機)	
No	シナリオ	系統機器名	開閉する設備	分類表																																																						
1.4.2	全交流機発電機停止中の炉停止時 (1つ2巻)		非常用中心冷却設備駆動機・弁 (代 替)(注水) 炉子冷却設備スプレイ設備配 管・弁 (代替)(注水) 冷却停止設備 配管・弁 (代替) の一部(注)	47 巻 (既設) 47 巻 (既設) 47 巻 (既設) 47 巻 (既設)																																																						
			1 号炉冷却機 (既設) (既設) 緊急停止機、1 号炉冷却ポン プ、加圧機、1 号炉冷却管、加圧 機子の弁等 2 号炉冷却機 3 号炉冷却機 4 号炉冷却機 (注水機) 5 号炉冷却機 (注水機)	47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機)																																																						
			1 号炉冷却機 (既設) (既設) 緊急停止機、1 号炉冷却ポン プ、加圧機、1 号炉冷却管、加圧 機子の弁等 2 号炉冷却機 3 号炉冷却機 4 号炉冷却機 (注水機) 5 号炉冷却機 (注水機)	47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機)																																																						
			1 号炉冷却機 (既設) (既設) 緊急停止機、1 号炉冷却ポン プ、加圧機、1 号炉冷却管、加圧 機子の弁等 2 号炉冷却機 3 号炉冷却機 4 号炉冷却機 (注水機) 5 号炉冷却機 (注水機)	47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機)																																																						
			1 号炉冷却機 (既設) (既設) 緊急停止機、1 号炉冷却ポン プ、加圧機、1 号炉冷却管、加圧 機子の弁等 2 号炉冷却機 3 号炉冷却機 4 号炉冷却機 (注水機) 5 号炉冷却機 (注水機)	47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機)																																																						
			1 号炉冷却機 (既設) (既設) 緊急停止機、1 号炉冷却ポン プ、加圧機、1 号炉冷却管、加圧 機子の弁等 2 号炉冷却機 3 号炉冷却機 4 号炉冷却機 (注水機) 5 号炉冷却機 (注水機)	47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機)																																																						
			1 号炉冷却機 (既設) (既設) 緊急停止機、1 号炉冷却ポン プ、加圧機、1 号炉冷却管、加圧 機子の弁等 2 号炉冷却機 3 号炉冷却機 4 号炉冷却機 (注水機) 5 号炉冷却機 (注水機)	47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機)																																																						
			1 号炉冷却機 (既設) (既設) 緊急停止機、1 号炉冷却ポン プ、加圧機、1 号炉冷却管、加圧 機子の弁等 2 号炉冷却機 3 号炉冷却機 4 号炉冷却機 (注水機) 5 号炉冷却機 (注水機)	47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機)																																																						
			1 号炉冷却機 (既設) (既設) 緊急停止機、1 号炉冷却ポン プ、加圧機、1 号炉冷却管、加圧 機子の弁等 2 号炉冷却機 3 号炉冷却機 4 号炉冷却機 (注水機) 5 号炉冷却機 (注水機)	47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機)																																																						
			1 号炉冷却機 (既設) (既設) 緊急停止機、1 号炉冷却ポン プ、加圧機、1 号炉冷却管、加圧 機子の弁等 2 号炉冷却機 3 号炉冷却機 4 号炉冷却機 (注水機) 5 号炉冷却機 (注水機)	47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機) 47 巻 (注水機)																																																						





灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>表 58-11-2-37 表 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおける閉鎖する設備とその分類について (61/65)</p>	





灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由										
		<p>表 58-11-2-37 条 (重大事故等対策の有効性評価) 各シナリオにおいて期待する設備とその分類について (54/55)</p> <table border="1" data-bbox="1310 164 1626 1220"> <thead> <tr> <th data-bbox="1310 1061 1344 1220">No</th> <th data-bbox="1344 1061 1456 1220">シナリオ</th> <th data-bbox="1456 1061 1626 1220">系統概要図</th> <th data-bbox="1310 375 1344 1061">期待する設備</th> <th data-bbox="1310 164 1344 375">分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1310 1165 1344 1220">7.4.3</td> <td data-bbox="1344 1061 1456 1220">原子炉冷却材の流出 (運転停止中の原子炉) (つづき)</td> <td data-bbox="1456 1061 1626 1220"></td> <td data-bbox="1310 375 1344 1061">                     1 次冷却材温度 (圧減一低温側)                      燃料冷却器用水ピット水位                      原子炉格納容器圧力                      高圧注入流量                      格納容器再循環サンプ水位 (広域)                      格納容器再循環サンプ水位 (狭域)                      格納容器内温度                      格納容器圧力 (AM 用)                      可換型温度計側装置 (格納容器再循環ユニット) 入口温度 / 出口温度                 </td> <td data-bbox="1310 164 1344 375">                     58 条 (原子炉状況確認)                      47 条 (水漏)                      58 条 (水漏確認)                      58 条 (格納容器状態確認)                      58 条設計基準仕様 (解析上使用)                      47 条 (水漏)                      58 条 (格納容器状態確認)                      47 条 (水漏)                      58 条 (格納容器状態確認)                      58 条 (格納容器状態確認)                      58 条 (格納容器状態確認)                      49 条 (自然対流冷却)                      58 条 (格納容器状態確認)                 </td> </tr> </tbody> </table>	No	シナリオ	系統概要図	期待する設備	分類	7.4.3	原子炉冷却材の流出 (運転停止中の原子炉) (つづき)		1 次冷却材温度 (圧減一低温側) 燃料冷却器用水ピット水位 原子炉格納容器圧力 高圧注入流量 格納容器再循環サンプ水位 (広域) 格納容器再循環サンプ水位 (狭域) 格納容器内温度 格納容器圧力 (AM 用) 可換型温度計側装置 (格納容器再循環ユニット) 入口温度 / 出口温度	58 条 (原子炉状況確認) 47 条 (水漏) 58 条 (水漏確認) 58 条 (格納容器状態確認) 58 条設計基準仕様 (解析上使用) 47 条 (水漏) 58 条 (格納容器状態確認) 47 条 (水漏) 58 条 (格納容器状態確認) 58 条 (格納容器状態確認) 58 条 (格納容器状態確認) 49 条 (自然対流冷却) 58 条 (格納容器状態確認)	
No	シナリオ	系統概要図	期待する設備	分類									
7.4.3	原子炉冷却材の流出 (運転停止中の原子炉) (つづき)		1 次冷却材温度 (圧減一低温側) 燃料冷却器用水ピット水位 原子炉格納容器圧力 高圧注入流量 格納容器再循環サンプ水位 (広域) 格納容器再循環サンプ水位 (狭域) 格納容器内温度 格納容器圧力 (AM 用) 可換型温度計側装置 (格納容器再循環ユニット) 入口温度 / 出口温度	58 条 (原子炉状況確認) 47 条 (水漏) 58 条 (水漏確認) 58 条 (格納容器状態確認) 58 条設計基準仕様 (解析上使用) 47 条 (水漏) 58 条 (格納容器状態確認) 47 条 (水漏) 58 条 (格納容器状態確認) 58 条 (格納容器状態確認) 58 条 (格納容器状態確認) 49 条 (自然対流冷却) 58 条 (格納容器状態確認)									





灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(大飯該当資料なし)</p>	<p style="text-align: right;">別紙 1</p> <p>サブプレッションプール等水位上昇時の計装設備への影響について</p> <p>1. はじめに                  格納容器破損防止対策において、外部水源による原子炉注水、格納容器スプレイを継続した場合、サブプレッションチェンバのプール水の水位は上昇するが、真空破壊装置が水没しないように外部水源注水量制限 (サブプレッションプール水位が通常水位+約2m) を設け、制限に達した場合は格納容器スプレイを停止する。</p> <p>有効性評価シナリオにおいて、最もサブプレッションチェンバ内の水位が上昇するシナリオは、格納容器過圧・過温破損 (代替循環冷却系を使用できない場合) シナリオであり、格納容器ベント実施による圧力低下によりサブプレッションチェンバのプール水の水位は、真空破壊装置下端付近まで上昇する評価となる。                  また、格納容器下部注水及び格納容器スプレイを継続した場合、ドライウェル水位はベント管下端付近まで上昇する評価となる。</p> <p>ここでは、サブプレッションチェンバのプール水の水位及びドライウェル水位が上昇した場合の計装設備への影響を評価する。</p> <p>2. 評価結果                  格納容器内に設置される重大事故等時に使用する計装設備は、原子炉圧力容器温度、ドライウェル温度、格納容器内水素濃度 (D/W)、ドライウェル水位、原子炉格納容器下部温度、原子炉格納容器下部水位、格納容器内水素濃度 (S/C)、圧力抑制室内空気温度、サブプレッションプール水温度があり、サブプレッションプール水位及びドライウェル水位が上昇した場合の計装設備への影響を以下のとおり評価した。</p>	<p style="text-align: right;">別紙 1</p> <p>格納容器内水位上昇時の計装設備への影響について</p> <p>1. はじめに                  格納容器破損防止対策において、外部水源による原子炉注水、格納容器スプレイを継続した場合、格納容器内の水位は上昇するが、格納容器再循環ユニットの吸気ダクトが水没しないように外部水源注水量制限 (格納容器再循環ユニットの吸気ダクト下端付近) を設け、制限に達した場合は格納容器注水を停止する。</p> <p>有効性評価シナリオにおいて、最も格納容器内の水位が上昇するシナリオは、格納容器過圧破損シナリオであり、外部水源による原子炉注水、格納容器スプレイ実施により格納容器内の水位は、格納容器再循環ユニットの吸気ダクト下端付近まで上昇する評価となる。</p> <p>ここでは、格納容器内の水位が上昇した場合の計装設備への影響を評価する。</p> <p>2. 評価結果                  格納容器内に設置される重大事故等時に使用する計装設備は、1次冷却材温度 (広域-高温側)、1次冷却材温度 (広域-低温側)、1次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位、原子炉容器水位、格納容器内温度、原子炉格納容器圧力、格納容器圧力 (AM用)、格納容器再循環サンプ水位 (広域)、格納容器再循環サンプ水位 (狭域)、格納容器水位、原子炉下部キャビティ水位、格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)、格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)、出力領域中性子束、中間領域中性子束、中性子源領域中性子束、蒸気発生器水位 (広域)、蒸気発生器水位 (狭域)、原子炉格納容器内水素処理装置温度監視装置及び格納容器水素イグナイタ温度監視装置があり、格納容器内水位が上昇した</p>	<p>・泊は、格納容器除熱手段として格納容器再循環ユニットによる自然対流冷却を行うこととしており、格納容器内の水位については格納容器再循環ユニットの給気ダクトが水没しないことを制限としている。</p> <p>■記載表現の相違</p> <p>・外部水源による原子炉注水、格納容器スプレイを継続した場合としており、スプレイではなく注水とした。</p>

灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容  
 赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>第1表に格納容器内の計装設備の設置高さを、第1図に格納容器内の計装設備の配置を示す。</p> <p>(1) サプレッションプール水位が上昇した場合の計装設備への影響                  サプレッションプール水位が真空破壊装置下端まで上昇した場合、格納容器内に設置される重大事故等時に使用する計装設備のうち、通常運転時から水面下に設置しているサプレッションプール水温度は水面以下となる状態が継続する。                  サプレッションプール水温度は、検出器から電気貫通部までの間に接続部を設けない構造とすることで、水没により機能喪失しない設計としている。                  また、重大事故等時の耐環境性向上 (格納容器の限界温度・圧力である 200℃、854kPaの蒸気条件下での健全性確保) を図る設計としている。</p> <p>(2) ドライウェル水位が上昇した場合の計装設備への影響                  ドライウェル水位がベント管下端まで上昇した場合、格納容器内に設置される重大事故等時に使用する計装設備のうち、ドライウェル水位、原子炉格納容器下部温度及び原子炉格納容器下部水位は、ドライウェル水位の上昇により水没する。</p> <p>これらの重大事故等時に使用する計装設備は、検出器から電気貫通部までの間に接続部を設けない構造とすることで、水没により機能喪失しない設計としている。また、重大事故等時の耐環境性向上 (格納容器の限界温度・圧力である200℃、854kPa の蒸気条件下での健全性確保) を図る設計としている。</p>	<p>場合の計装設備への影響を以下のとおり評価した。</p> <p>第1表に格納容器内の計装設備の設置高さを、第1図に格納容器内の計装設備の配置を示す。</p> <p>格納容器内水位が格納容器水位の検出器まで上昇した場合、格納容器内に設置される重大事故等時に使用する計装設備のうち、1次冷却材温度 (広域-高温側)、1次冷却材温度 (広域-低温側)、1次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位、原子炉容器水位、原子炉格納容器圧力、格納容器再循環サンプ水位 (広域)、格納容器再循環サンプ水位 (狭域)、原子炉下部キャビティ水位、出力領域中性子束、中間領域中性子束、中性子源領域中性子束、蒸気発生器水位 (広域) 並びに原子炉格納容器内水素処理装置温度監視装置及び格納容器水素イグナイタ温度監視装置の一部は、格納容器内水位の上昇により水没する。</p> <p>これらの重大事故等時に使用する計装設備は、水没後は機能維持を期待せず、水没しない位置に設置している重大事故等時に使用する計装設備を用いてプラント状態を監視する設計としている。また、重大事故等時の耐環境性向上 (重大事故等時の環境条件下 (最大約141℃、約0.360MPaの蒸気条件下) での健全性確保) を図る設計としている。</p>	<p>■記載方針の相違                  ・PWR と BWR における耐環境性試験の相違。</p>



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1表 原子炉格納容器内の計装設備の設置高さ

計装設備 <sup>※1</sup>	個数	検出器設置高さ	影響評価
①原子炉圧力容器温度	5		原子炉圧力容器温度5個は水没しない。なお、検出器から電気質通部までの間に検検部を設けない構造とすることで、事故時の耐環境性向上を図る設計としている。
②ドライウエルト温度	11		ドライウエルト温度11個は水没しない。なお、検出器から電気質通部までの間に検検部を設けない構造とすることで、事故時の耐環境性向上を図る設計としている。
③格納容器内水素濃度 (0/W)	2		格納容器内水素濃度 (0/W) 2個は水没しない。なお、検出器から電気質通部までの間に検検部を設けない構造とすることで、事故時の耐環境性向上を図る設計としている。
④ドライウエルト水位	6		ドライウエルト水位 (電極式) 6個は水没するが、水位計であり、また、検出器から電気質通部までの間に検検部を設けない構造とすることで、事故時の耐環境性向上を図る設計としている。
⑤原子炉格納容器下部温度	12		原子炉格納容器下部温度 12 個は水没するが、検出器から電気質通部までの間に検検部を設けない構造とすることで、事故時の耐環境性向上を図る設計としている。
⑥原子炉格納容器下部水位	12		原子炉格納容器下部水位 (電極式) 12 個は水没するが、水位計であり、また、検出器から電気質通部までの間に検検部を設けない構造とすることで、事故時の耐環境性向上を図る設計としている。
⑦格納容器内水素濃度 (S/C)	2		格納容器内水素濃度 (S/C) 2個は水没しない。なお、検出器から電気質通部までの間に検検部を設けない構造とすることで、事故時の耐環境性向上を図る設計としている。
⑧圧力抑制室内空気温度	4		圧力抑制室内空気温度 4個は水没しない。なお、検出器から電気質通部までの間に検検部を設けない構造とすることで、事故時の耐環境性向上を図る設計としている。
⑨サブプレッショニングプール水温	16		サブプレッショニングプールの水温 16 個は水没するが、検出器から電気質通部までの間に検検部を設けない構造とすることで、事故時の耐環境性向上を図る設計としている。

※1 表中の丸数字は第1図の丸数字に対応する。

枠囲みの内容は補装機等の観点から公開できません。

第1表 格納容器内の計装設備の設置高さ (1/4)

計装設備 (注1)	個数	検出器設置高さ	影響評価
① 1次冷却材温度 (広域-高温側)	3	FL, T.P. 17.8m	1次冷却材温度 (広域-高温側) 3個は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。
② 1次冷却材温度 (広域-低温側)	3	FL, T.P. 17.8m	1次冷却材温度 (広域-低温側) 3個は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。
③ 1次冷却材圧力 (広域)	2	FL, T.P. 17.8m	1次冷却材圧力 (広域) 2個は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。
④ 加圧器水位	2	FL, T.P. 17.8m	加圧器水位 2個は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。
⑤ 原子炉容器水位	1	FL, T.P. 17.8m	原子炉容器水位 1個は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。
⑥ 格納容器内温度	2	FL, T.P. 38.9m	格納容器内温度 2個は水没しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。

(注1) 計装設備の番号は、第1図における計装設備の番号と同じ。

【女川】炉型の相違  
 ・PWRとBWRで想定される重大事故等及び対処するための監視パラメータ (計装設備) が異なるため、比較対象外としている。以降、同表において同じ。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉 (女川なし)	泊発電所3号炉	相違理由																												
		<p>第1表 格納容器内の計装設備の設置高さ (2/4)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>計装設備 (注1)</th> <th>個数</th> <th>検出器 設置高さ</th> <th>影響評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>㉑ 原子炉格納容器圧力</td> <td>2</td> <td>F.L.T.F.17.8m</td> <td>原子炉格納容器圧力2個の検出器は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験している。</td> </tr> <tr> <td>㉒ 格納容器圧力 (AM用)</td> <td>2</td> <td>F.L.T.F.24.8m</td> <td>格納容器圧力 (AM用) の検出器2個は水没しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験している。</td> </tr> <tr> <td>㉓ 格納容器再循環ポンプ水位 (広域)</td> <td>2</td> <td>F.L.T.F.12.1m</td> <td>格納容器再循環ポンプ水位 (広域) 2個は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験している。</td> </tr> <tr> <td>㉔ 格納容器再循環ポンプ水位 (狭域)</td> <td>2</td> <td>F.L.T.F.12.1m</td> <td>格納容器再循環ポンプ水位 (狭域) 2個は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験している。</td> </tr> <tr> <td>㉕ 格納容器水位</td> <td>1</td> <td style="background-color: #cccccc;"></td> <td>格納容器水位1個は水没しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験している。</td> </tr> <tr> <td>㉖ 原子炉下部キャビティ水位</td> <td>1</td> <td style="background-color: #cccccc;"></td> <td>原子炉下部キャビティ水位1個は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験している。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 計装設備の番号は、第1図における計装設備の番号と同じ。  <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 10px; height: 10px; vertical-align: middle;"></span> 枠組みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	計装設備 (注1)	個数	検出器 設置高さ	影響評価	㉑ 原子炉格納容器圧力	2	F.L.T.F.17.8m	原子炉格納容器圧力2個の検出器は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験している。	㉒ 格納容器圧力 (AM用)	2	F.L.T.F.24.8m	格納容器圧力 (AM用) の検出器2個は水没しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験している。	㉓ 格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	2	F.L.T.F.12.1m	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) 2個は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験している。	㉔ 格納容器再循環ポンプ水位 (狭域)	2	F.L.T.F.12.1m	格納容器再循環ポンプ水位 (狭域) 2個は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験している。	㉕ 格納容器水位	1		格納容器水位1個は水没しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験している。	㉖ 原子炉下部キャビティ水位	1		原子炉下部キャビティ水位1個は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験している。	
計装設備 (注1)	個数	検出器 設置高さ	影響評価																												
㉑ 原子炉格納容器圧力	2	F.L.T.F.17.8m	原子炉格納容器圧力2個の検出器は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験している。																												
㉒ 格納容器圧力 (AM用)	2	F.L.T.F.24.8m	格納容器圧力 (AM用) の検出器2個は水没しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験している。																												
㉓ 格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	2	F.L.T.F.12.1m	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) 2個は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験している。																												
㉔ 格納容器再循環ポンプ水位 (狭域)	2	F.L.T.F.12.1m	格納容器再循環ポンプ水位 (狭域) 2個は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験している。																												
㉕ 格納容器水位	1		格納容器水位1個は水没しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験している。																												
㉖ 原子炉下部キャビティ水位	1		原子炉下部キャビティ水位1個は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験している。																												



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉 (女川なし)	泊発電所3号炉	相違理由																												
		<p>第1表 格納容器内の計装設備の設置高さ (3/4)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">計装設備 (注1)</th> <th style="width: 10%;">個数</th> <th style="width: 15%;">検出器 設置高さ</th> <th style="width: 45%;">影響評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>⑬ 格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)</td> <td>2</td> <td>Fl. T. P. 40. 2m</td> <td>格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) 2個は水没しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。</td> </tr> <tr> <td>⑭ 格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)</td> <td>2</td> <td>Fl. T. P. 40. 2m</td> <td>格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ) 2個は水没しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。</td> </tr> <tr> <td>⑮ 出力領域中性子束</td> <td>4</td> <td>T. P. 17. 6m</td> <td>出力領域中性子束4個は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。</td> </tr> <tr> <td>⑯ 中間領域中性子束</td> <td>2</td> <td>T. P. 17. 6m</td> <td>中間領域中性子束2個は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。</td> </tr> <tr> <td>⑰ 中性子源領域中性子束</td> <td>2</td> <td>T. P. 17. 6m</td> <td>中性子源領域中性子束2個は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。</td> </tr> <tr> <td>⑱ 蒸気発生器水位 (広域)</td> <td>3</td> <td>Fl. T. P. 17. 8m</td> <td>蒸気発生器水位 (広域) 3個は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 計装設備の番号は、第1図における計装設備の番号と同じ。</p>	計装設備 (注1)	個数	検出器 設置高さ	影響評価	⑬ 格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)	2	Fl. T. P. 40. 2m	格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) 2個は水没しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。	⑭ 格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)	2	Fl. T. P. 40. 2m	格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ) 2個は水没しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。	⑮ 出力領域中性子束	4	T. P. 17. 6m	出力領域中性子束4個は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。	⑯ 中間領域中性子束	2	T. P. 17. 6m	中間領域中性子束2個は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。	⑰ 中性子源領域中性子束	2	T. P. 17. 6m	中性子源領域中性子束2個は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。	⑱ 蒸気発生器水位 (広域)	3	Fl. T. P. 17. 8m	蒸気発生器水位 (広域) 3個は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。	
計装設備 (注1)	個数	検出器 設置高さ	影響評価																												
⑬ 格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)	2	Fl. T. P. 40. 2m	格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) 2個は水没しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。																												
⑭ 格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)	2	Fl. T. P. 40. 2m	格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ) 2個は水没しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。																												
⑮ 出力領域中性子束	4	T. P. 17. 6m	出力領域中性子束4個は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。																												
⑯ 中間領域中性子束	2	T. P. 17. 6m	中間領域中性子束2個は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。																												
⑰ 中性子源領域中性子束	2	T. P. 17. 6m	中性子源領域中性子束2個は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。																												
⑱ 蒸気発生器水位 (広域)	3	Fl. T. P. 17. 8m	蒸気発生器水位 (広域) 3個は水没し、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。																												

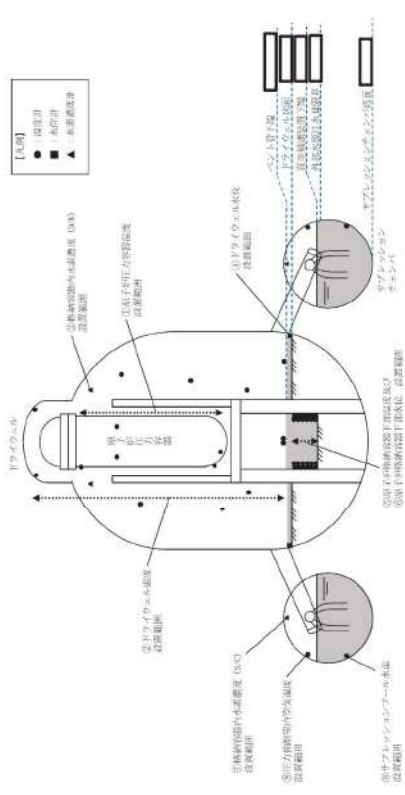
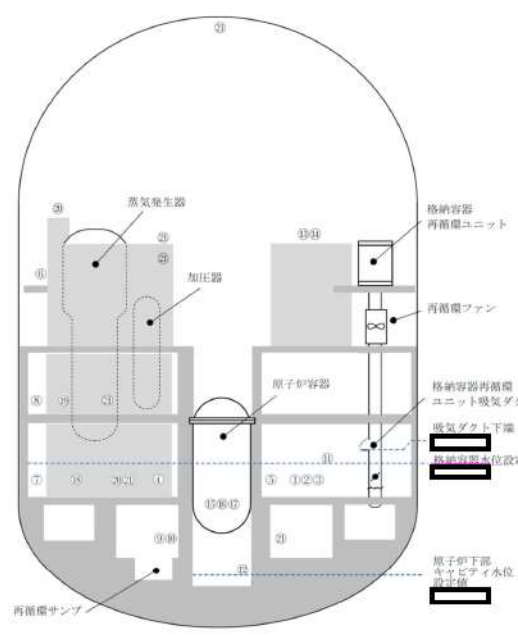
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉 (女川なし)	泊発電所3号炉	相違理由																	
		<p>第1表 格納容器内の計装設備の設置高さ (4/4)</p> <table border="1" data-bbox="1288 236 1601 1117"> <thead> <tr> <th>計装設備 (注1)</th> <th>個数</th> <th>格納容器内の計装設備の設置高さ (4/4)</th> <th>格納容器内の計装設備の設置高さ (4/4)</th> <th>影響評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 蒸気発生器水位 (狭域)</td> <td>6</td> <td>FL.T.P.24.8m</td> <td>蒸気発生器水位 (狭域) 6個は水没しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。</td> </tr> <tr> <td>② 原子炉格納容器内水系処理装置温度監視装置</td> <td>5</td> <td></td> <td>原子炉格納容器内水系処理装置温度監視装置5個のうち一部の水没する格納容器は、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。</td> </tr> <tr> <td>③ 格納容器水系イグナイタ温度監視装置</td> <td>13</td> <td></td> <td>格納容器水系イグナイタ温度監視装置13個のうち一部の水没する格納容器は、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 計装設備の番号は、第1図における計装設備の番号と同じ。</p>	計装設備 (注1)	個数	格納容器内の計装設備の設置高さ (4/4)	格納容器内の計装設備の設置高さ (4/4)	影響評価	① 蒸気発生器水位 (狭域)	6	FL.T.P.24.8m	蒸気発生器水位 (狭域) 6個は水没しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。	② 原子炉格納容器内水系処理装置温度監視装置	5		原子炉格納容器内水系処理装置温度監視装置5個のうち一部の水没する格納容器は、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。	③ 格納容器水系イグナイタ温度監視装置	13		格納容器水系イグナイタ温度監視装置13個のうち一部の水没する格納容器は、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。	<p>中央のみの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>
計装設備 (注1)	個数	格納容器内の計装設備の設置高さ (4/4)	格納容器内の計装設備の設置高さ (4/4)	影響評価																
① 蒸気発生器水位 (狭域)	6	FL.T.P.24.8m	蒸気発生器水位 (狭域) 6個は水没しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。																	
② 原子炉格納容器内水系処理装置温度監視装置	5		原子炉格納容器内水系処理装置温度監視装置5個のうち一部の水没する格納容器は、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。																	
③ 格納容器水系イグナイタ温度監視装置	13		格納容器水系イグナイタ温度監視装置13個のうち一部の水没する格納容器は、水没後は機能維持を期待しない。なお、事故時の耐環境性向上を図る設計としており、事故時の環境条件下での健全性を試験により確認している。																	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>第1図 原子炉格納容器内の計装設備の配置</p> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	 <p>第1図 概略系統図</p> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p>【女川】炉型の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PWRとBWRで想定される重大事故等及び対処するための監視パラメータ (計装設備) が異なるため、比較対象外としている。</li> </ul>

灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																								
<p>(大飯該当資料なし)</p>	<p>別紙2</p> <p>原子炉格納容器下部水位及びドライウエル水位の計測設備について</p> <p>1. 概要</p> <p>原子炉格納容器下部水位及びドライウエル水位の監視のために設置する計測設備の概要を以下に示す。</p> <p>(1) 原子炉格納容器下部水位</p> <p>a. 設置目的</p> <p>原子炉格納容器下部水位検出器は、重大事故等時において、原子炉格納容器下部への注水による圧力容器ベデスタル部の蓄水状況を把握するために設置するものである。</p> <p>b. 主要仕様</p> <p>主要仕様を表1に示す。</p> <table border="1" data-bbox="672 638 1220 766"> <caption>表1 原子炉格納容器下部水位の主要仕様</caption> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>計測範囲<sup>※1</sup></th> <th>個数</th> <th>誤差</th> <th>耐環境試験条件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電極式水位検出器</td> <td>0.5m, 1.0m, 1.5m, 2.0m, 2.5m, 2.8m (0.P. -2000mm, -1500mm, -1000mm, -500mm, 0mm, 500mm)</td> <td>12</td> <td>-5~+10mm</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1: 計測範囲の零は、原子炉格納容器下部 (圧力容器ベデスタル底部)</p> <p>※2: センサは無機物で構成しており、耐放射線性を有している。</p> <p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p> <p>c. 機器配置</p> <p>検出器の配置場所を図1及び図2に示す。</p> <p>(2) ドライウエル水位</p> <p>a. 設置目的</p> <p>ドライウエル水位検出器は、重大事故等時において、原子炉格納容器下部に落下した熔融炉心の冷却に必要な水深があることを把握するために設置するものである。</p> <p>b. 主要仕様</p> <p>主要仕様を表2に示す。</p> <table border="1" data-bbox="672 1292 1220 1420"> <caption>表2 ドライウエル水位の主要仕様</caption> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>計測範囲<sup>※1</sup></th> <th>個数</th> <th>誤差</th> <th>耐環境試験条件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電極式水位検出器</td> <td>0.02m, 0.23m, 0.34m (0.P. 1170mm, 1380mm, 1490mm)</td> <td>6</td> <td>-5~+10mm</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1: 計測範囲の零は、ドライウエル床面</p> <p>※2: センサは無機物で構成しており、耐放射線性を有している。</p> <p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p>	種類	計測範囲 <sup>※1</sup>	個数	誤差	耐環境試験条件	電極式水位検出器	0.5m, 1.0m, 1.5m, 2.0m, 2.5m, 2.8m (0.P. -2000mm, -1500mm, -1000mm, -500mm, 0mm, 500mm)	12	-5~+10mm		種類	計測範囲 <sup>※1</sup>	個数	誤差	耐環境試験条件	電極式水位検出器	0.02m, 0.23m, 0.34m (0.P. 1170mm, 1380mm, 1490mm)	6	-5~+10mm		<p>別紙2</p> <p>格納容器内水位の計測設備について</p> <p>1. 概要</p> <p>格納容器内の水位の監視のために設置する計測設備の概要を以下に示す。</p> <p>(1) 原子炉下部キャビティ水位</p> <p>a. 設置目的</p> <p>原子炉下部キャビティ水位検出器は、重大事故等時において、原子炉格納容器下部への注水による原子炉下部キャビティの蓄水状況を把握するために設置するものである。</p> <p>b. 主要仕様</p> <p>主要仕様を第1表に示す。</p> <table border="1" data-bbox="1254 686 1803 782"> <caption>第1表 原子炉下部キャビティ水位の主要仕様</caption> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>計測範囲</th> <th>個数</th> <th>誤差</th> <th>耐環境試験条件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電極式水位検出器</td> <td>ON-OFF (計測) T.P. [ ]</td> <td>1</td> <td>+60mm/ -0mm</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注1: 水位が検出器に到達した場合にONとなる。</p> <p>注2: センサは無機物で構成しており、十分な耐放射線性を有している。</p> <p>[ ]: 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> <p>c. 機器配置</p> <p>検出器の配置場所を第1図及び第2図に示す。</p> <p>(2) 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</p> <p>a. 設置目的</p> <p>格納容器再循環サンプ水位 (広域) は、重大事故等時において、熔融炉心・コンクリート相互作用を防止するための原子炉格納容器への注水量を把握するために設置するものである。</p> <p>b. 主要仕様</p> <p>主要仕様を第2表に示す。</p> <table border="1" data-bbox="1254 1276 1803 1372"> <caption>第2表 格納容器再循環サンプ水位 (広域) の主要仕様</caption> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>計測範囲</th> <th>個数</th> <th>誤差</th> <th>耐環境試験条件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>差圧式水位検出器</td> <td>0~100% (T.P. 10.3~15.1m)</td> <td>2</td> <td>±2.0%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>[ ]: 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	種類	計測範囲	個数	誤差	耐環境試験条件	電極式水位検出器	ON-OFF (計測) T.P. [ ]	1	+60mm/ -0mm		種類	計測範囲	個数	誤差	耐環境試験条件	差圧式水位検出器	0~100% (T.P. 10.3~15.1m)	2	±2.0%		<p>■ 炉型の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PWRとBWRで想定される重大事故等及び対処するための監視パラメータ (計装設備) が異なるため、比較対象外としている。但し、資料構成は女川に合わせて作成した。以降、同資料において同じ。</li> </ul> <p>■ 図表付番の相違 (以降、同様の相違は記載省略する)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊 (PWR) の格納容器再循環サンプ水位 (広域) は、設計基準事故対処設備でも使用する。</li> </ul>
種類	計測範囲 <sup>※1</sup>	個数	誤差	耐環境試験条件																																							
電極式水位検出器	0.5m, 1.0m, 1.5m, 2.0m, 2.5m, 2.8m (0.P. -2000mm, -1500mm, -1000mm, -500mm, 0mm, 500mm)	12	-5~+10mm																																								
種類	計測範囲 <sup>※1</sup>	個数	誤差	耐環境試験条件																																							
電極式水位検出器	0.02m, 0.23m, 0.34m (0.P. 1170mm, 1380mm, 1490mm)	6	-5~+10mm																																								
種類	計測範囲	個数	誤差	耐環境試験条件																																							
電極式水位検出器	ON-OFF (計測) T.P. [ ]	1	+60mm/ -0mm																																								
種類	計測範囲	個数	誤差	耐環境試験条件																																							
差圧式水位検出器	0~100% (T.P. 10.3~15.1m)	2	±2.0%																																								

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

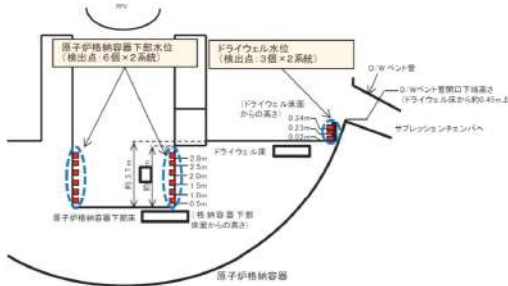
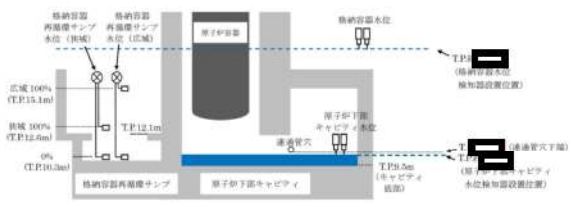
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																				
	<p>c. 機器配置                      検出器の配置場所を図1及び図2に示す。</p>	<p>c. 機器配置                      検出器の配置場所を第1図及び第2図に示す。</p> <p>(3) 格納容器再循環サンプ水位 (狭域)</p> <p>a. 設置目的                      格納容器再循環サンプ水位 (狭域) は、重大事故等時において、溶融炉心・コンクリート相互作用を防止するための原子炉格納容器への注水量を把握するために設置するものである。</p> <p>b. 主要仕様                      主要仕様を第3表に示す。</p> <p style="text-align: center;">第3表 格納容器再循環サンプ水位 (狭域) の主要仕様</p> <table border="1" data-bbox="1256 555 1812 643"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>計測範囲</th> <th>個数</th> <th>誤差</th> <th>耐環境試験条件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>差圧式 水位検出器</td> <td>0~100% (T.P. 10.3~12.6m)</td> <td>2</td> <td>±1.5%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>c. 機器配置                      検出器の配置場所を第1図及び第2図に示す。                      □ 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> <p>(4) 格納容器水位</p> <p>a. 設置目的                      格納容器水位は、重大事故等時において、格納容器注水を行う際の上限レベルを検知するために設置するものである。</p> <p>b. 主要仕様                      主要仕様を第4表に示す。</p> <p style="text-align: center;">第4表 格納容器水位の主要仕様</p> <table border="1" data-bbox="1265 1102 1803 1190"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>計測範囲</th> <th>個数</th> <th>誤差</th> <th>耐環境試験条件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電極式 水位検出器</td> <td>ON-OFF (注3) T.P. □</td> <td>1</td> <td>+0mm/ -60mm</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注3：水位が検出器に到達した場合にONとなる。                      注4：センサは無機物で構成しており、耐放射線性を有している。</p> <p>c. 機器配置                      検出器の配置場所を第1図から第3図に示す。                      □ 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	種類	計測範囲	個数	誤差	耐環境試験条件	差圧式 水位検出器	0~100% (T.P. 10.3~12.6m)	2	±1.5%		種類	計測範囲	個数	誤差	耐環境試験条件	電極式 水位検出器	ON-OFF (注3) T.P. □	1	+0mm/ -60mm		
種類	計測範囲	個数	誤差	耐環境試験条件																			
差圧式 水位検出器	0~100% (T.P. 10.3~12.6m)	2	±1.5%																				
種類	計測範囲	個数	誤差	耐環境試験条件																			
電極式 水位検出器	ON-OFF (注3) T.P. □	1	+0mm/ -60mm																				



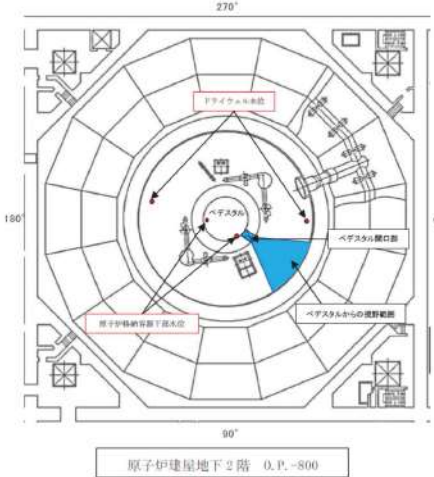
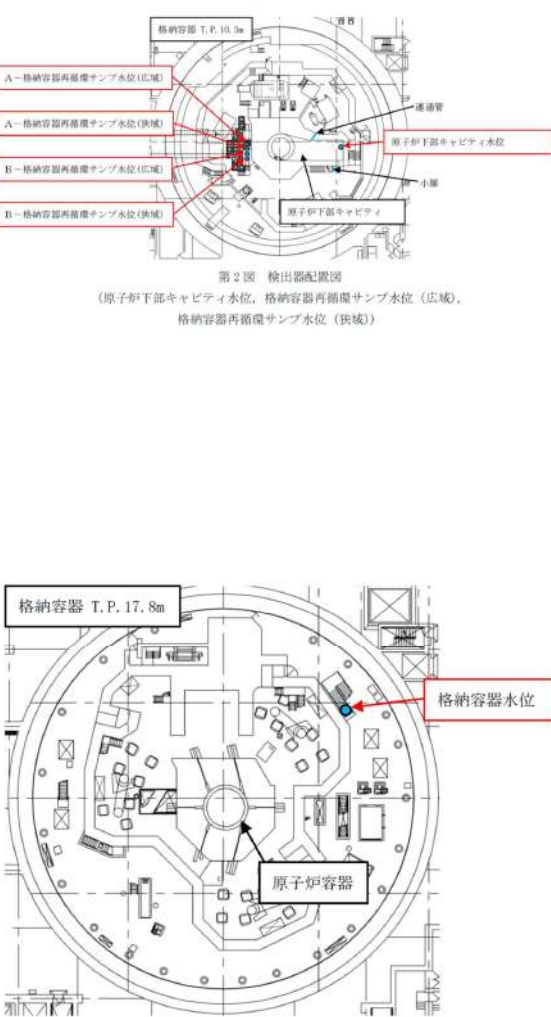
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>図1 原子炉格納容器下部水位及びドライウェル水位の検出器配置図 (1 / 2)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 10px auto;">枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</div>	 <p>第1図 格納容器内水位監視装置概要図          (原子炉下部キャビティ水位、格納容器再循環サンプ水位 (広域)、格納容器再循環サンプ水位 (狭域)、格納容器水位)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 10px auto;">枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</div>	<p>■炉型の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PWRとBWRで想定される重大事故等、対処するための設備、原子炉格納容器の構造が異なるため、比較対象外とする。</li> </ul>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p style="text-align: center;">原子炉建屋地下2階 0.P.-800</p> <p>図2 原子炉格納容器下部水位及びドライウェル水位の検出器配置図 (2/2)</p>	 <p style="text-align: center;">第3図 検出器配置図 (格納容器水位)</p>	<p>■炉型の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PWRとBWRで想定される重大事故等、対処するための設備、原子炉格納容器の構造が異なるため、比較対象外とする。</li> <li>・なお、原子炉下部キャビティにはベDESTAL開口部のような大きな開口部はなく、格納容器再循環サンプ水位は連通管及び小扉からも直接視認できない配置であるため「ベDESTALからの視野範囲」に相当する図示はしていない。</li> </ul>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>2. 圧力容器ベDESTAL内の熱源によるドライウエル水位検出器への影響</p> <p>ドライウエル水位は、溶融炉心が圧力容器ベDESTALへ落下した後の冷却を行うために監視が必要なパラメータであり、ドライウエル水位検出器は重大事故等時の原子炉格納容器内の環境において健全性を維持する必要がある。ドライウエル水位検出器は、300℃の環境下における健全性が確認されており、重大事故等時のドライウエル内の環境温度 (最大約180℃) に対して、検出器の健全性に問題はない。</p> <p>仮に圧力容器ベDESTAL開口部 (圧力容器ベDESTAL側) に熱源があった場合には図2に示すとおり、検出器は設置箇所が圧力容器ベDESTAL内から直接視認できる範囲にないことから、熱の影響を受けないと考えられる。また、検出器は多重化しており、片系が機能喪失した場合においても、もう片系の検出器によりドライウエル水位の監視が可能である。</p> <p>3. 格納容器スプレイによるドライウエル水位検出器及び原子炉格納容器下部水位検出器への影響</p> <p>ドライウエル水位及び原子炉格納容器下部水位の検知に使用する電極式水位検出器の構造を図3に示す。熱電対 (電極) は、保護管 (電極) に覆われており、開放部と通気孔を有した構造をしている。検出器は、縦向き (開放部が下方向) に設置され、ドライウエル水位の上昇時は、開放部から水が入り、内部の気体が通気孔から抜け電極間が導通状態となることで水位を検知し、水位低下時は、開放部及び通気孔から水が排出されることにより、電極間が非導通状態となる。</p> <p>電極式水位検出器は水没を考慮した設計としており、格納容器スプレイ水の被水による機能喪失はない。また、ケーブルについても、検出器と一体構造であり、原子炉格納容器の貫通部までの間に接続箇所を設けない設計としており、格納容器スプレイ水の被水による影響はない。</p> <p>誤検知が発生する状況として、大量の水が連続的に検出器に当たり続け、電極間が導通状態になることが考えられるが、ドライウエル水位検出器は、図1に示すとおり、ドライウエル床付近に設置する設計であり、格納容器スプレイを直接受けることはないため、誤検知は発生しない。また、原子炉格納容器下部水位検出器は、図2に示すとおり、圧力容器ベDESTAL開口部より離れた位置に設置する設計であり、格納容器スプレイ水が圧力容器ベDESTAL開口部より流れ込む際に被水することはなく、誤検知は発生しない。</p>	<p>2. 原子炉下部キャビティ内の熱源による格納容器再循環サンプル水位検出器への影響</p> <p>格納容器再循環サンプル水位 (広域) 及び格納容器再循環サンプル水位 (狭域) は、溶融炉心が原子炉下部キャビティへ落下した後の冷却を行うために監視が必要なパラメータであり、これらの検出器は重大事故等時の原子炉格納容器内の環境において健全性を維持する必要がある。これらの検出器は、約 [ ] の環境下における健全性が確認されており、重大事故等時の格納容器内の環境温度 (最大約141℃) に対して、検出器の健全性に問題はない。</p> <p>仮に原子炉キャビティ内に熱源があった場合には第2図に示すとおり、検出器は設置箇所が原子炉キャビティ内から直接視認できる範囲にないことから、熱の影響を受けないと考えられる。また、検出器は多重化しており、片系が機能喪失した場合においても、もう片系の検出器により格納容器再循環サンプル水位の監視が可能である。</p> <p>[ ] 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> <p>3. 格納容器スプレイによる原子炉下部キャビティ水位及び格納容器水位検出器への影響</p> <p>原子炉下部キャビティ水位及び格納容器水位の検知に使用する電極式水位検出器の構造を第4図に示す。</p> <p>検出器は、縦向きに設置され、格納容器内の水位の上昇時は、電極間が導通状態となることで水位を検知し、水位低下時は、電極間が非導通状態となる。</p> <p>電極式水位検出器は電極をカバーで覆うことで格納容器スプレイ水の被水による影響を抑止する構成としている。また、蒸気環境下におけるスプレイ試験を行い誤検知しないことを確認していることから、重大事故等時の環境においても測定が可能である。</p> <p>誤検知が発生する状況として、大量の水が連続的に検出器に当たり続け、電極間が導通状態になることが考えられるが、格納容器水位検出器は、第3図に示すとおり、格納容器スプレイ水が直接被水する階層 (T.P. 33.1m) よりも下層 (T.P. 17.8m) に設置する設計であり、格納容器スプレイを直接受けることはないため、誤検知は発生しない。また、原子炉下部キャビティ水位検出器は、第2図に示すとおり、原子炉容器下部より離れた位置に設置する設計であり、格納容器スプレイ水が連通管及び小扉より流れ込む際に被水することはなく、誤検知は発生しない。</p>	<p>■炉型の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・BWR用に開発された電極式水位検出器であるため、比較対象外としている。</li> </ul> <p>■炉型の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・BWR用に開発された電極式水位検出器であるため、比較対象外としている。</li> <li>・女川 (BWR) はシース熱電対と保護管で構成される電極間の導通を測定する構造であるのに対し、泊 (PWR) は2枚の電極間の導通を測定する単純な構造 (巻末参照) としている。</li> <li>・構造が相違しており、スプレイ水の被水影響が無いことについて、泊は実試験による動作確認を実施している。</li> </ul>



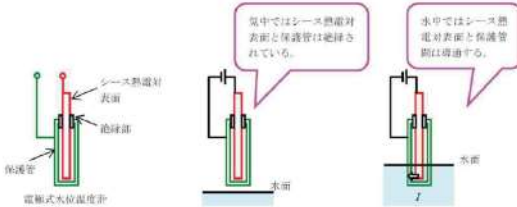
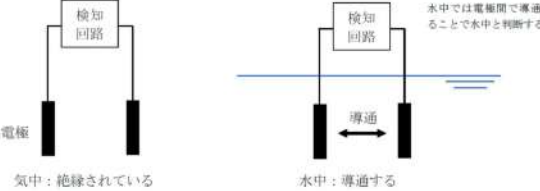
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="672 175 1227 367" style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <div data-bbox="840 375 1041 395" style="text-align: center;">図3 電極式水位検出器の構造</div> <div data-bbox="891 443 1227 475" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</div> <p data-bbox="667 550 1232 630">なお、電極式水位検出器については、検出器が水中と気中にある場合を判定するために、検出器を水中から気中、気中から水中と状態変化させた場合の試験を実施している。</p> <p data-bbox="667 638 1232 742">試験では、検出器を水中に1分間、水中から気中に取り出した状態で1分間を計3回連続で実施し、水中と気中での電流の挙動を測定しており、<a href="#">図4</a>に示すとおり、流れる電流の差により気中と水中の判定が可能であることを確認している。</p> <p data-bbox="667 750 1232 829">そのため、<b>原子炉圧力容器破損後の溶融炉心冷却における原子炉格納容器下部の水位管理</b>のように、一度水位が形成された後の水位低下についても確実に検知が可能である。</p> <div data-bbox="667 869 1209 1125"> </div> <div data-bbox="772 1129 1097 1149" style="text-align: center;">図4 時間特性 (水 (沸騰状態), 印加電圧 1.0V)</div>	<div data-bbox="1355 151 1713 375"> </div> <div data-bbox="1377 391 1713 414" style="text-align: center;">第4図 電極式水位検出器の構造</div> <p data-bbox="1249 550 1814 630">なお、電極式水位検出器については、検出器が水中と気中にある場合を判定するために、検出器を水中から気中、気中から水中と状態変化させた場合の試験を実施している。</p> <p data-bbox="1249 638 1814 742">試験では、検出器を水中に1分間、水中から気中に取り出した状態で1分間を計3回連続で実施し、水中と気中での電流の挙動を測定しており、<a href="#">第5図</a>に示すとおり、流れる電流の差により気中と水中の判定が可能であることを確認している。</p> <p data-bbox="1249 750 1814 805">そのため、長期間の格納容器水位管理のように、一度水位が形成された後の水位低下についても確実に検知が可能である。</p> <div data-bbox="1265 869 1814 1157"> </div> <div data-bbox="1344 1181 1736 1204" style="text-align: center;">第5図 時間特性 (水 (沸騰状態), 回路印加電圧 24VDC)</div>	<p data-bbox="1836 782 1937 805">■炉型の相違</p> <ul data-bbox="1836 813 2161 917" style="list-style-type: none"> <li>・PWR と BWR で想定される重大事故等及び対処するための監視パラメータ (計装設備) が異なるため、比較対象外としている。</li> </ul>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(参考) 電極式水位検出器の測定原理</p> <p>電極式水位検出器の構造を下図に示す。電極式水位検出器は、シース熱電対、保護管等から構成される。シース熱電対と保護管で構成される電極間の導通を測定することで、検出部が水中か気中を判定するものである。気中において保護管とシース熱電対表面は絶縁されているが、保護管とシース熱電対表面間に水がある場合には、導通し抵抗が低下する。</p>  <p>図 電極式水位検出器の測定原理</p>	<p>(参考) 電極式水位検出器の測定原理</p> <p>電極式水位検出器の構造を下図に示す。電極式水位検出器は、電極間の導通を測定することで、検出部が水中か気中を判定するものである。気中において電極間は絶縁されているが、電極間に水がある場合には、導通する。</p>  <p>図 電極式水位検出器の測定原理</p>	<p>■ 炉型の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ BWR 用に開発された電極式水位検出器であるため、比較対象外としている。</li> <li>・ 泊 (PWR) は2枚の電極間の導通を測定する単純な構造を採用。抵抗値ではなく導通する電流値を計測する。</li> </ul>



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉		女川原子力発電所2号炉	
(大飯該当資料なし)		別紙 4	
重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの設定個数の考え方について		重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの設定個数の考え方について	
図3.15-3「重大事故等時に必要なパラメータの選定フロー」により選定した重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの設定個数の考え方を第1表に示す。		図3.15-3「重大事故等時に必要なパラメータの選定フロー」により選定した重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの設定個数の考え方を第1表に示す。	

分類	名称	計測範囲	個数	設定個数の考え方
原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度	0~500℃	5	原子炉圧力容器 (以下「炉内」という) 破損危険の検知に用いるRVP下部に1個、また、RVP下部と位置的に分散させ検知性の向上を図るためRVP下部上部に1個、格納ドーム内に2個、RVP炉フランジ下部に1個、合計5個の温度検出器を設置する。
	原子炉圧力の圧力	0~10MPa [case]	2	安全機能の重要度分類 AS-2 (事故時監視計器) の設計要求により既に多重化された2個を設定する。
原子炉圧力容器内の水位	原子炉圧力 (SA)	0~11MPa [case]	2	監視の重要性に鑑み、既設の原子炉圧力とは別に新規に2個を設置する。
	原子炉水位 (広帯域)	-3,800mm~1,500mm <sup>H</sup>	2	原子炉圧力と同じ。
	原子炉水位 (燃料域)	-3,800mm~1,300mm <sup>H</sup>	2	原子炉圧力と同じ。
	原子炉水位 (SA, 広帯域)	-3,800mm~1,500mm <sup>H</sup>	1	監視の重要性に鑑み、既設の原子炉水位 (広帯域) とは別に新規に1個を設置する。
原子炉圧力容器内への注水量	原子炉水位 (SA, 燃料域)	-3,800mm~1,300mm <sup>H</sup>	1	監視の重要性に鑑み、既設の原子炉水位 (燃料域) とは別に新規に1個を設置する。
	高圧代替注水系ポンプ出口流量	0~120m <sup>3</sup> /h	1	系統流量を監視可能な流量計を新規に1個設置する。
	残留熱除去装置ポンプ出口流量 (残留熱除去系A)	0~220m <sup>3</sup> /h	1	系統流量を監視可能な流量計を1個設置する。
	残留熱除去装置ポンプ出口流量 (残留熱除去系B)	0~220m <sup>3</sup> /h	1	系統流量を監視可能な流量計を1個設置する。
	残留熱除去装置ポンプ出口流量 (残留熱除去系C)	0~220m <sup>3</sup> /h	1	系統流量を監視可能な流量計を1個設置する。
	代形循環ポンプ出口流量	0~100m <sup>3</sup> /h	1	系統流量を監視可能な流量計を新規に1個設置する。
	代形循環ポンプ出口流量	0~200m <sup>3</sup> /h	1	系統流量を監視可能な流量計を1個設置する。
	高圧炉心スプレイングポンプ出口流量	0~150m <sup>3</sup> /h	1	系統流量を監視可能な流量計を1個設置する。
	高圧炉心スプレイングポンプ出口流量	0~1,500m <sup>3</sup> /h	3	系統流量を監視可能な流量計を3個設置する。
	低圧炉心スプレイングポンプ出口流量	0~1,500m <sup>3</sup> /h	1	系統流量を監視可能な流量計を1個設置する。
原子炉格納容器代替スプレイングポンプ出口流量	0~100m <sup>3</sup> /h	2	系統流量を監視可能な流量計を新規に2個設置する。	
原子炉格納容器下部注水量	0~110m <sup>3</sup> /h	1	系統流量を監視可能な流量計を1個設置する。	

分類	名称	計測範囲	個数	設定個数の考え方
原子炉圧力容器内の温度	1次冷却材温度 (広域-高帯域)	0~400℃	3	安全機能の重要度分類 AS-2 (事故時監視計器) の設計要求により各グループごとに既に多重化された2個かつ (高帯域1個及び低帯域1個)、全3メープの合計3個を設定する。
	1次冷却材温度 (広域-低帯域)	0~400℃	3	安全機能の重要度分類 AS-2 (事故時監視計器) の設計要求により既に多重化された2個を設定する。
原子炉圧力容器内の圧力	1次冷却材圧力 (広域)	0~21.0MPa [case]	2	安全機能の重要度分類 AS-2 (事故時監視計器) の設計要求により既に多重化された2個を設定する。
	加圧器水位	0~100%	2	安全機能の重要度分類 AS-2 (事故時監視計器) の設計要求により既に多重化された2個を設定する。
原子炉圧力容器内の水位	原子炉容器水位	0~100%	1	原子炉容器水位を監視可能な流量計を新規に1個設置する。
	格納ドーム内温度	0~350m <sup>3</sup> /h	2	安全機能の重要度分類 AS-2 (事故時監視計器) の設計要求により既に多重化された2個を設定する。
原子炉圧力容器への注水量	出口注水量	0~1,100m <sup>3</sup> /h	2	安全機能の重要度分類 AS-2 (事故時監視計器) の設計要求により既に多重化された2個を設定する。
	日一冷却器スプレイングポンプ出口積算流量 (0周)	0~1,300m <sup>3</sup> /h (0~10,000m <sup>3</sup> )	1	系統流量を監視可能な流量計を新規に1個設置する。
原子炉格納容器内の温度	代替格納容器スプレイングポンプ出口積算流量	0~200m <sup>3</sup> /h (0~10,000m <sup>3</sup> )	1	系統流量を監視可能な流量計を新規に1個設置する。
	格納容器内温度	0~230℃	2	格納容器内温度を監視可能な温度計を2個設置する。
原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	0~0.35MPa [case]	2	安全機能の重要度分類 AS-2 (事故時監視計器) の設計要求により既に多重化された2個を設定する。
	格納容器圧力 (0周)	0~1.0MPa [case]	2	原子炉格納容器の限界圧力 (0.560MPa [case]) を監視可能な監視圧力計を2個設置する。

泊発電所3号炉	別紙 3	相違理由
重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの設定個数の考え方について	図2.15.3「重大事故等時に必要なパラメータの選定フロー」により選定した重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの設定個数の考え方を第1表に示す。	<p>【女川】資料構成の相違</p> <p>【女川】資料構成の相違</p> <p>【女川】炉型の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PWRとBWRで想定される重大事故等及び対処するための監視パラメータが異なるため、比較対象外としている。以降、同表において同じ。</li> </ul>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉

女川原子力発電所2号炉

第1表 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの設定個数 (2/5)

分類	名称	計測範囲	個数	設定個数の考え方
原子炉格納容器内の温度	ドライウェル温度	0~300℃	11	ドライウェル内の温度分布を把握するため、BWワランジの高さ(ドライウェル主フランジ部)に2個、通気し安全弁出入口上部、バーナ燃料エアーノック上部及び電気配管貫通部の高さ(ドライウェル中部)に4個、換気扉出入口ハウジング下部及び中間胴面換気扉出入口下部の高さ(ドライウェル下部)に3個、圧力容器→システム上部に2個、合計11個の設置個数を設定する。
	圧力抑制室内容気温度	0~300℃	1	サブレンジオンセンサの温度分布を把握するため、約90°範囲で設置している監視個数を1個設定する。
	サブレンジオングループ水温度	0~200℃	16	サブレンジオングループ水温の監視個数を16個設定する。22.5°範囲で設置している監視個数を16個設定する。
原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器下部温度	0~700℃	12	原子炉格納容器下部に換気中心が落下した場合における原子炉出力格納容器の温度を監視するため、システム本体から設置高さ0.0m, 1.0m, 1.5m, 2.0m, 2.5m, 3.0mに各2個ずつ、合計12個を新規に設置する。
	ドライウェル圧力	0~10Pa[abs]	1	原子炉格納容器の浸透圧力(SiH <sub>4</sub> [Leak])を監視可能な設置圧力計を1個設定する。
	圧力抑制室圧力	0~10Pa[abs]	1	原子炉格納容器の浸透圧力(SiH <sub>4</sub> [Leak])を監視可能な設置圧力計を1個設定する。
原子炉格納容器内の水位	原子炉格納容器下部水位	0.7m, 1.0m, 1.5m, 2.0m, 2.5m, 3.0m (0.P. -3000mm ~1100mm)	2	原子炉格納容器下部に換気中心が落下した場合における原子炉出力格納容器の水位を監視可能な設置圧力計を1個設定する。また、監視の必要に応じて、水位の圧力抑制室水位とは別に新規に1個設置する。
	原子炉格納容器下部水位	0.7m, 1.0m, 1.5m, 2.0m, 2.5m, 3.0m (0.P. -3000mm ~1100mm)	12	原子炉格納容器下部に換気中心が落下した場合における原子炉出力格納容器の水位を監視可能な設置圧力計を12個設定する。また、監視の必要に応じて、水位の圧力抑制室水位とは別に新規に1個設置する。
	ドライウェル水位	0.02m, 0.23m, 0.34m (0.P. 1170mm, 1280mm, 1400mm)	6	原子炉格納容器下部への注水による原子炉格納容器下部の水位状態を監視するため、システム本体から設置高さ0.5m, 1.0m, 1.5m, 2.0m, 2.5m, 3.0mに各2個ずつ、合計12個を新規に設置する。

泊発電所3号炉

第1表 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの設定個数 (2/4)

分類	名称	計測範囲	個数	設定個数の考え方
原子炉格納容器内の水位	格納容器内換気センター水位 (LS&O)	0~100%	2	安全機能の重要度分類MS-2(事故時監視計器)の設計要件により更に多角化された2個を決定する。 (注: 範囲はL.P.10.3~15.1m)
	格納容器内換気センター水位 (S&O)	0~100%	2	安全機能の重要度分類MS-2(事故時監視計器)の設計要件により更に多角化された2個を決定する。 (注: 範囲はL.P.10.3~15.1m)
	格納容器水位	0%OFF (注1) T.1以上	1	外部水漏れ発生監視可能な本水位を新規に1個設置する。
原子炉格納容器内の水素濃度	原子炉下部キャベライ水位	0%OFF (注1) T.1以上	1	原子炉格納容器下部への注水による原子炉下部キャベライの水素状態を監視するため、1個を新規に設置する。
	格納容器内水素濃度	0~20vol%	1	重大事故発生時に原子炉格納容器換気防止の相違点である格納容器内水素濃度(13vol%以下)に余裕を見込んだ範囲を監視可能な本濃度計を新規に1個設置する。
	原子炉格納容器内水素濃度監視	0~800℃	5	原子炉格納容器内水素濃度監視の動作状況を広く監視するため、原子炉格納容器内水素濃度監視装置に1個ずつ、合計5個を新規に設置する。
原子炉格納容器内の放射線量	格納容器内換気センター水位 (監視用)	0~800℃	13	格納容器本質イオン化率13個の動作状況を広く監視するため、各格納容器本質イオン化率13個ずつ、合計13個を新規に設置する。
	格納容器内換気センター水位 (監視用)	10 <sup>-6</sup> ~10 <sup>7</sup> Sv/h	2	安全機能の重要度分類MS-2(事故時監視計器)の設計要件により更に多角化された2個を決定する。
水素界の維持又は監視	出力監視中性子率	10 <sup>-6</sup> ~10 <sup>7</sup> Sv/h	2	安全機能の重要度分類MS-2(事故時監視計器)の設計要件により更に多角化された2個を決定する。
	中間胴面中性子率	0~120% (0.3×10 <sup>-6</sup> ~1.2×10 <sup>6</sup> cm <sup>-2</sup> ・s <sup>-1</sup> )	4	原子炉出力監視可能な監視装置の出力監視装置4チャンネルを決定する。
中性子源域中性子率	中間胴面中性子率	10 <sup>-6</sup> ~10 <sup>7</sup> Sv/h (0.3×10 <sup>-6</sup> ~1.2×10 <sup>6</sup> cm <sup>-2</sup> ・s <sup>-1</sup> )	2	原子炉の中間胴面を監視可能な監視装置の出力監視装置2チャンネルを決定する。
	中性子源域中性子率	1~10 <sup>6</sup> cps (10 <sup>-6</sup> ~10 <sup>6</sup> cm <sup>-2</sup> ・s <sup>-1</sup> )	2	原子炉の中間胴面を監視可能な監視装置の出力監視装置2チャンネルを決定する。

相違理由

枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1表 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの設定個数 (3/5)

分類	名称	許容範囲	個数	設定個数の考え方	
原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内水素濃度 (DR)	0~100vol%	2	重大事故等時に原子炉格納容器内の水素濃度の可能性(1次元評価:4σ)を監視するため、ドライウエルとサブプレッシャの運転時を監視する可能性のある範囲(0~100vol%)を監視する。これと並び、ドライウエル及びサブプレッシャとそれと連動する監視回路を2個設置する。	
	格納容器内水素濃度 (SC)	0~100vol%	2		
	原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内空室気放熱機水素濃度	0~30vol%		2
		格納容器内空室気放熱機水素濃度	0~100vol%		2
原子炉格納容器内の放射線量計	格納容器内空室気放熱機モニタ (DR)	10 <sup>-5</sup> Sv/h~10 <sup>-6</sup> Sv/h	2	安全機能の重要度分類は「2」(事故時監視計)の設計要求により既に多角化されたドライウエル及びサブプレッシャモニタを2個設置する。	
	格納容器内空室気放熱機モニタ (SC)	10 <sup>-5</sup> Sv/h~10 <sup>-6</sup> Sv/h	2		
未編入の維持又は監視	起動領域モニタ	中核子源領域 10 <sup>-5</sup> cpm~10 <sup>-6</sup> cpm (1×10 <sup>5</sup> cm <sup>2</sup> ・s <sup>-1</sup> ~1×10 <sup>6</sup> cm <sup>2</sup> ・s <sup>-1</sup> ) 中間領域 0~40%又は0~125% (1×10 <sup>5</sup> cm <sup>2</sup> ・s <sup>-1</sup> ~2×10 <sup>6</sup> cm <sup>2</sup> ・s <sup>-1</sup> )	8	原子炉出力を監視可能な設置の起動領域モニタを8チャンネルを設定する。	
		平均出力領域モニタ 0~125% (1.2×10 <sup>5</sup> cm <sup>2</sup> ・s <sup>-1</sup> ~2.4×10 <sup>6</sup> cm <sup>2</sup> ・s <sup>-1</sup> )	0 <sup>個</sup>		

第1表 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの設定個数 (3/4)

分類	名称	許容範囲	個数	設定個数の考え方
蒸気ヒーティングの確保	蒸気発生器水位 (DR)	0~100%	6	安全機能の重要度分類は「2」(事故時監視計)の設計要求により各グループごと既に多角化された2個ずつ、全3グループの合計6個を設定する。
	蒸気発生器水位 (CR)	0~100%	3	
	補助給水流量	0~130t/h	3	
	主蒸気ライン圧力	0~8.0MPa[Long]	6	
本所の確保	原子炉補助給水ポンプタンク水位	0~100%	2	安全機能の重要度分類は「2」(事故時監視計)の設計要求により各グループごと既に多角化された2個ずつ、全3グループの合計6個を設定する。
	原子炉補助給水ポンプタンク圧力 (可搬型)	0~1.0MPa[Long]	1	
	格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度	0~200℃	3	
	燃料液替用ボイラ水位	0~100%	2	
アニュラス水の温度	ほうろタンク水位	0~100%	2	安全機能の重要度分類は「2」(事故時監視計)の設計要求により既に多角化された2個を設定する。
	補助給水タンク水位	0~100%	2	
	アニュラス水素濃度 (可搬型)	0~20vol%	1	





灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1表 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの設定個数 (5/5)

分類	名称	計測範囲	個数	設定個数の考え方
原子炉格納容器内の水素濃度	静的触媒式水素再結合装置動作監視装置	0~500℃	8*	静的触媒式水素再結合装置 19 個の動作状況を広く監視するため、水平方向及び鉛直方向の位置関係を考慮し、互いに離れた位置にある4基を代表して、出入口に1個ずつ、合計8個を監視に設置する。
	格納容器内空気気体濃度	0~30vol.%	2	重大事故等時に原子炉格納容器内の水素濃度の可能性 (酸素濃度:5vol%) を監視するため、ドライウエルとサブプレッショナルチエントの運転切替 (サンプリング式) により計測可能な既設酸素濃度計を2個設置する。
使用済燃料プールの監視	使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)	0~7.010mm <sup>3</sup> (0.P.25920mm~32920mm) 0~150℃	1**	通常水位から使用済燃料プールの底部近傍まで監視可能な水位 (通常水位から使用済燃料プールの底部近傍まで監視可能な水位) に1個設置する。
	使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式)	-4.200mm~3.300mm <sup>3</sup> (0.P.21620mm~32220mm)	1	通常水位から使用済燃料プールの底部近傍まで監視可能な水位を設計を併用し1個設置する。
	使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量)	0~1200℃	1**	通常水位から使用済燃料プールの底部近傍まで水位変動した際の放射線検出を監視可能な高線量・低線量モニタを新規に各1個設置する。
	使用済燃料プール監視カメラ	10msv/h~10 <sup>4</sup> msv/h 10 <sup>4</sup> msv/h~10 <sup>6</sup> msv/h	1	通常水位から使用済燃料プールの底部近傍まで監視可能な水位を監視カメラを使用済燃料プールの上部空間に1個設置する。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

\*1：計測範囲の寄は、原子炉圧力容器等レベルより1.310m上のところとする (ドライウエル上部底部付近)。  
 \*2：計測範囲の寄は、原子炉圧力容器等レベルより900mm上のところとする (ドライウエル上部底部付近)。  
 \*3：計測範囲の寄は、原子炉格納容器下部 (0.6kg放射線モニタ) のところとする。  
 \*4：計測範囲の寄は、ドライウエル床面 (0.6kg放射線モニタ) のところとする。  
 \*5：定常出力時の値に示す。  
 \*6：上部出力領域モニタの検出値は124個であり、平均出力領域モニタの各チャンネルには、A系17個及びB系14個ずつの信号が入力される。  
 \*7：4個の静的触媒式水素再結合装置に対して、入口側及び出口側にそれぞれ1個設置。  
 \*8：計測範囲の寄は、使用済燃料プールの上部 (0.P.25920mm) のところとする。  
 \*9：検出点15箇所。  
 \*10：検出点2箇所。



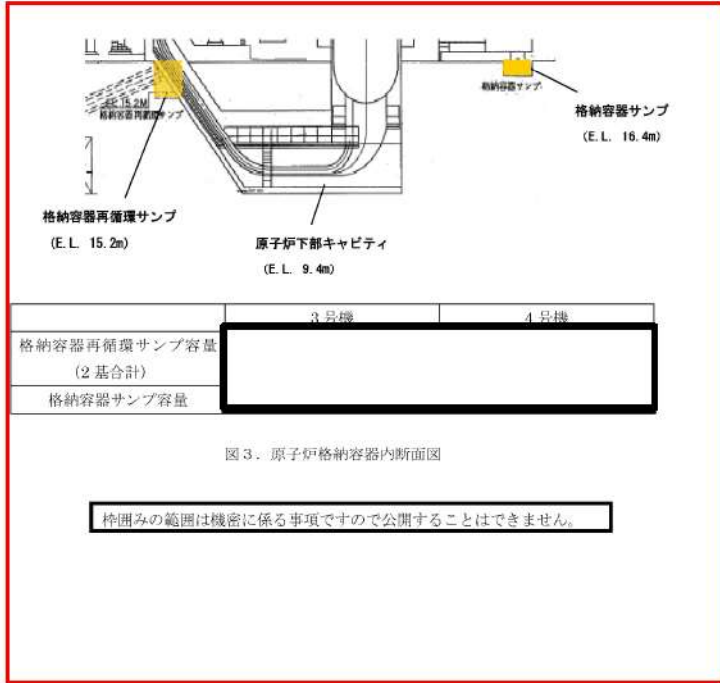
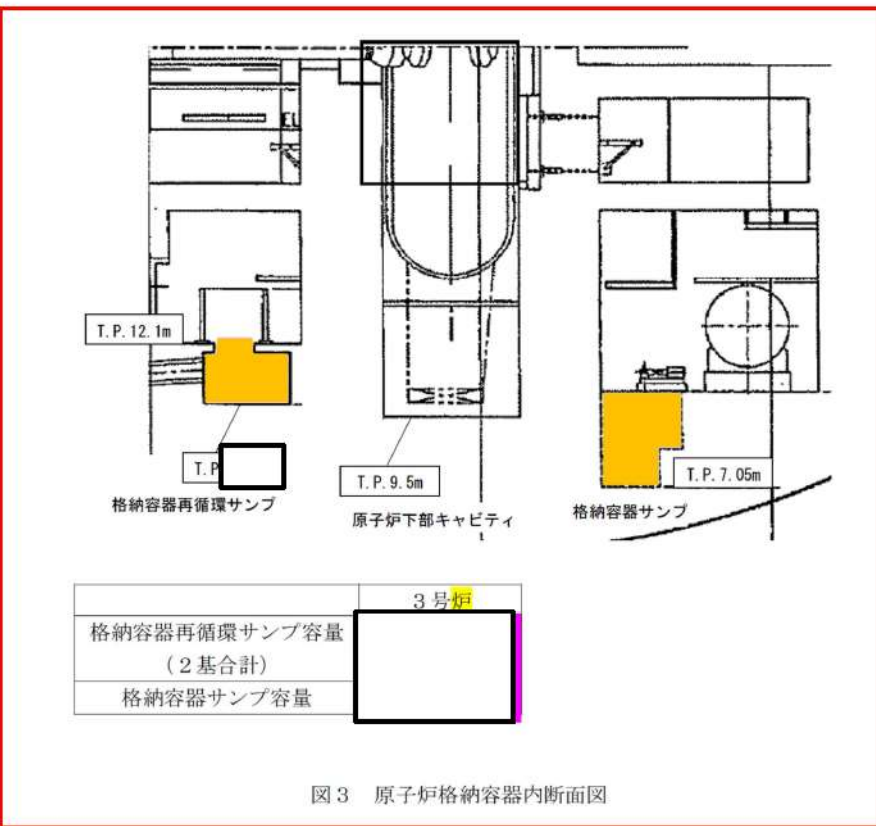
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">原子炉下部キャビティへの流入経路について</p> <p>LOCA時のRCS破断水および原子炉格納容器に注水されたスプレイ水が原子炉下部キャビティへ流入する経路について、図1および図2に示す。</p> <p>図1 スプレイ水及びRCS破断水の原子炉下部キャビティへの流入経路（断面図）</p>	<p style="text-align: center;">原子炉下部キャビティへの流入経路について</p> <p>LOCA時のRCS破断水および原子炉格納容器に注水されたスプレイ水が原子炉下部キャビティへ流入する経路について、図1および図2に示す。</p> <p>図1 スプレイ水及びRCS破断水の原子炉下部キャビティへの流入経路（断面図）</p> <p style="text-align: center;">枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p>別紙4 <a href="#">記載表現の相違</a></p> <p><a href="#">設計方針の相違</a></p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
<p>原子炉下部キャビティ底部から原子炉格納容器最下層に通じる連通管 (6B×2) により流下する。</p> <p>原子炉格納容器と原子炉下部キャビティの周囲から原子炉下部キャビティへ流入する。</p> <p>外周通路部の階段・開口部 (ハッチ等) から、最下層まで流下していく。</p> <p>ループ室内が外周通路部より高いため、外周通路部へ流下する。なお、RCS 破断水の注水・取り出しは、RCS 破断水の注水・取り出しは均一化する理由により、どのループが破断しても原子炉下部キャビティへの流入経路・流入速度に有意な差はない。</p> <p>原子炉下部キャビティへ流入している連通管を經由して原子炉下部キャビティへ流下する。また、原子炉格納容器最下層フロアの水位上昇に伴い、小屋からも流下する。</p> <p>原子炉下部キャビティへの入口扉の小扉から原子炉下部キャビティへ流入する。</p> <p>外周通路部の階段・開口部 (ハッチ等) から、最下層まで流下する。</p> <p>ループ室内の床はグレーチングであり、最下層まで流下する。</p> <p>原子炉格納容器鋼板部とフロア床最外周部の間に隙間があり、最下層まで流下する。</p> <p>原子炉下部キャビティ底部から格納容器最下層に通じる連通管 (6B×2) により流下する。</p> <p>格納容器サンプ</p> <p>原子炉下部キャビティへ通じる連通管を經由して原子炉下部キャビティへ流入する。</p> <p>図2 スプレイ水及びRCS破断水の原子炉下部キャビティへの流入経路 (EL17.6M平面図)</p> <p>水平方向の流れ          鉛直方向の流れ          ※赤矢印は原子炉下部キャビティへの流下を示す。</p>	<p>ループ室内の床はグレーチングであり、T.P.17.8m のフロアまで流下する。</p> <p>ループ室内が外周通路部より高いため、外周通路部へ流下する。なお、大LOCAの場合、RCS 破断水の注水・取り出しは均一化する理由により、どのループが破断しても原子炉下部キャビティへの流入経路・流入速度に有意な差はない。</p> <p>原子炉格納容器鋼板部とフロア床最外周部の間に隙間があり、T.P.17.8m のフロアまで流下する。</p> <p>原子炉下部キャビティ底部から格納容器最下層に通じる連通管 (6B×2) により流下する。</p> <p>格納容器サンプ</p> <p>原子炉下部キャビティへ通じる連通管を經由して原子炉下部キャビティへ流入する。</p> <p>原子炉下部キャビティへの入口扉の小扉から原子炉下部キャビティへ流入する。</p> <p>外周通路部の階段・開口部 (ハッチ等) から、最下層まで流下する。</p> <p>原子炉格納容器と原子炉下部キャビティの隙間から原子炉下部キャビティへ流下する。</p> <p>原子炉下部キャビティへの入口扉の小扉から原子炉下部キャビティへ流入する。</p> <p>図2 スプレイ水及びRCS破断水の原子炉下部キャビティへの流入経路 (T.P.17.8m, T.P.12.1m/10.4m 平面図)</p> <p>特囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p>設計方針の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
 <p>図 3 原子炉格納容器内断面図</p> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p>図 3 原子炉格納容器内断面図</p> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p>設計方針の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備（補足説明資料）

大飯発電所3/4号炉

泊発電所3号炉

相違理由

1. 原子炉下部キャビティへの流入箇所

原子炉格納容器の最下階エリアからは、原子炉下部キャビティに通じる連通穴を経由して原子炉下部キャビティへ流入する。また、原子炉格納容器最下階フロアの水位上昇に伴い、小扉からも流入する。

原子炉下部キャビティに流入する経路断面概要を図4に、また、最下階エリア及び原子炉下部キャビティの水位と原子炉格納容器内への注水量の関係を図5に示す。



図4. 原子炉下部キャビティまでの流入経路断面概要図

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

1. 原子炉下部キャビティへの流入箇所

原子炉格納容器の最下階エリアからは、原子炉下部キャビティに通じる以下の開口部（連通管及び小扉）を経由して原子炉下部キャビティへ流入する。

原子炉下部キャビティに流入する経路断面概要を図4に、また、最下階エリア及び原子炉下部キャビティの水位と原子炉格納容器内への注水量の関係を図5及び図6に示す。

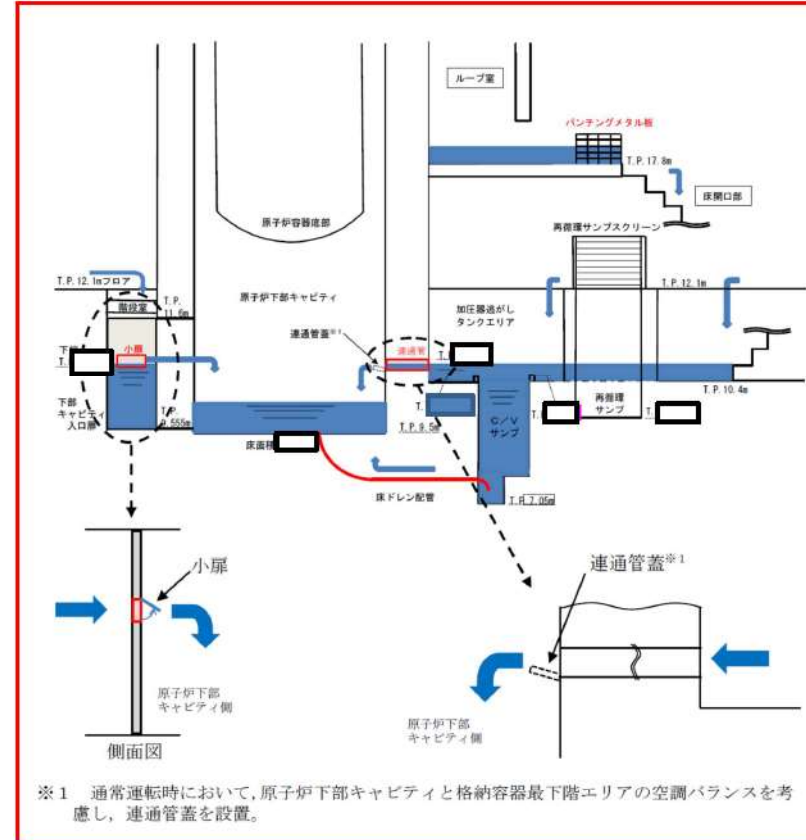


図4 原子炉下部キャビティまでの流入経路断面概要図

枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。

記載方針の相違

・泊3号炉は小扉が最下層フロア床レベルと同等の高さにある連通管とは同等の高さとなるためほぼ同時に流入する。

設計方針の相違



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）


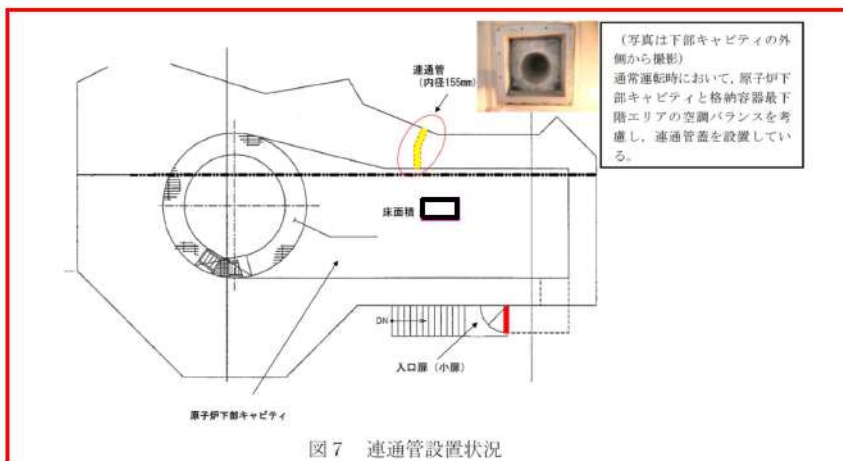
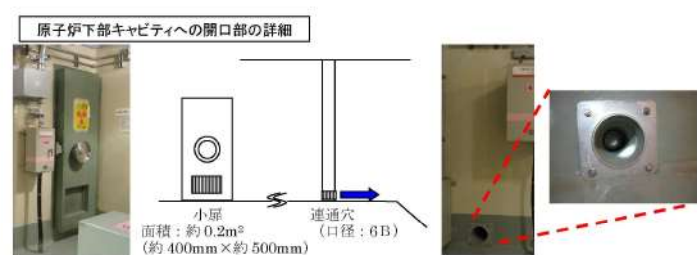
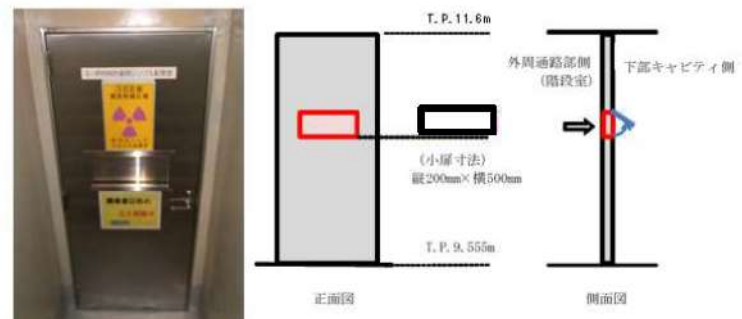
第58条 計装設備（補足説明資料）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="264 193 913 655" style="border: 2px solid black; margin: 10px auto; width: 280px; height: 280px;"> </div> <p data-bbox="421 632 770 651">図5. 原子炉格納容器内への注水量と水位の関係</p> <p data-bbox="145 718 533 740">本関係図の設定条件は以下のとおりである。</p> <p data-bbox="154 751 1048 841">(a) 解析コード MAAP によれば、MCCI の発生に対してもっとも影響の大きい「大 LOCA+ECCS 失敗+格納容器スプレイ失敗」において、原子炉容器破損時（約 1.4 時間後）に合計 60 トン<sup>*2</sup>の熔融炉心及び熔融された炉内構造物等が原子炉下部キャビティに落下するとの結果を得ている。</p> <p data-bbox="203 852 1048 1013">この初期に落下する熔融炉心等の物量について、保守的に大飯 3, 4 号機に装荷される炉心有効部の全量約 [ ] トンと設定し、これが原子炉下部キャビティに落下した際に蓄水した水により常温まで冷却するのに必要な水量として約 [ ] <sup>*3</sup>とした。解析結果によれば、原子炉容器破損時（約 1.4 時間後）における原子炉下部キャビティ水量は約 [ ] <sup>3</sup>（水位として約 1.3m）であり、十分な水量が確保されている。</p> <p data-bbox="203 1023 1048 1114">※2：MAAP 解析では、初期炉心熱出力を [ ] 大きめに設定しており、また、炉心崩壊熱も大きめの発熱量で推移すると設定している。そのため、原子炉容器破損時間や熔融炉心等落下物量は実態よりも早め・大きめになり、数値は十分保守的である。</p> <p data-bbox="203 1125 1048 1182">※3：初期以降に落下する熔融炉心等の冷却に必要な冷却水については、スプレイ水等により最下階に溜まった水が連通穴等により適宜注水される。</p> <p data-bbox="154 1227 1048 1284">(b) 大破断 LOCA 時には短時間に大流量が原子炉格納容器内へ注水されるため、連通穴を主経路として原子炉下部キャビティに通水されるため、以下については考慮しない。</p> <ul data-bbox="212 1329 508 1351" style="list-style-type: none"> <li>・原子炉容器外周隙間からの流入</li> </ul> <div data-bbox="338 1390 857 1417" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;"> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> </div>	<div data-bbox="1126 172 1877 667" style="border: 2px solid black; margin: 10px auto; width: 330px; height: 300px;"> </div> <p data-bbox="1178 639 1816 660">図5 原子炉格納容器内への注水量と水位の関係（既設連通管のみから流入の場合）</p> <p data-bbox="1075 718 1447 740">本関係図の設定条件は以下のとおりである。</p> <p data-bbox="1095 751 1966 1013">(a) 解析コード MAAP によれば、MCCI の発生に対してもっとも影響の大きい「大破断 LOCA+ECCS 注入失敗+格納容器スプレイ失敗」において、原子炉容器破損時（約 1.6 時間後※2）に合計 [ ] トン<sup>*2</sup>の熔融炉心、熔融された炉内構造物等が原子炉下部キャビティに落下するとの結果を得ている。この初期に落下する熔融炉心等の物量について、保守的に泊 3 号機に装荷される炉心有効部の全量約 [ ] トンと設定し、これが原子炉下部キャビティに落下した際に蓄水した水により常温まで冷却するのに必要な水量として約 [ ] <sup>*3</sup>とした。解析結果によれば、原子炉容器破損時（約 1.4 時間後）における原子炉下部キャビティ水量は約 [ ] <sup>3</sup>（水位として約 1.5m）であり、十分な水量が確保されている。</p> <p data-bbox="1133 1023 1966 1114">※2 MAAP 解析では、初期炉心熱出力を [ ] %大きめに設定しており、また、炉心崩壊熱も大きめの発熱量で推移すると想定している。そのため、原子炉容器破損時間や熔融炉心等落下物量は実態よりも早め・大きめになり、数値は十分保守的である。</p> <p data-bbox="1133 1125 1966 1182">※3 初期以降に落下する熔融炉心等の冷却に必要な冷却水については、スプレイ水等により最下階に溜まった水が連通管等により適宜注水される。</p> <p data-bbox="1095 1227 1966 1284">(b) 大破断 LOCA 時には短時間に大流量が原子炉格納容器内へ注水されるため、連通管を主経路として原子炉下部キャビティに通水されるため、以下については考慮しない。</p> <ul data-bbox="1120 1295 1554 1351" style="list-style-type: none"> <li>・格納容器サンプルからのドレン配管逆流による流入</li> <li>・原子炉容器外周隙間からの流入</li> </ul> <div data-bbox="1413 1390 1933 1417" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;"> <p>[ ] 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> </div>	<p data-bbox="1973 205 2107 228">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1973 786 2107 809">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1973 1230 2107 1252">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1973 1264 2123 1420">・泊3号炉は下部キャビティ床にドレン配管があるため、ドレン配管から逆流する経路がある。</p>



大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="1070 172 1951 687" style="border: 2px solid black; height: 323px; width: 393px; margin-bottom: 10px;"></div> <p data-bbox="1115 703 1827 727">図6 原子炉格納容器内への注水量と水位の関係（追設小扉のみから流入の場合）</p> <p data-bbox="1081 751 1447 772">本関係図の設定条件は以下のとおりである。</p> <p data-bbox="1104 786 1731 807">(a) 熔融炉心等の物量及び必要な冷却水量の設定については、図5と同じ。</p> <p data-bbox="1104 821 1951 874">(b) 追設する小扉の流入性確認のため、<span style="background-color: yellow;">上図においては保守的に以下については考慮しないこととした。</span></p> <ul data-bbox="1126 888 1554 978" style="list-style-type: none"> <li>・既設の連通管からの流入</li> <li>・格納容器サンプからのドレン配管逆流による流入</li> <li>・原子炉容器外周隙間からの流入</li> </ul> <p data-bbox="1104 1026 1951 1150">(c) 保守的に、大破断 LOCA 時の初期の流入水（RCS 配管破断水（約 <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px; height: 12px;"></span>））は、既設の連通管が設置されている加圧器逃がシタンクエリアに流入し、このうち当該エリアの容積に相当する水が滞留水になると仮定した。また加圧器逃がシタンクエリアが満水となった後にオーバーフローし、階段室及び下部キャビティ室に流入すると仮定した。</p> <p data-bbox="1104 1165 1951 1254">(d) 実際には RCS 配管破断水及びスプレイ水は、加圧器逃がシタンクエリア（既設連通管側）及び階段室（追設小扉側）に同時に流入し、階段室（追設小扉側）にも早期に流入することから、上記は保守的な仮定である。</p> <p data-bbox="1346 1342 1944 1369" style="text-align: right;"><span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px; height: 12px;"></span> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p data-bbox="1977 209 2101 229"><u>記載方針の相違</u></p> <p data-bbox="1977 244 2123 432">・大飯では連通穴が2重化されていることから、小扉のみの流入による評価を行っていない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(1) 連通穴</p> <p>原子炉下部キャビティへの流入経路として、<b>炉内計装用シンプル配管室への連通穴を施工する。</b>連通穴は1箇所のみでMCCI防止のために必要な原子炉下部キャビティ保有水を確保できることを確認しているが、<b>2箇所</b>設置することで多重性を持った設計とする。(図6)</p>  <p>図6. 連通穴施工イメージ</p>	<p>(1) 連通管</p> <p>原子炉下部キャビティへの流入経路として、<b>原子炉下部キャビティへの連通管を設置している。</b>連通管は1箇所のみでMCCI防止のために必要な原子炉下部キャビティ保有水を確保できることを確認しているが、<b>連通管と異なる位置に小扉を設置することで流路の多重性及び多様性を持った設計とする。</b>(図7)</p>  <p>図7 連通管設置状況</p>	<p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊3号炉は連通管を設置済みである。</li> </ul> <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊3号炉は連通管と異なる方向のほぼ同じ高さに連通管よりも大きい開口部を持つ小扉を設置することで多重性及び多様性を持つ設計としている。</li> </ul>
<p>(2) 小扉</p> <p>1箇所の<b>連通穴</b>からの流入のみでMCCI防止のために必要な原子炉下部キャビティ保有水を確保できることを確認しているが、<b>原子炉格納容器最下階フロアの水位が上昇すれば、2箇所に設置する連通穴に加えて、小扉からも原子炉下部キャビティへ格納容器スプレイ水が流入する。</b>(図7)</p>  <p>図7. 炉内計装用シンプル配管室入口小扉</p> <p>検討みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p>(2) 小扉</p> <p><b>連通管</b>からの流入のみでMCCI防止のために必要な原子炉下部キャビティ保有水を確保できることを確認しているが、<b>原子炉下部キャビティへの水の流入経路の多重性を確保するため、原子炉下部キャビティ室の入口扉に開口部（小扉）を設置し、小扉からも原子炉下部キャビティへ格納容器スプレイ水が流入する。</b>(図8)</p>  <p>図8 □原子炉下部キャビティ入口扉小扉</p>	<p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊3号炉では、最下層フロアの水位上昇を待たずとも連通管と同じレベルにある小扉から格納容器スプレイ水が流入することで、多重性を確保した設計としている。</li> </ul>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>3. 原子炉下部キャビティへの流入健全性について</p> <p>(1) 原子炉下部キャビティ内側からの閉塞の可能性について</p> <p>溶融炉心が原子炉下部キャビティ室に落下した際、溶融炉心等で連通穴（内側）が閉塞しないことを以下のとおり確認した。</p> <p>○解析コード MAAP によれば、「大破断 LOCA+ECCS 注入失敗+格納容器スプレイ失敗」において、以下の合計約 [ ] トンの溶融炉心等が LOCA 後 4 時間までに原子炉から落下するとの結果を得ている。</p> <p>○上記の結果に解析結果が持つ不確定性を考慮し、保守的に以下を想定して、物量が多くなるよう炉内構造物等の重量を約 [ ] トンとし、合計 [ ] トン分が下部キャビティ室に堆積することを想定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に溶融が想定される箇所は、下部炉内構造物のうち、溶融炉心が下部プレナムへ落下する際に接触する構造物の表面の一部と、滞留する下部プレナム内にある構造物であるが、これらが多めに溶け込むことを想定して、下部炉心板以下の全構造物の溶融とする。</li> <li>・原子炉容器については、クリーブ破損により開口部を生じさせる形態となり、原子炉容器そのものは落下しない。（溶融炉心と接するため、微量に溶け込む。）</li> <li>・原子炉容器下部の計装案内管については、原子炉容器との固定部が溶融されることにより、全てがその形状を保持したまま落下すること。</li> <li>・原子炉下部キャビティ室にあるサポート等が全て溶融すること。</li> </ul>	<p>2. 原子炉下部キャビティへの流入健全性について</p> <p>(1) 原子炉下部キャビティ内側からの閉塞の可能性について</p> <p>溶融炉心が原子炉下部キャビティに落下した際、溶融炉心等で連通管及び小扉が内側から閉塞しないことを以下のとおり確認した。</p> <p>○解析コード MAAP によれば、「大破断 LOCA+ECCS 注入失敗+格納容器スプレイ失敗」において、下表に示すとおり① 溶融炉心（全量）（約 [ ] トン）と② 炉内構造物等約 [ ] トンの合計約 [ ] トンの溶融炉心等が、LOCA 後 3 時間までに原子炉から落下するとの結果を得ている。</p> <p>○上記の結果に解析結果が持つ不確定性を考慮し、保守的に以下を想定して、物量が多くなるよう② 炉内構造物等の重量を約 [ ] トンとし、合計 [ ] トン分が原子炉下部キャビティに堆積することを想定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に溶融が想定される箇所は、下部炉内構造物のうち、溶融炉心が下部プレナムへ落下する際に接触する構造物の表面の一部と、滞留する下部プレナム内にある構造物であり、これらは約 [ ] トンである。これらが多めに溶け込むことを想定して、下部炉心板以下の全構造物約 [ ] トンの溶融とする。</li> <li>・原子炉容器については、クリーブ破損により開口部を生じさせる形態となり、原子炉容器そのものは落下しない。（溶融炉心と接するため、微量に溶け込む。）</li> <li>・原子炉容器下部の計装案内管については、原子炉容器との固定部が溶融されることにより、全てがその形状を保持したまま落下すること。</li> <li>・原子炉下部キャビティ室にあるサポート等が全て溶融することを想定する。これらの総重量は [ ] トンである。</li> </ul> <p>以上を全て合計した約 [ ] トンに対して、保守的になるように切りが良い数値として、② 炉内構造物等の重量を約 [ ] トンと設定した。</p> <p>[ ] 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p>相違理由</p> <p>記載方針の相違                  設計方針の相違                  ・炉心及び炉内構造の相違による重量の相違</p> <p>記載方針の相違                  ・重量を明確化した</p> <p>記載方針の相違                  ・想定する重量に対してより保守的に重慮を設定した</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備（補足説明資料）

大飯発電所3/4号炉							泊発電所3号炉							相違理由																																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>構成物</th> <th>材質</th> <th>重量 (MAAP)</th> <th>重量 (今回想定)</th> <th>比重*</th> <th>体積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">① 熔融炉心 (全量)</td> <td>UO<sub>2</sub></td> <td rowspan="2">[ ]</td> <td rowspan="2">[ ]</td> <td>約 11</td> <td rowspan="2">約 23m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>ZrO<sub>2</sub></td> <td>約 6</td> </tr> <tr> <td>② 炉内構造物等</td> <td>SUS304 等</td> <td rowspan="2">[ ]</td> <td rowspan="2">約 200 トン</td> <td>約 8</td> <td rowspan="2">[ ]</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td colspan="3">[ ]</td> </tr> </tbody> </table> <p>※：空隙率を考慮せず</p> <p>以上のように保守的に設定した条件の場合において、原子炉下部キャビティ室に蓄積される熔融炉心等は約 [ ] となる。これら熔融炉心等が平均的に原子炉下部キャビティ室に堆積すると仮定した場合、原子炉下部キャビティ室の水平方向断面積は約 [ ] であるので、堆積高さは約 [ ] m となることから、原子炉下部キャビティ内側室床面から流入経路が閉塞することはない。</p> <p>[ ] 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>							構成物	材質	重量 (MAAP)	重量 (今回想定)	比重*	体積	① 熔融炉心 (全量)	UO <sub>2</sub>	[ ]	[ ]	約 11	約 23m <sup>3</sup>	ZrO <sub>2</sub>	約 6	② 炉内構造物等	SUS304 等	[ ]	約 200 トン	約 8	[ ]	合計		[ ]			<table border="1"> <thead> <tr> <th>構成物</th> <th>材料</th> <th>重量 (解析)</th> <th>重量 (今回想定)</th> <th>比重*</th> <th>体積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">① 熔融炉心 (全量)</td> <td>UO<sub>2</sub></td> <td rowspan="2">[ ]</td> <td rowspan="2">[ ]</td> <td>約 11</td> <td rowspan="2">約 17m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>ZrO<sub>2</sub></td> <td>約 6</td> </tr> <tr> <td>② 炉内構造物等</td> <td>SUS304 等</td> <td rowspan="2">[ ]</td> <td rowspan="2">[ ]</td> <td>約 8</td> <td rowspan="2">[ ]</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td colspan="3">[ ]</td> </tr> </tbody> </table> <p>※：空隙を考慮せず</p> <p>以上のように保守的に設定した条件の場合において、原子炉下部キャビティに蓄積される熔融炉心等は約 17m<sup>3</sup> となる。これら熔融炉心等が平均的に原子炉下部キャビティ室に堆積すると仮定した場合、原子炉下部キャビティ室の水平方向断面積は約 [ ] m<sup>2</sup> であるので、堆積高さは約 [ ] m となる。原子炉下部キャビティ室への連通管まで約 [ ] m 以上あることから、熔融炉心等の堆積高さを多めに見た場合でも原子炉下部キャビティ室への連通管及び小扉が内側から閉塞することはない。</p> <p>[ ] 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>							構成物	材料	重量 (解析)	重量 (今回想定)	比重*	体積	① 熔融炉心 (全量)	UO <sub>2</sub>	[ ]	[ ]	約 11	約 17m <sup>3</sup>	ZrO <sub>2</sub>	約 6	② 炉内構造物等	SUS304 等	[ ]	[ ]	約 8	[ ]	合計		[ ]			<p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・想定する構造物の重量の相違</li> </ul> <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連通管及び小扉と体積高さの関係を明確化した。</li> </ul> <p>記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊では大飯こおける2重の連通穴と同等の多重性を確保するため、連通管と小扉を使用する。</li> </ul>
構成物	材質	重量 (MAAP)	重量 (今回想定)	比重*	体積																																																											
① 熔融炉心 (全量)	UO <sub>2</sub>	[ ]	[ ]	約 11	約 23m <sup>3</sup>																																																											
	ZrO <sub>2</sub>			約 6																																																												
② 炉内構造物等	SUS304 等	[ ]	約 200 トン	約 8	[ ]																																																											
合計				[ ]																																																												
構成物	材料	重量 (解析)	重量 (今回想定)	比重*	体積																																																											
① 熔融炉心 (全量)	UO <sub>2</sub>	[ ]	[ ]	約 11	約 17m <sup>3</sup>																																																											
	ZrO <sub>2</sub>			約 6																																																												
② 炉内構造物等	SUS304 等	[ ]	[ ]	約 8	[ ]																																																											
合計				[ ]																																																												
<p>(2) 原子炉下部キャビティ外側からの閉塞の可能性について</p> <p>原子炉下部キャビティへの流入口である連通穴は、原子炉格納容器内に発生する可能性のあるデブリにより連通穴が閉塞することのない設計とする。</p> <p>なお、連通穴を閉塞させる恐れのある異物は以下のとおりである。</p> <p>(a) プラント定期検査期間中に、原子炉格納容器内に検査機器等が多く持ち込まれるが、定期検査終了後、取り残された異物</p> <p>(b) 設計基準事故、重大事故等に伴い発生する異物</p> <p>(a) 定期検査時に持ち込まれる異物について</p> <p>①定期検査時の作業のため、一時的に使用する異物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テープ</li> <li>・プラスチック、ビニール製品</li> <li>・ロープ</li> <li>・ウェス、布切れ等</li> </ul> <p>②対応</p> <p>定期検査期間中は異物が放置されていないことを目視により点検するとともに、放置された異物が発見された場合は原子炉起動までに除去する等の適切な措置を講じている。また、定期検査終了後には、異物等が残っていないことを原子炉格納容器内点検にて確認している。</p> <p>引き続き、適正に異物管理を実施することで、連通穴の健全性を確保することが可能である。</p>							<p>(2) 原子炉下部キャビティ外側からの閉塞の可能性について</p> <p>原子炉下部キャビティへの流入口である連通管と小扉は、原子炉格納容器内に発生する可能性のあるデブリにより閉塞することのない設計とする。</p> <p>なお、連通管及び小扉を閉塞させる恐れのある異物は以下のとおりである。</p> <p>(a) プラント定期事業者検査期間中に、原子炉格納容器内に検査機器等が多く持ち込まれるが、定期事業者検査終了後、取り残された異物</p> <p>(b) 設計基準事故、重大事故等に伴い発生する異物</p> <p>(a) 定期事業者検査時に持ち込まれる異物について</p> <p>①定期事業者検査時の作業のため、一時的に使用する異物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テープ</li> <li>・プラスチック、ビニール製品</li> <li>・ロープ</li> <li>・ウェス、布切れ等</li> </ul> <p>②対応</p> <p>定期事業者検査期間中は異物が放置されないことを目視により点検するとともに、放置された異物が発見された場合は原子炉起動までに除去する等の適切な措置を講じている。また、定期事業者検査終了後には、異物等が残っていないことを原子炉格納容器内点検にて確認している。</p> <p>引き続き、適正に異物管理を実施することで、連通管及び小扉の健全性を確保することが可能である。</p>																																																									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(b) 設計基準事故、重大事故等に伴い発生する異物について</p> <p>①想定する事故シーケンス</p> <p>連通穴による原子炉下部キャビティへの流入が想定される状況は、炉心損傷時であるが、炉心損傷に至る事故シーケンスとしては、主として1次冷却材管のLOCA又は過渡事象が起因となる。そのうち発生異物量が最大となる、1次冷却材管の大破断LOCAを想定して発生異物への対策を考察する。</p> <p>②大破断LOCA時に発生する異物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・破損保温材（繊維質）：ロックウール、<span style="color: red;">グラスウール</span></li> <li>・破損保温材（粒子状）：<span style="color: red;">ケイ酸カルシウム</span></li> <li>・その他粒子状異物：塗装</li> <li>・堆積異物（繊維質、粒子）</li> </ul> <p>上記異物のうち、各種保温材については、1次冷却材管の破断点を中心として想定される破損影響範囲において発生することから、ループ室内で発生する。それら以外の粒子状異物及び堆積異物に関してはループ室内外で発生する。</p>	<p>(b) 設計基準事故、重大事故等に伴い発生する異物について</p> <p>①想定する事故シーケンス</p> <p>連通管及び小扉による原子炉下部キャビティへの流入が想定される状況は、炉心損傷時であるが、炉心損傷に至る事故シーケンスとしては、主として1次冷却材管のLOCA又は過渡事象が起因となる。そのうち発生異物量が最大となる、1次冷却材の大破断LOCAを想定して発生異物への対策を考察する。</p> <p>②大破断LOCA時に発生する異物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・破損保温材（繊維質）：ロックウール</li> <li>・その他粒子状異物：塗装</li> <li>・堆積異物（繊維質、粒子）</li> </ul> <p>上記異物のうち、各種保温材については、1次冷却材管の破断点を中心として想定される破損影響範囲において発生することから、ループ室内で発生する。それら以外の粒子状異物及び堆積異物に関してはループ室内外で発生する。</p>	<p><span style="color: red;">設計方針の相違</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊ではデブリ対策として格納容器内でグラスウール及びケイ酸カルシウムを使用していない。</li> </ul>



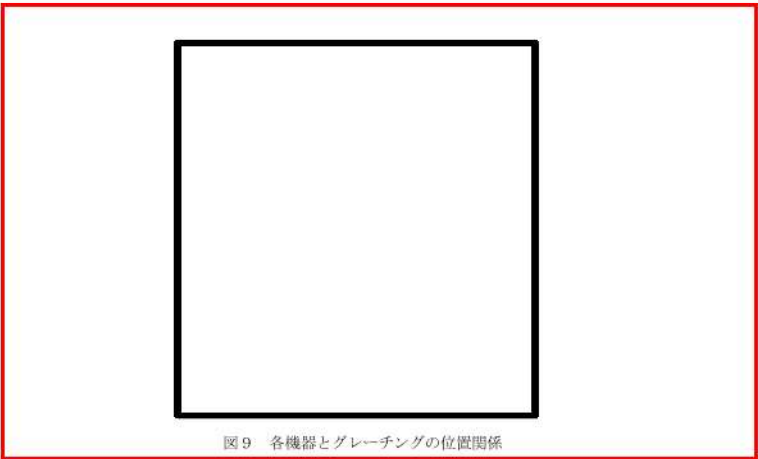
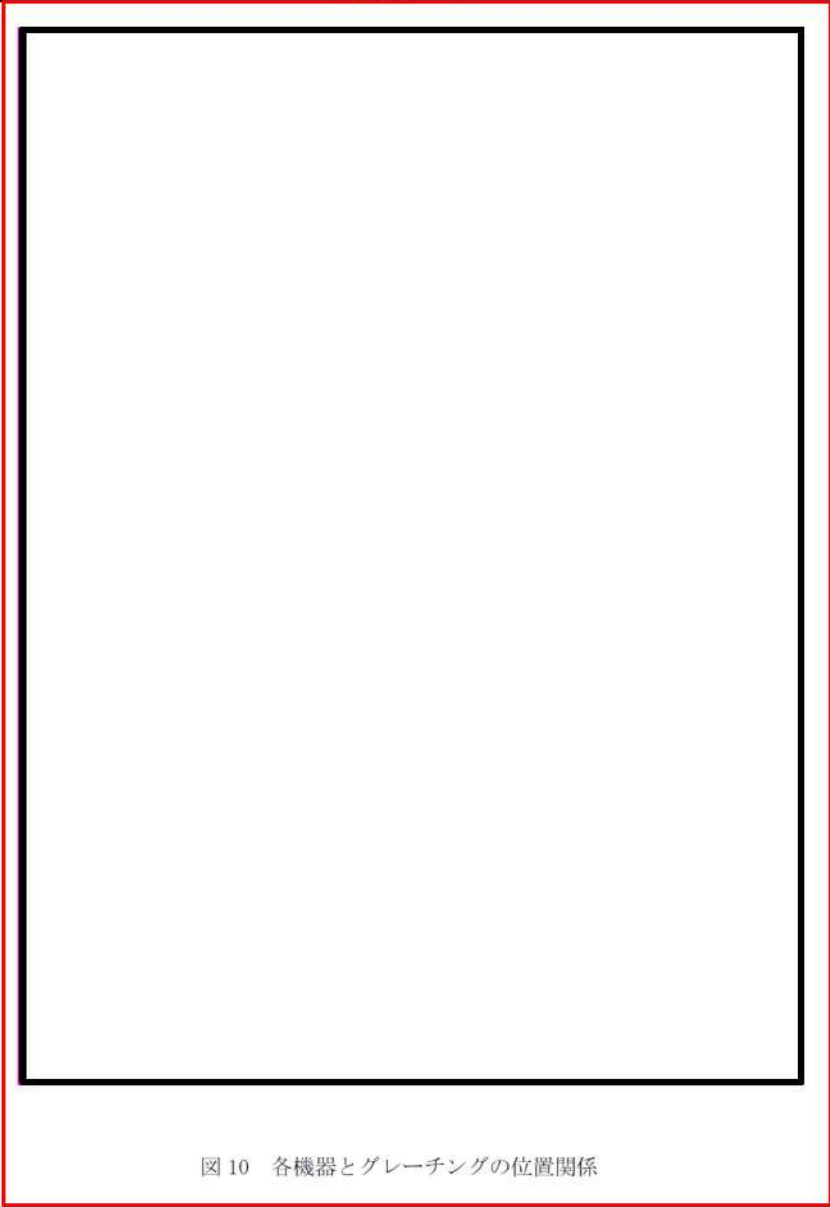

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>③対応</p> <p>i. ループ室内で発生する異物への対応</p> <p>大破断LOCA時にループ室内で発生する異物は、大部分が蒸気発生器保温材及び1次冷却材管保温材であり、ループ室内のグレーチングの開口部等を通じた大型保温材や、クロスオーバーレグの大型保温材が、万一連通穴（φ155mm）に到達することを防止するために、各ループ室最下階入口（5箇所）に、下部80cmに網目30mm×100mmのグレーチングを取り付けた金網扉を設置する。（図8）</p> <p>保温材等の異物は、ループ室入口の金網扉に至るまでにループ室各階の床グレーチングにて補足される。（図9）また、ループ室床面グレーチングとループ室入口の金網扉の網目の大きさは同じであり、ループ室床のグレーチングを通過した保温材等によりループ室入口の金網扉が閉塞することは無い。また、この網目を通る異物については連通穴（φ155mm）を閉塞させることは考えにくい。</p> <p>ii. ループ室外で発生する異物への対応</p> <p>大破断LOCA時にループ室外で発生する異物は、塗装等の粒子状異物及び堆積異物であるが、万一、ループ室床面（E.L.+17.6m）に落下しても、流路が複雑かつ長いこと等により、原子炉下部キャビティまで到達し難い。（図10）更に、連通穴は原子炉格納容器最下層床面近傍に位置しており、また穴径も155mmであることから、ループ室外で発生する塗装等の粒子状異物及び堆積異物が、連通穴を閉塞させるような大型の異物に該当するとは考えにくい。さらに、連通穴は複数設置することで多重性を持った設計としている。</p> <p>(d) まとめ</p> <p>プラント定期検査期間中に、原子炉格納容器内に検査機器等が多く持ち込まれるが、定期検査時及び終了後に異物が放置されていないことを目視により点検している。</p> <p>設計基準事故、重大事故等に伴い発生する異物は、発生異物量が最大となる1次冷却材管の大破断LOCAを想定している。連通穴を閉塞させるような大きな塊の保温材は大破断LOCA時にループ室で発生するものの、ループ室床面等のグレーチングで捕捉されるなど原子炉下部キャビティまで到達し難いが、さらにループ室出口に柵を設ける対策を講じている。さらに、原子炉下部キャビティへの流入経路である連通穴は複数確保して多重性を確保する。</p> <p>以上のことにより、原子炉下部キャビティへの流入の健全性を確保する。</p>	<p>③対応</p> <p>i. ループ室内で発生する異物への対応</p> <p>大破断LOCA時にループ室内で発生する異物は、大部分が蒸気発生器保温材及び1次冷却材管保温材であり、ループ室内のグレーチングの開口部等を通じた大型保温材や、クロスオーバーレグの大型保温材が、万一連通管（内径155mm）及び小扉（200mm×500mm）に到達することを防止するために、T.P.17.8mの外周通路部床面の階段開口部（2箇所）の手摺部に、グレーチングと同程度のメッシュ間隔のパンチングメタル板を設置する。（図9）（この他に機器搬入部の開口部が1箇所あり、既にグレーチングを設置している。）</p> <p>保温材等の異物は、T.P.17.8mの外周通路部床面の階段開口部の手摺部のパンチングメタル板に至るまでにループ室各階の床グレーチングにて捕捉される。（図10）また、ループ室床面グレーチングとパンチングメタル板の網目の大きさは同程度であり、ループ室床のグレーチングを通過した保温材等によりパンチングメタル板が閉塞することはない。また、この網目を通る異物については連通管（内径155mm）及び小扉（200mm×500mm）を閉塞させることは考えにくい。</p> <p>ii. ループ室外で発生する異物への対応</p> <p>大破断LOCA時にループ室外で発生する異物は、塗装等の粒子状異物及び堆積異物であるが、万一、ループ室床面（T.P.17.8m）に落下しても、流路が複雑かつ長いこと等により、原子炉下部キャビティまで到達し難い。（図11）更に、連通管及び小扉は原子炉格納容器最下層床面近傍に位置しており、また穴径及びサイズもそれぞれ155mm、200mm×500mmであることから、ループ室外で発生する塗装等の粒子状異物及び堆積異物が、連通管及び小扉を閉塞させるような大型の異物に該当するとは考えにくい。さらに、連通管（内径155mm）と小扉（200mm×500mm）をそれぞれ設置することで多重性を持った設計としている。</p> <p>(c) まとめ</p> <p>プラント定期事業者検査期間中に、原子炉格納容器内に検査機器等が多く持ち込まれるが、定期事業者検査時及び終了後に異物が放置されていないことを目視により点検している。</p> <p>設計基準事故、重大事故等に伴い発生する異物は、発生異物量が最大となる1次冷却材管の大破断LOCAを想定している。連通管及び小扉を閉塞させるような大きな塊の保温材は大破断LOCA時にループ室で発生するものの、ループ室床面等のグレーチングで捕捉されるなど原子炉下部キャビティまで到達し難いが、さらにT.P.17.8mの外周通路部床面の階段開口部の手摺部にパンチングメタル板を設ける対策を講じている。さらに、原子炉下部キャビティへの流入経路は連通管（内径155mm）と小扉（200mm×500mm）をそれぞれ設置することで多重性を確保する。</p> <p>以上のことにより、原子炉下部キャビティへの流入の健全性を確保する。</p>	<p>相違理由</p> <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊では設置場所の相違からパンチングメタル板を使用しているが、網目サイズをグレーチングと同程度とすることで異物の捕捉性能に相違はない。</li> </ul> <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ループ室床高さの設計が相違している。</li> </ul> <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊では大飯における2重の連通穴と同等の多重性を確保するため、連通管と小扉を使用する。</li> </ul> <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・構造は異なるが、異物の捕捉性能は同等である。</li> </ul> <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開口部のサイズを明確化した。</li> </ul>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
<div data-bbox="203 284 972 1117" style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <p data-bbox="479 1126 687 1149">図 8 保温材等のデブリ対策</p> <div data-bbox="327 1177 846 1209" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> </div>	<div data-bbox="1055 164 1966 1181"> <div data-bbox="1323 188 1518 292" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>大型の破損保温材等を捕捉するため、階段開口部周囲を囲むように手摺にパンチングメタルを設置した。(写真 A)</p> </div> <div data-bbox="1637 180 1899 284" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>T.P.17.8m フロア</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><span style="color: blue;">→</span> : 水平方向の水の流れ</li> <li><span style="color: blue;">⇩</span> : 下層階への水の流れ</li> <li><span style="border: 1px solid red; display: inline-block; width: 10px; height: 10px; vertical-align: middle;"></span> : 床開口部</li> </ul> </div> <div data-bbox="1122 403 1283 459" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>LOCA 発生場所 (ループ室内)</p> </div> <div data-bbox="1088 584 1283 738" style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <div data-bbox="1731 316 1921 523" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>LOCA 時の大型の破損保温材を含んだ水は、ループ室入口を経由し、階段開口部 2 箇所及び機器搬入口 1 箇所を通過して、最下階へ流下する。従ってこの 3 箇所で、大型の破損保温材等を捕捉できるよう、対処を図る。</p> </div> <div data-bbox="1731 627 1921 730" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>大型の破損保温材等を捕捉するため、階段開口部周囲を囲むように手摺にパンチングメタルを設置した。(写真 B)</p> </div> <div data-bbox="1088 751 1379 807" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>機器搬入口の開口部には既にグレーチングが設置されており、大型の破損保温材等は捕捉される。</p> </div> <div data-bbox="1122 839 1379 1046" style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <div data-bbox="1211 1062 1283 1082" style="text-align: center;">(写真 A)</div> <div data-bbox="1099 1078 1391 1098" style="text-align: center;">階段開口部に設置したパンチングメタル</div> <div data-bbox="1424 767 1637 935" style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <div data-bbox="1469 959 1581 1126" style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <div data-bbox="1659 839 1928 1046" style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <div data-bbox="1760 1062 1832 1082" style="text-align: center;">(写真 B)</div> <div data-bbox="1648 1078 1939 1098" style="text-align: center;">階段開口部に設置したパンチングメタル</div> <div data-bbox="1379 1142 1626 1165" style="text-align: center;">図 9 保温材等のデブリ対策</div> </div> <div data-bbox="1249 1190 1709 1214" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> </div>	<p data-bbox="1973 272 2101 295" style="color: red;">設計方針の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
 <p data-bbox="443 1193 725 1214">図 9 各機器とグレーチングの位置関係</p>	 <p data-bbox="1301 1321 1704 1347">図 10 各機器とグレーチングの位置関係</p> <p data-bbox="1272 1417 1816 1437">  枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。                 </p>	<p data-bbox="1973 308 2101 328">設計方針の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 2px solid black; width: 300px; height: 200px; margin: 10px auto;"></div> <p>図10-1 各グループ室から原子炉下部キャビティまでの流路（大飯3号機 断面図の例）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</div> <div style="border: 2px solid black; width: 300px; height: 200px; margin: 10px auto;"></div> <p>図10-2 各グループ室から原子炉下部キャビティまでの流路（大飯3号機 17.6M 平面図）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</div>	<div style="border: 2px solid red; padding: 10px;"> <div style="border: 2px solid black; width: 150px; height: 150px; margin: 10px auto;"></div> <div style="border: 2px solid black; width: 150px; height: 150px; margin: 10px auto;"></div> <p style="text-align: center;">T. P. 17.8m フロア</p> <p style="text-align: center;">T. P. 10.4m フロア</p> <p>図11 各グループ室から原子炉下部キャビティまでの流路 （T. P. 17.8m/10.4m 平面図）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid red; width: 20px; height: 10px; display: inline-block;"></div> : 床開口部         </div> <div style="margin-top: 10px;">             小扉 ————         </div> <div style="margin-top: 10px;">             ———— 連通管         </div>	<p>設計方針の相違</p>




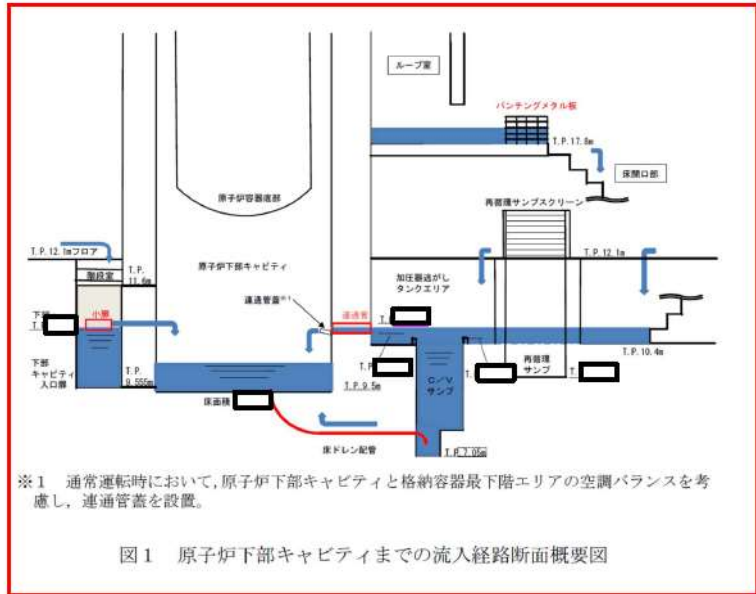
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>4. まとめ</p> <p>原子炉下部キャビティへ通じる炉内核計装用シンプル配管室への注水を確実にするために、以下の対策を実施する。(図11)</p> <p>①原子炉下部キャビティへの流入経路確保</p> <p>原子炉下部キャビティへ通じる炉内計装用シンプル配管室への連通穴2箇所設置。              また、炉内計装用シンプル配管入口扉に小扉を従来より設置している。</p> <p>②保温材等のデブリ対策</p> <p>各ループ室最下階入口（4箇所）にデブリ捕捉用の柵を設置する。</p> <p>これらの対策により、以下に示す効果が期待できることから、原子炉下部キャビティへの注水を確実に実施することができる。</p> <p>○大破断LOCAにより発生する保温材等のデブリは、デブリ捕捉用の柵により捕捉することができるため、連通穴にこれらのデブリが到達することはない。また、連通穴についてはデブリにより閉塞し難い構造であるため、外側から通水経路が閉塞することはない。</p> <p>○溶融炉心等が平均的に原子炉下部キャビティに堆積することを想定した場合においても、連通穴の設置高さは堆積高さより高いことから、内側から注水経路が閉塞することはない。</p>	<p>3. まとめ</p> <p>原子炉下部キャビティへの注水を確実にするために、以下の対策を実施する。(図12)</p> <p>① 原子炉下部キャビティへの流入経路確保</p> <p>原子炉下部キャビティ入口扉に小扉を設置。              また、原子炉下部キャビティへの連通管を従来より設置している。</p> <p>② 保温材等のデブリ対策</p> <p>T.P.17.8mの外周通路部床面の階段開口部（2箇所）の手摺部にデブリ捕捉用のパンチングメタル板を設置する。</p> <p>これらの対策により、以下に示す効果が期待できることから、原子炉下部キャビティへの注水を確実に実施することができる。</p> <p>○大破断LOCAにより発生する大型の保温材等のデブリは、デブリ捕捉用のパンチングメタル板及びグレーチングにより捕捉することができるため連通管及び小扉の外側にこれらのデブリが到達することはない。また、連通管及び小扉についてはデブリにより閉塞し難い構造であるため、外側から通水経路が閉塞することはない。</p> <p>○溶融炉心等が平均的に原子炉下部キャビティに堆積することを想定した場合においても、連通管及び小扉の設置高さは堆積高さより高いことから、内側から注水経路が閉塞することはない。</p>	<p>相違理由</p> <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊3号炉は連通管と異なる方向のほぼ同じ高さに連通管よりも大きい開口部を持つ小扉を設置することで多重性及び多様性を持つ設計としている。</li> </ul> <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊では設置場所の相違からパンチングメタル板を採用しているが、捕捉性能は同等である。</li> <li>・泊では床面開口部にグレーチングを設置している。</li> </ul>






赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">別紙</p> <p style="text-align: center;">原子炉下部キャビティへの蓄水時間について</p> <p>1. 原子炉下部キャビティへの流入箇所</p> <p>原子炉格納容器の最下階エリアからは、図 1 に示すとおり原子炉下部キャビティに通じる連通穴を経由して原子炉下部キャビティへ流入する。また、原子炉格納容器最下階フロアの水位上昇に伴い、小扉からも流入する。</p> <p>図 2 に連通穴から原子炉下部キャビティへ流入する場合の、最下階エリア及び原子炉下部キャビティの水位と原子炉格納容器内への注水量の関係を示す。</p> <p>なお、解析コード MAAP によると、図 3 のとおり溶融炉心等を常温まで冷却するのに必要な水量を上回る冷却水が、原子炉容器破損時 (約 1.4 時間後) までに確保可能である。</p> <div data-bbox="250 740 965 1203" style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; text-align: center;">  <p>図 1. 原子炉下部キャビティまでの流入経路断面概要図</p> </div> <div data-bbox="327 1225 846 1254" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;"> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> </div>	<p style="text-align: center;">別紙</p> <p style="text-align: center;">原子炉下部キャビティへの蓄水時間について</p> <p>1. 原子炉下部キャビティへの流入箇所</p> <p>原子炉格納容器の最下階エリアからは、図 1 に示すとおり原子炉下部キャビティに通じる開口部 (連通管及び小扉) を経由して原子炉下部キャビティへ流入する。</p> <p>図 2 及び図 3 に連通管又は小扉から原子炉下部キャビティへ流入する場合の、最下階エリア及び原子炉下部キャビティの水位と原子炉格納容器内への注水量の関係を示す。</p> <p>原子炉下部キャビティ室に通じる開口部は 2 箇所 (連通管及び小扉) あり、仮にどちらか一方が閉塞した場合においても、図 2 及び図 3 のとおり冷却に必要な冷却水の確保は可能である。</p> <p>なお、解析コード MAAP によると、図 4 のとおり溶融炉心等を常温まで冷却するのに必要な水量を上回る冷却水が、原子炉容器破損時 (約 1.6 時間後) までに確保可能である。</p> <div data-bbox="1137 740 1890 1337" style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; text-align: center;">  <p>図 1 原子炉下部キャビティまでの流入経路断面概要図</p> </div> <div data-bbox="1146 1209 1845 1254" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>※ 1 通常運転時において、原子炉下部キャビティと格納容器最下階エリアの空調バランスを考慮し、連通管蓋を設置。</p> </div> <div data-bbox="1285 1369 1778 1398" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;"> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> </div>	<p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊 3 号炉は小扉が、連通管とは同高きとなるため同様に流入する。</li> </ul> <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊では大飯における 2 重の連通穴と同等の多重性を確保するため、連通管と小扉を使用する。</li> </ul> <p>設計方針の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="342 180 813 512" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="421 512 770 534" data-label="Caption"> <p>図2. 原子炉格納容器内への注水量と水位の関係。</p> </div> <p>本関係図の設定条件は以下のとおりである。</p> <p>(a) 解析コード MAAP によれば、MCCI の発生に対してもっとも影響の大きい「大 LOCA+ECCS 失敗+格納容器スプレイ失敗」において、原子炉容器破損時（約 1.4 時間後）に合計 <input type="text"/> トン<sup>*1</sup> の熔融炉心及び熔融された炉内構造物等が原子炉下部キャビティに落下するとの結果を得ている。この初期に落下する熔融炉心等の物量について、保守的に大飯 3,4 号機に装荷される炉心有効部の全量約 <input type="text"/> トンと設定し、これが原子炉下部キャビティに落下した際に蓄水した水により常温まで冷却するのに必要な水量として約 <input type="text"/> <sup>*2</sup> とした。</p> <p>※1：MAAP 解析では、初期炉心熱出力を <input type="text"/> 大きめに設定しており、また、炉心崩壊熱も大きめの発熱量で推移すると設定している。そのため、原子炉容器破損時間や熔融炉心等落下物量は実態よりも早め・大きめになり、数値は十分保守的である。</p> <p>※2：初期以降に落下する熔融炉心等の冷却に必要な冷却水については、スプレイ水等により最下階に溜まった水が連通穴等により適宜注水される。</p> <p>(b) 大破断 LOCA 時には短時間に大流量が原子炉格納容器内へ注水されるため、連通穴を主経路として原子炉下部キャビティに通水されるため、原子炉容器外周隙間からの流入については考慮しない。</p> <div data-bbox="331 1361 848 1390" data-label="Text"> <p><input type="text"/> 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> </div>	<div data-bbox="1070 172 1937 694" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1055 699 1944 766" data-label="Caption"> <p>図2 原子炉格納容器内への注水量と水位の関係（既設連通管のみから流入の場合）</p> </div> <p>本関係図の設定条件は以下のとおりである。</p> <p>(a) 解析コード MAAP によれば、MCCI の発生に対してもっとも影響の大きい「大破断 LOCA+ECCS 注入失敗+格納容器スプレイ失敗」において、原子炉容器破損時（約 1.6 時間後）に合計 <input type="text"/> トン<sup>*2</sup> の熔融炉心、熔融された炉内構造物等が原子炉下部キャビティに落下するとの結果を得ている。この初期に落下する熔融炉心等の物量について、保守的に泊 3 号炉に装荷される炉心有効部の全量約 <input type="text"/> トンと設定し、これが原子炉下部キャビティに落下した際に蓄水した水により常温まで冷却するのに必要な水量として約 <input type="text"/> <sup>*3</sup> とした。</p> <p>※2 MAAP 解析では、初期炉心熱出力を <input type="text"/> %大きめに設定しており、また、炉心崩壊熱も大きめの発熱量で推移すると想定している。そのため、原子炉容器破損時間や熔融炉心等落下物量は実態よりも早め・大きめになり、数値は十分保守的である。</p> <p>※3 初期以降に落下する熔融炉心等の冷却に必要な冷却水については、スプレイ水等により最下階に溜まった水が連通管等により適宜注水される。</p> <p>(b) 大破断 LOCA 時には短時間に大流量が原子炉格納容器内へ注水されるため、連通管を主経路として原子炉下部キャビティに通水されるため、以下については考慮しない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・格納容器サンプからのドレン配管逆流による流入</li> <li>・原子炉容器外周隙間からの流入</li> </ul> <div data-bbox="1469 1374 1951 1396" data-label="Text"> <p><input type="text"/> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> </div>	<p>設計方針の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊3号炉は下部キャビティ床にドレン配管があるため、ドレン配管から逆流する経路がある。</li> </ul>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
	 <p data-bbox="1093 699 1921 726">図 3 原子炉格納容器内への注水量と水位の関係(追設小扉のみから流入の場合)</p> <p data-bbox="1077 783 1451 807">本関係図の設定条件は以下のとおりである。</p> <p data-bbox="1099 818 1742 842">(a) 溶融炉心等の物量及び必要な冷却水量の設定については、図 2 と同じ。</p> <p data-bbox="1099 850 1753 874">(b) 追設する小扉の流入性確認のため、保守的に以下については考慮しない。</p> <ul data-bbox="1122 887 1563 978" style="list-style-type: none"> <li>・既設の連通管からの流入</li> <li>・格納容器サンプからのドレン配管逆流による流入</li> <li>・原子炉容器外周隙間からの流入</li> </ul> <p data-bbox="1099 991 1966 1114">(c) 保守的に、大破断 LOCA 時の初期の流入水 ( RCS 配管破断水 (緑 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;"> </span> )) は、既設の連通管が設置されている加圧器逃がシタンクエリアに流入し、このうち当該エリアの容積に相当する水が滞留水になると仮定した。また加圧器逃がシタンクエリアが満水となった後にオーバーフローし、階段室及び下部キャビティ室に流入すると仮定した。</p> <p data-bbox="1099 1126 1966 1217">(d) 実際には RCS 配管破断水及びスプレイ水は、加圧器逃がシタンクエリア (既設連通管側) 及び階段室 (追設小扉側) に同時に流入し、階段室 (追設小扉側) にも早期に流入することから、上記は保守的な仮定である。</p> <p data-bbox="1458 1345 1951 1369" style="text-align: right;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;"> </span> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。                 </p>	<p data-bbox="1973 172 2123 196">記載方針の相違</p> <p data-bbox="1973 209 2123 363">・大飯では連通穴が 2 重化されていることから、小扉のみの流入による評価を行っていない。</p>

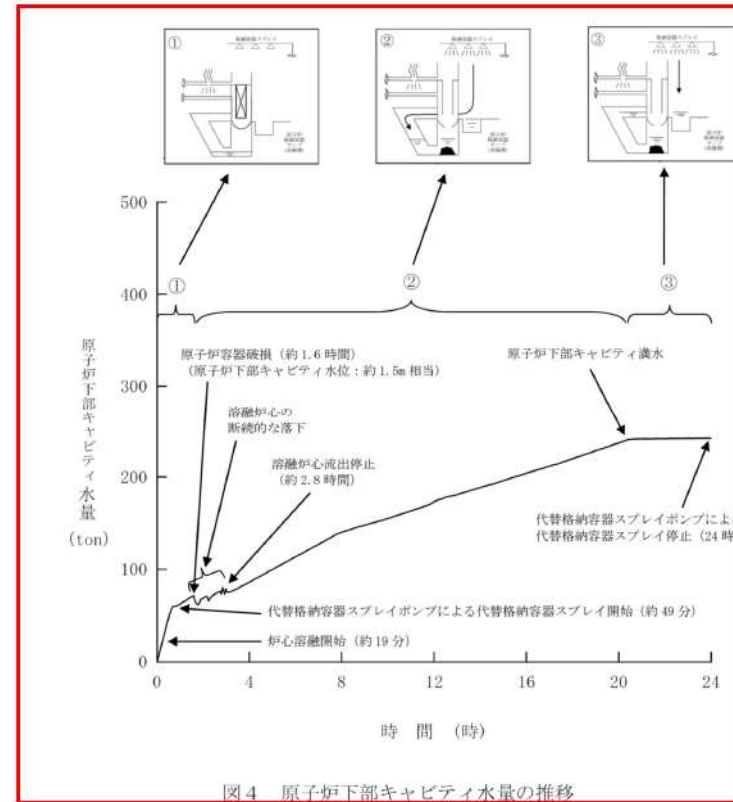
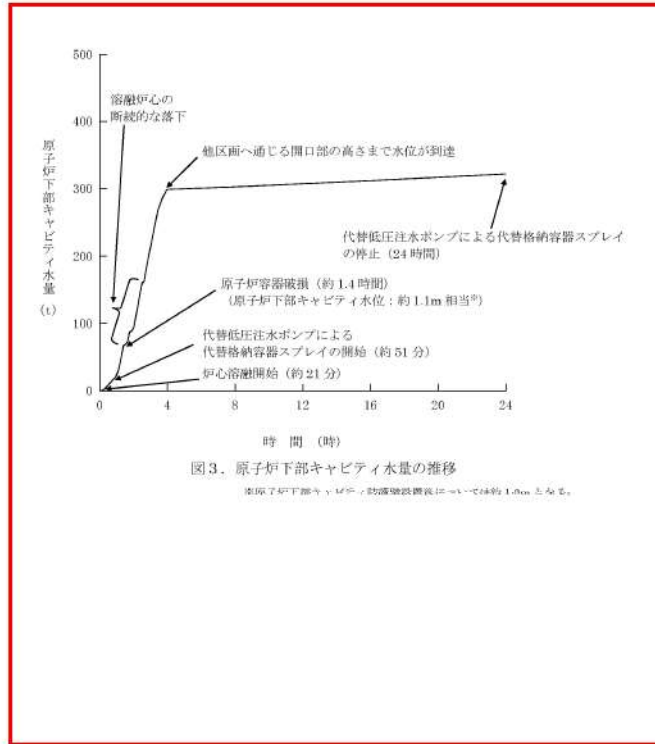
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備（補足説明資料）

大飯発電所3/4号炉

泊発電所3号炉

相違理由



設計方針の相違  
 ・格納容器配置等の  
 相違による



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容  
 赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>原子炉格納容器内の冷却状況の原子炉格納容器外温度計での確認について</p> <p>原子炉格納容器内の冷却状況の原子炉格納容器外温度計での確認について、次ページ以降に示す。</p> <p>原子炉格納容器内の冷却状況の原子炉格納容器外温度計での確認について</p> <p>重大事故等発生時に、原子炉格納容器（以下、「CV」という。）内の圧力、温度が上昇した場合における、CV内の冷却状況の確認方法について説明する。</p> <p>1. 現状と課題</p> <p>重大事故等時におけるCV内の冷却の確認については、重大事故等時において確認可能なCV内全体雰囲気の圧力、温度計により、確認できるようになっている。</p> <p>しかしながら、よりの確に事故等対応の判断を行うためには、CV冷却が行われていることの確認を多様化することが望ましいことから、CV外に設置された温度計でのCV冷却状況確認の可否について検討した。</p> <p>大飯3号炉及び4号炉のCV外温度計の現状は下表のとおりであり、格納容器再循環ユニットの出口温度計だけが計測不可で、他の温度計はトレンド監視が可能である。</p>	<p>(女川該当資料なし)</p>	<p>別紙5</p> <p>原子炉格納容器内の冷却状況の原子炉格納容器外温度計での確認について</p> <p>原子炉格納容器内の冷却状況の原子炉格納容器外温度計での確認について、次ページ以降に示す。</p> <p>原子炉格納容器内の冷却状況の原子炉格納容器外温度計での確認について</p> <p>重大事故等発生時に、原子炉格納容器内の圧力、温度が上昇した場合における、原子炉格納容器内の冷却状況の確認方法について説明する。</p> <p>1. 現状と課題</p> <p>重大事故等時における原子炉格納容器内の冷却の確認については、重大事故等時において確認可能な原子炉格納容器内全体雰囲気の圧力、温度計により、確認できるようになっている。</p> <p>しかしながら、よりの確に事故等対応の判断を行うためには、原子炉格納容器冷却が行われていることの確認を多様化することが望ましいことから、原子炉格納容器外に設置された温度計での原子炉格納容器冷却状況確認の可否について検討した。</p> <p>泊3号炉の原子炉格納容器外温度計の現状は第1表のとおりであり、海水通水時の格納容器再循環ユニットの入口及び出口温度計だけがトレンド監視不可で、他の温度計はトレンド監視が可能である。</p>	<p>【大飯】資料構成の相違</p> <p>【大飯】用語の統一 「CV」→「原子炉格納容器」として統一。以下同じ。</p> <p>【大飯】申請プラントの相違</p> <p>【大飯】設計方針の相違</p> <p>【大飯】設備構成の相違</p> <p>・海水通水時において、大飯では原子炉補機冷却水冷却器出口温度計上流より注水するが、泊では原子炉補機冷却水冷却器出口温度計下流より注水するため、格納容器再循環ユニットの入口温度についてもトレンド監視不可となる。(可搬型温度計測装置の設置によって格納容器再循環ユニット入口温度および出口温度の監視可能となることは大飯と同様)。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備（補足説明資料）

大飯発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉			泊発電所3号炉			相違理由																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>冷却モード</th> <th>対象ヒートシンク</th> <th>説明（CV外温度計の状況等）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>余熱除去系再循環</td> <td>余熱除去冷却器 (原子炉補機冷却水冷却器)</td> <td>余熱除去冷却器の入口温度及び出口温度が、トレンド監視可能。 また、原子炉補機冷却水冷却器の入口温度及び出口温度が、トレンド監視可能。</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレイ系再循環</td> <td>格納容器スプレイ冷却器 (原子炉補機冷却水冷却器)</td> <td>原子炉補機冷却水冷却器の入口温度及び出口温度が、トレンド監視可能。</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環ユニット冷却（補機冷却水通水）</td> <td>格納容器再循環ユニット (原子炉補機冷却水冷却器)</td> <td>格納容器再循環ユニット入口温度及び出口温度（原子炉補機冷却水冷却器出口及び入口温度）が、トレンド監視可能。</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環ユニット冷却（海水）</td> <td>格納容器再循環ユニット</td> <td>格納容器再循環ユニット入口温度（原子炉補機冷却水冷却器出口温度）が、トレンド監視可能。 格納容器再循環ユニット出口温度は指示計なし。</td> </tr> </tbody> </table>			冷却モード	対象ヒートシンク	説明（CV外温度計の状況等）	余熱除去系再循環	余熱除去冷却器 (原子炉補機冷却水冷却器)	余熱除去冷却器の入口温度及び出口温度が、トレンド監視可能。 また、原子炉補機冷却水冷却器の入口温度及び出口温度が、トレンド監視可能。	格納容器スプレイ系再循環	格納容器スプレイ冷却器 (原子炉補機冷却水冷却器)	原子炉補機冷却水冷却器の入口温度及び出口温度が、トレンド監視可能。	格納容器再循環ユニット冷却（補機冷却水通水）	格納容器再循環ユニット (原子炉補機冷却水冷却器)	格納容器再循環ユニット入口温度及び出口温度（原子炉補機冷却水冷却器出口及び入口温度）が、トレンド監視可能。	格納容器再循環ユニット冷却（海水）	格納容器再循環ユニット	格納容器再循環ユニット入口温度（原子炉補機冷却水冷却器出口温度）が、トレンド監視可能。 格納容器再循環ユニット出口温度は指示計なし。	<p>第1表 原子炉格納容器外温度計の現状</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>冷却モード</th> <th>対象ヒートシンク</th> <th>説明（原子炉格納容器外での温度監視方法等）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>余熱除去系再循環</td> <td>余熱除去冷却器 (原子炉補機冷却水冷却器)</td> <td>余熱除去冷却器の入口温度及び出口温度が、トレンド監視可能。 また、原子炉補機冷却水冷却器の入口及び出口温度が、トレンド監視可能。</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレイ系再循環</td> <td>格納容器スプレイ冷却器 (原子炉補機冷却水冷却器)</td> <td>格納容器スプレイ冷却器の出口温度が、トレンド監視可能。 また、原子炉補機冷却水冷却器の入口温度及び出口温度がトレンド監視可能。</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環ユニット冷却（補機冷却水通水）</td> <td>格納容器再循環ユニット (原子炉補機冷却水冷却器)</td> <td>格納容器再循環ユニット入口温度及び出口温度（原子炉補機冷却水冷却器の出口及び入口温度）が、トレンド監視可能。</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環ユニット冷却（海水）</td> <td>格納容器再循環ユニット</td> <td>格納容器再循環ユニット入口温度及び出口温度ともに、トレンド監視不可。</td> </tr> </tbody> </table>			冷却モード	対象ヒートシンク	説明（原子炉格納容器外での温度監視方法等）	余熱除去系再循環	余熱除去冷却器 (原子炉補機冷却水冷却器)	余熱除去冷却器の入口温度及び出口温度が、トレンド監視可能。 また、原子炉補機冷却水冷却器の入口及び出口温度が、トレンド監視可能。	格納容器スプレイ系再循環	格納容器スプレイ冷却器 (原子炉補機冷却水冷却器)	格納容器スプレイ冷却器の出口温度が、トレンド監視可能。 また、原子炉補機冷却水冷却器の入口温度及び出口温度がトレンド監視可能。	格納容器再循環ユニット冷却（補機冷却水通水）	格納容器再循環ユニット (原子炉補機冷却水冷却器)	格納容器再循環ユニット入口温度及び出口温度（原子炉補機冷却水冷却器の出口及び入口温度）が、トレンド監視可能。	格納容器再循環ユニット冷却（海水）	格納容器再循環ユニット	格納容器再循環ユニット入口温度及び出口温度ともに、トレンド監視不可。	<p>【大飯】設備構成の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊では格納容器スプレイ系再循環時において、格納容器スプレイ冷却器出口温度にてトレンド監視が可能。</li> </ul> <p>【大飯】設備構成の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海水通水時において、大飯では原子炉補機冷却水冷却器出口温度計上流より注水するが、泊では原子炉補機冷却水冷却器出口温度計下流より注水するため、格納容器再循環ユニットの入口温度についてもトレンド監視不可となる。（可搬型温度計測装置の設置によって格納容器再循環ユニット入口温度および出口温度の監視可能となることは大飯と同様）</li> </ul>		
冷却モード	対象ヒートシンク	説明（CV外温度計の状況等）																																				
余熱除去系再循環	余熱除去冷却器 (原子炉補機冷却水冷却器)	余熱除去冷却器の入口温度及び出口温度が、トレンド監視可能。 また、原子炉補機冷却水冷却器の入口温度及び出口温度が、トレンド監視可能。																																				
格納容器スプレイ系再循環	格納容器スプレイ冷却器 (原子炉補機冷却水冷却器)	原子炉補機冷却水冷却器の入口温度及び出口温度が、トレンド監視可能。																																				
格納容器再循環ユニット冷却（補機冷却水通水）	格納容器再循環ユニット (原子炉補機冷却水冷却器)	格納容器再循環ユニット入口温度及び出口温度（原子炉補機冷却水冷却器出口及び入口温度）が、トレンド監視可能。																																				
格納容器再循環ユニット冷却（海水）	格納容器再循環ユニット	格納容器再循環ユニット入口温度（原子炉補機冷却水冷却器出口温度）が、トレンド監視可能。 格納容器再循環ユニット出口温度は指示計なし。																																				
冷却モード	対象ヒートシンク	説明（原子炉格納容器外での温度監視方法等）																																				
余熱除去系再循環	余熱除去冷却器 (原子炉補機冷却水冷却器)	余熱除去冷却器の入口温度及び出口温度が、トレンド監視可能。 また、原子炉補機冷却水冷却器の入口及び出口温度が、トレンド監視可能。																																				
格納容器スプレイ系再循環	格納容器スプレイ冷却器 (原子炉補機冷却水冷却器)	格納容器スプレイ冷却器の出口温度が、トレンド監視可能。 また、原子炉補機冷却水冷却器の入口温度及び出口温度がトレンド監視可能。																																				
格納容器再循環ユニット冷却（補機冷却水通水）	格納容器再循環ユニット (原子炉補機冷却水冷却器)	格納容器再循環ユニット入口温度及び出口温度（原子炉補機冷却水冷却器の出口及び入口温度）が、トレンド監視可能。																																				
格納容器再循環ユニット冷却（海水）	格納容器再循環ユニット	格納容器再循環ユニット入口温度及び出口温度ともに、トレンド監視不可。																																				
<p>2. 対応内容</p> <p>重大事故等時において、CV冷却状況確認は、基本的にはCV圧力監視で対応可能であるが、それに加え、CV冷却状況確認手段に多様性を持たせるために、冷却不調の場合の追加対応であること及び計測が必要となるまでに時間的な余裕があることを踏まえて、記録機能を備えた可搬型の温度計を配備する。測定にあたっては、格納容器再循環ユニット入口配管及び出口配管にて温度を測定する。</p> <p>なお、重大事故等時の原子炉補機冷却水による自然対流冷却時に、沸騰防止のために原子炉補機冷却水サージタンクを加圧することから、既設圧力計の代替計器として可搬型の計器にてサージタンクの圧力を計測する。</p>			<p>2. 対応内容</p> <p>重大事故等時において、原子炉格納容器冷却状況確認は、基本的には原子炉格納容器圧力監視で対応可能であるが、それに加え、原子炉格納容器冷却状況確認手段に多様性を持たせるために、冷却不調の場合の追加対応であること及び計測が必要となるまでに時間的な余裕があることを踏まえて、記録機能を備えた可搬型の温度計を配備する。測定にあたっては、格納容器再循環ユニット入口配管及び出口配管にて温度を測定する。</p> <p>なお、重大事故等時の原子炉補機冷却水による自然対流冷却時に、沸騰防止のために原子炉補機冷却水サージタンクを加圧することから、既設圧力計の代替計器として可搬型の計器にてサージタンクの圧力を計測する。</p>			<p>3. 可搬型温度計測の概要</p> <p>(1) 温度計測機器の構成</p> <p>温度ロガー、温度センサー、データコレクタ（データ収集用）</p> <p>(2) 温度計の仕様</p> <p>測定範囲：約200℃まで計測可能</p> <p>（格納容器過温破損（全交流動力電源喪失+補助給水失敗）における原子炉格納容器雰囲気温度の最高値（約144℃）が計測可能であり、余裕をみても十分測定可能な範囲としている。）</p> <p>重量：約100g（1台当たり）</p>			<p>3. 可搬型温度計測の概要</p> <p>(1) 温度計測機器の構成</p> <p>温度ロガー、温度センサー、データコレクタ（データ収集用）</p> <p>(2) 温度計の仕様</p> <p>測定範囲：約200℃まで計測可能</p> <p>（雰囲気圧力・温度による静的負荷（格納容器過温破損）における原子炉格納容器雰囲気温度の最高値（約141℃）が計測可能であり、余裕をみても十分測定可能な範囲としている。）</p> <p>重量：約100g（1台当たり）</p>			<p>【大飯】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊は有効性評価における記載表現と整合を図っている。想定する事故シナリオは大飯と同様。</li> </ul> <p>【大飯】解析結果の相違</p>																										



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）




第58条 計装設備（補足説明資料）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>温度センサー：配管表面に添付                      SUSバンド等で配管に巻きつけ（取付け及び取外し可能）</p> <p>電源：リチウム電池（使用可能時間 約10ヶ月）                      データ保有量：約10日分（約1分間隔（プラントコンピューター（PCCS）相当）のデータ測定及び保有が可能）</p> <p>（3）温度計測体制                      可搬型温度計測装置の配備に際しては、手順書を作成するとともに、必要な要員を配置し、教育・訓練等を実施する。</p> <p>具体的には、当該可搬型温度計測装置は大容量ポンプによる格納容器再循環ユニットへの海水の通水の際に使用するため、可搬型温度計測装置の設置は召集要員にて行うこととし、温度監視は運転員が行うこととし、社内マニュアルに反映する。</p> <p>（4）温度計取付け模式図</p>  <p>データコレクタ      温度ロガー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現地に温度センサー及び温度ロガーを設置して温度測定を実施。</li> <li>・データの吸い上げは現場で可能。</li> <li>・データコレクタにより、温度のトレンドが確認可能。</li> </ul> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> <p>4. 重大事故等時の格納容器再循環ユニット出入口温度差の監視                      重大事故等時において、格納容器内自然対流冷却を実施する場合は、原子炉補機冷却水配管に温度センサーを取り付け、被ばく低減のためCVから離れた場所で可搬型温度計測装置により温度を監視し、格納容器再循環ユニットの冷却状態を確認する。</p> <p>格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却を実施した場合の格納容器再循環ユニット冷却水出入口温度差を表1に示す。また、重大事故等時の格納容器再循環ユニット</p>	<p>温度センサー：配管表面に添付                      SUSバンド等で配管に巻きつけ（取付け及び取外し可能）</p> <p>電源：リチウム電池（使用可能時間 約10ヶ月）                      データ保有量：約10日分（約1分間隔（プラントコンピューター（PCCS）相当）のデータ測定及び保有が可能）</p> <p>（3）温度計測体制                      可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度）の配備に際しては、手順書を作成するとともに、必要な要員を配置し、教育・訓練等を実施する。</p> <p>具体的には、当該可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度）は可搬型大型送水ポンプ車による格納容器再循環ユニットへの海水の通水の際に使用するため、可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度）の設置は運転員にて行うこととし、温度監視は運転員が行うこととし、社内マニュアルに反映する。</p> <p>（4）温度計取付け模式図</p>  <p>温度ロガー      データコレクタ</p> <p>周辺補機種 T.P. 17.8a      周辺補機種 T.P. 10.3a(中間床)</p> <p>第1図 温度計取付け模式図</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現地に温度センサー及び温度ロガーを設置して温度測定を実施。</li> <li>・データの吸い上げは現場で可能。</li> <li>・データコレクタにより、温度のトレンドが確認可能。</li> </ul> <p>4. 重大事故等時の格納容器再循環ユニット出入口温度差の監視                      重大事故等時において、格納容器内自然対流冷却を実施する場合は、原子炉補機冷却水配管に温度センサーを取り付け、被ばく低減のため原子炉格納容器から離れた場所で可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度）により温度を監視し、格納容器再循環ユニットの冷却状態を確認する。</p> <p>格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却を実施した場合の格納容器再循環ユニット冷却水出入口温度差を表2に示す。また、重大事故等時の格納容器再循環ユニット</p>	<p>温度センサー：配管表面に添付                      SUSバンド等で配管に巻きつけ（取付け及び取外し可能）</p> <p>電源：リチウム電池（使用可能時間 約10ヶ月）                      データ保有量：約10日分（約1分間隔（プラントコンピューター（PCCS）相当）のデータ測定及び保有が可能）</p> <p>（3）温度計測体制                      可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度）の配備に際しては、手順書を作成するとともに、必要な要員を配置し、教育・訓練等を実施する。</p> <p>具体的には、当該可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度）は可搬型大型送水ポンプ車による格納容器再循環ユニットへの海水の通水の際に使用するため、可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度）の設置は運転員にて行うこととし、温度監視は運転員が行うこととし、社内マニュアルに反映する。</p> <p>（4）温度計取付け模式図</p>  <p>温度ロガー      データコレクタ</p> <p>周辺補機種 T.P. 17.8a      周辺補機種 T.P. 10.3a(中間床)</p> <p>第1図 温度計取付け模式図</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現地に温度センサー及び温度ロガーを設置して温度測定を実施。</li> <li>・データの吸い上げは現場で可能。</li> <li>・データコレクタにより、温度のトレンドが確認可能。</li> </ul> <p>4. 重大事故等時の格納容器再循環ユニット出入口温度差の監視                      重大事故等時において、格納容器内自然対流冷却を実施する場合は、原子炉補機冷却水配管に温度センサーを取り付け、被ばく低減のため原子炉格納容器から離れた場所で可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度）により温度を監視し、格納容器再循環ユニットの冷却状態を確認する。</p> <p>格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却を実施した場合の格納容器再循環ユニット冷却水出入口温度差を表2に示す。また、重大事故等時の格納容器再循環ユニット</p>	<p>【大飯】設備名称の相違</p> <p>【大飯】設備名称の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違                      【大飯】設備名称の相違</p> <p>【大飯】体制の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違                      【大飯】設備名称の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違                      【大飯】設備名称の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備（補足説明資料）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																													
<p>の除熱性能曲線を図1に示す。この出入口温度差と実際の出入口温度差を比較し、格納容器再循環ユニットの冷却状態を確認する。</p> <table border="1" data-bbox="85 247 642 359"> <thead> <tr> <th>C.V.圧力</th> <th>飽和蒸気温度 (°C)</th> <th>除熱量 (MW/台)</th> <th>冷却水流量 (m<sup>3</sup>/h)</th> <th>出入口温度差 (°C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.282MPa[gage]時 (最高使用圧力時)</td> <td>約144</td> <td>約2.3</td> <td>141</td> <td>約75</td> </tr> <tr> <td>0.594MPa[gage]時 (最高使用圧力2倍)</td> <td>約168</td> <td>約13.0</td> <td>141</td> <td>約80</td> </tr> </tbody> </table> <p>表1 格納容器再循環ユニットによる格納容器自然対流冷却時の出入口温度</p>  <p>図1 重大事故時の格納容器再循環ユニットの除熱性能曲線  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開できません。</span></p> <p>5. 原子炉補機冷却水サージタンク圧力計測の概要          原子炉補機冷却水サージタンク圧力を確認するため、既設圧力計と代替計器として可搬型の計器である原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン圧力にて計測する。</p> <p>(1) 計器仕様</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン圧力仕様 (計測範囲) : 0.0~1.6 MPa              タンク加圧目標 : 0.3MPa</li> </ul>	C.V.圧力	飽和蒸気温度 (°C)	除熱量 (MW/台)	冷却水流量 (m <sup>3</sup> /h)	出入口温度差 (°C)	0.282MPa[gage]時 (最高使用圧力時)	約144	約2.3	141	約75	0.594MPa[gage]時 (最高使用圧力2倍)	約168	約13.0	141	約80	<p>女川原子力発電所2号炉</p> <p>トの除熱性能曲線を第2図に示す。この出入口温度差と実際の出入口温度差を比較し、格納容器再循環ユニットの冷却状態を確認する。</p> <p>第2表 格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却時の出入口温度</p> <table border="1" data-bbox="1254 263 1814 391"> <thead> <tr> <th>格納容器圧力</th> <th>飽和蒸気温度 (°C)</th> <th>除熱量 (MW/台)</th> <th>冷却水流量 (m<sup>3</sup>/h)</th> <th>出入口温度差 (°C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.283MPa[gage]時 (最高使用圧力時)</td> <td>132</td> <td>約5.6</td> <td>82</td> <td>約60</td> </tr> <tr> <td>0.566MPa[gage]時 (最高使用圧力2倍)</td> <td>155</td> <td>約6.5</td> <td>82</td> <td>約70</td> </tr> </tbody> </table>  <p>第2図 重大事故時の格納容器再循環ユニットの除熱性能曲線  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</span></p> <p>5. 原子炉補機冷却水サージタンク圧力計測の概要          原子炉補機冷却水サージタンク圧力を確認するため、既設圧力計 (原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (AM用)) と代替計器として可搬型の計器である原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型) にて計測する。</p> <p>(1) 計器仕様</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (AM用)仕様 (計測範囲) : 0~1.0MPa[gage]</li> <li>原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型)仕様 (計測範囲) : 0~1.0MPa[gage]              タンク加圧目標 : 0.28MPa[gage]</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">【伊方3号炉補足資料抜粋】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>圧力計仕様                      原子炉補機冷却水サージタンク広域圧力計 : 0~0.6MPa                      原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン圧力計 : 0~1MPa</li> <li>タンク加圧目標 : 0.27MPa</li> </ul> </div>	格納容器圧力	飽和蒸気温度 (°C)	除熱量 (MW/台)	冷却水流量 (m <sup>3</sup> /h)	出入口温度差 (°C)	0.283MPa[gage]時 (最高使用圧力時)	132	約5.6	82	約60	0.566MPa[gage]時 (最高使用圧力2倍)	155	約6.5	82	約70	<p>泊発電所3号炉</p> <p>トの除熱性能曲線を第2図に示す。この出入口温度差と実際の出入口温度差を比較し、格納容器再循環ユニットの冷却状態を確認する。</p> <p>第2表 格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却時の出入口温度</p> <table border="1" data-bbox="1254 263 1814 391"> <thead> <tr> <th>格納容器圧力</th> <th>飽和蒸気温度 (°C)</th> <th>除熱量 (MW/台)</th> <th>冷却水流量 (m<sup>3</sup>/h)</th> <th>出入口温度差 (°C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.283MPa[gage]時 (最高使用圧力時)</td> <td>132</td> <td>約5.6</td> <td>82</td> <td>約60</td> </tr> <tr> <td>0.566MPa[gage]時 (最高使用圧力2倍)</td> <td>155</td> <td>約6.5</td> <td>82</td> <td>約70</td> </tr> </tbody> </table>  <p>第2図 重大事故時の格納容器再循環ユニットの除熱性能曲線  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</span></p> <p>5. 原子炉補機冷却水サージタンク圧力計測の概要          原子炉補機冷却水サージタンク圧力を確認するため、既設圧力計 (原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (AM用)) と代替計器として可搬型の計器である原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型) にて計測する。</p> <p>(1) 計器仕様</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (AM用)仕様 (計測範囲) : 0~1.0MPa[gage]</li> <li>原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型)仕様 (計測範囲) : 0~1.0MPa[gage]              タンク加圧目標 : 0.28MPa[gage]</li> </ul>	格納容器圧力	飽和蒸気温度 (°C)	除熱量 (MW/台)	冷却水流量 (m <sup>3</sup> /h)	出入口温度差 (°C)	0.283MPa[gage]時 (最高使用圧力時)	132	約5.6	82	約60	0.566MPa[gage]時 (最高使用圧力2倍)	155	約6.5	82	約70	<p>相違理由</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】解析結果の相違</p> <p>【大飯】解析結果の相違</p> <p>【大飯】記載方針の相違          ・既設圧力計名称の明確化          【大飯】設備名称の相違</p> <p>【大飯】記載方針の相違          ・既設圧力計仕様を記載 (伊方と同様)          【大飯】設備名称の相違          【大飯】設備仕様の相違          ・設備の相違により計測範囲が異なる。(必要な範囲を計測できることに相違なし)</p>
C.V.圧力	飽和蒸気温度 (°C)	除熱量 (MW/台)	冷却水流量 (m <sup>3</sup> /h)	出入口温度差 (°C)																																												
0.282MPa[gage]時 (最高使用圧力時)	約144	約2.3	141	約75																																												
0.594MPa[gage]時 (最高使用圧力2倍)	約168	約13.0	141	約80																																												
格納容器圧力	飽和蒸気温度 (°C)	除熱量 (MW/台)	冷却水流量 (m <sup>3</sup> /h)	出入口温度差 (°C)																																												
0.283MPa[gage]時 (最高使用圧力時)	132	約5.6	82	約60																																												
0.566MPa[gage]時 (最高使用圧力2倍)	155	約6.5	82	約70																																												
格納容器圧力	飽和蒸気温度 (°C)	除熱量 (MW/台)	冷却水流量 (m <sup>3</sup> /h)	出入口温度差 (°C)																																												
0.283MPa[gage]時 (最高使用圧力時)	132	約5.6	82	約60																																												
0.566MPa[gage]時 (最高使用圧力2倍)	155	約6.5	82	約70																																												

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉

《参考図面》

○大飯3号炉及び4号炉 温度計測計器  
 原子炉補機冷却水サージタンク圧力

温度測定位置	温度確認箇所及び確認方法
① 原子炉補機冷却水供給側	PCCS
② 原子炉補機冷却水戻り側	PCCS
③ 再循環ユニット入口温度	可搬型温度計測装置
④ 再循環ユニット出口温度	可搬型温度計測装置
⑤ 余熱除去系再循環余熱除去冷却器出口	PCCS、記録計
⑥ 余熱除去系再循環余熱除去冷却器入口	PCCS、記録計

※③、④の確認箇所は変更の可能性がある。

計器名称	確認方法
⑤ AM用原子炉補機冷却水サージタンク圧力	指示計
⑥ 原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン圧力	現地指示計

女川原子力発電所2号炉

《参考図面》

○泊3号炉 温度計測計器  
 原子炉補機冷却水サージタンク圧力

温度測定位置	温度確認箇所及び確認方法
① 原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水	PCCS
② 原子炉補機冷却水戻り母管	PCCS
③ 格納容器スプレイ冷却器出口	PCCS
④ 格納容器再循環ユニット入口補機冷却水	可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度)
⑤ 格納容器再循環ユニット出口補機冷却水	可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度)
⑥ 余熱除去冷却器出口	PCCS
⑦ 余熱除去冷却器入口	PCCS

計器名称	確認方法
⑥ 原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (AM用)	現場指示計
⑦ 原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型)	現場指示計

泊発電所3号炉

《参考図面》

○泊3号炉 温度計測計器  
 原子炉補機冷却水サージタンク圧力

温度測定位置	温度確認箇所及び確認方法
① 原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水	PCCS
② 原子炉補機冷却水戻り母管	PCCS
③ 格納容器スプレイ冷却器出口	PCCS
④ 格納容器再循環ユニット入口補機冷却水	可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度)
⑤ 格納容器再循環ユニット出口補機冷却水	可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度)
⑥ 余熱除去冷却器出口	PCCS
⑦ 余熱除去冷却器入口	PCCS

計器名称	確認方法
⑥ 原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (AM用)	現場指示計
⑦ 原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型)	現場指示計

相違理由

【大飯】申請プラントの相違

【大飯】設備名称の相違

【大飯】海水通水箇所の相違

- 大飯では大容量ポンプにて原子炉補機冷却水冷却器出口温度計上流より海水注水するが、泊では可搬型大型送水ポンプにて原子炉補機冷却水冷却器出口温度計下流より注水する。

【大飯】設備名称の相違

【大飯】設備構成の相違

- 泊では格納容器スプレイ系再循環時において、格納容器スプレイ冷却器出口温度にてトレンド監視が可能であるため本表に当該計器を追記している。
- 泊3号炉は、デジタルプラントであるため、余熱除去系冷却器出口及び入口温度を記録するアナログの記録計は設置していない。

【大飯】設備名称及び記載表現の相違



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容  
 赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>原子炉圧力容器の水位の推定手段について</p> <p>1. 概要</p> <p>「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則」第五十八条第1項(計装設備)、「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」及び1.15事故時の計装に関する手順等においては、重大事故等が発生し、計測機器の故障により当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合において、当該パラメータを推定するために有効な情報を把握できる設備を設けることが要求されている。</p> <p>このうち、原子炉圧力容器（以下「原子炉容器」という）の水位として通常監視している加圧器水位の計測が困難になった場合、①原子炉水位の指示値より水位を確認、②1次冷却材圧力と1次冷却材高温側温度(広域)、サブクール度(CRT)指示値により、原子炉容器内のサブクール状態を監視することで原子炉容器の水位を推定することとしている。</p> <p>また、「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」1.2原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等においても、原子炉容器の水位を推定する手順等(手順、計測機器及び装備等)を整備することが要求されており、同様の推定を行うこととしている。</p> <p>2. 原子炉容器内の水位監視について</p> <p>PWRプラントにおいては、原子炉容器より上に位置する加圧器により通常運転や事故時の圧力及び1次系の保有水量の制御を行っており、加圧器の水位を計測することで、原子炉容器内の水位の状態を監視し、炉心の冷却状態を把握する上で重要となる原子炉容器内の保有水量の監視を行っている。</p> <p>したがって、重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータのうち、原子炉容器内の水位については、加圧器水位を主要パラメータとしており、加圧器水位の計測が困難になった場合、以下の推定手段を整備している。</p> <p>①原子炉水位による原子炉容器内の水位計測                  ②1次冷却材圧力、1次冷却材高温側温度(広域)及びサブクール度(CRT)の計測値による水位の推定                  (原子炉容器内のサブクール状態の監視)</p>	<p>(女川該当資料なし)</p>	<p>原子炉圧力容器の水位の推定手段について</p> <p>別紙6</p> <p>1. 概要</p> <p>「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則」第五十八条第1項(計装設備)、「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」及び1.15事故時の計装に関する手順等においては、重大事故等が発生し、計測機器の故障により当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合において当該パラメータを推定するために有効な情報を把握できる設備を設けることが要求されている。</p> <p>このうち、原子炉圧力容器の水位として通常監視している加圧器水位の計測が困難になった場合、①原子炉容器水位の指示値より水位を確認、②1次冷却材圧力(広域)と1次冷却材温度(広域-高温側)、サブクール度指示値により、原子炉圧力容器内のサブクール状態を監視することで原子炉圧力容器の水位を推定することとしている。</p> <p>また、「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」1.2原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等においても、原子炉圧力容器の水位を推定する手順等(手順、計測機器及び装備等)を整備することが要求されており、同様の推定を行うこととしている。</p> <p>2. 原子炉圧力容器内の水位監視について</p> <p>PWRプラントにおいては、原子炉圧力容器より上に位置する加圧器により通常運転や事故時の圧力及び1次冷却系の保有水量の制御を行っており、加圧器の水位を計測することで、原子炉圧力容器内の水位の状態を監視し、炉心の冷却状態を把握する上で重要となる原子炉圧力容器内の保有水量の監視を行っている。</p> <p>したがって、重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータのうち、原子炉圧力容器内の水位については、加圧器水位を主要パラメータとしており、加圧器水位の計測が困難になった場合、以下の推定手段を整備している。</p> <p>①原子炉容器水位による原子炉圧力容器内の水位計測                  ②1次冷却材圧力(広域)、1次冷却材温度(広域-高温側)及びサブクール度の計測値による水位の推定                  (原子炉圧力容器内のサブクール状態の監視)</p>	<p>【大飯】資料構成の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違                  ・以降、大飯が言い換えしていることに伴う相違は、相違理由の記載を省略する。</p> <p>【大飯】設備名称の相違                  【大飯】設備名称の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】設備名称の相違                  【大飯】設備名称の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉

項目	原子炉容器内の水位				
	監視パラメータ	対応設備	検出器	値数	計測範囲
主要パラメータ	加圧器水位	重大事故等対処設備	差圧式水位検出器	2	0~100% (加圧器側上端近傍~ 原子炉容器底部)
推定手段①	原子炉水位	重大事故等対処設備	差圧式水位検出器	1	0~100% (原子炉容器頂部~ 原子炉容器底部)
推定手段②	1次冷却材圧力	重大事故等対処設備	弾性圧力検出器	2	0~20.6MPa
	1次冷却材高温側温度(広域)	重大事故等対処設備	測温抵抗体	4	0~400℃
	サブクール度(CRT)	多線性拡張設備	弾性圧力検出器 測温抵抗体	1	-200.0~200.0℃

**【主要パラメータの考え方】**

- 安全機能を有する計測制御装置の設計指針 (JEAG-4611) では、PWRの事故時の炉心冷却状態の確認手段として、MS-2の加圧器水位が対象パラメータとなっている。
- 原子炉水位は、重要度分類上MS-3であり、原子炉容器内の水位の主要パラメータとして、MS-2の加圧器水位を選定している

※:加圧器水位と原子炉水位の計測範囲において、約2.74mの間は連続した水位監視ができないが、その範囲は各々の計測範囲に比べ小さく、水位変化傾向により、その間に水位があることが推定できることから、原子炉容器内の水位監視に問題はない。

原子炉容器底部から原子炉容器頂部までの水位を計測する原子炉水位により、原子炉容器内の水位を確認する。

○測定原理  
 差圧式水位検出器により、原子炉容器下部のコンジットチューブより分岐した受圧部（高圧側）に加わる水頭圧と原子炉容器ペント管より分岐した受圧部（低圧側）に加わる圧力との差

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

項目	原子炉圧力容器内の水位				
	監視パラメータ	対応設備	検出器	値数	計測範囲
主要パラメータ	加圧器水位	重大事故等対処設備	差圧式水位検出器	2	0~100% (加圧器側上端近傍~ 原子炉容器底部)
推定手段①	原子炉容器水位	重大事故等対処設備	差圧式水位検出器	1	0~100% (原子炉容器頂部~ 原子炉容器底部)
推定手段②	1次冷却材圧力(広域)	重大事故等対処設備	弾性圧力検出器	2	0~21.0MPa
	1次冷却材温度(広域-高温側)	重大事故等対処設備	測温抵抗体	3	0~400℃
	サブクール度	自主対策設備	弾性圧力検出器 測温抵抗体	1	-200~200℃

**【主要パラメータの考え方】**

- 安全機能を有する計測制御装置の設計指針 (JEAG-4611) では、PWRの事故時の炉心冷却状態の確認手段として、MS-2の加圧器水位が対象パラメータとなっている。
- 原子炉容器水位は、重要度分類上MS-3であり、原子炉圧力容器内の水位の主要パラメータとして、MS-2の加圧器水位を選定している。

※:加圧器水位と原子炉容器水位の計測範囲において、約0.04mの間は連続した水位監視ができないが、その範囲は各々の計測範囲に比べ小さく、水位変化傾向により、その間に水位があることが推定できることから、原子炉圧力容器内の水位監視に問題はない。

3. 原子炉容器水位計の概要  
 原子炉容器底部から原子炉容器頂部までの水位を計測する原子炉容器水位により、原子炉圧力容器内の水位を確認する。

○測定原理  
 差圧式水位検出器により、原子炉容器下部のコンジットチューブより分岐した受圧部（高圧側）に加わる水頭圧と原子炉容器ペント管より分岐した受圧部（低圧側）に加わる圧力との差

相違理由

【大飯】設備名称の相違

【大飯】設備構成の相違  
 ・大飯は4ループ、泊は3ループプラントであることによる相違

【大飯】記載表現の相違

【大飯】設備仕様の相違  
 ・加圧器水位計及び原子炉水位計の設置高さの差異による。

【大飯】設備名称の相違

【大飯】設備仕様の相違  
 ・加圧器水位計及び原子炉水位計の設置高さの差異による。

【大飯】章立ての相違

【大飯】設備名称の相違



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備（補足説明資料）

大飯発電所3/4号炉

を検出することで、水位に比例した信号を検出し、信号演算処理後、指示、記録する。

項目	計器仕様	補足
計測範囲	0 ~ 100% (原子炉容器底部 ~ 原子炉容器頂部)	原子炉容器底部から原子炉容器頂部までの水位を確認可能であり、燃料集合体の冠水を確認可能である
検出器種類	差圧式水位検出器	水位に比例する水頭圧を検出することができる。
個数	1 (3号炉及び4号炉 各々)	-
精度		-
検出器の耐環境性	耐環境仕様	重大事故等時の温度、圧力、放射線に耐えることを確認。
耐震性	耐震Sクラス相当	-
電源	非常用電源から給電	-

3. 1次冷却材圧力、1次冷却材高温側温度(広域)及びサブクール度(CRT)による原子炉容器内の水位の推定手段

監視パラメータである1次冷却材圧力と1次冷却材高温側温度(広域)により、飽和蒸気-圧力曲線を基に原子炉容器内のサブクール状態、飽和状態又は過熱状態を監視することで、原子炉容器内の水位が、炉心上端以上、炉心上端近傍もしくは炉心上端未満の水位であることを推定する。

1次冷却材高温側温度(広域)が飽和温度を示し、炉心上端近傍と推定した場合においては、温度の推移による状態の傾向を監視することにより、温度が上昇する場合には炉心が露出状態であることを判断でき、温度が安定していれば炉心が冠水状態であることを判断できる。

なお、本パラメータによる原子炉容器内の水位の推定は、炉心損傷で原子炉容器が損傷に至っていない状態であれば、プラント状態に依存することなく適用できるものであり、炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等を成功させるために必

女川原子力発電所2号炉

大飯発電所3号炉

を検出することで、水位に比例した信号を検出し、信号演算処理後、表示、記録する。

項目	計器仕様	補足
計測範囲	0 ~ 100% (原子炉容器底部 ~ 原子炉容器頂部)	原子炉容器底部から原子炉容器頂部までの水位を確認可能であり、燃料集合体の冠水を確認可能である。
検出器種類	差圧式水位検出器	水位に比例する水頭圧を検出することができる。
個数	1	-
精度		-
検出器の耐環境性	耐環境仕様	重大事故等時の温度、圧力、放射線に耐えることを確認。
耐震性	耐震Sクラス相当	-
電源	非常用電源から給電	-

4. 1次冷却材圧力(広域)、1次冷却材温度(広域-高温側)及びサブクール度による原子炉圧力容器内の水位の推定手段

監視パラメータである1次冷却材圧力(広域)と1次冷却材温度(広域-高温側)により、飽和蒸気-圧力曲線を基に原子炉圧力容器内のサブクール状態、飽和状態又は過熱状態を監視することで、原子炉圧力容器内の水位が、炉心上端以上、炉心上端近傍もしくは炉心上端未満の水位であることを推定する。

1次冷却材温度(広域-高温側)が飽和温度を示し、炉心上端近傍と推定した場合においては、温度の推移による状態の傾向を監視することにより、温度が上昇する場合には炉心が露出状態であることを判断でき、温度が安定していれば炉心が冠水状態であることを判断できる。

なお、本パラメータによる原子炉圧力容器内の水位の推定は、炉心損傷で原子炉圧力容器が損傷に至っていない状態であれば、プラント状態に依存することなく適用できるものであり、炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等を成功させ

相違理由

【大飯】設備構成の相違  
 ・泊は計測結果を指示計や記録計に指示するのではなく、ディスプレイに盤面表示するため。

【大飯】設備名称の相違

【大飯】記載表現の相違  
 ・大飯はツインプラントであるため、個数の表現が異なる。

【大飯】章立て及び設備名称の相違

【大飯】設備名称の相違

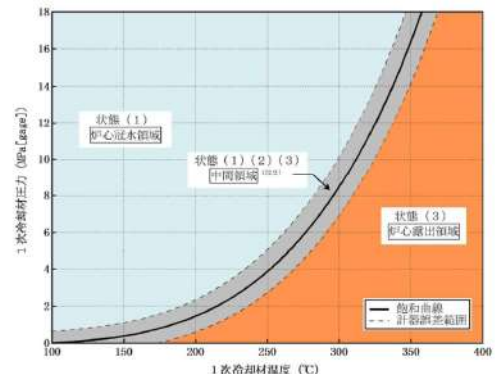
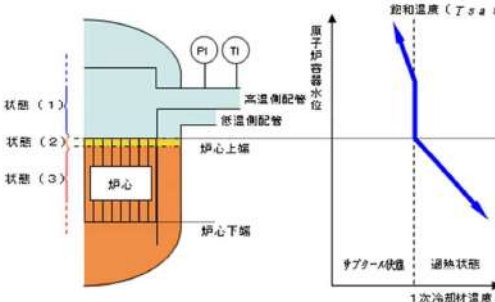
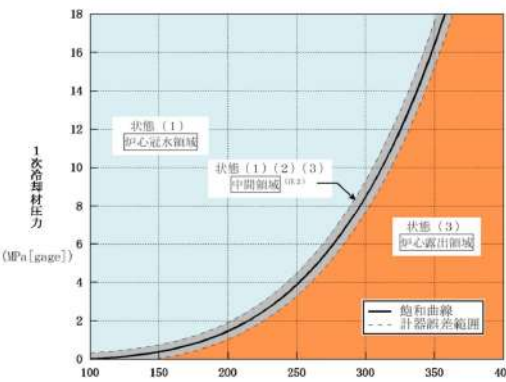
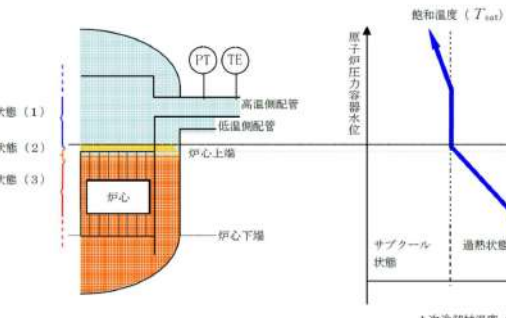
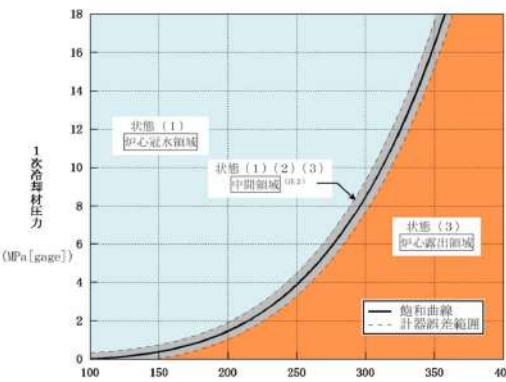
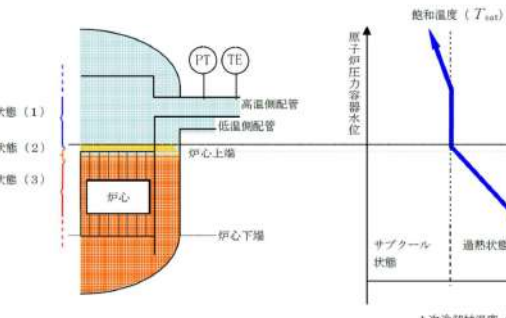
【大飯】設備名称の相違

枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																				
<p>要な状態を把握できる。</p> <p>○推定方法</p> <table border="1" data-bbox="91 225 651 357"> <thead> <tr> <th>監視計器</th> <th>使用用途</th> <th>得られる情報</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1次冷却材圧力</td> <td>飽和温度の推定</td> <td>飽和温度 (T<sub>sat</sub>)</td> <td>耐環境仕様</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">1次冷却材高温側温度(広域)</td> <td>冷却材・蒸気の温度 (T)</td> <td>温度 (T)</td> <td rowspan="2">耐環境仕様</td> </tr> <tr> <td>温度監視</td> <td>飽和温度と蒸気温度から得られる過熱度 (ΔT<sub>sat</sub>)</td> </tr> <tr> <td>サブクール度 (CRT)</td> <td>サブクール監視</td> <td>サブクール状態の監視</td> <td>通常仕様</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1) 原子炉容器内サブクール状態もしくは飽和状態                      推定方法：T ≤ T<sub>sat</sub>                      水位：炉心上端以上 図1、2状態(1)に相当</p> <p>(2) 原子炉容器内飽和温度を上回る状態                      推定方法：T &gt; T<sub>sat</sub> (温度Tが過熱状態を指示、ΔT<sub>sat</sub>=小)                      水位：炉心上端近傍 図1、2状態(2)に相当</p> <p>(3) 原子炉容器内飽和温度を大きく上回る状態 (過熱状態)                      推定方法：T &gt;&gt; T<sub>sat</sub> (ΔT<sub>sat</sub>=大)                      水位：炉心上端未満 図1、2状態(3)に相当</p> <p>○原子炉容器内の水位の推移</p> <p>【炉心上端以上の水位の場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>炉心の冠水状態の確認が可能。</li> </ul> <p>【炉心上端以下の水位の場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水位の上昇傾向：ΔT<sub>sat</sub> が大きい状態から小さい状態へ移行</li> <li>水位の低下傾向：ΔT<sub>sat</sub> が小さい状態から大きい状態へ移行</li> </ul> <p>(注1) 過熱度：ΔT<sub>sat</sub> = T - T<sub>sat</sub>                      (注2) 中間領域では炉心上端以上、炉心上端近傍もしくは炉心上端未満の水位である。温度の水位を監視することで、以下を推定することが可能である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>温度安定：炉心上端以上の水位がある ⇒ 状態(1)</li> <li>温度急上昇：炉心上端近傍もしくは炉心上端未満 ⇒ 状態(2)、(3)</li> </ul>	監視計器	使用用途	得られる情報	備考	1次冷却材圧力	飽和温度の推定	飽和温度 (T <sub>sat</sub> )	耐環境仕様	1次冷却材高温側温度(広域)	冷却材・蒸気の温度 (T)	温度 (T)	耐環境仕様	温度監視	飽和温度と蒸気温度から得られる過熱度 (ΔT <sub>sat</sub> )	サブクール度 (CRT)	サブクール監視	サブクール状態の監視	通常仕様		<p>るために必要な状態を把握できる。</p> <p>○推定方法</p> <table border="1" data-bbox="1263 225 1818 421"> <thead> <tr> <th>監視計器</th> <th>使用用途</th> <th>得られる情報</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1次冷却材圧力(広域)</td> <td>飽和温度の推定</td> <td>飽和温度 (T<sub>sat</sub>)</td> <td>耐環境仕様</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">1次冷却材温度(広域-高温側)</td> <td>冷却材・蒸気の温度監視</td> <td>温度 (T)</td> <td rowspan="2">耐環境仕様</td> </tr> <tr> <td></td> <td>飽和温度と蒸気温度から得られる過熱度 (ΔT<sub>sat</sub>)</td> </tr> <tr> <td>サブクール度</td> <td>サブクール監視</td> <td>サブクール状態の監視</td> <td>通常仕様</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1) 原子炉圧力容器内サブクール状態もしくは飽和状態                      推定方法：T ≤ T<sub>sat</sub>                      水位：炉心上端以上……第1、2図の状態(1)に相当</p> <p>(2) 原子炉圧力容器内飽和温度を上回る状態                      推定方法：T &gt; T<sub>sat</sub> (温度Tが過熱状態を指示、ΔT<sub>sat</sub><sup>(注1)</sup>=小)                      水位：炉心上端近傍……第1、2図の状態(2)に相当</p> <p>(3) 原子炉圧力容器内飽和温度を大きく上回る状態 (過熱状態)                      推定方法：T &gt;&gt; T<sub>sat</sub> (ΔT<sub>sat</sub>=大)                      水位：炉心上端未満……第1、2図の状態(3)に相当</p> <p>○原子炉圧力容器内の水位の推移</p> <p>【炉心上端以上の水位の場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>炉心の冠水状態の確認が可能</li> </ul> <p>【炉心上端以下の水位の場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水位の上昇傾向：ΔT<sub>sat</sub> が大きい状態から小さい状態へ移行</li> <li>水位の低下傾向：ΔT<sub>sat</sub> が小さい状態から大きい状態へ移行</li> </ul> <p>(注1) 過熱度：ΔT<sub>sat</sub> = T - T<sub>sat</sub>                      (注2) 中間領域では炉心上端以上、炉心上端近傍もしくは炉心上端部未満の水位である。温度の推移を監視することで、以下を推定することが可能である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>温度安定：炉心上端以上の水位がある ⇒ 状態(1)</li> <li>温度急上昇：炉心上端近傍もしくは炉心上端部未満 ⇒ 状態(2)、(3)</li> </ul>	監視計器	使用用途	得られる情報	備考	1次冷却材圧力(広域)	飽和温度の推定	飽和温度 (T <sub>sat</sub> )	耐環境仕様	1次冷却材温度(広域-高温側)	冷却材・蒸気の温度監視	温度 (T)	耐環境仕様		飽和温度と蒸気温度から得られる過熱度 (ΔT <sub>sat</sub> )	サブクール度	サブクール監視	サブクール状態の監視	通常仕様	<p>【大飯】設備名称の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違                      ・泊は、理解しやすさの観点で注釈の紐づけを行っている。</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違                      ・適正な表現とした。(「水位」→「推移」)</p>
監視計器	使用用途	得られる情報	備考																																				
1次冷却材圧力	飽和温度の推定	飽和温度 (T <sub>sat</sub> )	耐環境仕様																																				
1次冷却材高温側温度(広域)	冷却材・蒸気の温度 (T)	温度 (T)	耐環境仕様																																				
	温度監視	飽和温度と蒸気温度から得られる過熱度 (ΔT <sub>sat</sub> )																																					
サブクール度 (CRT)	サブクール監視	サブクール状態の監視	通常仕様																																				
監視計器	使用用途	得られる情報	備考																																				
1次冷却材圧力(広域)	飽和温度の推定	飽和温度 (T <sub>sat</sub> )	耐環境仕様																																				
1次冷却材温度(広域-高温側)	冷却材・蒸気の温度監視	温度 (T)	耐環境仕様																																				
		飽和温度と蒸気温度から得られる過熱度 (ΔT <sub>sat</sub> )																																					
サブクール度	サブクール監視	サブクール状態の監視	通常仕様																																				

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>図1 飽和蒸気-圧力曲線を基にした水位の推定</p>  <p>図2 原子炉容器の水位と水位変化の概念図</p> <p><b>【推定における不確かさの影響】</b>              各監視パラメータには不確かさがあり、本推定においても不確かさを考慮する必要がある。例えば、炉心が冠水していない場合において、「過熱状態」にも係らず「飽和温度」と推定した場合においても、温度の推移による状態の傾向監視により、温度が上昇する場合は炉心が露出状態であることを判断でき、温度が安定していれば炉心が冠水状態であることを判断できる。したがって、不確かさを考慮しても、原子炉容器内の水位を推定することが可能である。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	 <p>第1図 飽和蒸気-圧力曲線を基にした水位の推定</p>  <p>第2図 原子炉压力容器の水位と水位変化の概念図</p> <p><b>【推定における不確かさの影響】</b>              各監視パラメータには不確かさがあり、本推定においても不確かさを考慮する必要がある。例えば、炉心が冠水していない場合において、「過熱状態」にも係らず「飽和温度」と推定した場合においても、温度の推移による状態の傾向監視により、温度が上昇する場合は炉心が露出状態であることを判断でき、温度が安定していれば炉心が冠水状態であることを判断できる。したがって、不確かさを考慮しても、原子炉压力容器内の水位を推定することが可能である。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	 <p>第1図 飽和蒸気-圧力曲線を基にした水位の推定</p>  <p>第2図 原子炉压力容器の水位と水位変化の概念図</p> <p><b>【推定における不確かさの影響】</b>              各監視パラメータには不確かさがあり、本推定においても不確かさを考慮する必要がある。例えば、炉心が冠水していない場合において、「過熱状態」にも係らず「飽和温度」と推定した場合においても、温度の推移による状態の傾向監視により、温度が上昇する場合は炉心が露出状態であることを判断でき、温度が安定していれば炉心が冠水状態であることを判断できる。したがって、不確かさを考慮しても、原子炉压力容器内の水位を推定することが可能である。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	<p>相違理由</p>



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																						
<p>(大飯該当資料なし)</p>	<p style="text-align: center;">58-13</p> <p style="text-align: center;">重大事故等対処設備により計測する重要監視パラメータ</p> <p style="text-align: center;">表 58-13-1 重大事故等対処設備により計測する重要監視パラメータ (1/8)</p> <table border="1" data-bbox="672 279 1220 638"> <thead> <tr> <th rowspan="2">重要監視パラメータ</th> <th rowspan="2">重要計器 (計測範囲)</th> <th rowspan="2">検出器の種類</th> <th colspan="2">重要代替計器等 (代表) (※)</th> </tr> <tr> <th>重要計器に故障の疑いがある場合</th> <th>重要計器の計測範囲を超えた場合 (※2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>原子炉圧力容器温度 (0~500℃)</td> <td>熱電対</td> <td>・多重性を有する重要計器の他の検出器 ・原子炉圧力 (SA) (0~11MPa) (※2)</td> <td>・計測範囲の冷却失敗の判断 ・計測 (300℃) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 (SA) (0~11MPa)</td> <td>弾性圧力検出器 (※2)</td> <td>・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・原子炉圧力 (0~10MPa) ・原子炉圧力容器温度 (0~500℃) (※2)</td> <td>・重大事故等時において、原子炉圧力容器最高使用圧力 (H. 42MPa) の1.2倍 (12.24MPa) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (広帯域) (※2) (-2,800~1,500mm)</td> <td rowspan="2">差圧式水位検出器 (※2)</td> <td>・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・原子炉水位 (SA 広帯域) (-2,800~1,500mm) (※2) ・原子炉水位 (SA 燃料域) (-2,800~1,300mm) (※2) (※2)</td> <td rowspan="2">・重大事故等時において、原子炉水位 (広帯域) 及び原子炉水位 (燃料域) に関して、原子炉水位計測範囲から有効燃料棒底部まで監視可能。</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (燃料域) (-2,800~1,300mm) (※2)</td> <td>・高圧代替注水ポンプ出口流量 (0~120m<sup>3</sup>/h) (※2) ・原子炉圧力 (SA) (0~11MPa) 及び圧力抑制室圧力 (0~1MPa) (abs) (※2)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(※1) 複数ある重要代替計器等の代表を記載。          (※2) 計測範囲を超えない場合は、その理由を記載。          (※3) 原子炉圧力容器内の飽和状態と仮定し、原子炉圧力容器温度又は原子炉圧力を推定。          (※4) 隔壁ダイヤフラムにかゝる原子炉圧力 (隔壁槽からの水頭圧を含む) と大気圧の差を計測。          (※5) 基準点 (0mm) はドライヤシステムに直線付着 (原子炉圧力容器センターより 1,313mm 上)。          (※6) 基準点 (0mm) は有効燃料棒頂部付着 (原子炉圧力容器センターより 900mm 上)。          (※7) 隔壁ダイヤフラムにかゝる原子炉圧力 (隔壁槽からの水頭圧を含む) と原子炉圧力容器下部の節圧を計測。          (※8) 原子炉水位 (SA 広帯域) は他の広帯域の原子炉水位と、また、原子炉水位 (SA 燃料域) は他の燃料域の原子炉水位と同じ基準面にて計測器が異なる。          (※9) 原子炉圧力容器への注水量、融解熱除去による蒸気量及び炉前の水位から炉心の注水を推定。          (※10) LOCA の発生がなく、水位を主蒸気配管より上になるまで注水した場合には、原子炉圧力と圧力抑制室圧力の節圧から炉心の注水を推定。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(凡例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に記載がなければ、本表での圧力はゲージ圧を示す。</li> <li>・重要計器に故障の疑いがある場合の複数ある推定手段については、優先順位に応じて簡潔書きに記載する。</li> </ul> </div>	重要監視パラメータ	重要計器 (計測範囲)	検出器の種類	重要代替計器等 (代表) (※)		重要計器に故障の疑いがある場合	重要計器の計測範囲を超えた場合 (※2)	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度 (0~500℃)	熱電対	・多重性を有する重要計器の他の検出器 ・原子炉圧力 (SA) (0~11MPa) (※2)	・計測範囲の冷却失敗の判断 ・計測 (300℃) を監視可能。	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 (SA) (0~11MPa)	弾性圧力検出器 (※2)	・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・原子炉圧力 (0~10MPa) ・原子炉圧力容器温度 (0~500℃) (※2)	・重大事故等時において、原子炉圧力容器最高使用圧力 (H. 42MPa) の1.2倍 (12.24MPa) を監視可能。	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (広帯域) (※2) (-2,800~1,500mm)	差圧式水位検出器 (※2)	・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・原子炉水位 (SA 広帯域) (-2,800~1,500mm) (※2) ・原子炉水位 (SA 燃料域) (-2,800~1,300mm) (※2) (※2)	・重大事故等時において、原子炉水位 (広帯域) 及び原子炉水位 (燃料域) に関して、原子炉水位計測範囲から有効燃料棒底部まで監視可能。	原子炉水位 (燃料域) (-2,800~1,300mm) (※2)	・高圧代替注水ポンプ出口流量 (0~120m <sup>3</sup> /h) (※2) ・原子炉圧力 (SA) (0~11MPa) 及び圧力抑制室圧力 (0~1MPa) (abs) (※2)	<p style="text-align: center;">58-13</p> <p style="text-align: center;">重大事故等対処設備により計測する重要監視パラメータ</p> <p style="text-align: center;">第1表 重大事故等対処設備により計測する重要監視パラメータ (1/7)</p> <table border="1" data-bbox="1265 287 1803 598"> <thead> <tr> <th rowspan="2">重要監視パラメータ</th> <th rowspan="2">重要計器 (計測範囲)</th> <th rowspan="2">検出器の種類</th> <th colspan="2">重要代替計器等 (代表) (※)</th> </tr> <tr> <th>重要計器に故障の疑いがある場合</th> <th>重要計器の計測範囲を超えた場合 (※2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>1 広帯域材料温度 (広帯域) (0~500℃)</td> <td rowspan="2">熱電対</td> <td>・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・1 広帯域材料温度 (広帯域) (0~500℃)</td> <td>・1 及び冷却系最高使用温度 (0.43℃) 及び炉心の判断基準である 350℃ を超える温度を監視可能。</td> </tr> <tr> <td>1 燃料棒材料温度 (広帯域) (0~500℃)</td> <td>・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・1 燃料棒材料温度 (広帯域) (0~500℃)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>1 燃料棒材料圧力 (広帯域) (0~21.6MPa)</td> <td rowspan="2">弾性圧力検出器 (※2)</td> <td>・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・1 燃料棒材料温度 (広帯域) (0~500℃) (※2)</td> <td>・1 冷却系最高使用圧力 (17.10MPa) の1.2倍 (取動時の種類基準) である 20.52MPa を監視可能。</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位</td> <td>・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・原子炉水位 (0~100%)</td> <td>・重大事故等時において、原子炉水位計測範囲から燃料棒頂部までの水位を監視可能。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>加圧器水位 (0~100%)</td> <td rowspan="2">差圧式水位検出器 (※2)</td> <td>・加圧器水位 (0~100%)</td> <td>・重大事故等時において、加圧器の下流に位置する加圧器上流側と加圧器から下流側へ流量付与までの水位を監視可能。</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (0~100%)</td> <td>・加圧器水位 (0~100%)</td> <td>・重大事故等時において、加圧器の下流に位置し、加圧器の計測範囲をラップしないこと、原子炉水位計測範囲から原子炉水位計測範囲までの原子炉水位を監視可能。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(※1) 複数ある重要代替計器等の代表を記載。          (※2) 計測範囲を超えない場合は、その理由を記載。          (※3) 隔壁ダイヤフラムにかゝる1 冷却系材料圧力を計測。          (※4) 1 冷却系材料温度状態にあると仮定し、原子炉圧力容器内の圧力を推定。          (※5) 隔壁ダイヤフラムにかゝる加圧器圧力 (隔壁槽からの水頭圧を含む) と加圧器下部の節圧を計測。          (※6) 隔壁ダイヤフラムにかゝる原子炉圧力と原子炉圧力容器下部の節圧を計測。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(凡例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に記載がなければ、本表での圧力はゲージ圧を示す。</li> <li>・重要計器に故障の疑いがある場合の複数ある推定手段については、優先順位に応じて簡潔書きに記載する。</li> </ul> </div>	重要監視パラメータ	重要計器 (計測範囲)	検出器の種類	重要代替計器等 (代表) (※)		重要計器に故障の疑いがある場合	重要計器の計測範囲を超えた場合 (※2)	原子炉圧力容器内の温度	1 広帯域材料温度 (広帯域) (0~500℃)	熱電対	・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・1 広帯域材料温度 (広帯域) (0~500℃)	・1 及び冷却系最高使用温度 (0.43℃) 及び炉心の判断基準である 350℃ を超える温度を監視可能。	1 燃料棒材料温度 (広帯域) (0~500℃)	・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・1 燃料棒材料温度 (広帯域) (0~500℃)	原子炉圧力容器内の圧力	1 燃料棒材料圧力 (広帯域) (0~21.6MPa)	弾性圧力検出器 (※2)	・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・1 燃料棒材料温度 (広帯域) (0~500℃) (※2)	・1 冷却系最高使用圧力 (17.10MPa) の1.2倍 (取動時の種類基準) である 20.52MPa を監視可能。	原子炉水位	・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・原子炉水位 (0~100%)	・重大事故等時において、原子炉水位計測範囲から燃料棒頂部までの水位を監視可能。	原子炉圧力容器内の水位	加圧器水位 (0~100%)	差圧式水位検出器 (※2)	・加圧器水位 (0~100%)	・重大事故等時において、加圧器の下流に位置する加圧器上流側と加圧器から下流側へ流量付与までの水位を監視可能。	原子炉水位 (0~100%)	・加圧器水位 (0~100%)	・重大事故等時において、加圧器の下流に位置し、加圧器の計測範囲をラップしないこと、原子炉水位計測範囲から原子炉水位計測範囲までの原子炉水位を監視可能。	<p>【女川】炉型の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PWRとBWRで想定される重大事故等及び対処するための監視パラメータが異なるため、比較対象外としている。以降、同表において同じ。</li> </ul>
重要監視パラメータ	重要計器 (計測範囲)				検出器の種類	重要代替計器等 (代表) (※)																																																			
		重要計器に故障の疑いがある場合	重要計器の計測範囲を超えた場合 (※2)																																																						
原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度 (0~500℃)	熱電対	・多重性を有する重要計器の他の検出器 ・原子炉圧力 (SA) (0~11MPa) (※2)	・計測範囲の冷却失敗の判断 ・計測 (300℃) を監視可能。																																																					
原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 (SA) (0~11MPa)	弾性圧力検出器 (※2)	・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・原子炉圧力 (0~10MPa) ・原子炉圧力容器温度 (0~500℃) (※2)	・重大事故等時において、原子炉圧力容器最高使用圧力 (H. 42MPa) の1.2倍 (12.24MPa) を監視可能。																																																					
原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (広帯域) (※2) (-2,800~1,500mm)	差圧式水位検出器 (※2)	・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・原子炉水位 (SA 広帯域) (-2,800~1,500mm) (※2) ・原子炉水位 (SA 燃料域) (-2,800~1,300mm) (※2) (※2)	・重大事故等時において、原子炉水位 (広帯域) 及び原子炉水位 (燃料域) に関して、原子炉水位計測範囲から有効燃料棒底部まで監視可能。																																																					
	原子炉水位 (燃料域) (-2,800~1,300mm) (※2)		・高圧代替注水ポンプ出口流量 (0~120m <sup>3</sup> /h) (※2) ・原子炉圧力 (SA) (0~11MPa) 及び圧力抑制室圧力 (0~1MPa) (abs) (※2)																																																						
重要監視パラメータ	重要計器 (計測範囲)	検出器の種類	重要代替計器等 (代表) (※)																																																						
			重要計器に故障の疑いがある場合	重要計器の計測範囲を超えた場合 (※2)																																																					
原子炉圧力容器内の温度	1 広帯域材料温度 (広帯域) (0~500℃)	熱電対	・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・1 広帯域材料温度 (広帯域) (0~500℃)	・1 及び冷却系最高使用温度 (0.43℃) 及び炉心の判断基準である 350℃ を超える温度を監視可能。																																																					
	1 燃料棒材料温度 (広帯域) (0~500℃)		・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・1 燃料棒材料温度 (広帯域) (0~500℃)																																																						
原子炉圧力容器内の圧力	1 燃料棒材料圧力 (広帯域) (0~21.6MPa)	弾性圧力検出器 (※2)	・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・1 燃料棒材料温度 (広帯域) (0~500℃) (※2)	・1 冷却系最高使用圧力 (17.10MPa) の1.2倍 (取動時の種類基準) である 20.52MPa を監視可能。																																																					
	原子炉水位		・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・原子炉水位 (0~100%)	・重大事故等時において、原子炉水位計測範囲から燃料棒頂部までの水位を監視可能。																																																					
原子炉圧力容器内の水位	加圧器水位 (0~100%)	差圧式水位検出器 (※2)	・加圧器水位 (0~100%)	・重大事故等時において、加圧器の下流に位置する加圧器上流側と加圧器から下流側へ流量付与までの水位を監視可能。																																																					
	原子炉水位 (0~100%)		・加圧器水位 (0~100%)	・重大事故等時において、加圧器の下流に位置し、加圧器の計測範囲をラップしないこと、原子炉水位計測範囲から原子炉水位計測範囲までの原子炉水位を監視可能。																																																					

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																															
	<p>表58-13-1 重大事故等対応設備により計測する重要監視パラメータ (2/8)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">重要監視パラメータ</th> <th rowspan="2">重要計器 (計測範囲)</th> <th rowspan="2">検出器 の種類</th> <th colspan="2">重要代替計器等 (代名) (※)</th> </tr> <tr> <th>重要計器に記録の無いとき の相違</th> <th>重要計器の計測範囲を超えた 場合 (※)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉圧力容器 への注水量</td> <td>高圧炉心スプレィ系 ポンプ出口流量 (0~1,000m<sup>3</sup>/h)</td> <td>差圧式 流量検 出器 (※<sup>1)</sup>)</td> <td>・復水貯蔵タンク水位 (0 ~3,200m<sup>3</sup>) (※<sup>2)</sup>)</td> <td>重大事故等時の高圧炉心 スプレィ系ポンプの最大 注水量 (318m<sup>3</sup>/h、1,050m<sup>3</sup>/ h) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高圧代替注水系ポン プ出口流量 (0~120m<sup>3</sup>/h)</td> <td>差圧式 流量検 出器 (※<sup>1)</sup>)</td> <td>・復水貯蔵タンク水位 (0 ~3,200m<sup>3</sup>) (※<sup>2)</sup>)</td> <td>重大事故等時の高圧代替 注水系ポンプの最大注水 量 (99.8m<sup>3</sup>/h) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉隔離時冷却系 ポンプ出口流量 (0~150m<sup>3</sup>/h)</td> <td>差圧式 流量検 出器 (※<sup>1)</sup>)</td> <td>・復水貯蔵タンク水位 (0 ~3,200m<sup>3</sup>) (※<sup>2)</sup>)</td> <td>重大事故等時の原子炉隔 離時冷却系ポンプの最大 注水量 (100.8m<sup>3</sup>/h) を監視 可能。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>炉心スプレィ系 ポンプ出口流量 (0~1,000m<sup>3</sup>/h)</td> <td>差圧式 流量検 出器 (※<sup>1)</sup>)</td> <td>・圧力制御室水位 (0~5m) (※<sup>3)</sup>)</td> <td>重大事故等時の炉心スプレ ィ系ポンプの最大 注水量 (1,050m<sup>3</sup>/h) を監視 可能。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>代替凝縮冷却ポンプ 出口流量 (0~200m<sup>3</sup>/h)</td> <td>差圧式 流量検 出器 (※<sup>1)</sup>)</td> <td>・圧力制御室水位 (0~5m) (※<sup>3)</sup>)</td> <td>重大事故等時の代替凝縮 冷却ポンプを用いた原子 炉圧力容器注水時におけ る最大注水量 (150m<sup>3</sup>/h) を 監視可能。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>残留熱除去系洗淨ク ライン流量 (残留熱除 去系ヘッドスプレィ ライン洗淨流量) (0~220m<sup>3</sup>/h)</td> <td>差圧式 流量検 出器 (※<sup>1)</sup>)</td> <td>・復水貯蔵タンク水位 (0 ~3,200m<sup>3</sup>) (※<sup>2)</sup>)</td> <td>重大事故等時の復水移送 ポンプ又は大容量送水ポ ンプ (タイプ1) を用いた 低圧代替注水系 (残留熱除 去系A系ライン) におけ る最大注水量 (199m<sup>3</sup>/h) を 監視可能。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>残留熱除去系洗淨ク ライン流量 (残留熱除 去系B系洗淨流量) (0~220m<sup>3</sup>/h)</td> <td>差圧式 流量検 出器 (※<sup>1)</sup>)</td> <td>・復水貯蔵タンク水位 (0 ~3,200m<sup>3</sup>) (※<sup>2)</sup>)</td> <td>重大事故等時の大容量送 水ポンプ (タイプ1) を用 いた低圧代替注水系 (残留 熱除去系B系ライン) にお ける最大注水量 (199m<sup>3</sup>/h) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>直流原動機注水系 ポンプ出口流量 (0~100m<sup>3</sup>/h)</td> <td>差圧式 流量検 出器 (※<sup>1)</sup>)</td> <td>・復水貯蔵タンク水位 (0 ~3,200m<sup>3</sup>) (※<sup>2)</sup>)</td> <td>重大事故等時の直流原動 機注水系ポンプを用い た原子炉圧力容器注水時 における最大注水量 (80 m<sup>3</sup>/h) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>残留熱除去系ポンプ 出口流量 (0~1,300m<sup>3</sup>/h)</td> <td>差圧式 流量検 出器 (※<sup>1)</sup>)</td> <td>・圧力制御室水位 (0~5m) (※<sup>3)</sup>)</td> <td>重大事故等時の残留熱除 去系ポンプの最大注水量 (1,130m<sup>3</sup>/h) を監視可能。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(※<sup>1)</sup> 漏洩ダイヤグラムにかかる送り機構前後の差圧を計測。          (※<sup>2)</sup> 復水貯蔵タンク水位の変化量及び注水時間から注水量を推定。          (※<sup>3)</sup> 圧力制御室水位の変化量及び注水時間から注水量を推定。</p>	重要監視パラメータ	重要計器 (計測範囲)	検出器 の種類	重要代替計器等 (代名) (※)		重要計器に記録の無いとき の相違	重要計器の計測範囲を超えた 場合 (※)	原子炉圧力容器 への注水量	高圧炉心スプレィ系 ポンプ出口流量 (0~1,000m <sup>3</sup> /h)	差圧式 流量検 出器 (※ <sup>1)</sup> )	・復水貯蔵タンク水位 (0 ~3,200m <sup>3</sup> ) (※ <sup>2)</sup> )	重大事故等時の高圧炉心 スプレィ系ポンプの最大 注水量 (318m <sup>3</sup> /h、1,050m <sup>3</sup> / h) を監視可能。		高圧代替注水系ポン プ出口流量 (0~120m <sup>3</sup> /h)	差圧式 流量検 出器 (※ <sup>1)</sup> )	・復水貯蔵タンク水位 (0 ~3,200m <sup>3</sup> ) (※ <sup>2)</sup> )	重大事故等時の高圧代替 注水系ポンプの最大注水 量 (99.8m <sup>3</sup> /h) を監視可能。		原子炉隔離時冷却系 ポンプ出口流量 (0~150m <sup>3</sup> /h)	差圧式 流量検 出器 (※ <sup>1)</sup> )	・復水貯蔵タンク水位 (0 ~3,200m <sup>3</sup> ) (※ <sup>2)</sup> )	重大事故等時の原子炉隔 離時冷却系ポンプの最大 注水量 (100.8m <sup>3</sup> /h) を監視 可能。		炉心スプレィ系 ポンプ出口流量 (0~1,000m <sup>3</sup> /h)	差圧式 流量検 出器 (※ <sup>1)</sup> )	・圧力制御室水位 (0~5m) (※ <sup>3)</sup> )	重大事故等時の炉心スプレ ィ系ポンプの最大 注水量 (1,050m <sup>3</sup> /h) を監視 可能。		代替凝縮冷却ポンプ 出口流量 (0~200m <sup>3</sup> /h)	差圧式 流量検 出器 (※ <sup>1)</sup> )	・圧力制御室水位 (0~5m) (※ <sup>3)</sup> )	重大事故等時の代替凝縮 冷却ポンプを用いた原子 炉圧力容器注水時におけ る最大注水量 (150m <sup>3</sup> /h) を 監視可能。		残留熱除去系洗淨ク ライン流量 (残留熱除 去系ヘッドスプレィ ライン洗淨流量) (0~220m <sup>3</sup> /h)	差圧式 流量検 出器 (※ <sup>1)</sup> )	・復水貯蔵タンク水位 (0 ~3,200m <sup>3</sup> ) (※ <sup>2)</sup> )	重大事故等時の復水移送 ポンプ又は大容量送水ポ ンプ (タイプ1) を用いた 低圧代替注水系 (残留熱除 去系A系ライン) におけ る最大注水量 (199m <sup>3</sup> /h) を 監視可能。		残留熱除去系洗淨ク ライン流量 (残留熱除 去系B系洗淨流量) (0~220m <sup>3</sup> /h)	差圧式 流量検 出器 (※ <sup>1)</sup> )	・復水貯蔵タンク水位 (0 ~3,200m <sup>3</sup> ) (※ <sup>2)</sup> )	重大事故等時の大容量送 水ポンプ (タイプ1) を用 いた低圧代替注水系 (残留 熱除去系B系ライン) にお ける最大注水量 (199m <sup>3</sup> /h) を監視可能。		直流原動機注水系 ポンプ出口流量 (0~100m <sup>3</sup> /h)	差圧式 流量検 出器 (※ <sup>1)</sup> )	・復水貯蔵タンク水位 (0 ~3,200m <sup>3</sup> ) (※ <sup>2)</sup> )	重大事故等時の直流原動 機注水系ポンプを用い た原子炉圧力容器注水時 における最大注水量 (80 m <sup>3</sup> /h) を監視可能。		残留熱除去系ポンプ 出口流量 (0~1,300m <sup>3</sup> /h)	差圧式 流量検 出器 (※ <sup>1)</sup> )	・圧力制御室水位 (0~5m) (※ <sup>3)</sup> )	重大事故等時の残留熱除 去系ポンプの最大注水量 (1,130m <sup>3</sup> /h) を監視可能。	<p>第1表 重大事故等対応設備により計測する重要監視パラメータ (2/7)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">重要監視 パラメータ</th> <th rowspan="2">重要計器 (計測範囲)</th> <th rowspan="2">検出器 の種類</th> <th colspan="2">重要代替計器等 (代名) (※)</th> </tr> <tr> <th>重要計器に記録の無い場合 の相違</th> <th>重要計器の計測範囲を超えた場合 (※)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉圧力容器 への注水量</td> <td>高圧炉心スプレィ系 ポンプ出口流量 (0~350m<sup>3</sup>/h)</td> <td>差圧式 流量検 出器 (※<sup>1)</sup>)</td> <td>・燃料取替用本ピット水位 (0~ 100%) (※<sup>2)</sup>)</td> <td>重大事故等時に、高圧炉心スプレィ ポンプの流量 (290m<sup>3</sup>/h) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高圧代替注水系 ポンプ出口流量 (0~1,100m<sup>3</sup>/h)</td> <td>差圧式 流量検 出器 (※<sup>1)</sup>)</td> <td>・燃料取替用本ピット水位 (0~ 100%) (※<sup>2)</sup>)</td> <td>重大事故等時に、高圧代替注水系の 流量 (1,080m<sup>3</sup>/h) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉隔離時冷却系 ポンプ出口流量 (0 ~1,300m<sup>3</sup>/h) (隔離：0~10,000m<sup>3</sup>/h)</td> <td>差圧式 流量検 出器 (※<sup>1)</sup>)</td> <td>・燃料取替用本ピット水位 (0~ 100%) (※<sup>2)</sup>)</td> <td>重大事故等時に、隔離時冷却系 ポンプの流量 (1,100m<sup>3</sup>/h) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>代替凝縮冷却系スプレィ ポンプ出口流量 (0~200m<sup>3</sup>/h) (隔離：0~10,000m<sup>3</sup>/h)</td> <td>差圧式 流量検 出器 (※<sup>1)</sup>)</td> <td>・燃料取替用本ピット水位 (0~ 100%) (※<sup>2)</sup>) 及び補助給水ピット水位 (0~ 100%) (※<sup>2)</sup>)</td> <td>重大事故等時に、代替凝縮冷却系 ポンプの流量 (140m<sup>3</sup>/h) を監視可能。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(※<sup>1)</sup> 漏洩ダイヤグラムにかかる送り機構前後の差圧を計測。          (※<sup>2)</sup> 燃料取替用本ピット水位の変化量及び注水時間により注水量を推定。          (※<sup>3)</sup> 燃料取替用本ピット水位及び補助給水ピット水位の変化量及び注水時間により注水量を推定。</p> <p>□ 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	重要監視 パラメータ	重要計器 (計測範囲)	検出器 の種類	重要代替計器等 (代名) (※)		重要計器に記録の無い場合 の相違	重要計器の計測範囲を超えた場合 (※)	原子炉圧力容器 への注水量	高圧炉心スプレィ系 ポンプ出口流量 (0~350m <sup>3</sup> /h)	差圧式 流量検 出器 (※ <sup>1)</sup> )	・燃料取替用本ピット水位 (0~ 100%) (※ <sup>2)</sup> )	重大事故等時に、高圧炉心スプレィ ポンプの流量 (290m <sup>3</sup> /h) を監視可能。		高圧代替注水系 ポンプ出口流量 (0~1,100m <sup>3</sup> /h)	差圧式 流量検 出器 (※ <sup>1)</sup> )	・燃料取替用本ピット水位 (0~ 100%) (※ <sup>2)</sup> )	重大事故等時に、高圧代替注水系の 流量 (1,080m <sup>3</sup> /h) を監視可能。		原子炉隔離時冷却系 ポンプ出口流量 (0 ~1,300m <sup>3</sup> /h) (隔離：0~10,000m <sup>3</sup> /h)	差圧式 流量検 出器 (※ <sup>1)</sup> )	・燃料取替用本ピット水位 (0~ 100%) (※ <sup>2)</sup> )	重大事故等時に、隔離時冷却系 ポンプの流量 (1,100m <sup>3</sup> /h) を監視可能。		代替凝縮冷却系スプレィ ポンプ出口流量 (0~200m <sup>3</sup> /h) (隔離：0~10,000m <sup>3</sup> /h)	差圧式 流量検 出器 (※ <sup>1)</sup> )	・燃料取替用本ピット水位 (0~ 100%) (※ <sup>2)</sup> ) 及び補助給水ピット水位 (0~ 100%) (※ <sup>2)</sup> )	重大事故等時に、代替凝縮冷却系 ポンプの流量 (140m <sup>3</sup> /h) を監視可能。	
重要監視パラメータ	重要計器 (計測範囲)				検出器 の種類	重要代替計器等 (代名) (※)																																																																												
		重要計器に記録の無いとき の相違	重要計器の計測範囲を超えた 場合 (※)																																																																															
原子炉圧力容器 への注水量	高圧炉心スプレィ系 ポンプ出口流量 (0~1,000m <sup>3</sup> /h)	差圧式 流量検 出器 (※ <sup>1)</sup> )	・復水貯蔵タンク水位 (0 ~3,200m <sup>3</sup> ) (※ <sup>2)</sup> )	重大事故等時の高圧炉心 スプレィ系ポンプの最大 注水量 (318m <sup>3</sup> /h、1,050m <sup>3</sup> / h) を監視可能。																																																																														
	高圧代替注水系ポン プ出口流量 (0~120m <sup>3</sup> /h)	差圧式 流量検 出器 (※ <sup>1)</sup> )	・復水貯蔵タンク水位 (0 ~3,200m <sup>3</sup> ) (※ <sup>2)</sup> )	重大事故等時の高圧代替 注水系ポンプの最大注水 量 (99.8m <sup>3</sup> /h) を監視可能。																																																																														
	原子炉隔離時冷却系 ポンプ出口流量 (0~150m <sup>3</sup> /h)	差圧式 流量検 出器 (※ <sup>1)</sup> )	・復水貯蔵タンク水位 (0 ~3,200m <sup>3</sup> ) (※ <sup>2)</sup> )	重大事故等時の原子炉隔 離時冷却系ポンプの最大 注水量 (100.8m <sup>3</sup> /h) を監視 可能。																																																																														
	炉心スプレィ系 ポンプ出口流量 (0~1,000m <sup>3</sup> /h)	差圧式 流量検 出器 (※ <sup>1)</sup> )	・圧力制御室水位 (0~5m) (※ <sup>3)</sup> )	重大事故等時の炉心スプレ ィ系ポンプの最大 注水量 (1,050m <sup>3</sup> /h) を監視 可能。																																																																														
	代替凝縮冷却ポンプ 出口流量 (0~200m <sup>3</sup> /h)	差圧式 流量検 出器 (※ <sup>1)</sup> )	・圧力制御室水位 (0~5m) (※ <sup>3)</sup> )	重大事故等時の代替凝縮 冷却ポンプを用いた原子 炉圧力容器注水時におけ る最大注水量 (150m <sup>3</sup> /h) を 監視可能。																																																																														
	残留熱除去系洗淨ク ライン流量 (残留熱除 去系ヘッドスプレィ ライン洗淨流量) (0~220m <sup>3</sup> /h)	差圧式 流量検 出器 (※ <sup>1)</sup> )	・復水貯蔵タンク水位 (0 ~3,200m <sup>3</sup> ) (※ <sup>2)</sup> )	重大事故等時の復水移送 ポンプ又は大容量送水ポ ンプ (タイプ1) を用いた 低圧代替注水系 (残留熱除 去系A系ライン) におけ る最大注水量 (199m <sup>3</sup> /h) を 監視可能。																																																																														
	残留熱除去系洗淨ク ライン流量 (残留熱除 去系B系洗淨流量) (0~220m <sup>3</sup> /h)	差圧式 流量検 出器 (※ <sup>1)</sup> )	・復水貯蔵タンク水位 (0 ~3,200m <sup>3</sup> ) (※ <sup>2)</sup> )	重大事故等時の大容量送 水ポンプ (タイプ1) を用 いた低圧代替注水系 (残留 熱除去系B系ライン) にお ける最大注水量 (199m <sup>3</sup> /h) を監視可能。																																																																														
	直流原動機注水系 ポンプ出口流量 (0~100m <sup>3</sup> /h)	差圧式 流量検 出器 (※ <sup>1)</sup> )	・復水貯蔵タンク水位 (0 ~3,200m <sup>3</sup> ) (※ <sup>2)</sup> )	重大事故等時の直流原動 機注水系ポンプを用い た原子炉圧力容器注水時 における最大注水量 (80 m <sup>3</sup> /h) を監視可能。																																																																														
	残留熱除去系ポンプ 出口流量 (0~1,300m <sup>3</sup> /h)	差圧式 流量検 出器 (※ <sup>1)</sup> )	・圧力制御室水位 (0~5m) (※ <sup>3)</sup> )	重大事故等時の残留熱除 去系ポンプの最大注水量 (1,130m <sup>3</sup> /h) を監視可能。																																																																														
重要監視 パラメータ	重要計器 (計測範囲)	検出器 の種類	重要代替計器等 (代名) (※)																																																																															
			重要計器に記録の無い場合 の相違	重要計器の計測範囲を超えた場合 (※)																																																																														
原子炉圧力容器 への注水量	高圧炉心スプレィ系 ポンプ出口流量 (0~350m <sup>3</sup> /h)	差圧式 流量検 出器 (※ <sup>1)</sup> )	・燃料取替用本ピット水位 (0~ 100%) (※ <sup>2)</sup> )	重大事故等時に、高圧炉心スプレィ ポンプの流量 (290m <sup>3</sup> /h) を監視可能。																																																																														
	高圧代替注水系 ポンプ出口流量 (0~1,100m <sup>3</sup> /h)	差圧式 流量検 出器 (※ <sup>1)</sup> )	・燃料取替用本ピット水位 (0~ 100%) (※ <sup>2)</sup> )	重大事故等時に、高圧代替注水系の 流量 (1,080m <sup>3</sup> /h) を監視可能。																																																																														
	原子炉隔離時冷却系 ポンプ出口流量 (0 ~1,300m <sup>3</sup> /h) (隔離：0~10,000m <sup>3</sup> /h)	差圧式 流量検 出器 (※ <sup>1)</sup> )	・燃料取替用本ピット水位 (0~ 100%) (※ <sup>2)</sup> )	重大事故等時に、隔離時冷却系 ポンプの流量 (1,100m <sup>3</sup> /h) を監視可能。																																																																														
	代替凝縮冷却系スプレィ ポンプ出口流量 (0~200m <sup>3</sup> /h) (隔離：0~10,000m <sup>3</sup> /h)	差圧式 流量検 出器 (※ <sup>1)</sup> )	・燃料取替用本ピット水位 (0~ 100%) (※ <sup>2)</sup> ) 及び補助給水ピット水位 (0~ 100%) (※ <sup>2)</sup> )	重大事故等時に、代替凝縮冷却系 ポンプの流量 (140m <sup>3</sup> /h) を監視可能。																																																																														

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																	
	<p>表58-13-1 重大事故等対処設備により計測する重要監視パラメータ (3/8)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">重要監視パラメータ</th> <th rowspan="2">重要計器 (計測範囲)</th> <th rowspan="2">検出器の種類</th> <th colspan="2">重要計器等 (代表) (※)</th> </tr> <tr> <th>重要計器に故障の疑いがある場合</th> <th>重要計器の計測範囲を超えた場合 (※)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉格納容器への注水量</td> <td>残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系→ドラスレイライン洗浄流量) (0~220m<sup>3</sup>/h)</td> <td>差圧式流量検出器 (※)</td> <td>・復水貯蔵タンク水位 (0~3,200m<sup>3</sup>) (※)</td> <td>重大事故等時の復水移送ポンプを用いた原子炉格納容器代替スプレイ冷却系 (残留熱除去系→ドラスライン) における最大注水量 (89m<sup>3</sup>/h) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量) (0~220m<sup>3</sup>/h)</td> <td>差圧式流量検出器 (※)</td> <td>・復水貯蔵タンク水位 (0~3,200m<sup>3</sup>) (※)</td> <td>重大事故等時の復水移送ポンプを用いた原子炉格納容器代替スプレイ冷却系 (残留熱除去系B系→ドラスライン) における最大注水量 (89m<sup>3</sup>/h) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉格納容器代替スプレイ流量 (0~100m<sup>3</sup>/h)</td> <td>差圧式流量検出器 (※)</td> <td>・原子炉格納容器下部水位 (0.5m, 1.0m, 1.5m, 2.0m, 2.5m, 2.8m) 及びドライウエル水位 (0.02m, 0.23m, 0.34m) (※)</td> <td>重大事故等時の大容量送水ポンプ (クイック1) を用いた原子炉格納容器代替スプレイ冷却系による最大注水量 (88m<sup>3</sup>/h) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>代替格納冷却ポンプ出口流量 (0~200m<sup>3</sup>/h)</td> <td>差圧式流量検出器 (※)</td> <td>・原子炉格納容器下部水位 (0.5m, 1.0m, 1.5m, 2.0m, 2.5m, 2.8m) 及びドライウエル水位 (0.02m, 0.23m, 0.34m) (※)</td> <td>重大事故等時の代替格納冷却ポンプを用いた原子炉格納容器代替スプレイ時における最大注水量 (1150m<sup>3</sup>/h) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉格納容器下部注水量 (0~110m<sup>3</sup>/h)</td> <td>差圧式流量検出器 (※)</td> <td>・復水貯蔵タンク水位 (0~3,200m<sup>3</sup>) (※)</td> <td>重大事故等時の復水移送ポンプ又は大容量送水ポンプ (クイック1) を用いた原子炉格納容器下部注水量による最大注水量 (89m<sup>3</sup>/h) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原子炉格納容器内の温度</td> <td>ドライウエル温度 (0~300℃)</td> <td>熱電対</td> <td>・多重性を有する重要計器の他の検出器 ・ドライウエル圧力 (0~1MPa(abs)) (※)</td> <td>重大事故等時において、原子炉格納容器の限界温度 (200℃) を監視可能。さらに可搬型計測器にて350℃まで計測可能。</td> </tr> <tr> <td>圧力抑制室内空気温度 (0~300℃)</td> <td>熱電対</td> <td>・多重性を有する重要計器の他の検出器 ・サブレンションプール水温度 (0~200℃) (※)</td> <td>重大事故等時において、原子炉格納容器限界温度 (200℃) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td>サブレンションプール水温度 (0~200℃)</td> <td>温度抵抗体</td> <td>・多重性を有する重要計器の他の検出器 ・圧力抑制室内空気温度 (0~300℃) (※)</td> <td>重大事故等時において、原子炉格納容器下部に環状中心が落下した場合における原子炉格納容器の構造格納可能。</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器下部温度 (0~700℃)</td> <td>熱電対</td> <td>・多重性を有する重要計器の他のチャンネル</td> <td>原子炉格納容器下部に環状中心が落下した場合における原子炉格納容器の構造格納可能。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(※) 原子炉格納容器下部水位及びドライウエル水位の測定値と注水時間から注水量を推定。          (※) 原子炉格納容器内の飽和状態と推定し、原子炉格納容器内の温度又は圧力を推定。          (※) 空気温度と水温が平衡状態と推定し、空気温度又は水温を推定。</p>	重要監視パラメータ	重要計器 (計測範囲)	検出器の種類	重要計器等 (代表) (※)		重要計器に故障の疑いがある場合	重要計器の計測範囲を超えた場合 (※)	原子炉格納容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系→ドラスレイライン洗浄流量) (0~220m <sup>3</sup> /h)	差圧式流量検出器 (※)	・復水貯蔵タンク水位 (0~3,200m <sup>3</sup> ) (※)	重大事故等時の復水移送ポンプを用いた原子炉格納容器代替スプレイ冷却系 (残留熱除去系→ドラスライン) における最大注水量 (89m <sup>3</sup> /h) を監視可能。		残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量) (0~220m <sup>3</sup> /h)	差圧式流量検出器 (※)	・復水貯蔵タンク水位 (0~3,200m <sup>3</sup> ) (※)	重大事故等時の復水移送ポンプを用いた原子炉格納容器代替スプレイ冷却系 (残留熱除去系B系→ドラスライン) における最大注水量 (89m <sup>3</sup> /h) を監視可能。		原子炉格納容器代替スプレイ流量 (0~100m <sup>3</sup> /h)	差圧式流量検出器 (※)	・原子炉格納容器下部水位 (0.5m, 1.0m, 1.5m, 2.0m, 2.5m, 2.8m) 及びドライウエル水位 (0.02m, 0.23m, 0.34m) (※)	重大事故等時の大容量送水ポンプ (クイック1) を用いた原子炉格納容器代替スプレイ冷却系による最大注水量 (88m <sup>3</sup> /h) を監視可能。		代替格納冷却ポンプ出口流量 (0~200m <sup>3</sup> /h)	差圧式流量検出器 (※)	・原子炉格納容器下部水位 (0.5m, 1.0m, 1.5m, 2.0m, 2.5m, 2.8m) 及びドライウエル水位 (0.02m, 0.23m, 0.34m) (※)	重大事故等時の代替格納冷却ポンプを用いた原子炉格納容器代替スプレイ時における最大注水量 (1150m <sup>3</sup> /h) を監視可能。		原子炉格納容器下部注水量 (0~110m <sup>3</sup> /h)	差圧式流量検出器 (※)	・復水貯蔵タンク水位 (0~3,200m <sup>3</sup> ) (※)	重大事故等時の復水移送ポンプ又は大容量送水ポンプ (クイック1) を用いた原子炉格納容器下部注水量による最大注水量 (89m <sup>3</sup> /h) を監視可能。	原子炉格納容器内の温度	ドライウエル温度 (0~300℃)	熱電対	・多重性を有する重要計器の他の検出器 ・ドライウエル圧力 (0~1MPa(abs)) (※)	重大事故等時において、原子炉格納容器の限界温度 (200℃) を監視可能。さらに可搬型計測器にて350℃まで計測可能。	圧力抑制室内空気温度 (0~300℃)	熱電対	・多重性を有する重要計器の他の検出器 ・サブレンションプール水温度 (0~200℃) (※)	重大事故等時において、原子炉格納容器限界温度 (200℃) を監視可能。	サブレンションプール水温度 (0~200℃)	温度抵抗体	・多重性を有する重要計器の他の検出器 ・圧力抑制室内空気温度 (0~300℃) (※)	重大事故等時において、原子炉格納容器下部に環状中心が落下した場合における原子炉格納容器の構造格納可能。	原子炉格納容器下部温度 (0~700℃)	熱電対	・多重性を有する重要計器の他のチャンネル	原子炉格納容器下部に環状中心が落下した場合における原子炉格納容器の構造格納可能。	<p>第1表 重大事故等対処設備により計測する重要監視パラメータ (3/7)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">重要監視パラメータ</th> <th rowspan="2">重要計器 (計測範囲)</th> <th rowspan="2">検出器の種類</th> <th colspan="2">重要計器等 (代表) (※)</th> </tr> <tr> <th>重要計器に故障の疑いがある場合</th> <th>重要計器の計測範囲を超えた場合 (※)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉格納容器への注水量</td> <td>B系格納容器スプレイ冷却ポンプ出口流量 (0~1,300m<sup>3</sup>/h) (0~1,300m<sup>3</sup>/h) (0~1,300m<sup>3</sup>/h) (0~1,300m<sup>3</sup>/h) (0~1,300m<sup>3</sup>/h)</td> <td>差圧式流量検出器 (※)</td> <td>・燃料取替用ボット水位 (0~100%) (※)</td> <td>重大事故等時において、格納容器スプレイポンプの流量 (1,300m<sup>3</sup>/h) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>代替格納冷却ポンプスプレイ冷却ポンプ出口流量 (0~200m<sup>3</sup>/h) (0~200m<sup>3</sup>/h)</td> <td>差圧式流量検出器 (※)</td> <td>・燃料取替用ボット水位 (0~100%) (※)</td> <td>重大事故等時において、代替格納冷却ポンプの流量 (200m<sup>3</sup>/h) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高圧注入流量 (0~350m<sup>3</sup>/h)</td> <td>差圧式流量検出器 (※)</td> <td>・燃料取替用ボット水位 (0~100%) (※)</td> <td>重大事故等時において、高圧注入ポンプの流量 (350m<sup>3</sup>/h) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低圧注入流量 (0~1,100m<sup>3</sup>/h)</td> <td>差圧式流量検出器 (※)</td> <td>・燃料取替用ボット水位 (0~100%) (※)</td> <td>重大事故等時において、低圧注入ポンプの流量 (1,100m<sup>3</sup>/h) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>格納容器内温度 (0~250℃)</td> <td>温度抵抗体</td> <td>・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・原子炉格納容器圧力 (0~0.33MPa) (※)</td> <td>重大事故等時において、原子炉格納容器の限界温度 (250℃) を監視可能。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(※) 原子炉格納容器内の飽和状態と推定し、原子炉格納容器内の温度又は圧力を推定。          ( ) 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	重要監視パラメータ	重要計器 (計測範囲)	検出器の種類	重要計器等 (代表) (※)		重要計器に故障の疑いがある場合	重要計器の計測範囲を超えた場合 (※)	原子炉格納容器への注水量	B系格納容器スプレイ冷却ポンプ出口流量 (0~1,300m <sup>3</sup> /h) (0~1,300m <sup>3</sup> /h) (0~1,300m <sup>3</sup> /h) (0~1,300m <sup>3</sup> /h) (0~1,300m <sup>3</sup> /h)	差圧式流量検出器 (※)	・燃料取替用ボット水位 (0~100%) (※)	重大事故等時において、格納容器スプレイポンプの流量 (1,300m <sup>3</sup> /h) を監視可能。		代替格納冷却ポンプスプレイ冷却ポンプ出口流量 (0~200m <sup>3</sup> /h) (0~200m <sup>3</sup> /h)	差圧式流量検出器 (※)	・燃料取替用ボット水位 (0~100%) (※)	重大事故等時において、代替格納冷却ポンプの流量 (200m <sup>3</sup> /h) を監視可能。		高圧注入流量 (0~350m <sup>3</sup> /h)	差圧式流量検出器 (※)	・燃料取替用ボット水位 (0~100%) (※)	重大事故等時において、高圧注入ポンプの流量 (350m <sup>3</sup> /h) を監視可能。		低圧注入流量 (0~1,100m <sup>3</sup> /h)	差圧式流量検出器 (※)	・燃料取替用ボット水位 (0~100%) (※)	重大事故等時において、低圧注入ポンプの流量 (1,100m <sup>3</sup> /h) を監視可能。	原子炉格納容器内の温度	格納容器内温度 (0~250℃)	温度抵抗体	・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・原子炉格納容器圧力 (0~0.33MPa) (※)	重大事故等時において、原子炉格納容器の限界温度 (250℃) を監視可能。	
重要監視パラメータ	重要計器 (計測範囲)				検出器の種類	重要計器等 (代表) (※)																																																																														
		重要計器に故障の疑いがある場合	重要計器の計測範囲を超えた場合 (※)																																																																																	
原子炉格納容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系→ドラスレイライン洗浄流量) (0~220m <sup>3</sup> /h)	差圧式流量検出器 (※)	・復水貯蔵タンク水位 (0~3,200m <sup>3</sup> ) (※)	重大事故等時の復水移送ポンプを用いた原子炉格納容器代替スプレイ冷却系 (残留熱除去系→ドラスライン) における最大注水量 (89m <sup>3</sup> /h) を監視可能。																																																																																
	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量) (0~220m <sup>3</sup> /h)	差圧式流量検出器 (※)	・復水貯蔵タンク水位 (0~3,200m <sup>3</sup> ) (※)	重大事故等時の復水移送ポンプを用いた原子炉格納容器代替スプレイ冷却系 (残留熱除去系B系→ドラスライン) における最大注水量 (89m <sup>3</sup> /h) を監視可能。																																																																																
	原子炉格納容器代替スプレイ流量 (0~100m <sup>3</sup> /h)	差圧式流量検出器 (※)	・原子炉格納容器下部水位 (0.5m, 1.0m, 1.5m, 2.0m, 2.5m, 2.8m) 及びドライウエル水位 (0.02m, 0.23m, 0.34m) (※)	重大事故等時の大容量送水ポンプ (クイック1) を用いた原子炉格納容器代替スプレイ冷却系による最大注水量 (88m <sup>3</sup> /h) を監視可能。																																																																																
	代替格納冷却ポンプ出口流量 (0~200m <sup>3</sup> /h)	差圧式流量検出器 (※)	・原子炉格納容器下部水位 (0.5m, 1.0m, 1.5m, 2.0m, 2.5m, 2.8m) 及びドライウエル水位 (0.02m, 0.23m, 0.34m) (※)	重大事故等時の代替格納冷却ポンプを用いた原子炉格納容器代替スプレイ時における最大注水量 (1150m <sup>3</sup> /h) を監視可能。																																																																																
	原子炉格納容器下部注水量 (0~110m <sup>3</sup> /h)	差圧式流量検出器 (※)	・復水貯蔵タンク水位 (0~3,200m <sup>3</sup> ) (※)	重大事故等時の復水移送ポンプ又は大容量送水ポンプ (クイック1) を用いた原子炉格納容器下部注水量による最大注水量 (89m <sup>3</sup> /h) を監視可能。																																																																																
原子炉格納容器内の温度	ドライウエル温度 (0~300℃)	熱電対	・多重性を有する重要計器の他の検出器 ・ドライウエル圧力 (0~1MPa(abs)) (※)	重大事故等時において、原子炉格納容器の限界温度 (200℃) を監視可能。さらに可搬型計測器にて350℃まで計測可能。																																																																																
	圧力抑制室内空気温度 (0~300℃)	熱電対	・多重性を有する重要計器の他の検出器 ・サブレンションプール水温度 (0~200℃) (※)	重大事故等時において、原子炉格納容器限界温度 (200℃) を監視可能。																																																																																
	サブレンションプール水温度 (0~200℃)	温度抵抗体	・多重性を有する重要計器の他の検出器 ・圧力抑制室内空気温度 (0~300℃) (※)	重大事故等時において、原子炉格納容器下部に環状中心が落下した場合における原子炉格納容器の構造格納可能。																																																																																
	原子炉格納容器下部温度 (0~700℃)	熱電対	・多重性を有する重要計器の他のチャンネル	原子炉格納容器下部に環状中心が落下した場合における原子炉格納容器の構造格納可能。																																																																																
重要監視パラメータ	重要計器 (計測範囲)	検出器の種類	重要計器等 (代表) (※)																																																																																	
			重要計器に故障の疑いがある場合	重要計器の計測範囲を超えた場合 (※)																																																																																
原子炉格納容器への注水量	B系格納容器スプレイ冷却ポンプ出口流量 (0~1,300m <sup>3</sup> /h) (0~1,300m <sup>3</sup> /h) (0~1,300m <sup>3</sup> /h) (0~1,300m <sup>3</sup> /h) (0~1,300m <sup>3</sup> /h)	差圧式流量検出器 (※)	・燃料取替用ボット水位 (0~100%) (※)	重大事故等時において、格納容器スプレイポンプの流量 (1,300m <sup>3</sup> /h) を監視可能。																																																																																
	代替格納冷却ポンプスプレイ冷却ポンプ出口流量 (0~200m <sup>3</sup> /h) (0~200m <sup>3</sup> /h)	差圧式流量検出器 (※)	・燃料取替用ボット水位 (0~100%) (※)	重大事故等時において、代替格納冷却ポンプの流量 (200m <sup>3</sup> /h) を監視可能。																																																																																
	高圧注入流量 (0~350m <sup>3</sup> /h)	差圧式流量検出器 (※)	・燃料取替用ボット水位 (0~100%) (※)	重大事故等時において、高圧注入ポンプの流量 (350m <sup>3</sup> /h) を監視可能。																																																																																
	低圧注入流量 (0~1,100m <sup>3</sup> /h)	差圧式流量検出器 (※)	・燃料取替用ボット水位 (0~100%) (※)	重大事故等時において、低圧注入ポンプの流量 (1,100m <sup>3</sup> /h) を監視可能。																																																																																
原子炉格納容器内の温度	格納容器内温度 (0~250℃)	温度抵抗体	・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・原子炉格納容器圧力 (0~0.33MPa) (※)	重大事故等時において、原子炉格納容器の限界温度 (250℃) を監視可能。																																																																																

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																
	<p>表 58-13-1 重大事故等対処設備により計測する重要監視パラメータ (4/8)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">重要監視パラメータ</th> <th rowspan="2">重要計器 (計測範囲)</th> <th rowspan="2">検出器の種類</th> <th colspan="2">重要代替計器等 (代表) (※1)</th> </tr> <tr> <th>重要計器に故障の疑いがある場合</th> <th>重要計器の計測範囲を超えた場合 (※2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>ドライウェル圧力 (0~1MPa[abs]) 圧力抑制室圧力 (0~1MPa[abs])</td> <td>弾性圧力検出器 (※3)</td> <td>・圧力抑制室圧力 (0~1MPa[abs]) (※3) ・ドライウェル温度 (0~300℃) (※3)</td> <td>重大事故等時において、原子炉格納容器限界圧力 (850kPa) をドライウェル圧力又は圧力抑制室圧力にて監視可能。</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>圧力抑制室水位 (0~5m) (※4) 原子炉格納容器下部水位 (0.5m, 1.0m, 1.5m, 2.0m, 2.5m, 2.8m) ドライウェル水位 (0.02m, 0.25m, 0.34m)</td> <td>差圧式水位検出器 (※5) 電極式水位検出器 (※6)</td> <td>・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・代替補償冷却ポンプ出口流量 (0~200t/h) (※7)</td> <td>重大事故等時において、外部水漏注水流量 (通常運転水位: 約 2m (※9)) の範囲を監視可能。 重大事故等時において、原子炉格納容器下部への注水による圧力容器へガス状水部の需水状況を監視可能。 重大事故等時において、原子炉格納容器下部の清浄な水の冷却に必要な水深 (0.23m) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水素濃度</td> <td>格納容器内雰囲気水素濃度 (0~30vol%) / 0~100vol%)</td> <td>熱伝導率検出器</td> <td>・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・格納容器内水素濃度 (0/0) (0~100vol%) 及び格納容器内水素濃度 (S/C) (0~100vol%) (※10)</td> <td>重大事故等時において、炉心の著しい揺動時に変動する可能性ある範囲 (0~100vol%) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の酸素濃度</td> <td>格納容器内雰囲気酸素濃度 (0~30vol%)</td> <td>熱伝導率検出器</td> <td>・多重性を有する重要計器の他チャンネル</td> <td>重大事故等時において、原子炉格納容器内の酸素濃度の変動範囲 (0~4.3vol%) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>格納容器内雰囲気放射線モニタ (0/0) (10<sup>-6</sup>~10<sup>5</sup>Sv/h) 格納容器内雰囲気放射線モニタ (S/C) (10<sup>-6</sup>~10<sup>5</sup>Sv/h)</td> <td>電離箱</td> <td>・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・多重性を有する重要計器の他チャンネル</td> <td>炉心格納の判断値 (停止直後で約 195Sv/h) を監視可能。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(※1) 潮流ダイヤグラムにおけるドライウェル圧力及び圧力抑制室圧力の絶対圧力を計測。          (※2) 圧力抑制室圧力はドライウェル圧力+12.0kPa からドライウェル圧力+6.9kPa の範囲で推移。          (※3) 基準点 (0m) は通常運転水位 (0.P. +2850mm)。          (※4) 潮流ダイヤグラムにおける圧力抑制室圧力 (補償槽からの水頭圧を含む) と圧力抑制室下部の差圧を計測。          (※5) 流量と注入時間から水位を推定。          (※6) 格納容器内水素濃度 (0/0) 及び格納容器内水素濃度 (S/C) は、水素吸蔵材料式水素検出器を用いて計測。</p>	重要監視パラメータ	重要計器 (計測範囲)	検出器の種類	重要代替計器等 (代表) (※1)		重要計器に故障の疑いがある場合	重要計器の計測範囲を超えた場合 (※2)	原子炉格納容器内の圧力	ドライウェル圧力 (0~1MPa[abs]) 圧力抑制室圧力 (0~1MPa[abs])	弾性圧力検出器 (※3)	・圧力抑制室圧力 (0~1MPa[abs]) (※3) ・ドライウェル温度 (0~300℃) (※3)	重大事故等時において、原子炉格納容器限界圧力 (850kPa) をドライウェル圧力又は圧力抑制室圧力にて監視可能。	原子炉格納容器内の水位	圧力抑制室水位 (0~5m) (※4) 原子炉格納容器下部水位 (0.5m, 1.0m, 1.5m, 2.0m, 2.5m, 2.8m) ドライウェル水位 (0.02m, 0.25m, 0.34m)	差圧式水位検出器 (※5) 電極式水位検出器 (※6)	・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・代替補償冷却ポンプ出口流量 (0~200t/h) (※7)	重大事故等時において、外部水漏注水流量 (通常運転水位: 約 2m (※9)) の範囲を監視可能。 重大事故等時において、原子炉格納容器下部への注水による圧力容器へガス状水部の需水状況を監視可能。 重大事故等時において、原子炉格納容器下部の清浄な水の冷却に必要な水深 (0.23m) を監視可能。	原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内雰囲気水素濃度 (0~30vol%) / 0~100vol%)	熱伝導率検出器	・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・格納容器内水素濃度 (0/0) (0~100vol%) 及び格納容器内水素濃度 (S/C) (0~100vol%) (※10)	重大事故等時において、炉心の著しい揺動時に変動する可能性ある範囲 (0~100vol%) を監視可能。	原子炉格納容器内の酸素濃度	格納容器内雰囲気酸素濃度 (0~30vol%)	熱伝導率検出器	・多重性を有する重要計器の他チャンネル	重大事故等時において、原子炉格納容器内の酸素濃度の変動範囲 (0~4.3vol%) を監視可能。	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内雰囲気放射線モニタ (0/0) (10 <sup>-6</sup> ~10 <sup>5</sup> Sv/h) 格納容器内雰囲気放射線モニタ (S/C) (10 <sup>-6</sup> ~10 <sup>5</sup> Sv/h)	電離箱	・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・多重性を有する重要計器の他チャンネル	炉心格納の判断値 (停止直後で約 195Sv/h) を監視可能。	<p>第1表 重大事故等対処設備により計測する重要監視パラメータ (4/7)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">重要監視パラメータ</th> <th rowspan="2">重要計器 (計測範囲)</th> <th rowspan="2">検出器の種類</th> <th colspan="2">重要代替計器等 (代表) (※1)</th> </tr> <tr> <th>重要計器に故障の疑いがある場合</th> <th>重要計器の計測範囲を超えた場合 (※2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>原子炉格納容器圧力 (0~0.30MPa) 格納容器圧力 (0.0MPa) 格納容器圧力 (0.0MPa)</td> <td>弾性圧力検出器 (※3)</td> <td>・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・格納容器圧力 (0.0MPa) (※3) ・格納容器圧力 (0.0MPa) (※3)</td> <td>重大事故等時において、原子炉格納容器限界圧力 (0.203MPa) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>格納容器内上部水位 (0.0MPa) 格納容器内下部水位 (0.0MPa) 原子炉下部キャビティ水位 (0.0MPa)</td> <td>差圧式水位検出器 (※4) 電極式水位検出器 (※5)</td> <td>・格納容器内上部水位 (0.0MPa) ・格納容器内下部水位 (0.0MPa) ・格納容器内上部水位 (0.0MPa) ・格納容器内下部水位 (0.0MPa) ・格納容器内上部水位 (0.0MPa) ・格納容器内下部水位 (0.0MPa)</td> <td>重大事故等時において、再蒸発可能水位 (71%) を監視可能。 重大事故等時において、再蒸発可能水位 (71%) を監視可能。 重大事故等時において、再蒸発可能水位 (71%) を監視可能。 重大事故等時において、再蒸発可能水位 (71%) を監視可能。 重大事故等時において、再蒸発可能水位 (71%) を監視可能。 重大事故等時において、再蒸発可能水位 (71%) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水素濃度</td> <td>格納容器内雰囲気水素濃度 (0~30vol%) / 0~100vol%)</td> <td>熱伝導率検出器</td> <td>・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・格納容器内水素濃度 (0/0) (0~100vol%) 及び格納容器内水素濃度 (S/C) (0~100vol%) (※10)</td> <td>重大事故等時において、炉心の著しい揺動時に変動する可能性ある範囲 (0~100vol%) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の酸素濃度</td> <td>格納容器内雰囲気酸素濃度 (0~30vol%)</td> <td>熱伝導率検出器</td> <td>・多重性を有する重要計器の他チャンネル</td> <td>重大事故等時において、原子炉格納容器内の酸素濃度の変動範囲 (0~4.3vol%) を監視可能。</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>格納容器内雰囲気放射線モニタ (0/0) (10<sup>-6</sup>~10<sup>5</sup>Sv/h) 格納容器内雰囲気放射線モニタ (S/C) (10<sup>-6</sup>~10<sup>5</sup>Sv/h)</td> <td>電離箱</td> <td>・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・多重性を有する重要計器の他チャンネル</td> <td>炉心格納の判断値 (停止直後で約 195Sv/h) を監視可能。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(※1) 潮流ダイヤグラムにおける原子炉格納容器圧力を計測。          (※2) 潮流ダイヤグラムにおける原子炉格納容器内の圧力と格納容器内上部水位との差を推定。          (※3) 基準点 (0m) は通常運転水位 (0.P. +2850mm)。          (※4) 格納容器内水素濃度 (0/0) 及び格納容器内水素濃度 (S/C) は、水素吸蔵材料式水素検出器を用いて計測。</p>	重要監視パラメータ	重要計器 (計測範囲)	検出器の種類	重要代替計器等 (代表) (※1)		重要計器に故障の疑いがある場合	重要計器の計測範囲を超えた場合 (※2)	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力 (0~0.30MPa) 格納容器圧力 (0.0MPa) 格納容器圧力 (0.0MPa)	弾性圧力検出器 (※3)	・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・格納容器圧力 (0.0MPa) (※3) ・格納容器圧力 (0.0MPa) (※3)	重大事故等時において、原子炉格納容器限界圧力 (0.203MPa) を監視可能。	原子炉格納容器内の水位	格納容器内上部水位 (0.0MPa) 格納容器内下部水位 (0.0MPa) 原子炉下部キャビティ水位 (0.0MPa)	差圧式水位検出器 (※4) 電極式水位検出器 (※5)	・格納容器内上部水位 (0.0MPa) ・格納容器内下部水位 (0.0MPa) ・格納容器内上部水位 (0.0MPa) ・格納容器内下部水位 (0.0MPa) ・格納容器内上部水位 (0.0MPa) ・格納容器内下部水位 (0.0MPa)	重大事故等時において、再蒸発可能水位 (71%) を監視可能。 重大事故等時において、再蒸発可能水位 (71%) を監視可能。 重大事故等時において、再蒸発可能水位 (71%) を監視可能。 重大事故等時において、再蒸発可能水位 (71%) を監視可能。 重大事故等時において、再蒸発可能水位 (71%) を監視可能。 重大事故等時において、再蒸発可能水位 (71%) を監視可能。	原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内雰囲気水素濃度 (0~30vol%) / 0~100vol%)	熱伝導率検出器	・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・格納容器内水素濃度 (0/0) (0~100vol%) 及び格納容器内水素濃度 (S/C) (0~100vol%) (※10)	重大事故等時において、炉心の著しい揺動時に変動する可能性ある範囲 (0~100vol%) を監視可能。	原子炉格納容器内の酸素濃度	格納容器内雰囲気酸素濃度 (0~30vol%)	熱伝導率検出器	・多重性を有する重要計器の他チャンネル	重大事故等時において、原子炉格納容器内の酸素濃度の変動範囲 (0~4.3vol%) を監視可能。	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内雰囲気放射線モニタ (0/0) (10 <sup>-6</sup> ~10 <sup>5</sup> Sv/h) 格納容器内雰囲気放射線モニタ (S/C) (10 <sup>-6</sup> ~10 <sup>5</sup> Sv/h)	電離箱	・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・多重性を有する重要計器の他チャンネル	炉心格納の判断値 (停止直後で約 195Sv/h) を監視可能。	
重要監視パラメータ	重要計器 (計測範囲)				検出器の種類	重要代替計器等 (代表) (※1)																																																													
		重要計器に故障の疑いがある場合	重要計器の計測範囲を超えた場合 (※2)																																																																
原子炉格納容器内の圧力	ドライウェル圧力 (0~1MPa[abs]) 圧力抑制室圧力 (0~1MPa[abs])	弾性圧力検出器 (※3)	・圧力抑制室圧力 (0~1MPa[abs]) (※3) ・ドライウェル温度 (0~300℃) (※3)	重大事故等時において、原子炉格納容器限界圧力 (850kPa) をドライウェル圧力又は圧力抑制室圧力にて監視可能。																																																															
原子炉格納容器内の水位	圧力抑制室水位 (0~5m) (※4) 原子炉格納容器下部水位 (0.5m, 1.0m, 1.5m, 2.0m, 2.5m, 2.8m) ドライウェル水位 (0.02m, 0.25m, 0.34m)	差圧式水位検出器 (※5) 電極式水位検出器 (※6)	・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・代替補償冷却ポンプ出口流量 (0~200t/h) (※7)	重大事故等時において、外部水漏注水流量 (通常運転水位: 約 2m (※9)) の範囲を監視可能。 重大事故等時において、原子炉格納容器下部への注水による圧力容器へガス状水部の需水状況を監視可能。 重大事故等時において、原子炉格納容器下部の清浄な水の冷却に必要な水深 (0.23m) を監視可能。																																																															
原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内雰囲気水素濃度 (0~30vol%) / 0~100vol%)	熱伝導率検出器	・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・格納容器内水素濃度 (0/0) (0~100vol%) 及び格納容器内水素濃度 (S/C) (0~100vol%) (※10)	重大事故等時において、炉心の著しい揺動時に変動する可能性ある範囲 (0~100vol%) を監視可能。																																																															
原子炉格納容器内の酸素濃度	格納容器内雰囲気酸素濃度 (0~30vol%)	熱伝導率検出器	・多重性を有する重要計器の他チャンネル	重大事故等時において、原子炉格納容器内の酸素濃度の変動範囲 (0~4.3vol%) を監視可能。																																																															
原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内雰囲気放射線モニタ (0/0) (10 <sup>-6</sup> ~10 <sup>5</sup> Sv/h) 格納容器内雰囲気放射線モニタ (S/C) (10 <sup>-6</sup> ~10 <sup>5</sup> Sv/h)	電離箱	・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・多重性を有する重要計器の他チャンネル	炉心格納の判断値 (停止直後で約 195Sv/h) を監視可能。																																																															
重要監視パラメータ	重要計器 (計測範囲)	検出器の種類	重要代替計器等 (代表) (※1)																																																																
			重要計器に故障の疑いがある場合	重要計器の計測範囲を超えた場合 (※2)																																																															
原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力 (0~0.30MPa) 格納容器圧力 (0.0MPa) 格納容器圧力 (0.0MPa)	弾性圧力検出器 (※3)	・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・格納容器圧力 (0.0MPa) (※3) ・格納容器圧力 (0.0MPa) (※3)	重大事故等時において、原子炉格納容器限界圧力 (0.203MPa) を監視可能。																																																															
原子炉格納容器内の水位	格納容器内上部水位 (0.0MPa) 格納容器内下部水位 (0.0MPa) 原子炉下部キャビティ水位 (0.0MPa)	差圧式水位検出器 (※4) 電極式水位検出器 (※5)	・格納容器内上部水位 (0.0MPa) ・格納容器内下部水位 (0.0MPa) ・格納容器内上部水位 (0.0MPa) ・格納容器内下部水位 (0.0MPa) ・格納容器内上部水位 (0.0MPa) ・格納容器内下部水位 (0.0MPa)	重大事故等時において、再蒸発可能水位 (71%) を監視可能。 重大事故等時において、再蒸発可能水位 (71%) を監視可能。 重大事故等時において、再蒸発可能水位 (71%) を監視可能。 重大事故等時において、再蒸発可能水位 (71%) を監視可能。 重大事故等時において、再蒸発可能水位 (71%) を監視可能。 重大事故等時において、再蒸発可能水位 (71%) を監視可能。																																																															
原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内雰囲気水素濃度 (0~30vol%) / 0~100vol%)	熱伝導率検出器	・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・格納容器内水素濃度 (0/0) (0~100vol%) 及び格納容器内水素濃度 (S/C) (0~100vol%) (※10)	重大事故等時において、炉心の著しい揺動時に変動する可能性ある範囲 (0~100vol%) を監視可能。																																																															
原子炉格納容器内の酸素濃度	格納容器内雰囲気酸素濃度 (0~30vol%)	熱伝導率検出器	・多重性を有する重要計器の他チャンネル	重大事故等時において、原子炉格納容器内の酸素濃度の変動範囲 (0~4.3vol%) を監視可能。																																																															
原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内雰囲気放射線モニタ (0/0) (10 <sup>-6</sup> ~10 <sup>5</sup> Sv/h) 格納容器内雰囲気放射線モニタ (S/C) (10 <sup>-6</sup> ~10 <sup>5</sup> Sv/h)	電離箱	・多重性を有する重要計器の他チャンネル ・多重性を有する重要計器の他チャンネル	炉心格納の判断値 (停止直後で約 195Sv/h) を監視可能。																																																															



灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

表 58-13-1 重大事故等対処設備により計測する重要監視パラメータ (5/8)

Table with 4 columns: 重要監視パラメータ, 重要計器 (計測範囲), 検出器の種類, 重要計器の計測範囲を超える場合. Rows include neutron flux, steam generator temperature, and primary loop flow rate.

(※1) 原子炉起動時から定格出力運転時の中性子束を監視可能。
(※2) 起動前線モニタが測定できる領域を超えた場合には平均出力領域モニタによって監視可能。

表 58-13-1 重大事故等対処設備により計測する重要監視パラメータ (6/8)

Table with 4 columns: 重要監視パラメータ, 重要計器 (計測範囲), 検出器の種類, 重要計器の計測範囲を超える場合. Rows include primary loop pressure, primary loop temperature, and steam generator outlet pressure.

(※1) 運転ダイヤグラムにおけるフィルタ装置内の圧力 (気相側) とフィルタ装置下部の圧力を計測。
(※2) 運転ダイヤグラムにおけるフィルタ装置入口圧力及びフィルタ装置出口圧力を計測。
(※3) 運転監視により原子炉格納容器フィルタベント系フィルタ装置の健全性を確認する。
(※4) 原子炉停止後に中心相高し、原子炉格納容器ベント開始を原子炉停止後1時間と想定した降量率。
(※5) フィルタ装置出口水素濃度は、原子炉格納容器内の気体が飽和することから格納容器内水素濃度とはほぼ同等と想定する。
(※6) 中心相高前にベントすることを想定した保守的な降量率 (中心相高の判断値 (停止直前で約 165v/h) を参照)。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

第1表 重大事故等対処設備により計測する重要監視パラメータ (5/7)

Table with 4 columns: 重要監視パラメータ, 重要計器 (計測範囲), 検出器の種類, 重要計器の計測範囲を超える場合. Rows include neutron flux, steam generator temperature, primary loop pressure, and primary loop flow rate.

(※1) 運転ダイヤグラムにおけるサブコールドタンク内の圧力 (気相側) とタンク下部の圧力を計測。
(※2) 原子炉格納容器の取捨のため原子炉格納容器本体の建屋1階と2階の中間モニタリングが稼働していることを検定する。
(※3) 格納容器内温度及び原子炉格納容器圧力監視により、運転モニタリングが稼働されていることを検定する。
(※4) 運転ダイヤグラムにおける主蒸気ファンイン圧力を計測。
(※5) 1階取捨の健全性確保で主蒸気ファンインの飽和状態であれば、飽和温度/圧力の関係から主蒸気ファンインを推定し、運転モニタリングが稼働していることを検定する。
(※6) 運転ダイヤグラムにおける蒸気発生器出口 (凝縮器中心の水相側圧力) と蒸気発生器下部の圧力を計測。
(※7) 凝縮器出口水素濃度の変化により注水率を推定。



灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

表 58-13-1 重大事故等対応設備により計測する重要監視パラメータ (7/8)

Table with 4 columns: 重要監視パラメータ, 重要計器 (計測範囲), 検出器の種類, 重要代替計器等 (代表) (色). Rows include parameters like 最高炉内圧力, 炉内圧力, 炉内温度, etc.

(赤) 炉内圧力監視装置と炉内温度監視装置の検出器の検出範囲を拡大する。
(青) 炉内温度監視装置の検出器の検出範囲を拡大する。
(緑) 炉内温度監視装置の検出器の検出範囲を拡大する。

表 58-13-1 重大事故等対応設備により計測する重要監視パラメータ (8/8)

Table with 4 columns: 重要監視パラメータ, 重要計器 (計測範囲), 検出器の種類, 重要代替計器等 (代表) (色). Rows include parameters like 炉内圧力, 炉内温度, 炉内圧力, etc.

(赤) 炉内圧力監視装置と炉内温度監視装置の検出器の検出範囲を拡大する。
(青) 炉内温度監視装置の検出器の検出範囲を拡大する。
(緑) 炉内温度監視装置の検出器の検出範囲を拡大する。

第1表 重大事故等対応設備により計測する重要監視パラメータ (6/7)

Table with 4 columns: 重要監視パラメータ, 重要計器 (計測範囲), 検出器の種類, 重要代替計器等 (代表) (色). Rows include parameters like 最高炉内圧力, 炉内圧力, 炉内温度, etc.

(赤) 最高炉内圧力監視装置の検出器の検出範囲を拡大することにより、最高炉内圧力監視装置の検出範囲を拡大する。
(青) 最高炉内圧力監視装置の検出器の検出範囲を拡大することにより、最高炉内圧力監視装置の検出範囲を拡大する。
(緑) 最高炉内圧力監視装置の検出器の検出範囲を拡大することにより、最高炉内圧力監視装置の検出範囲を拡大する。

第1表 重大事故等対応設備により計測する重要監視パラメータ (7/7)

Table with 4 columns: 重要監視パラメータ, 重要計器 (計測範囲), 検出器の種類, 重要代替計器等 (代表) (色). Rows include parameters like 炉内圧力, 炉内温度, 炉内圧力, etc.

(赤) 炉内圧力監視装置と炉内温度監視装置の検出器の検出範囲を拡大することにより、最高炉内圧力監視装置の検出範囲を拡大する。
(青) 炉内温度監視装置の検出器の検出範囲を拡大することにより、最高炉内圧力監視装置の検出範囲を拡大する。
(緑) 炉内温度監視装置の検出器の検出範囲を拡大することにより、最高炉内圧力監視装置の検出範囲を拡大する。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																		
<p>(大飯該当資料なし)</p>	<p>58-14</p> <p>「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則」の第58条に基づく主要な重大事故等対処設備一覧表</p> <p>(第58条) 計装設備 (1/11)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>機能を喪失を想定する主要な設計基準事故等対処設備等*1、*2</th> <th>機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)</th> <th>主要設備の計画が困難となった場合の重要代替監視パラメータ</th> <th>事故可搬型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>原子炉圧力容器温度**</td> <td>原子炉圧力容器温度</td> <td>主要パラメータの他 原子炉圧力 (広域) 原子炉水位 (広域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域) 残留熱除去系熱交換器入口温度</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>(原子炉圧力)</td> <td>原子炉圧力</td> <td>主要パラメータの他 原子炉圧力 (広域) 原子炉水位 (広域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉圧力容器温度</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力</td> <td>原子炉圧力 (SA)</td> <td>主要パラメータの他 原子炉圧力 (広域) 原子炉水位 (広域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉圧力容器温度</td> <td>常設</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：重大事故防止設備以外の重大事故等対処設備が有する機能については、その代替機能を有する設計基準事故等対処設備がないため「-」とする。                  *2：( ) 付の設備は、重大事故等時に設計基準対象施設としての機能を期待する設計基準対象施設であり、共通要因による機能喪失を想定していない。                  *3：常用計器としての計装設備。個数と設置場所を添付資料1に示す。</p>	機能	機能を喪失を想定する主要な設計基準事故等対処設備等*1、*2	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	主要設備の計画が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	事故可搬型	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度**	原子炉圧力容器温度	主要パラメータの他 原子炉圧力 (広域) 原子炉水位 (広域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域) 残留熱除去系熱交換器入口温度	常設	原子炉圧力容器内の圧力	(原子炉圧力)	原子炉圧力	主要パラメータの他 原子炉圧力 (広域) 原子炉水位 (広域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉圧力容器温度	常設	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力	原子炉圧力 (SA)	主要パラメータの他 原子炉圧力 (広域) 原子炉水位 (広域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉圧力容器温度	常設	<p>58-14</p> <p>「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則」の第58条に基づく主要な重大事故等対処設備一覧表</p> <p>(第58条) 計装設備 (1/10)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>機能を喪失を想定する主要な設計基準事故等対処設備等*1、*2</th> <th>機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)</th> <th>主要設備の計画が困難となった場合の重要代替監視パラメータ</th> <th>事故可搬型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>(1次冷却材温度 (広域-高温側))</td> <td>1次冷却材温度 (広域-高温側)</td> <td>主要パラメータの他 1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>(1次冷却材温度 (広域-低温側))</td> <td>1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> <td>主要パラメータの他 1次冷却材温度 (広域-高温側)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>(1次冷却材圧力 (広域))</td> <td>1次冷却材圧力 (広域)</td> <td>主要パラメータの他 1次冷却材温度 (広域-高温側) 1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>加圧器水位**</td> <td>加圧器水位</td> <td>主要パラメータの他 1次冷却材圧力 (広域) 1次冷却材温度 (広域-高温側) 1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>(原子炉容器水位)</td> <td>原子炉容器水位</td> <td>加圧器水位 1次冷却材圧力 (広域) 1次冷却材温度 (広域-高温側) 1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> <td>常設</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：重大事故防止設備以外の重大事故等対処設備が有する機能については、その代替機能を有する設計基準事故等対処設備がないため「-」とする。                  *2：( ) 付の設備は、重大事故等時に設計基準対象施設としての機能を期待する設計基準対象施設であり、共通要因による機能喪失を想定していない。                  *3：常用計器としての計装設備。個数と設置場所を添付資料1に示す。</p>	機能	機能を喪失を想定する主要な設計基準事故等対処設備等*1、*2	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	主要設備の計画が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	事故可搬型	原子炉圧力容器内の温度	(1次冷却材温度 (広域-高温側))	1次冷却材温度 (広域-高温側)	主要パラメータの他 1次冷却材温度 (広域-低温側)	常設	原子炉圧力容器内の温度	(1次冷却材温度 (広域-低温側))	1次冷却材温度 (広域-低温側)	主要パラメータの他 1次冷却材温度 (広域-高温側)	常設	原子炉圧力容器内の圧力	(1次冷却材圧力 (広域))	1次冷却材圧力 (広域)	主要パラメータの他 1次冷却材温度 (広域-高温側) 1次冷却材温度 (広域-低温側)	常設	原子炉圧力容器内の水位	加圧器水位**	加圧器水位	主要パラメータの他 1次冷却材圧力 (広域) 1次冷却材温度 (広域-高温側) 1次冷却材温度 (広域-低温側)	常設	原子炉圧力容器内の水位	(原子炉容器水位)	原子炉容器水位	加圧器水位 1次冷却材圧力 (広域) 1次冷却材温度 (広域-高温側) 1次冷却材温度 (広域-低温側)	常設	<p>相違理由</p> <p>【女川】炉型の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PWR と BWR で想定される重大事故等及び対処するための監視パラメータが異なるため、比較対象外としている。以降、同表において同じ。</li> </ul>
	機能	機能を喪失を想定する主要な設計基準事故等対処設備等*1、*2	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	主要設備の計画が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	事故可搬型																																																
原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度**	原子炉圧力容器温度	主要パラメータの他 原子炉圧力 (広域) 原子炉水位 (広域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域) 残留熱除去系熱交換器入口温度	常設																																																	
原子炉圧力容器内の圧力	(原子炉圧力)	原子炉圧力	主要パラメータの他 原子炉圧力 (広域) 原子炉水位 (広域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉圧力容器温度	常設																																																	
原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力	原子炉圧力 (SA)	主要パラメータの他 原子炉圧力 (広域) 原子炉水位 (広域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉圧力容器温度	常設																																																	
機能	機能を喪失を想定する主要な設計基準事故等対処設備等*1、*2	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	主要設備の計画が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	事故可搬型																																																	
原子炉圧力容器内の温度	(1次冷却材温度 (広域-高温側))	1次冷却材温度 (広域-高温側)	主要パラメータの他 1次冷却材温度 (広域-低温側)	常設																																																	
原子炉圧力容器内の温度	(1次冷却材温度 (広域-低温側))	1次冷却材温度 (広域-低温側)	主要パラメータの他 1次冷却材温度 (広域-高温側)	常設																																																	
原子炉圧力容器内の圧力	(1次冷却材圧力 (広域))	1次冷却材圧力 (広域)	主要パラメータの他 1次冷却材温度 (広域-高温側) 1次冷却材温度 (広域-低温側)	常設																																																	
原子炉圧力容器内の水位	加圧器水位**	加圧器水位	主要パラメータの他 1次冷却材圧力 (広域) 1次冷却材温度 (広域-高温側) 1次冷却材温度 (広域-低温側)	常設																																																	
原子炉圧力容器内の水位	(原子炉容器水位)	原子炉容器水位	加圧器水位 1次冷却材圧力 (広域) 1次冷却材温度 (広域-高温側) 1次冷却材温度 (広域-低温側)	常設																																																	
<p>(第58条) 計装設備 (2/11)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>機能を喪失を想定する主要な設計基準事故等対処設備等*1、*2</th> <th>機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)</th> <th>主要設備の計画が困難となった場合の重要代替監視パラメータ</th> <th>事故可搬型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>(原子炉水位 (広域)) (原子炉水位 (燃料域))</td> <td>原子炉水位 (広域) 原子炉水位 (燃料域)</td> <td>主要パラメータの他 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域) 残圧代替注水系ポンプ出口流量 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量) 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系物納容器冷却ライン洗浄流量) 残圧駆動給圧注水系ポンプ出口流量 代替循環冷却ポンプ出口流量 原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量 残圧中心スプレイスポンプ出口流量 残留熱除去系ポンプ出口流量 残圧中心スプレイスポンプ出口流量</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (広域) 原子炉水位 (燃料域)</td> <td>原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域)</td> <td>主要パラメータの他 原子炉水位 (広域) 原子炉水位 (燃料域) 残圧代替注水系ポンプ出口流量 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量) 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系物納容器冷却ライン洗浄流量) 残圧駆動給圧注水系ポンプ出口流量 代替循環冷却ポンプ出口流量 原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量 残圧中心スプレイスポンプ出口流量 残留熱除去系ポンプ出口流量 残圧中心スプレイスポンプ出口流量 原子炉圧力 原子炉圧力 (SA) 圧力抑制圧力</td> <td>常設</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：重大事故防止設備以外の重大事故等対処設備が有する機能については、その代替機能を有する設計基準事故等対処設備がないため「-」とする。                  *2：( ) 付の設備は、重大事故等時に設計基準対象施設としての機能を期待する設計基準対象施設であり、共通要因による機能喪失を想定していない。</p>	機能	機能を喪失を想定する主要な設計基準事故等対処設備等*1、*2	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	主要設備の計画が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	事故可搬型	原子炉圧力容器内の水位	(原子炉水位 (広域)) (原子炉水位 (燃料域))	原子炉水位 (広域) 原子炉水位 (燃料域)	主要パラメータの他 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域) 残圧代替注水系ポンプ出口流量 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量) 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系物納容器冷却ライン洗浄流量) 残圧駆動給圧注水系ポンプ出口流量 代替循環冷却ポンプ出口流量 原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量 残圧中心スプレイスポンプ出口流量 残留熱除去系ポンプ出口流量 残圧中心スプレイスポンプ出口流量	常設	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (広域) 原子炉水位 (燃料域)	原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域)	主要パラメータの他 原子炉水位 (広域) 原子炉水位 (燃料域) 残圧代替注水系ポンプ出口流量 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量) 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系物納容器冷却ライン洗浄流量) 残圧駆動給圧注水系ポンプ出口流量 代替循環冷却ポンプ出口流量 原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量 残圧中心スプレイスポンプ出口流量 残留熱除去系ポンプ出口流量 残圧中心スプレイスポンプ出口流量 原子炉圧力 原子炉圧力 (SA) 圧力抑制圧力	常設																																						
機能	機能を喪失を想定する主要な設計基準事故等対処設備等*1、*2	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	主要設備の計画が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	事故可搬型																																																	
原子炉圧力容器内の水位	(原子炉水位 (広域)) (原子炉水位 (燃料域))	原子炉水位 (広域) 原子炉水位 (燃料域)	主要パラメータの他 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域) 残圧代替注水系ポンプ出口流量 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量) 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系物納容器冷却ライン洗浄流量) 残圧駆動給圧注水系ポンプ出口流量 代替循環冷却ポンプ出口流量 原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量 残圧中心スプレイスポンプ出口流量 残留熱除去系ポンプ出口流量 残圧中心スプレイスポンプ出口流量	常設																																																	
原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (広域) 原子炉水位 (燃料域)	原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域)	主要パラメータの他 原子炉水位 (広域) 原子炉水位 (燃料域) 残圧代替注水系ポンプ出口流量 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量) 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系物納容器冷却ライン洗浄流量) 残圧駆動給圧注水系ポンプ出口流量 代替循環冷却ポンプ出口流量 原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量 残圧中心スプレイスポンプ出口流量 残留熱除去系ポンプ出口流量 残圧中心スプレイスポンプ出口流量 原子炉圧力 原子炉圧力 (SA) 圧力抑制圧力	常設																																																	

灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																												
(第58条) 計装設備 (3/11)		(第58条) 計装設備 (2/10)																																																																																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等<sup>*1</sup></th> <th>機能を代替する主要な重大事故対処設備 (既設+新設)</th> <th>主要設備の計測が困難となった場合の重要代替監視パラメータ</th> <th>常設可搬型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8">原子炉圧力容器への注水量</td> <td>原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量 高圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量</td> <td>高圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量</td> <td>原子炉隔離タンク水位 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量 低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量</td> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量 低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量</td> <td>原子炉隔離タンク水位 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量 低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量</td> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量 低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量</td> <td>原子炉隔離タンク水位 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>代替監視冷却系ポンプ出口流量</td> <td>原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>(原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量) 高圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量</td> <td>原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量</td> <td>原子炉隔離タンク水位 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>(高圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量) 原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量</td> <td>高圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量</td> <td>原子炉隔離タンク水位 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>(残留熱除去系ポンプ出口流量) 低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量</td> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量</td> <td>原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>(低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量) 残留熱除去系ポンプ出口流量</td> <td>低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量</td> <td>原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域)</td> <td>常設</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 重大事故防止設備以外の重大事故等対処設備が有する機能については、その代替機能を有する設計基準事故対処設備がないため「—」とする。 *2: ( ) 付の設備は、重大事故等時に設計基準対象施設としての機能を期待する設計基準対象施設であり、共通要因による機能喪失を想定していない。</p>	機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等 <sup>*1</sup>	機能を代替する主要な重大事故対処設備 (既設+新設)	主要設備の計測が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設可搬型	原子炉圧力容器への注水量	原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量 高圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量	高圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量	原子炉隔離タンク水位 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)	常設	残留熱除去系ポンプ出口流量 低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量	残留熱除去系ポンプ出口流量 低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量	原子炉隔離タンク水位 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)	常設	残留熱除去系ポンプ出口流量 低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量	残留熱除去系ポンプ出口流量 低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量	原子炉隔離タンク水位 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)	常設	—	代替監視冷却系ポンプ出口流量	原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域)	常設	(原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量) 高圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量	原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量	原子炉隔離タンク水位 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域)	常設	(高圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量) 原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量	高圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量	原子炉隔離タンク水位 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域)	常設	(残留熱除去系ポンプ出口流量) 低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量	残留熱除去系ポンプ出口流量	原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域)	常設	(低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量) 残留熱除去系ポンプ出口流量	低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量	原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域)	常設	<table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等<sup>*1</sup></th> <th>機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)</th> <th>主要設備の計測が困難となった場合の重要代替監視パラメータ</th> <th>常設可搬型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8">原子炉圧力容器への注水量</td> <td>原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量 高圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量</td> <td>原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量</td> <td>原子炉隔離タンク水位 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>(高圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量) 原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量</td> <td>高圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量</td> <td>原子炉隔離タンク水位 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>(残留熱除去系ポンプ出口流量) 低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量</td> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量</td> <td>原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>(低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量) 残留熱除去系ポンプ出口流量</td> <td>低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量</td> <td>原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域)</td> <td>常設</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 重大事故防止設備以外の重大事故等対処設備が有する機能については、その代替機能を有する設計基準事故対処設備がないため「—」とする。 *2: ( ) 付の設備は、重大事故等時に設計基準対象施設としての機能を期待する設計基準対象施設であり、共通要因による機能喪失を想定していない。</p>	機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等 <sup>*1</sup>	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	主要設備の計測が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設可搬型	原子炉圧力容器への注水量	原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量 高圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量	原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量	原子炉隔離タンク水位 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域)	常設	(高圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量) 原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量	高圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量	原子炉隔離タンク水位 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域)	常設	(残留熱除去系ポンプ出口流量) 低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量	残留熱除去系ポンプ出口流量	原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域)	常設	(低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量) 残留熱除去系ポンプ出口流量	低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量	原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域)	常設	<table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等<sup>*1</sup></th> <th>機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)</th> <th>主要設備の計測が困難となった場合の重要代替監視パラメータ</th> <th>常設可搬型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">原子炉圧力容器への注水量</td> <td>(高圧注入流量)</td> <td>高圧注入流量</td> <td>燃料取替用水ビット水位 加圧器水位 原子炉容器水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>(低圧注入流量)</td> <td>低圧注入流量</td> <td>燃料取替用水ビット水位 加圧器水位 原子炉容器水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>B-1格納容器スプレィ冷却器出口積算流量 (AM用)</td> <td>燃料取替用水ビット水位 加圧器水位 原子炉容器水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>代替格納容器スプレィポンプ出口積算流量</td> <td>燃料取替用水ビット水位 補助給水ビット水位 加圧器水位 原子炉容器水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> <td>常設</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 重大事故防止設備以外の重大事故等対処設備が有する機能については、その代替機能を有する設計基準事故対処設備がないため「—」とする。 *2: ( ) 付の設備は、重大事故等時に設計基準対象施設としての機能を期待する設計基準対象施設であり、共通要因による機能喪失を想定していない。</p>	機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等 <sup>*1</sup>	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	主要設備の計測が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設可搬型	原子炉圧力容器への注水量	(高圧注入流量)	高圧注入流量	燃料取替用水ビット水位 加圧器水位 原子炉容器水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	常設	(低圧注入流量)	低圧注入流量	燃料取替用水ビット水位 加圧器水位 原子炉容器水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	常設	—	B-1格納容器スプレィ冷却器出口積算流量 (AM用)	燃料取替用水ビット水位 加圧器水位 原子炉容器水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	常設	—	代替格納容器スプレィポンプ出口積算流量	燃料取替用水ビット水位 補助給水ビット水位 加圧器水位 原子炉容器水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	常設																											
機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等 <sup>*1</sup>	機能を代替する主要な重大事故対処設備 (既設+新設)	主要設備の計測が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設可搬型																																																																																																											
原子炉圧力容器への注水量	原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量 高圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量	高圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量	原子炉隔離タンク水位 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)	常設																																																																																																											
	残留熱除去系ポンプ出口流量 低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量	残留熱除去系ポンプ出口流量 低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量	原子炉隔離タンク水位 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)	常設																																																																																																											
	残留熱除去系ポンプ出口流量 低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量	残留熱除去系ポンプ出口流量 低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量	原子炉隔離タンク水位 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)	常設																																																																																																											
	—	代替監視冷却系ポンプ出口流量	原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域)	常設																																																																																																											
	(原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量) 高圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量	原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量	原子炉隔離タンク水位 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域)	常設																																																																																																											
	(高圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量) 原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量	高圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量	原子炉隔離タンク水位 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域)	常設																																																																																																											
	(残留熱除去系ポンプ出口流量) 低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量	残留熱除去系ポンプ出口流量	原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域)	常設																																																																																																											
	(低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量) 残留熱除去系ポンプ出口流量	低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量	原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域)	常設																																																																																																											
機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等 <sup>*1</sup>	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	主要設備の計測が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設可搬型																																																																																																											
原子炉圧力容器への注水量	原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量 高圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量	原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量	原子炉隔離タンク水位 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域)	常設																																																																																																											
	(高圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量) 原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量	高圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量	原子炉隔離タンク水位 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域)	常設																																																																																																											
	(残留熱除去系ポンプ出口流量) 低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量	残留熱除去系ポンプ出口流量	原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域)	常設																																																																																																											
	(低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量) 残留熱除去系ポンプ出口流量	低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量	原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域)	常設																																																																																																											
	機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等 <sup>*1</sup>	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	主要設備の計測が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設可搬型																																																																																																										
	原子炉圧力容器への注水量	(高圧注入流量)	高圧注入流量	燃料取替用水ビット水位 加圧器水位 原子炉容器水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	常設																																																																																																										
		(低圧注入流量)	低圧注入流量	燃料取替用水ビット水位 加圧器水位 原子炉容器水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	常設																																																																																																										
		—	B-1格納容器スプレィ冷却器出口積算流量 (AM用)	燃料取替用水ビット水位 加圧器水位 原子炉容器水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	常設																																																																																																										
—		代替格納容器スプレィポンプ出口積算流量	燃料取替用水ビット水位 補助給水ビット水位 加圧器水位 原子炉容器水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	常設																																																																																																											
(第58条) 計装設備 (4/11)		(第58条) 計装設備 (3/10)																																																																																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等<sup>*1</sup></th> <th>機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)</th> <th>主要設備の計測が困難となった場合の重要代替監視パラメータ</th> <th>常設可搬型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">原子炉格納容器内の注水量</td> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量</td> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量</td> <td>原子炉格納容器下部水位 ドライウエル水位 ドライウエル積算 ドライウエル圧力 圧力制御室圧力</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量</td> <td>原子炉格納容器代替スプレィ出口流量</td> <td>原子炉格納容器下部水位 ドライウエル水位 ドライウエル積算 ドライウエル圧力 圧力制御室圧力</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>代替監視冷却系ポンプ出口流量</td> <td>原子炉格納容器下部水位 ドライウエル水位 ドライウエル積算 ドライウエル圧力 圧力制御室圧力</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>原子炉格納容器下部注水量</td> <td>原子炉格納容器下部水位 ドライウエル水位</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原子炉格納容器内の温度</td> <td>ドライウエル温度<sup>**</sup></td> <td>ドライウエル温度</td> <td>主要パラメータの他検出器 ドライウエル圧力 圧力制御室圧力</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>(圧力制御室内空気循環) (サブプレッションプール水温度)</td> <td>圧力制御室内空気循環 サブプレッションプール水温度</td> <td>主要パラメータの他検出器 サブプレッションプール水温度 圧力制御室内空気循環</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>原子炉格納容器下部温度</td> <td>主要パラメータの他チャンネル</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の圧力</td> <td>ドライウエル圧力<sup>**</sup></td> <td>ドライウエル圧力</td> <td>圧力制御室圧力 ドライウエル積算</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>圧力制御室圧力<sup>**</sup></td> <td>圧力制御室圧力</td> <td>ドライウエル積算 圧力制御室内空気循環</td> <td>常設</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 重大事故防止設備以外の重大事故等対処設備が有する機能については、その代替機能を有する設計基準事故対処設備がないため「—」とする。 *2: ( ) 付の設備は、重大事故等時に設計基準対象施設としての機能を期待する設計基準対象施設であり、共通要因による機能喪失を想定していない。 *3: 常用計器としての計装設備。個数と設置場所を添付資料1に示す。</p>	機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等 <sup>*1</sup>	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	主要設備の計測が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設可搬型	原子炉格納容器内の注水量	残留熱除去系ポンプ出口流量	残留熱除去系ポンプ出口流量	原子炉格納容器下部水位 ドライウエル水位 ドライウエル積算 ドライウエル圧力 圧力制御室圧力	常設	残留熱除去系ポンプ出口流量	原子炉格納容器代替スプレィ出口流量	原子炉格納容器下部水位 ドライウエル水位 ドライウエル積算 ドライウエル圧力 圧力制御室圧力	常設	—	代替監視冷却系ポンプ出口流量	原子炉格納容器下部水位 ドライウエル水位 ドライウエル積算 ドライウエル圧力 圧力制御室圧力	常設	—	原子炉格納容器下部注水量	原子炉格納容器下部水位 ドライウエル水位	常設	原子炉格納容器内の温度	ドライウエル温度 <sup>**</sup>	ドライウエル温度	主要パラメータの他検出器 ドライウエル圧力 圧力制御室圧力	常設	(圧力制御室内空気循環) (サブプレッションプール水温度)	圧力制御室内空気循環 サブプレッションプール水温度	主要パラメータの他検出器 サブプレッションプール水温度 圧力制御室内空気循環	常設	—	原子炉格納容器下部温度	主要パラメータの他チャンネル	常設	原子炉格納容器内の圧力	ドライウエル圧力 <sup>**</sup>	ドライウエル圧力	圧力制御室圧力 ドライウエル積算	常設	圧力制御室圧力 <sup>**</sup>	圧力制御室圧力	ドライウエル積算 圧力制御室内空気循環	常設	<table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等<sup>*1</sup></th> <th>機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)</th> <th>主要設備の計測が困難となった場合の重要代替監視パラメータ</th> <th>常設可搬型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">原子炉格納容器への注水量</td> <td>—</td> <td>B-1格納容器スプレィ冷却器出口積算流量 (AM用)</td> <td>燃料取替用水ビット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>代替格納容器スプレィポンプ出口積算流量</td> <td>燃料取替用水ビット水位 補助給水ビット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>(高圧注入流量)</td> <td>高圧注入流量</td> <td>燃料取替用水ビット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>(低圧注入流量)</td> <td>低圧注入流量</td> <td>燃料取替用水ビット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>(格納容器内温度)</td> <td>格納容器内温度</td> <td>主要パラメータの他チャンネル 原子炉格納容器圧力 格納容器圧力 (AM用)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>原子炉格納容器圧力<sup>**</sup></td> <td>原子炉格納容器圧力</td> <td>主要パラメータの他チャンネル 格納容器圧力 (AM用) 格納容器内温度</td> <td>常設</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 重大事故防止設備以外の重大事故等対処設備が有する機能については、その代替機能を有する設計基準事故対処設備がないため「—」とする。 *2: ( ) 付の設備は、重大事故等時に設計基準対象施設としての機能を期待する設計基準対象施設であり、共通要因による機能喪失を想定していない。 *3: 常用計器としての計装設備。個数と設置場所を添付資料1に示す。</p>	機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等 <sup>*1</sup>	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	主要設備の計測が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設可搬型	原子炉格納容器への注水量	—	B-1格納容器スプレィ冷却器出口積算流量 (AM用)	燃料取替用水ビット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	常設	—	代替格納容器スプレィポンプ出口積算流量	燃料取替用水ビット水位 補助給水ビット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	常設	(高圧注入流量)	高圧注入流量	燃料取替用水ビット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	常設	(低圧注入流量)	低圧注入流量	燃料取替用水ビット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	常設	原子炉格納容器内の温度	(格納容器内温度)	格納容器内温度	主要パラメータの他チャンネル 原子炉格納容器圧力 格納容器圧力 (AM用)	常設	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力 <sup>**</sup>	原子炉格納容器圧力	主要パラメータの他チャンネル 格納容器圧力 (AM用) 格納容器内温度	常設	<table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等<sup>*1</sup></th> <th>機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)</th> <th>主要設備の計測が困難となった場合の重要代替監視パラメータ</th> <th>常設可搬型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">原子炉格納容器への注水量</td> <td>—</td> <td>B-1格納容器スプレィ冷却器出口積算流量 (AM用)</td> <td>燃料取替用水ビット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>代替格納容器スプレィポンプ出口積算流量</td> <td>燃料取替用水ビット水位 補助給水ビット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>(高圧注入流量)</td> <td>高圧注入流量</td> <td>燃料取替用水ビット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>(低圧注入流量)</td> <td>低圧注入流量</td> <td>燃料取替用水ビット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>(格納容器内温度)</td> <td>格納容器内温度</td> <td>主要パラメータの他チャンネル 原子炉格納容器圧力 格納容器圧力 (AM用)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>原子炉格納容器圧力<sup>**</sup></td> <td>原子炉格納容器圧力</td> <td>主要パラメータの他チャンネル 格納容器圧力 (AM用) 格納容器内温度</td> <td>常設</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 重大事故防止設備以外の重大事故等対処設備が有する機能については、その代替機能を有する設計基準事故対処設備がないため「—」とする。 *2: ( ) 付の設備は、重大事故等時に設計基準対象施設としての機能を期待する設計基準対象施設であり、共通要因による機能喪失を想定していない。 *3: 常用計器としての計装設備。個数と設置場所を添付資料1に示す。</p>	機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等 <sup>*1</sup>	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	主要設備の計測が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設可搬型	原子炉格納容器への注水量	—	B-1格納容器スプレィ冷却器出口積算流量 (AM用)	燃料取替用水ビット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	常設	—	代替格納容器スプレィポンプ出口積算流量	燃料取替用水ビット水位 補助給水ビット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	常設	(高圧注入流量)	高圧注入流量	燃料取替用水ビット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	常設	(低圧注入流量)	低圧注入流量	燃料取替用水ビット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	常設	原子炉格納容器内の温度	(格納容器内温度)	格納容器内温度	主要パラメータの他チャンネル 原子炉格納容器圧力 格納容器圧力 (AM用)	常設	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力 <sup>**</sup>	原子炉格納容器圧力	主要パラメータの他チャンネル 格納容器圧力 (AM用) 格納容器内温度	常設	
機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等 <sup>*1</sup>	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	主要設備の計測が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設可搬型																																																																																																											
原子炉格納容器内の注水量	残留熱除去系ポンプ出口流量	残留熱除去系ポンプ出口流量	原子炉格納容器下部水位 ドライウエル水位 ドライウエル積算 ドライウエル圧力 圧力制御室圧力	常設																																																																																																											
	残留熱除去系ポンプ出口流量	原子炉格納容器代替スプレィ出口流量	原子炉格納容器下部水位 ドライウエル水位 ドライウエル積算 ドライウエル圧力 圧力制御室圧力	常設																																																																																																											
	—	代替監視冷却系ポンプ出口流量	原子炉格納容器下部水位 ドライウエル水位 ドライウエル積算 ドライウエル圧力 圧力制御室圧力	常設																																																																																																											
	—	原子炉格納容器下部注水量	原子炉格納容器下部水位 ドライウエル水位	常設																																																																																																											
原子炉格納容器内の温度	ドライウエル温度 <sup>**</sup>	ドライウエル温度	主要パラメータの他検出器 ドライウエル圧力 圧力制御室圧力	常設																																																																																																											
	(圧力制御室内空気循環) (サブプレッションプール水温度)	圧力制御室内空気循環 サブプレッションプール水温度	主要パラメータの他検出器 サブプレッションプール水温度 圧力制御室内空気循環	常設																																																																																																											
	—	原子炉格納容器下部温度	主要パラメータの他チャンネル	常設																																																																																																											
原子炉格納容器内の圧力	ドライウエル圧力 <sup>**</sup>	ドライウエル圧力	圧力制御室圧力 ドライウエル積算	常設																																																																																																											
	圧力制御室圧力 <sup>**</sup>	圧力制御室圧力	ドライウエル積算 圧力制御室内空気循環	常設																																																																																																											
機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等 <sup>*1</sup>	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	主要設備の計測が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設可搬型																																																																																																											
原子炉格納容器への注水量	—	B-1格納容器スプレィ冷却器出口積算流量 (AM用)	燃料取替用水ビット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	常設																																																																																																											
	—	代替格納容器スプレィポンプ出口積算流量	燃料取替用水ビット水位 補助給水ビット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	常設																																																																																																											
	(高圧注入流量)	高圧注入流量	燃料取替用水ビット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	常設																																																																																																											
	(低圧注入流量)	低圧注入流量	燃料取替用水ビット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	常設																																																																																																											
原子炉格納容器内の温度	(格納容器内温度)	格納容器内温度	主要パラメータの他チャンネル 原子炉格納容器圧力 格納容器圧力 (AM用)	常設																																																																																																											
原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力 <sup>**</sup>	原子炉格納容器圧力	主要パラメータの他チャンネル 格納容器圧力 (AM用) 格納容器内温度	常設																																																																																																											
機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等 <sup>*1</sup>	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	主要設備の計測が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設可搬型																																																																																																											
原子炉格納容器への注水量	—	B-1格納容器スプレィ冷却器出口積算流量 (AM用)	燃料取替用水ビット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	常設																																																																																																											
	—	代替格納容器スプレィポンプ出口積算流量	燃料取替用水ビット水位 補助給水ビット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	常設																																																																																																											
	(高圧注入流量)	高圧注入流量	燃料取替用水ビット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	常設																																																																																																											
	(低圧注入流量)	低圧注入流量	燃料取替用水ビット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	常設																																																																																																											
原子炉格納容器内の温度	(格納容器内温度)	格納容器内温度	主要パラメータの他チャンネル 原子炉格納容器圧力 格納容器圧力 (AM用)	常設																																																																																																											
原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力 <sup>**</sup>	原子炉格納容器圧力	主要パラメータの他チャンネル 格納容器圧力 (AM用) 格納容器内温度	常設																																																																																																											



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																							
	<p>(第58条) 計装設備 (5/11)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等<sup>*1, *2</sup></th> <th>機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)</th> <th>主要設備の計装が困難となった場合の重要代替監視パラメータ</th> <th>常設/可搬型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">原子炉格納容器内の水位</td> <td>圧力抑制室水位<sup>1)</sup></td> <td>圧力抑制室水位</td> <td>                     主要パラメータの他チャンネル熱圧代替注水系ポンプ出口流量                      残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量)                      残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系系格納容器冷却ライン洗浄流量)                      蒸気駆動低圧注水系ポンプ出口流量                      原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量                      高圧炉心スプレイレイン系ポンプ出口流量                      原子炉格納容器代替スプレイレイン流量                      原子炉格納容器下部注水流量                      復水貯蔵タンク水位                 </td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>原子炉格納容器下部水位</td> <td>                     主要パラメータの他チャンネル残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量)                      残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系系格納容器冷却ライン洗浄流量)                      原子炉格納容器代替スプレイレイン流量                      代替循環冷却ポンプ出口流量                      原子炉格納容器下部注水流量                      復水貯蔵タンク水位                 </td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>ドライケル水位</td> <td>                     主要パラメータの他チャンネル残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量)                      残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系系格納容器冷却ライン洗浄流量)                      原子炉格納容器代替スプレイレイン流量                      代替循環冷却ポンプ出口流量                      原子炉格納容器下部注水流量                      復水貯蔵タンク水位                 </td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の水素濃度</td> <td>格納容器内雰囲気気水素濃度 (D/M)</td> <td>格納容器内水素濃度 (D/M)</td> <td>主要パラメータの他チャンネル格納容器内雰囲気気水素濃度</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>格納容器内雰囲気気水素濃度 (S/C)</td> <td>格納容器内水素濃度 (S/C)</td> <td>主要パラメータの他チャンネル格納容器内雰囲気気水素濃度</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>格納容器内雰囲気気水素濃度</td> <td>格納容器内雰囲気気水素濃度</td> <td>格納容器内水素濃度 (D/M)</td> <td>主要パラメータの他チャンネル格納容器内水素濃度 (D/M)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>格納容器内水素濃度 (S/C)</td> <td>格納容器内水素濃度 (S/C)</td> <td>常設</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：重大事故防止設備以外の重大事故等対処設備が有する機能については、その代替機能を有する設計基準事故対処設備がないため「—」とする。          *2：( ) 付の設備は、重大事故等時に設計基準対象施設としての機能を期待する設計基準対象施設であり、共通要因による機能喪失を想定していない。          *3：常用計器としての計装設備。装置と設置場所を添付資料1に示す。</p>	機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等 <sup>*1, *2</sup>	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	主要設備の計装が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設/可搬型	原子炉格納容器内の水位	圧力抑制室水位 <sup>1)</sup>	圧力抑制室水位	主要パラメータの他チャンネル熱圧代替注水系ポンプ出口流量 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量) 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系系格納容器冷却ライン洗浄流量) 蒸気駆動低圧注水系ポンプ出口流量 原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量 高圧炉心スプレイレイン系ポンプ出口流量 原子炉格納容器代替スプレイレイン流量 原子炉格納容器下部注水流量 復水貯蔵タンク水位	常設	—	原子炉格納容器下部水位	主要パラメータの他チャンネル残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量) 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系系格納容器冷却ライン洗浄流量) 原子炉格納容器代替スプレイレイン流量 代替循環冷却ポンプ出口流量 原子炉格納容器下部注水流量 復水貯蔵タンク水位	常設	—	ドライケル水位	主要パラメータの他チャンネル残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量) 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系系格納容器冷却ライン洗浄流量) 原子炉格納容器代替スプレイレイン流量 代替循環冷却ポンプ出口流量 原子炉格納容器下部注水流量 復水貯蔵タンク水位	常設	原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内雰囲気気水素濃度 (D/M)	格納容器内水素濃度 (D/M)	主要パラメータの他チャンネル格納容器内雰囲気気水素濃度	常設	格納容器内雰囲気気水素濃度 (S/C)	格納容器内水素濃度 (S/C)	主要パラメータの他チャンネル格納容器内雰囲気気水素濃度	常設	格納容器内雰囲気気水素濃度	格納容器内雰囲気気水素濃度	格納容器内水素濃度 (D/M)	主要パラメータの他チャンネル格納容器内水素濃度 (D/M)	常設			格納容器内水素濃度 (S/C)	格納容器内水素濃度 (S/C)	常設	<p>(第58条) 計装設備 (4/10)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等<sup>*1, *2</sup></th> <th>機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)</th> <th>主要設備の計装が困難となった場合の重要代替監視パラメータ</th> <th>常設/可搬型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の水位</td> <td>(格納容器再循環サンプ水位 (広域))</td> <td>格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> <td>                     主要パラメータの他チャンネル格納容器再循環サンプ水位 (狭域)                      原子炉下部キャビティ水位                      格納容器水位                      燃料取扱用水ビット水位                      補助給水ビット水位                      B-格納容器スプレイレイン冷却器出口積算流量 (AM用)                      代替格納容器スプレイレインポンプ出口積算流量                 </td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>(格納容器再循環サンプ水位 (狭域))</td> <td>格納容器再循環サンプ水位 (狭域)</td> <td>                     格納容器再循環サンプ水位 (広域)                      燃料取扱用水ビット水位                      補助給水ビット水位                      B-格納容器スプレイレイン冷却器出口積算流量 (AM用)                      代替格納容器スプレイレインポンプ出口積算流量                 </td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水素濃度</td> <td>—</td> <td>原子炉下部キャビティ水位</td> <td>                     格納容器再循環サンプ水位 (広域)                      燃料取扱用水ビット水位                      補助給水ビット水位                      B-格納容器スプレイレイン冷却器出口積算流量 (AM用)                      代替格納容器スプレイレインポンプ出口積算流量                 </td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水素濃度</td> <td>—</td> <td>格納容器水位</td> <td>                     燃料取扱用水ビット水位                      補助給水ビット水位                      B-格納容器スプレイレイン冷却器出口積算流量 (AM用)                      代替格納容器スプレイレインポンプ出口積算流量                 </td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>アニュラス<sup>注</sup>の水素濃度</td> <td>—</td> <td>可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット</td> <td>                     主要パラメータの予備                      原子炉格納容器内水素濃度                      装置温度                      格納容器水素イグナイタ温度                 </td> <td>可搬型</td> </tr> <tr> <td>アニュラス<sup>注</sup>の水素濃度</td> <td>—</td> <td>可搬型アニュラス水素濃度計測ユニット</td> <td>主要パラメータの予備</td> <td>可搬型</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：重大事故防止設備以外の重大事故等対処設備が有する機能については、その代替機能を有する設計基準事故対処設備がないため「—」とする。          *2：( ) 付の設備は、重大事故等時に設計基準対象施設としての機能を期待する設計基準対象施設であり、共通要因による機能喪失を想定していない。</p>	機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等 <sup>*1, *2</sup>	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	主要設備の計装が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設/可搬型	原子炉格納容器内の水位	(格納容器再循環サンプ水位 (広域))	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	主要パラメータの他チャンネル格納容器再循環サンプ水位 (狭域) 原子炉下部キャビティ水位 格納容器水位 燃料取扱用水ビット水位 補助給水ビット水位 B-格納容器スプレイレイン冷却器出口積算流量 (AM用) 代替格納容器スプレイレインポンプ出口積算流量	常設	(格納容器再循環サンプ水位 (狭域))	格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	格納容器再循環サンプ水位 (広域) 燃料取扱用水ビット水位 補助給水ビット水位 B-格納容器スプレイレイン冷却器出口積算流量 (AM用) 代替格納容器スプレイレインポンプ出口積算流量	常設	原子炉格納容器内の水素濃度	—	原子炉下部キャビティ水位	格納容器再循環サンプ水位 (広域) 燃料取扱用水ビット水位 補助給水ビット水位 B-格納容器スプレイレイン冷却器出口積算流量 (AM用) 代替格納容器スプレイレインポンプ出口積算流量	常設	原子炉格納容器内の水素濃度	—	格納容器水位	燃料取扱用水ビット水位 補助給水ビット水位 B-格納容器スプレイレイン冷却器出口積算流量 (AM用) 代替格納容器スプレイレインポンプ出口積算流量	常設	アニュラス <sup>注</sup> の水素濃度	—	可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット	主要パラメータの予備 原子炉格納容器内水素濃度 装置温度 格納容器水素イグナイタ温度	可搬型	アニュラス <sup>注</sup> の水素濃度	—	可搬型アニュラス水素濃度計測ユニット	主要パラメータの予備	可搬型	
機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等 <sup>*1, *2</sup>	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	主要設備の計装が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設/可搬型																																																																						
原子炉格納容器内の水位	圧力抑制室水位 <sup>1)</sup>	圧力抑制室水位	主要パラメータの他チャンネル熱圧代替注水系ポンプ出口流量 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量) 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系系格納容器冷却ライン洗浄流量) 蒸気駆動低圧注水系ポンプ出口流量 原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量 高圧炉心スプレイレイン系ポンプ出口流量 原子炉格納容器代替スプレイレイン流量 原子炉格納容器下部注水流量 復水貯蔵タンク水位	常設																																																																						
	—	原子炉格納容器下部水位	主要パラメータの他チャンネル残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量) 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系系格納容器冷却ライン洗浄流量) 原子炉格納容器代替スプレイレイン流量 代替循環冷却ポンプ出口流量 原子炉格納容器下部注水流量 復水貯蔵タンク水位	常設																																																																						
	—	ドライケル水位	主要パラメータの他チャンネル残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量) 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系系格納容器冷却ライン洗浄流量) 原子炉格納容器代替スプレイレイン流量 代替循環冷却ポンプ出口流量 原子炉格納容器下部注水流量 復水貯蔵タンク水位	常設																																																																						
原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内雰囲気気水素濃度 (D/M)	格納容器内水素濃度 (D/M)	主要パラメータの他チャンネル格納容器内雰囲気気水素濃度	常設																																																																						
	格納容器内雰囲気気水素濃度 (S/C)	格納容器内水素濃度 (S/C)	主要パラメータの他チャンネル格納容器内雰囲気気水素濃度	常設																																																																						
格納容器内雰囲気気水素濃度	格納容器内雰囲気気水素濃度	格納容器内水素濃度 (D/M)	主要パラメータの他チャンネル格納容器内水素濃度 (D/M)	常設																																																																						
		格納容器内水素濃度 (S/C)	格納容器内水素濃度 (S/C)	常設																																																																						
機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等 <sup>*1, *2</sup>	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	主要設備の計装が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設/可搬型																																																																						
原子炉格納容器内の水位	(格納容器再循環サンプ水位 (広域))	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	主要パラメータの他チャンネル格納容器再循環サンプ水位 (狭域) 原子炉下部キャビティ水位 格納容器水位 燃料取扱用水ビット水位 補助給水ビット水位 B-格納容器スプレイレイン冷却器出口積算流量 (AM用) 代替格納容器スプレイレインポンプ出口積算流量	常設																																																																						
	(格納容器再循環サンプ水位 (狭域))	格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	格納容器再循環サンプ水位 (広域) 燃料取扱用水ビット水位 補助給水ビット水位 B-格納容器スプレイレイン冷却器出口積算流量 (AM用) 代替格納容器スプレイレインポンプ出口積算流量	常設																																																																						
原子炉格納容器内の水素濃度	—	原子炉下部キャビティ水位	格納容器再循環サンプ水位 (広域) 燃料取扱用水ビット水位 補助給水ビット水位 B-格納容器スプレイレイン冷却器出口積算流量 (AM用) 代替格納容器スプレイレインポンプ出口積算流量	常設																																																																						
原子炉格納容器内の水素濃度	—	格納容器水位	燃料取扱用水ビット水位 補助給水ビット水位 B-格納容器スプレイレイン冷却器出口積算流量 (AM用) 代替格納容器スプレイレインポンプ出口積算流量	常設																																																																						
アニュラス <sup>注</sup> の水素濃度	—	可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット	主要パラメータの予備 原子炉格納容器内水素濃度 装置温度 格納容器水素イグナイタ温度	可搬型																																																																						
アニュラス <sup>注</sup> の水素濃度	—	可搬型アニュラス水素濃度計測ユニット	主要パラメータの予備	可搬型																																																																						

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																													
<p>(第58条) 計装設備 (6/11)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等*1、*2</th> <th>機能を代替する主要な重大事故対処設備 (既設+新設)</th> <th>主要設備の計画が困難となった場合の重要代替監視パラメータ</th> <th>常設可搬型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>(格納容器内雰囲気放射線モニタ(D/W)) 格納容器雰囲気放射線モニタ(S/C) (格納容器内雰囲気放射線モニタ(S/C)) 格納容器雰囲気放射線モニタ(S/C)</td> <td>格納容器内雰囲気放射線モニタ(D/W) 格納容器内雰囲気放射線モニタ(S/C)</td> <td>主要パラメータの他チャンネル</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>本機界の維持又は監視</td> <td>(起動循環モニタ) 平均出力領域モニタ (平均出力領域モニタ) 起動循環モニタ</td> <td>起動循環モニタ 平均出力領域モニタ 主要パラメータの他チャンネル 起動循環モニタ</td> <td>主要パラメータの他チャンネル</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却系)</td> <td>—</td> <td>サブプレッションプール水温度 残留熱除去系熱交換器入口温度</td> <td>主要パラメータの他チャンネル 圧力制御室内空気温度</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>サブプレッションプール水温度 圧力制御室水位 原子炉水位 (広管域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広管域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉圧力容器温度 原子炉格納容器下部水位 ドライウェル水位 ドライウェル温度 ドライウェル圧力 圧力制御室圧力</td> <td>常設</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：重大事故防止設備以外の重大事故等対処設備が有する機能については、その代替機能を有する設計基準事故対処設備がないため「—」とする。          *2：( ) 付の設備は、重大事故等時に設計基準対象施設としての機能を期待する設計基準対象施設であり、共通要因による機能喪失を想定していない。</p>	機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等*1、*2	機能を代替する主要な重大事故対処設備 (既設+新設)	主要設備の計画が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設可搬型	原子炉格納容器内の放射線量率	(格納容器内雰囲気放射線モニタ(D/W)) 格納容器雰囲気放射線モニタ(S/C) (格納容器内雰囲気放射線モニタ(S/C)) 格納容器雰囲気放射線モニタ(S/C)	格納容器内雰囲気放射線モニタ(D/W) 格納容器内雰囲気放射線モニタ(S/C)	主要パラメータの他チャンネル	常設	本機界の維持又は監視	(起動循環モニタ) 平均出力領域モニタ (平均出力領域モニタ) 起動循環モニタ	起動循環モニタ 平均出力領域モニタ 主要パラメータの他チャンネル 起動循環モニタ	主要パラメータの他チャンネル	常設	最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却系)	—	サブプレッションプール水温度 残留熱除去系熱交換器入口温度	主要パラメータの他チャンネル 圧力制御室内空気温度	常設	—	—	サブプレッションプール水温度 圧力制御室水位 原子炉水位 (広管域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広管域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉圧力容器温度 原子炉格納容器下部水位 ドライウェル水位 ドライウェル温度 ドライウェル圧力 圧力制御室圧力	常設	<p>(第58条) 計装設備 (7/11)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等*1、*2</th> <th>機能を代替する主要な重大事故対処設備 (既設+新設)</th> <th>主要設備の計画が困難となった場合の重要代替監視パラメータ</th> <th>常設可搬型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力高がし装置)</td> <td>残留熱除去系熱交換器入口温度</td> <td>フィルタ装置入口圧力 (広管域)</td> <td>ドライウェル圧力 圧力制御室圧力</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器出口温度</td> <td>フィルタ装置出口圧力 (広管域)</td> <td>ドライウェル圧力 圧力制御室圧力</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量</td> <td>フィルタ装置流量</td> <td>主要パラメータの他チャンネル</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>フィルタ装置出口放射線モニタ フィルタ装置出口水素濃度</td> <td>主要パラメータの他チャンネル 格納容器内水素濃度(D/W) 格納容器内水素濃度(S/C)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化バント系)</td> <td>残留熱除去系熱交換器入口温度</td> <td>耐圧強化バント系放射線モニタ</td> <td>主要パラメータの他チャンネル</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器出口温度</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系)</td> <td>(残留熱除去系熱交換器入口温度)</td> <td>残留熱除去系熱交換器入口温度</td> <td>原子炉圧力容器温度 サブプレッションプール水温度</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>(残留熱除去系熱交換器出口温度)</td> <td>残留熱除去系熱交換器出口温度</td> <td>残留熱除去系熱交換器入口温度 原子炉補機冷却水系新流量 残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系)</td> <td>(残留熱除去系ポンプ出口流量)</td> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量</td> <td>圧力制御室水位 残留熱除去系ポンプ出口圧力</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：重大事故防止設備以外の重大事故等対処設備が有する機能については、その代替機能を有する設計基準事故対処設備がないため「—」とする。          *2：( ) 付の設備は、重大事故等時に設計基準対象施設としての機能を期待する設計基準対象施設であり、共通要因による機能喪失を想定していない。</p>	機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等*1、*2	機能を代替する主要な重大事故対処設備 (既設+新設)	主要設備の計画が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設可搬型	最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力高がし装置)	残留熱除去系熱交換器入口温度	フィルタ装置入口圧力 (広管域)	ドライウェル圧力 圧力制御室圧力	常設	残留熱除去系熱交換器出口温度	フィルタ装置出口圧力 (広管域)	ドライウェル圧力 圧力制御室圧力	常設	残留熱除去系ポンプ出口流量	フィルタ装置流量	主要パラメータの他チャンネル	常設	—	フィルタ装置出口放射線モニタ フィルタ装置出口水素濃度	主要パラメータの他チャンネル 格納容器内水素濃度(D/W) 格納容器内水素濃度(S/C)	常設	最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化バント系)	残留熱除去系熱交換器入口温度	耐圧強化バント系放射線モニタ	主要パラメータの他チャンネル	常設	残留熱除去系熱交換器出口温度	—	—	—	最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系)	(残留熱除去系熱交換器入口温度)	残留熱除去系熱交換器入口温度	原子炉圧力容器温度 サブプレッションプール水温度	常設	(残留熱除去系熱交換器出口温度)	残留熱除去系熱交換器出口温度	残留熱除去系熱交換器入口温度 原子炉補機冷却水系新流量 残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量	常設	最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系)	(残留熱除去系ポンプ出口流量)	残留熱除去系ポンプ出口流量	圧力制御室水位 残留熱除去系ポンプ出口圧力	常設	—	—	—	—	<p>(第58条) 計装設備 (5/10)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等*1、*2</th> <th>機能を代替する主要な重大事故対処設備 (既設+新設)</th> <th>主要設備の計画が困難となった場合の重要代替監視パラメータ</th> <th>常設可搬型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>(格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)) (格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ))</td> <td>格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ) 格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)</td> <td>主要パラメータの他チャンネル 格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">本機界の維持又は監視</td> <td>(出力領域中性子束)</td> <td>出力領域中性子束</td> <td>主要パラメータの他チャンネル 中間領域中性子束 1次冷却材温度 (広域-高温側) 1次冷却材温度 (広域-低温側) ほうげんタンク水位</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>(中間領域中性子束)</td> <td>中間領域中性子束</td> <td>主要パラメータの他チャンネル 出力領域中性子束 中性子層領域中性子束 ほうげんタンク水位</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td>(中性子層領域中性子束)</td> <td>中性子層領域中性子束</td> <td>主要パラメータの他チャンネル 中間領域中性子束 ほうげんタンク水位</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：重大事故防止設備以外の重大事故等対処設備が有する機能については、その代替機能を有する設計基準事故対処設備がないため「—」とする。          *2：( ) 付の設備は、重大事故等時に設計基準対象施設としての機能を期待する設計基準対象施設であり、共通要因による機能喪失を想定していない。</p>	機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等*1、*2	機能を代替する主要な重大事故対処設備 (既設+新設)	主要設備の計画が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設可搬型	原子炉格納容器内の放射線量率	(格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)) (格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ))	格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ) 格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)	主要パラメータの他チャンネル 格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)	常設	本機界の維持又は監視	(出力領域中性子束)	出力領域中性子束	主要パラメータの他チャンネル 中間領域中性子束 1次冷却材温度 (広域-高温側) 1次冷却材温度 (広域-低温側) ほうげんタンク水位	常設	(中間領域中性子束)	中間領域中性子束	主要パラメータの他チャンネル 出力領域中性子束 中性子層領域中性子束 ほうげんタンク水位	常設	最終ヒートシンクの確保	(中性子層領域中性子束)	中性子層領域中性子束	主要パラメータの他チャンネル 中間領域中性子束 ほうげんタンク水位	常設	—	—	—	—	<p>(第58条) 計装設備 (6/10)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等*1、*2</th> <th>機能を代替する主要な重大事故対処設備 (既設+新設)</th> <th>主要設備の計画が困難となった場合の重要代替監視パラメータ</th> <th>常設可搬型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">最終ヒートシンクの確保</td> <td>(原子炉格納容器圧力)</td> <td>原子炉格納容器圧力</td> <td>主要パラメータの他チャンネル 格納容器圧力 (AM用) 格納容器内温度</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>(原子炉補機冷却水サージタンク水位)</td> <td>原子炉補機冷却水サージタンク水位</td> <td>主要パラメータの他チャンネル 格納容器再循環ユニット 入口温度/出口温度</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (AM用)</td> <td>—</td> <td>原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型)</td> <td>可搬型</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度)</td> <td>可搬型</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td>主蒸気ライン圧力*3</td> <td>主蒸気ライン圧力</td> <td>主要パラメータの他チャンネル 又はループ 1次冷却材温度 (広域-低温側) 1次冷却材温度 (広域-高温側)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位 (狭域)*1</td> <td>蒸気発生器水位 (狭域)</td> <td>主要パラメータの他チャンネル 蒸気発生器水位 (広域) 1次冷却材温度 (広域-低温側) 1次冷却材温度 (広域-高温側)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td>蒸気発生器水位 (広域)</td> <td>蒸気発生器水位 (広域)</td> <td>蒸気発生器水位 (狭域) 1次冷却材温度 (広域-低温側) 1次冷却材温度 (広域-高温側)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>(補助給水流量)</td> <td>補助給水流量</td> <td>補助給水水位 蒸気発生器水位 (広域) 蒸気発生器水位 (狭域)</td> <td>常設</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：重大事故防止設備以外の重大事故等対処設備が有する機能については、その代替機能を有する設計基準事故対処設備がないため「—」とする。          *2：( ) 付の設備は、重大事故等時に設計基準対象施設としての機能を期待する設計基準対象施設であり、共通要因による機能喪失を想定していない。          *3：常用計器としての計装設備。個数と設置場所を添付資料1に示す。</p>	機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等*1、*2	機能を代替する主要な重大事故対処設備 (既設+新設)	主要設備の計画が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設可搬型	最終ヒートシンクの確保	(原子炉格納容器圧力)	原子炉格納容器圧力	主要パラメータの他チャンネル 格納容器圧力 (AM用) 格納容器内温度	常設	(原子炉補機冷却水サージタンク水位)	原子炉補機冷却水サージタンク水位	主要パラメータの他チャンネル 格納容器再循環ユニット 入口温度/出口温度	常設	原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (AM用)	—	原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型)	可搬型	—	—	可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度)	可搬型	最終ヒートシンクの確保	主蒸気ライン圧力*3	主蒸気ライン圧力	主要パラメータの他チャンネル 又はループ 1次冷却材温度 (広域-低温側) 1次冷却材温度 (広域-高温側)	常設	蒸気発生器水位 (狭域)*1	蒸気発生器水位 (狭域)	主要パラメータの他チャンネル 蒸気発生器水位 (広域) 1次冷却材温度 (広域-低温側) 1次冷却材温度 (広域-高温側)	常設	最終ヒートシンクの確保	蒸気発生器水位 (広域)	蒸気発生器水位 (広域)	蒸気発生器水位 (狭域) 1次冷却材温度 (広域-低温側) 1次冷却材温度 (広域-高温側)	常設	(補助給水流量)	補助給水流量	補助給水水位 蒸気発生器水位 (広域) 蒸気発生器水位 (狭域)	常設
機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等*1、*2	機能を代替する主要な重大事故対処設備 (既設+新設)	主要設備の計画が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設可搬型																																																																																																																																												
原子炉格納容器内の放射線量率	(格納容器内雰囲気放射線モニタ(D/W)) 格納容器雰囲気放射線モニタ(S/C) (格納容器内雰囲気放射線モニタ(S/C)) 格納容器雰囲気放射線モニタ(S/C)	格納容器内雰囲気放射線モニタ(D/W) 格納容器内雰囲気放射線モニタ(S/C)	主要パラメータの他チャンネル	常設																																																																																																																																												
本機界の維持又は監視	(起動循環モニタ) 平均出力領域モニタ (平均出力領域モニタ) 起動循環モニタ	起動循環モニタ 平均出力領域モニタ 主要パラメータの他チャンネル 起動循環モニタ	主要パラメータの他チャンネル	常設																																																																																																																																												
最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却系)	—	サブプレッションプール水温度 残留熱除去系熱交換器入口温度	主要パラメータの他チャンネル 圧力制御室内空気温度	常設																																																																																																																																												
	—	—	サブプレッションプール水温度 圧力制御室水位 原子炉水位 (広管域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広管域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉圧力容器温度 原子炉格納容器下部水位 ドライウェル水位 ドライウェル温度 ドライウェル圧力 圧力制御室圧力	常設																																																																																																																																												
機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等*1、*2	機能を代替する主要な重大事故対処設備 (既設+新設)	主要設備の計画が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設可搬型																																																																																																																																												
最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力高がし装置)	残留熱除去系熱交換器入口温度	フィルタ装置入口圧力 (広管域)	ドライウェル圧力 圧力制御室圧力	常設																																																																																																																																												
	残留熱除去系熱交換器出口温度	フィルタ装置出口圧力 (広管域)	ドライウェル圧力 圧力制御室圧力	常設																																																																																																																																												
	残留熱除去系ポンプ出口流量	フィルタ装置流量	主要パラメータの他チャンネル	常設																																																																																																																																												
	—	フィルタ装置出口放射線モニタ フィルタ装置出口水素濃度	主要パラメータの他チャンネル 格納容器内水素濃度(D/W) 格納容器内水素濃度(S/C)	常設																																																																																																																																												
最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化バント系)	残留熱除去系熱交換器入口温度	耐圧強化バント系放射線モニタ	主要パラメータの他チャンネル	常設																																																																																																																																												
	残留熱除去系熱交換器出口温度	—	—	—																																																																																																																																												
最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系)	(残留熱除去系熱交換器入口温度)	残留熱除去系熱交換器入口温度	原子炉圧力容器温度 サブプレッションプール水温度	常設																																																																																																																																												
	(残留熱除去系熱交換器出口温度)	残留熱除去系熱交換器出口温度	残留熱除去系熱交換器入口温度 原子炉補機冷却水系新流量 残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量	常設																																																																																																																																												
最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系)	(残留熱除去系ポンプ出口流量)	残留熱除去系ポンプ出口流量	圧力制御室水位 残留熱除去系ポンプ出口圧力	常設																																																																																																																																												
	—	—	—	—																																																																																																																																												
機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等*1、*2	機能を代替する主要な重大事故対処設備 (既設+新設)	主要設備の計画が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設可搬型																																																																																																																																												
原子炉格納容器内の放射線量率	(格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)) (格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ))	格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ) 格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)	主要パラメータの他チャンネル 格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)	常設																																																																																																																																												
本機界の維持又は監視	(出力領域中性子束)	出力領域中性子束	主要パラメータの他チャンネル 中間領域中性子束 1次冷却材温度 (広域-高温側) 1次冷却材温度 (広域-低温側) ほうげんタンク水位	常設																																																																																																																																												
	(中間領域中性子束)	中間領域中性子束	主要パラメータの他チャンネル 出力領域中性子束 中性子層領域中性子束 ほうげんタンク水位	常設																																																																																																																																												
最終ヒートシンクの確保	(中性子層領域中性子束)	中性子層領域中性子束	主要パラメータの他チャンネル 中間領域中性子束 ほうげんタンク水位	常設																																																																																																																																												
	—	—	—	—																																																																																																																																												
機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等*1、*2	機能を代替する主要な重大事故対処設備 (既設+新設)	主要設備の計画が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設可搬型																																																																																																																																												
最終ヒートシンクの確保	(原子炉格納容器圧力)	原子炉格納容器圧力	主要パラメータの他チャンネル 格納容器圧力 (AM用) 格納容器内温度	常設																																																																																																																																												
	(原子炉補機冷却水サージタンク水位)	原子炉補機冷却水サージタンク水位	主要パラメータの他チャンネル 格納容器再循環ユニット 入口温度/出口温度	常設																																																																																																																																												
	原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (AM用)	—	原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型)	可搬型																																																																																																																																												
	—	—	可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度)	可搬型																																																																																																																																												
最終ヒートシンクの確保	主蒸気ライン圧力*3	主蒸気ライン圧力	主要パラメータの他チャンネル 又はループ 1次冷却材温度 (広域-低温側) 1次冷却材温度 (広域-高温側)	常設																																																																																																																																												
	蒸気発生器水位 (狭域)*1	蒸気発生器水位 (狭域)	主要パラメータの他チャンネル 蒸気発生器水位 (広域) 1次冷却材温度 (広域-低温側) 1次冷却材温度 (広域-高温側)	常設																																																																																																																																												
最終ヒートシンクの確保	蒸気発生器水位 (広域)	蒸気発生器水位 (広域)	蒸気発生器水位 (狭域) 1次冷却材温度 (広域-低温側) 1次冷却材温度 (広域-高温側)	常設																																																																																																																																												
	(補助給水流量)	補助給水流量	補助給水水位 蒸気発生器水位 (広域) 蒸気発生器水位 (狭域)	常設																																																																																																																																												



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																
<p>(第58条) 計装設備 (8/11)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>機能喪失を想定する主要な設計基準事故対応設備等<sup>*1, *2</sup></th> <th>機能を代替する主要な重大事故等対応設備 (既設+新設)</th> <th>主要設備の計測が困難となった場合の重要代替監視パラメータ</th> <th>常設可搬型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">格納容器パイプ内の監視 (原子炉圧力容器内の状態)</td> <td>(原子炉水位 (広帯域)) (原子炉水位 (燃料域))</td> <td>原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域)</td> <td>主要パラメータの他チャンネル 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>(原子炉圧力)</td> <td>原子炉圧力</td> <td>主要パラメータの他チャンネル 原子炉圧力 (SA) 原子炉圧力 (広帯域) 原子炉圧力 (燃料域) 原子炉圧力 (SA燃料域) 原子炉圧力 (SA燃料域) 原子炉圧力容器温度</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>格納容器パイプ内の監視 (原子炉圧力容器内の状態)</td> <td>原子炉圧力</td> <td>原子炉圧力 (SA)</td> <td>主要パラメータの他チャンネル 原子炉圧力 原子炉圧力 (広帯域) 原子炉圧力 (燃料域) 原子炉圧力 (SA燃料域) 原子炉圧力 (SA燃料域) 原子炉圧力容器温度</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>格納容器パイプ内の監視 (原子炉圧力容器内の状態)</td> <td>ドライウェル温度<sup>*1</sup> ドライウェル圧力<sup>*2</sup></td> <td>ドライウェル温度 ドライウェル圧力</td> <td>主要パラメータの他抽出器 ドライウェル圧力 圧力制御室圧力 ドライウェル温度</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>格納容器パイプ内の監視 (原子炉圧力容器内の状態)</td> <td>高圧炉心スプレイズポンプ出口圧力 (残留熱除去系ポンプ出口圧力) (低圧炉心スプレイズポンプ出口圧力)</td> <td>高圧炉心スプレイズポンプ出口圧力 残留熱除去系ポンプ出口圧力 低圧炉心スプレイズポンプ出口圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力 (SA) 原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)</td> <td>常設</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：重大事故防止設備以外の重大事故等対応設備が有する機能については、その代替機能を有する設計基準事故対応設備がないため「-」とする。          *2：( ) 付の設備は、重大事故等時に設計基準対象施設としての機能を期待する設計基準対象施設であり、共通原因による機能喪失を想定していない。          *3：常用計器としての計装設備。個数と設置場所を添付資料1に示す。</p>		機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対応設備等 <sup>*1, *2</sup>	機能を代替する主要な重大事故等対応設備 (既設+新設)	主要設備の計測が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設可搬型	格納容器パイプ内の監視 (原子炉圧力容器内の状態)	(原子炉水位 (広帯域)) (原子炉水位 (燃料域))	原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域)	主要パラメータの他チャンネル 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)	常設	(原子炉圧力)	原子炉圧力	主要パラメータの他チャンネル 原子炉圧力 (SA) 原子炉圧力 (広帯域) 原子炉圧力 (燃料域) 原子炉圧力 (SA燃料域) 原子炉圧力 (SA燃料域) 原子炉圧力容器温度	常設	格納容器パイプ内の監視 (原子炉圧力容器内の状態)	原子炉圧力	原子炉圧力 (SA)	主要パラメータの他チャンネル 原子炉圧力 原子炉圧力 (広帯域) 原子炉圧力 (燃料域) 原子炉圧力 (SA燃料域) 原子炉圧力 (SA燃料域) 原子炉圧力容器温度	常設	格納容器パイプ内の監視 (原子炉圧力容器内の状態)	ドライウェル温度 <sup>*1</sup> ドライウェル圧力 <sup>*2</sup>	ドライウェル温度 ドライウェル圧力	主要パラメータの他抽出器 ドライウェル圧力 圧力制御室圧力 ドライウェル温度	常設	格納容器パイプ内の監視 (原子炉圧力容器内の状態)	高圧炉心スプレイズポンプ出口圧力 (残留熱除去系ポンプ出口圧力) (低圧炉心スプレイズポンプ出口圧力)	高圧炉心スプレイズポンプ出口圧力 残留熱除去系ポンプ出口圧力 低圧炉心スプレイズポンプ出口圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA) 原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)	常設	<p>(第58条) 計装設備 (7/10)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>機能喪失を想定する主要な設計基準事故対応設備等<sup>*1, *2</sup></th> <th>機能を代替する主要な重大事故等対応設備 (既設+新設)</th> <th>主要設備の計測が困難となった場合の重要代替監視パラメータ</th> <th>常設可搬型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">格納容器パイプ内の監視</td> <td>(蒸気発生器水位 (狭域))</td> <td>蒸気発生器水位 (狭域)</td> <td>主要パラメータの他チャンネル 蒸気発生器水位 (広域) 主蒸気ライン圧力 補助給水流量</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>主蒸気ライン圧力<sup>*3</sup></td> <td>主蒸気ライン圧力</td> <td>主要パラメータの他チャンネル 蒸気発生器水位 (広域) 補助給水流量</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">格納容器パイプ内の監視</td> <td>(1次冷却材圧力 (広域))</td> <td>1次冷却材圧力 (広域)</td> <td>主要パラメータの他グループ 蒸気発生器水位 (狭域) 主蒸気ライン圧力 格納容器再循環サブ水位 (広域) 1次冷却材温度 (広域-高温側) 1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> <td>常設</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：重大事故防止設備以外の重大事故等対応設備が有する機能については、その代替機能を有する設計基準事故対応設備がないため「-」とする。          *2：( ) 付の設備は、重大事故等時に設計基準対象施設としての機能を期待する設計基準対象施設であり、共通原因による機能喪失を想定していない。          *3：常用計器としての計装設備。個数と設置場所を添付資料1に示す。</p>		機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対応設備等 <sup>*1, *2</sup>	機能を代替する主要な重大事故等対応設備 (既設+新設)	主要設備の計測が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設可搬型	格納容器パイプ内の監視	(蒸気発生器水位 (狭域))	蒸気発生器水位 (狭域)	主要パラメータの他チャンネル 蒸気発生器水位 (広域) 主蒸気ライン圧力 補助給水流量	常設	主蒸気ライン圧力 <sup>*3</sup>	主蒸気ライン圧力	主要パラメータの他チャンネル 蒸気発生器水位 (広域) 補助給水流量	常設	格納容器パイプ内の監視	(1次冷却材圧力 (広域))	1次冷却材圧力 (広域)	主要パラメータの他グループ 蒸気発生器水位 (狭域) 主蒸気ライン圧力 格納容器再循環サブ水位 (広域) 1次冷却材温度 (広域-高温側) 1次冷却材温度 (広域-低温側)	常設
機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対応設備等 <sup>*1, *2</sup>	機能を代替する主要な重大事故等対応設備 (既設+新設)	主要設備の計測が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設可搬型																																															
格納容器パイプ内の監視 (原子炉圧力容器内の状態)	(原子炉水位 (広帯域)) (原子炉水位 (燃料域))	原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域)	主要パラメータの他チャンネル 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)	常設																																															
	(原子炉圧力)	原子炉圧力	主要パラメータの他チャンネル 原子炉圧力 (SA) 原子炉圧力 (広帯域) 原子炉圧力 (燃料域) 原子炉圧力 (SA燃料域) 原子炉圧力 (SA燃料域) 原子炉圧力容器温度	常設																																															
格納容器パイプ内の監視 (原子炉圧力容器内の状態)	原子炉圧力	原子炉圧力 (SA)	主要パラメータの他チャンネル 原子炉圧力 原子炉圧力 (広帯域) 原子炉圧力 (燃料域) 原子炉圧力 (SA燃料域) 原子炉圧力 (SA燃料域) 原子炉圧力容器温度	常設																																															
格納容器パイプ内の監視 (原子炉圧力容器内の状態)	ドライウェル温度 <sup>*1</sup> ドライウェル圧力 <sup>*2</sup>	ドライウェル温度 ドライウェル圧力	主要パラメータの他抽出器 ドライウェル圧力 圧力制御室圧力 ドライウェル温度	常設																																															
格納容器パイプ内の監視 (原子炉圧力容器内の状態)	高圧炉心スプレイズポンプ出口圧力 (残留熱除去系ポンプ出口圧力) (低圧炉心スプレイズポンプ出口圧力)	高圧炉心スプレイズポンプ出口圧力 残留熱除去系ポンプ出口圧力 低圧炉心スプレイズポンプ出口圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA) 原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)	常設																																															
機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対応設備等 <sup>*1, *2</sup>	機能を代替する主要な重大事故等対応設備 (既設+新設)	主要設備の計測が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設可搬型																																															
格納容器パイプ内の監視	(蒸気発生器水位 (狭域))	蒸気発生器水位 (狭域)	主要パラメータの他チャンネル 蒸気発生器水位 (広域) 主蒸気ライン圧力 補助給水流量	常設																																															
	主蒸気ライン圧力 <sup>*3</sup>	主蒸気ライン圧力	主要パラメータの他チャンネル 蒸気発生器水位 (広域) 補助給水流量	常設																																															
格納容器パイプ内の監視	(1次冷却材圧力 (広域))	1次冷却材圧力 (広域)	主要パラメータの他グループ 蒸気発生器水位 (狭域) 主蒸気ライン圧力 格納容器再循環サブ水位 (広域) 1次冷却材温度 (広域-高温側) 1次冷却材温度 (広域-低温側)	常設																																															
	<p>(第58条) 計装設備 (6/11)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>機能喪失を想定する主要な設計基準事故対応設備等<sup>*1, *2</sup></th> <th>機能を代替する主要な重大事故等対応設備 (既設+新設)</th> <th>主要設備の計測が困難となった場合の重要代替監視パラメータ</th> <th>常設可搬型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>圧力制御室水位</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> <td>高圧代替注水ポンプ出口流量 残留熱除去系ポンプ出口流量 残留熱除去系ヘッドスプレイズライン冷却流量 残留熱除去系ポンプ出口流量 (残留熱除去系系格納容器冷却ライン冷却流量) 低圧熱源低圧注水ポンプ出口流量 原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量 高圧炉心スプレイズ系ポンプ出口流量 原子炉格納容器下部注水流量 高圧代替注水ポンプ出口圧力 高圧熱源低圧注水ポンプ出口圧力 原子炉隔離時冷却系ポンプ出口圧力 高圧炉心スプレイズ系ポンプ出口圧力 復水移送ポンプ出口圧力 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域)</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>圧力制御室水位<sup>*2</sup></td> <td>圧力制御室水位</td> <td>主要パラメータの他チャンネル 代替熱源冷却ポンプ出口流量 残留熱除去系ポンプ出口流量 低圧炉心スプレイズ系ポンプ出口流量</td> <td>常設</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：重大事故防止設備以外の重大事故等対応設備が有する機能については、その代替機能を有する設計基準事故対応設備がないため「-」とする。          *2：( ) 付の設備は、重大事故等時に設計基準対象施設としての機能を期待する設計基準対象施設であり、共通原因による機能喪失を想定していない。          *3：常用計器としての計装設備。個数と設置場所を添付資料1に示す。</p>		機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対応設備等 <sup>*1, *2</sup>	機能を代替する主要な重大事故等対応設備 (既設+新設)	主要設備の計測が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設可搬型	水源の確保	圧力制御室水位	復水貯蔵タンク水位	高圧代替注水ポンプ出口流量 残留熱除去系ポンプ出口流量 残留熱除去系ヘッドスプレイズライン冷却流量 残留熱除去系ポンプ出口流量 (残留熱除去系系格納容器冷却ライン冷却流量) 低圧熱源低圧注水ポンプ出口流量 原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量 高圧炉心スプレイズ系ポンプ出口流量 原子炉格納容器下部注水流量 高圧代替注水ポンプ出口圧力 高圧熱源低圧注水ポンプ出口圧力 原子炉隔離時冷却系ポンプ出口圧力 高圧炉心スプレイズ系ポンプ出口圧力 復水移送ポンプ出口圧力 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域)	常設	圧力制御室水位 <sup>*2</sup>	圧力制御室水位	主要パラメータの他チャンネル 代替熱源冷却ポンプ出口流量 残留熱除去系ポンプ出口流量 低圧炉心スプレイズ系ポンプ出口流量	常設	<p>(第58条) 計装設備 (8/10)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>機能喪失を想定する主要な設計基準事故対応設備等<sup>*1, *2</sup></th> <th>機能を代替する主要な重大事故等対応設備 (既設+新設)</th> <th>主要設備の計測が困難となった場合の重要代替監視パラメータ</th> <th>常設可搬型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>(燃料取替用水ピット水位)</td> <td>燃料取替用水ピット水位</td> <td>主要パラメータの他チャンネル 格納容器再循環サブ水位 (広域) B-格納容器スプレイズ冷却器出口積算流量(AM期) 高圧注入流量 低圧注入流量 代替格納容器スプレイズポンプ出口積算流量</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>(補助給水ピット水位)</td> <td>補助給水ピット水位</td> <td>主要パラメータの他チャンネル 補助給水流量 代替格納容器スプレイズポンプ出口積算流量</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>(ほう酸タンク水位)</td> <td>ほう酸タンク水位</td> <td>主要パラメータの他チャンネル 出力領域中性子束 中間領域中性子束 中性子観測域中性子束</td> <td>常設</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：重大事故防止設備以外の重大事故等対応設備が有する機能については、その代替機能を有する設計基準事故対応設備がないため「-」とする。          *2：( ) 付の設備は、重大事故等時に設計基準対象施設としての機能を期待する設計基準対象施設であり、共通原因による機能喪失を想定していない。          *3：常用計器としての計装設備。個数と設置場所を添付資料1に示す。</p>		機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対応設備等 <sup>*1, *2</sup>	機能を代替する主要な重大事故等対応設備 (既設+新設)	主要設備の計測が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設可搬型	水源の確保	(燃料取替用水ピット水位)	燃料取替用水ピット水位	主要パラメータの他チャンネル 格納容器再循環サブ水位 (広域) B-格納容器スプレイズ冷却器出口積算流量(AM期) 高圧注入流量 低圧注入流量 代替格納容器スプレイズポンプ出口積算流量	常設	(補助給水ピット水位)	補助給水ピット水位	主要パラメータの他チャンネル 補助給水流量 代替格納容器スプレイズポンプ出口積算流量	常設	水源の確保	(ほう酸タンク水位)	ほう酸タンク水位	主要パラメータの他チャンネル 出力領域中性子束 中間領域中性子束 中性子観測域中性子束	常設														
機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対応設備等 <sup>*1, *2</sup>	機能を代替する主要な重大事故等対応設備 (既設+新設)	主要設備の計測が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設可搬型																																															
水源の確保	圧力制御室水位	復水貯蔵タンク水位	高圧代替注水ポンプ出口流量 残留熱除去系ポンプ出口流量 残留熱除去系ヘッドスプレイズライン冷却流量 残留熱除去系ポンプ出口流量 (残留熱除去系系格納容器冷却ライン冷却流量) 低圧熱源低圧注水ポンプ出口流量 原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量 高圧炉心スプレイズ系ポンプ出口流量 原子炉格納容器下部注水流量 高圧代替注水ポンプ出口圧力 高圧熱源低圧注水ポンプ出口圧力 原子炉隔離時冷却系ポンプ出口圧力 高圧炉心スプレイズ系ポンプ出口圧力 復水移送ポンプ出口圧力 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (SA燃料域)	常設																																															
	圧力制御室水位 <sup>*2</sup>	圧力制御室水位	主要パラメータの他チャンネル 代替熱源冷却ポンプ出口流量 残留熱除去系ポンプ出口流量 低圧炉心スプレイズ系ポンプ出口流量	常設																																															
機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対応設備等 <sup>*1, *2</sup>	機能を代替する主要な重大事故等対応設備 (既設+新設)	主要設備の計測が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設可搬型																																															
水源の確保	(燃料取替用水ピット水位)	燃料取替用水ピット水位	主要パラメータの他チャンネル 格納容器再循環サブ水位 (広域) B-格納容器スプレイズ冷却器出口積算流量(AM期) 高圧注入流量 低圧注入流量 代替格納容器スプレイズポンプ出口積算流量	常設																																															
	(補助給水ピット水位)	補助給水ピット水位	主要パラメータの他チャンネル 補助給水流量 代替格納容器スプレイズポンプ出口積算流量	常設																																															
水源の確保	(ほう酸タンク水位)	ほう酸タンク水位	主要パラメータの他チャンネル 出力領域中性子束 中間領域中性子束 中性子観測域中性子束	常設																																															

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																								
<p>(第50条) 計装設備 (10/11)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等*1、*2</th> <th>機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)</th> <th>主要設備の計画が困難となった場合の重要代替監視パラメータ</th> <th>常設/可搬型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉建屋内の水素濃度</td> <td>—</td> <td>原子炉建屋内水素濃度</td> <td>主要パラメータの塩化メタンセル特約細目式水素再結合装置動作監視装置</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の酸素濃度 (格納容器内雰囲気酸素濃度)</td> <td>—</td> <td>格納容器内雰囲気酸素濃度</td> <td>主要パラメータの塩化メタンセル特約細目式酸素再結合装置モニタ (O<sub>2</sub>/%) 格納容器内雰囲気放射線モニタ (S/C) ドライウェル圧力 圧力制御圧力</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プールの水位/温度 (ガイドバルス式) 燃料貯蔵プール水位 燃料貯蔵プール浄化系ポンプ入口流量 燃料貯蔵プール流量</td> <td>—</td> <td>使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)</td> <td>使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式) 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量) 使用済燃料プール監視カメラ</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プールの監視</td> <td>—</td> <td>使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式) 燃料貯蔵プール水位/温度 (ガイドバルス式) 燃料貯蔵プール浄化系ポンプ入口流量 燃料貯蔵プール流量 燃料貯蔵プール放射線モニタ 原子炉建屋原子炉排気監視モニタ 燃料貯蔵プール放射線モニタ</td> <td>使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式) 使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルス式) 使用済燃料プール監視カメラ</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プールの水位/温度 (ガイドバルス式) 燃料貯蔵プール水位 燃料貯蔵プール浄化系ポンプ入口流量 燃料貯蔵プール流量</td> <td>—</td> <td>使用済燃料プール監視カメラ</td> <td>使用済燃料プール監視カメラ</td> <td>常設</td> </tr> </tbody> </table>	機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等*1、*2	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	主要設備の計画が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設/可搬型	原子炉建屋内の水素濃度	—	原子炉建屋内水素濃度	主要パラメータの塩化メタンセル特約細目式水素再結合装置動作監視装置	常設	原子炉格納容器内の酸素濃度 (格納容器内雰囲気酸素濃度)	—	格納容器内雰囲気酸素濃度	主要パラメータの塩化メタンセル特約細目式酸素再結合装置モニタ (O <sub>2</sub> /%) 格納容器内雰囲気放射線モニタ (S/C) ドライウェル圧力 圧力制御圧力	常設	使用済燃料プールの水位/温度 (ガイドバルス式) 燃料貯蔵プール水位 燃料貯蔵プール浄化系ポンプ入口流量 燃料貯蔵プール流量	—	使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)	使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式) 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量) 使用済燃料プール監視カメラ	常設	使用済燃料プールの監視	—	使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式) 燃料貯蔵プール水位/温度 (ガイドバルス式) 燃料貯蔵プール浄化系ポンプ入口流量 燃料貯蔵プール流量 燃料貯蔵プール放射線モニタ 原子炉建屋原子炉排気監視モニタ 燃料貯蔵プール放射線モニタ	使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式) 使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルス式) 使用済燃料プール監視カメラ	常設	使用済燃料プールの水位/温度 (ガイドバルス式) 燃料貯蔵プール水位 燃料貯蔵プール浄化系ポンプ入口流量 燃料貯蔵プール流量	—	使用済燃料プール監視カメラ	使用済燃料プール監視カメラ	常設	<p>(第58条) 計装設備 (9/10)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等*1、*2</th> <th>機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)</th> <th>主要設備の計画が困難となった場合の重要代替監視パラメータ</th> <th>常設/可搬型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>使用済燃料ビット水位</td> <td>—</td> <td>使用済燃料ビット水位 (AM用)</td> <td>使用済燃料ビット水位 (可搬型) 使用済燃料ビット可搬型エリアモニタ 使用済燃料ビット監視カメラ</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ビット温度</td> <td>—</td> <td>使用済燃料ビット温度 (AM用)</td> <td>使用済燃料ビット温度 (可搬型) 使用済燃料ビット可搬型エリアモニタ 使用済燃料ビット監視カメラ</td> <td>可搬型</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ビット監視</td> <td>—</td> <td>使用済燃料ビット監視カメラ</td> <td>主要パラメータの予備 使用済燃料ビット水位 (AM用) 使用済燃料ビット可搬型エリアモニタ 使用済燃料ビット監視カメラ</td> <td>可搬型</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>使用済燃料ビット監視カメラ 使用済燃料ビット温度 使用済燃料ビット可搬型エリアモニタ</td> <td>常設 (可搬型)</td> </tr> </tbody> </table>	機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等*1、*2	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	主要設備の計画が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設/可搬型	使用済燃料ビット水位	—	使用済燃料ビット水位 (AM用)	使用済燃料ビット水位 (可搬型) 使用済燃料ビット可搬型エリアモニタ 使用済燃料ビット監視カメラ	常設	使用済燃料ビット温度	—	使用済燃料ビット温度 (AM用)	使用済燃料ビット温度 (可搬型) 使用済燃料ビット可搬型エリアモニタ 使用済燃料ビット監視カメラ	可搬型	使用済燃料ビット監視	—	使用済燃料ビット監視カメラ	主要パラメータの予備 使用済燃料ビット水位 (AM用) 使用済燃料ビット可搬型エリアモニタ 使用済燃料ビット監視カメラ	可搬型	—	—	—	使用済燃料ビット監視カメラ 使用済燃料ビット温度 使用済燃料ビット可搬型エリアモニタ	常設 (可搬型)	<p>(第56条) 計装設備 (11/11)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等*1、*2</th> <th>機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)</th> <th>主要設備の計画が困難となった場合の重要代替監視パラメータ</th> <th>常設/可搬型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>発電所内の通信連絡</td> <td>—</td> <td>データ伝送設備 (発電所内)</td> <td>—</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>温度、圧力、水位、注水量の計測・監視</td> <td>各計器</td> <td>可搬型計測器</td> <td>—</td> <td>可搬型</td> </tr> <tr> <td rowspan="12">その他**</td> <td>(6-2D 母線電圧)</td> <td>6-2C 母線電圧</td> <td>—</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>(6-2D 母線電圧)</td> <td>6-2D 母線電圧</td> <td>—</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>(6-2B 母線電圧)</td> <td>6-2B 母線電圧</td> <td>—</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>(4-2C 母線電圧)</td> <td>4-2C 母線電圧</td> <td>—</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>(4-2D 母線電圧)</td> <td>4-2D 母線電圧</td> <td>—</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>6-2C 母線電圧</td> <td>6-2F-1 母線電圧</td> <td>—</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>6-2D 母線電圧</td> <td>6-2F-2 母線電圧</td> <td>—</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>6-2B 母線電圧</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>(125V 高圧主母線 2A 電圧)</td> <td>125V 高圧主母線 2A 電圧</td> <td>—</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>(125V 高圧主母線 2B 電圧)</td> <td>125V 高圧主母線 2B 電圧</td> <td>—</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>(HPCS125V 高圧主母線電圧)</td> <td>HPCS125V 高圧主母線電圧</td> <td>—</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>125V 高圧主母線 2A 電圧</td> <td>125V 高圧主母線 2A-1 電圧</td> <td>—</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>125V 高圧主母線 2B 電圧</td> <td>125V 高圧主母線 2B-1 電圧</td> <td>—</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>(250V 高圧主母線電圧)</td> <td>250V 高圧主母線電圧</td> <td>—</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>(高圧空素ガス供給系 ADS 入口圧力)</td> <td>高圧空素ガス供給系 ADS 入口圧力</td> <td>—</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>(高圧空素ガス供給系 ADS 入口圧力)</td> <td>代替高圧空素ガス供給系空素ガス供給止め弁入口圧力</td> <td>—</td> <td>常設</td> </tr> </tbody> </table>	機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等*1、*2	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	主要設備の計画が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設/可搬型	発電所内の通信連絡	—	データ伝送設備 (発電所内)	—	常設	温度、圧力、水位、注水量の計測・監視	各計器	可搬型計測器	—	可搬型	その他**	(6-2D 母線電圧)	6-2C 母線電圧	—	常設	(6-2D 母線電圧)	6-2D 母線電圧	—	常設	(6-2B 母線電圧)	6-2B 母線電圧	—	常設	(4-2C 母線電圧)	4-2C 母線電圧	—	常設	(4-2D 母線電圧)	4-2D 母線電圧	—	常設	6-2C 母線電圧	6-2F-1 母線電圧	—	常設	6-2D 母線電圧	6-2F-2 母線電圧	—	常設	6-2B 母線電圧	—	—	—	—	(125V 高圧主母線 2A 電圧)	125V 高圧主母線 2A 電圧	—	常設	(125V 高圧主母線 2B 電圧)	125V 高圧主母線 2B 電圧	—	常設	(HPCS125V 高圧主母線電圧)	HPCS125V 高圧主母線電圧	—	常設	125V 高圧主母線 2A 電圧	125V 高圧主母線 2A-1 電圧	—	常設	125V 高圧主母線 2B 電圧	125V 高圧主母線 2B-1 電圧	—	常設	(250V 高圧主母線電圧)	250V 高圧主母線電圧	—	常設	(高圧空素ガス供給系 ADS 入口圧力)	高圧空素ガス供給系 ADS 入口圧力	—	常設	(高圧空素ガス供給系 ADS 入口圧力)	代替高圧空素ガス供給系空素ガス供給止め弁入口圧力	—	常設	<p>注記 *1：重大事故防止設備以外の重大事故等対処設備が有する機能については、その代替機能を有する設計基準事故対処設備がないため「—」とする。          *2：( ) 付の設備は、重大事故等時に設計基準対象施設としての機能を期待する設計基準対象施設であり、共通要因による機能喪失を想定していない。          *3：重大事故等対処設備を活用する手順等の着目の判断基準として用いる補助パラメータ。</p>
機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等*1、*2	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	主要設備の計画が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設/可搬型																																																																																																																																							
原子炉建屋内の水素濃度	—	原子炉建屋内水素濃度	主要パラメータの塩化メタンセル特約細目式水素再結合装置動作監視装置	常設																																																																																																																																							
原子炉格納容器内の酸素濃度 (格納容器内雰囲気酸素濃度)	—	格納容器内雰囲気酸素濃度	主要パラメータの塩化メタンセル特約細目式酸素再結合装置モニタ (O <sub>2</sub> /%) 格納容器内雰囲気放射線モニタ (S/C) ドライウェル圧力 圧力制御圧力	常設																																																																																																																																							
使用済燃料プールの水位/温度 (ガイドバルス式) 燃料貯蔵プール水位 燃料貯蔵プール浄化系ポンプ入口流量 燃料貯蔵プール流量	—	使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)	使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式) 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量) 使用済燃料プール監視カメラ	常設																																																																																																																																							
使用済燃料プールの監視	—	使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式) 燃料貯蔵プール水位/温度 (ガイドバルス式) 燃料貯蔵プール浄化系ポンプ入口流量 燃料貯蔵プール流量 燃料貯蔵プール放射線モニタ 原子炉建屋原子炉排気監視モニタ 燃料貯蔵プール放射線モニタ	使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式) 使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルス式) 使用済燃料プール監視カメラ	常設																																																																																																																																							
使用済燃料プールの水位/温度 (ガイドバルス式) 燃料貯蔵プール水位 燃料貯蔵プール浄化系ポンプ入口流量 燃料貯蔵プール流量	—	使用済燃料プール監視カメラ	使用済燃料プール監視カメラ	常設																																																																																																																																							
機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等*1、*2	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	主要設備の計画が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設/可搬型																																																																																																																																							
使用済燃料ビット水位	—	使用済燃料ビット水位 (AM用)	使用済燃料ビット水位 (可搬型) 使用済燃料ビット可搬型エリアモニタ 使用済燃料ビット監視カメラ	常設																																																																																																																																							
使用済燃料ビット温度	—	使用済燃料ビット温度 (AM用)	使用済燃料ビット温度 (可搬型) 使用済燃料ビット可搬型エリアモニタ 使用済燃料ビット監視カメラ	可搬型																																																																																																																																							
使用済燃料ビット監視	—	使用済燃料ビット監視カメラ	主要パラメータの予備 使用済燃料ビット水位 (AM用) 使用済燃料ビット可搬型エリアモニタ 使用済燃料ビット監視カメラ	可搬型																																																																																																																																							
—	—	—	使用済燃料ビット監視カメラ 使用済燃料ビット温度 使用済燃料ビット可搬型エリアモニタ	常設 (可搬型)																																																																																																																																							
機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等*1、*2	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	主要設備の計画が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設/可搬型																																																																																																																																							
発電所内の通信連絡	—	データ伝送設備 (発電所内)	—	常設																																																																																																																																							
温度、圧力、水位、注水量の計測・監視	各計器	可搬型計測器	—	可搬型																																																																																																																																							
その他**	(6-2D 母線電圧)	6-2C 母線電圧	—	常設																																																																																																																																							
	(6-2D 母線電圧)	6-2D 母線電圧	—	常設																																																																																																																																							
	(6-2B 母線電圧)	6-2B 母線電圧	—	常設																																																																																																																																							
	(4-2C 母線電圧)	4-2C 母線電圧	—	常設																																																																																																																																							
	(4-2D 母線電圧)	4-2D 母線電圧	—	常設																																																																																																																																							
	6-2C 母線電圧	6-2F-1 母線電圧	—	常設																																																																																																																																							
	6-2D 母線電圧	6-2F-2 母線電圧	—	常設																																																																																																																																							
	6-2B 母線電圧	—	—	—	—																																																																																																																																						
	(125V 高圧主母線 2A 電圧)	125V 高圧主母線 2A 電圧	—	常設																																																																																																																																							
	(125V 高圧主母線 2B 電圧)	125V 高圧主母線 2B 電圧	—	常設																																																																																																																																							
	(HPCS125V 高圧主母線電圧)	HPCS125V 高圧主母線電圧	—	常設																																																																																																																																							
	125V 高圧主母線 2A 電圧	125V 高圧主母線 2A-1 電圧	—	常設																																																																																																																																							
125V 高圧主母線 2B 電圧	125V 高圧主母線 2B-1 電圧	—	常設																																																																																																																																								
(250V 高圧主母線電圧)	250V 高圧主母線電圧	—	常設																																																																																																																																								
(高圧空素ガス供給系 ADS 入口圧力)	高圧空素ガス供給系 ADS 入口圧力	—	常設																																																																																																																																								
(高圧空素ガス供給系 ADS 入口圧力)	代替高圧空素ガス供給系空素ガス供給止め弁入口圧力	—	常設																																																																																																																																								
<p>(第58条) 計装設備 (10/10)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等*1、*2</th> <th>機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)</th> <th>主要設備の計画が困難となった場合の重要代替監視パラメータ</th> <th>常設/可搬型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>発電所の通信連絡</td> <td>—</td> <td>データ伝送設備 (発電所内)</td> <td>—</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>温度、圧力、水位、注水量の計測・監視</td> <td>各計器</td> <td>可搬型計測器</td> <td>—</td> <td>可搬型</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">その他*3</td> <td>(6-A、B母線電圧)</td> <td>6-A、B母線電圧</td> <td>—</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>(A、B-1直流コントロールセンタ母線電圧)</td> <td>A、B-1直流コントロールセンタ母線電圧</td> <td>—</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>A-1高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量</td> <td>A-1高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 (AM用)</td> <td>—</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>A-1高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量</td> <td>A-1高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM用)</td> <td>—</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</td> <td>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)</td> <td>—</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量</td> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)</td> <td>—</td> <td>常設</td> </tr> </tbody> </table>	機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等*1、*2	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	主要設備の計画が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設/可搬型	発電所の通信連絡	—	データ伝送設備 (発電所内)	—	常設	温度、圧力、水位、注水量の計測・監視	各計器	可搬型計測器	—	可搬型	その他*3	(6-A、B母線電圧)	6-A、B母線電圧	—	常設	(A、B-1直流コントロールセンタ母線電圧)	A、B-1直流コントロールセンタ母線電圧	—	常設	A-1高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量	A-1高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 (AM用)	—	常設	A-1高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量	A-1高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM用)	—	常設	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)	—	常設	原子炉補機冷却水供給母管流量	原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)	—	常設	<p>注記 *1：重大事故防止設備以外の重大事故等対処設備が有する機能については、その代替機能を有する設計基準事故対処設備がないため「—」とする。          *2：( ) 付の設備は、重大事故等時に設計基準対象施設としての機能を期待する設計基準対象施設であり、共通要因による機能喪失を想定していない。          *3：重大事故等対処設備を活用する手順等の着目の判断基準として用いる補助パラメータ。</p>	<p>注記 *1：重大事故防止設備以外の重大事故等対処設備が有する機能については、その代替機能を有する設計基準事故対処設備がないため「—」とする。          *2：( ) 付の設備は、重大事故等時に設計基準対象施設としての機能を期待する設計基準対象施設であり、共通要因による機能喪失を想定していない。          *3：使用済燃料ビット監視カメラ空冷装置は可搬型重大事故等対処設備。</p>	<p>注記 *1：重大事故防止設備以外の重大事故等対処設備が有する機能については、その代替機能を有する設計基準事故対処設備がないため「—」とする。          *2：( ) 付の設備は、重大事故等時に設計基準対象施設としての機能を期待する設計基準対象施設であり、共通要因による機能喪失を想定していない。          *3：重大事故等対処設備を活用する手順等の着目の判断基準として用いる補助パラメータ。</p>																																																																																																
機能	機能喪失を想定する主要な設計基準事故対処設備等*1、*2	機能を代替する主要な重大事故等対処設備 (既設+新設)	主要設備の計画が困難となった場合の重要代替監視パラメータ	常設/可搬型																																																																																																																																							
発電所の通信連絡	—	データ伝送設備 (発電所内)	—	常設																																																																																																																																							
温度、圧力、水位、注水量の計測・監視	各計器	可搬型計測器	—	可搬型																																																																																																																																							
その他*3	(6-A、B母線電圧)	6-A、B母線電圧	—	常設																																																																																																																																							
	(A、B-1直流コントロールセンタ母線電圧)	A、B-1直流コントロールセンタ母線電圧	—	常設																																																																																																																																							
	A-1高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量	A-1高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 (AM用)	—	常設																																																																																																																																							
	A-1高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量	A-1高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM用)	—	常設																																																																																																																																							
	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)	—	常設																																																																																																																																							
原子炉補機冷却水供給母管流量	原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)	—	常設																																																																																																																																								

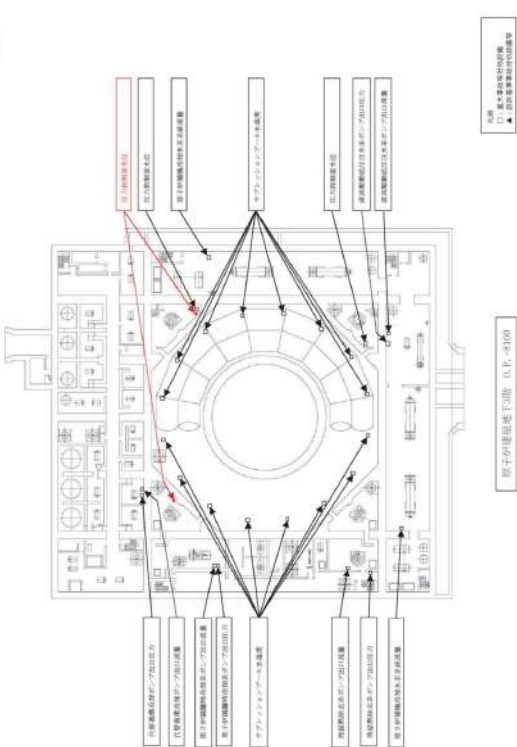
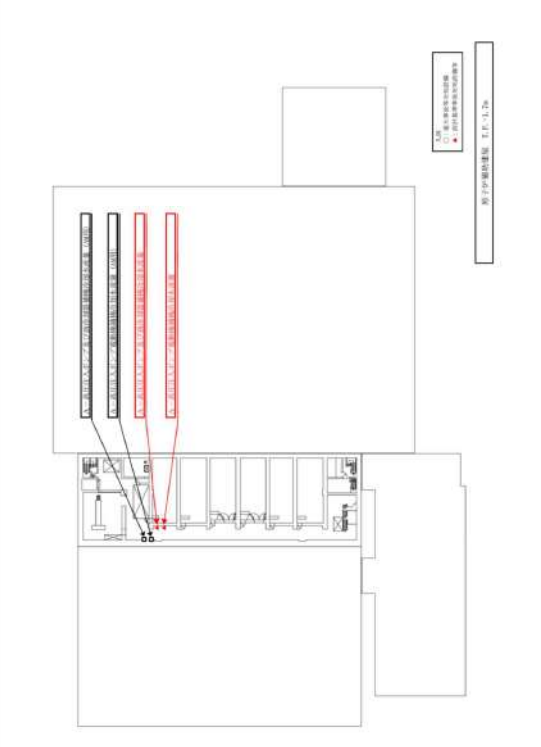
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																											
	<p style="text-align: center;">添付資料1</p> <p>設計基準対象施設及び常用計器としての計装設備の個数と設置場所について</p> <p>設計基準対象施設及び常用計器としての計装設備の個数と設置場所を表1及び図1に示す。</p> <p style="text-align: center;">表1 設計基準対象施設及び常用計器としての計装設備の個数と設置場所</p> <table border="1" data-bbox="674 416 1223 863"> <thead> <tr> <th>計装設備</th> <th>個数</th> <th>設置場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉圧力容器温度*</td> <td>14</td> <td>原子炉格納容器内 【図1(3/7)、(4/7)、(5/7)】</td> </tr> <tr> <td>ドライウェル温度</td> <td>40</td> <td>原子炉格納容器内 【図1(2/7)、(3/7)、(4/7)、(5/7)】</td> </tr> <tr> <td>ドライウェル圧力</td> <td>2</td> <td>原子炉建屋地上2階 【図1(5/7)】</td> </tr> <tr> <td>圧力抑制室圧力</td> <td>2</td> <td>原子炉建屋地下1階 【図1(3/7)】</td> </tr> <tr> <td>圧力抑制室水位</td> <td>2</td> <td>原子炉建屋地下3階 【図1(1/7)】</td> </tr> <tr> <td>燃料貯蔵プール水位</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地上3階 【図1(6/7)】</td> </tr> <tr> <td>燃料プール冷却浄化系ポンプ入口温度</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地上1階 【図1(4/7)】</td> </tr> <tr> <td>燃料貯蔵プール水温度</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地上3階 【図1(5/7)】</td> </tr> <tr> <td>燃料交換フロア放射線モニタ</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地上3階 【図1(6/7)】</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋原子炉機排気放射線モニタ</td> <td>4</td> <td>原子炉建屋地上3階 【図1(5/7)】</td> </tr> <tr> <td>燃料取替エリア放射線モニタ</td> <td>4</td> <td>原子炉建屋地上3階 【図1(5/7)】</td> </tr> </tbody> </table> <p>*：一部の計装設備は異なる高さ方向に複数の検出器を設置</p>	計装設備	個数	設置場所	原子炉圧力容器温度*	14	原子炉格納容器内 【図1(3/7)、(4/7)、(5/7)】	ドライウェル温度	40	原子炉格納容器内 【図1(2/7)、(3/7)、(4/7)、(5/7)】	ドライウェル圧力	2	原子炉建屋地上2階 【図1(5/7)】	圧力抑制室圧力	2	原子炉建屋地下1階 【図1(3/7)】	圧力抑制室水位	2	原子炉建屋地下3階 【図1(1/7)】	燃料貯蔵プール水位	1	原子炉建屋地上3階 【図1(6/7)】	燃料プール冷却浄化系ポンプ入口温度	1	原子炉建屋地上1階 【図1(4/7)】	燃料貯蔵プール水温度	1	原子炉建屋地上3階 【図1(5/7)】	燃料交換フロア放射線モニタ	1	原子炉建屋地上3階 【図1(6/7)】	原子炉建屋原子炉機排気放射線モニタ	4	原子炉建屋地上3階 【図1(5/7)】	燃料取替エリア放射線モニタ	4	原子炉建屋地上3階 【図1(5/7)】	<p style="text-align: center;">添付資料1</p> <p>設計基準対象施設及び常用計器としての計装設備の個数と設置場所について</p> <p>設計基準対象施設及び常用計器としての計装設備の個数と設置場所を第1表及び第1図に示す。</p> <p style="text-align: center;">第1表 設計基準対象施設及び常用計器としての計装設備の個数と設置場所</p> <table border="1" data-bbox="1256 395 1809 943"> <thead> <tr> <th>計装設備</th> <th>個数</th> <th>設置場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量</td> <td>1</td> <td>原子炉補助建屋 T.P. -1.7m 【第1図(1/9)】</td> </tr> <tr> <td>A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量</td> <td>1</td> <td>原子炉補助建屋 T.P. -1.7m 【第1図(1/9)】</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量</td> <td>4</td> <td>周辺補機棟 T.P. 2.3m 【第1図(2/9)】</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量</td> <td>2</td> <td>周辺補機棟 T.P. 2.3m 【第1図(2/9)】</td> </tr> <tr> <td>加圧器水位</td> <td>2</td> <td>原子炉格納容器内 【第1図(5/9)】</td> </tr> <tr> <td>主蒸気ライン圧力</td> <td>6</td> <td>周辺補機棟 T.P. 33.1m 【第1図(7/9)】</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器圧力</td> <td>2</td> <td>周辺補機棟 T.P. 17.8m 【第1図(5/9)】</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位 (狭域)</td> <td>6</td> <td>原子炉格納容器内 【第1図(6/9)】</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (AM用)</td> <td>1</td> <td>周辺補機棟 T.P. 43.6m 【第1図(9/9)】</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット水位</td> <td>2</td> <td>燃料取扱棟 【第1図(7/9)】</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット温度</td> <td>2</td> <td>燃料取扱棟 【第1図(7/9)】</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピットエアモニタ</td> <td>1</td> <td>燃料取扱棟 【第1図(7/9)】</td> </tr> </tbody> </table>	計装設備	個数	設置場所	A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量	1	原子炉補助建屋 T.P. -1.7m 【第1図(1/9)】	A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量	1	原子炉補助建屋 T.P. -1.7m 【第1図(1/9)】	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量	4	周辺補機棟 T.P. 2.3m 【第1図(2/9)】	原子炉補機冷却水供給母管流量	2	周辺補機棟 T.P. 2.3m 【第1図(2/9)】	加圧器水位	2	原子炉格納容器内 【第1図(5/9)】	主蒸気ライン圧力	6	周辺補機棟 T.P. 33.1m 【第1図(7/9)】	原子炉格納容器圧力	2	周辺補機棟 T.P. 17.8m 【第1図(5/9)】	蒸気発生器水位 (狭域)	6	原子炉格納容器内 【第1図(6/9)】	原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (AM用)	1	周辺補機棟 T.P. 43.6m 【第1図(9/9)】	使用済燃料ピット水位	2	燃料取扱棟 【第1図(7/9)】	使用済燃料ピット温度	2	燃料取扱棟 【第1図(7/9)】	使用済燃料ピットエアモニタ	1	燃料取扱棟 【第1図(7/9)】	<p>【女川】記載表現の相違</p> <p>【女川】炉型の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PWRとBWRで想定される重大事故等及び対処するための監視パラメータが異なるため、比較対象外としている。</li> </ul>
計装設備	個数	設置場所																																																																												
原子炉圧力容器温度*	14	原子炉格納容器内 【図1(3/7)、(4/7)、(5/7)】																																																																												
ドライウェル温度	40	原子炉格納容器内 【図1(2/7)、(3/7)、(4/7)、(5/7)】																																																																												
ドライウェル圧力	2	原子炉建屋地上2階 【図1(5/7)】																																																																												
圧力抑制室圧力	2	原子炉建屋地下1階 【図1(3/7)】																																																																												
圧力抑制室水位	2	原子炉建屋地下3階 【図1(1/7)】																																																																												
燃料貯蔵プール水位	1	原子炉建屋地上3階 【図1(6/7)】																																																																												
燃料プール冷却浄化系ポンプ入口温度	1	原子炉建屋地上1階 【図1(4/7)】																																																																												
燃料貯蔵プール水温度	1	原子炉建屋地上3階 【図1(5/7)】																																																																												
燃料交換フロア放射線モニタ	1	原子炉建屋地上3階 【図1(6/7)】																																																																												
原子炉建屋原子炉機排気放射線モニタ	4	原子炉建屋地上3階 【図1(5/7)】																																																																												
燃料取替エリア放射線モニタ	4	原子炉建屋地上3階 【図1(5/7)】																																																																												
計装設備	個数	設置場所																																																																												
A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量	1	原子炉補助建屋 T.P. -1.7m 【第1図(1/9)】																																																																												
A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量	1	原子炉補助建屋 T.P. -1.7m 【第1図(1/9)】																																																																												
原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量	4	周辺補機棟 T.P. 2.3m 【第1図(2/9)】																																																																												
原子炉補機冷却水供給母管流量	2	周辺補機棟 T.P. 2.3m 【第1図(2/9)】																																																																												
加圧器水位	2	原子炉格納容器内 【第1図(5/9)】																																																																												
主蒸気ライン圧力	6	周辺補機棟 T.P. 33.1m 【第1図(7/9)】																																																																												
原子炉格納容器圧力	2	周辺補機棟 T.P. 17.8m 【第1図(5/9)】																																																																												
蒸気発生器水位 (狭域)	6	原子炉格納容器内 【第1図(6/9)】																																																																												
原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (AM用)	1	周辺補機棟 T.P. 43.6m 【第1図(9/9)】																																																																												
使用済燃料ピット水位	2	燃料取扱棟 【第1図(7/9)】																																																																												
使用済燃料ピット温度	2	燃料取扱棟 【第1図(7/9)】																																																																												
使用済燃料ピットエアモニタ	1	燃料取扱棟 【第1図(7/9)】																																																																												

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
	 <p>図 1 配置図 (1/7)</p>	 <p>第 1 図 配置図 (1/9)</p>	<p>【女川】炉型の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PWRとBWRで想定される重大事故等及び対処するための監視パラメータが異なるため、比較対象外としている。以降、同図において同じ</li> </ul>



灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
	<p>図 1 配置図 (2/7)</p> <p>原子炉建屋階下 2 階 (0.F. 200)</p>	<p>第 1 図 配置図 (2/9)</p> <p>原子炉建屋階下 2 階 (0.F. 210)</p>	

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
	<p>図 1 配置図 (3/7)</p>	<p>第 1 図 配置図 (3/9)</p>	

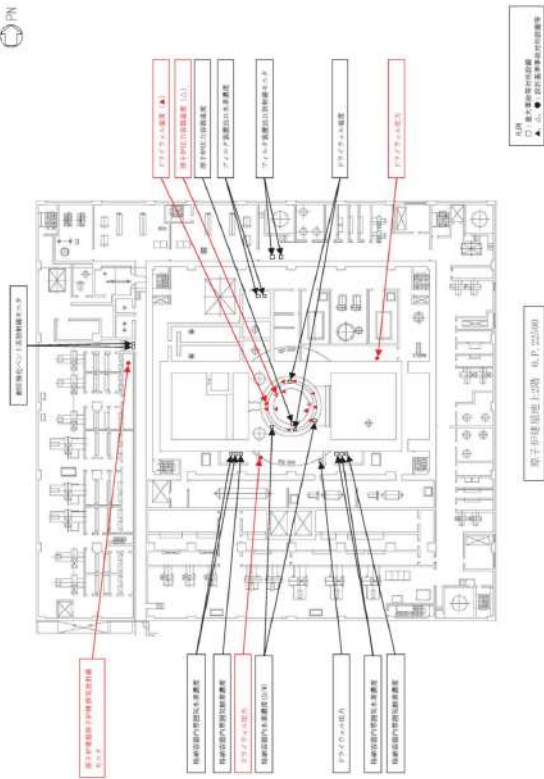
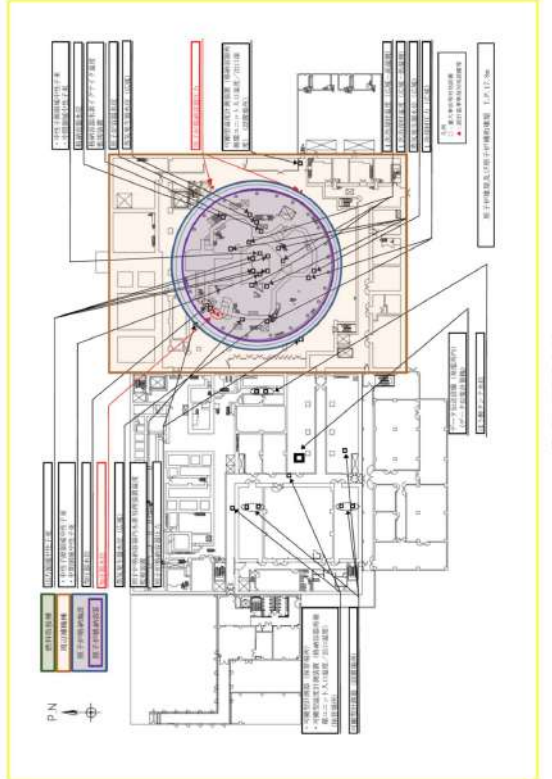
灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
	<p>図1 配設図 (4/7)</p>	<p>第1図 配設図 (4/9)</p>	

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
	 <p>図 1 配置図 (5/7)</p>	 <p>第 1 図 配置図 (5/9)</p>	



灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

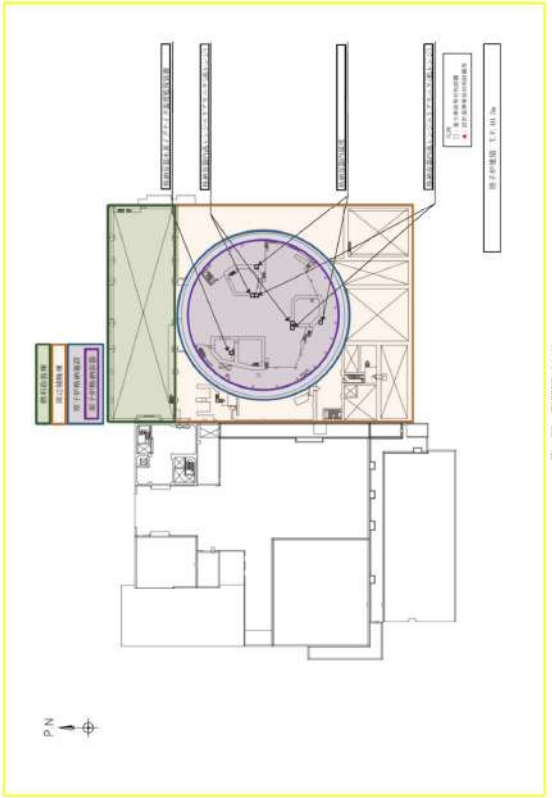
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
	<p>女川 2 号炉配置図 (16.7)</p>	<p>第 1 図 配置図 (6.9)</p>	



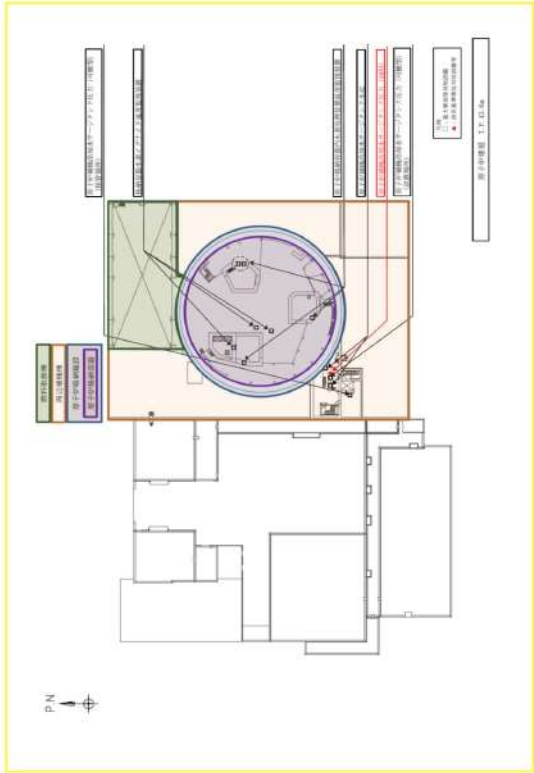
灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
		 <p style="text-align: right;">第 1 図 配管図 (8/9)</p>	

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
			



泊発電所3号炉審査資料	
資料番号	SA59H-9 r.10.0
提出年月日	令和5年6月30日

## 泊発電所3号炉

設置許可基準規則等への適合状況について  
(重大事故等対処設備)  
補足説明資料  
比較表

59条

令和5年6月  
北海道電力株式会社

枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 原子炉制御室等（補足説明資料）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
<p>59条                      59-1 SA設備基準適合性一覧表                      59-2 配置図</p> <p>59-3 アクセスルート</p> <p>59-4 試験・検査説明資料                      59-5 系統図</p> <p>59-6 (欠番)                      59-7 SAバウンダリ系統図(参考)</p>	<p>59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備</p> <p>目次</p> <p>59-1 SA設備基準適合性一覧表                      59-3 配置図                      59-7 保管場所図</p> <p>59-5 試験及び検査                      59-4 系統図                      59-6 容量設定根拠</p>	<p>59条                      59-1 SA設備基準適合性一覧表                      59-2 配置図</p> <p>59-3 試験・検査説明資料                      59-4 系統図                      59-5 容量設定根拠</p>	<p>【女川・大飯】資料構成の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>女川とは資料の順序が異なるが、内容は同等である。</li> <li>大飯との資料順序も異なる。</li> <li>比較のため、次ページ以降は本ページに記載の順序で掲載する。</li> </ul> <p>【女川】資料構成の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>泊では保管場所図を配置図に含めている。</li> </ul> <p>【大飯】記載箇所の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>泊では、アクセスルート図は技術的能力1.0.2にて整理している。</li> </ul> <p>【大飯】資料構成の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大飯では「SAバウンダリ系統図」として示しているが、内容としては泊では「系統図」として記載している内容と同等であるため、作成していない。</li> </ul>
<p>59-8 大飯3号炉および4号炉 原子炉制御室等（被ばく評価除く）について</p>	<p>59-8 原子炉制御室について（被ばく評価除く）</p>	<p>59-6 原子炉制御室等（被ばく評価除く）について</p>	<p>本資料については26条と共通の内容であり、26条で比較表を作成している。</p>
<p>59-9 大飯発電所3号炉及び4号炉 原子炉制御室の居住性に係る被ばく評価について</p> <p>59-10 大飯発電所3号炉及び4号炉 原子炉制御室等について</p>	<p>59-9 原子炉制御室の居住性に係る被ばく評価について</p> <p>59-2 単線結線図                      59-10 非常用ガス処理系に流入するガスの水素濃度について                      59-11 非常用ガス処理系の系統内における水素爆発防止について                      59-12 原子炉建屋ブローアウトパネル及び原子炉建屋ブローアウトパネル閉止装置について</p>	<p>59-7 原子炉制御室の居住性に係る被ばく評価について</p> <p>59-8 単線結線図</p>	<p>【大飯】資料構成の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大飯は59-8と59-9の補足的な事項を59-10として添付しているが、泊は女川同様59-6、59-7それぞれに添付している。</li> </ul> <p>②の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これらの資料はBWR特有の設備についての説明資料であるため、泊では作成していない。また、これらの資料は比較表への掲載も行わない。</li> <li>水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための設備(53条)でもあるアニュラス空気浄化設備の水素対策については53条で説明する。</li> </ul>

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
59-1 SA設備基準適合性 一覧表	59-1 SA設備基準適合性 一覧表	59-1 SA設備 基準適合性一覧表	



泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	<p style="text-align: center;">女川原子力発電所2号炉 SA設備基準適合性一覧表（常設）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 40%;">設備名称</th> <th style="width: 10%;">設置区分</th> <th style="width: 40%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">第1号機</td> <td>保安設備-配管-圧力 / 配管の交換/ 取替</td> <td>その他(建屋内)</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>配管</td> <td>(取替に関係する部分)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>異音</td> <td>(機本を過剰しひび)</td> <td>取替済</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>(同機種の機器による機本を失うおそれがない)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>(機本に異常は発生していない)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第2号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第3号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第4号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第5号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第6号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第7号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第8号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第9号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第10号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第11号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第12号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第13号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第14号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第15号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第16号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第17号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第18号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第19号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第20号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第21号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第22号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第23号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第24号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第25号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第26号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第27号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第28号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第29号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第30号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第31号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第32号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第33号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第34号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第35号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第36号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第37号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第38号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第39号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第40号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第41号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第42号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第43号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第44号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第45号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第46号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第47号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第48号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第49号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第50号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第51号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第52号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第53号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第54号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第55号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第56号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第57号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第58号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第59号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第60号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第61号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第62号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第63号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第64号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第65号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第66号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第67号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第68号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第69号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第70号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第71号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第72号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第73号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第74号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第75号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第76号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第77号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第78号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第79号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第80号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第81号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第82号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第83号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第84号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第85号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第86号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第87号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第88号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第89号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第90号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第91号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第92号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第93号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第94号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第95号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第96号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第97号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第98号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第99号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第100号機</td> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機器の故障</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	項目	設備名称	設置区分	備考	第1号機	保安設備-配管-圧力 / 配管の交換/ 取替	その他(建屋内)	○	配管	(取替に関係する部分)	—	異音	(機本を過剰しひび)	取替済	機器の故障	(同機種の機器による機本を失うおそれがない)	—	機器の故障	(機本に異常は発生していない)	—	第2号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第3号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第4号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第5号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第6号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第7号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第8号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第9号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第10号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第11号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第12号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第13号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第14号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第15号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第16号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第17号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第18号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第19号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第20号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第21号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第22号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第23号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第24号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第25号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第26号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第27号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第28号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第29号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第30号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第31号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第32号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第33号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第34号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第35号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第36号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第37号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第38号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第39号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第40号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第41号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第42号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第43号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第44号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第45号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第46号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第47号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第48号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第49号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第50号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第51号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第52号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第53号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第54号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第55号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第56号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第57号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第58号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第59号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第60号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第61号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第62号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第63号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第64号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第65号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第66号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第67号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第68号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第69号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第70号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第71号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第72号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第73号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第74号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第75号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第76号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第77号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第78号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第79号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第80号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第81号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第82号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第83号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第84号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第85号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第86号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第87号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第88号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第89号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第90号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第91号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第92号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第93号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第94号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第95号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第96号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第97号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第98号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第99号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—	第100号機	機器の故障	—	—	機器の故障	—	—		①の相違
項目	設備名称	設置区分	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第1号機	保安設備-配管-圧力 / 配管の交換/ 取替	その他(建屋内)	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	配管	(取替に関係する部分)	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	異音	(機本を過剰しひび)	取替済																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	(同機種の機器による機本を失うおそれがない)	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	(機本に異常は発生していない)	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第2号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第3号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第4号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第5号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第6号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第7号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第8号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第9号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第10号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第11号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第12号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第13号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第14号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第15号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第16号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第17号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第18号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第19号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第20号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第21号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第22号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第23号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第24号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第25号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第26号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第27号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第28号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第29号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第30号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第31号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第32号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第33号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第34号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第35号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第36号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第37号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第38号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第39号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第40号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第41号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第42号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第43号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第44号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第45号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第46号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第47号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第48号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第49号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第50号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第51号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第52号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第53号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第54号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第55号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第56号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第57号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第58号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第59号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第60号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第61号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第62号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第63号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第64号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第65号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第66号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第67号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第68号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第69号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第70号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第71号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第72号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第73号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第74号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第75号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第76号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第77号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第78号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第79号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第80号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第81号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第82号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第83号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第84号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第85号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第86号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第87号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第88号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第89号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第90号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第91号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第92号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第93号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第94号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第95号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第96号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第97号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第98号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第99号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第100号機	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	機器の故障	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									



泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由																																																																																														
	<p style="text-align: center;">女川原子力発電所2号炉 SA設備基準適合性一覧表（常設）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 60%;">機器設備名称（固有名）</th> <th style="width: 30%;">設置状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">第1号機</td> <td>保安設備・配管・圧力 / 圧力の監視・制御</td> <td>その他の機器内</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>測定</td> <td>（併用）機器を兼ねる</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>測本</td> <td>（測本を備えない）</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>絶縁層からの影響</td> <td>（絶縁層からの影響により機器を劣化させない）</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>電圧調整</td> <td>（電圧により機器が動作しない）</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>緊急停止</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>緊急停止</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">第2号機</td> <td>操作性</td> <td>中体制御室操作</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>監視資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>監視資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第3号機</td> <td>試験・検査 （検査機、試験機、検査機）</td> <td>通信機設備</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>監視資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第4号機</td> <td>制御系統</td> <td>本来の用途として使用（制御系統）</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>監視資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第5号機</td> <td>監視資料</td> <td>（同施設）同に監視機</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>その他（機器類）</td> <td>対象外</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第6号機</td> <td>監視資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>監視資料</td> <td>中体制御室操作</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第7号機</td> <td>監視資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>監視資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第8号機</td> <td>設計・検査 （設計・検査機）</td> <td>設計・検査機設備の搭載及び機器の搭載等</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>監視資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第9号機</td> <td>制御系統</td> <td>（併用）なし（併用）</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>監視資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">第10号機</td> <td>保安設備・配管・圧力 / 圧力の監視・制御</td> <td>保安設備・配管（圧力監視機設備あり）</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>その他（機器類）</td> <td>対象（中体）あり</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>緊急停止</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	項目	機器設備名称（固有名）	設置状況	第1号機	保安設備・配管・圧力 / 圧力の監視・制御	その他の機器内	C	測定	（併用）機器を兼ねる	—	測本	（測本を備えない）	対象外	絶縁層からの影響	（絶縁層からの影響により機器を劣化させない）	—	電圧調整	（電圧により機器が動作しない）	—	緊急停止	—	—	緊急停止	—	—	第2号機	操作性	中体制御室操作	A	監視資料	—	—	監視資料	—	—	第3号機	試験・検査 （検査機、試験機、検査機）	通信機設備	B	監視資料	—	—	第4号機	制御系統	本来の用途として使用（制御系統）	B	監視資料	—	—	第5号機	監視資料	（同施設）同に監視機	A	その他（機器類）	対象外	対象外	第6号機	監視資料	—	—	監視資料	中体制御室操作	B	第7号機	監視資料	—	—	監視資料	—	—	第8号機	設計・検査 （設計・検査機）	設計・検査機設備の搭載及び機器の搭載等	B	監視資料	—	—	第9号機	制御系統	（併用）なし（併用）	—	監視資料	—	—	第10号機	保安設備・配管・圧力 / 圧力の監視・制御	保安設備・配管（圧力監視機設備あり）	A	その他（機器類）	対象（中体）あり	C	緊急停止	—	—		<p>①の相違</p>
項目	機器設備名称（固有名）	設置状況																																																																																															
第1号機	保安設備・配管・圧力 / 圧力の監視・制御	その他の機器内	C																																																																																														
	測定	（併用）機器を兼ねる	—																																																																																														
	測本	（測本を備えない）	対象外																																																																																														
	絶縁層からの影響	（絶縁層からの影響により機器を劣化させない）	—																																																																																														
	電圧調整	（電圧により機器が動作しない）	—																																																																																														
	緊急停止	—	—																																																																																														
	緊急停止	—	—																																																																																														
第2号機	操作性	中体制御室操作	A																																																																																														
	監視資料	—	—																																																																																														
	監視資料	—	—																																																																																														
第3号機	試験・検査 （検査機、試験機、検査機）	通信機設備	B																																																																																														
	監視資料	—	—																																																																																														
第4号機	制御系統	本来の用途として使用（制御系統）	B																																																																																														
	監視資料	—	—																																																																																														
第5号機	監視資料	（同施設）同に監視機	A																																																																																														
	その他（機器類）	対象外	対象外																																																																																														
第6号機	監視資料	—	—																																																																																														
	監視資料	中体制御室操作	B																																																																																														
第7号機	監視資料	—	—																																																																																														
	監視資料	—	—																																																																																														
第8号機	設計・検査 （設計・検査機）	設計・検査機設備の搭載及び機器の搭載等	B																																																																																														
	監視資料	—	—																																																																																														
第9号機	制御系統	（併用）なし（併用）	—																																																																																														
	監視資料	—	—																																																																																														
第10号機	保安設備・配管・圧力 / 圧力の監視・制御	保安設備・配管（圧力監視機設備あり）	A																																																																																														
	その他（機器類）	対象（中体）あり	C																																																																																														
	緊急停止	—	—																																																																																														

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由																																																																																																																																																																																														
	<p style="text-align: center;">女川原子力発電所2号炉 SA 設備基準適合性一覧表（常設）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">設備名</th> <th>備註</th> <th>適合性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">第1項</td> <td>発電設備</td> <td>その他の建物内</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>送電設備</td> <td>（有線）機器を架線する</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>変電設備</td> <td>（両者も備わらない）</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>配電設備</td> <td>（両の機器等からの影響により機能しない）</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>制御設備</td> <td>（電磁波により機能が低下する）</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>監視設備</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>記録設備</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>通信設備</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>消防設備</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第2項</td> <td>制御室</td> <td>中央制御室隣接</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>監視室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>記録室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>試験・検査（検査台、非常検査・再稼働台）</td> <td>通信設備隣接</td> <td>M</td> </tr> <tr> <td>監視資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>記録資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>記録室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>記録室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>記録室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>記録室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第3項</td> <td>記録室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>記録室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>記録室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>記録室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>記録室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>記録室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>記録室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>記録室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>記録室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>記録室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第4項</td> <td>記録室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>記録室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>記録室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>記録室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>記録室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>記録室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>記録室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>記録室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>記録室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>記録室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第5項</td> <td>記録室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>記録室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>記録室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>記録室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>記録室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>記録室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>記録室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>記録室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>記録室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>記録室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第6項</td> <td>記録室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>記録室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>記録室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>記録室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>記録室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>記録室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>記録室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>記録室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>記録室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>記録室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	設備名		備註	適合性	第1項	発電設備	その他の建物内	C	送電設備	（有線）機器を架線する	—	変電設備	（両者も備わらない）	対象外	配電設備	（両の機器等からの影響により機能しない）	—	制御設備	（電磁波により機能が低下する）	—	監視設備	—	—	記録設備	—	—	通信設備	—	—	消防設備	—	—	その他	—	—	第2項	制御室	中央制御室隣接	A	監視室	—	—	記録室	—	—	試験・検査（検査台、非常検査・再稼働台）	通信設備隣接	M	監視資料	—	—	記録資料	—	—	記録室	—	—	記録室	—	—	記録室	—	—	記録室	—	—	第3項	記録室	—	—	記録室	—	—	記録室	—	—	記録室	—	—	記録室	—	—	記録室	—	—	記録室	—	—	記録室	—	—	記録室	—	—	記録室	—	—	第4項	記録室	—	—	記録室	—	—	記録室	—	—	記録室	—	—	記録室	—	—	記録室	—	—	記録室	—	—	記録室	—	—	記録室	—	—	記録室	—	—	第5項	記録室	—	—	記録室	—	—	記録室	—	—	記録室	—	—	記録室	—	—	記録室	—	—	記録室	—	—	記録室	—	—	記録室	—	—	記録室	—	—	第6項	記録室	—	—	記録室	—	—	記録室	—	—	記録室	—	—	記録室	—	—	記録室	—	—	記録室	—	—	記録室	—	—	記録室	—	—	記録室	—	—		<p>①の相違</p>
設備名		備註	適合性																																																																																																																																																																																														
第1項	発電設備	その他の建物内	C																																																																																																																																																																																														
	送電設備	（有線）機器を架線する	—																																																																																																																																																																																														
	変電設備	（両者も備わらない）	対象外																																																																																																																																																																																														
	配電設備	（両の機器等からの影響により機能しない）	—																																																																																																																																																																																														
	制御設備	（電磁波により機能が低下する）	—																																																																																																																																																																																														
	監視設備	—	—																																																																																																																																																																																														
	記録設備	—	—																																																																																																																																																																																														
	通信設備	—	—																																																																																																																																																																																														
	消防設備	—	—																																																																																																																																																																																														
	その他	—	—																																																																																																																																																																																														
第2項	制御室	中央制御室隣接	A																																																																																																																																																																																														
	監視室	—	—																																																																																																																																																																																														
	記録室	—	—																																																																																																																																																																																														
	試験・検査（検査台、非常検査・再稼働台）	通信設備隣接	M																																																																																																																																																																																														
	監視資料	—	—																																																																																																																																																																																														
	記録資料	—	—																																																																																																																																																																																														
	記録室	—	—																																																																																																																																																																																														
	記録室	—	—																																																																																																																																																																																														
	記録室	—	—																																																																																																																																																																																														
	記録室	—	—																																																																																																																																																																																														
第3項	記録室	—	—																																																																																																																																																																																														
	記録室	—	—																																																																																																																																																																																														
	記録室	—	—																																																																																																																																																																																														
	記録室	—	—																																																																																																																																																																																														
	記録室	—	—																																																																																																																																																																																														
	記録室	—	—																																																																																																																																																																																														
	記録室	—	—																																																																																																																																																																																														
	記録室	—	—																																																																																																																																																																																														
	記録室	—	—																																																																																																																																																																																														
	記録室	—	—																																																																																																																																																																																														
第4項	記録室	—	—																																																																																																																																																																																														
	記録室	—	—																																																																																																																																																																																														
	記録室	—	—																																																																																																																																																																																														
	記録室	—	—																																																																																																																																																																																														
	記録室	—	—																																																																																																																																																																																														
	記録室	—	—																																																																																																																																																																																														
	記録室	—	—																																																																																																																																																																																														
	記録室	—	—																																																																																																																																																																																														
	記録室	—	—																																																																																																																																																																																														
	記録室	—	—																																																																																																																																																																																														
第5項	記録室	—	—																																																																																																																																																																																														
	記録室	—	—																																																																																																																																																																																														
	記録室	—	—																																																																																																																																																																																														
	記録室	—	—																																																																																																																																																																																														
	記録室	—	—																																																																																																																																																																																														
	記録室	—	—																																																																																																																																																																																														
	記録室	—	—																																																																																																																																																																																														
	記録室	—	—																																																																																																																																																																																														
	記録室	—	—																																																																																																																																																																																														
	記録室	—	—																																																																																																																																																																																														
第6項	記録室	—	—																																																																																																																																																																																														
	記録室	—	—																																																																																																																																																																																														
	記録室	—	—																																																																																																																																																																																														
	記録室	—	—																																																																																																																																																																																														
	記録室	—	—																																																																																																																																																																																														
	記録室	—	—																																																																																																																																																																																														
	記録室	—	—																																																																																																																																																																																														
	記録室	—	—																																																																																																																																																																																														
	記録室	—	—																																																																																																																																																																																														
	記録室	—	—																																																																																																																																																																																														

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由																																																																																																																																																																																														
	<p>女川原子力発電所2号炉 SA 設備基準適合性一覧表（常設）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">設備名：運転員が原子炉制御室にとどまるための設備</th> <th>中核制御室設置</th> <th>数量比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">第1項 第1項 第2項 第3項</td> <td>遮断扉・扉・窓・仕切 / 扉等の天板/ 扉等</td> <td>その他の機器内</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>扉等</td> <td>（扉等に設置を要しない）</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>両扉</td> <td>（両扉を確保しない）</td> <td>見做外</td> </tr> <tr> <td>遮断扉以外の扉等</td> <td>（他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない）</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">第2項 第3項 第4項 第5項</td> <td>電鎖的扉等</td> <td>（電鎖等により機能の低下はない）</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>閉鎖装置</td> <td>20-2 配置同</td> <td></td> </tr> <tr> <td>操作性</td> <td>中核制御室確保</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>閉鎖資料</td> <td>20-2 配置同</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">第3項 第4項 第5項 第6項</td> <td>認識・指示 （標高性、手続標高・再読入力）</td> <td>アーン</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>閉鎖資料</td> <td>20-3 試験及び検査</td> <td></td> </tr> <tr> <td>閉鎖止端</td> <td>本機の閉鎖として使用し、閉鎖止端</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>閉鎖資料</td> <td>20-4 試験時</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">第4項 第5項 第6項 第7項</td> <td>名前設計</td> <td>細設計より名前標高</td> <td>A-d</td> </tr> <tr> <td>その他（機器物）</td> <td>見做外</td> <td>見做外</td> </tr> <tr> <td>閉鎖資料</td> <td>20-4 試験時</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>中核制御室確保</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">第5項 第6項 第7項 第8項</td> <td>閉鎖資料</td> <td>20-2 配置同</td> <td></td> </tr> <tr> <td>認識・指示の容量</td> <td>設計基準が設置設備の容量等の十分</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>閉鎖資料</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>閉鎖の閉止</td> <td>（使用しない）（閉鎖）</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">第6項 第7項 第8項 第9項</td> <td>閉鎖資料</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>遮断扉、扉、窓、仕切 / 扉等の天板、扉等</td> <td>見做外（両扉等により機能の低下はない）</td> <td>見做外</td> </tr> <tr> <td>キーボード装置</td> <td>緑字（キーボード装置）→ 異なる機種の互換性確保</td> <td>C-a</td> </tr> <tr> <td>閉鎖資料</td> <td>20-2 試験時/ 20-3 配置同、20-4 試験時</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		設備名：運転員が原子炉制御室にとどまるための設備		中核制御室設置	数量比較	第1項 第1項 第2項 第3項	遮断扉・扉・窓・仕切 / 扉等の天板/ 扉等	その他の機器内	C	扉等	（扉等に設置を要しない）	—	両扉	（両扉を確保しない）	見做外	遮断扉以外の扉等	（他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない）	—	第2項 第3項 第4項 第5項	電鎖的扉等	（電鎖等により機能の低下はない）	—	閉鎖装置	20-2 配置同		操作性	中核制御室確保	A	閉鎖資料	20-2 配置同		第3項 第4項 第5項 第6項	認識・指示 （標高性、手続標高・再読入力）	アーン	A	閉鎖資料	20-3 試験及び検査		閉鎖止端	本機の閉鎖として使用し、閉鎖止端	B	閉鎖資料	20-4 試験時		第4項 第5項 第6項 第7項	名前設計	細設計より名前標高	A-d	その他（機器物）	見做外	見做外	閉鎖資料	20-4 試験時		設置場所	中核制御室確保	B	第5項 第6項 第7項 第8項	閉鎖資料	20-2 配置同		認識・指示の容量	設計基準が設置設備の容量等の十分	B	閉鎖資料	—		閉鎖の閉止	（使用しない）（閉鎖）	—	第6項 第7項 第8項 第9項	閉鎖資料	—		遮断扉、扉、窓、仕切 / 扉等の天板、扉等	見做外（両扉等により機能の低下はない）	見做外	キーボード装置	緑字（キーボード装置）→ 異なる機種の互換性確保	C-a	閉鎖資料	20-2 試験時/ 20-3 配置同、20-4 試験時		<p>泊発電所3号炉 SA 設備基準適合性 一覧表（常設）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">設備名：運転員が原子炉制御室にとどまるための設備</th> <th>中核制御室設置</th> <th>数量比較</th> <th>差異理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">第1項 第2項 第3項 第4項</td> <td>遮断扉・扉・窓・仕切 / 扉等の天板/ 扉等</td> <td>その他の機器内 （原子炉制御室等）</td> <td>B-d</td> <td>（設備基準適合性20-2 配置同）</td> </tr> <tr> <td>扉等</td> <td>（扉等に設置を要しない）</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>両扉</td> <td>（両扉を確保しない）</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>遮断扉以外の扉等</td> <td>（他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない）</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">第2項 第3項 第4項 第5項</td> <td>電鎖的扉等</td> <td>【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）</td> <td>B-d</td> <td>（設備基準適合性20-2 配置同）</td> </tr> <tr> <td>閉鎖装置</td> <td>【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）</td> <td>B-d</td> <td>（設備基準適合性20-2 配置同）</td> </tr> <tr> <td>操作性</td> <td>【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）</td> <td>B</td> <td>（設備基準適合性20-2 配置同）</td> </tr> <tr> <td>閉鎖資料</td> <td>【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）</td> <td>B-d</td> <td>（設備基準適合性20-2 配置同）</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">第3項 第4項 第5項 第6項</td> <td>認識・指示 （標高性、手続標高・再読入力）</td> <td>【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）</td> <td>B-d</td> <td>（設備基準適合性20-2 配置同）</td> </tr> <tr> <td>閉鎖資料</td> <td>【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）</td> <td>B-d</td> <td>（設備基準適合性20-2 配置同）</td> </tr> <tr> <td>閉鎖止端</td> <td>【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>閉鎖資料</td> <td>【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">第4項 第5項 第6項 第7項</td> <td>名前設計</td> <td>【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）</td> <td>B-d</td> <td>（設備基準適合性20-2 配置同）</td> </tr> <tr> <td>その他（機器物）</td> <td>【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>閉鎖資料</td> <td>【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）</td> <td>B</td> <td>（設備基準適合性20-2 配置同）</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">第5項 第6項 第7項 第8項</td> <td>閉鎖資料</td> <td>【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）</td> <td>B</td> <td>（設備基準適合性20-2 配置同）</td> </tr> <tr> <td>認識・指示の容量</td> <td>【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）</td> <td>B</td> <td>（設備基準適合性20-2 配置同）</td> </tr> <tr> <td>閉鎖資料</td> <td>【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>閉鎖の閉止</td> <td>【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">第6項 第7項 第8項 第9項</td> <td>閉鎖資料</td> <td>【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）</td> <td>B</td> <td>（設備基準適合性20-2 配置同）</td> </tr> <tr> <td>遮断扉、扉、窓、仕切 / 扉等の天板、扉等</td> <td>【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>キーボード装置</td> <td>【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）</td> <td>C</td> <td>（設備基準適合性20-2 配置同）</td> </tr> <tr> <td>閉鎖資料</td> <td>【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		設備名：運転員が原子炉制御室にとどまるための設備		中核制御室設置	数量比較	差異理由	第1項 第2項 第3項 第4項	遮断扉・扉・窓・仕切 / 扉等の天板/ 扉等	その他の機器内 （原子炉制御室等）	B-d	（設備基準適合性20-2 配置同）	扉等	（扉等に設置を要しない）	—		両扉	（両扉を確保しない）	—		遮断扉以外の扉等	（他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない）	—		第2項 第3項 第4項 第5項	電鎖的扉等	【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）	B-d	（設備基準適合性20-2 配置同）	閉鎖装置	【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）	B-d	（設備基準適合性20-2 配置同）	操作性	【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）	B	（設備基準適合性20-2 配置同）	閉鎖資料	【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）	B-d	（設備基準適合性20-2 配置同）	第3項 第4項 第5項 第6項	認識・指示 （標高性、手続標高・再読入力）	【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）	B-d	（設備基準適合性20-2 配置同）	閉鎖資料	【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）	B-d	（設備基準適合性20-2 配置同）	閉鎖止端	【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）	—		閉鎖資料	【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）	—		第4項 第5項 第6項 第7項	名前設計	【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）	B-d	（設備基準適合性20-2 配置同）	その他（機器物）	【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）	—		閉鎖資料	【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）	—		設置場所	【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）	B	（設備基準適合性20-2 配置同）	第5項 第6項 第7項 第8項	閉鎖資料	【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）	B	（設備基準適合性20-2 配置同）	認識・指示の容量	【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）	B	（設備基準適合性20-2 配置同）	閉鎖資料	【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）	—		閉鎖の閉止	【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）	—		第6項 第7項 第8項 第9項	閉鎖資料	【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）	B	（設備基準適合性20-2 配置同）	遮断扉、扉、窓、仕切 / 扉等の天板、扉等	【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）	—		キーボード装置	【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）	C	（設備基準適合性20-2 配置同）	閉鎖資料	【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）	—	
設備名：運転員が原子炉制御室にとどまるための設備		中核制御室設置	数量比較																																																																																																																																																																																														
第1項 第1項 第2項 第3項	遮断扉・扉・窓・仕切 / 扉等の天板/ 扉等	その他の機器内	C																																																																																																																																																																																														
	扉等	（扉等に設置を要しない）	—																																																																																																																																																																																														
	両扉	（両扉を確保しない）	見做外																																																																																																																																																																																														
	遮断扉以外の扉等	（他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない）	—																																																																																																																																																																																														
第2項 第3項 第4項 第5項	電鎖的扉等	（電鎖等により機能の低下はない）	—																																																																																																																																																																																														
	閉鎖装置	20-2 配置同																																																																																																																																																																																															
	操作性	中核制御室確保	A																																																																																																																																																																																														
	閉鎖資料	20-2 配置同																																																																																																																																																																																															
第3項 第4項 第5項 第6項	認識・指示 （標高性、手続標高・再読入力）	アーン	A																																																																																																																																																																																														
	閉鎖資料	20-3 試験及び検査																																																																																																																																																																																															
	閉鎖止端	本機の閉鎖として使用し、閉鎖止端	B																																																																																																																																																																																														
	閉鎖資料	20-4 試験時																																																																																																																																																																																															
第4項 第5項 第6項 第7項	名前設計	細設計より名前標高	A-d																																																																																																																																																																																														
	その他（機器物）	見做外	見做外																																																																																																																																																																																														
	閉鎖資料	20-4 試験時																																																																																																																																																																																															
	設置場所	中核制御室確保	B																																																																																																																																																																																														
第5項 第6項 第7項 第8項	閉鎖資料	20-2 配置同																																																																																																																																																																																															
	認識・指示の容量	設計基準が設置設備の容量等の十分	B																																																																																																																																																																																														
	閉鎖資料	—																																																																																																																																																																																															
	閉鎖の閉止	（使用しない）（閉鎖）	—																																																																																																																																																																																														
第6項 第7項 第8項 第9項	閉鎖資料	—																																																																																																																																																																																															
	遮断扉、扉、窓、仕切 / 扉等の天板、扉等	見做外（両扉等により機能の低下はない）	見做外																																																																																																																																																																																														
	キーボード装置	緑字（キーボード装置）→ 異なる機種の互換性確保	C-a																																																																																																																																																																																														
	閉鎖資料	20-2 試験時/ 20-3 配置同、20-4 試験時																																																																																																																																																																																															
設備名：運転員が原子炉制御室にとどまるための設備		中核制御室設置	数量比較	差異理由																																																																																																																																																																																													
第1項 第2項 第3項 第4項	遮断扉・扉・窓・仕切 / 扉等の天板/ 扉等	その他の機器内 （原子炉制御室等）	B-d	（設備基準適合性20-2 配置同）																																																																																																																																																																																													
	扉等	（扉等に設置を要しない）	—																																																																																																																																																																																														
	両扉	（両扉を確保しない）	—																																																																																																																																																																																														
	遮断扉以外の扉等	（他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない）	—																																																																																																																																																																																														
第2項 第3項 第4項 第5項	電鎖的扉等	【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）	B-d	（設備基準適合性20-2 配置同）																																																																																																																																																																																													
	閉鎖装置	【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）	B-d	（設備基準適合性20-2 配置同）																																																																																																																																																																																													
	操作性	【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）	B	（設備基準適合性20-2 配置同）																																																																																																																																																																																													
	閉鎖資料	【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）	B-d	（設備基準適合性20-2 配置同）																																																																																																																																																																																													
第3項 第4項 第5項 第6項	認識・指示 （標高性、手続標高・再読入力）	【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）	B-d	（設備基準適合性20-2 配置同）																																																																																																																																																																																													
	閉鎖資料	【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）	B-d	（設備基準適合性20-2 配置同）																																																																																																																																																																																													
	閉鎖止端	【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）	—																																																																																																																																																																																														
	閉鎖資料	【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）	—																																																																																																																																																																																														
第4項 第5項 第6項 第7項	名前設計	【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）	B-d	（設備基準適合性20-2 配置同）																																																																																																																																																																																													
	その他（機器物）	【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）	—																																																																																																																																																																																														
	閉鎖資料	【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）	—																																																																																																																																																																																														
	設置場所	【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）	B	（設備基準適合性20-2 配置同）																																																																																																																																																																																													
第5項 第6項 第7項 第8項	閉鎖資料	【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）	B	（設備基準適合性20-2 配置同）																																																																																																																																																																																													
	認識・指示の容量	【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）	B	（設備基準適合性20-2 配置同）																																																																																																																																																																																													
	閉鎖資料	【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）	—																																																																																																																																																																																														
	閉鎖の閉止	【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）	—																																																																																																																																																																																														
第6項 第7項 第8項 第9項	閉鎖資料	【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）	B	（設備基準適合性20-2 配置同）																																																																																																																																																																																													
	遮断扉、扉、窓、仕切 / 扉等の天板、扉等	【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）	—																																																																																																																																																																																														
	キーボード装置	【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）	C	（設備基準適合性20-2 配置同）																																																																																																																																																																																													
	閉鎖資料	【設備基準適合性】 （他の機器等からの遮断等により機能を失うおそれがない） （電鎖等により機能の低下はない）	—																																																																																																																																																																																														



泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由																																																																																																																																																																								
	<p style="text-align: center;">女川原子力発電所2号炉 SA設備基準適合性一覧表（常設）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>設備名称</th> <th>運転員が原子炉制御室にとどまるための設備</th> <th>中央制御室設置設備</th> <th>設置状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">第1号機</td> <td>感電防護・接地・圧力・圧力の検出・監視装置</td> <td>その他の構内内</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>高圧</td> <td>（保安に備えて設置する）</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>高圧</td> <td>（保安を確保しない）</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">第2号機</td> <td>絶縁検知装置</td> <td>（周回機器等からの影響により機能を生じない）</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>電線絶縁器</td> <td>（電線絶縁により機能を損わない）</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>同梱資料</td> <td>39-2 設置図</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">第3号機</td> <td>検出器</td> <td>中央制御室検出器</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>同梱資料</td> <td>39-3 設置図</td> <td></td> </tr> <tr> <td>記録・指示（緊急時、手続指示、再入力等）</td> <td>アラーム</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">第4号機</td> <td>同梱資料</td> <td>39-3 設置図</td> <td></td> </tr> <tr> <td>同梱資料</td> <td>本来の用途として使用し、制御不能</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>同梱資料</td> <td>39-4 設置図</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">第5号機</td> <td>同梱資料</td> <td>同梱資料として設置する</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>その他（機器類）</td> <td>対象外</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>同梱資料</td> <td>39-4 設置図</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">第6号機</td> <td>同梱資料</td> <td>中央制御室検出器</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>同梱資料</td> <td>39-3 設置図</td> <td></td> </tr> <tr> <td>同梱資料</td> <td>設計上の仕様</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">第7号機</td> <td>同梱資料</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>同梱資料</td> <td>（使用しない設備）</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>同梱資料</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">第8号機</td> <td>同梱資料</td> <td>（保安に備えて設置する）</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>同梱資料</td> <td>対象（「アラーム」あり）→異心監視装置（1）の検出</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>同梱資料</td> <td>39-2 設置図、39-3 設置図、39-4 設置図</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	設備名称	運転員が原子炉制御室にとどまるための設備	中央制御室設置設備	設置状況	第1号機	感電防護・接地・圧力・圧力の検出・監視装置	その他の構内内	C	高圧	（保安に備えて設置する）	—	高圧	（保安を確保しない）	対象外	第2号機	絶縁検知装置	（周回機器等からの影響により機能を生じない）	—	電線絶縁器	（電線絶縁により機能を損わない）	—	同梱資料	39-2 設置図		第3号機	検出器	中央制御室検出器	A	同梱資料	39-3 設置図		記録・指示（緊急時、手続指示、再入力等）	アラーム	A	第4号機	同梱資料	39-3 設置図		同梱資料	本来の用途として使用し、制御不能	B	同梱資料	39-4 設置図		第5号機	同梱資料	同梱資料として設置する	A	その他（機器類）	対象外	対象外	同梱資料	39-4 設置図		第6号機	同梱資料	中央制御室検出器	B	同梱資料	39-3 設置図		同梱資料	設計上の仕様	B	第7号機	同梱資料	—		同梱資料	（使用しない設備）	—	同梱資料	—		第8号機	同梱資料	（保安に備えて設置する）	対象外	同梱資料	対象（「アラーム」あり）→異心監視装置（1）の検出	C	同梱資料	39-2 設置図、39-3 設置図、39-4 設置図		<p style="text-align: center;">泊発電所3号炉 SA設備基準適合性一覧表（常設）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>設備名称</th> <th>運転員が原子炉制御室にとどまるための設備</th> <th>中央制御室設置設備</th> <th>設置状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">第1号機</td> <td>感電防護・接地・圧力・圧力の検出・監視装置</td> <td>その他の構内内</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>高圧</td> <td>（保安に備えて設置する）</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>高圧</td> <td>（保安を確保しない）</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">第2号機</td> <td>絶縁検知装置</td> <td>（周回機器等からの影響により機能を生じない）</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>電線絶縁器</td> <td>（電線絶縁により機能を損わない）</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>同梱資料</td> <td>39-2 設置図</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">第3号機</td> <td>検出器</td> <td>中央制御室検出器</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>同梱資料</td> <td>39-3 設置図</td> <td></td> </tr> <tr> <td>記録・指示（緊急時、手続指示、再入力等）</td> <td>アラーム</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">第4号機</td> <td>同梱資料</td> <td>39-3 設置図</td> <td></td> </tr> <tr> <td>同梱資料</td> <td>本来の用途として使用し、制御不能</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>同梱資料</td> <td>39-4 設置図</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">第5号機</td> <td>同梱資料</td> <td>同梱資料として設置する</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>その他（機器類）</td> <td>対象外</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>同梱資料</td> <td>39-4 設置図</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">第6号機</td> <td>同梱資料</td> <td>中央制御室検出器</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>同梱資料</td> <td>39-3 設置図</td> <td></td> </tr> <tr> <td>同梱資料</td> <td>設計上の仕様</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">第7号機</td> <td>同梱資料</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>同梱資料</td> <td>（使用しない設備）</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>同梱資料</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">第8号機</td> <td>同梱資料</td> <td>（保安に備えて設置する）</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>同梱資料</td> <td>対象（「アラーム」あり）→異心監視装置（1）の検出</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>同梱資料</td> <td>39-2 設置図、39-3 設置図、39-4 設置図</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	設備名称	運転員が原子炉制御室にとどまるための設備	中央制御室設置設備	設置状況	第1号機	感電防護・接地・圧力・圧力の検出・監視装置	その他の構内内	C	高圧	（保安に備えて設置する）	—	高圧	（保安を確保しない）	対象外	第2号機	絶縁検知装置	（周回機器等からの影響により機能を生じない）	—	電線絶縁器	（電線絶縁により機能を損わない）	—	同梱資料	39-2 設置図		第3号機	検出器	中央制御室検出器	A	同梱資料	39-3 設置図		記録・指示（緊急時、手続指示、再入力等）	アラーム	A	第4号機	同梱資料	39-3 設置図		同梱資料	本来の用途として使用し、制御不能	B	同梱資料	39-4 設置図		第5号機	同梱資料	同梱資料として設置する	A	その他（機器類）	対象外	対象外	同梱資料	39-4 設置図		第6号機	同梱資料	中央制御室検出器	B	同梱資料	39-3 設置図		同梱資料	設計上の仕様	B	第7号機	同梱資料	—		同梱資料	（使用しない設備）	—	同梱資料	—		第8号機	同梱資料	（保安に備えて設置する）	対象外	同梱資料	対象（「アラーム」あり）→異心監視装置（1）の検出	C	同梱資料	39-2 設置図、39-3 設置図、39-4 設置図		<p style="text-align: center;">【女川】設備名称の相違</p>
設備名称	運転員が原子炉制御室にとどまるための設備	中央制御室設置設備	設置状況																																																																																																																																																																								
第1号機	感電防護・接地・圧力・圧力の検出・監視装置	その他の構内内	C																																																																																																																																																																								
	高圧	（保安に備えて設置する）	—																																																																																																																																																																								
	高圧	（保安を確保しない）	対象外																																																																																																																																																																								
第2号機	絶縁検知装置	（周回機器等からの影響により機能を生じない）	—																																																																																																																																																																								
	電線絶縁器	（電線絶縁により機能を損わない）	—																																																																																																																																																																								
	同梱資料	39-2 設置図																																																																																																																																																																									
第3号機	検出器	中央制御室検出器	A																																																																																																																																																																								
	同梱資料	39-3 設置図																																																																																																																																																																									
	記録・指示（緊急時、手続指示、再入力等）	アラーム	A																																																																																																																																																																								
第4号機	同梱資料	39-3 設置図																																																																																																																																																																									
	同梱資料	本来の用途として使用し、制御不能	B																																																																																																																																																																								
	同梱資料	39-4 設置図																																																																																																																																																																									
第5号機	同梱資料	同梱資料として設置する	A																																																																																																																																																																								
	その他（機器類）	対象外	対象外																																																																																																																																																																								
	同梱資料	39-4 設置図																																																																																																																																																																									
第6号機	同梱資料	中央制御室検出器	B																																																																																																																																																																								
	同梱資料	39-3 設置図																																																																																																																																																																									
	同梱資料	設計上の仕様	B																																																																																																																																																																								
第7号機	同梱資料	—																																																																																																																																																																									
	同梱資料	（使用しない設備）	—																																																																																																																																																																								
	同梱資料	—																																																																																																																																																																									
第8号機	同梱資料	（保安に備えて設置する）	対象外																																																																																																																																																																								
	同梱資料	対象（「アラーム」あり）→異心監視装置（1）の検出	C																																																																																																																																																																								
	同梱資料	39-2 設置図、39-3 設置図、39-4 設置図																																																																																																																																																																									
設備名称	運転員が原子炉制御室にとどまるための設備	中央制御室設置設備	設置状況																																																																																																																																																																								
第1号機	感電防護・接地・圧力・圧力の検出・監視装置	その他の構内内	C																																																																																																																																																																								
	高圧	（保安に備えて設置する）	—																																																																																																																																																																								
	高圧	（保安を確保しない）	対象外																																																																																																																																																																								
第2号機	絶縁検知装置	（周回機器等からの影響により機能を生じない）	—																																																																																																																																																																								
	電線絶縁器	（電線絶縁により機能を損わない）	—																																																																																																																																																																								
	同梱資料	39-2 設置図																																																																																																																																																																									
第3号機	検出器	中央制御室検出器	A																																																																																																																																																																								
	同梱資料	39-3 設置図																																																																																																																																																																									
	記録・指示（緊急時、手続指示、再入力等）	アラーム	A																																																																																																																																																																								
第4号機	同梱資料	39-3 設置図																																																																																																																																																																									
	同梱資料	本来の用途として使用し、制御不能	B																																																																																																																																																																								
	同梱資料	39-4 設置図																																																																																																																																																																									
第5号機	同梱資料	同梱資料として設置する	A																																																																																																																																																																								
	その他（機器類）	対象外	対象外																																																																																																																																																																								
	同梱資料	39-4 設置図																																																																																																																																																																									
第6号機	同梱資料	中央制御室検出器	B																																																																																																																																																																								
	同梱資料	39-3 設置図																																																																																																																																																																									
	同梱資料	設計上の仕様	B																																																																																																																																																																								
第7号機	同梱資料	—																																																																																																																																																																									
	同梱資料	（使用しない設備）	—																																																																																																																																																																								
	同梱資料	—																																																																																																																																																																									
第8号機	同梱資料	（保安に備えて設置する）	対象外																																																																																																																																																																								
	同梱資料	対象（「アラーム」あり）→異心監視装置（1）の検出	C																																																																																																																																																																								
	同梱資料	39-2 設置図、39-3 設置図、39-4 設置図																																																																																																																																																																									



泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由																																																																																																																																																																			
	<p style="text-align: center;">女川原子力発電所2号炉 SA 設備基準適合性一覧表（常設）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">設備名（運転員が原子炉制御室にとどまるための設備）</th> <th>中央制御室設置設備 ディアルタ設置</th> <th>船型化状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">運転員が原子炉制御室にとどまるための設備</td> <td>機室扉、扉底、柱角 / 扉外の天板/取付脚</td> <td>その他は機室内</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>扉底</td> <td>（取付）機室と接続する</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>両手</td> <td>（両手を離さない）</td> <td>取替件</td> </tr> <tr> <td>機室扉の扉底</td> <td>（別の機室等からの影響により機室を失うおそれがある）</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>電磁的保護</td> <td>（電磁波により機室が閉じられない）</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>閉鎖装置</td> <td>29-2 船型化</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>操作性</td> <td>操作手番</td> <td>取替件</td> </tr> <tr> <td>閉鎖装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>記録・検出 （検出器、記録機、監視人力）</td> <td>空調ボックス</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>閉鎖装置</td> <td>29-3 調整及び検査</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">運転員が原子炉制御室にとどまるための設備</td> <td>記録装置</td> <td>本船の用途として使用一切禁止</td> <td>B1</td> </tr> <tr> <td>閉鎖装置</td> <td>29-4 系統図</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>記録装置</td> <td>船型化/同に系統図機</td> <td>A4</td> </tr> <tr> <td>その他（機室等）</td> <td>取替件</td> <td>取替件</td> </tr> <tr> <td>閉鎖装置</td> <td>29-4 系統図</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>記録装置</td> <td>操作手番</td> <td>取替件</td> </tr> <tr> <td>閉鎖装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>記録装置の扉底</td> <td>扉底基準が機室の扉底及び機室の取替等が不足</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>閉鎖装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>閉鎖装置</td> <td>（取付しない）機室</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">運転員が原子炉制御室にとどまるための設備</td> <td>機室扉、扉底、柱角 / 扉外の天板/取付脚</td> <td>取替件（取替機材の不適合機材設置なし）</td> <td>取替件</td> </tr> <tr> <td>キボート取付脚</td> <td>取替件（キボート取付なし）</td> <td>取替件</td> </tr> <tr> <td>閉鎖装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	設備名（運転員が原子炉制御室にとどまるための設備）		中央制御室設置設備 ディアルタ設置	船型化状況	運転員が原子炉制御室にとどまるための設備	機室扉、扉底、柱角 / 扉外の天板/取付脚	その他は機室内	C	扉底	（取付）機室と接続する	—	両手	（両手を離さない）	取替件	機室扉の扉底	（別の機室等からの影響により機室を失うおそれがある）	—	電磁的保護	（電磁波により機室が閉じられない）	—	閉鎖装置	29-2 船型化	—	操作性	操作手番	取替件	閉鎖装置	—	—	記録・検出 （検出器、記録機、監視人力）	空調ボックス	B	閉鎖装置	29-3 調整及び検査	—	運転員が原子炉制御室にとどまるための設備	記録装置	本船の用途として使用一切禁止	B1	閉鎖装置	29-4 系統図	—	記録装置	船型化/同に系統図機	A4	その他（機室等）	取替件	取替件	閉鎖装置	29-4 系統図	—	記録装置	操作手番	取替件	閉鎖装置	—	—	記録装置の扉底	扉底基準が機室の扉底及び機室の取替等が不足	B	閉鎖装置	—	—	閉鎖装置	（取付しない）機室	—	運転員が原子炉制御室にとどまるための設備	機室扉、扉底、柱角 / 扉外の天板/取付脚	取替件（取替機材の不適合機材設置なし）	取替件	キボート取付脚	取替件（キボート取付なし）	取替件	閉鎖装置	—	—	<p style="text-align: center;">泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表（常設）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">設備名（運転員が原子炉制御室にとどまるための設備）</th> <th>中央制御室設置設備 ディアルタ設置</th> <th>船型化状況</th> <th>差異理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">運転員が原子炉制御室にとどまるための設備</td> <td>機室扉、扉底、柱角 / 扉外の天板/取付脚</td> <td>その他は機室内 （取付）機室と接続する</td> <td>B4</td> <td>【機室扉取付】機室取付</td> </tr> <tr> <td>両手</td> <td>（取付）機室と接続する</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機室扉の扉底</td> <td>（別の機室等からの影響により機室を失うおそれがある）</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>電磁的保護</td> <td>（電磁波により機室が閉じられない）</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>閉鎖装置</td> <td>29-2 船型化</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>操作性</td> <td>操作手番</td> <td>取替件</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>記録・検出 （検出器、記録機、監視人力）</td> <td>空調ボックス （機室扉の取付位置が機室の扉底及び機室の取替等が不足）</td> <td>B</td> <td>【空調ボックス】空調ボックスの取付位置が機室の扉底及び機室の取替等が不足</td> </tr> <tr> <td>閉鎖装置</td> <td>29-3 調整及び検査</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>記録装置</td> <td>本船の用途として使用一切禁止</td> <td>B1</td> <td>【記録装置】記録装置の取付位置が機室の扉底及び機室の取替等が不足</td> </tr> <tr> <td>閉鎖装置</td> <td>29-4 系統図</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">運転員が原子炉制御室にとどまるための設備</td> <td>記録装置</td> <td>船型化/同に系統図機</td> <td>A4</td> <td>【記録装置】記録装置の取付位置が機室の扉底及び機室の取替等が不足</td> </tr> <tr> <td>その他（機室等）</td> <td>取替件</td> <td>取替件</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>閉鎖装置</td> <td>29-4 系統図</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>記録装置</td> <td>操作手番</td> <td>取替件</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>閉鎖装置</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>記録装置の扉底</td> <td>扉底基準が機室の扉底及び機室の取替等が不足</td> <td>B</td> <td>【記録装置の扉底】扉底基準が機室の扉底及び機室の取替等が不足</td> </tr> <tr> <td>閉鎖装置</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>閉鎖装置</td> <td>（取付しない）機室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機室扉、扉底、柱角 / 扉外の天板/取付脚</td> <td>取替件（取替機材の不適合機材設置なし） （取付位置、取付位置の不適合機材設置なし）</td> <td>B</td> <td>【機室扉取付】機室取付位置の不適合機材設置なし</td> </tr> <tr> <td>キボート取付脚</td> <td>取替件（キボート取付なし）</td> <td>取替件</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; color: green;">【女川】設備名称の相違</p>	設備名（運転員が原子炉制御室にとどまるための設備）		中央制御室設置設備 ディアルタ設置	船型化状況	差異理由	運転員が原子炉制御室にとどまるための設備	機室扉、扉底、柱角 / 扉外の天板/取付脚	その他は機室内 （取付）機室と接続する	B4	【機室扉取付】機室取付	両手	（取付）機室と接続する	—	—	機室扉の扉底	（別の機室等からの影響により機室を失うおそれがある）	—	—	電磁的保護	（電磁波により機室が閉じられない）	—	—	閉鎖装置	29-2 船型化	—	—	操作性	操作手番	取替件	—	記録・検出 （検出器、記録機、監視人力）	空調ボックス （機室扉の取付位置が機室の扉底及び機室の取替等が不足）	B	【空調ボックス】空調ボックスの取付位置が機室の扉底及び機室の取替等が不足	閉鎖装置	29-3 調整及び検査	—	—	記録装置	本船の用途として使用一切禁止	B1	【記録装置】記録装置の取付位置が機室の扉底及び機室の取替等が不足	閉鎖装置	29-4 系統図	—	—	運転員が原子炉制御室にとどまるための設備	記録装置	船型化/同に系統図機	A4	【記録装置】記録装置の取付位置が機室の扉底及び機室の取替等が不足	その他（機室等）	取替件	取替件	—	閉鎖装置	29-4 系統図	—	—	記録装置	操作手番	取替件	—	閉鎖装置	—	—	—	記録装置の扉底	扉底基準が機室の扉底及び機室の取替等が不足	B	【記録装置の扉底】扉底基準が機室の扉底及び機室の取替等が不足	閉鎖装置	—	—	—	閉鎖装置	（取付しない）機室	—	—	機室扉、扉底、柱角 / 扉外の天板/取付脚	取替件（取替機材の不適合機材設置なし） （取付位置、取付位置の不適合機材設置なし）	B	【機室扉取付】機室取付位置の不適合機材設置なし	キボート取付脚	取替件（キボート取付なし）	取替件	—	
設備名（運転員が原子炉制御室にとどまるための設備）		中央制御室設置設備 ディアルタ設置	船型化状況																																																																																																																																																																			
運転員が原子炉制御室にとどまるための設備	機室扉、扉底、柱角 / 扉外の天板/取付脚	その他は機室内	C																																																																																																																																																																			
	扉底	（取付）機室と接続する	—																																																																																																																																																																			
	両手	（両手を離さない）	取替件																																																																																																																																																																			
	機室扉の扉底	（別の機室等からの影響により機室を失うおそれがある）	—																																																																																																																																																																			
	電磁的保護	（電磁波により機室が閉じられない）	—																																																																																																																																																																			
	閉鎖装置	29-2 船型化	—																																																																																																																																																																			
	操作性	操作手番	取替件																																																																																																																																																																			
	閉鎖装置	—	—																																																																																																																																																																			
	記録・検出 （検出器、記録機、監視人力）	空調ボックス	B																																																																																																																																																																			
	閉鎖装置	29-3 調整及び検査	—																																																																																																																																																																			
運転員が原子炉制御室にとどまるための設備	記録装置	本船の用途として使用一切禁止	B1																																																																																																																																																																			
	閉鎖装置	29-4 系統図	—																																																																																																																																																																			
	記録装置	船型化/同に系統図機	A4																																																																																																																																																																			
	その他（機室等）	取替件	取替件																																																																																																																																																																			
	閉鎖装置	29-4 系統図	—																																																																																																																																																																			
	記録装置	操作手番	取替件																																																																																																																																																																			
	閉鎖装置	—	—																																																																																																																																																																			
	記録装置の扉底	扉底基準が機室の扉底及び機室の取替等が不足	B																																																																																																																																																																			
	閉鎖装置	—	—																																																																																																																																																																			
	閉鎖装置	（取付しない）機室	—																																																																																																																																																																			
運転員が原子炉制御室にとどまるための設備	機室扉、扉底、柱角 / 扉外の天板/取付脚	取替件（取替機材の不適合機材設置なし）	取替件																																																																																																																																																																			
	キボート取付脚	取替件（キボート取付なし）	取替件																																																																																																																																																																			
	閉鎖装置	—	—																																																																																																																																																																			
設備名（運転員が原子炉制御室にとどまるための設備）		中央制御室設置設備 ディアルタ設置	船型化状況	差異理由																																																																																																																																																																		
運転員が原子炉制御室にとどまるための設備	機室扉、扉底、柱角 / 扉外の天板/取付脚	その他は機室内 （取付）機室と接続する	B4	【機室扉取付】機室取付																																																																																																																																																																		
	両手	（取付）機室と接続する	—	—																																																																																																																																																																		
	機室扉の扉底	（別の機室等からの影響により機室を失うおそれがある）	—	—																																																																																																																																																																		
	電磁的保護	（電磁波により機室が閉じられない）	—	—																																																																																																																																																																		
	閉鎖装置	29-2 船型化	—	—																																																																																																																																																																		
	操作性	操作手番	取替件	—																																																																																																																																																																		
	記録・検出 （検出器、記録機、監視人力）	空調ボックス （機室扉の取付位置が機室の扉底及び機室の取替等が不足）	B	【空調ボックス】空調ボックスの取付位置が機室の扉底及び機室の取替等が不足																																																																																																																																																																		
	閉鎖装置	29-3 調整及び検査	—	—																																																																																																																																																																		
	記録装置	本船の用途として使用一切禁止	B1	【記録装置】記録装置の取付位置が機室の扉底及び機室の取替等が不足																																																																																																																																																																		
	閉鎖装置	29-4 系統図	—	—																																																																																																																																																																		
運転員が原子炉制御室にとどまるための設備	記録装置	船型化/同に系統図機	A4	【記録装置】記録装置の取付位置が機室の扉底及び機室の取替等が不足																																																																																																																																																																		
	その他（機室等）	取替件	取替件	—																																																																																																																																																																		
	閉鎖装置	29-4 系統図	—	—																																																																																																																																																																		
	記録装置	操作手番	取替件	—																																																																																																																																																																		
	閉鎖装置	—	—	—																																																																																																																																																																		
	記録装置の扉底	扉底基準が機室の扉底及び機室の取替等が不足	B	【記録装置の扉底】扉底基準が機室の扉底及び機室の取替等が不足																																																																																																																																																																		
	閉鎖装置	—	—	—																																																																																																																																																																		
	閉鎖装置	（取付しない）機室	—	—																																																																																																																																																																		
	機室扉、扉底、柱角 / 扉外の天板/取付脚	取替件（取替機材の不適合機材設置なし） （取付位置、取付位置の不適合機材設置なし）	B	【機室扉取付】機室取付位置の不適合機材設置なし																																																																																																																																																																		
	キボート取付脚	取替件（キボート取付なし）	取替件	—																																																																																																																																																																		



泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由																																																																															
	<p style="text-align: center;">女川原子力発電所2号炉 SA設備基準適合性一覧表（常設）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">部材名、運転員が原子炉制御室にとどまるための設備</th> <th>シート表示装置（防振機）</th> <th>型式記号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">第1号機</td> <td>炉内監視装置（温度・圧力・放射線計測）</td> <td>その他炉内</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>異常</td> <td>（異常に検出を発生する）</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>振動</td> <td>（振動を感知しない）</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>燃料棒の位置</td> <td>（燃料棒位置から燃費量により検出を行う）</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>燃料棒位置</td> <td>（燃費量により検出が行われる）</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>燃料棒位置</td> <td>39-3 配線図</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>燃料棒位置</td> <td>中央制御室操作</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>燃料棒位置</td> <td>39-3 配線図</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>燃料棒位置</td> <td>燃料棒位置</td> <td>M</td> </tr> <tr> <td>燃料棒位置</td> <td>39-2 試験及び検査</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">第2号機</td> <td>燃料棒位置</td> <td>本機の構造として燃料棒位置</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>燃料棒位置</td> <td>39-4 試験図</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>燃料棒位置</td> <td>その他</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>燃料棒位置</td> <td>対象外</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>燃料棒位置</td> <td>39-3 配線図</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>燃料棒位置</td> <td>中央制御室操作</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>燃料棒位置</td> <td>39-3 配線図</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>燃料棒位置</td> <td>燃料棒位置等の燃料棒本機の構造として設置するもの</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>燃料棒位置</td> <td>39-6 存案図表</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>燃料棒位置</td> <td>（異質しない）</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">第3号機</td> <td>燃料棒位置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>燃料棒位置</td> <td>対象外（燃料棒位置） （燃料棒位置） （燃料棒位置）</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>燃料棒位置</td> <td>対象（燃料棒位置） （燃料棒位置） （燃料棒位置）</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>燃料棒位置</td> <td>39-2 燃料棒位置</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	部材名、運転員が原子炉制御室にとどまるための設備		シート表示装置（防振機）	型式記号	第1号機	炉内監視装置（温度・圧力・放射線計測）	その他炉内	C	異常	（異常に検出を発生する）	—	振動	（振動を感知しない）	対象外	燃料棒の位置	（燃料棒位置から燃費量により検出を行う）	—	燃料棒位置	（燃費量により検出が行われる）	—	燃料棒位置	39-3 配線図	—	燃料棒位置	中央制御室操作	A	燃料棒位置	39-3 配線図	—	燃料棒位置	燃料棒位置	M	燃料棒位置	39-2 試験及び検査	—	第2号機	燃料棒位置	本機の構造として燃料棒位置	B	燃料棒位置	39-4 試験図	—	燃料棒位置	その他	A	燃料棒位置	対象外	対象外	燃料棒位置	39-3 配線図	—	燃料棒位置	中央制御室操作	B	燃料棒位置	39-3 配線図	—	燃料棒位置	燃料棒位置等の燃料棒本機の構造として設置するもの	A	燃料棒位置	39-6 存案図表	—	燃料棒位置	（異質しない）	—	第3号機	燃料棒位置	—	—	燃料棒位置	対象外（燃料棒位置） （燃料棒位置） （燃料棒位置）	対象外	燃料棒位置	対象（燃料棒位置） （燃料棒位置） （燃料棒位置）	C	燃料棒位置	39-2 燃料棒位置	—		<p>①の相違</p>
部材名、運転員が原子炉制御室にとどまるための設備		シート表示装置（防振機）	型式記号																																																																															
第1号機	炉内監視装置（温度・圧力・放射線計測）	その他炉内	C																																																																															
	異常	（異常に検出を発生する）	—																																																																															
	振動	（振動を感知しない）	対象外																																																																															
	燃料棒の位置	（燃料棒位置から燃費量により検出を行う）	—																																																																															
	燃料棒位置	（燃費量により検出が行われる）	—																																																																															
	燃料棒位置	39-3 配線図	—																																																																															
	燃料棒位置	中央制御室操作	A																																																																															
	燃料棒位置	39-3 配線図	—																																																																															
	燃料棒位置	燃料棒位置	M																																																																															
	燃料棒位置	39-2 試験及び検査	—																																																																															
第2号機	燃料棒位置	本機の構造として燃料棒位置	B																																																																															
	燃料棒位置	39-4 試験図	—																																																																															
	燃料棒位置	その他	A																																																																															
	燃料棒位置	対象外	対象外																																																																															
	燃料棒位置	39-3 配線図	—																																																																															
	燃料棒位置	中央制御室操作	B																																																																															
	燃料棒位置	39-3 配線図	—																																																																															
	燃料棒位置	燃料棒位置等の燃料棒本機の構造として設置するもの	A																																																																															
	燃料棒位置	39-6 存案図表	—																																																																															
	燃料棒位置	（異質しない）	—																																																																															
第3号機	燃料棒位置	—	—																																																																															
	燃料棒位置	対象外（燃料棒位置） （燃料棒位置） （燃料棒位置）	対象外																																																																															
	燃料棒位置	対象（燃料棒位置） （燃料棒位置） （燃料棒位置）	C																																																																															
燃料棒位置	39-2 燃料棒位置	—																																																																																

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由																																																																																											
	女川原子力発電所2号炉 SA設備基準適合性一覧表（常設）																																																																																													
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">項目</th> <th style="width: 45%;">設備名</th> <th style="width: 50%;">設置状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">第1号炉</td> <td>制御室等・施設・圧力 / 器具の交換・目撃感</td> <td>その他の中核内</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>非常</td> <td>(指定に適合を要する品)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機材</td> <td>(廃棄を適さない)</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>制御室からの影響</td> <td>(炉内機器等からの影響等により機能しなくなる可能性がある)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>施設設備</td> <td>(規格値により機能しなくなる可能性がある)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>29-2 配置図</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第2号炉</td> <td>操作性</td> <td>操作手帳</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第3号炉</td> <td>試験・検査 (異常性、事故構成・再燃入力)</td> <td>計測制御設備</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>29-3 試験受け検査</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第4号炉</td> <td>制御室等</td> <td>本館の設備として使用（制御手帳）</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>29-4 記録図</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第5号炉</td> <td>設備設計</td> <td>設備設計書</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>その他（機材等）</td> <td>対応件</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第6号炉</td> <td>設備設計</td> <td>29-2 配置図</td> <td></td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第7号炉</td> <td>操作性</td> <td>操作手帳</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第8号炉</td> <td>言語上の容量</td> <td>重大事故等への対応を本館の目的として設置するもの</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>29-6 容量設定書</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第9号炉</td> <td>利用の状況</td> <td>(未利用) (設備)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">第10号炉</td> <td>設備設計</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>本館等・自然現象・人為事故・漏洩・火災</td> <td>対応件（固有設備（2号炉まで設置済） → 対応（6号-11号炉の設置なし）</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>中核-1と並列</td> <td>対応件（中核-1と並列）</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		項目	設備名	設置状況	第1号炉	制御室等・施設・圧力 / 器具の交換・目撃感	その他の中核内	○	非常	(指定に適合を要する品)	—	機材	(廃棄を適さない)	○	制御室からの影響	(炉内機器等からの影響等により機能しなくなる可能性がある)	—	施設設備	(規格値により機能しなくなる可能性がある)	—	関連資料	29-2 配置図		第2号炉	操作性	操作手帳	○	関連資料	—		第3号炉	試験・検査 (異常性、事故構成・再燃入力)	計測制御設備	○	関連資料	29-3 試験受け検査		第4号炉	制御室等	本館の設備として使用（制御手帳）	○	関連資料	29-4 記録図		第5号炉	設備設計	設備設計書	○	その他（機材等）	対応件	○	第6号炉	設備設計	29-2 配置図		関連資料	—		第7号炉	操作性	操作手帳	○	関連資料	—		第8号炉	言語上の容量	重大事故等への対応を本館の目的として設置するもの	△	関連資料	29-6 容量設定書		第9号炉	利用の状況	(未利用) (設備)	—	関連資料	—		第10号炉	設備設計	—		本館等・自然現象・人為事故・漏洩・火災	対応件（固有設備（2号炉まで設置済） → 対応（6号-11号炉の設置なし）	○	中核-1と並列	対応件（中核-1と並列）	○	関連資料	—		
項目	設備名	設置状況																																																																																												
第1号炉	制御室等・施設・圧力 / 器具の交換・目撃感	その他の中核内	○																																																																																											
	非常	(指定に適合を要する品)	—																																																																																											
	機材	(廃棄を適さない)	○																																																																																											
	制御室からの影響	(炉内機器等からの影響等により機能しなくなる可能性がある)	—																																																																																											
	施設設備	(規格値により機能しなくなる可能性がある)	—																																																																																											
	関連資料	29-2 配置図																																																																																												
	第2号炉	操作性	操作手帳	○																																																																																										
		関連資料	—																																																																																											
	第3号炉	試験・検査 (異常性、事故構成・再燃入力)	計測制御設備	○																																																																																										
		関連資料	29-3 試験受け検査																																																																																											
第4号炉	制御室等	本館の設備として使用（制御手帳）	○																																																																																											
	関連資料	29-4 記録図																																																																																												
第5号炉	設備設計	設備設計書	○																																																																																											
	その他（機材等）	対応件	○																																																																																											
第6号炉	設備設計	29-2 配置図																																																																																												
	関連資料	—																																																																																												
第7号炉	操作性	操作手帳	○																																																																																											
	関連資料	—																																																																																												
第8号炉	言語上の容量	重大事故等への対応を本館の目的として設置するもの	△																																																																																											
	関連資料	29-6 容量設定書																																																																																												
第9号炉	利用の状況	(未利用) (設備)	—																																																																																											
	関連資料	—																																																																																												
第10号炉	設備設計	—																																																																																												
	本館等・自然現象・人為事故・漏洩・火災	対応件（固有設備（2号炉まで設置済） → 対応（6号-11号炉の設置なし）	○																																																																																											
	中核-1と並列	対応件（中核-1と並列）	○																																																																																											
関連資料	—																																																																																													
			①の相違																																																																																											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由																																																																																																																																																																																														
	<p style="text-align: center;">女川原子力発電所2号炉 SA設備基準適合性一覧表(常設)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">箇所名</th> <th style="width: 60%;">事故発生時発生設備</th> <th style="width: 30%;">留意区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">第1号機</td> <td>運転員が原子炉制御室にとどまるための設備</td> <td></td> </tr> <tr> <td>【設置】</td> <td>原子炉建屋原子炉室内</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>【構造】</td> <td>放射線遮蔽構造</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>【材料】</td> <td>放射線遮蔽構造</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>【形状】</td> <td>放射線遮蔽構造</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>【位置】</td> <td>放射線遮蔽構造</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>【設置】</td> <td>放射線遮蔽構造</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>【構造】</td> <td>放射線遮蔽構造</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>【材料】</td> <td>放射線遮蔽構造</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>【形状】</td> <td>放射線遮蔽構造</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第2号機</td> <td>【設置】</td> <td>放射線遮蔽構造</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>【構造】</td> <td>放射線遮蔽構造</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>【材料】</td> <td>放射線遮蔽構造</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>【形状】</td> <td>放射線遮蔽構造</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>【位置】</td> <td>放射線遮蔽構造</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>【設置】</td> <td>放射線遮蔽構造</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>【構造】</td> <td>放射線遮蔽構造</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>【材料】</td> <td>放射線遮蔽構造</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>【形状】</td> <td>放射線遮蔽構造</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>【位置】</td> <td>放射線遮蔽構造</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第3号機</td> <td>【設置】</td> <td>放射線遮蔽構造</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>【構造】</td> <td>放射線遮蔽構造</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>【材料】</td> <td>放射線遮蔽構造</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>【形状】</td> <td>放射線遮蔽構造</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>【位置】</td> <td>放射線遮蔽構造</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>【設置】</td> <td>放射線遮蔽構造</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>【構造】</td> <td>放射線遮蔽構造</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>【材料】</td> <td>放射線遮蔽構造</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>【形状】</td> <td>放射線遮蔽構造</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>【位置】</td> <td>放射線遮蔽構造</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	箇所名	事故発生時発生設備	留意区分	第1号機	運転員が原子炉制御室にとどまるための設備		【設置】	原子炉建屋原子炉室内	B	【構造】	放射線遮蔽構造	—	【材料】	放射線遮蔽構造	—	【形状】	放射線遮蔽構造	—	【位置】	放射線遮蔽構造	—	【設置】	放射線遮蔽構造	—	【構造】	放射線遮蔽構造	—	【材料】	放射線遮蔽構造	—	【形状】	放射線遮蔽構造	—	第2号機	【設置】	放射線遮蔽構造	A	【構造】	放射線遮蔽構造	—	【材料】	放射線遮蔽構造	—	【形状】	放射線遮蔽構造	—	【位置】	放射線遮蔽構造	—	【設置】	放射線遮蔽構造	—	【構造】	放射線遮蔽構造	—	【材料】	放射線遮蔽構造	—	【形状】	放射線遮蔽構造	—	【位置】	放射線遮蔽構造	—	第3号機	【設置】	放射線遮蔽構造	A	【構造】	放射線遮蔽構造	—	【材料】	放射線遮蔽構造	—	【形状】	放射線遮蔽構造	—	【位置】	放射線遮蔽構造	—	【設置】	放射線遮蔽構造	—	【構造】	放射線遮蔽構造	—	【材料】	放射線遮蔽構造	—	【形状】	放射線遮蔽構造	—	【位置】	放射線遮蔽構造	—	<p style="text-align: center;">泊発電所3号炉 SA設備基準適合性一覧表(常設)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">箇所名</th> <th style="width: 60%;">事故発生時発生設備</th> <th style="width: 30%;">留意区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">第1号機</td> <td>運転員が原子炉制御室にとどまるための設備</td> <td></td> </tr> <tr> <td>【設置】</td> <td>原子炉建屋原子炉室内</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>【構造】</td> <td>放射線遮蔽構造</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>【材料】</td> <td>放射線遮蔽構造</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>【形状】</td> <td>放射線遮蔽構造</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>【位置】</td> <td>放射線遮蔽構造</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>【設置】</td> <td>放射線遮蔽構造</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>【構造】</td> <td>放射線遮蔽構造</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>【材料】</td> <td>放射線遮蔽構造</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>【形状】</td> <td>放射線遮蔽構造</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第2号機</td> <td>【設置】</td> <td>放射線遮蔽構造</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>【構造】</td> <td>放射線遮蔽構造</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>【材料】</td> <td>放射線遮蔽構造</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>【形状】</td> <td>放射線遮蔽構造</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>【位置】</td> <td>放射線遮蔽構造</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>【設置】</td> <td>放射線遮蔽構造</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>【構造】</td> <td>放射線遮蔽構造</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>【材料】</td> <td>放射線遮蔽構造</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>【形状】</td> <td>放射線遮蔽構造</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>【位置】</td> <td>放射線遮蔽構造</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第3号機</td> <td>【設置】</td> <td>放射線遮蔽構造</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>【構造】</td> <td>放射線遮蔽構造</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>【材料】</td> <td>放射線遮蔽構造</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>【形状】</td> <td>放射線遮蔽構造</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>【位置】</td> <td>放射線遮蔽構造</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>【設置】</td> <td>放射線遮蔽構造</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>【構造】</td> <td>放射線遮蔽構造</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>【材料】</td> <td>放射線遮蔽構造</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>【形状】</td> <td>放射線遮蔽構造</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>【位置】</td> <td>放射線遮蔽構造</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	箇所名	事故発生時発生設備	留意区分	第1号機	運転員が原子炉制御室にとどまるための設備		【設置】	原子炉建屋原子炉室内	B	【構造】	放射線遮蔽構造	—	【材料】	放射線遮蔽構造	—	【形状】	放射線遮蔽構造	—	【位置】	放射線遮蔽構造	—	【設置】	放射線遮蔽構造	—	【構造】	放射線遮蔽構造	—	【材料】	放射線遮蔽構造	—	【形状】	放射線遮蔽構造	—	第2号機	【設置】	放射線遮蔽構造	A	【構造】	放射線遮蔽構造	—	【材料】	放射線遮蔽構造	—	【形状】	放射線遮蔽構造	—	【位置】	放射線遮蔽構造	—	【設置】	放射線遮蔽構造	—	【構造】	放射線遮蔽構造	—	【材料】	放射線遮蔽構造	—	【形状】	放射線遮蔽構造	—	【位置】	放射線遮蔽構造	—	第3号機	【設置】	放射線遮蔽構造	A	【構造】	放射線遮蔽構造	—	【材料】	放射線遮蔽構造	—	【形状】	放射線遮蔽構造	—	【位置】	放射線遮蔽構造	—	【設置】	放射線遮蔽構造	—	【構造】	放射線遮蔽構造	—	【材料】	放射線遮蔽構造	—	【形状】	放射線遮蔽構造	—	【位置】	放射線遮蔽構造	—	<p>②の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PWRにおいては、アニュラス空気浄化ファンにより、原子炉格納容器からアニュラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アニュラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することで放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。</li> <li>・また、全交流動力電源又は直流電源が喪失した場合にはアニュラス全量排気弁等操作用可搬型窒素ガスボンベを用いて排気弁を開操作する。</li> </ul>
箇所名	事故発生時発生設備	留意区分																																																																																																																																																																																															
第1号機	運転員が原子炉制御室にとどまるための設備																																																																																																																																																																																																
	【設置】	原子炉建屋原子炉室内	B																																																																																																																																																																																														
	【構造】	放射線遮蔽構造	—																																																																																																																																																																																														
	【材料】	放射線遮蔽構造	—																																																																																																																																																																																														
	【形状】	放射線遮蔽構造	—																																																																																																																																																																																														
	【位置】	放射線遮蔽構造	—																																																																																																																																																																																														
	【設置】	放射線遮蔽構造	—																																																																																																																																																																																														
	【構造】	放射線遮蔽構造	—																																																																																																																																																																																														
	【材料】	放射線遮蔽構造	—																																																																																																																																																																																														
	【形状】	放射線遮蔽構造	—																																																																																																																																																																																														
第2号機	【設置】	放射線遮蔽構造	A																																																																																																																																																																																														
	【構造】	放射線遮蔽構造	—																																																																																																																																																																																														
	【材料】	放射線遮蔽構造	—																																																																																																																																																																																														
	【形状】	放射線遮蔽構造	—																																																																																																																																																																																														
	【位置】	放射線遮蔽構造	—																																																																																																																																																																																														
	【設置】	放射線遮蔽構造	—																																																																																																																																																																																														
	【構造】	放射線遮蔽構造	—																																																																																																																																																																																														
	【材料】	放射線遮蔽構造	—																																																																																																																																																																																														
	【形状】	放射線遮蔽構造	—																																																																																																																																																																																														
	【位置】	放射線遮蔽構造	—																																																																																																																																																																																														
第3号機	【設置】	放射線遮蔽構造	A																																																																																																																																																																																														
	【構造】	放射線遮蔽構造	—																																																																																																																																																																																														
	【材料】	放射線遮蔽構造	—																																																																																																																																																																																														
	【形状】	放射線遮蔽構造	—																																																																																																																																																																																														
	【位置】	放射線遮蔽構造	—																																																																																																																																																																																														
	【設置】	放射線遮蔽構造	—																																																																																																																																																																																														
	【構造】	放射線遮蔽構造	—																																																																																																																																																																																														
	【材料】	放射線遮蔽構造	—																																																																																																																																																																																														
	【形状】	放射線遮蔽構造	—																																																																																																																																																																																														
	【位置】	放射線遮蔽構造	—																																																																																																																																																																																														
箇所名	事故発生時発生設備	留意区分																																																																																																																																																																																															
第1号機	運転員が原子炉制御室にとどまるための設備																																																																																																																																																																																																
	【設置】	原子炉建屋原子炉室内	B																																																																																																																																																																																														
	【構造】	放射線遮蔽構造	—																																																																																																																																																																																														
	【材料】	放射線遮蔽構造	—																																																																																																																																																																																														
	【形状】	放射線遮蔽構造	—																																																																																																																																																																																														
	【位置】	放射線遮蔽構造	—																																																																																																																																																																																														
	【設置】	放射線遮蔽構造	—																																																																																																																																																																																														
	【構造】	放射線遮蔽構造	—																																																																																																																																																																																														
	【材料】	放射線遮蔽構造	—																																																																																																																																																																																														
	【形状】	放射線遮蔽構造	—																																																																																																																																																																																														
第2号機	【設置】	放射線遮蔽構造	A																																																																																																																																																																																														
	【構造】	放射線遮蔽構造	—																																																																																																																																																																																														
	【材料】	放射線遮蔽構造	—																																																																																																																																																																																														
	【形状】	放射線遮蔽構造	—																																																																																																																																																																																														
	【位置】	放射線遮蔽構造	—																																																																																																																																																																																														
	【設置】	放射線遮蔽構造	—																																																																																																																																																																																														
	【構造】	放射線遮蔽構造	—																																																																																																																																																																																														
	【材料】	放射線遮蔽構造	—																																																																																																																																																																																														
	【形状】	放射線遮蔽構造	—																																																																																																																																																																																														
	【位置】	放射線遮蔽構造	—																																																																																																																																																																																														
第3号機	【設置】	放射線遮蔽構造	A																																																																																																																																																																																														
	【構造】	放射線遮蔽構造	—																																																																																																																																																																																														
	【材料】	放射線遮蔽構造	—																																																																																																																																																																																														
	【形状】	放射線遮蔽構造	—																																																																																																																																																																																														
	【位置】	放射線遮蔽構造	—																																																																																																																																																																																														
	【設置】	放射線遮蔽構造	—																																																																																																																																																																																														
	【構造】	放射線遮蔽構造	—																																																																																																																																																																																														
	【材料】	放射線遮蔽構造	—																																																																																																																																																																																														
	【形状】	放射線遮蔽構造	—																																																																																																																																																																																														
	【位置】	放射線遮蔽構造	—																																																																																																																																																																																														



泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由																																																																																																																																																																												
	<p>女川原子力発電所2号炉 SA設備基準適合性一覧表（常設）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>項目名</th> <th>内容</th> <th>適合性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">第1号機</td> <td>運転員が原子炉制御室にとどまるための設備</td> <td>原子炉建屋のワークスペース内設置</td> <td>適合性あり</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">第1号機</td> <td>異常・異常・圧力・アラームの発生/放射線</td> <td>原子炉建屋が格納容器内</td> <td>B, H</td> </tr> <tr> <td>監視</td> <td>(有線)監視を覚醒する</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>高水</td> <td>高水を減らしたい</td> <td>設備あり</td> </tr> <tr> <td>格納容器からの影響</td> <td>(同位体濃度)から放射線により稼働を妨げられない</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>電源の確保</td> <td>(電源)により稼働が妨げられない</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第2号機</td> <td>監視資料</td> <td>39-2 監視用, 39-4 監視用</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>操作性</td> <td>中央制御室操作, 現場操作</td> <td>A, B</td> </tr> <tr> <td>監視資料</td> <td>39-2 監視用, 39-4 監視用</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>試験・検査 (検査性, 完成検成・再投入)</td> <td>その他</td> <td>N</td> </tr> <tr> <td>監視資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>燃料交換</td> <td>燃料の搬送として他第一号機と兼用</td> <td>H, K</td> </tr> <tr> <td>監視資料</td> <td>39-4 監視用</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">第3号機</td> <td>監視資料</td> <td>格納容器の撤去</td> <td>A, B</td> </tr> <tr> <td>その他 (検査性)</td> <td>検査用</td> <td>設備あり</td> </tr> <tr> <td>監視資料</td> <td>39-4 監視用</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">第4号機</td> <td>試験場所</td> <td>現場操作 (遠隔操作で操作可能) 中央制御室操作</td> <td>A, B, D</td> </tr> <tr> <td>監視資料</td> <td>39-2 監視用</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>資料SAの確保</td> <td>重大事象等への対応を本来の目的として設置するもの</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">第1号機</td> <td>監視資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>監視の質</td> <td>(利用しない設備)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>監視資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">第2号機</td> <td>監視資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>監視資料</td> <td>39-2 監視用</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>監視資料</td> <td>39-2 監視用</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	項目	項目名	内容	適合性	第1号機	運転員が原子炉制御室にとどまるための設備	原子炉建屋のワークスペース内設置	適合性あり	第1号機	異常・異常・圧力・アラームの発生/放射線	原子炉建屋が格納容器内	B, H	監視	(有線)監視を覚醒する	—	高水	高水を減らしたい	設備あり	格納容器からの影響	(同位体濃度)から放射線により稼働を妨げられない	—	電源の確保	(電源)により稼働が妨げられない	—	第2号機	監視資料	39-2 監視用, 39-4 監視用	—	操作性	中央制御室操作, 現場操作	A, B	監視資料	39-2 監視用, 39-4 監視用	—	試験・検査 (検査性, 完成検成・再投入)	その他	N	監視資料	—	—	燃料交換	燃料の搬送として他第一号機と兼用	H, K	監視資料	39-4 監視用	—	第3号機	監視資料	格納容器の撤去	A, B	その他 (検査性)	検査用	設備あり	監視資料	39-4 監視用	—	第4号機	試験場所	現場操作 (遠隔操作で操作可能) 中央制御室操作	A, B, D	監視資料	39-2 監視用	—	資料SAの確保	重大事象等への対応を本来の目的として設置するもの	A	第1号機	監視資料	—	—	監視の質	(利用しない設備)	—	監視資料	—	—	第2号機	監視資料	—	—	監視資料	39-2 監視用	—	監視資料	39-2 監視用	—	<p>泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表（常設）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>項目名</th> <th>内容</th> <th>適合性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">第1号機</td> <td>運転員が原子炉制御室にとどまるための設備</td> <td>原子炉建屋のワークスペース内設置</td> <td>適合性あり</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">第1号機</td> <td>異常・異常・圧力・アラームの発生/放射線</td> <td>原子炉建屋が格納容器内</td> <td>B, H</td> </tr> <tr> <td>監視</td> <td>(有線)監視を覚醒する</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>高水</td> <td>高水を減らしたい</td> <td>設備あり</td> </tr> <tr> <td>格納容器からの影響</td> <td>(同位体濃度)から放射線により稼働を妨げられない</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>電源の確保</td> <td>(電源)により稼働が妨げられない</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第2号機</td> <td>監視資料</td> <td>39-2 監視用, 39-4 監視用</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>操作性</td> <td>中央制御室操作, 現場操作</td> <td>A, B</td> </tr> <tr> <td>監視資料</td> <td>39-2 監視用, 39-4 監視用</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>試験・検査 (検査性, 完成検成・再投入)</td> <td>その他</td> <td>N</td> </tr> <tr> <td>監視資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>燃料交換</td> <td>燃料の搬送として他第一号機と兼用</td> <td>H, K</td> </tr> <tr> <td>監視資料</td> <td>39-4 監視用</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">第3号機</td> <td>監視資料</td> <td>格納容器の撤去</td> <td>A, B</td> </tr> <tr> <td>その他 (検査性)</td> <td>検査用</td> <td>設備あり</td> </tr> <tr> <td>監視資料</td> <td>39-4 監視用</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">第4号機</td> <td>試験場所</td> <td>現場操作 (遠隔操作で操作可能) 中央制御室操作</td> <td>A, B, D</td> </tr> <tr> <td>監視資料</td> <td>39-2 監視用</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>資料SAの確保</td> <td>重大事象等への対応を本来の目的として設置するもの</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">第1号機</td> <td>監視資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>監視の質</td> <td>(利用しない設備)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>監視資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">第2号機</td> <td>監視資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>監視資料</td> <td>39-2 監視用</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>監視資料</td> <td>39-2 監視用</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	項目	項目名	内容	適合性	第1号機	運転員が原子炉制御室にとどまるための設備	原子炉建屋のワークスペース内設置	適合性あり	第1号機	異常・異常・圧力・アラームの発生/放射線	原子炉建屋が格納容器内	B, H	監視	(有線)監視を覚醒する	—	高水	高水を減らしたい	設備あり	格納容器からの影響	(同位体濃度)から放射線により稼働を妨げられない	—	電源の確保	(電源)により稼働が妨げられない	—	第2号機	監視資料	39-2 監視用, 39-4 監視用	—	操作性	中央制御室操作, 現場操作	A, B	監視資料	39-2 監視用, 39-4 監視用	—	試験・検査 (検査性, 完成検成・再投入)	その他	N	監視資料	—	—	燃料交換	燃料の搬送として他第一号機と兼用	H, K	監視資料	39-4 監視用	—	第3号機	監視資料	格納容器の撤去	A, B	その他 (検査性)	検査用	設備あり	監視資料	39-4 監視用	—	第4号機	試験場所	現場操作 (遠隔操作で操作可能) 中央制御室操作	A, B, D	監視資料	39-2 監視用	—	資料SAの確保	重大事象等への対応を本来の目的として設置するもの	A	第1号機	監視資料	—	—	監視の質	(利用しない設備)	—	監視資料	—	—	第2号機	監視資料	—	—	監視資料	39-2 監視用	—	監視資料	39-2 監視用	—	<p>②の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PWR においては、アニユラス空気浄化ファンにより、原子炉格納容器からアニユラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アニユラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することで放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。</li> <li>・また、全交流動力電源又は直流電源が喪失した場合にはアニユラス全量排気弁等操作用可搬型窒素ガスボンベを用いて排気弁を開操作する。</li> </ul>
項目	項目名	内容	適合性																																																																																																																																																																												
第1号機	運転員が原子炉制御室にとどまるための設備	原子炉建屋のワークスペース内設置	適合性あり																																																																																																																																																																												
	第1号機	異常・異常・圧力・アラームの発生/放射線	原子炉建屋が格納容器内	B, H																																																																																																																																																																											
		監視	(有線)監視を覚醒する	—																																																																																																																																																																											
		高水	高水を減らしたい	設備あり																																																																																																																																																																											
		格納容器からの影響	(同位体濃度)から放射線により稼働を妨げられない	—																																																																																																																																																																											
		電源の確保	(電源)により稼働が妨げられない	—																																																																																																																																																																											
	第2号機	監視資料	39-2 監視用, 39-4 監視用	—																																																																																																																																																																											
		操作性	中央制御室操作, 現場操作	A, B																																																																																																																																																																											
		監視資料	39-2 監視用, 39-4 監視用	—																																																																																																																																																																											
		試験・検査 (検査性, 完成検成・再投入)	その他	N																																																																																																																																																																											
監視資料		—	—																																																																																																																																																																												
燃料交換		燃料の搬送として他第一号機と兼用	H, K																																																																																																																																																																												
監視資料		39-4 監視用	—																																																																																																																																																																												
第3号機		監視資料	格納容器の撤去	A, B																																																																																																																																																																											
		その他 (検査性)	検査用	設備あり																																																																																																																																																																											
		監視資料	39-4 監視用	—																																																																																																																																																																											
第4号機	試験場所	現場操作 (遠隔操作で操作可能) 中央制御室操作	A, B, D																																																																																																																																																																												
	監視資料	39-2 監視用	—																																																																																																																																																																												
	資料SAの確保	重大事象等への対応を本来の目的として設置するもの	A																																																																																																																																																																												
第1号機	監視資料	—	—																																																																																																																																																																												
	監視の質	(利用しない設備)	—																																																																																																																																																																												
	監視資料	—	—																																																																																																																																																																												
第2号機	監視資料	—	—																																																																																																																																																																												
	監視資料	39-2 監視用	—																																																																																																																																																																												
	監視資料	39-2 監視用	—																																																																																																																																																																												
項目	項目名	内容	適合性																																																																																																																																																																												
第1号機	運転員が原子炉制御室にとどまるための設備	原子炉建屋のワークスペース内設置	適合性あり																																																																																																																																																																												
	第1号機	異常・異常・圧力・アラームの発生/放射線	原子炉建屋が格納容器内	B, H																																																																																																																																																																											
		監視	(有線)監視を覚醒する	—																																																																																																																																																																											
		高水	高水を減らしたい	設備あり																																																																																																																																																																											
		格納容器からの影響	(同位体濃度)から放射線により稼働を妨げられない	—																																																																																																																																																																											
		電源の確保	(電源)により稼働が妨げられない	—																																																																																																																																																																											
	第2号機	監視資料	39-2 監視用, 39-4 監視用	—																																																																																																																																																																											
		操作性	中央制御室操作, 現場操作	A, B																																																																																																																																																																											
		監視資料	39-2 監視用, 39-4 監視用	—																																																																																																																																																																											
		試験・検査 (検査性, 完成検成・再投入)	その他	N																																																																																																																																																																											
監視資料		—	—																																																																																																																																																																												
燃料交換		燃料の搬送として他第一号機と兼用	H, K																																																																																																																																																																												
監視資料		39-4 監視用	—																																																																																																																																																																												
第3号機		監視資料	格納容器の撤去	A, B																																																																																																																																																																											
		その他 (検査性)	検査用	設備あり																																																																																																																																																																											
		監視資料	39-4 監視用	—																																																																																																																																																																											
第4号機	試験場所	現場操作 (遠隔操作で操作可能) 中央制御室操作	A, B, D																																																																																																																																																																												
	監視資料	39-2 監視用	—																																																																																																																																																																												
	資料SAの確保	重大事象等への対応を本来の目的として設置するもの	A																																																																																																																																																																												
第1号機	監視資料	—	—																																																																																																																																																																												
	監視の質	(利用しない設備)	—																																																																																																																																																																												
	監視資料	—	—																																																																																																																																																																												
第2号機	監視資料	—	—																																																																																																																																																																												
	監視資料	39-2 監視用	—																																																																																																																																																																												
	監視資料	39-2 監視用	—																																																																																																																																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由																																																																																																	
		<p style="text-align: center;">泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>設備名</th> <th>規格</th> <th>設備資料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">設備</td> <td>【設備基準適合性】 炉内圧力調整弁</td> <td>標準</td> <td>【設備資料】194-100000</td> </tr> <tr> <td>【設備基準適合性】 調整弁</td> <td>標準</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>【設備基準適合性】 調整弁</td> <td>標準</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>【設備基準適合性】 調整弁</td> <td>標準</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>【設備基準適合性】 調整弁</td> <td>標準</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>【設備基準適合性】 調整弁</td> <td>標準</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>【設備基準適合性】 調整弁</td> <td>標準</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>【設備基準適合性】 調整弁</td> <td>標準</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>【設備基準適合性】 調整弁</td> <td>標準</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>【設備基準適合性】 調整弁</td> <td>標準</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">機器</td> <td>【設備基準適合性】 調整弁</td> <td>標準</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>【設備基準適合性】 調整弁</td> <td>標準</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>【設備基準適合性】 調整弁</td> <td>標準</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>【設備基準適合性】 調整弁</td> <td>標準</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>【設備基準適合性】 調整弁</td> <td>標準</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>【設備基準適合性】 調整弁</td> <td>標準</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>【設備基準適合性】 調整弁</td> <td>標準</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>【設備基準適合性】 調整弁</td> <td>標準</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>【設備基準適合性】 調整弁</td> <td>標準</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>【設備基準適合性】 調整弁</td> <td>標準</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">配管</td> <td>【設備基準適合性】 調整弁</td> <td>標準</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>【設備基準適合性】 調整弁</td> <td>標準</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>【設備基準適合性】 調整弁</td> <td>標準</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>【設備基準適合性】 調整弁</td> <td>標準</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>【設備基準適合性】 調整弁</td> <td>標準</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>【設備基準適合性】 調整弁</td> <td>標準</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>【設備基準適合性】 調整弁</td> <td>標準</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>【設備基準適合性】 調整弁</td> <td>標準</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>【設備基準適合性】 調整弁</td> <td>標準</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>【設備基準適合性】 調整弁</td> <td>標準</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	項目	設備名	規格	設備資料	設備	【設備基準適合性】 炉内圧力調整弁	標準	【設備資料】194-100000	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-	機器	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-	配管	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-	<p>②の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PWR においては、アンユラス空気浄化ファンにより、原子炉格納容器からアンユラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンユラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することで放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。</li> <li>・また、全交流動力電源又は直流電源が喪失した場合にはアンユラス全量排気弁等操作用可搬型窒素ガスポンプを用いて排気弁を開操作する。</li> </ul>
項目	設備名	規格	設備資料																																																																																																	
設備	【設備基準適合性】 炉内圧力調整弁	標準	【設備資料】194-100000																																																																																																	
	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-																																																																																																	
	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-																																																																																																	
	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-																																																																																																	
	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-																																																																																																	
	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-																																																																																																	
	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-																																																																																																	
	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-																																																																																																	
	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-																																																																																																	
	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-																																																																																																	
機器	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-																																																																																																	
	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-																																																																																																	
	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-																																																																																																	
	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-																																																																																																	
	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-																																																																																																	
	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-																																																																																																	
	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-																																																																																																	
	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-																																																																																																	
	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-																																																																																																	
	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-																																																																																																	
配管	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-																																																																																																	
	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-																																																																																																	
	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-																																																																																																	
	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-																																																																																																	
	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-																																																																																																	
	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-																																																																																																	
	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-																																																																																																	
	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-																																																																																																	
	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-																																																																																																	
	【設備基準適合性】 調整弁	標準	-																																																																																																	

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由																																																																																																																																																														
	女川原子力発電所2号炉 SA 設備基準適合性一覧表（可搬型） 第59条：運転員が原子炉制御室にとどまるための設備																																																																																																																																																																
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 50%;">大飯発電所3 / 4号炉</th> <th style="width: 40%;">女川原子力発電所2号炉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">第1項</td> <td>構造</td> <td>その他の建設内</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>（高さ）構造を参照する</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>質量</td> <td>（質量）構造を参照する</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>（設置場所）構造を参照する</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>移動性</td> <td>（移動性）構造を参照する</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置方法</td> <td>（設置方法）構造を参照する</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置材料</td> <td>（設置材料）構造を参照する</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>（設置場所）構造を参照する</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置方法</td> <td>（設置方法）構造を参照する</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置材料</td> <td>（設置材料）構造を参照する</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第2項</td> <td>試験・検査</td> <td>（試験・検査）構造を参照する</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>試験項目</td> <td>（試験項目）構造を参照する</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>試験方法</td> <td>（試験方法）構造を参照する</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>試験場所</td> <td>（試験場所）構造を参照する</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>試験時期</td> <td>（試験時期）構造を参照する</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>試験結果</td> <td>（試験結果）構造を参照する</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>試験記録</td> <td>（試験記録）構造を参照する</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>試験報告</td> <td>（試験報告）構造を参照する</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>試験費用</td> <td>（試験費用）構造を参照する</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>試験責任</td> <td>（試験責任）構造を参照する</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第3項</td> <td>設計仕様</td> <td>（設計仕様）構造を参照する</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>設計内容</td> <td>（設計内容）構造を参照する</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設計者</td> <td>（設計者）構造を参照する</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設計期間</td> <td>（設計期間）構造を参照する</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設計費用</td> <td>（設計費用）構造を参照する</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設計責任</td> <td>（設計責任）構造を参照する</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設計変更</td> <td>（設計変更）構造を参照する</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設計記録</td> <td>（設計記録）構造を参照する</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設計報告</td> <td>（設計報告）構造を参照する</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設計費用</td> <td>（設計費用）構造を参照する</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第4項</td> <td>可搬式の寸法</td> <td>（可搬式の寸法）構造を参照する</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>可搬式の質量</td> <td>（可搬式の質量）構造を参照する</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>可搬式の設置場所</td> <td>（可搬式の設置場所）構造を参照する</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>可搬式の移動性</td> <td>（可搬式の移動性）構造を参照する</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>可搬式の設置方法</td> <td>（可搬式の設置方法）構造を参照する</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>可搬式の設置材料</td> <td>（可搬式の設置材料）構造を参照する</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>可搬式の設置場所</td> <td>（可搬式の設置場所）構造を参照する</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>可搬式の設置方法</td> <td>（可搬式の設置方法）構造を参照する</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>可搬式の設置材料</td> <td>（可搬式の設置材料）構造を参照する</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>可搬式の設置責任</td> <td>（可搬式の設置責任）構造を参照する</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第5項</td> <td>可搬式の寸法</td> <td>（可搬式の寸法）構造を参照する</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>可搬式の質量</td> <td>（可搬式の質量）構造を参照する</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>可搬式の設置場所</td> <td>（可搬式の設置場所）構造を参照する</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>可搬式の移動性</td> <td>（可搬式の移動性）構造を参照する</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>可搬式の設置方法</td> <td>（可搬式の設置方法）構造を参照する</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>可搬式の設置材料</td> <td>（可搬式の設置材料）構造を参照する</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>可搬式の設置場所</td> <td>（可搬式の設置場所）構造を参照する</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>可搬式の設置方法</td> <td>（可搬式の設置方法）構造を参照する</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>可搬式の設置材料</td> <td>（可搬式の設置材料）構造を参照する</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>可搬式の設置責任</td> <td>（可搬式の設置責任）構造を参照する</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>		項目	大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	第1項	構造	その他の建設内	C	高さ	（高さ）構造を参照する	—	質量	（質量）構造を参照する	—	設置場所	（設置場所）構造を参照する	—	移動性	（移動性）構造を参照する	—	設置方法	（設置方法）構造を参照する	—	設置材料	（設置材料）構造を参照する	—	設置場所	（設置場所）構造を参照する	—	設置方法	（設置方法）構造を参照する	—	設置材料	（設置材料）構造を参照する	—	第2項	試験・検査	（試験・検査）構造を参照する	C	試験項目	（試験項目）構造を参照する	—	試験方法	（試験方法）構造を参照する	—	試験場所	（試験場所）構造を参照する	—	試験時期	（試験時期）構造を参照する	—	試験結果	（試験結果）構造を参照する	—	試験記録	（試験記録）構造を参照する	—	試験報告	（試験報告）構造を参照する	—	試験費用	（試験費用）構造を参照する	—	試験責任	（試験責任）構造を参照する	—	第3項	設計仕様	（設計仕様）構造を参照する	B	設計内容	（設計内容）構造を参照する	—	設計者	（設計者）構造を参照する	—	設計期間	（設計期間）構造を参照する	—	設計費用	（設計費用）構造を参照する	—	設計責任	（設計責任）構造を参照する	—	設計変更	（設計変更）構造を参照する	—	設計記録	（設計記録）構造を参照する	—	設計報告	（設計報告）構造を参照する	—	設計費用	（設計費用）構造を参照する	—	第4項	可搬式の寸法	（可搬式の寸法）構造を参照する	C	可搬式の質量	（可搬式の質量）構造を参照する	—	可搬式の設置場所	（可搬式の設置場所）構造を参照する	—	可搬式の移動性	（可搬式の移動性）構造を参照する	—	可搬式の設置方法	（可搬式の設置方法）構造を参照する	—	可搬式の設置材料	（可搬式の設置材料）構造を参照する	—	可搬式の設置場所	（可搬式の設置場所）構造を参照する	—	可搬式の設置方法	（可搬式の設置方法）構造を参照する	—	可搬式の設置材料	（可搬式の設置材料）構造を参照する	—	可搬式の設置責任	（可搬式の設置責任）構造を参照する	—	第5項	可搬式の寸法	（可搬式の寸法）構造を参照する	C	可搬式の質量	（可搬式の質量）構造を参照する	—	可搬式の設置場所	（可搬式の設置場所）構造を参照する	—	可搬式の移動性	（可搬式の移動性）構造を参照する	—	可搬式の設置方法	（可搬式の設置方法）構造を参照する	—	可搬式の設置材料	（可搬式の設置材料）構造を参照する	—	可搬式の設置場所	（可搬式の設置場所）構造を参照する	—	可搬式の設置方法	（可搬式の設置方法）構造を参照する	—	可搬式の設置材料	（可搬式の設置材料）構造を参照する	—	可搬式の設置責任	（可搬式の設置責任）構造を参照する	—	①の相違
項目	大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉																																																																																																																																																															
第1項	構造	その他の建設内	C																																																																																																																																																														
	高さ	（高さ）構造を参照する	—																																																																																																																																																														
	質量	（質量）構造を参照する	—																																																																																																																																																														
	設置場所	（設置場所）構造を参照する	—																																																																																																																																																														
	移動性	（移動性）構造を参照する	—																																																																																																																																																														
	設置方法	（設置方法）構造を参照する	—																																																																																																																																																														
	設置材料	（設置材料）構造を参照する	—																																																																																																																																																														
	設置場所	（設置場所）構造を参照する	—																																																																																																																																																														
	設置方法	（設置方法）構造を参照する	—																																																																																																																																																														
	設置材料	（設置材料）構造を参照する	—																																																																																																																																																														
第2項	試験・検査	（試験・検査）構造を参照する	C																																																																																																																																																														
	試験項目	（試験項目）構造を参照する	—																																																																																																																																																														
	試験方法	（試験方法）構造を参照する	—																																																																																																																																																														
	試験場所	（試験場所）構造を参照する	—																																																																																																																																																														
	試験時期	（試験時期）構造を参照する	—																																																																																																																																																														
	試験結果	（試験結果）構造を参照する	—																																																																																																																																																														
	試験記録	（試験記録）構造を参照する	—																																																																																																																																																														
	試験報告	（試験報告）構造を参照する	—																																																																																																																																																														
	試験費用	（試験費用）構造を参照する	—																																																																																																																																																														
	試験責任	（試験責任）構造を参照する	—																																																																																																																																																														
第3項	設計仕様	（設計仕様）構造を参照する	B																																																																																																																																																														
	設計内容	（設計内容）構造を参照する	—																																																																																																																																																														
	設計者	（設計者）構造を参照する	—																																																																																																																																																														
	設計期間	（設計期間）構造を参照する	—																																																																																																																																																														
	設計費用	（設計費用）構造を参照する	—																																																																																																																																																														
	設計責任	（設計責任）構造を参照する	—																																																																																																																																																														
	設計変更	（設計変更）構造を参照する	—																																																																																																																																																														
	設計記録	（設計記録）構造を参照する	—																																																																																																																																																														
	設計報告	（設計報告）構造を参照する	—																																																																																																																																																														
	設計費用	（設計費用）構造を参照する	—																																																																																																																																																														
第4項	可搬式の寸法	（可搬式の寸法）構造を参照する	C																																																																																																																																																														
	可搬式の質量	（可搬式の質量）構造を参照する	—																																																																																																																																																														
	可搬式の設置場所	（可搬式の設置場所）構造を参照する	—																																																																																																																																																														
	可搬式の移動性	（可搬式の移動性）構造を参照する	—																																																																																																																																																														
	可搬式の設置方法	（可搬式の設置方法）構造を参照する	—																																																																																																																																																														
	可搬式の設置材料	（可搬式の設置材料）構造を参照する	—																																																																																																																																																														
	可搬式の設置場所	（可搬式の設置場所）構造を参照する	—																																																																																																																																																														
	可搬式の設置方法	（可搬式の設置方法）構造を参照する	—																																																																																																																																																														
	可搬式の設置材料	（可搬式の設置材料）構造を参照する	—																																																																																																																																																														
	可搬式の設置責任	（可搬式の設置責任）構造を参照する	—																																																																																																																																																														
第5項	可搬式の寸法	（可搬式の寸法）構造を参照する	C																																																																																																																																																														
	可搬式の質量	（可搬式の質量）構造を参照する	—																																																																																																																																																														
	可搬式の設置場所	（可搬式の設置場所）構造を参照する	—																																																																																																																																																														
	可搬式の移動性	（可搬式の移動性）構造を参照する	—																																																																																																																																																														
	可搬式の設置方法	（可搬式の設置方法）構造を参照する	—																																																																																																																																																														
	可搬式の設置材料	（可搬式の設置材料）構造を参照する	—																																																																																																																																																														
	可搬式の設置場所	（可搬式の設置場所）構造を参照する	—																																																																																																																																																														
	可搬式の設置方法	（可搬式の設置方法）構造を参照する	—																																																																																																																																																														
	可搬式の設置材料	（可搬式の設置材料）構造を参照する	—																																																																																																																																																														
	可搬式の設置責任	（可搬式の設置責任）構造を参照する	—																																																																																																																																																														

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
女川原子力発電所2号炉 SA設備基準適合性一覧表（可搬型）		泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表（可搬）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">第10条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備</th> <th>設備構成</th> <th>型式区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">第1項</td> <td rowspan="10">構造</td> <td>構造形式・形式・圧力・圧力の伝達・伝動機</td> <td>その他設備内</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>質量</td> <td>（構造に機能を実現する）</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>（拘束を発生しない）</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>放射線からの影響</td> <td>（放射線からの影響により機能を失わないこと）</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>電磁的妨害</td> <td>（電磁波により機能を失わないこと）</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>操作性</td> <td>中央制御室専用</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第2項</td> <td rowspan="10">構造</td> <td>制御・検査（検査性、事故検出、外部入力）</td> <td>制御制御設備</td> <td>K</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第3項</td> <td rowspan="10">構造</td> <td>制御・検査（検査性、事故検出、外部入力）</td> <td>制御制御設備</td> <td>K</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第4項</td> <td rowspan="10">構造</td> <td>制御・検査（検査性、事故検出、外部入力）</td> <td>制御制御設備</td> <td>K</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第5項</td> <td rowspan="10">構造</td> <td>制御・検査（検査性、事故検出、外部入力）</td> <td>制御制御設備</td> <td>K</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第6項</td> <td rowspan="10">構造</td> <td>制御・検査（検査性、事故検出、外部入力）</td> <td>制御制御設備</td> <td>K</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	第10条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備		設備構成	型式区分	第1項	構造	構造形式・形式・圧力・圧力の伝達・伝動機	その他設備内	C	質量	（構造に機能を実現する）	—	高さ	（拘束を発生しない）	対象外	放射線からの影響	（放射線からの影響により機能を失わないこと）	—	電磁的妨害	（電磁波により機能を失わないこと）	—	防護装置	—	—	操作性	中央制御室専用	A	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	第2項	構造	制御・検査（検査性、事故検出、外部入力）	制御制御設備	K	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	第3項	構造	制御・検査（検査性、事故検出、外部入力）	制御制御設備	K	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	第4項	構造	制御・検査（検査性、事故検出、外部入力）	制御制御設備	K	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	第5項	構造	制御・検査（検査性、事故検出、外部入力）	制御制御設備	K	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	第6項	構造	制御・検査（検査性、事故検出、外部入力）	制御制御設備	K	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">第10条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備</th> <th>設備構成</th> <th>型式区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">第1項</td> <td rowspan="10">構造</td> <td>構造形式・形式・圧力・圧力の伝達・伝動機</td> <td>その他設備内</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>質量</td> <td>（構造に機能を実現する）</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>（拘束を発生しない）</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>放射線からの影響</td> <td>（放射線からの影響により機能を失わないこと）</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>電磁的妨害</td> <td>（電磁波により機能を失わないこと）</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>操作性</td> <td>中央制御室専用</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第2項</td> <td rowspan="10">構造</td> <td>制御・検査（検査性、事故検出、外部入力）</td> <td>制御制御設備</td> <td>K</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第3項</td> <td rowspan="10">構造</td> <td>制御・検査（検査性、事故検出、外部入力）</td> <td>制御制御設備</td> <td>K</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第4項</td> <td rowspan="10">構造</td> <td>制御・検査（検査性、事故検出、外部入力）</td> <td>制御制御設備</td> <td>K</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第5項</td> <td rowspan="10">構造</td> <td>制御・検査（検査性、事故検出、外部入力）</td> <td>制御制御設備</td> <td>K</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第6項</td> <td rowspan="10">構造</td> <td>制御・検査（検査性、事故検出、外部入力）</td> <td>制御制御設備</td> <td>K</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	第10条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備		設備構成	型式区分	第1項	構造	構造形式・形式・圧力・圧力の伝達・伝動機	その他設備内	C	質量	（構造に機能を実現する）	—	高さ	（拘束を発生しない）	対象外	放射線からの影響	（放射線からの影響により機能を失わないこと）	—	電磁的妨害	（電磁波により機能を失わないこと）	—	防護装置	—	—	操作性	中央制御室専用	A	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	第2項	構造	制御・検査（検査性、事故検出、外部入力）	制御制御設備	K	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	第3項	構造	制御・検査（検査性、事故検出、外部入力）	制御制御設備	K	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	第4項	構造	制御・検査（検査性、事故検出、外部入力）	制御制御設備	K	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	第5項	構造	制御・検査（検査性、事故検出、外部入力）	制御制御設備	K	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	第6項	構造	制御・検査（検査性、事故検出、外部入力）	制御制御設備	K	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">第10条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備</th> <th>設備構成</th> <th>型式区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">第1項</td> <td rowspan="10">構造</td> <td>構造形式・形式・圧力・圧力の伝達・伝動機</td> <td>その他設備内</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>質量</td> <td>（構造に機能を実現する）</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>（拘束を発生しない）</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>放射線からの影響</td> <td>（放射線からの影響により機能を失わないこと）</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>電磁的妨害</td> <td>（電磁波により機能を失わないこと）</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>操作性</td> <td>中央制御室専用</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第2項</td> <td rowspan="10">構造</td> <td>制御・検査（検査性、事故検出、外部入力）</td> <td>制御制御設備</td> <td>K</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第3項</td> <td rowspan="10">構造</td> <td>制御・検査（検査性、事故検出、外部入力）</td> <td>制御制御設備</td> <td>K</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第4項</td> <td rowspan="10">構造</td> <td>制御・検査（検査性、事故検出、外部入力）</td> <td>制御制御設備</td> <td>K</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第5項</td> <td rowspan="10">構造</td> <td>制御・検査（検査性、事故検出、外部入力）</td> <td>制御制御設備</td> <td>K</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">第6項</td> <td rowspan="10">構造</td> <td>制御・検査（検査性、事故検出、外部入力）</td> <td>制御制御設備</td> <td>K</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>防護装置</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	第10条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備		設備構成	型式区分	第1項	構造	構造形式・形式・圧力・圧力の伝達・伝動機	その他設備内	C	質量	（構造に機能を実現する）	—	高さ	（拘束を発生しない）	対象外	放射線からの影響	（放射線からの影響により機能を失わないこと）	—	電磁的妨害	（電磁波により機能を失わないこと）	—	防護装置	—	—	操作性	中央制御室専用	A	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	第2項	構造	制御・検査（検査性、事故検出、外部入力）	制御制御設備	K	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	第3項	構造	制御・検査（検査性、事故検出、外部入力）	制御制御設備	K	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	第4項	構造	制御・検査（検査性、事故検出、外部入力）	制御制御設備	K	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	第5項	構造	制御・検査（検査性、事故検出、外部入力）	制御制御設備	K	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	第6項	構造	制御・検査（検査性、事故検出、外部入力）	制御制御設備	K	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	防護装置	—	—	<p>差異理由</p>
第10条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備		設備構成	型式区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
第1項	構造	構造形式・形式・圧力・圧力の伝達・伝動機	その他設備内	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		質量	（構造に機能を実現する）	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		高さ	（拘束を発生しない）	対象外																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		放射線からの影響	（放射線からの影響により機能を失わないこと）	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		電磁的妨害	（電磁波により機能を失わないこと）	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		操作性	中央制御室専用	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
第2項	構造	制御・検査（検査性、事故検出、外部入力）	制御制御設備	K																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
第3項	構造	制御・検査（検査性、事故検出、外部入力）	制御制御設備	K																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
第4項	構造	制御・検査（検査性、事故検出、外部入力）	制御制御設備	K																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
第5項	構造	制御・検査（検査性、事故検出、外部入力）	制御制御設備	K																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
第6項	構造	制御・検査（検査性、事故検出、外部入力）	制御制御設備	K																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
第10条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備		設備構成	型式区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
第1項	構造	構造形式・形式・圧力・圧力の伝達・伝動機	その他設備内	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		質量	（構造に機能を実現する）	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		高さ	（拘束を発生しない）	対象外																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		放射線からの影響	（放射線からの影響により機能を失わないこと）	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		電磁的妨害	（電磁波により機能を失わないこと）	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		操作性	中央制御室専用	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
第2項	構造	制御・検査（検査性、事故検出、外部入力）	制御制御設備	K																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
第3項	構造	制御・検査（検査性、事故検出、外部入力）	制御制御設備	K																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
第4項	構造	制御・検査（検査性、事故検出、外部入力）	制御制御設備	K																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
第5項	構造	制御・検査（検査性、事故検出、外部入力）	制御制御設備	K																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
第6項	構造	制御・検査（検査性、事故検出、外部入力）	制御制御設備	K																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
第10条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備		設備構成	型式区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
第1項	構造	構造形式・形式・圧力・圧力の伝達・伝動機	その他設備内	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		質量	（構造に機能を実現する）	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		高さ	（拘束を発生しない）	対象外																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		放射線からの影響	（放射線からの影響により機能を失わないこと）	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		電磁的妨害	（電磁波により機能を失わないこと）	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		操作性	中央制御室専用	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
第2項	構造	制御・検査（検査性、事故検出、外部入力）	制御制御設備	K																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
第3項	構造	制御・検査（検査性、事故検出、外部入力）	制御制御設備	K																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
第4項	構造	制御・検査（検査性、事故検出、外部入力）	制御制御設備	K																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
第5項	構造	制御・検査（検査性、事故検出、外部入力）	制御制御設備	K																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
第6項	構造	制御・検査（検査性、事故検出、外部入力）	制御制御設備	K																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		防護装置	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由																																																																																																																																																																																																																																																																															
	<p style="text-align: center;">女川原子力発電所2号炉 SA設備基準適合性一覧表（可搬型）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">注1 備考</th> <th>二酸化炭素削減計画</th> <th>影響程度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">注1 備考</td> <td>機電設備・配管・圧力 / 屋内外天板/ 放射線</td> <td>その他(機電内)</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>配管</td> <td>(有誤に補正を要する)</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>圧力</td> <td>(根本を考慮しない)</td> <td>取替等</td> </tr> <tr> <td>配管からの影響</td> <td>(他の機器等からの影響により機器を劣化させられる)</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>配管の腐食</td> <td>(電磁波により機器が劣化を来さない)</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>図2 配管図</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>注2 備考</td> <td>機電設備</td> <td>中水冷却設備</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>注3 備考</td> <td>機電設備</td> <td>図2 配管図</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>注4 備考</td> <td>試験・検査 (検査性、汚染構成・放射入力)</td> <td>計測制御設備</td> <td>K</td> </tr> <tr> <td>注5 備考</td> <td>機電設備</td> <td>図4 試験走行検査</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">注2 備考</td> <td>制御系統</td> <td>本機の制御として他機一併行不能</td> <td>取替</td> </tr> <tr> <td>機電設備</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>注6 備考</td> <td>設備設計</td> <td>機器間から決定</td> <td>取替</td> </tr> <tr> <td>注7 備考</td> <td>その他(機電内)</td> <td>取替等</td> <td>取替等</td> </tr> <tr> <td>注8 備考</td> <td>関連資料</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>注9 備考</td> <td>機電設備</td> <td>中水冷却設備</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>注10 備考</td> <td>機電設備</td> <td>図2 配管図</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>注11 備考</td> <td>可搬型SAの仕様</td> <td>その仕様書</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>注12 備考</td> <td>機電設備</td> <td>図4 可搬型認定書</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>注13 備考</td> <td>可搬型SAの取組</td> <td>取替等</td> <td>取替等</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">注3 備考</td> <td>機電設備</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>注14 備考</td> <td>異なる規格の取組取組の補修</td> <td>取替等</td> <td>取替等</td> </tr> <tr> <td>注15 備考</td> <td>機電設備</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>注16 備考</td> <td>機電設備</td> <td>燃料調整のしくみ(そのほか(燃料調整))</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>注17 備考</td> <td>機電設備</td> <td>図2 配管図</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>注18 備考</td> <td>保安設備</td> <td>屋内(放射線計測の考慮が施されていない)</td> <td>A/B</td> </tr> <tr> <td>注19 備考</td> <td>機電設備</td> <td>図2 機電設備</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>注20 備考</td> <td>アセスメント</td> <td>(アセスメント)</td> <td>取替等</td> </tr> <tr> <td>注21 備考</td> <td>機電設備</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">注4 備考</td> <td>機電設備、自然現象、人為事故、過失、火災</td> <td>対策等(同一目的の設備なし)及び対策が施されていない</td> <td>取替等</td> </tr> <tr> <td>注22 備考</td> <td>注1-1(表裏図)</td> <td>取替等</td> <td>取替等</td> </tr> <tr> <td>注23 備考</td> <td>機電設備</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	注1 備考		二酸化炭素削減計画	影響程度	注1 備考	機電設備・配管・圧力 / 屋内外天板/ 放射線	その他(機電内)	C	配管	(有誤に補正を要する)	-	圧力	(根本を考慮しない)	取替等	配管からの影響	(他の機器等からの影響により機器を劣化させられる)	-	配管の腐食	(電磁波により機器が劣化を来さない)	-	関連資料	図2 配管図	-	注2 備考	機電設備	中水冷却設備	A	注3 備考	機電設備	図2 配管図	-	注4 備考	試験・検査 (検査性、汚染構成・放射入力)	計測制御設備	K	注5 備考	機電設備	図4 試験走行検査	-	注2 備考	制御系統	本機の制御として他機一併行不能	取替	機電設備	-	-	注6 備考	設備設計	機器間から決定	取替	注7 備考	その他(機電内)	取替等	取替等	注8 備考	関連資料	-	-	注9 備考	機電設備	中水冷却設備	B	注10 備考	機電設備	図2 配管図	-	注11 備考	可搬型SAの仕様	その仕様書	C	注12 備考	機電設備	図4 可搬型認定書	-	注13 備考	可搬型SAの取組	取替等	取替等	注3 備考	機電設備	-	-	注14 備考	異なる規格の取組取組の補修	取替等	取替等	注15 備考	機電設備	-	-	注16 備考	機電設備	燃料調整のしくみ(そのほか(燃料調整))	-	注17 備考	機電設備	図2 配管図	-	注18 備考	保安設備	屋内(放射線計測の考慮が施されていない)	A/B	注19 備考	機電設備	図2 機電設備	-	注20 備考	アセスメント	(アセスメント)	取替等	注21 備考	機電設備	-	-	注4 備考	機電設備、自然現象、人為事故、過失、火災	対策等(同一目的の設備なし)及び対策が施されていない	取替等	注22 備考	注1-1(表裏図)	取替等	取替等	注23 備考	機電設備	-	-	<p style="text-align: center;">泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表(可搬)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">注1 備考</th> <th>機電設備・二酸化炭素削減計画</th> <th>影響程度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">注1 備考</td> <td>機電設備・配管・圧力 / 屋内外天板/ 放射線</td> <td>その他(機電内) (注1)放射線計測の考慮が施されていない</td> <td>取替</td> <td>取替等</td> </tr> <tr> <td>配管</td> <td>(有誤に補正を要する)</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>圧力</td> <td>(根本を考慮しない)</td> <td>取替等</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>配管からの影響</td> <td>(他の機器等からの影響により機器を劣化させられる)</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>配管の腐食</td> <td>(電磁波により機器が劣化を来さない)</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>図2 配管図</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>注2 備考</td> <td>機電設備</td> <td>中水冷却設備 (機電設備、人員として機電設備) (機電設備、人員として機電設備) (機電設備、人員として機電設備)</td> <td>取替</td> <td>取替等</td> </tr> <tr> <td>注3 備考</td> <td>試験・検査 (検査性、汚染構成、放射入力)</td> <td>計測制御設備</td> <td>取替</td> <td>取替等</td> </tr> <tr> <td>注4 備考</td> <td>機電設備</td> <td>図4 試験走行検査</td> <td>取替</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">注2 備考</td> <td>制御系統</td> <td>本機の制御として他機一併行不能</td> <td>取替</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機電設備</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>注5 備考</td> <td>設備設計</td> <td>機器間から決定</td> <td>取替</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>注6 備考</td> <td>その他(機電内)</td> <td>取替等</td> <td>取替等</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>注7 備考</td> <td>関連資料</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>注8 備考</td> <td>機電設備</td> <td>中水冷却設備</td> <td>取替</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>注9 備考</td> <td>機電設備</td> <td>図2 配管図</td> <td>取替</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>注10 備考</td> <td>可搬型SAの仕様</td> <td>その仕様書</td> <td>取替</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>注11 備考</td> <td>機電設備</td> <td>図4 可搬型認定書</td> <td>取替</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">注3 備考</td> <td>機電設備</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>注12 備考</td> <td>異なる規格の取組取組の補修</td> <td>取替等</td> <td>取替等</td> </tr> <tr> <td>注13 備考</td> <td>機電設備</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>注14 備考</td> <td>機電設備</td> <td>燃料調整のしくみ(そのほか(燃料調整))</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>注15 備考</td> <td>機電設備</td> <td>図2 配管図</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>注16 備考</td> <td>保安設備</td> <td>屋内(放射線計測の考慮が施されていない)</td> <td>取替</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>注17 備考</td> <td>機電設備</td> <td>図2 機電設備</td> <td>取替</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>注18 備考</td> <td>アセスメント</td> <td>(アセスメント)</td> <td>取替</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>注19 備考</td> <td>機電設備</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">注4 備考</td> <td>機電設備、自然現象、人為事故、過失、火災</td> <td>対策等(同一目的の設備なし)及び対策が施されていない</td> <td>取替</td> <td>取替等</td> </tr> <tr> <td>注20 備考</td> <td>注1-1(表裏図)</td> <td>取替</td> <td>取替等</td> </tr> <tr> <td>注21 備考</td> <td>機電設備</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	注1 備考		機電設備・二酸化炭素削減計画	影響程度	備考	注1 備考	機電設備・配管・圧力 / 屋内外天板/ 放射線	その他(機電内) (注1)放射線計測の考慮が施されていない	取替	取替等	配管	(有誤に補正を要する)	-	-	圧力	(根本を考慮しない)	取替等	-	配管からの影響	(他の機器等からの影響により機器を劣化させられる)	-	-	配管の腐食	(電磁波により機器が劣化を来さない)	-	-	関連資料	図2 配管図	-	-	注2 備考	機電設備	中水冷却設備 (機電設備、人員として機電設備) (機電設備、人員として機電設備) (機電設備、人員として機電設備)	取替	取替等	注3 備考	試験・検査 (検査性、汚染構成、放射入力)	計測制御設備	取替	取替等	注4 備考	機電設備	図4 試験走行検査	取替	-	注2 備考	制御系統	本機の制御として他機一併行不能	取替	-	機電設備	-	-	-	注5 備考	設備設計	機器間から決定	取替	-	注6 備考	その他(機電内)	取替等	取替等	-	注7 備考	関連資料	-	-	-	注8 備考	機電設備	中水冷却設備	取替	-	注9 備考	機電設備	図2 配管図	取替	-	注10 備考	可搬型SAの仕様	その仕様書	取替	-	注11 備考	機電設備	図4 可搬型認定書	取替	-	注3 備考	機電設備	-	-	-	注12 備考	異なる規格の取組取組の補修	取替等	取替等	注13 備考	機電設備	-	-	注14 備考	機電設備	燃料調整のしくみ(そのほか(燃料調整))	-	-	注15 備考	機電設備	図2 配管図	-	-	注16 備考	保安設備	屋内(放射線計測の考慮が施されていない)	取替	-	注17 備考	機電設備	図2 機電設備	取替	-	注18 備考	アセスメント	(アセスメント)	取替	-	注19 備考	機電設備	-	-	-	注4 備考	機電設備、自然現象、人為事故、過失、火災	対策等(同一目的の設備なし)及び対策が施されていない	取替	取替等	注20 備考	注1-1(表裏図)	取替	取替等	注21 備考	機電設備	-	-	
注1 備考		二酸化炭素削減計画	影響程度																																																																																																																																																																																																																																																																															
注1 備考	機電設備・配管・圧力 / 屋内外天板/ 放射線	その他(機電内)	C																																																																																																																																																																																																																																																																															
	配管	(有誤に補正を要する)	-																																																																																																																																																																																																																																																																															
	圧力	(根本を考慮しない)	取替等																																																																																																																																																																																																																																																																															
	配管からの影響	(他の機器等からの影響により機器を劣化させられる)	-																																																																																																																																																																																																																																																																															
	配管の腐食	(電磁波により機器が劣化を来さない)	-																																																																																																																																																																																																																																																																															
	関連資料	図2 配管図	-																																																																																																																																																																																																																																																																															
	注2 備考	機電設備	中水冷却設備	A																																																																																																																																																																																																																																																																														
	注3 備考	機電設備	図2 配管図	-																																																																																																																																																																																																																																																																														
	注4 備考	試験・検査 (検査性、汚染構成・放射入力)	計測制御設備	K																																																																																																																																																																																																																																																																														
	注5 備考	機電設備	図4 試験走行検査	-																																																																																																																																																																																																																																																																														
注2 備考	制御系統	本機の制御として他機一併行不能	取替																																																																																																																																																																																																																																																																															
	機電設備	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																															
	注6 備考	設備設計	機器間から決定	取替																																																																																																																																																																																																																																																																														
	注7 備考	その他(機電内)	取替等	取替等																																																																																																																																																																																																																																																																														
	注8 備考	関連資料	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																														
	注9 備考	機電設備	中水冷却設備	B																																																																																																																																																																																																																																																																														
	注10 備考	機電設備	図2 配管図	-																																																																																																																																																																																																																																																																														
	注11 備考	可搬型SAの仕様	その仕様書	C																																																																																																																																																																																																																																																																														
	注12 備考	機電設備	図4 可搬型認定書	-																																																																																																																																																																																																																																																																														
	注13 備考	可搬型SAの取組	取替等	取替等																																																																																																																																																																																																																																																																														
注3 備考	機電設備	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																															
	注14 備考	異なる規格の取組取組の補修	取替等	取替等																																																																																																																																																																																																																																																																														
	注15 備考	機電設備	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																														
	注16 備考	機電設備	燃料調整のしくみ(そのほか(燃料調整))	-																																																																																																																																																																																																																																																																														
	注17 備考	機電設備	図2 配管図	-																																																																																																																																																																																																																																																																														
	注18 備考	保安設備	屋内(放射線計測の考慮が施されていない)	A/B																																																																																																																																																																																																																																																																														
	注19 備考	機電設備	図2 機電設備	-																																																																																																																																																																																																																																																																														
	注20 備考	アセスメント	(アセスメント)	取替等																																																																																																																																																																																																																																																																														
	注21 備考	機電設備	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																														
	注4 備考	機電設備、自然現象、人為事故、過失、火災	対策等(同一目的の設備なし)及び対策が施されていない	取替等																																																																																																																																																																																																																																																																														
注22 備考		注1-1(表裏図)	取替等	取替等																																																																																																																																																																																																																																																																														
注23 備考		機電設備	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																														
注1 備考		機電設備・二酸化炭素削減計画	影響程度	備考																																																																																																																																																																																																																																																																														
注1 備考		機電設備・配管・圧力 / 屋内外天板/ 放射線	その他(機電内) (注1)放射線計測の考慮が施されていない	取替	取替等																																																																																																																																																																																																																																																																													
		配管	(有誤に補正を要する)	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																													
		圧力	(根本を考慮しない)	取替等	-																																																																																																																																																																																																																																																																													
		配管からの影響	(他の機器等からの影響により機器を劣化させられる)	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																													
		配管の腐食	(電磁波により機器が劣化を来さない)	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																													
		関連資料	図2 配管図	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																													
	注2 備考	機電設備	中水冷却設備 (機電設備、人員として機電設備) (機電設備、人員として機電設備) (機電設備、人員として機電設備)	取替	取替等																																																																																																																																																																																																																																																																													
	注3 備考	試験・検査 (検査性、汚染構成、放射入力)	計測制御設備	取替	取替等																																																																																																																																																																																																																																																																													
	注4 備考	機電設備	図4 試験走行検査	取替	-																																																																																																																																																																																																																																																																													
	注2 備考	制御系統	本機の制御として他機一併行不能	取替	-																																																																																																																																																																																																																																																																													
機電設備		-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																														
注5 備考		設備設計	機器間から決定	取替	-																																																																																																																																																																																																																																																																													
注6 備考		その他(機電内)	取替等	取替等	-																																																																																																																																																																																																																																																																													
注7 備考		関連資料	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																													
注8 備考		機電設備	中水冷却設備	取替	-																																																																																																																																																																																																																																																																													
注9 備考		機電設備	図2 配管図	取替	-																																																																																																																																																																																																																																																																													
注10 備考		可搬型SAの仕様	その仕様書	取替	-																																																																																																																																																																																																																																																																													
注11 備考		機電設備	図4 可搬型認定書	取替	-																																																																																																																																																																																																																																																																													
注3 備考		機電設備	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																													
	注12 備考	異なる規格の取組取組の補修	取替等	取替等																																																																																																																																																																																																																																																																														
	注13 備考	機電設備	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																														
	注14 備考	機電設備	燃料調整のしくみ(そのほか(燃料調整))	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																													
	注15 備考	機電設備	図2 配管図	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																													
	注16 備考	保安設備	屋内(放射線計測の考慮が施されていない)	取替	-																																																																																																																																																																																																																																																																													
	注17 備考	機電設備	図2 機電設備	取替	-																																																																																																																																																																																																																																																																													
	注18 備考	アセスメント	(アセスメント)	取替	-																																																																																																																																																																																																																																																																													
	注19 備考	機電設備	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																													
	注4 備考	機電設備、自然現象、人為事故、過失、火災	対策等(同一目的の設備なし)及び対策が施されていない	取替	取替等																																																																																																																																																																																																																																																																													
注20 備考		注1-1(表裏図)	取替	取替等																																																																																																																																																																																																																																																																														
注21 備考		機電設備	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																														



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由																																																																																																																																																																																																																																																								
	<p style="text-align: center;">女川原子力発電所2号炉 SA 設備基準適合性一覧表 (可搬型)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>設備名・機能名</th> <th>可搬型設備 (注)</th> <th>設置区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機房施設・配電・圧力 / 圧力の監視 / 監視機</td> <td>その他機室内</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>測定</td> <td>(圧力に測定も実施する)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>測定</td> <td>(測定も実施しない)</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>設計図からの変更</td> <td>(同じ機室等から変更により機室を失うおそれがない)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>電線の種類</td> <td>(電線径により機室が異なる)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>図-3 配線図</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>操作性</td> <td>設備の設置 / 設置</td> <td>注</td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>図-3 配線図</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>制御・検査 (検査機、監視機、外部入力)</td> <td>その他機室設備</td> <td>J</td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>図-3 配線図</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設計方針</td> <td>本来の用途として使用し使用しず</td> <td>注</td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設計図からの修正</td> <td>設計図から修正</td> <td>A, C</td> </tr> <tr> <td>その他 (検査機)</td> <td>対象外</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>中央制御室</td> <td>注</td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>図-3 配線図</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>可搬型Aの設置</td> <td>その他機室</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>可搬型Aの機能性</td> <td>主作業室に接続</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>可搬型Aの機能性</td> <td>可搬型Aの機能性</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>同機室の近く(おそれのない場合)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>図-3 配線図</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>採算効果</td> <td>屋内 (高圧機室の両側)</td> <td>A, B</td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>図-3 設置場所図</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>安全対策</td> <td>(安全対策)</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>図-3 設置場所図</td> <td>注</td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>可搬型Aの設置</td> <td>図-3 設置場所図</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>図-3 設置場所図</td> <td>注</td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	設備名・機能名	可搬型設備 (注)	設置区分	機房施設・配電・圧力 / 圧力の監視 / 監視機	その他機室内	C	測定	(圧力に測定も実施する)	—	測定	(測定も実施しない)	対象外	設計図からの変更	(同じ機室等から変更により機室を失うおそれがない)	—	電線の種類	(電線径により機室が異なる)	—	関連資料	図-3 配線図	—	操作性	設備の設置 / 設置	注	関連資料	図-3 配線図	—	制御・検査 (検査機、監視機、外部入力)	その他機室設備	J	関連資料	図-3 配線図	—	設計方針	本来の用途として使用し使用しず	注	関連資料	—	—	設計図からの修正	設計図から修正	A, C	その他 (検査機)	対象外	対象外	関連資料	—	—	設置場所	中央制御室	注	関連資料	図-3 配線図	—	可搬型Aの設置	その他機室	C	関連資料	—	—	可搬型Aの機能性	主作業室に接続	C	関連資料	—	—	可搬型Aの機能性	可搬型Aの機能性	対象外	関連資料	—	—	設置場所	同機室の近く(おそれのない場合)	—	関連資料	図-3 配線図	—	採算効果	屋内 (高圧機室の両側)	A, B	関連資料	図-3 設置場所図	—	安全対策	(安全対策)	対象外	関連資料	—	—	設置場所	図-3 設置場所図	注	関連資料	—	—	可搬型Aの設置	図-3 設置場所図	対象外	関連資料	—	—	設置場所	図-3 設置場所図	注	関連資料	—	—	<p style="text-align: center;">泊発電所3号炉 SA 設備基準適合性 一覧表(可搬)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>設備名・機能名</th> <th>可搬型設備 (注)</th> <th>設置区分</th> <th>設置場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機房施設・配電・圧力 / 圧力の監視 / 監視機</td> <td>(圧力に測定も実施する)</td> <td>注</td> <td>(機室を失うおそれがない)</td> </tr> <tr> <td>測定</td> <td>(測定も実施しない)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設計図からの変更</td> <td>(同じ機室等から変更により機室を失うおそれがない)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>電線の種類</td> <td>(電線径により機室が異なる)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>図-3 配線図</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>操作性</td> <td>設備の設置 / 設置</td> <td>注</td> <td>(機室を失うおそれがない)</td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>図-3 配線図</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>制御・検査 (検査機、監視機、外部入力)</td> <td>その他機室設備</td> <td>J</td> <td>(機室を失うおそれがない)</td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>図-3 配線図</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設計方針</td> <td>本来の用途として使用し使用しず</td> <td>注</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設計図からの修正</td> <td>設計図から修正</td> <td>A, C</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>その他 (検査機)</td> <td>対象外</td> <td>対象外</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>中央制御室</td> <td>注</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>図-3 配線図</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>可搬型Aの設置</td> <td>その他機室</td> <td>C</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>可搬型Aの機能性</td> <td>主作業室に接続</td> <td>C</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>可搬型Aの機能性</td> <td>可搬型Aの機能性</td> <td>対象外</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>同機室の近く(おそれのない場合)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>図-3 配線図</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>採算効果</td> <td>屋内 (高圧機室の両側)</td> <td>A, B</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>図-3 設置場所図</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>安全対策</td> <td>(安全対策)</td> <td>対象外</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>図-3 設置場所図</td> <td>注</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>可搬型Aの設置</td> <td>図-3 設置場所図</td> <td>対象外</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>図-3 設置場所図</td> <td>注</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>関連資料</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	設備名・機能名	可搬型設備 (注)	設置区分	設置場所	機房施設・配電・圧力 / 圧力の監視 / 監視機	(圧力に測定も実施する)	注	(機室を失うおそれがない)	測定	(測定も実施しない)	—	—	設計図からの変更	(同じ機室等から変更により機室を失うおそれがない)	—	—	電線の種類	(電線径により機室が異なる)	—	—	関連資料	図-3 配線図	—	—	操作性	設備の設置 / 設置	注	(機室を失うおそれがない)	関連資料	図-3 配線図	—	—	制御・検査 (検査機、監視機、外部入力)	その他機室設備	J	(機室を失うおそれがない)	関連資料	図-3 配線図	—	—	設計方針	本来の用途として使用し使用しず	注	—	関連資料	—	—	—	設計図からの修正	設計図から修正	A, C	—	その他 (検査機)	対象外	対象外	—	関連資料	—	—	—	設置場所	中央制御室	注	—	関連資料	図-3 配線図	—	—	可搬型Aの設置	その他機室	C	—	関連資料	—	—	—	可搬型Aの機能性	主作業室に接続	C	—	関連資料	—	—	—	可搬型Aの機能性	可搬型Aの機能性	対象外	—	関連資料	—	—	—	設置場所	同機室の近く(おそれのない場合)	—	—	関連資料	図-3 配線図	—	—	採算効果	屋内 (高圧機室の両側)	A, B	—	関連資料	図-3 設置場所図	—	—	安全対策	(安全対策)	対象外	—	関連資料	—	—	—	設置場所	図-3 設置場所図	注	—	関連資料	—	—	—	可搬型Aの設置	図-3 設置場所図	対象外	—	関連資料	—	—	—	設置場所	図-3 設置場所図	注	—	関連資料	—	—	—	
設備名・機能名	可搬型設備 (注)	設置区分																																																																																																																																																																																																																																																									
機房施設・配電・圧力 / 圧力の監視 / 監視機	その他機室内	C																																																																																																																																																																																																																																																									
測定	(圧力に測定も実施する)	—																																																																																																																																																																																																																																																									
測定	(測定も実施しない)	対象外																																																																																																																																																																																																																																																									
設計図からの変更	(同じ機室等から変更により機室を失うおそれがない)	—																																																																																																																																																																																																																																																									
電線の種類	(電線径により機室が異なる)	—																																																																																																																																																																																																																																																									
関連資料	図-3 配線図	—																																																																																																																																																																																																																																																									
操作性	設備の設置 / 設置	注																																																																																																																																																																																																																																																									
関連資料	図-3 配線図	—																																																																																																																																																																																																																																																									
制御・検査 (検査機、監視機、外部入力)	その他機室設備	J																																																																																																																																																																																																																																																									
関連資料	図-3 配線図	—																																																																																																																																																																																																																																																									
設計方針	本来の用途として使用し使用しず	注																																																																																																																																																																																																																																																									
関連資料	—	—																																																																																																																																																																																																																																																									
設計図からの修正	設計図から修正	A, C																																																																																																																																																																																																																																																									
その他 (検査機)	対象外	対象外																																																																																																																																																																																																																																																									
関連資料	—	—																																																																																																																																																																																																																																																									
設置場所	中央制御室	注																																																																																																																																																																																																																																																									
関連資料	図-3 配線図	—																																																																																																																																																																																																																																																									
可搬型Aの設置	その他機室	C																																																																																																																																																																																																																																																									
関連資料	—	—																																																																																																																																																																																																																																																									
可搬型Aの機能性	主作業室に接続	C																																																																																																																																																																																																																																																									
関連資料	—	—																																																																																																																																																																																																																																																									
可搬型Aの機能性	可搬型Aの機能性	対象外																																																																																																																																																																																																																																																									
関連資料	—	—																																																																																																																																																																																																																																																									
設置場所	同機室の近く(おそれのない場合)	—																																																																																																																																																																																																																																																									
関連資料	図-3 配線図	—																																																																																																																																																																																																																																																									
採算効果	屋内 (高圧機室の両側)	A, B																																																																																																																																																																																																																																																									
関連資料	図-3 設置場所図	—																																																																																																																																																																																																																																																									
安全対策	(安全対策)	対象外																																																																																																																																																																																																																																																									
関連資料	—	—																																																																																																																																																																																																																																																									
設置場所	図-3 設置場所図	注																																																																																																																																																																																																																																																									
関連資料	—	—																																																																																																																																																																																																																																																									
可搬型Aの設置	図-3 設置場所図	対象外																																																																																																																																																																																																																																																									
関連資料	—	—																																																																																																																																																																																																																																																									
設置場所	図-3 設置場所図	注																																																																																																																																																																																																																																																									
関連資料	—	—																																																																																																																																																																																																																																																									
設備名・機能名	可搬型設備 (注)	設置区分	設置場所																																																																																																																																																																																																																																																								
機房施設・配電・圧力 / 圧力の監視 / 監視機	(圧力に測定も実施する)	注	(機室を失うおそれがない)																																																																																																																																																																																																																																																								
測定	(測定も実施しない)	—	—																																																																																																																																																																																																																																																								
設計図からの変更	(同じ機室等から変更により機室を失うおそれがない)	—	—																																																																																																																																																																																																																																																								
電線の種類	(電線径により機室が異なる)	—	—																																																																																																																																																																																																																																																								
関連資料	図-3 配線図	—	—																																																																																																																																																																																																																																																								
操作性	設備の設置 / 設置	注	(機室を失うおそれがない)																																																																																																																																																																																																																																																								
関連資料	図-3 配線図	—	—																																																																																																																																																																																																																																																								
制御・検査 (検査機、監視機、外部入力)	その他機室設備	J	(機室を失うおそれがない)																																																																																																																																																																																																																																																								
関連資料	図-3 配線図	—	—																																																																																																																																																																																																																																																								
設計方針	本来の用途として使用し使用しず	注	—																																																																																																																																																																																																																																																								
関連資料	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																								
設計図からの修正	設計図から修正	A, C	—																																																																																																																																																																																																																																																								
その他 (検査機)	対象外	対象外	—																																																																																																																																																																																																																																																								
関連資料	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																								
設置場所	中央制御室	注	—																																																																																																																																																																																																																																																								
関連資料	図-3 配線図	—	—																																																																																																																																																																																																																																																								
可搬型Aの設置	その他機室	C	—																																																																																																																																																																																																																																																								
関連資料	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																								
可搬型Aの機能性	主作業室に接続	C	—																																																																																																																																																																																																																																																								
関連資料	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																								
可搬型Aの機能性	可搬型Aの機能性	対象外	—																																																																																																																																																																																																																																																								
関連資料	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																								
設置場所	同機室の近く(おそれのない場合)	—	—																																																																																																																																																																																																																																																								
関連資料	図-3 配線図	—	—																																																																																																																																																																																																																																																								
採算効果	屋内 (高圧機室の両側)	A, B	—																																																																																																																																																																																																																																																								
関連資料	図-3 設置場所図	—	—																																																																																																																																																																																																																																																								
安全対策	(安全対策)	対象外	—																																																																																																																																																																																																																																																								
関連資料	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																								
設置場所	図-3 設置場所図	注	—																																																																																																																																																																																																																																																								
関連資料	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																								
可搬型Aの設置	図-3 設置場所図	対象外	—																																																																																																																																																																																																																																																								
関連資料	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																								
設置場所	図-3 設置場所図	注	—																																																																																																																																																																																																																																																								
関連資料	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由																																												
		<p style="text-align: center;">泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表(可搬)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>泊発電所3号炉</th> <th>女川原子力発電所2号炉</th> <th>差異理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設備名</td> <td>アンニュラス空気浄化装置</td> <td>アンニュラス空気浄化装置</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設備位置</td> <td>（注）本装置は、原子炉格納容器からアンニュラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンニュラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することによって放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。</td> <td>（注）本装置は、原子炉格納容器からアンニュラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンニュラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することによって放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設備仕様</td> <td>（注）本装置は、原子炉格納容器からアンニュラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンニュラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することによって放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。</td> <td>（注）本装置は、原子炉格納容器からアンニュラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンニュラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することによって放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設備構成</td> <td>（注）本装置は、原子炉格納容器からアンニュラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンニュラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することによって放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。</td> <td>（注）本装置は、原子炉格納容器からアンニュラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンニュラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することによって放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設備の運用</td> <td>（注）本装置は、原子炉格納容器からアンニュラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンニュラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することによって放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。</td> <td>（注）本装置は、原子炉格納容器からアンニュラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンニュラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することによって放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設備の保守</td> <td>（注）本装置は、原子炉格納容器からアンニュラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンニュラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することによって放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。</td> <td>（注）本装置は、原子炉格納容器からアンニュラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンニュラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することによって放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設備の点検</td> <td>（注）本装置は、原子炉格納容器からアンニュラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンニュラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することによって放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。</td> <td>（注）本装置は、原子炉格納容器からアンニュラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンニュラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することによって放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設備の修理</td> <td>（注）本装置は、原子炉格納容器からアンニュラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンニュラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することによって放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。</td> <td>（注）本装置は、原子炉格納容器からアンニュラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンニュラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することによって放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設備の廃棄</td> <td>（注）本装置は、原子炉格納容器からアンニュラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンニュラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することによって放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。</td> <td>（注）本装置は、原子炉格納容器からアンニュラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンニュラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することによって放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設備のその他</td> <td>（注）本装置は、原子炉格納容器からアンニュラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンニュラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することによって放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。</td> <td>（注）本装置は、原子炉格納容器からアンニュラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンニュラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することによって放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	泊発電所3号炉	女川原子力発電所2号炉	差異理由	設備名	アンニュラス空気浄化装置	アンニュラス空気浄化装置		設備位置	（注）本装置は、原子炉格納容器からアンニュラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンニュラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することによって放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。	（注）本装置は、原子炉格納容器からアンニュラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンニュラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することによって放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。		設備仕様	（注）本装置は、原子炉格納容器からアンニュラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンニュラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することによって放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。	（注）本装置は、原子炉格納容器からアンニュラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンニュラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することによって放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。		設備構成	（注）本装置は、原子炉格納容器からアンニュラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンニュラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することによって放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。	（注）本装置は、原子炉格納容器からアンニュラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンニュラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することによって放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。		設備の運用	（注）本装置は、原子炉格納容器からアンニュラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンニュラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することによって放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。	（注）本装置は、原子炉格納容器からアンニュラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンニュラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することによって放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。		設備の保守	（注）本装置は、原子炉格納容器からアンニュラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンニュラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することによって放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。	（注）本装置は、原子炉格納容器からアンニュラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンニュラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することによって放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。		設備の点検	（注）本装置は、原子炉格納容器からアンニュラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンニュラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することによって放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。	（注）本装置は、原子炉格納容器からアンニュラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンニュラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することによって放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。		設備の修理	（注）本装置は、原子炉格納容器からアンニュラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンニュラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することによって放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。	（注）本装置は、原子炉格納容器からアンニュラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンニュラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することによって放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。		設備の廃棄	（注）本装置は、原子炉格納容器からアンニュラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンニュラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することによって放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。	（注）本装置は、原子炉格納容器からアンニュラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンニュラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することによって放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。		設備のその他	（注）本装置は、原子炉格納容器からアンニュラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンニュラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することによって放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。	（注）本装置は、原子炉格納容器からアンニュラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンニュラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することによって放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。		<p>②の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PWR においては、アンニュラス空気浄化ファンにより、原子炉格納容器からアンニュラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンニュラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することで放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。</li> <li>・また、全交流動力電源又は直流電源が喪失した場合にはアンニュラス全量排気弁等操作用可搬型窒素ガスポンプを用いて排気弁を開操作する。</li> </ul>
項目	泊発電所3号炉	女川原子力発電所2号炉	差異理由																																												
設備名	アンニュラス空気浄化装置	アンニュラス空気浄化装置																																													
設備位置	（注）本装置は、原子炉格納容器からアンニュラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンニュラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することによって放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。	（注）本装置は、原子炉格納容器からアンニュラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンニュラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することによって放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。																																													
設備仕様	（注）本装置は、原子炉格納容器からアンニュラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンニュラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することによって放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。	（注）本装置は、原子炉格納容器からアンニュラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンニュラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することによって放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。																																													
設備構成	（注）本装置は、原子炉格納容器からアンニュラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンニュラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することによって放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。	（注）本装置は、原子炉格納容器からアンニュラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンニュラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することによって放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。																																													
設備の運用	（注）本装置は、原子炉格納容器からアンニュラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンニュラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することによって放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。	（注）本装置は、原子炉格納容器からアンニュラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンニュラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することによって放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。																																													
設備の保守	（注）本装置は、原子炉格納容器からアンニュラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンニュラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することによって放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。	（注）本装置は、原子炉格納容器からアンニュラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンニュラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することによって放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。																																													
設備の点検	（注）本装置は、原子炉格納容器からアンニュラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンニュラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することによって放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。	（注）本装置は、原子炉格納容器からアンニュラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンニュラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することによって放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。																																													
設備の修理	（注）本装置は、原子炉格納容器からアンニュラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンニュラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することによって放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。	（注）本装置は、原子炉格納容器からアンニュラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンニュラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することによって放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。																																													
設備の廃棄	（注）本装置は、原子炉格納容器からアンニュラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンニュラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することによって放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。	（注）本装置は、原子炉格納容器からアンニュラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンニュラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することによって放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。																																													
設備のその他	（注）本装置は、原子炉格納容器からアンニュラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンニュラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することによって放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。	（注）本装置は、原子炉格納容器からアンニュラス部へ漏えいする放射性物質等を含む空気を吸入し、アンニュラス空気浄化フィルタユニットを介して放射性物質を低減させた後、排気筒から排出することによって放射性物質の濃度を低減する設計を採用している。																																													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
<p>大飯3、4号炉 SA設備基準適合性一覧表の記号説明</p> <p>■設備許可基準規則 第43条 第1項 第1号 重大事故等時の環境条件における健全性について</p> <p>①環境温度・湿度圧力・放射 ②屋外の天候による影響 ③放射線による影響（被ばく/機器） ④地震 ⑤原子炉格納容器内の屋内設備 ⑥IS LOCA時に使用する設備 ⑦RFP緊急時に使用する設備 ⑧SOTR時に使用する設備 ⑨その他の屋内設備 ⑩屋外設備（設備棟屋以外の建屋を含む） ⑪系統ごとに関連 ⑫定常 ⑬しない ⑭異なる</p> <p>①電源喪失による影響 ②周辺機器等からの悪影響</p> <p>①定常時に放水する系統、②：放水又は海水から選択できる系統、③：放水を連水しない系統で分岐する。</p> <p>■設備許可基準規則 第43条 第1項 第2号 操作の確実性について</p> <p>操作が必要ない設備 操作が必要設備 ・ 構造事項 ・ 操作環境 ①環境条件（被ばく影響等） ②空間湿度 ③定常の確保 ④放射線、放射の確保 ・ 操作手順 ⑤工法 ⑥設備の構成、設置 ・ 操作内容 ⑦操作スイッチ操作 ⑧電源操作 ⑨弁操作 ⑩接続作業 ⑪ディスプレイ・スピーク操作 ・ その他、設備ごとの共通事項</p> <p>①定常時に放水する系統、②：放水又は海水から選択できる系統、③：放水を連水しない系統で分岐する。</p> <p>※：設備ごとに対応の組み合わせが異なるため、その対応を設備ごとに記載する。          (例：A③、A⑤、A⑦等)</p>		<p>泊3号炉 SA設備基準適合性一覧表の記号説明</p> <p>■設備許可基準規則 第43条 第1項 第1号 重大事故等時の環境条件における健全性について</p> <p>①環境温度・湿度圧力・放射 ②屋外の天候による影響 ③放射線による影響（被ばく/機器） ④地震 ⑤原子炉格納容器内の屋内設備 ⑥IS LOCA時に使用する設備 ⑦SFP緊急時に使用する設備 ⑧SOTR時に使用する設備 ⑨その他の屋内設備 ⑩屋外設備（設備棟屋以外の建屋を含む） ⑪系統ごとに関連 ⑫定常 ⑬しない ⑭異なる</p> <p>①電源喪失による影響 ②周辺機器等からの悪影響</p> <p>①定常時に放水する系統、②：放水又は海水から選択できる系統、③：放水を連水しない系統で分岐する。</p> <p>■設備許可基準規則 第43条 第1項 第2号 操作の確実性について</p> <p>操作が必要ない設備 操作が必要設備 ・ 構造事項 ・ 操作環境 ①環境条件（被ばく影響等） ②空間湿度 ③定常の確保 ④放射線、放射の確保 ・ 操作手順 ⑤工法 ⑥設備の構成、設置 ・ 操作内容 ⑦操作スイッチ操作 ⑧電源操作 ⑨弁操作 ⑩接続作業 ・ その他、設備ごとの共通事項</p> <p>①定常時に放水する系統、②：放水又は海水から選択できる系統、③：放水を連水しない系統で分岐する。</p>	<p>【女川】大飯審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
<p>■設置許可基準規則 第43条 第1項 第3号 試験又は検査性について</p> <p>■設置許可基準規則 第43条 第1項 第4号 切り替え性について</p> <p>■設置許可基準規則 第43条 第1項 第5号 重大事故等対応設備の影響防止について</p> <p>※：Aについては、Aと考慮事項の番号を記載する。（例：A①、A②等）</p>		<p>■設置許可基準規則 第43条 第1項 第3号 試験又は検査性について</p> <p>■設置許可基準規則 第43条 第1項 第4号 切り替え性について</p> <p>■設置許可基準規則 第43条 第1項 第5号 重大事故等対応設備の影響防止について</p>	<p>【女川】大飯審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由								
<p>■設置許可基準規則 第43条 第1項 第6号 設置場所について</p> <p>■設置許可基準規則 第43条 第2項 第1号 常設重大事故等対処設備の容量等について</p> <p>■設置許可基準規則 第43条 第2項 第2号 発電用原子炉施設での共用の禁止について</p> <p>■設置許可基準規則 第43条 第2項 第5号 常設重大事故防止設備の共通要因故障について</p> <p>注：記号の記載については、考慮事項の番号a又はbを記載する。（例：①a、①b、②a、②b）</p>		<p>■設置許可基準規則 第43条 第1項 第6号 常設重大事故等対処設備の容量等について</p> <p>■設置許可基準規則 第43条 第2項 第1号 常設重大事故等対処設備の容量等について</p> <p>■設置許可基準規則 第43条 第2項 第2号 発電用原子炉施設での共用の禁止について</p> <table border="1" data-bbox="1272 715 1809 798"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>設計方針</th> <th>関連資料</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>2以上の発電用原子炉施設において共用しない設計とする。</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>■設置許可基準規則 第43条 第2項 第3号 常設重大事故防止設備の共通要因故障について</p>	区分	設計方針	関連資料	備考	-	2以上の発電用原子炉施設において共用しない設計とする。	-		<p>【女川】大飯審査実績の反映</p>
区分	設計方針	関連資料	備考								
-	2以上の発電用原子炉施設において共用しない設計とする。	-									



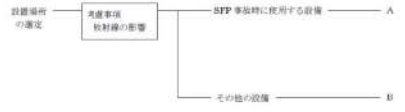




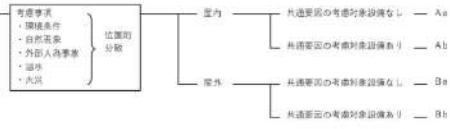
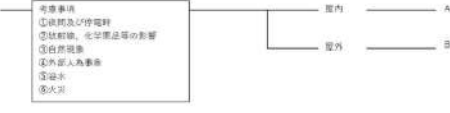
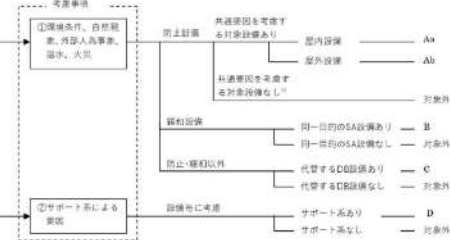
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
<p>■設置許可基準規則 第43条 第3項 第1号 可搬型重大事故等対応設備の容量等について</p> <p>必要数量</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【考慮事項】                     <ul style="list-style-type: none"> <li>① 原子炉補助建屋の外から水又は電力を供給する設備かどうか</li> <li>② 負荷に直接接続する可搬型発電機設備、可搬型バッテリー、可搬型ポンプ等かどうか</li> </ul> </li> <li>原子炉補助建屋の外から水又は電力を供給する可搬型設備 — A</li> <li>負荷に直接接続する可搬型（直交変流設備、可搬型バッテリー、可搬型ポンプ等） — B</li> <li>③、④以外 — C</li> </ul> <p>中継装置の考え方は、</p> <p>中継装置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【考慮事項】                     <ul style="list-style-type: none"> <li>① プラント定機中等可搬型重大事故等対応設備の機能と要求されない時期に保守点検を実施するかどうか</li> <li>② 保守点検中でも使用可能（外観目視、結露・結露、メタセキア、機能確認、一式取替（取替済みの設備との取替含む。）の際に、事前に監督官を喚出してから保守点検するかどうか等）であるかどうか</li> </ul> </li> <li>プラント定機中等可搬型重大事故等対応設備の機能と要求されない時期に保守点検を実施する設備 — A</li> <li>保守点検中でも使用可能（外観目視、結露・結露、メタセキア、機能確認、一式取替（取替済みの設備との取替含む。）の際に、事前に監督官を喚出してから保守点検するかどうか等）である設備 — B</li> <li>③、④以外 — C</li> </ul> <p>■設置許可基準規則 第43条 第3項 第2号 可搬型重大事故等対応設備の常設設備との接続性について</p> <p>接続</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【考慮事項】                     <ul style="list-style-type: none"> <li>① 容易かつ確実な接続</li> <li>② 接続部の規格の統一</li> </ul> </li> <li>ケーブル                     <ul style="list-style-type: none"> <li>コネクタ接続 — A</li> <li>より簡便な接続規格等による接続 — C</li> </ul> </li> <li>配管                     <ul style="list-style-type: none"> <li>ボルト締フランジ接続 — B</li> <li>より簡便な接続規格等による接続 — C</li> <li>その他の措置 — D</li> <li>接続なし — E</li> </ul> </li> </ul> <p>■設置許可基準規則 第43条 第3項 第3号 異なる複数の接続箇所の確保について</p> <p>接続箇所（建屋外から供給するものに限る）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【考慮事項】                     <ul style="list-style-type: none"> <li>- 放射線による影響因子</li> <li>- 漏水、火災</li> <li>- 自然現象</li> <li>- 外部人為事象</li> </ul> </li> <li>水・電力 — 屋内（壁面含む） — A</li> <li>屋内及び屋外 — B</li> <li>その他（空気） — C</li> <li>接続箇所なし — D</li> </ul>		<p>■設置許可基準規則 第43条 第3項 第1号 可搬型重大事故等対応設備の容量等について</p> <p>必要数量</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【考慮事項】                     <ul style="list-style-type: none"> <li>① 原子炉建屋又は原子炉補助建屋の外から水又は電力を供給する設備かどうか</li> <li>② 負荷に直接接続する可搬型バッテリー及び可搬型ポンプ等かどうか</li> </ul> </li> <li>原子炉建屋又は原子炉補助建屋の外から水又は電力を供給する可搬型設備 — A</li> <li>負荷に直接接続する可搬型バッテリー及び可搬型ポンプ等 — B</li> <li>③、④以外 — C</li> </ul> <p>中継装置もあてて設計方針とする。</p> <p>■設置許可基準規則 第43条 第3項 第2号 可搬型重大事故等対応設備の常設設備との接続性について</p> <p>接続</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【考慮事項】                     <ul style="list-style-type: none"> <li>① 容易かつ確実な接続</li> <li>② 接続部の規格の統一</li> </ul> </li> <li>ケーブル                     <ul style="list-style-type: none"> <li>母線併結                             <ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉のサルト・ネジによる接続 — A</li> </ul> </li> <li>通信・計装機設備専用                             <ul style="list-style-type: none"> <li>専用の接続方法による接続 — D</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>水・空気配管                     <ul style="list-style-type: none"> <li>大口径等                             <ul style="list-style-type: none"> <li>ボルト締フランジ接続 — B</li> </ul> </li> <li>小口径等                             <ul style="list-style-type: none"> <li>より簡便な接続規格等による接続 — C</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>油配管、計装用配管                     <ul style="list-style-type: none"> <li>専用の接続方法による接続 — D</li> </ul> </li> </ul> <p>■設置許可基準規則 第43条 第3項 第3号 異なる複数の接続箇所の確保について</p> <p>接続箇所（建屋外から供給するものに限る）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【考慮事項】                     <ul style="list-style-type: none"> <li>- 放射線</li> <li>- 漏水、火災</li> <li>- 自然現象</li> <li>- 外部人為事象</li> </ul> </li> <li>水・電力 — 屋内（壁面含む） — A</li> <li>その他（空気） — 対象外</li> </ul>	<p>【女川】大飯審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
<p>■設置許可基準規則 第43条 第3項 第4号 可搬型重大事故等対応設備の設置場所について</p>  <p>■設置許可基準規則 第43条 第3項 第5号 保管場所について</p>  <p>■設置許可基準規則 第43条 第3項 第6号 アクセスルートについて</p>  <p>■設置許可基準規則 第43条 第3項 第7号 重大事故防止設備のうち可搬型のもの共通要因設備について</p>  <p>※：記号の記載については、考慮事項の番号+ a又はbを記載する。（例：①a、①b、②a、②b）</p>		<p>■設置許可基準規則 第43条 第3項 第4号 可搬型重大事故等対応設備の設置場所について</p>  <p>■設置許可基準規則 第43条 第3項 第5号 保管場所について</p>  <p>■設置許可基準規則 第43条 第3項 第6号 アクセスルートについて</p>  <p>■設置許可基準規則 第43条 第3項 第7号 重大事故防止設備のうち可搬型のもの共通要因設備について</p> 	<p>【女川】大飯審査実績の反映</p>

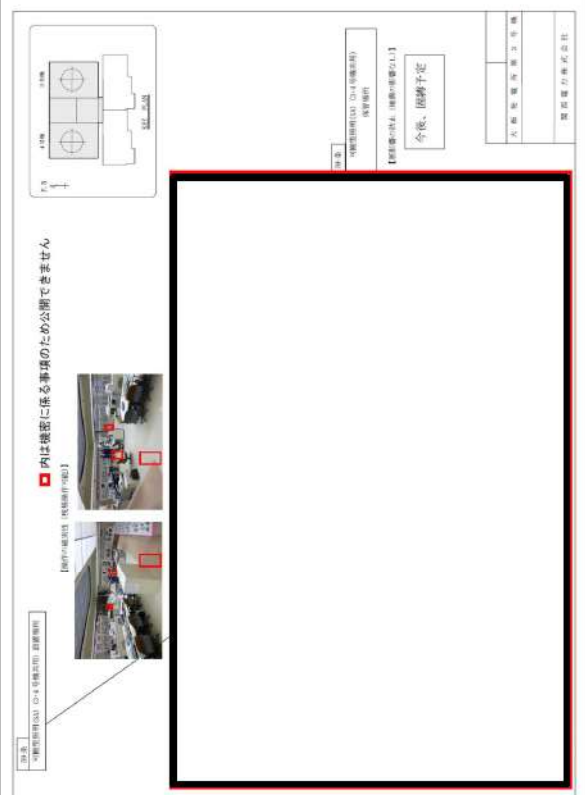
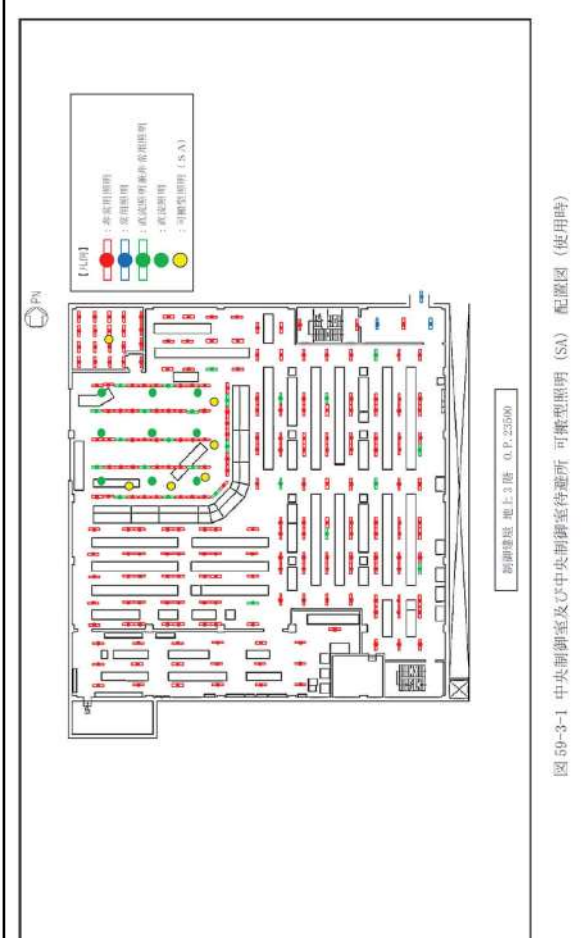
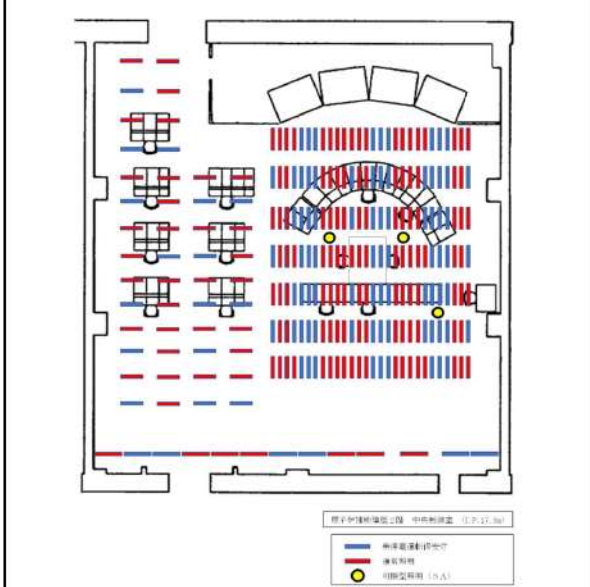
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
<p>59-2 配置図</p> <p>3号炉</p>	<p>59-3 配置図</p>	<p>59-2 配置図</p> <div data-bbox="1541 965 1814 1053" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;"> <p>凡例</p> <p><span style="border: 1px solid blue; padding: 2px;"> </span>：設計基準対象施設</p> <p><span style="border: 1px solid red; padding: 2px;"> </span>：重大事故等対処設備</p> </div>	<p>【大飯】記載順序の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配置図については比較のため、大飯の掲載順を女川に合わせて再構成している。</li> </ul> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大飯は3号炉と4号炉を区別して記載している。</li> </ul> <p>【女川・大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊は凡例を記載。</li> </ul>

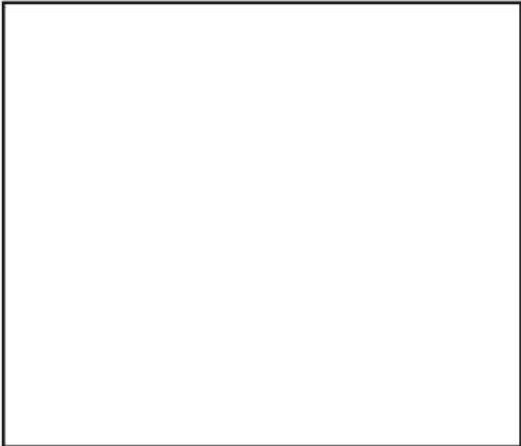
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
<p>【大飯欄はp59-2-5を掲載】</p> 	 <p>図59-3-1 中央制御室及び中央制御室待避所 可搬型照明 (SA) 配置図 (使用時)</p>	 <p>図59-2-1 中央制御室 可搬型照明 (SA) 配置図 (使用時)</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

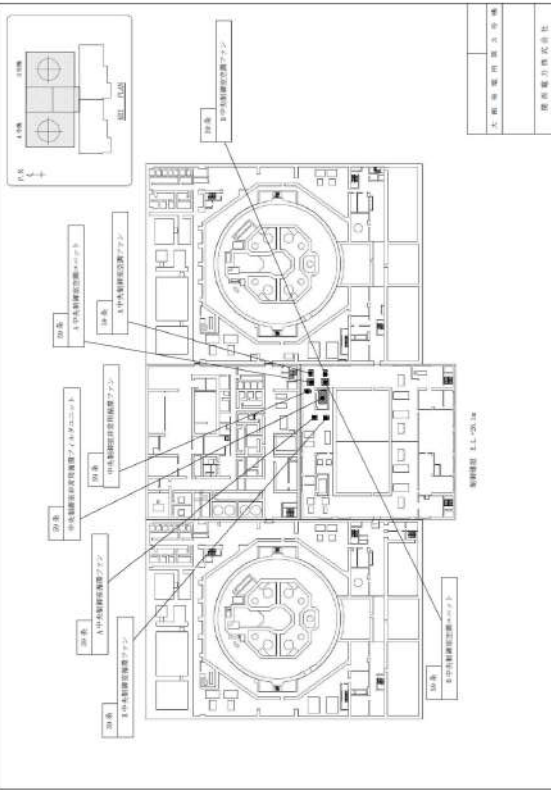
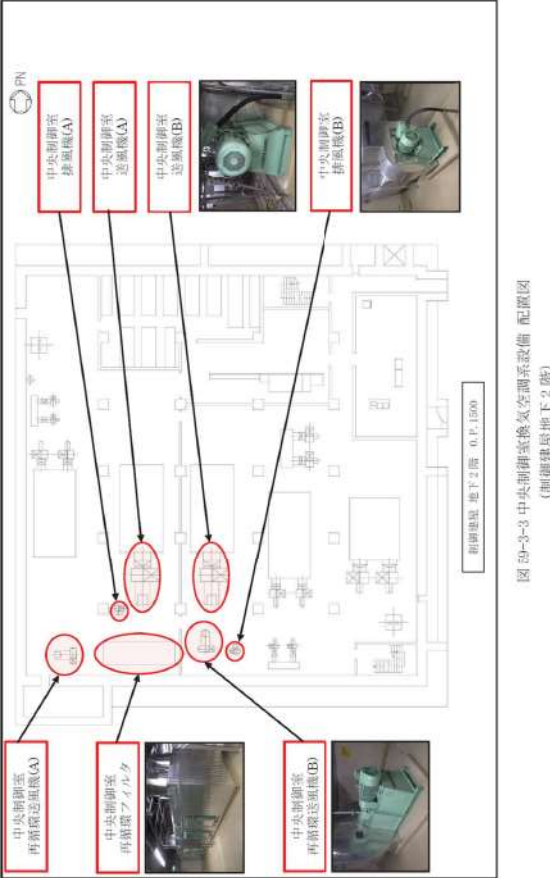
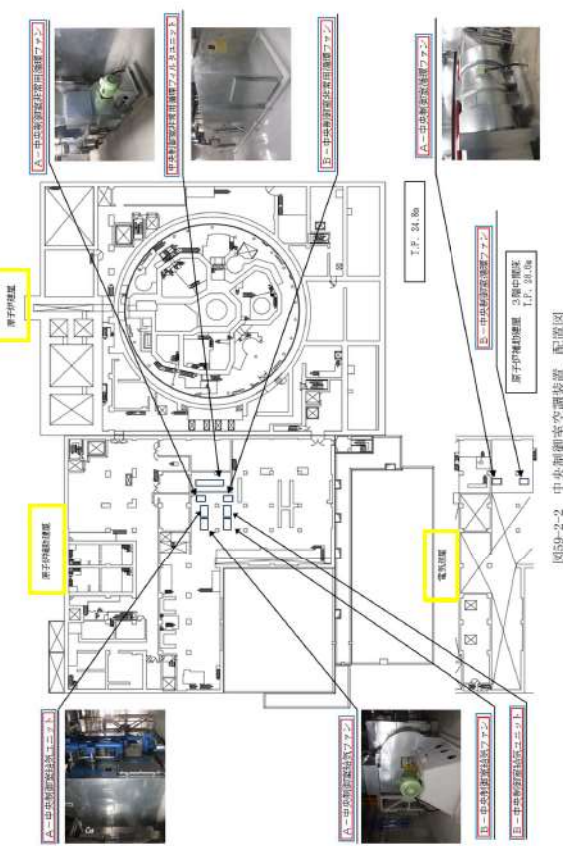
第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
	 <p data-bbox="750 708 1102 751">図 59-3-2 中央制御室待避所正圧化バウンダリ 配置図 (制御建屋地上3階)</p> <div data-bbox="916 772 1229 799" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p data-bbox="920 777 1225 794">特図みの内容は防護上の観点から公開できません。</p> </div>		<p data-bbox="1834 229 1910 248">①の相違</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

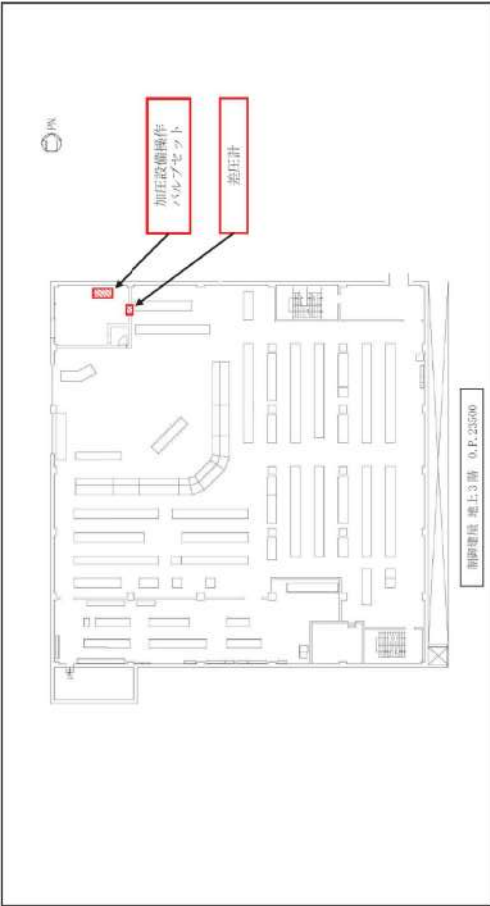
第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
<p>【大飯欄はp59-2-6を掲載】</p> 	 <p>図 59-3-3 中央制御室換気空調系設備 配置図              (制御室地下2階 0.F.1500)</p>	 <p>図59-2-2 中央制御室空調装置 配置図</p>	



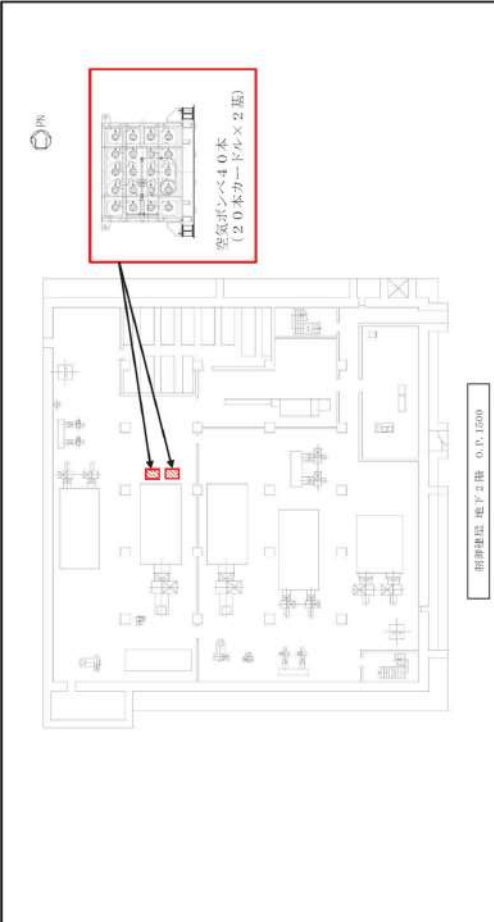
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
	 <p data-bbox="1182 502 1227 893">図 59-3-5 中央制御室待機所加圧設備 配置図 (その1) (制御室地上3階)</p>		<p data-bbox="1832 231 1915 252">①の相違</p>

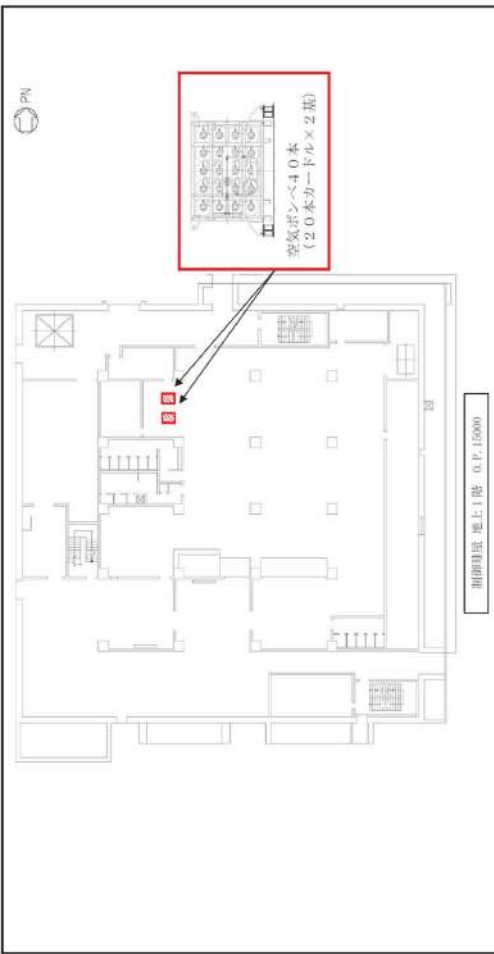
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
	 <p>図 59-3-6 中央制御室待機所加圧設備 配置図（その2） （制御室地下2階）</p>		<p>①の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
	 <p>図 59-0-7 中央制御室待機所加圧設備 配置図 (その3)              (制御室屋上1階)</p>		<p>①の相違</p>

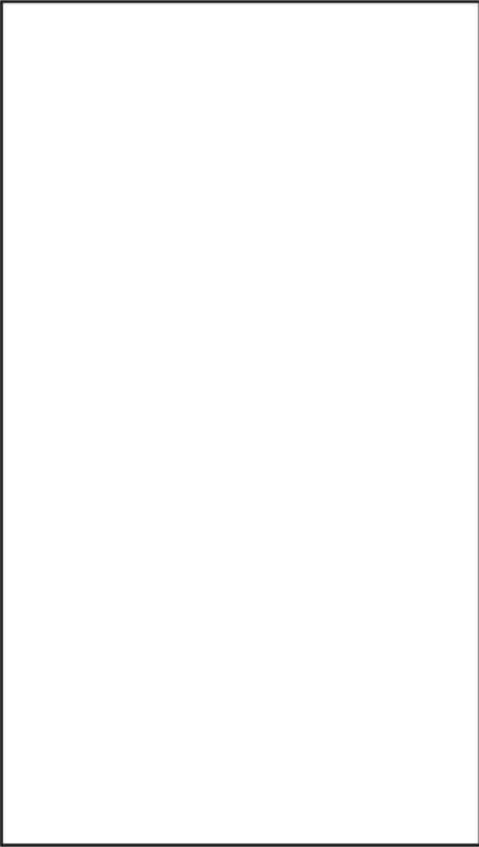




泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表

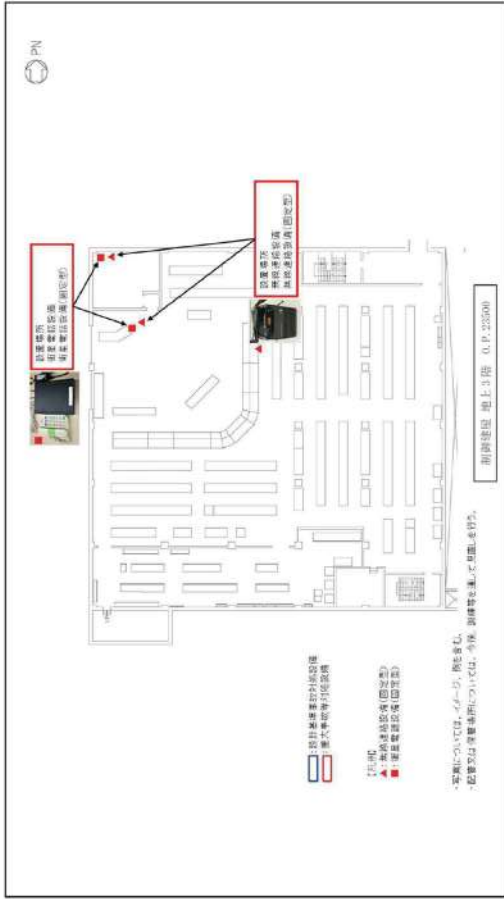
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
	 <p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; left: 514px; top: 288px;">図 05F-57-9 中核制御系送電及び中央制御系(作通所)送電 配線図(その2)</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; left: 535px; top: 151px;">内容の相違は重要機材の観点から公開できません。</p>		<p>①の相違</p>

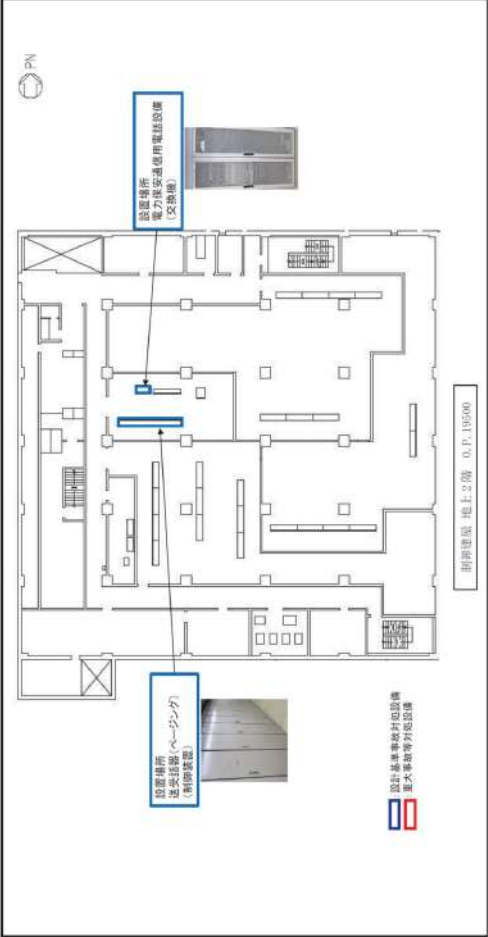
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
	 <p>図 59-3-10 無線連絡設備（固定型）及び衛星電話設備（固定型）配置図          （制御建屋地上3階）</p>		<p>①の相違</p>

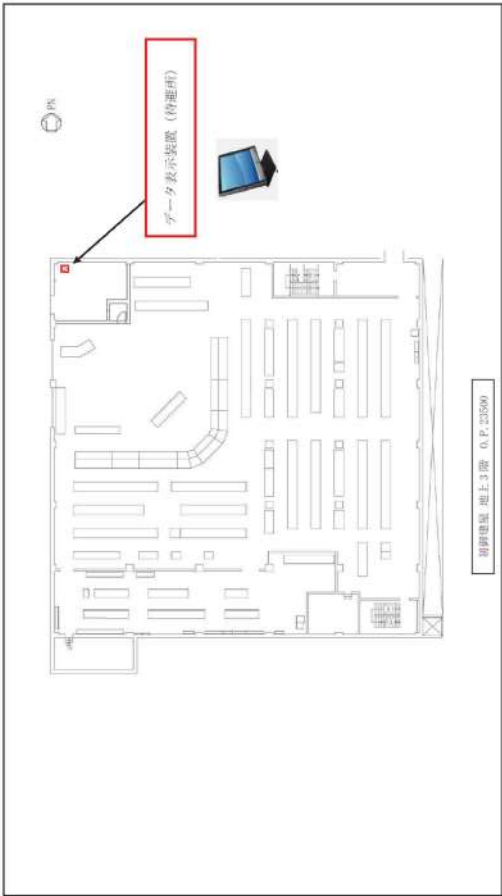
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
	 <p>図 59-3-11 送受話器（ベージング）及び電力停安通信用電話設備（交換機）配置図              （制御室地上2階）</p>		<p>①の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

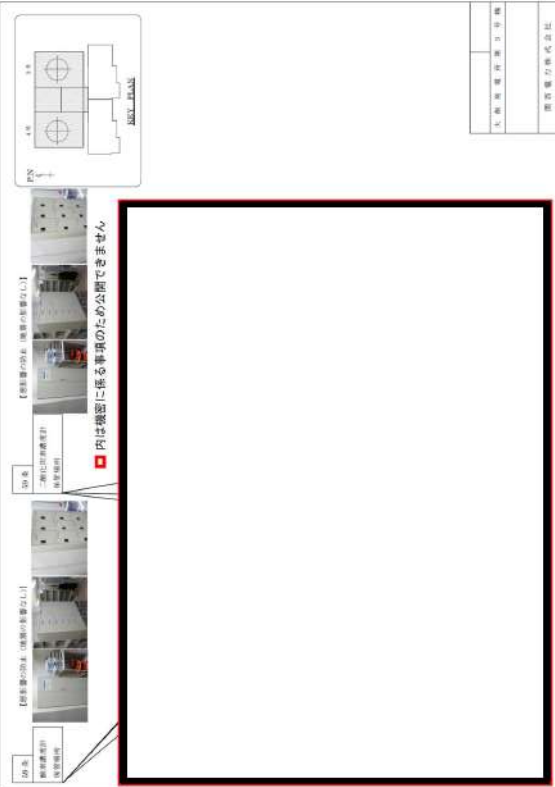

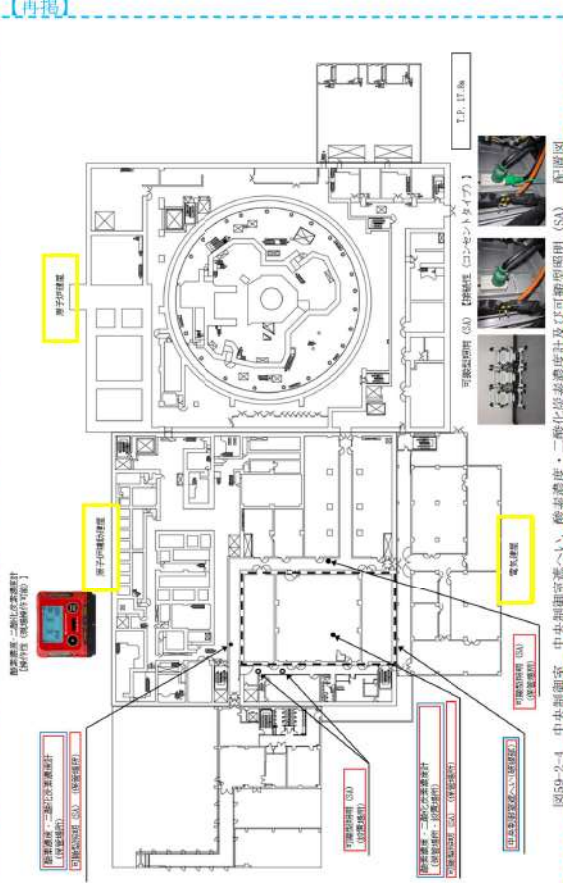
第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
	 <p data-bbox="1137 624 1160 810">制御室 地上3階 O.P.33500</p> <p data-bbox="1193 523 1234 852">図 59-3-12 データ表示装置（待避所）配置図 （制御建屋地上3階）</p>		<p data-bbox="1834 229 1910 248">①の相違</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

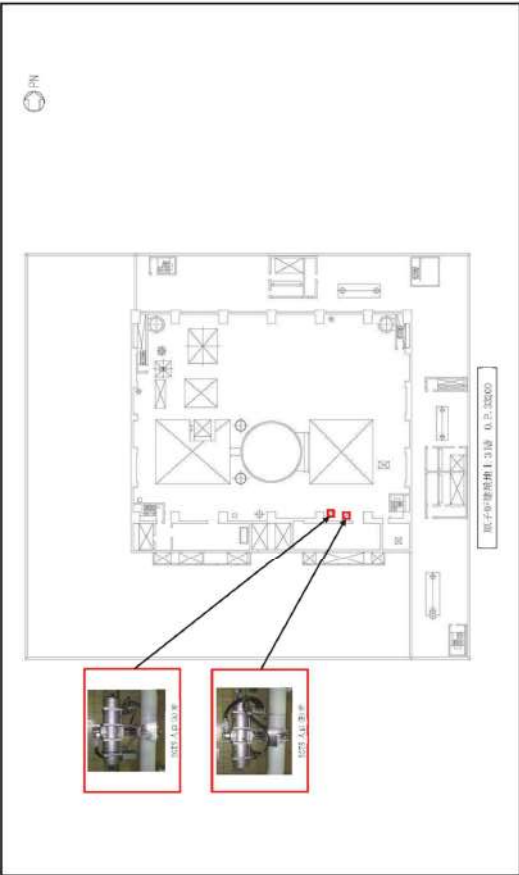
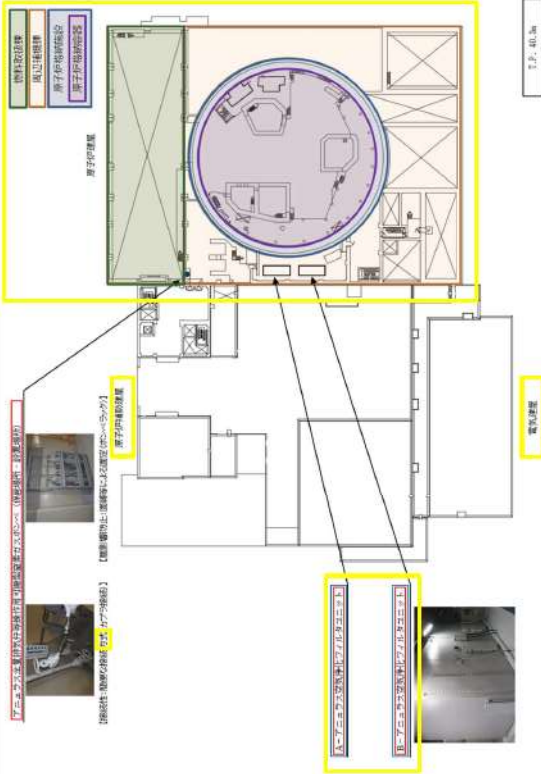
大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
<p>【大飯欄はp59-2-3を掲載】</p>  <p>【大飯欄はp59-2-3を掲載】</p> <p>内は観覧に出来る事項のため公開できません</p>	 <p>制御室 地上3階 O.P.23500</p> <p>図59-2-13 酸素濃度計及び二酸化炭素濃度計 配置図          (制御室地上3階)</p>	<p>【再掲】</p>  <p>図59-2-4 中央制御室 中央制御室へ、酸素濃度・二酸化炭素濃度計及び可搬型照明(SA) 配置図</p>	<p>【女川】記載箇所の相違              ・泊は複数設備をまとめて記載しているため、再掲して比較。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）


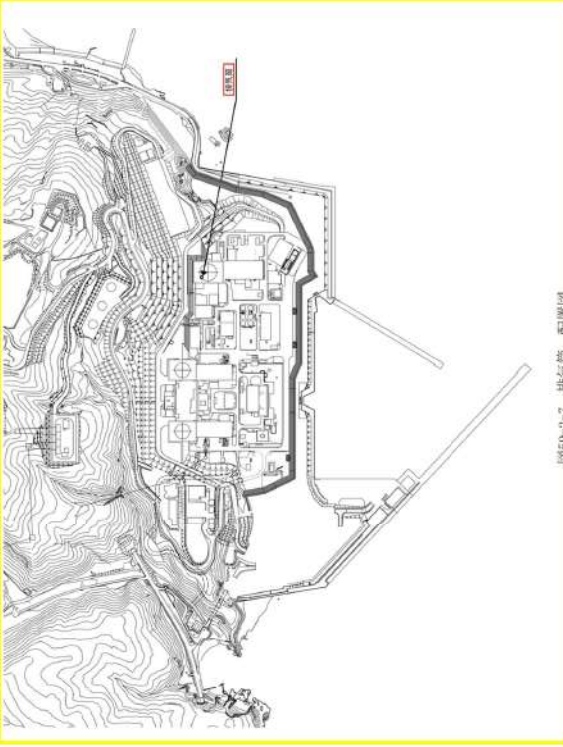
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
			<p>②の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
	 <p>図 59-3-15 非常用ガス処理系 配置図 (原子炉建屋地上3階)</p>	 <p>図 59-2-6 中央制御室 アニュラス空気浄化設備 配置図</p>	<p>②の相違</p>

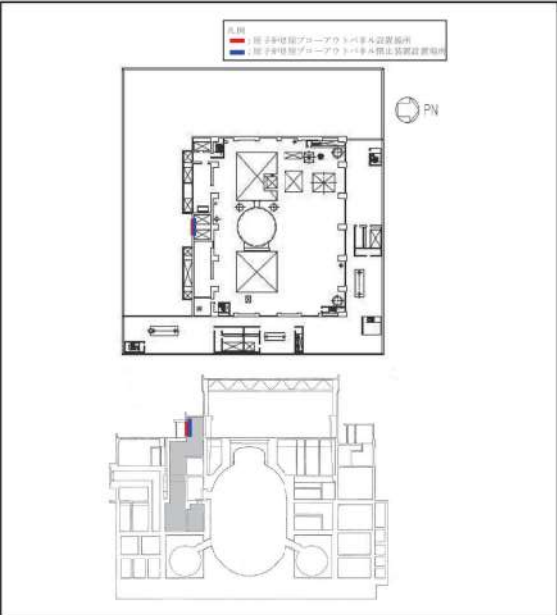
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
	 <p style="text-align: center;">図 59-3-16 非常用ガス処理系 配管図（中央制御室）</p> <p style="text-align: center;">枠囲みの内容は防護上の観点から公開できません。</p>	 <p style="text-align: center;">図 59-2-7 排気筒 配置図</p>	<p>②の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
	 <p>図 59-3-17 原子炉建屋ブローアウトパネル閉止装置 配置図              (原子炉建屋地上3階)</p>		<p>②の相違</p>



泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表

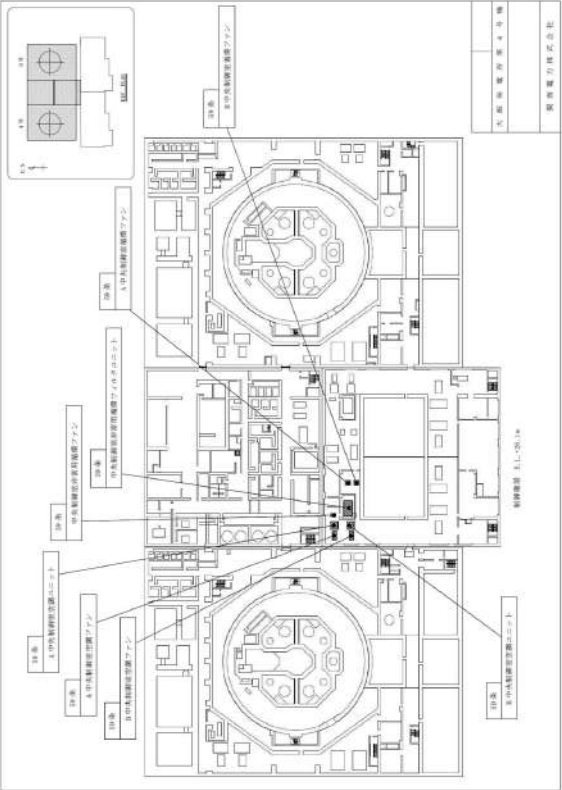
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
<p>【大飯欄はp59-2-7を掲載】</p> <p>4号炉</p>			<p>【大飯】共用の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大飯は4号炉の設備を記載している。</li> </ul>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
<p>【大飯欄はp59-2-8を掲載】</p> 			<p>【大飯】共用の相違                  ・大飯は4号炉の設備を記載している。</p>

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
	<p>59-7 保管場所図</p>		

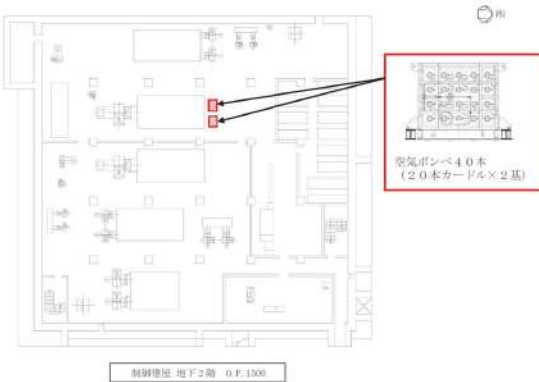







赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
	 <p data-bbox="683 662 1108 702">図 59-7-3 中央制御室待避所加圧設備（空気ポンプ）保管場所（その1） （制御室地下2階）</p>		<p data-bbox="1836 231 1915 255">①の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
	 <p data-bbox="672 662 1108 702">図59-7-4 中央制御室待避所加圧設備（空気ポンプ）保管場所（その2） （制御室地上1階）</p>		<p data-bbox="1827 223 1915 255">①の相違</p>

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
<p>59-3 アクセスルート</p>			<p>【大飯】記載箇所の相違                      ・泊では、アクセスルート図は技術的能                      力1.0.2にて整理している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
<div data-bbox="85 239 138 335" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>■ 事件対象箇所 ● 対応済み ○ 経過中</p> </div> <div data-bbox="85 351 138 917" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>大飯発電所3、4号機 重大事故時アクセスルート図(第59条関連)〔屋内〕                  ■ 内は機密に係る事項のため公開できません</p> </div> <div data-bbox="145 271 638 1021" style="border: 2px solid red; height: 470px; width: 220px; margin: 10px auto;"></div>			<p>【大飯】記載箇所の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊では、アクセスルート図は技術的能力1.0.2にて整理している。</li> </ul>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
<div data-bbox="85 272 129 363" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>図中の赤線は アクセスルート を指します</p> </div> <div data-bbox="107 427 129 896" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>大飯発電所3、4号機 重大事故等時アクセスルート図（第59条関連）〔屋内〕</p> </div> <div data-bbox="145 347 168 593" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>■ 内は機密に係る事項のため公開できません</p> </div> <div data-bbox="174 244 645 994" style="border: 2px solid red; height: 470px; width: 210px; margin: 10px auto;"></div>			<p>【大飯】記載箇所の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊では、アクセスルート図は技術的能力1.0.2にて整理している。</li> </ul>




赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
<div data-bbox="91 240 136 336" style="float: left; margin-bottom: 5px;"> </div> <div data-bbox="85 411 107 906" style="float: left; margin-bottom: 5px;">                     大飯発電所3、4号機 重大事故時アクセスルート図(第59条関連)〔屋内〕                 </div> <div data-bbox="109 352 132 611" style="float: left; margin-bottom: 5px;">                     ■ 内は機密に係る事項のため公開できません                 </div> <div data-bbox="141 236 645 1034" style="border: 2px solid red; width: 100%; height: 100%; margin-top: 10px;"> </div>			<p>【大飯】記載箇所の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊では、アクセスルート図は技術的能力1.0.2にて整理している。</li> </ul>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
<div data-bbox="85 268 129 354" style="float: left; margin-bottom: 5px;">  </div> <div data-bbox="85 375 129 938" style="float: left; margin-bottom: 5px;"> <p>大飯発電所3、4号機 重大事故等時アクセスルート図(第59条関連)【図内】                  □内は機密に係る事項のため公開できません</p> </div> <div data-bbox="129 236 645 1056" style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>			<p>【大飯】記載箇所の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>泊では、アクセスルート図は技術的能力1.0.2にて整理している。</li> </ul>

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
<p>59-4 試験・検査説明資料</p> <p>3号炉</p>	<p>59-5 試験及び検査</p>	<p>59-3 試験・検査説明資料</p>	<p>【大飯】記載表現の相違                      ・大飯は3号炉と4号炉を区別して記載している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

差異理由

可搬型照明（SA）外形図



○可搬型照明（SA）の試験及び検査について

可搬型照明（SA）は、原子炉の運転中及び停止中に表59-5-1に示す試験及び検査が可能な設計とする。

表 59-5-1 可搬型照明（SA）の試験及び検査

状態	項目	試験・検査項目
運転中 又は停止中	外観確認	外観の確認
	機能・性能試験	点灯確認

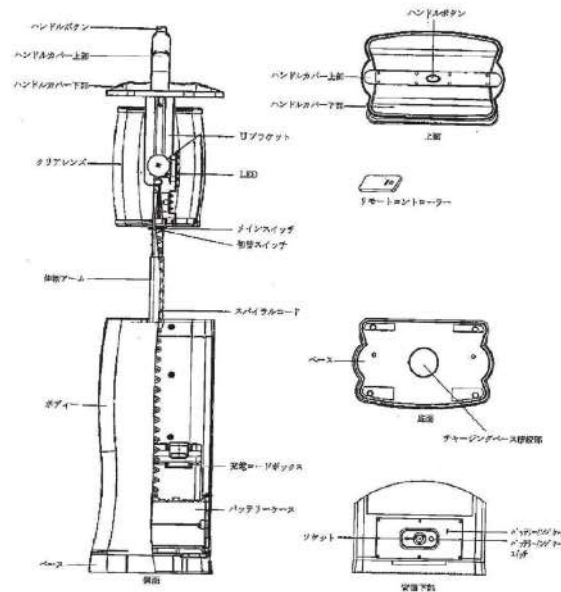


図 59-5-1 可搬型照明（SA）の概略図

○可搬型照明（SA）の試験及び検査について

可搬型照明（SA）は、原子炉の運転中及び停止中に表 59-3-1 に示す試験及び検査が可能な設計とする。

表 59-3-1 可搬型照明（SA）の試験及び検査

状態	項目	試験・検査項目
運転中又は 停止中	外観検査	外観の確認
	機能・性能確認	点灯確認

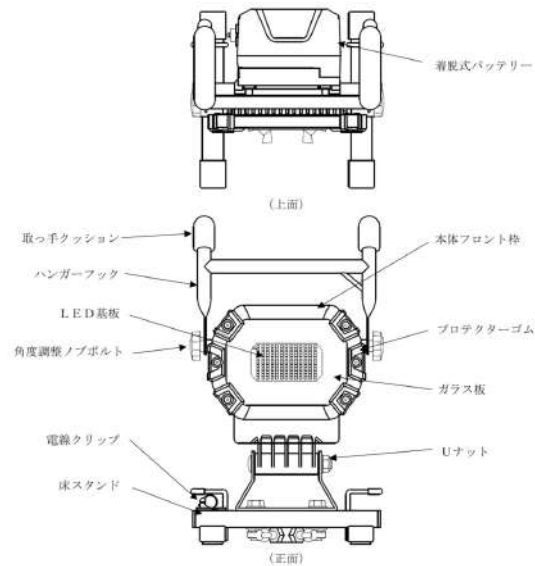


図 59-3-1 可搬型照明（SA）の概略図

【大飯】記載箇所の相違  
 ・比較のため大飯を移動して掲載した。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

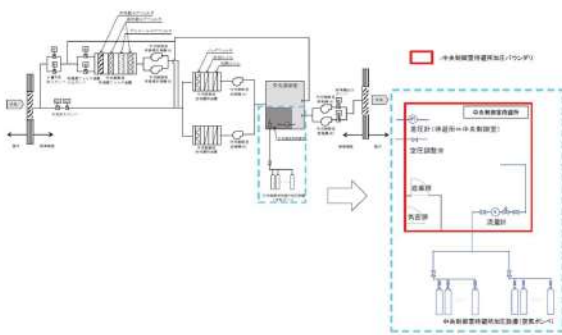
第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由													
	<p>中央制御室待避所加圧設備の試験及び検査について</p> <p>中央制御室待避所加圧設備については、原子炉の運転中又は停止中に表59-5-2に示す試験・検査が可能な設計とする。</p> <p>表 59-5-2 中央制御室待避所加圧設備（空気ポンプ）の試験及び検査</p> <table border="1" data-bbox="696 359 1223 568"> <thead> <tr> <th>発電用原子炉の状態</th> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">運転中</td> <td>機能・性能試験</td> <td>空気ポンプ残圧の確認</td> </tr> <tr> <td>外観検査</td> <td>中央制御室待避所加圧設備（空気ポンプ）の表面状態の外観の確認</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">停止中</td> <td>機能・性能試験</td> <td>空気ポンプ残圧の確認 中央制御室待避所の正圧化試験</td> </tr> <tr> <td>外観確認</td> <td>中央制御室待避所加圧設備（空気ポンプ）の表面状態の外観の確認</td> </tr> </tbody> </table> <p>【中央制御室待避所の正圧化試験】</p> <p>(1) 概要                      中央制御室待避所の気密性に関する試験・検査として、原子炉停止中において、正圧化試験を実施する。</p> <p>(2) 試験内容                      中央制御室待避所加圧設備の操作対象弁を開として、中央制御室待避所を加圧し、中央制御室待避所と中央制御室で正圧化に必要な差圧を確保できることを確認する。（正圧化に必要な差圧については、(P. 59-6-2)を参照）                      中央制御室待避所の正圧化試験のパウナダリ構成図を図59-5-2に示す。</p>	発電用原子炉の状態	項目	内容	運転中	機能・性能試験	空気ポンプ残圧の確認	外観検査	中央制御室待避所加圧設備（空気ポンプ）の表面状態の外観の確認	停止中	機能・性能試験	空気ポンプ残圧の確認 中央制御室待避所の正圧化試験	外観確認	中央制御室待避所加圧設備（空気ポンプ）の表面状態の外観の確認		<p>①の相違</p>
発電用原子炉の状態	項目	内容														
運転中	機能・性能試験	空気ポンプ残圧の確認														
	外観検査	中央制御室待避所加圧設備（空気ポンプ）の表面状態の外観の確認														
停止中	機能・性能試験	空気ポンプ残圧の確認 中央制御室待避所の正圧化試験														
	外観確認	中央制御室待避所加圧設備（空気ポンプ）の表面状態の外観の確認														



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

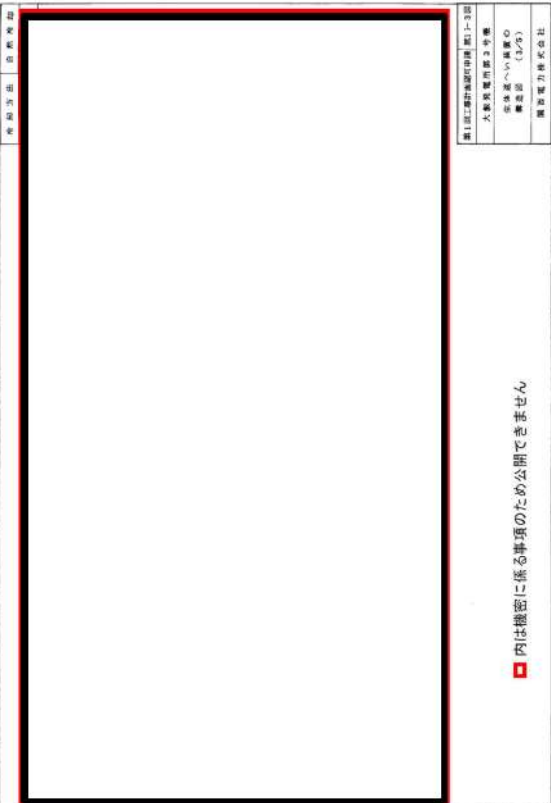
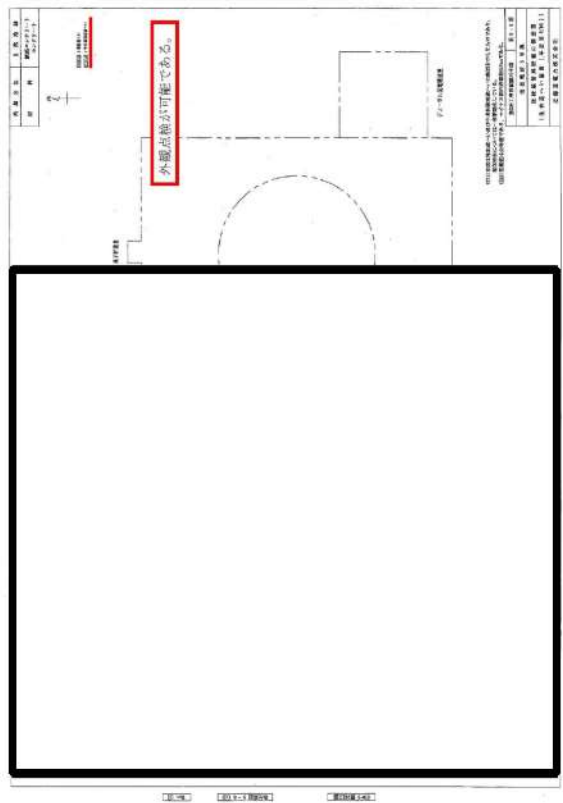
第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
	 <p>図59-5-2 中央制御室待避所の正圧化試験におけるバウンダリ構成図</p>		<p>①の相違</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
 <p>■ 内は機密に係る事項のため公開できません</p>		 <p>□ 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p>【女川】大飯審査実績の反映</p>

泊発電所3号炉 S A基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由																														
	<p>○ 中央制御室換気空調系の試験及び検査について                      中央制御室換気空調系における試験及び検査は、表59-5-3のとおりである。</p> <p style="text-align: center;">表59-5-3 中央制御室換気空調系の試験及び検査</p> <table border="1" data-bbox="669 331 1225 539"> <thead> <tr> <th>発電用原子炉の状態</th> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">運転中</td> <td>機能・性能試験</td> <td>運転性能、漏えい有無の確認 フィルタ差圧の確認</td> </tr> <tr> <td>外観確認</td> <td>機器<sup>(*)</sup>の表面状態の確認</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">停止中</td> <td>機能・性能試験</td> <td>運転性能、漏えい有無の確認 フィルタ差圧の確認</td> </tr> <tr> <td>分解検査</td> <td>機器<sup>(*)</sup>各部の状態を目視等で確認</td> </tr> <tr> <td>外観確認</td> <td>機器<sup>(*)</sup>の表面状態の確認</td> </tr> </tbody> </table> <p>(*) 機器とは以下のとおり：                      中央制御室送風機、中央制御室排風機、中央制御室再循環送風機、中央制御室再循環フィルタ装置</p>	発電用原子炉の状態	項目	内容	運転中	機能・性能試験	運転性能、漏えい有無の確認 フィルタ差圧の確認	外観確認	機器 <sup>(*)</sup> の表面状態の確認	停止中	機能・性能試験	運転性能、漏えい有無の確認 フィルタ差圧の確認	分解検査	機器 <sup>(*)</sup> 各部の状態を目視等で確認	外観確認	機器 <sup>(*)</sup> の表面状態の確認	<p>○ 中央制御室空調装置の試験及び検査について                      中央制御室空調装置の試験及び検査は、表59-3-2のとおりである。</p> <p style="text-align: center;">表59-3-2 中央制御室空調装置の試験及び検査</p> <table border="1" data-bbox="1299 331 1805 539"> <thead> <tr> <th>発電用原子炉の状態</th> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">運転中</td> <td>機能・性能試験</td> <td>運転性能、漏えい有無の確認 フィルタ差圧の確認</td> </tr> <tr> <td>外観確認</td> <td>各機器<sup>(*)</sup>の表面状態の確認</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">停止中</td> <td>機能・性能試験</td> <td>運転性能、漏えい有無の確認 フィルタ差圧の確認</td> </tr> <tr> <td>分解検査</td> <td>各機器<sup>(*)</sup>各部の状態を目視等で確認</td> </tr> <tr> <td>外観確認</td> <td>各機器<sup>(*)</sup>の表面状態の確認</td> </tr> </tbody> </table> <p>(*) 各機器とは以下の通り：                      中央制御室給気ファン、中央制御室循環ファン、中央制御室非常用循環ファン、中央制御室非常用循環フィルタユニット及び中央制御室給気ユニット。ただし、中央制御室非常用循環フィルタユニット及び中央制御室給気ユニットは分解検査として開放点検時の目視による確認を実施。</p>	発電用原子炉の状態	項目	内容	運転中	機能・性能試験	運転性能、漏えい有無の確認 フィルタ差圧の確認	外観確認	各機器 <sup>(*)</sup> の表面状態の確認	停止中	機能・性能試験	運転性能、漏えい有無の確認 フィルタ差圧の確認	分解検査	各機器 <sup>(*)</sup> 各部の状態を目視等で確認	外観確認	各機器 <sup>(*)</sup> の表面状態の確認	<p>【女川】記載表現の相違                      【大飯】女川審査実績の反映</p>
発電用原子炉の状態	項目	内容																															
運転中	機能・性能試験	運転性能、漏えい有無の確認 フィルタ差圧の確認																															
	外観確認	機器 <sup>(*)</sup> の表面状態の確認																															
停止中	機能・性能試験	運転性能、漏えい有無の確認 フィルタ差圧の確認																															
	分解検査	機器 <sup>(*)</sup> 各部の状態を目視等で確認																															
	外観確認	機器 <sup>(*)</sup> の表面状態の確認																															
発電用原子炉の状態	項目	内容																															
運転中	機能・性能試験	運転性能、漏えい有無の確認 フィルタ差圧の確認																															
	外観確認	各機器 <sup>(*)</sup> の表面状態の確認																															
停止中	機能・性能試験	運転性能、漏えい有無の確認 フィルタ差圧の確認																															
	分解検査	各機器 <sup>(*)</sup> 各部の状態を目視等で確認																															
	外観確認	各機器 <sup>(*)</sup> の表面状態の確認																															





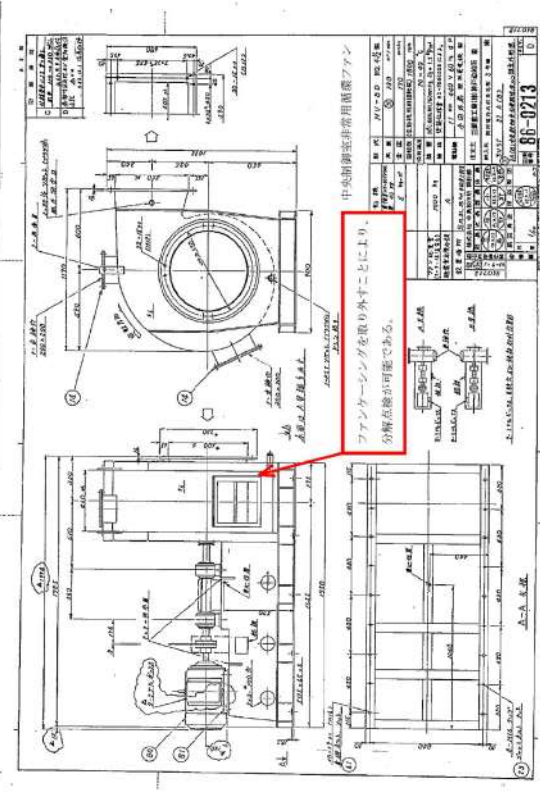
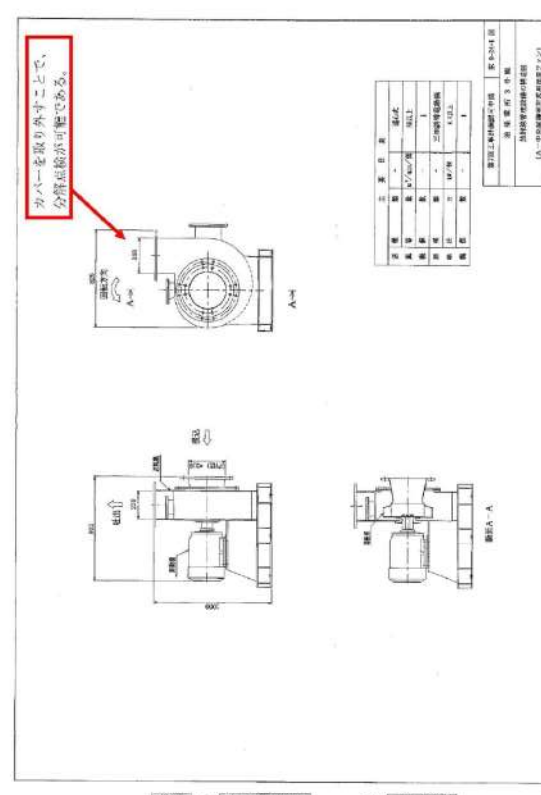
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

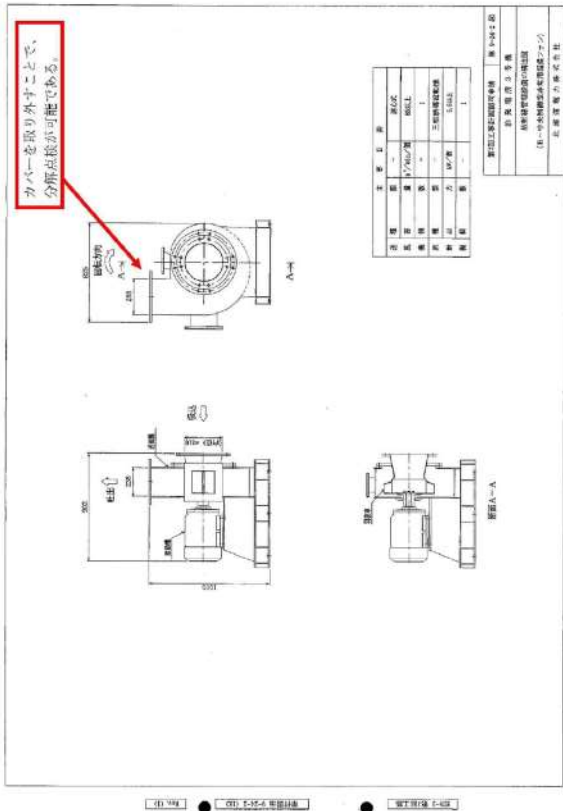
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
<p style="text-align: right;">改 1</p> <p style="text-align: center;">関西電力株式会社 大飯発電所                      第3号機 第16保全サイクル                      定期事業者検査要領書</p> <p>施設名：放射線管理施設                      検査名：中央制御室非常用循環系機能検査                      要領書番号：O3-16-144</p>		<p style="text-align: center;">北海道電力株式会社 泊発電所                      3号機 第2保全サイクル                      定期事業者検査要領書</p> <p>設備名：放射線管理設備                      検査名：中央制御室非常用循環系機能検査                      要領書番号：HT3-40</p>	<p>【女川】大飯審査実績の反映</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由																																								
 <p>中央制御室非常用簡便ファン          ファンケーシングを取り外すことにより、          分解点検が可能である。</p> <table border="1" data-bbox="470 271 627 510"> <tr> <td>型式</td> <td>W10-210 150 150</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>電圧</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>電流</td> <td>10.0</td> </tr> <tr> <td>回転数</td> <td>1450</td> </tr> <tr> <td>出力</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>質量</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>寸法</td> <td>φ1000×1000</td> </tr> <tr> <td>製造</td> <td>日立製作所</td> </tr> <tr> <td>図番</td> <td>66-0213</td> </tr> </table>	型式	W10-210 150 150	容量	200	電圧	200	電流	10.0	回転数	1450	出力	1.5	質量	100	寸法	φ1000×1000	製造	日立製作所	図番	66-0213		 <p>カバーを取り外すことで、          分解点検が可能である。</p> <table border="1" data-bbox="1612 271 1769 510"> <tr> <td>型式</td> <td>W10-210 150 150</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>電圧</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>電流</td> <td>10.0</td> </tr> <tr> <td>回転数</td> <td>1450</td> </tr> <tr> <td>出力</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>質量</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>寸法</td> <td>φ1000×1000</td> </tr> <tr> <td>製造</td> <td>日立製作所</td> </tr> <tr> <td>図番</td> <td>66-0213</td> </tr> </table>	型式	W10-210 150 150	容量	200	電圧	200	電流	10.0	回転数	1450	出力	1.5	質量	100	寸法	φ1000×1000	製造	日立製作所	図番	66-0213	<p>【女川】大飯審査実績の反映</p>
型式	W10-210 150 150																																										
容量	200																																										
電圧	200																																										
電流	10.0																																										
回転数	1450																																										
出力	1.5																																										
質量	100																																										
寸法	φ1000×1000																																										
製造	日立製作所																																										
図番	66-0213																																										
型式	W10-210 150 150																																										
容量	200																																										
電圧	200																																										
電流	10.0																																										
回転数	1450																																										
出力	1.5																																										
質量	100																																										
寸法	φ1000×1000																																										
製造	日立製作所																																										
図番	66-0213																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
			<p>【大飯】記載方針の相違                  ・泊はB系を別途記載。                  【女川】大飯審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

差異理由

機器及び名称	機器名(機能)	系統及び試験の項目	適合性の判定	適合性	機器名	備考
3号機	A10炉内循環ポンプファン電動機	運転・停止試験	高	10次系換気空調設備	(1)中は適用する。見直し済	
	A11炉内循環ポンプファン電動機	運転・停止試験	高	10次系換気空調設備		
	A12炉内循環ポンプファン電動機	運転・停止試験	高	10次系換気空調設備		
	A13炉内循環ポンプファン電動機	運転・停止試験	高	10次系換気空調設備		
	A14炉内循環ポンプファン電動機	運転・停止試験	高	10次系換気空調設備		
	A15炉内循環ポンプファン電動機	運転・停止試験	高	10次系換気空調設備		
	A16炉内循環ポンプファン電動機	運転・停止試験	高	10次系換気空調設備		
	A17炉内循環ポンプファン電動機	運転・停止試験	高	10次系換気空調設備		
	A18炉内循環ポンプファン電動機	運転・停止試験	高	10次系換気空調設備		
	A19炉内循環ポンプファン電動機	運転・停止試験	高	10次系換気空調設備		
	A20炉内循環ポンプファン電動機	運転・停止試験	高	10次系換気空調設備		
	A21炉内循環ポンプファン電動機	運転・停止試験	高	10次系換気空調設備		
	A22炉内循環ポンプファン電動機	運転・停止試験	高	10次系換気空調設備		
	A23炉内循環ポンプファン電動機	運転・停止試験	高	10次系換気空調設備		
	A24炉内循環ポンプファン電動機	運転・停止試験	高	10次系換気空調設備		
	A25炉内循環ポンプファン電動機	運転・停止試験	高	10次系換気空調設備		

機器及び名称	機器名(機能)	系統及び試験の項目	適合性の判定	適合性	機器名	備考

機器及び名称	機器名(機能)	系統及び試験の項目	適合性の判定	適合性	機器名	備考

【女川】大飯審査実績の反映

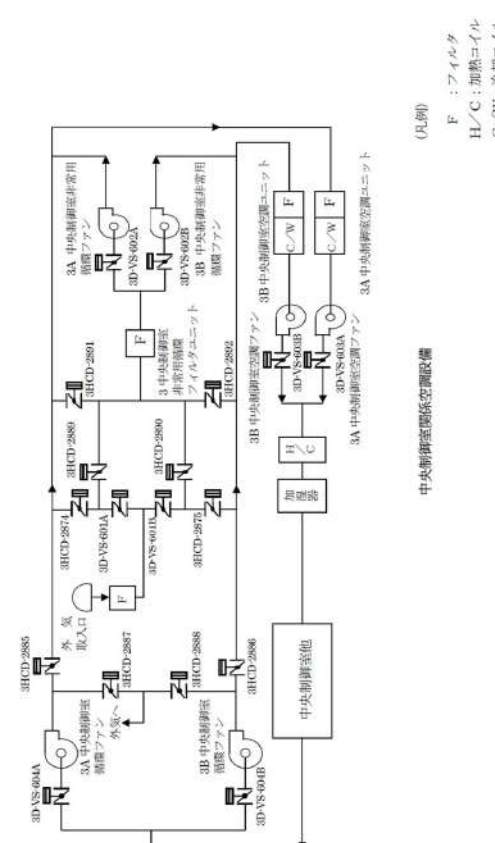
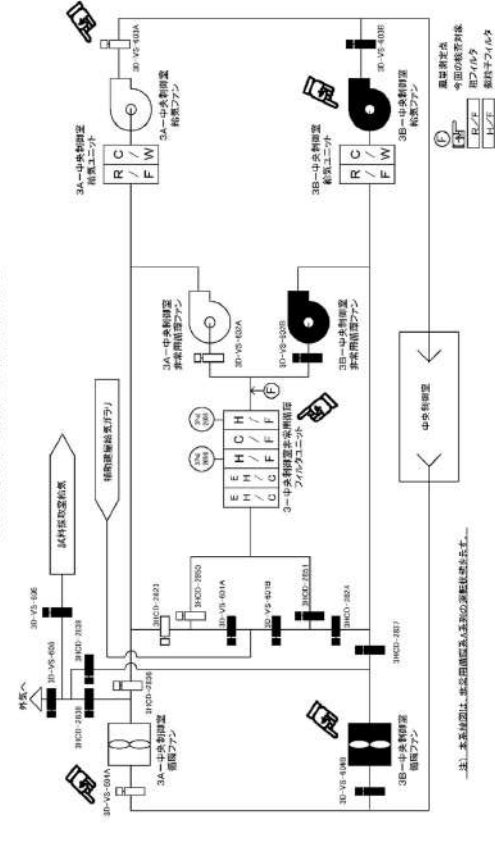
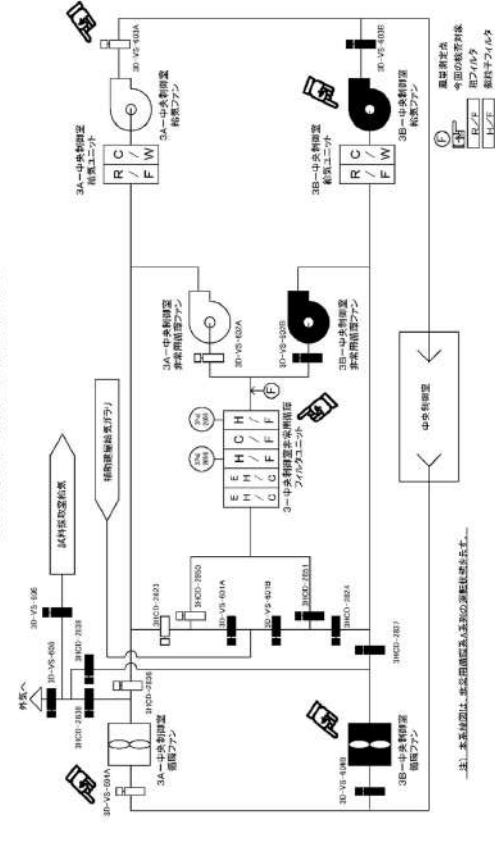


赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備（補足説明資料）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
<p style="text-align: right;">改 4</p> <p style="text-align: center;">関西電力株式会社 大飯発電所                      第3号機 第16保全サイクル                      定期事業者検査要領書</p> <p>施設名：放射線管理施設                      検査名：1次系換気空調設備検査                      要領書番号：O3-16-315</p>		<p style="text-align: center;">北海道電力株式会社 泊発電所                      3号機 第2保全サイクル                      定期事業者検査要領書</p> <p>設備名：放射線管理設備                      検査名：1次系換気空調設備検査                      要領書番号：HT3-77</p>	<p>【女川】大飯審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由
<p style="text-align: center;">検査系統図</p>  <p style="text-align: center;">(凡例)</p> <p style="text-align: center;">F : ファン          H/C : 加熱コイル          C/W : 巻掛コイル</p> <p style="text-align: center;">中央制御室関係空調設備</p>	<p style="text-align: center;">中央制御室空調系統図</p>  <p style="text-align: center;">(凡例)</p> <p style="text-align: center;">F : ファン          H/C : 加熱コイル          C/W : 巻掛コイル</p> <p style="text-align: center;">中央制御室</p>	<p style="text-align: center;">中央制御室空調系統図</p>  <p style="text-align: center;">(凡例)</p> <p style="text-align: center;">F : ファン          H/C : 加熱コイル          C/W : 巻掛コイル</p> <p style="text-align: center;">中央制御室</p>	<p>【女川】大飯審査実績の反映</p>